

「葛飾区教育振興基本計画」の策定に向けた
区の教育振興に関するアンケート調査

報告書

令和5年3月
葛飾区教育委員会

目次

第1章 調査概要	1
1 調査名称.....	1
2 調査の目的.....	1
3 調査の実施概要.....	1
4 回答者一覧.....	2
5 調査結果の読み方.....	3
第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果	4
1 家庭でのお子さんの様子や育児・家庭教育等についてお聞きします。.....	6
2 お子さんの小学校入学についてお聞きします。.....	28
3 区の取組についてお聞きします。.....	41
4 生涯学習、スポーツについてお聞きします。.....	48
5 自由意見.....	55
6 分析編：小学生以上の兄弟姉妹の有無によるクロス集計.....	56
第3章 幼稚園・保育園等教職員調査結果	65
1 あなた自身のことについてお聞きします。.....	65
2 幼保小中連携や就学前教育の取組についてお聞きします。.....	67
3 ICTの活用についてお聞きします。.....	78
4 自由意見.....	86
5 分析編：経験年数によるクロス集計.....	87
第4章 区立小・中学生保護者調査結果	90
1 家庭教育についてお聞きします。.....	91
2 お子さんを通っている学校のことについてお聞きします。.....	101
3 学校教育についてお聞きします。.....	112
4 学校と地域の連携についてお聞きします。.....	128
5 ICTの活用についてお聞きします。.....	136
6 生涯学習、スポーツについてお聞きします。.....	142
7 ここから、小学生の保護者の方のみにお聞きします。.....	149
8 自由意見.....	154
9 分析編：区の施策・取組に対する満足度・重要度.....	155

第5章 区立小・中学校教員調査結果	165
1 あなたご自身のことについてお聞きします。	165
2 現在の取組の効果と方向性についてお聞きします。	170
3 ICTの活用についてお聞きします。	214
4 学校と地域の連携についてお聞きします。	220
5 職場環境についてお聞きします。	224
6 教員の方（校長、副校長、養護教諭以外）にお聞きします。	226
7 ここから、中学校に所属されている方のみにお聞きします。	237
8 自由意見	240
9 分析編：経験年数等によるクロス集計	241
第6章 社会教育関係者調査結果	265
1 あなたご自身のことについてお聞きします。	265
2 生涯学習についてお聞きします。	267
3 スポーツについてお聞きします。	276
4 区の取組についてお聞きします。	282
5 現在の取組の効果と方向性についてお聞きします。	290
6 自由意見	297
7 分析編：年齢及び就業状況によるクロス集計	298
第7章 分析編	307
1 「かつしかっ子」宣言の認知度	307
2 家庭教育の充実に関する満足度（保護者）と重要度（教職員等）	308
3 ICT機器の導入効果（小・中学校）	309
4 ICT活用に期待する効果（小・中学校）	310
5 学校と地域との連携に関する小・中保護者の意欲と小・中教員の期待	311

第1章 調査概要

1 調査名称

「葛飾区教育振興基本計画」の策定に向けた区の教育振興に関するアンケート調査

2 調査の目的

本調査は、令和5年度に葛飾区教育振興基本計画（計画期間：令和6年度～令和10年度）を策定するにあたり、現在の計画「かつしか教育プラン（2019～2023）葛飾区教育振興基本計画」の検証及び新たな取組を検討する基礎的なデータを把握することを目的に、幼稚園・保育園・認定こども園の保護者及び教職員、区立小・中学校の保護者及び教員、社会教育関係者を対象に調査を実施しました。

3 調査の実施概要

(1) 調査対象

番号	対象	略称
1	区内（公立、私立を含む）の幼稚園、保育園、認定こども園の年長クラス（5歳児）に通っている子どもの保護者	幼稚園・保育園等保護者調査
2	区内（公立、私立を含む）の幼稚園、保育園、認定こども園の教員または保育士	幼稚園・保育園等教職員調査
3	区立小学2年生、小学5年生、中学2年生の保護者	区立小・中学生保護者調査
4	区立小・中学校の教員	区立小・中学校教員調査
5	社会教育関係者	社会教育関係者調査

(2) 調査基準日

令和4年10月1日

(3) 調査方法

- 調査1、2、3、4は、学校、幼稚園、保育園、認定こども園を通じて、調査票を配付
- 調査5は、対象者に郵送で調査票を配付
- 回答方法（全調査共通）は、調査票の郵送回答、もしくは、調査専用サイトのインターネット回答を併用（回答者が回答方法を任意に選ぶ方法）して実施

(4) 調査期間

- 調査1、2、3、4、5は、令和4年10月19日（水）～11月7日（月）
WEB回答のみ期間を延長し、12月13日（火）到着分まで受付

(5) 回収数

番号	調査	対象	配付数	回収数 (郵送/WEB)	回収率
1	幼稚園・保育園等保護者調査	抽出	1,552人	432人 (156/276)	27.8%
2	幼稚園・保育園等教職員調査	悉皆	270人	145人 (30/115)	53.7%
3	区立小・中学生保護者調査	抽出	3,692人	1,535人 (406/1,129)	41.6%
4	区立小・中学校教員調査	悉皆	1,761人	1,085人 (409/676)	61.6%
5	社会教育関係者調査	抽出※	914人	420人 (310/110)	46.0%

※区内関係課より提出された関係者等に調査票を配付しました。

4 回答者一覧

回答者合計に対する属性別回答割合を示す

1 幼稚園・保育園等保護者調査									
回答者合計	区立幼稚園	私立幼稚園	区立保育園	私立保育園	認定こども園	無回答			
432人	6.5%	40.3%	24.1%	12.7%	15.5%	0.9%			
2 幼稚園・保育園等教職員調査									
回答者合計	区立幼稚園	私立幼稚園	区立保育園	私立保育園	認定こども園	無回答			
145人	2.1%	15.9%	51.0%	13.8%	15.9%	1.4%			
3 区立小・中学生保護者調査									
回答者合計	小学2年生	小学5年生	中学2年生	無回答					
1,535人	36.0%	37.4%	25.2%	1.4%					
4 区立小・中学校教員調査									
回答者合計	小学校	中学校	無回答						
1,085人	63.4%	35.8%	0.8%						
5 社会教育関係者調査									
回答者合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
420人	0.2%	0.5%	1.4%	10.7%	26.4%	27.1%	24.5%	8.1%	1.0%

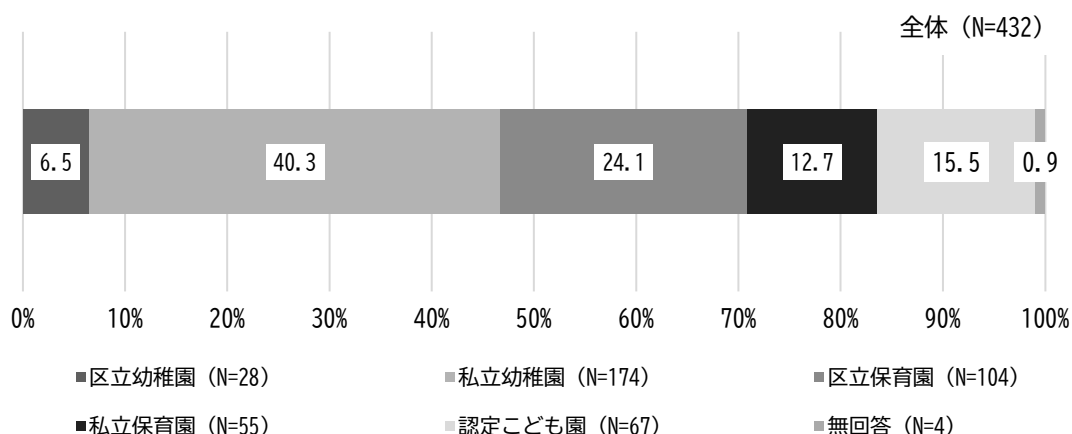
5 調査結果の読み方

- 図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数です。なお、回答者を限定する設問（前問に答えた人のみが回答する等）は限定後の人数が「回答者」となります。
- 図表の数値は、回答者における各選択肢の比率（%）を示しています。
- 集計結果（本文及び図表の数値）は小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位で示します。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）で選択肢比率の合計が100.0%にならない場合、複数回答（複数の選択肢を選ぶ方式）で選択肢比率の合計が100.0%を超える場合があります。このことは、本報告書内の読み取り文、グラフ、表においても反映しています。
- 回答者属性別集計（クロス集計）では、属性の「無回答」を非表示としています。そのため、全体（「無回答」を含む）と属性区分別人数の合計が異なる場合や、属性区分別の数値合計が100%にならない場合があります。
- 回答者の少ないデータ（回答者属性別集計の結果等）は統計的誤差の大きい場合があるため、数値の取り扱いには注意する必要があります。
- 語句が長い選択肢等は本文及び図表に一部を省略して表示している場合があります。

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果

問1 お子さんが通っている園を教えてください。(〇は1つ)

- お子さんが通っている園は、「区立幼稚園」が6.5%、「私立幼稚園」が40.3%、「区立保育園」が24.1%、「私立保育園」が12.7%、「認定こども園」が15.5%で続きます。
- 幼稚園に通っている子ども（「区立幼稚園」と「私立幼稚園」の合計）は46.8%、保育園に通っている子ども（「区立保育園」と「私立保育園」の合計）は36.8%となっています。



【前回調査との比較】

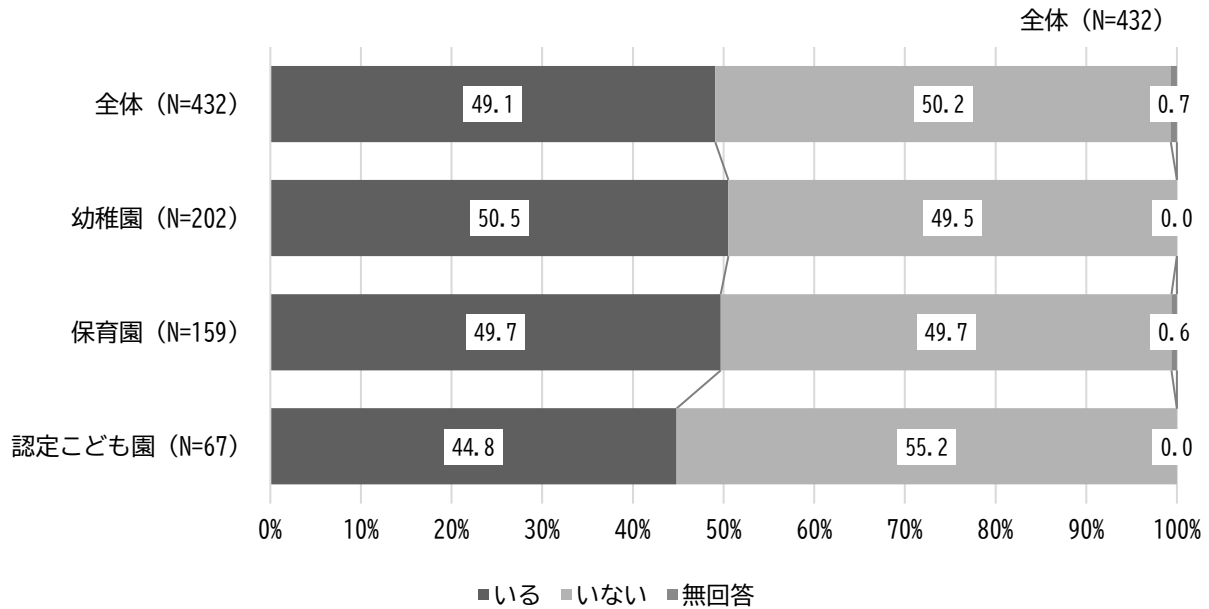
- 通園先の園種別の割合をみると、本調査では、平成29年度調査と比べて、幼稚園（「区立幼稚園」と「私立幼稚園」の合計）は多くなり、保育園（「区立保育園」と「私立保育園」の合計）はほぼ横ばい、認定こども園は少なくなっています。

■通園先の園種別の割合 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
幼稚園	46.8	43.8
保育園	36.8	35.9
認定こども園	15.5	20.4

問2 お子さんに小学生以上の兄弟姉妹はいますか。(〇は1つ)

- お子さんの小学生以上の兄弟姉妹の有無は、全体では「いる」が49.1%、「いない」が50.2%となっており、「いない」の方が多くなっています。
- 園種別にみると、「いる」については、幼稚園では50.5%、保育園では49.7%、認定こども園では44.8%です。



【前回調査との比較】

- 小学生以上の兄弟姉妹がいる割合をみると、本調査では、平成29年度調査と比べて、全体と幼稚園はほぼ横ばい、保育園は多くなり、認定こども園は少なくなっています。

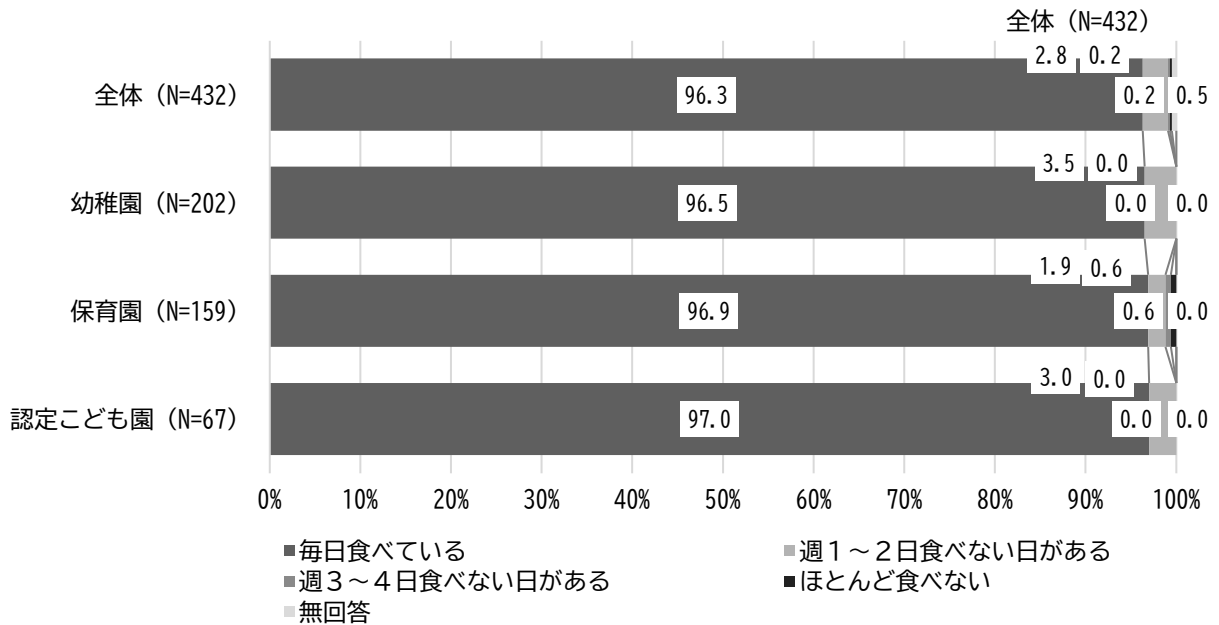
■小学生以上の兄弟姉妹がいる割合 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	49.1	48.8
幼稚園	50.5	49.9
保育園	49.7	47.4
認定こども園	44.8	48.7

1 家庭でのお子さんの様子や育児・家庭教育等についてお聞きします。

問3 お子さんは朝食を食べていますか。(〇は1つ)

- お子さんは朝食を食べているかは、全体では、「毎日食べている」が 96.3%で最も多く、「週1~2日食べない日がある」が 2.8%と続き、「週3~4日食べない日がある」と「ほとんど食べない」は0.2%となっています。
- 朝食を毎日食べている子どもは、幼稚園では 96.5%、保育園では 96.9%、認定こども園では 97.0%です。



【前回調査との比較】

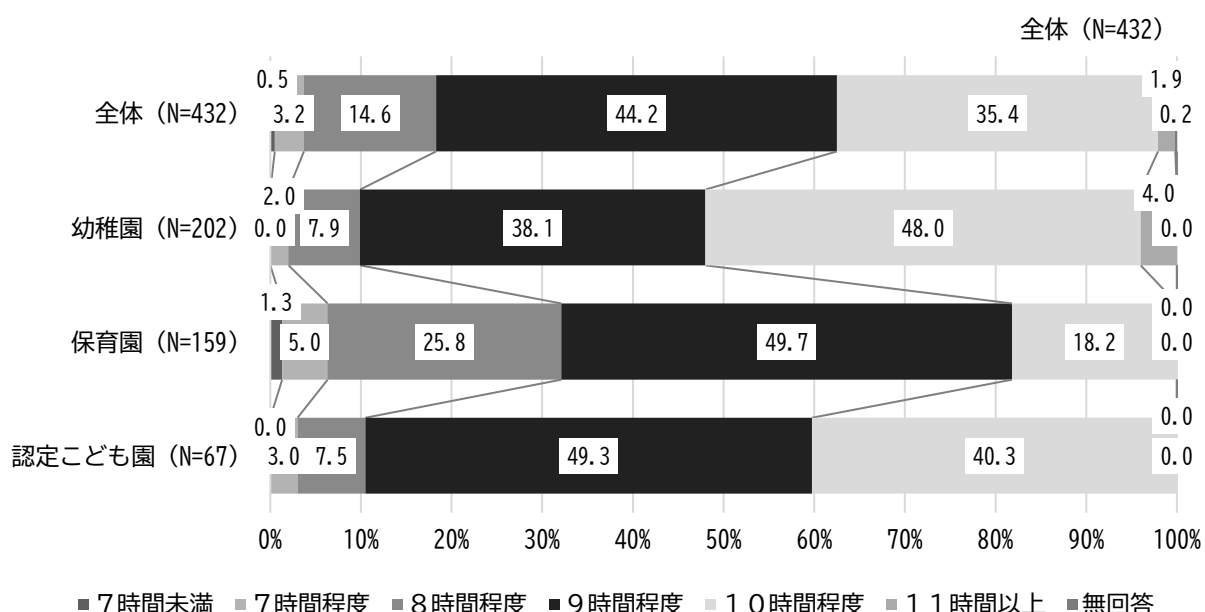
- 朝食を毎日食べている子どもの割合をみると、平成 29 年度調査と比べて、全ての属性で本調査が多くなっています。

■朝食を毎日食べている子どもの割合 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	96.3	94.0
幼稚園	96.5	94.7
保育園	96.9	91.7
認定こども園	97.0	96.6

問4 お子さんの1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。(〇は1つ)

- お子さんの1日の平均睡眠時間は、全体では、「9時間程度」が44.2%と最も多く、ついで「10時間程度」が35.4%、「8時間程度」が14.6%で続きます。
- 幼稚園では、「10時間程度」が48.0%と最も多く、ついで「9時間程度」が38.1%、「8時間程度」が7.9%で続きます。
- 保育園では、「9時間程度」が49.7%と最も多く、ついで「8時間程度」が25.8%、「10時間程度」が18.2%で続きます。
- 認定こども園では、「9時間程度」が49.3%と最も多く、ついで「10時間程度」が40.3%、「8時間程度」が7.5%で続きます。



【前回調査との比較】

- 子どもの1日の平均睡眠時間の割合の最上位をみると、平成29年度調査に比べて、本調査では認定こども園で「9時間程度」となり、睡眠時間が短くなっています。

■子どもの1日の平均睡眠時間の割合の最上位 (単位 %)

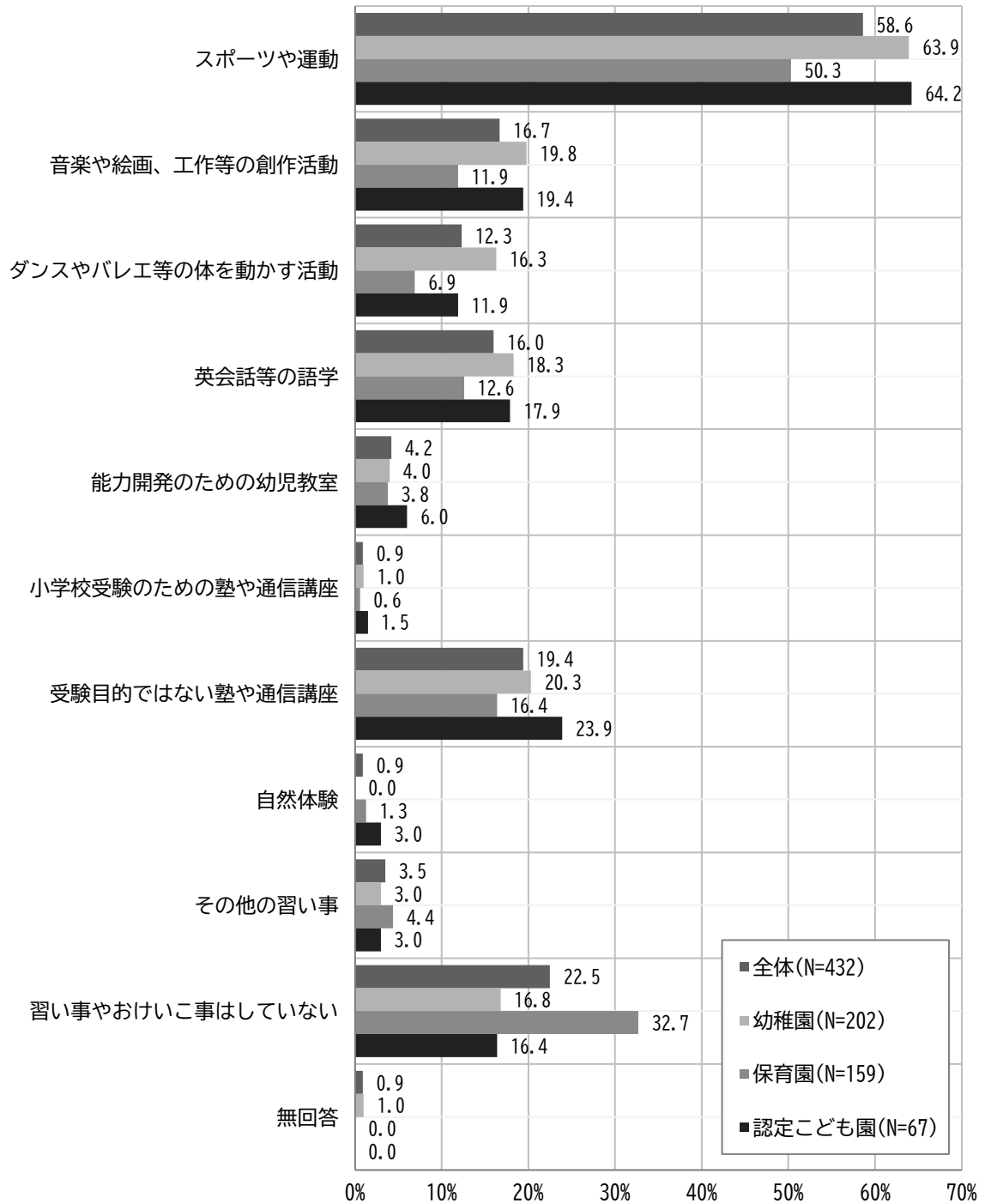
属性	令和4年	平成29年
全体	9時間程度 (44.2)	9時間程度 (43.2)
幼稚園	10時間程度 (48.0)	10時間程度 (47.2)
保育園	9時間程度 (49.7)	9時間程度 (49.1)
認定こども園	9時間程度 (49.3)	10時間程度 (53.6)

問5 お子さんは、習い事・おけいこ事をしていますか。(〇はいくつでも)

- お子さんの習い事・おけいこ事の有無は、全体では「スポーツや運動」が 58.6%と最も多く、ついで「習い事やおけいこ事はしていない」が 22.5%、「受験目的ではない塾や通信講座」が 19.4%で続きます。何らかの習い事をしている子どもは 76.6%です。(全体から「習い事やおけいこ事はしていない」と「無回答」を除いて算出しました。)
- 幼稚園では、「スポーツや運動」が 63.9%と最も多く、ついで「受験目的ではない塾や通信講座」が 20.3%、「音楽や絵画、工作等の創作活動」が 19.8%で続きます。
- 保育園では、「スポーツや運動」が 50.3%と最も多く、ついで「習い事やおけいこ事はしていない」が 32.7%、「受験目的ではない塾や通信講座」が 16.4%で続きます。
- 認定こども園では、「スポーツや運動」が 64.2%と最も多く、ついで「受験目的ではない塾や通信講座」が 23.9%、「音楽や絵画、工作等の創作活動」が 19.4%で続きます。
- 何らかの習い事をしている子どもは、幼稚園では 82.2%、保育園では 67.3%、認定こども園では 83.6%です。

(グラフは次ページ)

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



【過去の調査結果との比較】

○ お子さんの習い事・おけいこ事の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、全ての属性で「スポーツや運動」が最上位となっています。

■ 習い事・おけいこ事をしている子どもの割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	スポーツや運動（58.6）	スポーツや運動（57.9）
幼稚園	スポーツや運動（63.9）	スポーツや運動（60.4）
保育園	スポーツや運動（50.3）	スポーツや運動（44.1）
認定こども園	スポーツや運動（64.2）	スポーツや運動（76.6）

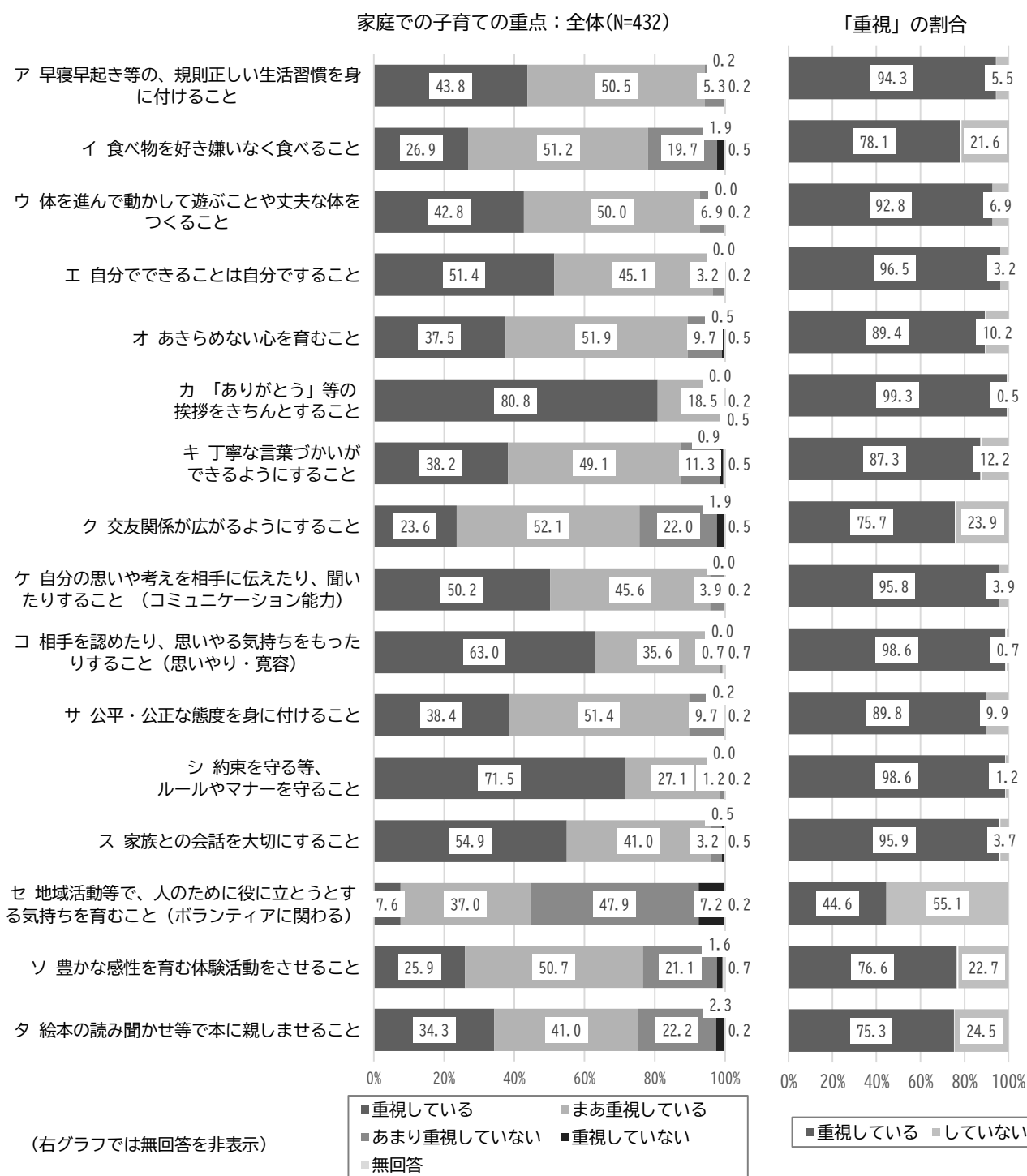
問6 ご家庭では、どのようなことに重点をおいて子育てを行っていますか。（○はそれぞれ1つずつ）

【全体】

- 家庭での子育てで重点をおくことについて、グラフの右側をみると、「セ 地域活動等で、人のために役に立とうとする気持ちを育むこと（ボランティアに関わる）」（44.6%）以外の全ての項目で、重視している保護者（「重視している」と「まあ重視している」の合計）の方が多くなっています。
- グラフの左側をみると、「重視している」が5割を上回っている項目は、「エ 自分でできることは自分ですること」（51.4%）、「カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること」（80.8%）、「ケ 自分の思いや考えを相手に伝えたり、聞いたりすること（コミュニケーション能力）」（50.2%）、「コ 相手を認めたり、思いやる気持ちをもったりすること（思いやり・寛容）」（63.0%）、「シ 約束を守る等、ルールやマナーを守ること」（71.5%）、「ス 家族との会話を大切にすること」（54.9%）です。

（グラフは次ページ）

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



【前回調査との比較】

○ 家庭での子育てで重点をおくことの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること」が最上位となっています。

■家庭での子育てで重点をおくことの割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること (80.8)	カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること (82.1)

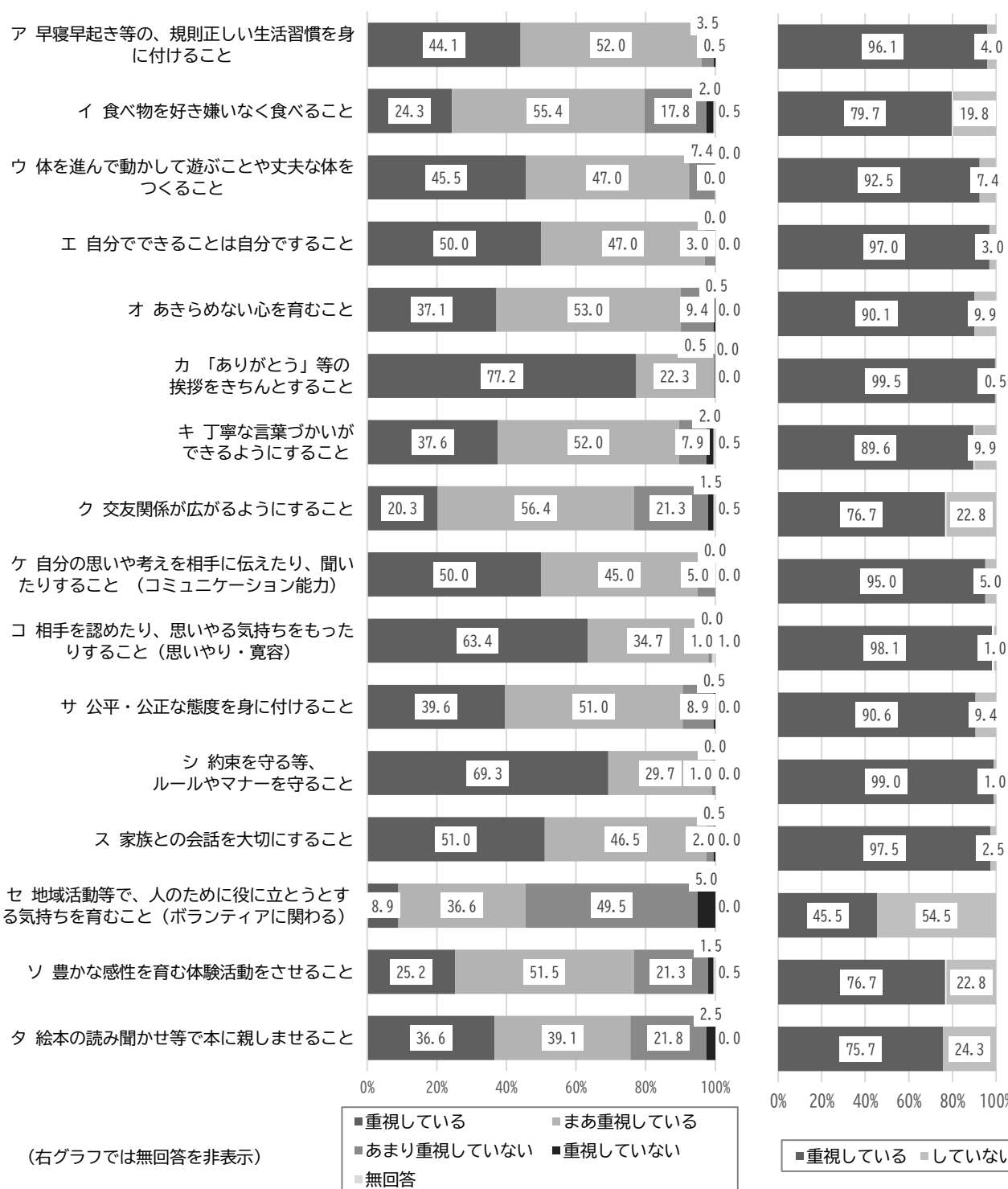
【幼稚園】

- 幼稚園では、グラフの右側をみると、「セ 地域活動等で、人のために役に立とうとする気持ちを育むこと（ボランティアに関わる）」（45.5%）以外の全ての項目で、重視している保護者（「重視している」と「まあ重視している」の合計）の方が多くなっています。
- グラフの左側をみると、「重視している」が5割以上となっている項目は、「エ 自分でできることは自分ですること」（50.0%）、「カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること」（77.2%）、「ケ 自分の思いや考えを相手に伝えたり、聞いたりすること（コミュニケーション能力）」（50.0%）、「コ 相手を認めたり、思いやる気持ちをもったりすること（思いやり・寛容）」（63.4%）、「シ 約束を守る等、ルールやマナーを守ること」（69.3%）、「ス 家族との会話を大切にすること」（51.0%）です。

（グラフは次ページ）

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果

家庭での子育ての重点：幼稚園(N=202)



【前回調査との比較】

- 家庭での子育てで重点をおくことの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること」が最上位となっています。

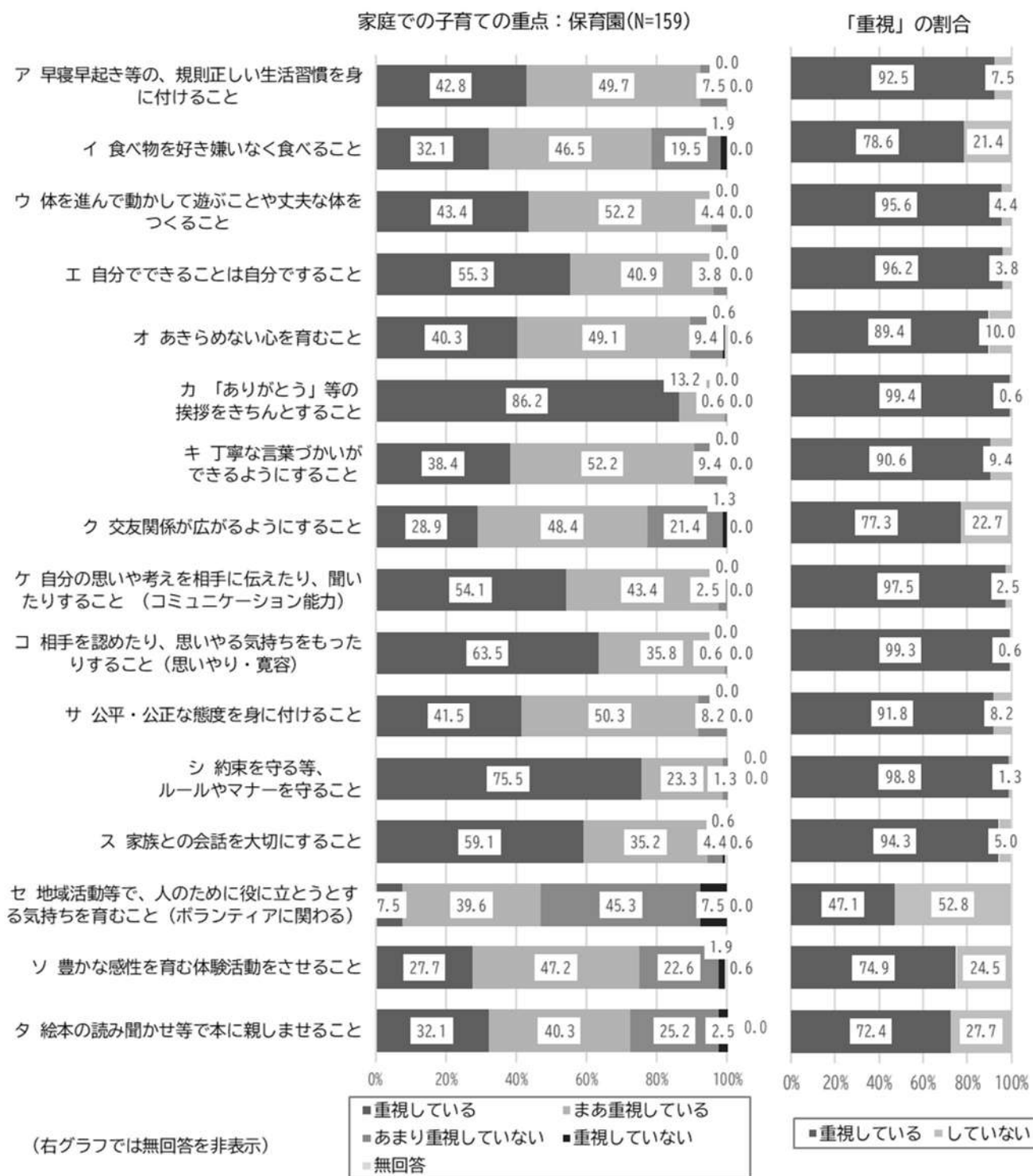
■家庭での子育てで重点をおくことの割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
幼稚園	カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること (77.2)	カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること (82.7)

【保育園】

- 保育園では、グラフの右側をみると、「セ 地域活動等で、人のために役に立とうとする気持ちを育むこと（ボランティアに関わる）」（47.1%）以外の全ての項目で、重視している保護者（「重視している」と「まあ重視している」の合計）の方が多くなっています。
- グラフの左側をみると、「重視している」が5割以上となっているのは、「エ 自分でできることは自分ですること」（55.3%）、「カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること」（86.2%）、「ケ 自分の思いや考えを相手に伝えたり、聞いたりすること（コミュニケーション能力）」（54.1%）、「コ 相手を認めたり、思いやる気持ちをもったりすること（思いやり・寛容）」（63.5%）、「シ 約束を守る等、ルールやマナーを守ること」（75.5%）、「ス 家族との会話を大切にすること」（59.1%）です。

（グラフは次ページ）



【前回調査との比較】

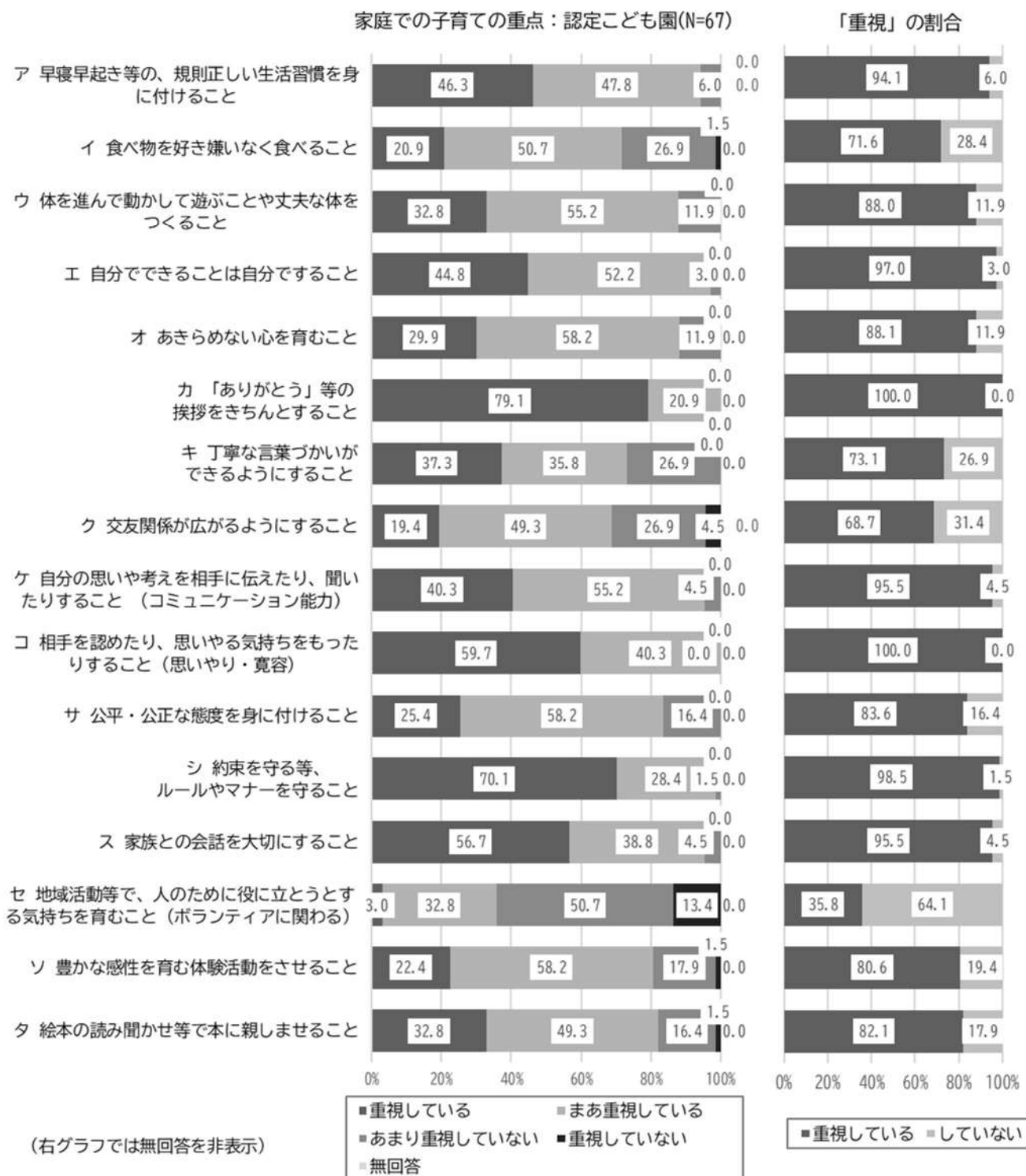
○ 家庭での子育てで重点をおくことの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること」が最上位となっています。

■家庭での子育てで重点をおくことの割合の最上位 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
保育園	カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること (86.2)	カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること (83.5)

【認定こども園】

- 認定こども園では、グラフの右側をみると、「セ 地域活動等で、人のために役に立とうとする気持ちを育むこと（ボランティアに関わる）」（35.8%）以外の全ての項目で、重視している保護者（「重視している」と「まあ重視している」の合計）の方が多くなっています。
- グラフの左側をみると、「重視している」が5割以上となっているのは、「カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること」（79.1%）、「コ 相手を認めたり、思いやる気持ちをもったりすること（思いやり・寛容）」（59.7%）、「シ 約束を守る等、ルールやマナーを守ること」（70.1%）、「ス 家族との会話を大切にすること」（56.7%）です。



【前回調査との比較】

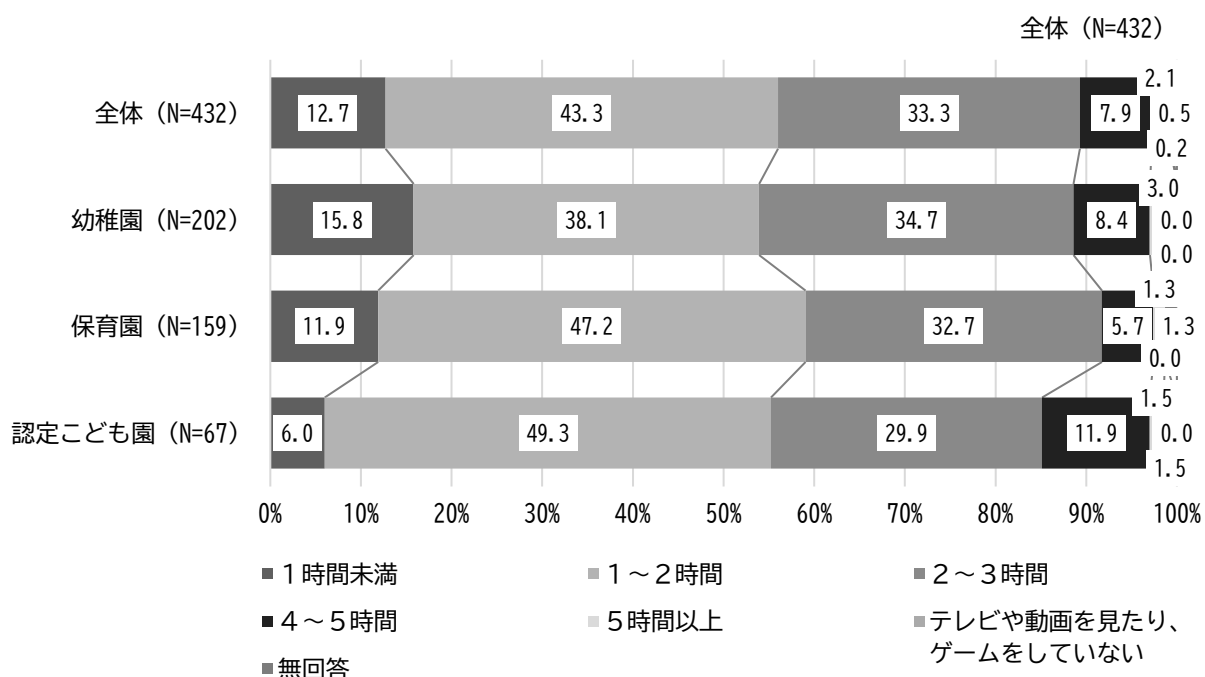
- 家庭での子育てで重点をおくことの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること」が最上位となっています。

■家庭での子育てで重点をおくことの割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
認定こども園	カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること (79.1)	カ 「ありがとう」等の挨拶をきちんとすること (78.2)

問7 一日のうち、お子さんはどのぐらいの時間、テレビや動画を見たり、ゲームをしたりしていますか。（スマートフォンやタブレット端末等の電子機器を含みます。）（○は1つ）

- お子さんの一日のテレビや動画を見たり、ゲームをしたりする時間は、全体では、「1～2 時間」が43.3%と最も多く、ついで「2～3 時間」が33.3%、「1 時間未満」が12.7%で続きます。
- 幼稚園では、「1～2 時間」が38.1%と最も多く、ついで「2～3 時間」が34.7%、「1 時間未満」が15.8%で続きます。
- 保育園では、「1～2 時間」が47.2%と最も多く、ついで「2～3 時間」が32.7%、「1 時間未満」が11.9%で続きます。
- 認定こども園では、「1～2 時間」が49.3%と最も多く、ついで「2～3 時間」が29.9%、「4～5 時間」が11.9%で続きます。



【前回調査との比較】

- お子さんの一日のテレビや動画を見たり、ゲームをしたりする時間の割合をみると、平成29年度調査と比べて、認定こども園で最上位が「2～3 時間」から「1～2 時間」になっています。

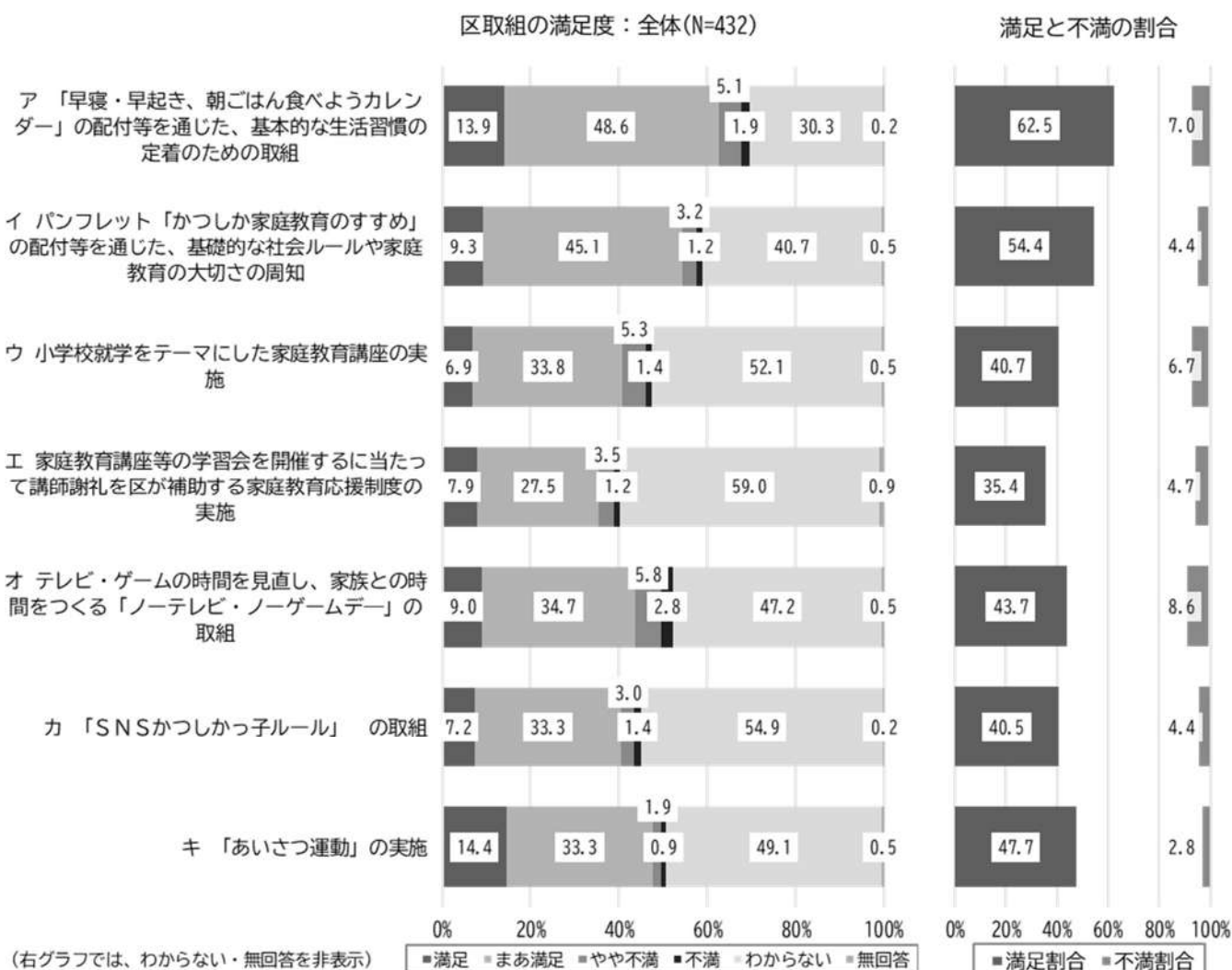
■一日のうち、子どもがテレビや動画を見たり、ゲームをしたりしている時間の割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	1～2 時間 (43.3)	1～2 時間・2～3 時間 (36.1)
幼稚園	1～2 時間 (38.1)	1～2 時間 (38.0)
保育園	1～2 時間 (47.2)	1～2 時間 (35.9)
認定こども園	1～2 時間 (49.3)	2～3 時間 (36.4)

問 8 区では、家庭教育の充実を目的として様々な取組を進めています。以下の取組における満足度をお聞かせください。（〇はそれぞれ1つずつ）

【全体】

- 家庭教育に関する区の実施について、グラフの右側をみると、全体では、全項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- 満足している割合の上位は、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」（62.5%）、「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」（54.4%）、「キ 「あいさつ運動」の実施」（47.7%）です。



【前回調査との比較】

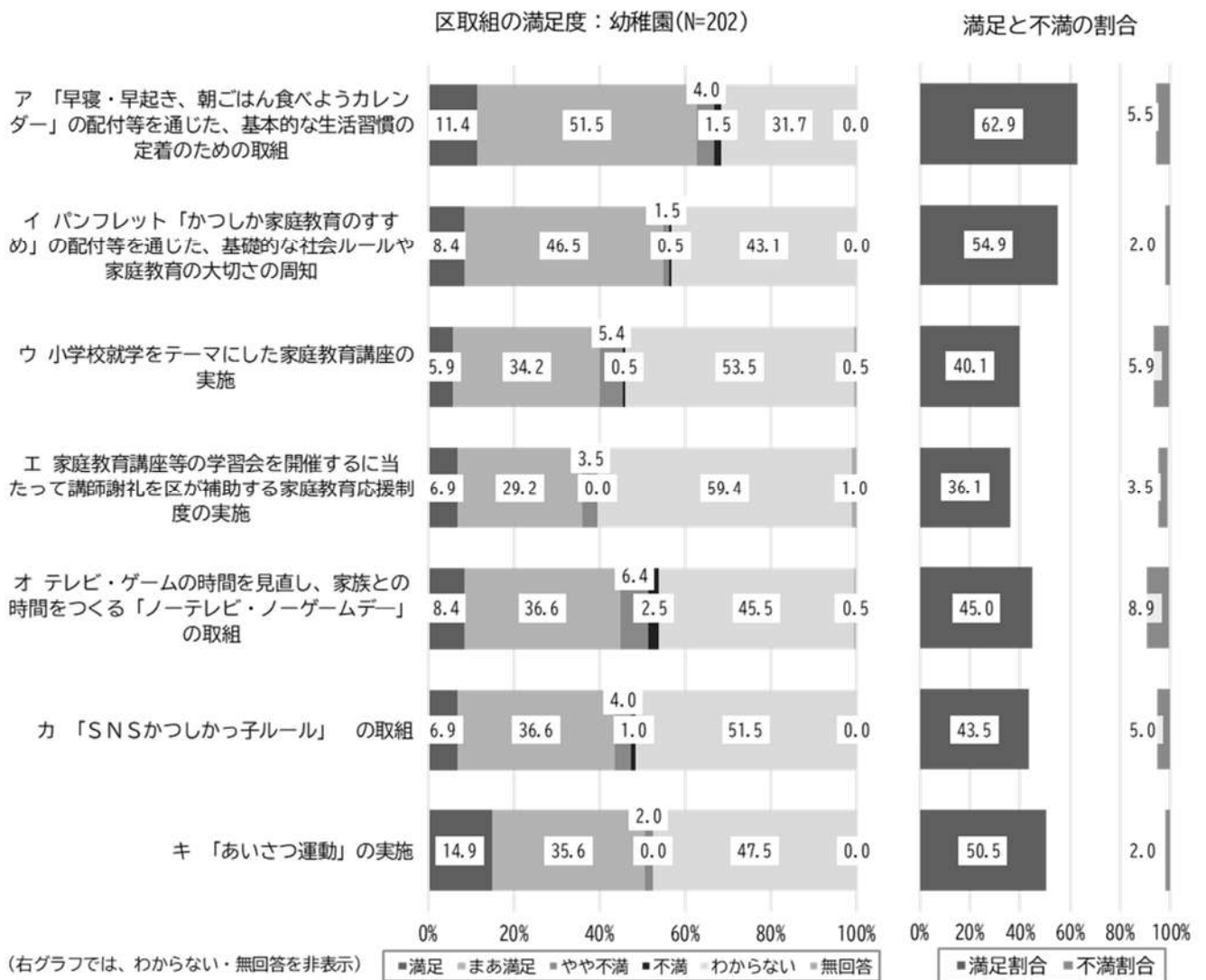
- 満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が1位となっています。
- 平成29年度調査と比べて、本調査では2位が「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」、3位が「キ 「あいさつ運動」の実施」となり、本調査では順位が入れ替わっています。

■満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の割合の上位3位（単位：%）

順位	令和4年	平成29年
1位	ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組（62.5）	ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組（65.9）
2位	イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知（54.4）	キ 「あいさつ運動」の実施（62.8）
3位	キ 「あいさつ運動」の実施（47.7）	イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知（58.0）

【幼稚園】

- 幼稚園では、グラフの右側をみると、全項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- 満足している割合の上位は、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」（62.9%）、「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」（54.9%）、「キ 「あいさつ運動」の実施」（50.5%）です。



【前回調査との比較】

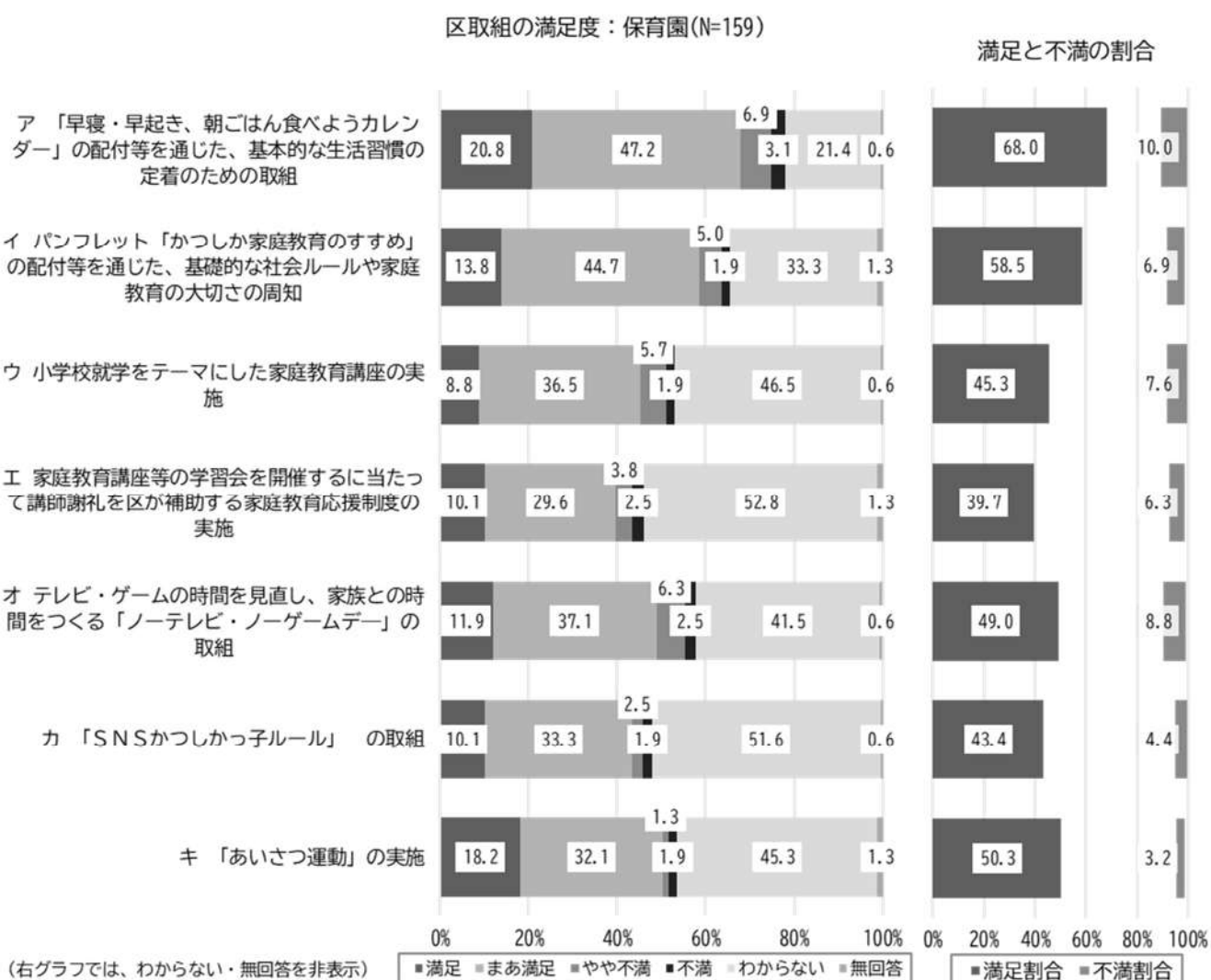
- 満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が最上位となっています。
- 平成29年度調査と比べて、本調査では2位が「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」、3位が「キ 「あいさつ運動」の実施」となり、本調査では順位が入れ替わっています。

■満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の割合の上位3位（単位：%）

順位	令和4年	平成29年
1位	ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組（62.9）	ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組（63.3）
2位	イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知（54.9）	キ 「あいさつ運動」の実施（62.0）
3位	キ 「あいさつ運動」の実施（50.5）	イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知（55.2）

【保育園】

- 保育園では、グラフの右側をみると、全項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- 満足している割合の上位は、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」（68.0%）、「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」（58.5%）、「キ 「あいさつ運動」の実施」（50.3%）です。



【前回調査との比較】

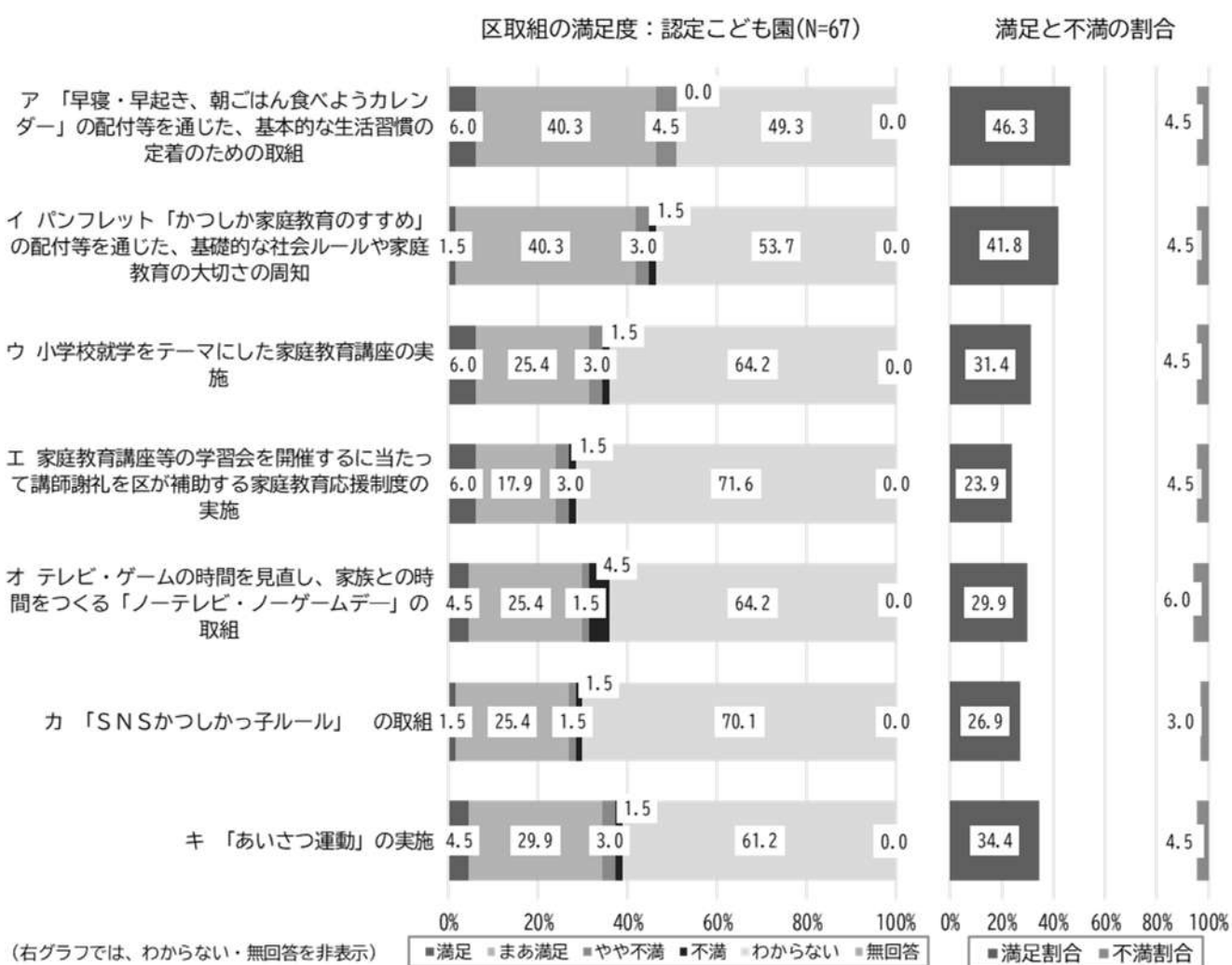
- 満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が最上位となっています。
- 平成29年度調査と比べて、本調査では2位が「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」、3位が「キ 「あいさつ運動」の実施」となり、本調査では順位が入れ替わっています。

■満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の割合の上位3位（単位：%）

順位	令和4年	平成29年
1位	ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組（68.0）	ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組（71.7）
2位	イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知（58.5）	キ 「あいさつ運動」の実施（64.0）
3位	キ 「あいさつ運動」の実施（50.3）	イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知（60.2）

【認定こども園】

- 認定こども園では、グラフの右側をみると、全項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- 満足している割合の上位は、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」（46.3%）、「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」（41.8%）、「キ 「あいさつ運動」の実施」（34.4%）です。



【前回調査との比較】

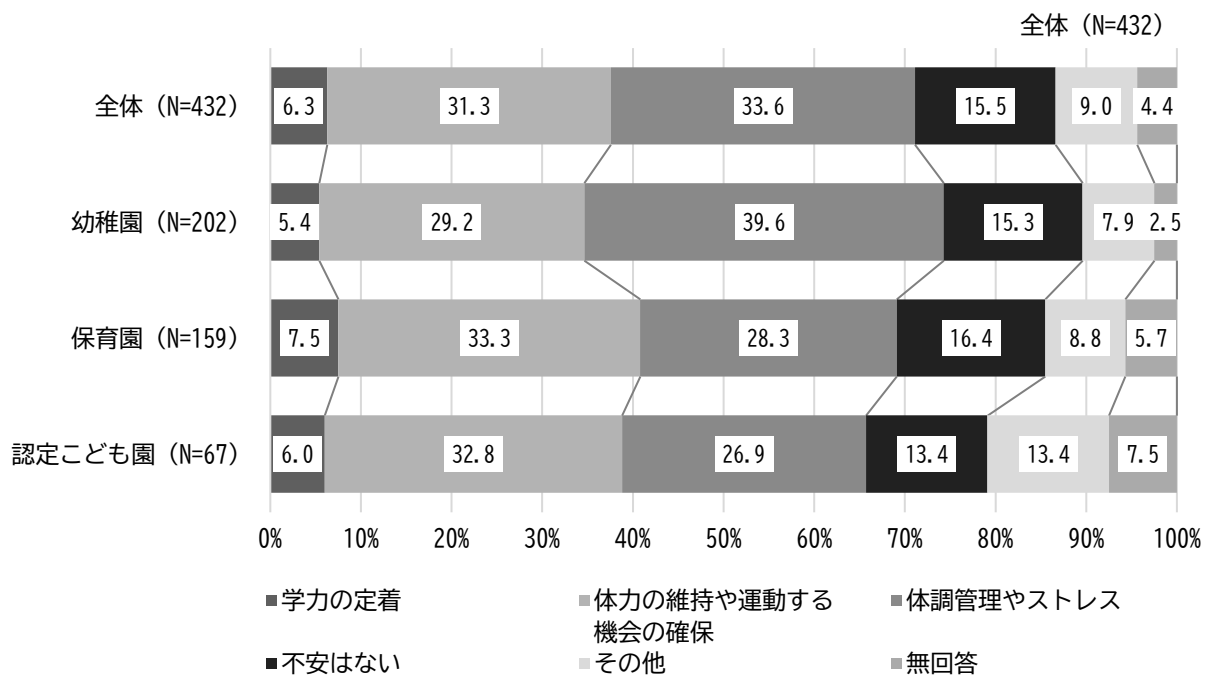
- 満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の割合をみると、平成29年度調査では「キ「あいさつ運動」の実施」が最上位でしたが、本調査では「ア「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が最上位となっています。

■満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の割合の上位3位（単位 %）

順位	令和4年	平成29年
1位	ア「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組（46.3）	キ「あいさつ運動」の実施（62.5）
2位	イパンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知（41.8）	ア「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組（61.3）
3位	キ「あいさつ運動」の実施（34.4）	イパンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知（60.2）

問9 コロナ禍の暮らしで、お子さんのことで特に不安なことはありますか。（〇は1つ）

- コロナ禍の暮らしで、お子さんのことで特に不安なことは、全体では、「体調管理やストレス」が33.6%と最も多く、ついで「体力の維持や運動する機会の確保」が31.3%、「不安はない」が15.5%で続きます。
- 幼稚園では、「体調管理やストレス」が39.6%と最も多く、ついで「体力の維持や運動する機会の確保」が29.2%、「不安はない」が15.3%で続きます。
- 保育園では、「体力の維持や運動する機会の確保」が33.3%と最も多く、ついで「体調管理やストレス」が28.3%、「不安はない」が16.4%で続きます。
- 認定こども園では、「体力の維持や運動する機会の確保」が32.8%と最も多く、ついで「体調管理やストレス」が26.9%、「不安はない」と「その他」が13.4%で続きます。

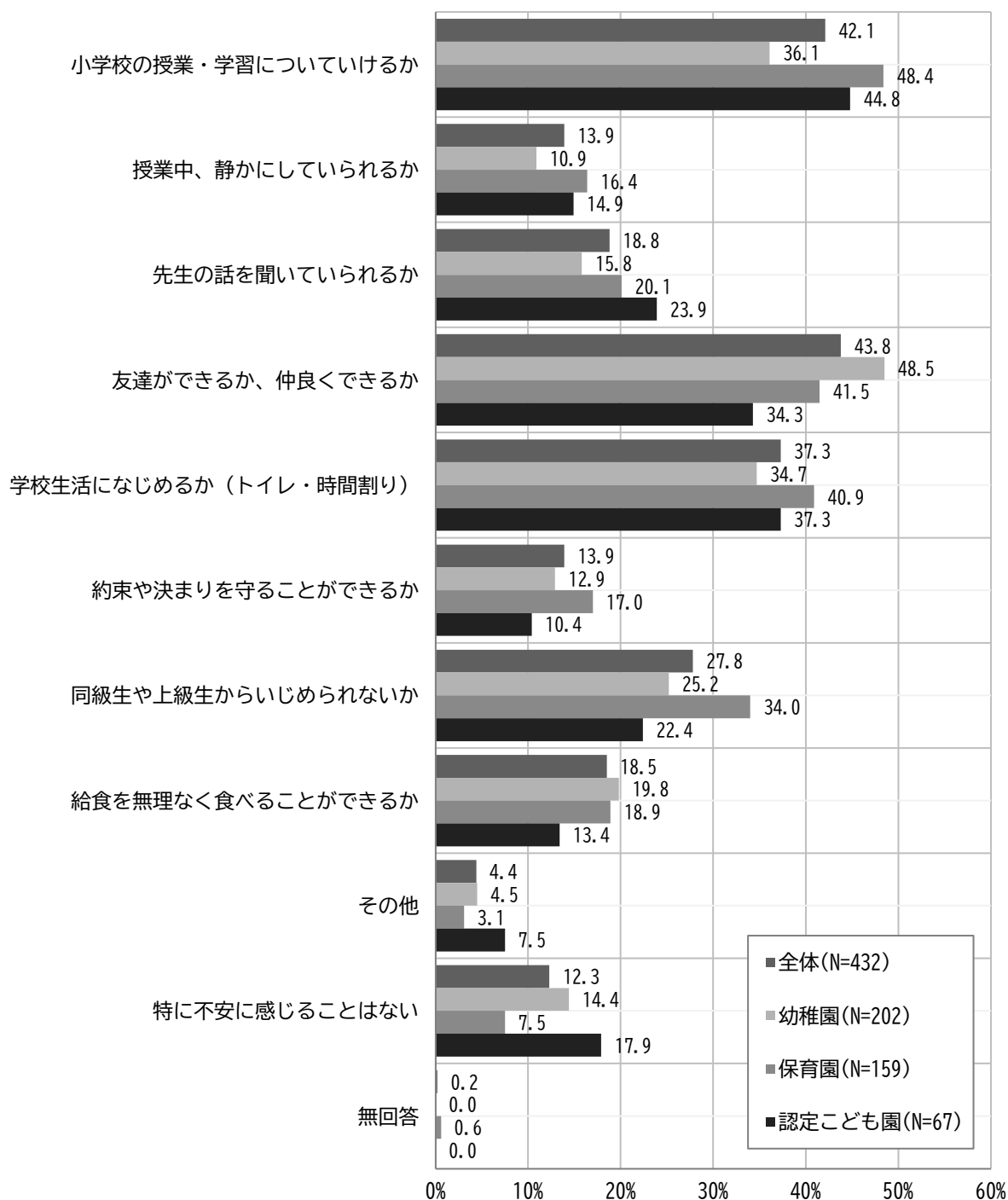


2 お子さんの小学校入学についてお聞きします。

問10 お子さんの小学校入学に向けて、特に不安に感じることはありますか。(〇は3つまで)

- お子さんの小学校入学に向けて特に不安に感じることは、全体では、「友達ができるか、仲良くできるか」が43.8%と最も多く、ついで「小学校の授業・学習についていけるか」が42.1%、「学校生活になじめるか(トイレ・時間割り)」が37.3%で続きます。何らかの不安を感じている保護者は87.5%です。(全体から「特に不安に感じることはない」と「無回答」を除いて算出しました。)
- 幼稚園では、「友達ができるか、仲良くできるか」が48.5%と最も多く、ついで「小学校の授業・学習についていけるか」が36.1%、「学校生活になじめるか(トイレ・時間割り)」が34.7%で続きます。
- 保育園では、「小学校の授業・学習についていけるか」が48.4%と最も多く、ついで「友達ができるか、仲良くできるか」が41.5%、「学校生活になじめるか(トイレ・時間割り)」が40.9%で続きます。
- 認定こども園では、「小学校の授業・学習についていけるか」が44.8%と最も多く、ついで「学校生活になじめるか(トイレ・時間割り)」が37.3%、「友達ができるか、仲良くできるか」が34.3%で続きます。
- 何らかの不安を感じている保護者は、幼稚園では85.6%、保育園では91.9%、認定こども園では82.1%です。

(グラフは次ページ)



【前回調査との比較】

- 子どもの小学校入学に向けて、特に不安に感じていることの割合をみると、平成29年度調査では、全ての属性で「小学校の授業・学習についていけるか」が最上位でしたが、本調査では、全体と幼稚園で「友達ができるか、仲良くできるか」が最上位となっています。

■子どもの小学校入学に向けて、特に不安に感じていることの割合の最上位 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	友達ができるか、仲良くできるか (43.8)	小学校の授業・学習についていけるか (48.3)
幼稚園	友達ができるか、仲良くできるか (48.5)	小学校の授業・学習についていけるか (49.7)
保育園	小学校の授業・学習についていけるか (48.4)	小学校の授業・学習についていけるか (46.3)
認定こども園	小学校の授業・学習についていけるか (44.8)	小学校の授業・学習についていけるか (48.7)

問11 お子さんの小学校入学に際して、幼稚園、保育園、認定こども園または小学校で特に行って欲しい取組はありますか。（〇は3つまで）

- お子さんの小学校入学に際して、幼稚園、保育園、認定こども園または小学校で特に行って欲しい取組は、全体では、「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が48.6%と最も多く、ついで「子どもが小学校での授業を体験する」が42.6%、「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が32.2%で続きます。
- 幼稚園では、「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が46.0%と最も多く、ついで「子どもが小学校での授業を体験する」が40.1%、「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が33.7%で続きます。
- 保育園では、「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が52.8%と最も多く、ついで「子どもが小学校での授業を体験する」が46.5%、「子どもが小学生と交流する機会をつくる」が37.7%で続きます。
- 認定こども園では、「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が47.8%と最も多く、ついで「子どもが小学校での授業を体験する」と「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が38.8%で続きます。

（グラフは次ページ）

【前回調査との比較】

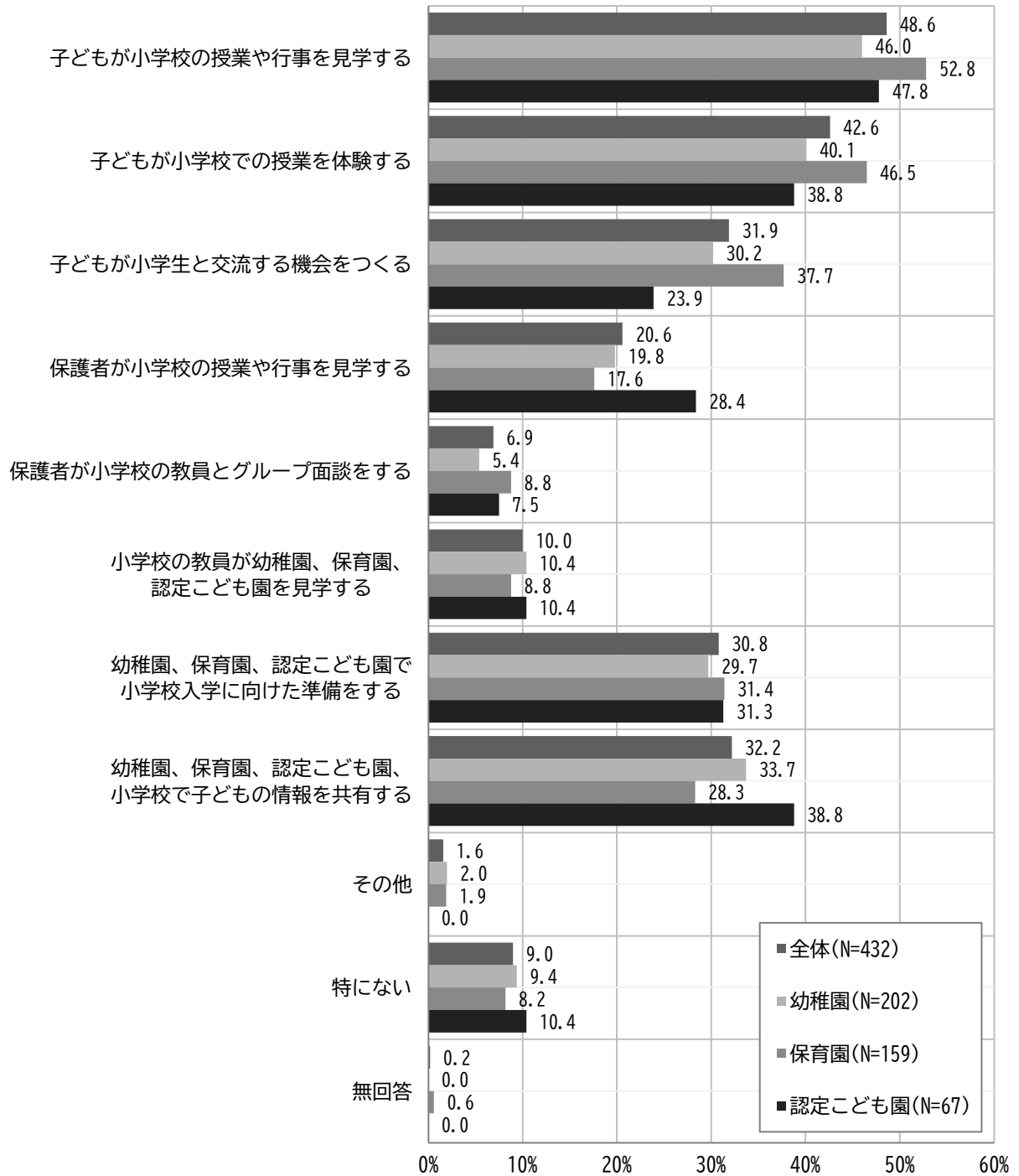
- 子どもの小学校入学に際して、幼稚園、保育園、認定こども園または小学校で特に行って欲しい取組の割合をみると、平成29年度調査では、全ての属性で「幼稚園・保育園で小学校入学に向けた準備をする」が最上位でしたが、本調査では、全ての属性で「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が最上位となっています。

■子どもの小学校入学に際して、幼稚園、保育園、認定こども園または小学校で特に行って欲しい取組の割合の最上位

（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	子どもが小学校の授業や行事を見学する (48.6)	幼稚園・保育園で小学校入学に向けた準備をする (44.8)
幼稚園	子どもが小学校の授業や行事を見学する (46.0)	幼稚園・保育園で小学校入学に向けた準備をする (44.7)
保育園	子どもが小学校の授業や行事を見学する (52.8)	幼稚園・保育園で小学校入学に向けた準備をする (46.7)
認定こども園	子どもが小学校の授業や行事を見学する (47.8)	幼稚園・保育園で小学校入学に向けた準備をする (41.4)

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



問12 お子さんが通う予定の小学校に関して事前に知りたいと思うことはありますか。（〇は3つまで）

- お子さんが通う予定の小学校に関して事前に知りたいことは、全体では、「安全な登下校に関してどのような取組をしているのか」が 52.5%と最も多く、ついで「子どもが最初からついていけるように授業を進めてくれるのか」が 33.8%、「PTAはどのような活動をしているのか」が 31.3%で続きます。何らかの情報提供を求めている保護者は 84.0%です。（全体から「特になし」と「無回答」を除いて算出しました。）
- 幼稚園では、「安全な登下校に関してどのような取組をしているのか」が 50.5%と最も多く、ついで「子どもが最初からついていけるように授業を進めてくれるのか」が 29.7%、「親はどこまで子どもの勉強にかかわったらよいのか」が 29.2%で続きます。
- 保育園では、「安全な登下校に関してどのような取組をしているのか」が 52.2%と最も多く、ついで「PTAはどのような活動をしているのか」が 39.6%、「子どもが最初からついていけるように授業を進めてくれるのか」が 39.0%で続きます。
- 認定こども園では、「安全な登下校に関してどのような取組みをしているのか」が 56.7%と最も多く、ついで「子どもが最初からついていけるように授業を進めてくれるのか」が 34.3%、「親はどこまで子どもの勉強にかかわったらよいのか」が 28.4%で続きます。
- 何らかの情報提供を求めている保護者は、幼稚園では 81.2%、保育園では 85.5%、認定こども園では 88.1%です。

（グラフは次ページ）

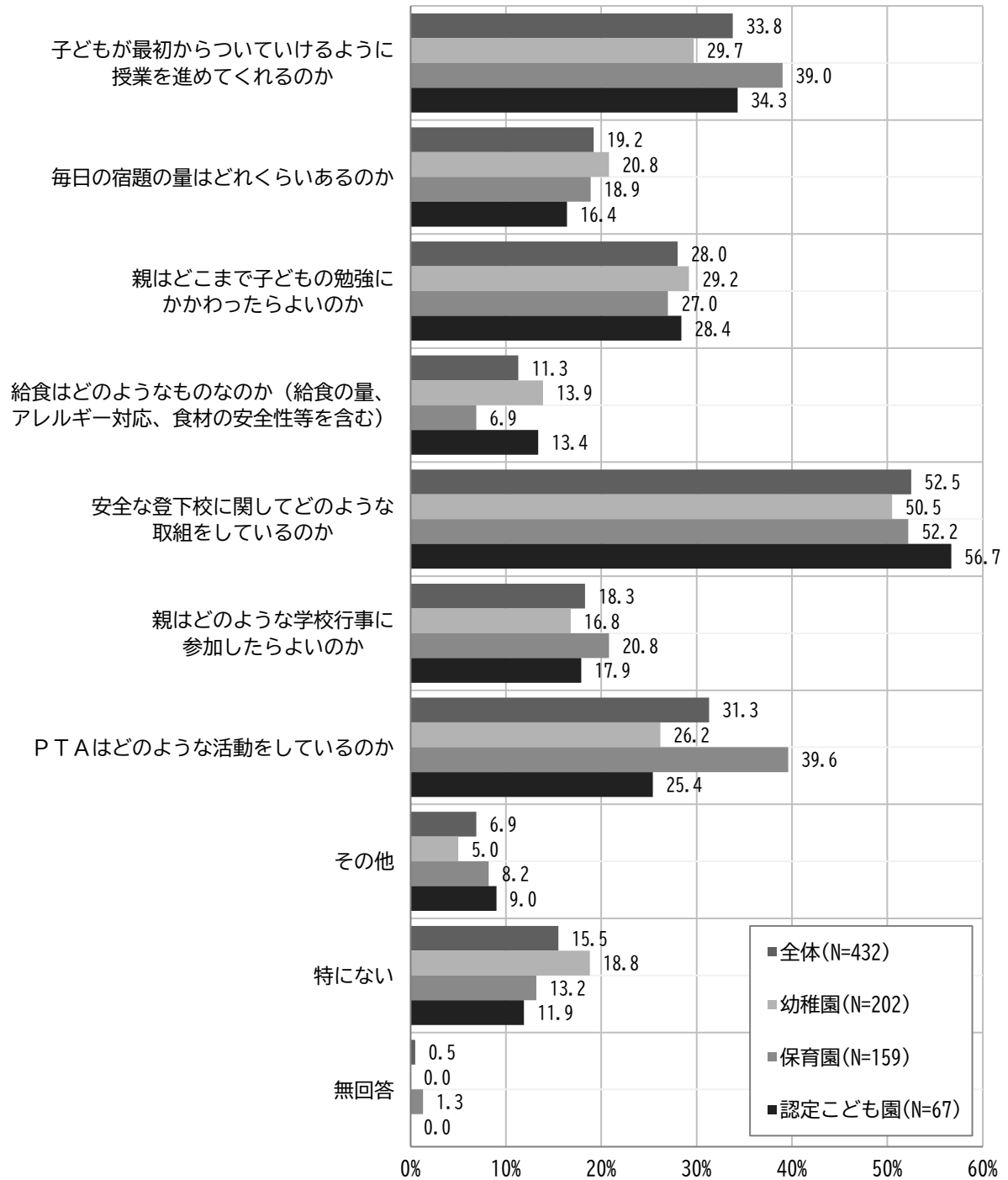
【前回調査との比較】

- 子どもが通う予定の小学校に関して事前に知りたいと思うことの割合をみると、本調査、平成 29 年度調査ともに、全ての属性で「安全な登下校に関してどのような取組をしているのか」が最上位となっています。
- また、平成 29 年度調査では全ての属性で 4 割台でしたが、本調査では全ての属性で 5 割を超えています。

■子どもが通う予定の小学校に関して事前に知りたいと思うことの割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	安全な登下校に関してどのような取組をしているのか (52.5)	安全な登下校に関してどのような取組をしているのか (45.4)
幼稚園	安全な登下校に関してどのような取組をしているのか (50.5)	安全な登下校に関してどのような取組をしているのか (44.4)
保育園	安全な登下校に関してどのような取組をしているのか (52.2)	安全な登下校に関してどのような取組をしているのか (48.9)
認定こども園	安全な登下校に関してどのような取組をしているのか (56.7)	安全な登下校に関してどのような取組をしているのか (41.4)

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



問13 お子さんが通う予定の小学校において、特に期待することはありますか。（〇は3つまで）

- お子さんが通う予定の小学校において、特に期待することは、全体では、「相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと」が54.6%と最も多く、ついで「集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること」が54.2%、「学ぶ意欲を育むこと」が50.9%で続きます。
- 幼稚園では、「相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと」と「集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること」が56.9%と最も多く、ついで「学ぶ意欲を育むこと」が53.5%で続きます。
- 保育園では、「集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること」が53.5%と最も多く、ついで「相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと」が49.7%、「学ぶ意欲を育むこと」が47.8%で続きます。
- 認定こども園では、「相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと」が59.7%と最も多く、ついで「学ぶ意欲を育むこと」が50.7%、「集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること」が47.8%で続きます。

（グラフは次ページ）

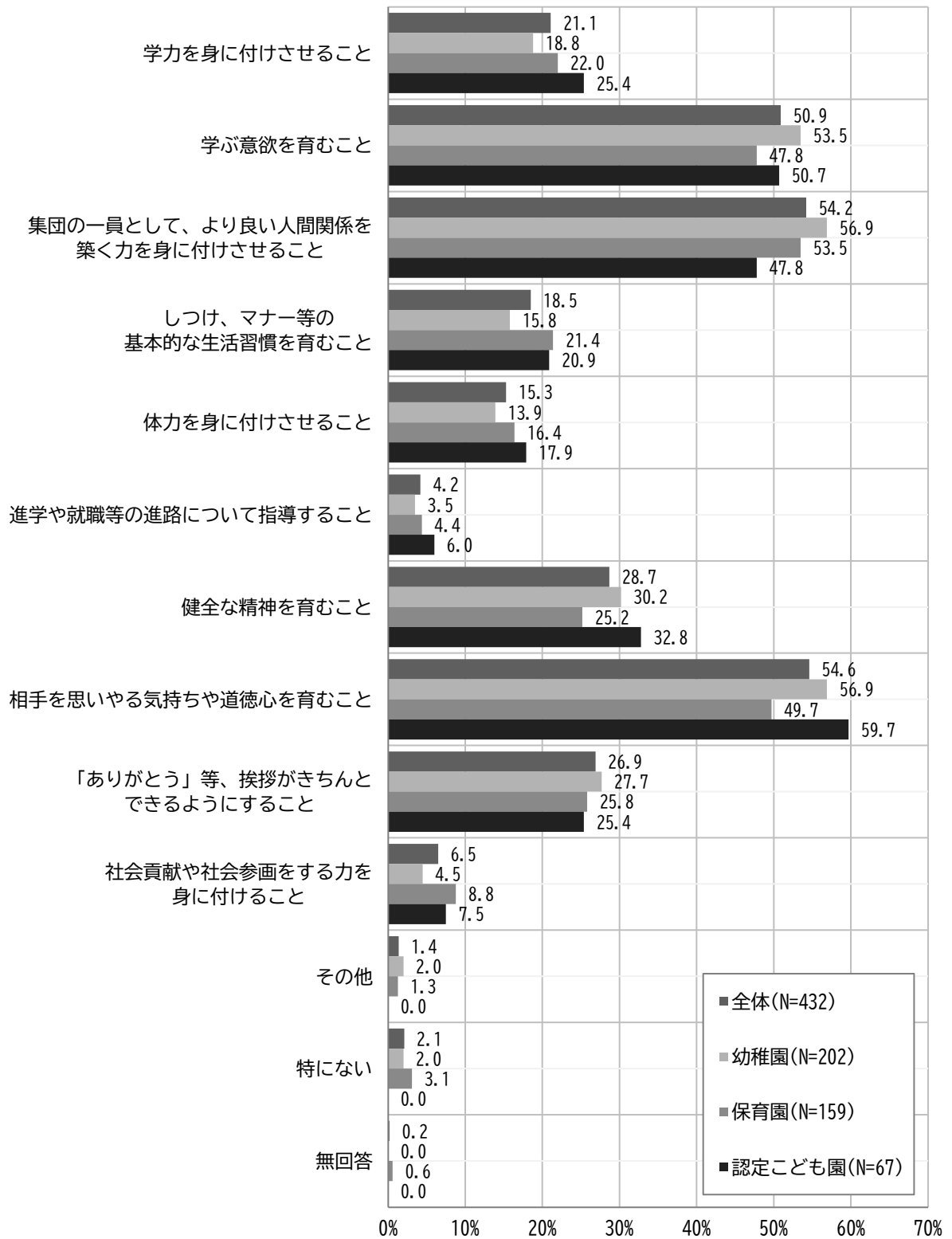
【前回調査との比較】

- 子どもが通う予定の小学校に特に期待することの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、全体、幼稚園で「相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと」が最上位となっています。
- 平成29年度調査からの変化は、保育園では「学ぶ意欲を育むこと」から「集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること」、認定こども園では「基礎的な学力を身に付けさせること」から「相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと」が本調査で最上位となっています。

■子どもが通う予定の小学校に特に期待することの割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと (54.6)	相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと (52.2)
幼稚園	相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと (56.9) 集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること (56.9)	相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと (55.6)
保育園	集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること (53.5)	学ぶ意欲を育むこと (48.7)
認定こども園	相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと (59.7)	基礎的な学力を身に付けさせること (54.4)

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



問 14 お子さんが通う予定の小学校において、特に力を入れて取り組んで欲しい教育内容はありますか。（〇はいくつでも）

- お子さんが通う予定の小学校において、特に力を入れて取り組んで欲しい教育内容は、全体では、「いじめのない学校生活にする」が 65.3%と最も多く、ついで「道徳や思いやりの気持ちを育む」が 58.1%、「自然体験や生物に触れる」が 47.9%で続きます。
- 幼稚園では、「いじめのない学校生活にする」が 65.8%と最も多く、ついで「道徳や思いやりの気持ちを育む」が 57.4%、「自然体験や生物に触れる」が 47.5%で続きます。
- 保育園では、「いじめのない学校生活にする」が 67.3%と最も多く、ついで「道徳や思いやりの気持ちを育む」が 58.5%、「自然体験や生物に触れる」が 49.7%で続きます。
- 認定こども園では、「いじめのない学校生活にする」と「道徳や思いやりの気持ちを育む」が 59.7%と最も多く、ついで「自然体験や生物に触れる」が 44.8%で続きます。

（グラフは次ページ）

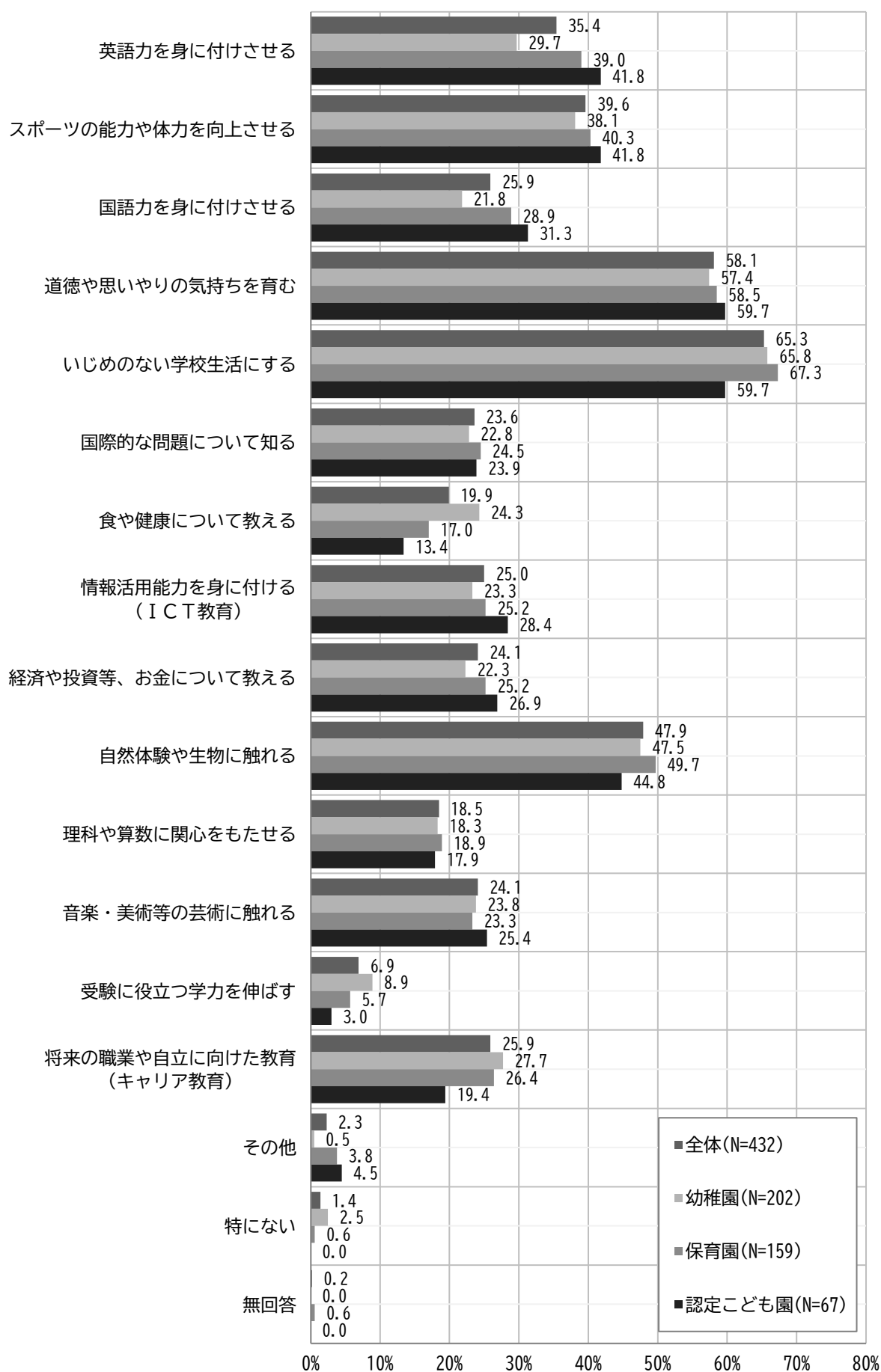
【前回調査との比較】

- 子どもが通う予定の小学校において、特に力を入れて取り組んで欲しい教育内容の割合をみると、平成 29 年度調査では、全ての属性で「道徳や思いやりの気持ちを育む」が最上位でしたが、本調査では「いじめのない学校生活にする」が最上位となっています。
- 認定こども園では「道徳や思いやりの気持ちを育む」も最上位となっています。

■子どもが通う予定の小学校において、特に力を入れて取り組んで欲しい教育内容の割合の最上位（単位：%）

属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	いじめのない学校生活にする (65.3)	道徳や思いやりの気持ちを育む (68.5)
幼稚園	いじめのない学校生活にする (65.8)	道徳や思いやりの気持ちを育む (69.2)
保育園	いじめのない学校生活にする (67.3)	道徳や思いやりの気持ちを育む (67.8)
認定こども園	いじめのない学校生活にする (59.7) 道徳や思いやりの気持ちを育む (59.7)	道徳や思いやりの気持ちを育む (68.2)

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果

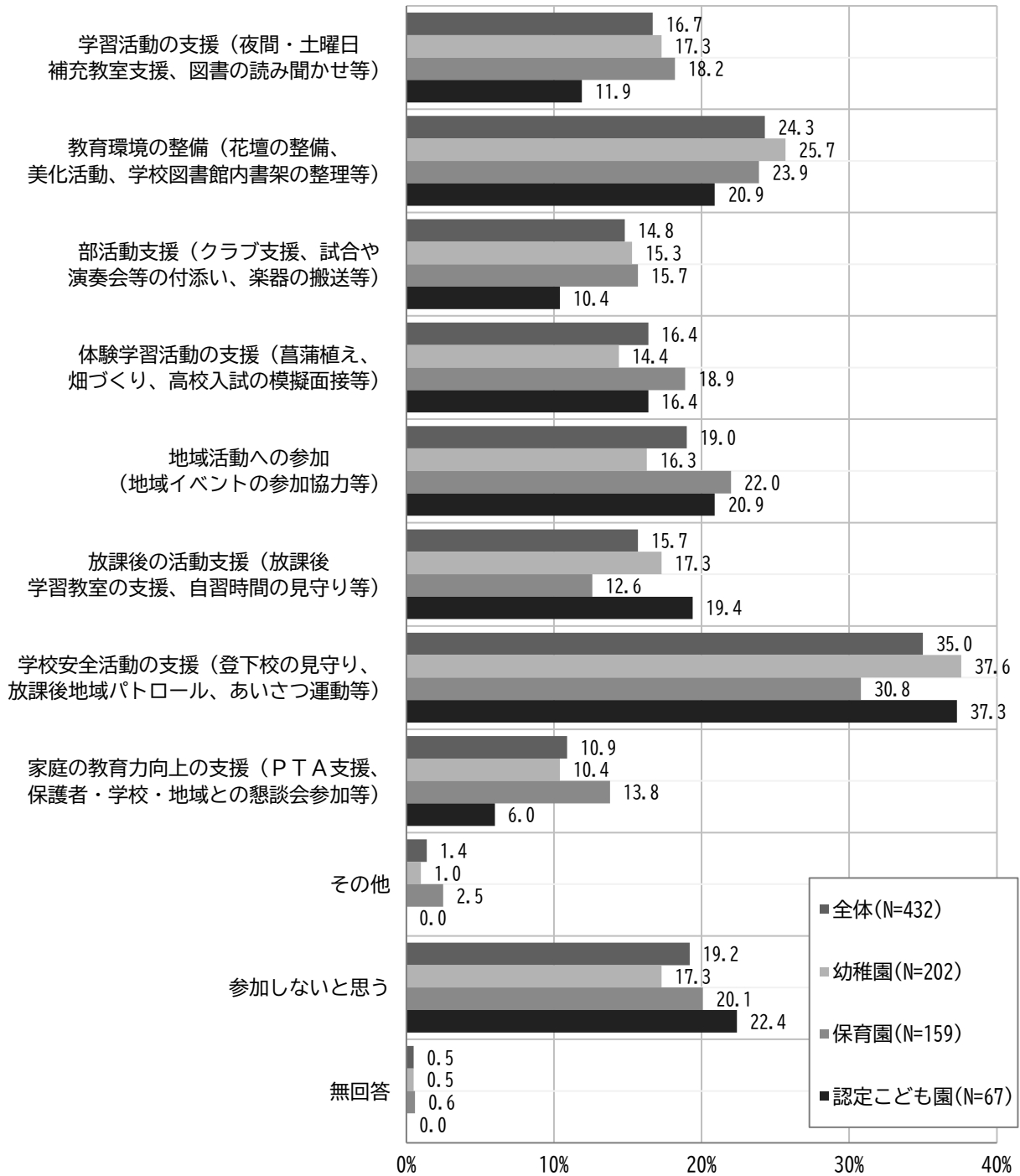


問15 区では、学校、保護者、地域との連携に取り組んでいます。もし、あなたが学校支援の活動に参加するとしたら、どの取組に参加したいですか。（〇はいくつでも）

- 学校支援に参加する際の活動の種類について、全体では、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が35.0%と最も多く、ついで「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」が24.3%、「参加しないと思う」が19.2%で続きます。
- 幼稚園では、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が37.6%と最も多く、ついで「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」が25.7%、「学習活動の支援（夜間・土曜日補充教室支援、図書の読み聞かせ等）」、「放課後の活動支援（放課後学習教室の支援、自習時間の見守り等）」、「参加しないと思う」が17.3%で続きます。
- 保育園では、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が30.8%と最も多く、ついで「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」が23.9%、「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」が22.0%で続きます。
- 認定こども園では、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が37.3%と最も多く、ついで「参加しないと思う」が22.4%、「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」と「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」が20.9%で続きます。

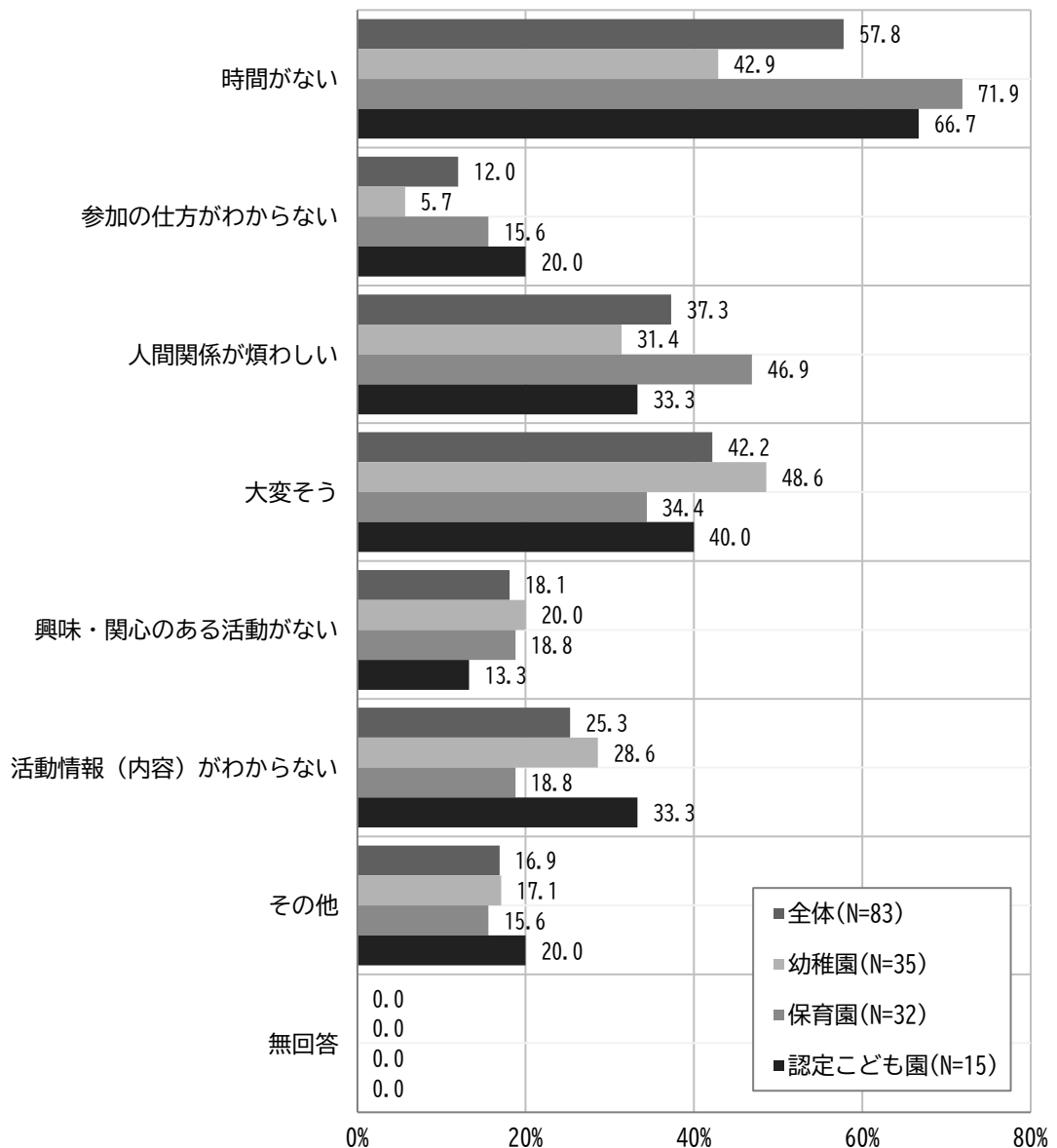
（グラフは次ページ）

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



付問 (問15で「10 参加しないと思う」とお答えの方にお聞きします。) 学校支援の活動に参加しない主な理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

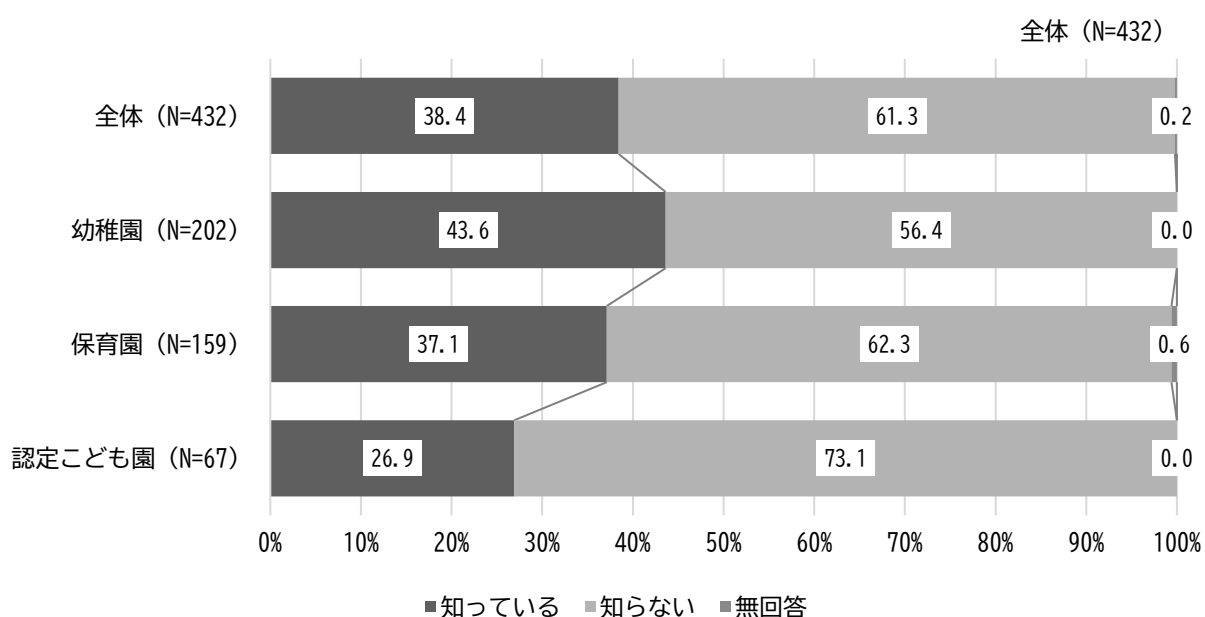
- 学校支援に「参加しないと思う」とお答えの参加しない理由は、全体では、「時間がない」が57.8%と最も多く、ついで「大変そう」が42.2%、「人間関係が煩わしい」が37.3%で続きます。
- 幼稚園では、「大変そう」が48.6%と最も多く、ついで「時間がない」が42.9%、「人間関係が煩わしい」が31.4%で続きます。
- 保育園では、「時間がない」が71.9%と最も多く、ついで「人間関係が煩わしい」が46.9%、「大変そう」が34.4%で続きます。
- 認定こども園では、「時間がない」が66.7%と最も多く、ついで「大変そう」が40.0%、「人間関係が煩わしい」と「活動情報(内容)がわからない」が33.3%で続きます。



3 区の取組についてお聞きします。

問 16 区では、子どもたちが自信と誇りをもてるように、それぞれの学校独自で「かつしかっ子」宣言に基づいた取組を推奨しています。「かつしかっ子」宣言では、「人にやさしくします」「あいさつで心をつなぎます」「約束を守ります」「自分で考え、行動します」「仲間と力を合わせます」の5項目の行動規範が掲げられています。あなたは、「かつしかっ子」宣言を知っていますか。（〇は1つ）

- 「かつしかっ子」宣言の認知度は、全体では「知っている」が 38.4%、「知らない」が 61.3%となっており、「知らない」の方が多くなっています。
- 園種別にみると、「知っている」については、幼稚園では 43.6%、保育園では 37.1%、認定こども園では 26.9%です。



【前回調査との比較】

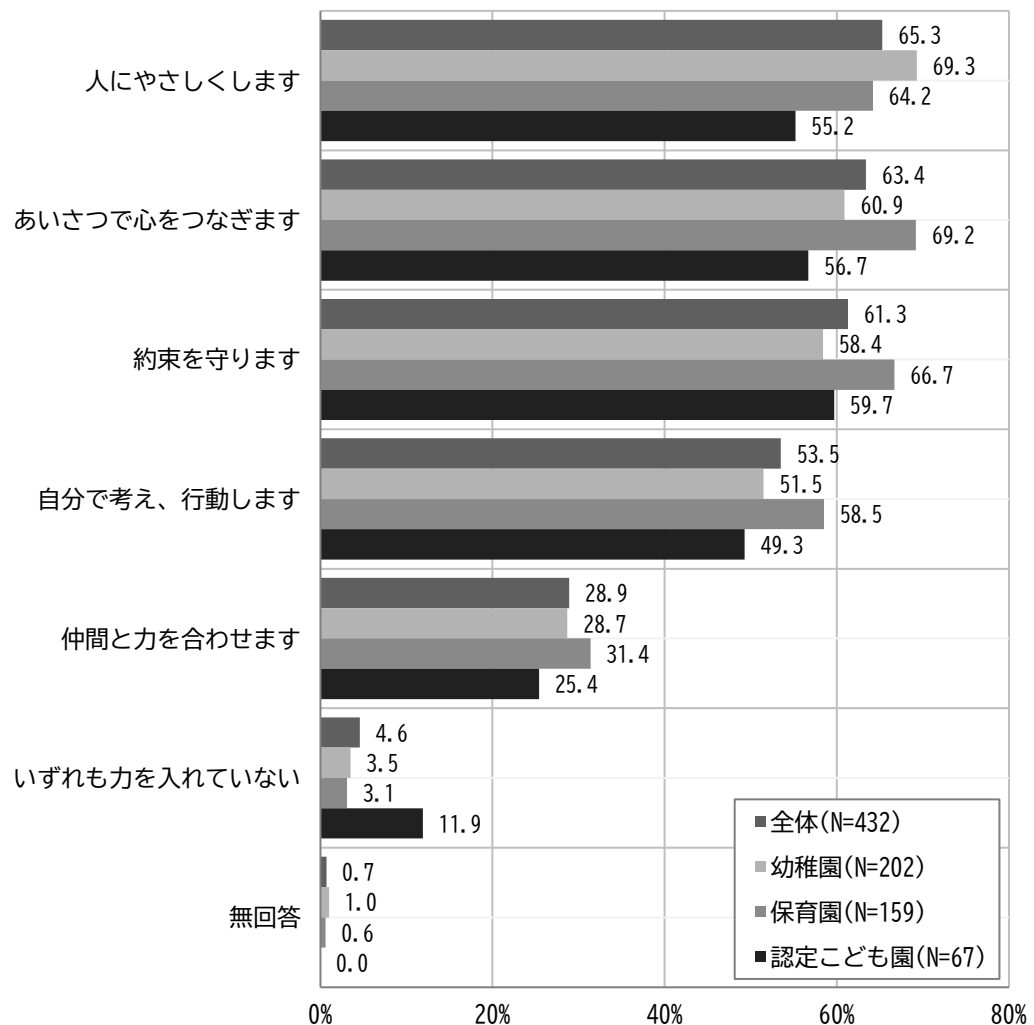
- 「かつしかっ子」宣言を知っている保護者の割合をみると、平成 29 年度調査と比べて、本調査では全体はほぼ横ばい、幼稚園で多くなり、保育園、認定こども園で少なくなっています。

■ 「かつしかっ子」宣言を知っている保護者の割合（単位 %）

属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	38.4	39.6
幼稚園	43.6	37.3
保育園	37.1	44.3
認定こども園	26.9	36.4

問17 「かつしかっ子」宣言の行動規範のうち、ご家庭での育児・教育で力を入れているものはありますか。(〇はいくつでも)

- 「かつしかっ子」宣言の行動規範のうち、ご家庭での育児・教育で力を入れているものは、全体では、「人にやさしくします」が65.3%と最も多く、ついで「あいさつで心をつなぎます」が63.4%、「約束を守ります」が61.3%で続きます。
- 幼稚園では、「人にやさしくします」が69.3%と最も多く、ついで「あいさつで心をつなぎます」が60.9%、「約束を守ります」が58.4%で続きます。
- 保育園では、「あいさつで心をつなぎます」が69.2%と最も多く、ついで「約束を守ります」が66.7%、「人にやさしくします」が64.2%で続きます。
- 認定こども園では、「約束を守ります」が59.7%と最も多く、ついで「あいさつで心をつなぎます」が56.7%、「人にやさしくします」が55.2%で続きます。



【前回調査との比較】

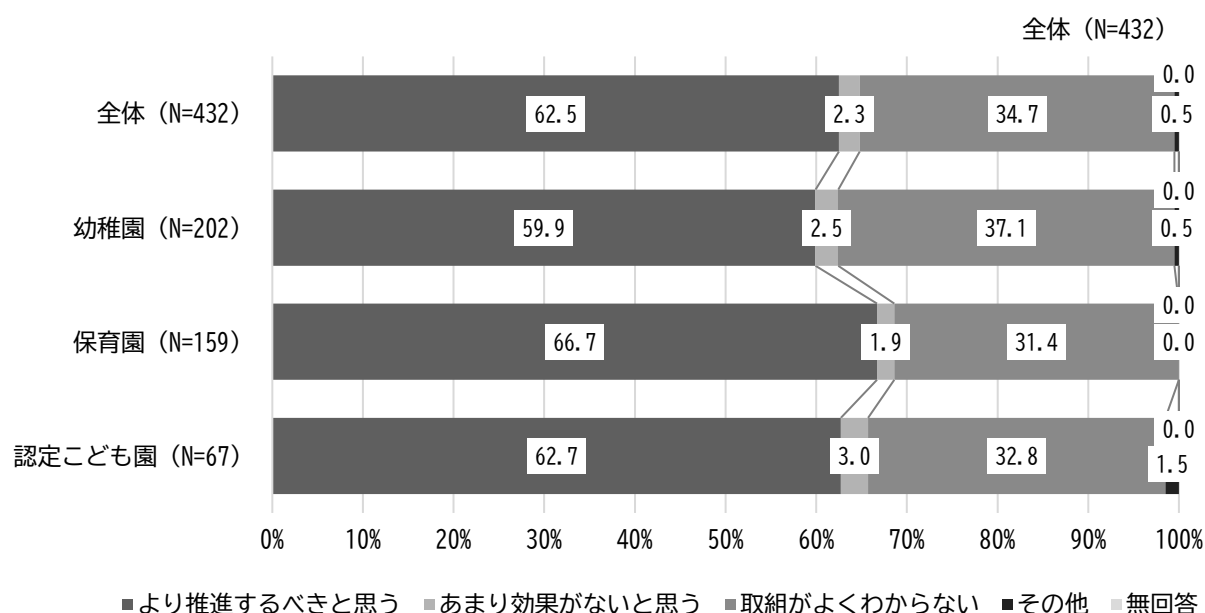
- 「かつしかっ子」宣言の行動規範のうち、ご家庭での育児・教育で力を入れているものの割合をみると、平成29年度調査では、全ての属性で「人にやさしくします」が最上位でしたが、本調査では、保育園で「あいさつで心をつなぎます」、認定こども園で「約束を守ります」が最上位となっています。

■ 「かつしかっ子」宣言の行動規範のうち、ご家庭での育児・教育で力を入れているものの割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	人にやさしくします（65.3）	人にやさしくします（72.5）
幼稚園	人にやさしくします（69.3）	人にやさしくします（75.0）
保育園	あいさつで心をつなぎます（69.2）	人にやさしくします（70.9）
認定こども園	約束を守ります（59.7）	人にやさしくします（70.1）

問 18 区では就学前から義務教育 9 年間終了までの学習等の連続性を意識して、区内全ての幼稚園・保育園・認定こども園・区立小・中学校の連携を進めています。あなたは、この幼保小中連携教育の推進について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

- 幼保小中連携教育の推進についての考えは、全体では、「より推進するべきと思う」が 62.5%と最も多く、ついで「取組がよくわからない」が 34.7%で続きます。
- 幼稚園では、「より推進するべきと思う」が 59.9%と最も多く、ついで「取組がよくわからない」が 37.1%で続きます。
- 保育園では、「より推進するべきと思う」が 66.7%と最も多く、ついで「取組がよくわからない」が 31.4%で続きます。
- 認定こども園では、「より推進するべきと思う」が 62.7%と最も多く、ついで「取組がよくわからない」が 32.8%で続きます。



【前回調査との比較】

- 幼保小中連携教育の推進についての考えの割合をみると、平成 29 年度調査では、幼稚園で「取組がよくわからない」、その他の属性では「より推進するべきだ」が最上位となっていました。本調査では、全ての属性で「より推進するべきと思う」が最上位となっています。

■ 幼保小中連携教育の推進についての考えの割合の最上位（単位：%）

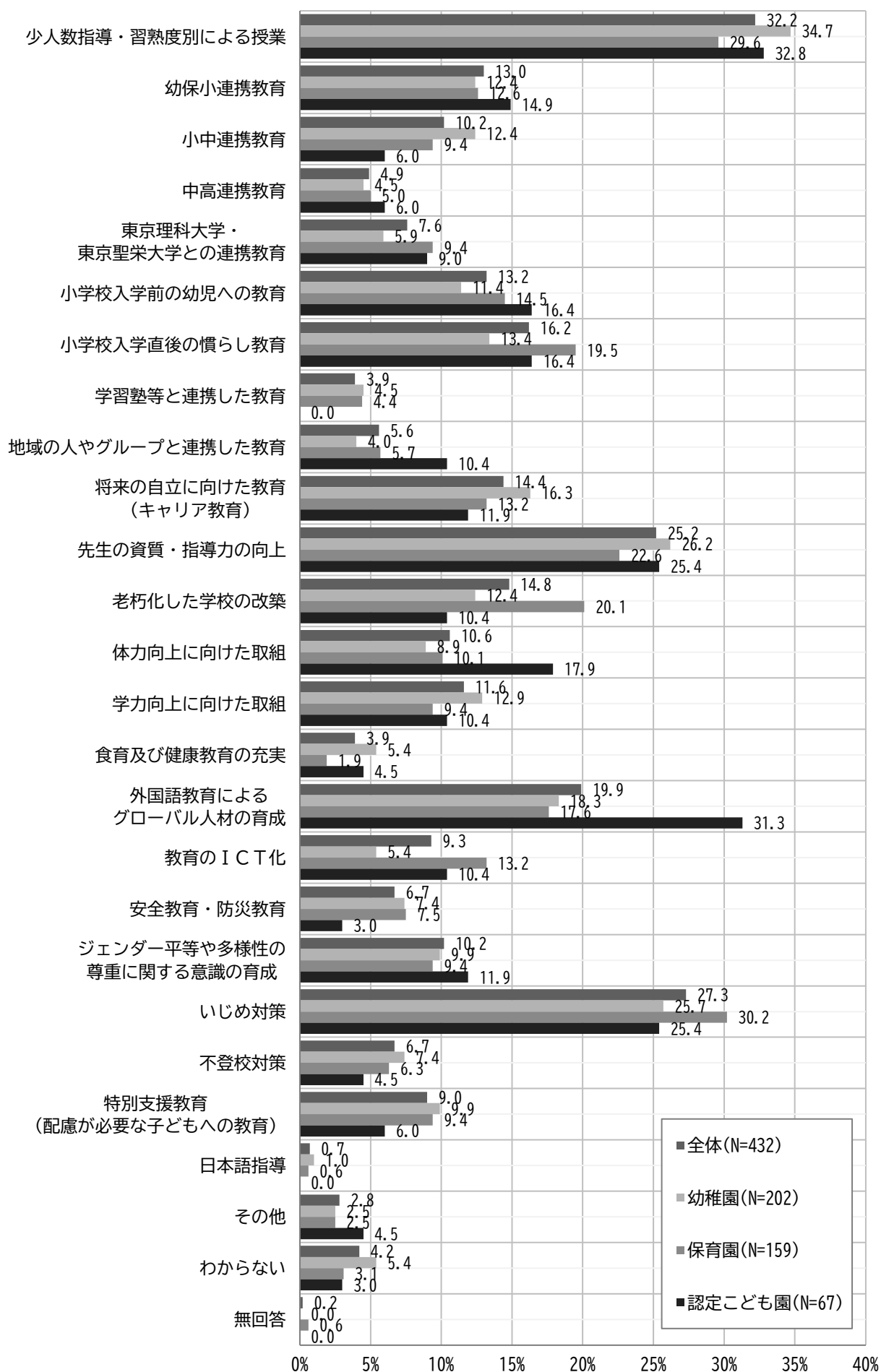
属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	より推進するべきと思う (62.5)	より推進するべきだ (47.8)
幼稚園	より推進するべきと思う (59.9)	取組がよくわからない (49.2)
保育園	より推進するべきと思う (66.7)	より推進するべきだ (48.3)
認定こども園	より推進するべきと思う (62.7)	より推進するべきだ (47.9)

問19 今後、区が特に充実する必要がある教育に関する施策・取組は何だとお考えですか。（〇は3つまで）

- 今後、区が特に充実する必要がある教育に関する施策・取組は、全体では、「少人数指導・習熟度別による授業」が32.2%と最も多く、ついで「いじめ対策」が27.3%、「先生の資質・指導力の向上」が25.2%で続きます。
- 幼稚園では、「少人数指導・習熟度別による授業」が34.7%と最も多く、ついで「先生の資質・指導力の向上」が26.2%、「いじめ対策」が25.7%で続きます。
- 保育園では、「いじめ対策」が30.2%と最も多く、ついで「少人数指導・習熟度別による授業」が29.6%、「先生の資質・指導力の向上」が22.6%で続きます。
- 認定こども園では、「少人数指導・習熟度別による授業」が32.8%と最も多く、ついで「外国語教育によるグローバル人材の育成」が31.3%、「先生の資質・指導力の向上」と「いじめ対策」が25.4%で続きます。

（グラフは次ページ）

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



【前回調査との比較】

- 今後、区が特に充実する必要がある教育に関する施策・取組の割合をみると、平成29年度調査では、全ての属性で「いじめ対策」が最上位でしたが、本調査では、全体、幼稚園、認定こども園で「少人数指導・習熟度別による授業」が最上位となっています。

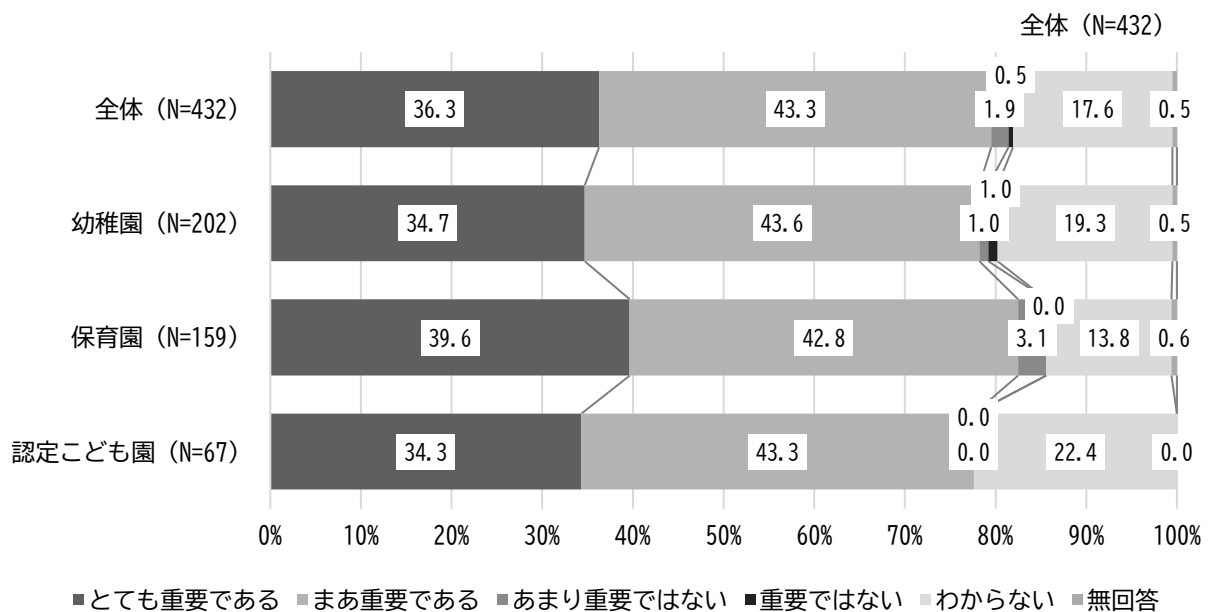
■今後、区が特に充実する必要がある教育に関する施策・取組の割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	少人数指導・習熟度別による授業（32.2）	いじめ対策（37.1）
幼稚園	少人数指導・習熟度別による授業（34.7）	いじめ対策（38.3）
保育園	いじめ対策（30.2）	いじめ対策（36.5）
認定こども園	少人数指導・習熟度別による授業（32.8）	いじめ対策（35.6）

4 生涯学習、スポーツについてお聞きします。

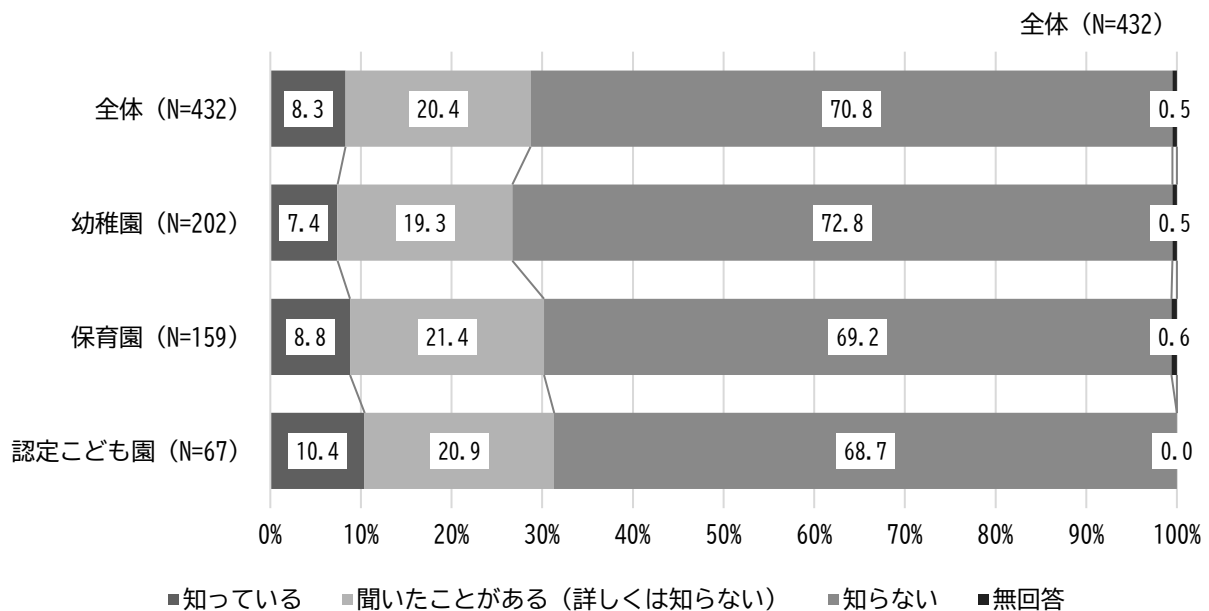
問 20 「学びの循環」として、区民が学んだことが地域活動やボランティア活動に結び付き、それらの活動を通してさらに学びが深まる学びのサイクルを推進しています。区が学びの循環に力を入れることについて、あなたの考えをお聞かせください。（○は1つ）

- 区が学びの循環に力を入れることに対する考えは、全体では、区が学びの循環に力を入れることを重要と考える保護者（「とても重要である」と「まあ重要である」の合計）が79.6%となっています。
- 幼稚園では、区が学びの循環に力を入れることを重要と考える保護者（「とても重要である」と「まあ重要である」の合計）が78.3%となっています。
- 保育園では、区が学びの循環に力を入れることを重要と考える保護者（「とても重要である」と「まあ重要である」の合計）が82.4%となっています。
- 認定こども園では、区が学びの循環に力を入れることを重要と考える保護者（「とても重要である」と「まあ重要である」の合計）が77.6%となっています。



問 21 区では、区民の皆さまの生涯学習を支援するための「学びのしくみ」として、平成 22 年 4 月より、「かつしか区民大学」を開学しています。「かつしか区民大学」の講座を受講すると、受講回数に応じて学習単位を認定します。あなたは、「かつしか区民大学」を知っていますか。（〇は1つ）

- 「かつしか区民大学」の認知度は、全体では、「知らない」が 70.8%と最も多く、ついで「聞いたことがある（詳しくは知らない）」が20.4%、「知っている」が8.3%で続きます。
- 幼稚園では、「知らない」が 72.8%と最も多く、ついで「聞いたことがある（詳しくは知らない）」が19.3%、「知っている」が7.4%で続きます。
- 保育園では、「知らない」が 69.2%と最も多く、ついで「聞いたことがある（詳しくは知らない）」が21.4%、「知っている」が8.8%で続きます。
- 認定こども園では、「知らない」が 68.7%と最も多く、ついで「聞いたことがある（詳しくは知らない）」が20.9%、「知っている」が10.4%で続きます。

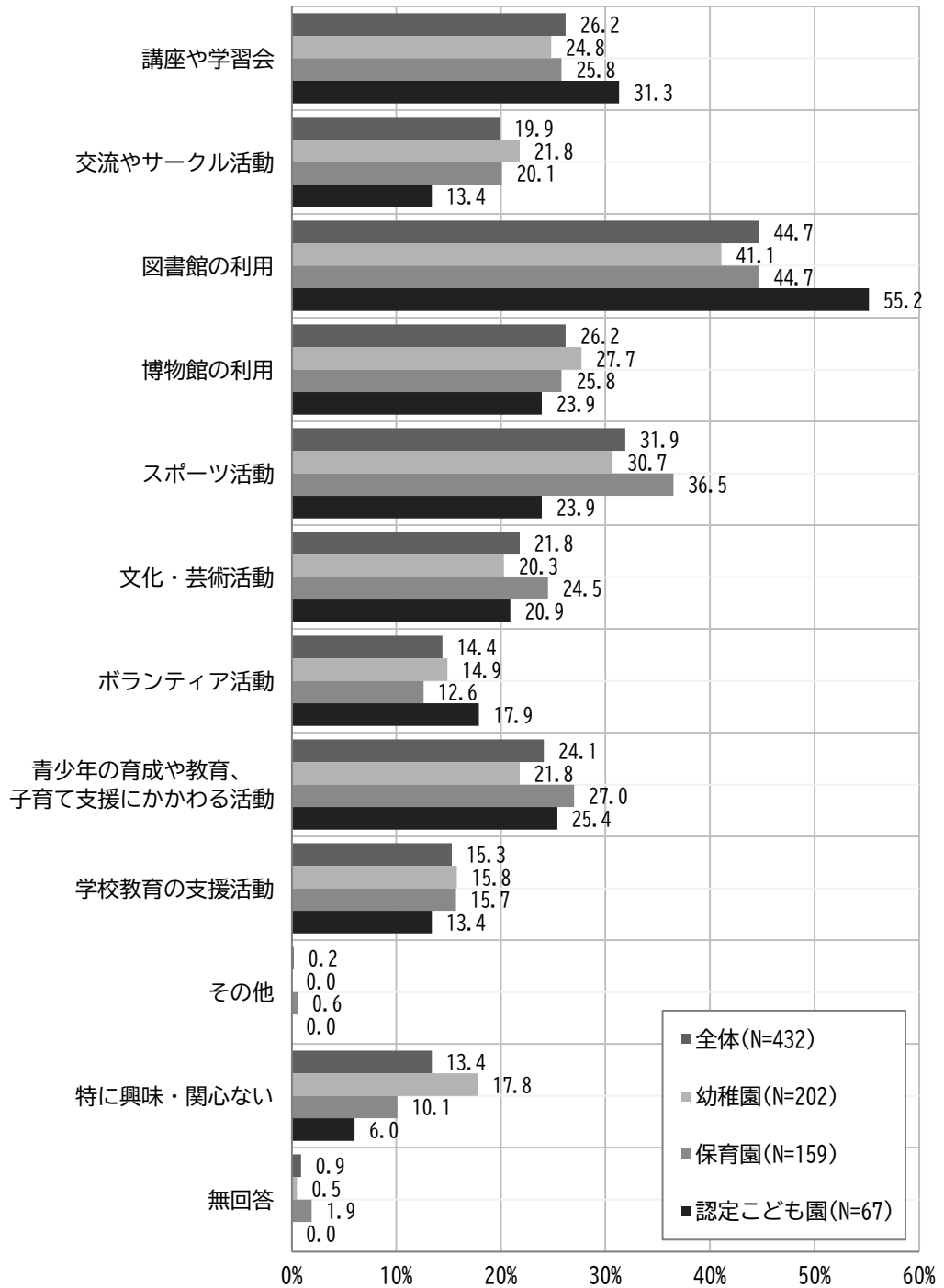


問 22 あなたは、どのような生涯学習活動に興味や関心がありますか。（〇はいくつでも）

- 興味や関心がある生涯学習活動は、全体では、「図書館の利用」が 44.7%と最も多く、ついで「スポーツ活動」が 31.9%、「講座や学習会」と「博物館の利用」が 26.2%で続きます。何らかの生涯学習活動に興味・関心がある保護者は 85.7%です。（全体から「特に興味・関心ない」と「無回答」を除いて算出しています。）
- 幼稚園では、「図書館の利用」が 41.1%と最も多く、ついで「スポーツ活動」が 30.7%、「博物館の利用」が 27.7%で続きます。
- 保育園では、「図書館の利用」が 44.7%と最も多く、ついで「スポーツ活動」が 36.5%、「青少年の育成や教育、子育て支援にかかわる活動」が 27.0%で続きます。
- 認定こども園では、「図書館の利用」が 55.2%と最も多く、ついで「講座や学習会」が 31.3%、「青少年の育成や教育、子育て支援にかかわる活動」が 25.4%で続きます。
- 何らかの生涯学習活動に興味・関心がある保護者は、幼稚園では 81.7%、保育園では 88.0%、認定こども園では 94.0%です。

（グラフは次ページ）

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



【前回調査との比較】

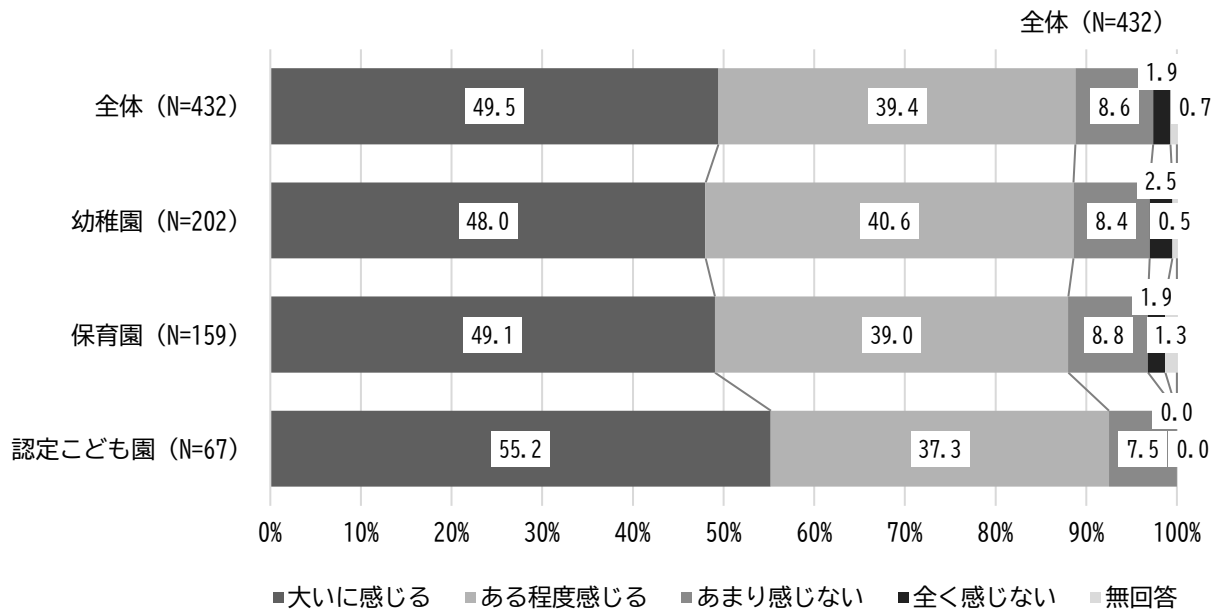
○ 興味や関心がある生涯学習の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、全ての属性で「図書館の利用」が最上位となっています。

■ 興味や関心がある生涯学習の割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	図書館の利用（44.7）	図書館の利用（42.8）
幼稚園	図書館の利用（41.1）	図書館の利用（40.6）
保育園	図書館の利用（44.7）	図書館の利用（41.7）
認定こども園	図書館の利用（55.2）	図書館の利用（49.4）

問23 あなたは普段、運動不足を感じていますか。(〇は1つ)

- 普段、運動不足を感じているかについて、全体では、「大いに感じる」が49.5%と最も多く、ついで「ある程度感じる」が39.4%、「あまり感じない」が8.6%で続きます。
- 幼稚園では、「大いに感じる」が48.0%と最も多く、ついで「ある程度感じる」が40.6%、「あまり感じない」が8.4%で続きます。
- 保育園では、「大いに感じる」が49.1%と最も多く、ついで「ある程度感じる」が39.0%、「あまり感じない」が8.8%で続きます。
- 認定子ども園では、「大いに感じる」が55.2%と最も多く、ついで「ある程度感じる」が37.3%、「あまり感じない」が7.5%で続きます。

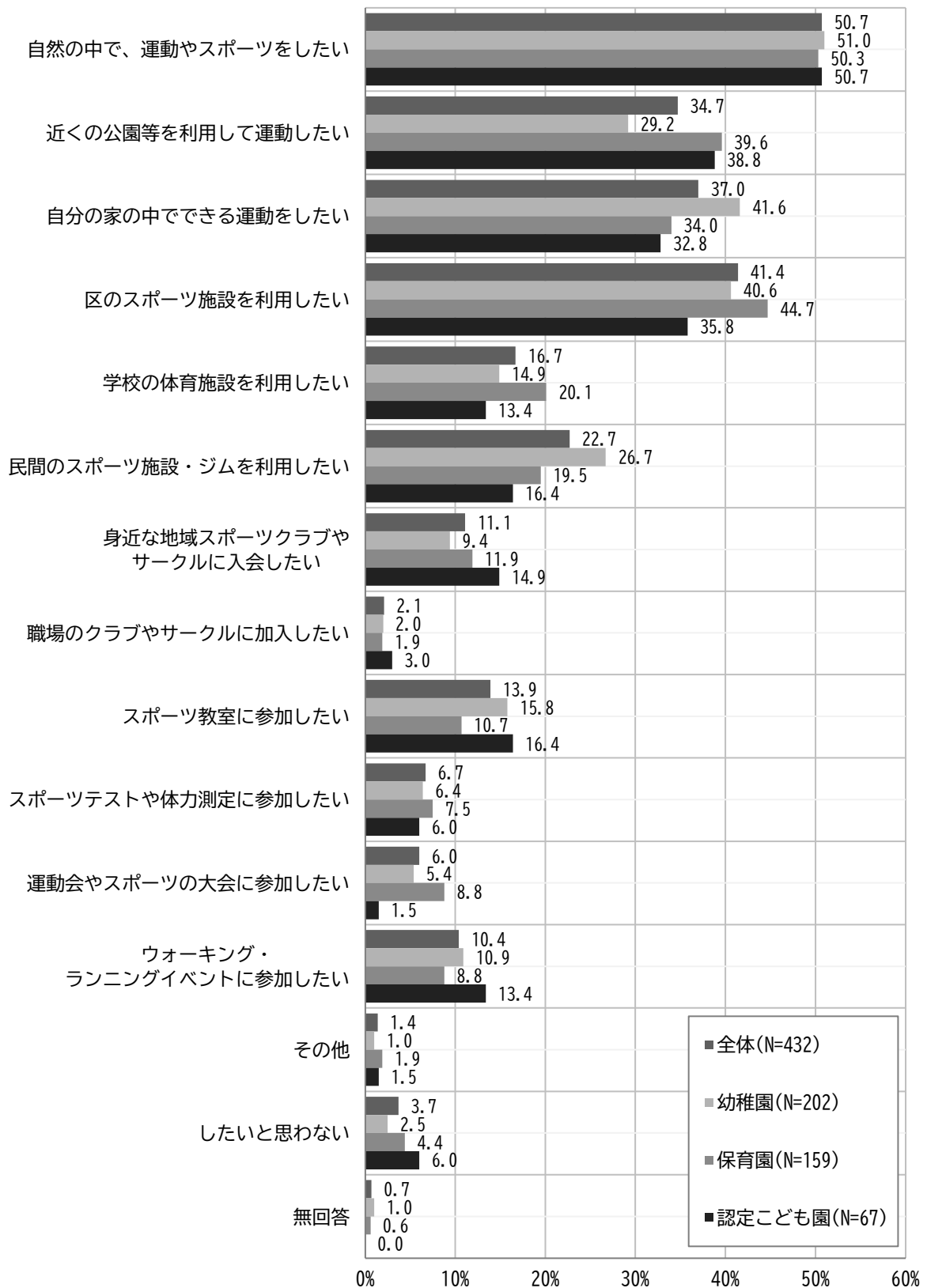


問 24 あなたは、どのような機会や場所でスポーツや運動をしたいですか。（〇はいくつでも）

- スポーツや運動をしたい機会や場所は、全体では、「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が 50.7%と最も多く、ついで「区のスポーツ施設を利用したい」が 41.4%、「自分の家の中でできる運動をしたい」が 37.0%で続きます。
- 幼稚園では、「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が 51.0%と最も多く、ついで「自分の家の中でできる運動をしたい」が 41.6%、「区のスポーツ施設を利用したい」が 40.6%で続きます。
- 保育園では、「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が 50.3%と最も多く、ついで「区のスポーツ施設を利用したい」が 44.7%、「近くの公園等を利用して運動したい」が 39.6%で続きます。
- 認定こども園では、「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が 50.7%と最も多く、ついで「近くの公園等を利用して運動したい」が 38.8%、「区のスポーツ施設を利用したい」が 35.8%で続きます。

（グラフは次ページ）

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



5 自由意見

問 25 区の教育振興に関するご意見がございましたら、お書きください。（自由記述）

- 区の教育振興に関するご意見を自由記述形式でたずねたところ、73 件の回答がありました。
以下に分類毎の件数を掲載します。

(件数)

区分	分類	全体	幼稚園	保育園	認定 こども園
1	子どもの安全安心の確保	4	2	2	0
2	特別支援教育の充実	5	3	1	1
3	預かり保育、学童保育の充実	5	3	0	2
4	学校施設の整備	3	1	1	1
5	学校教育に関する期待、要望	22	8	13	1
6	学校のPTA活動への意見	3	1	2	0
7	学校でのタブレットの活用	2	0	2	0
8	その他	29	11	14	4
合計		73	29	35	9

6 分析編：小学生以上の兄弟姉妹の有無によるクロス集計

- 幼保小連携を考える際、小学生以上の兄弟姉妹がいない保護者の状況が参考になると考え、小学生以上の兄弟姉妹の有無によるクロス集計によって、それを把握しようと思いました。そのため、クロス集計の対象となる設問は、小学校入学に際する不安やニーズ、また学校教育での取組の認知に関するものとしています。

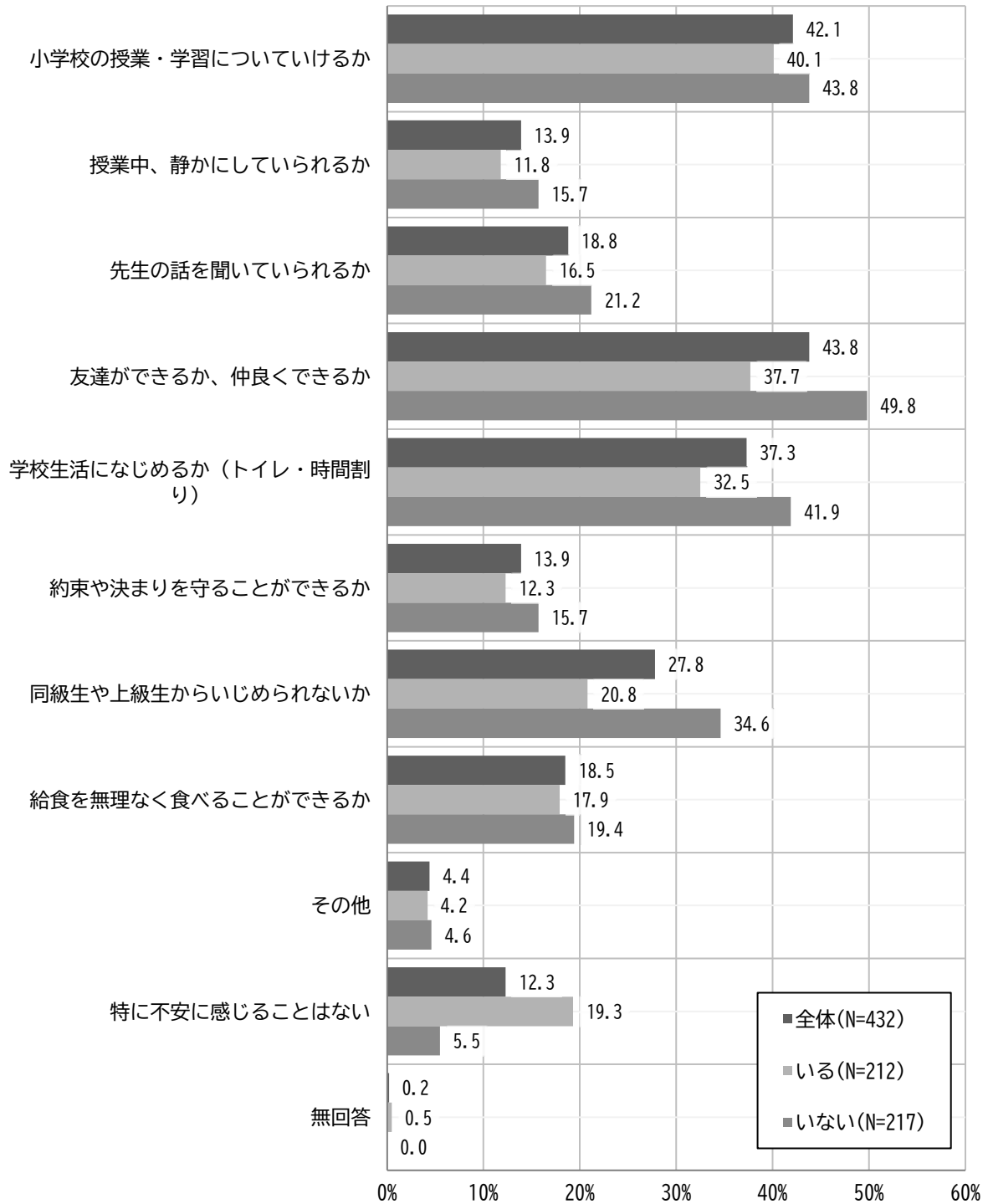
(1) 小学校入学にあたって知りたいことや、期待・不安

【小学校入学に際しての不安（問10）】

- 小学校入学に際しての不安について、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合には、「小学校の授業・学習についていけるか」が40.1%と最も多く、ついで「友達ができるか、仲良くできるか」が37.7%で続きます。
- 小学生以上の兄弟姉妹がいない場合には、「友達ができるか、仲良くできるか」が49.8%と最も多く、ついで「小学校の授業・学習についていけるか」が43.8%で続きます。
- 兄弟姉妹の有無によって特に違いが見られる選択肢は、「同級生や上級生からいじめられないか」、「特に不安に感じることはない」、「友達ができるか、仲良くできるか」、「学校生活になじめるか（トイレ・時間割り）」などです。
- 小学校入学に際して不安を感じている保護者は、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合では80.2%、小学生以上の兄弟姉妹がいない場合では94.5%です。（全体から「特に不安に感じることはない」と「無回答」を除いて算出しています。）

（グラフは次ページ）

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果

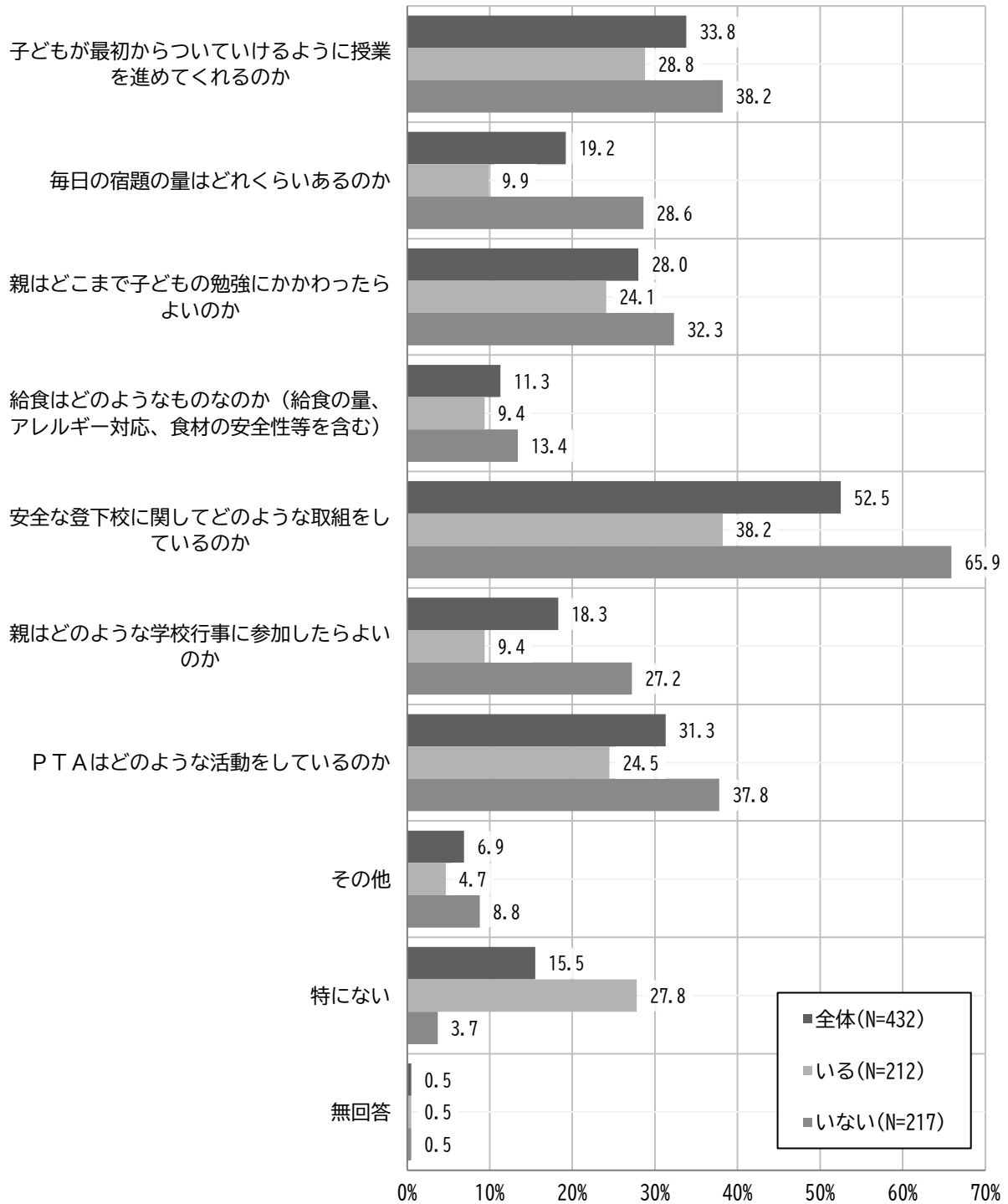


【小学校に関して知りたいこと（問12）】

- 小学校入学に関して知りたいことについて、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合には、「安全な登下校に関してどのような取組をしているのか」が38.2%と最も多く、ついで「子どもが最初からついていけるように授業を進めてくれるのか」が28.8%で続きます。
- 小学生以上の兄弟姉妹がいない場合には、「安全な登下校に関してどのような取組をしているのか」が65.9%と最も多く、ついで「子どもが最初からついていけるように授業を進めてくれるのか」が38.2%で続きます。
- 兄弟姉妹の有無によって特に違いが見られる選択肢は、「安全な登下校に関してどのような取組をしているのか」、「毎日の宿題の量はどれくらいあるのか」、「親はどのような学校行事に参加したらよいのか」、「PTAはどのような活動をしているのか」、「特にない」などです。
- 何らかの情報提供を求めている保護者は、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合には71.7%、小学生以上の兄弟姉妹がいない場合には95.8%です。（全体から「特にない」と「無回答」を除いて算出しています。）
- また、「特にない」以外の全ての選択肢において、小学生以上の兄弟姉妹がいない方が多くなっています。

（グラフは次ページ）

第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果

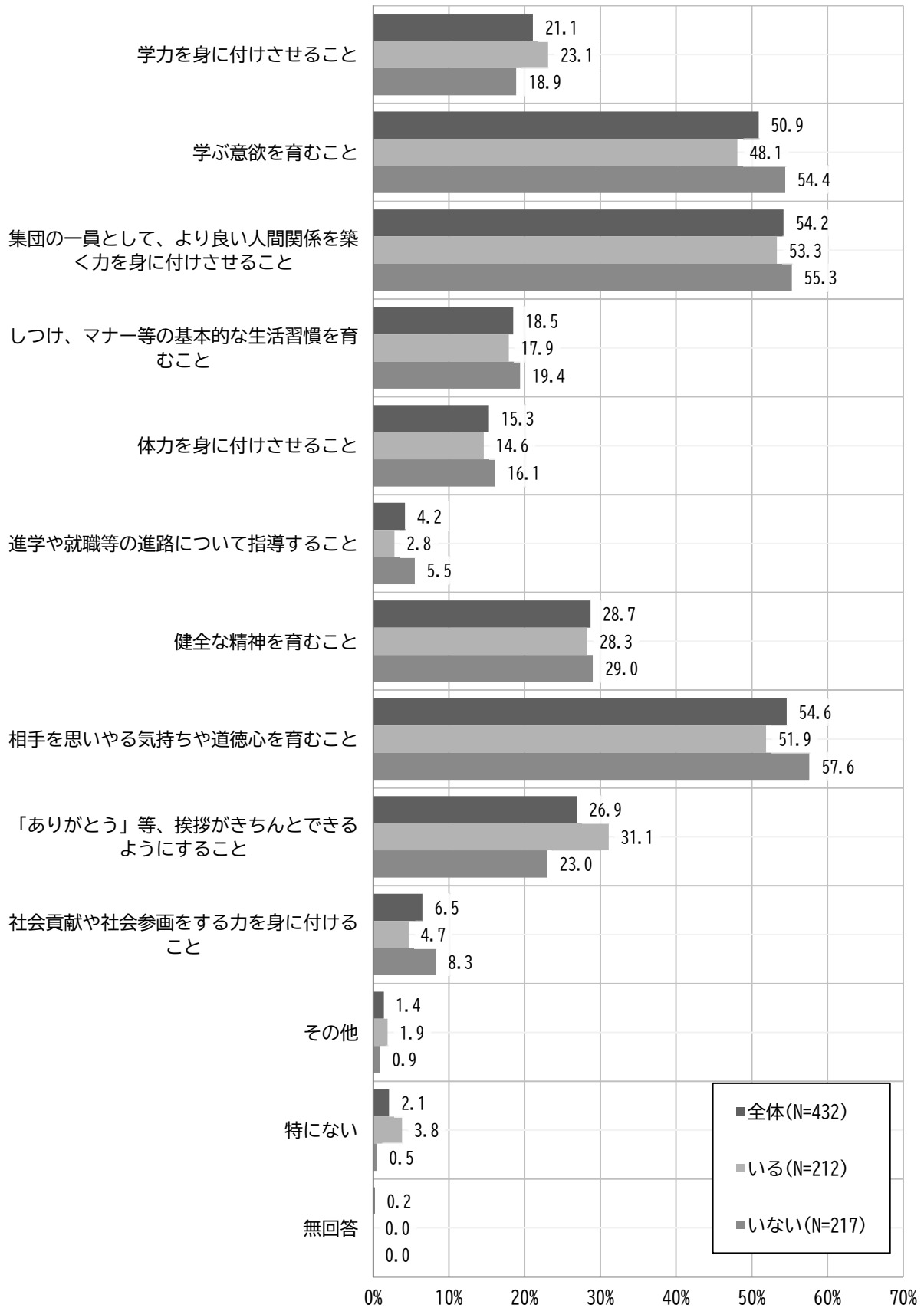


【小学校に対する期待（問13）】

- お子さんが通う予定の小学校において、特に期待することについて、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合には、「集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること」が53.3%と最も多く、ついで「相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと」が51.9%となっています。
- 小学生以上の兄弟姉妹がいない場合には、「相手を思いやる気持ちや道徳心を育むこと」が57.6%と最も多く、ついで「集団の一員として、より良い人間関係を築く力を身に付けさせること」が55.3%で続きます。
- 兄弟姉妹の有無によって特に違いが見られる選択肢はなく、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合、いない場合ともにおおむね同じ傾向です。
- 小学校に何らかの期待をしている保護者は、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合には96.2%、小学生以上の兄弟姉妹がいない場合には99.5%です。（全体から「特になし」と「無回答」を除いて算出しています。）

（グラフは次ページ）

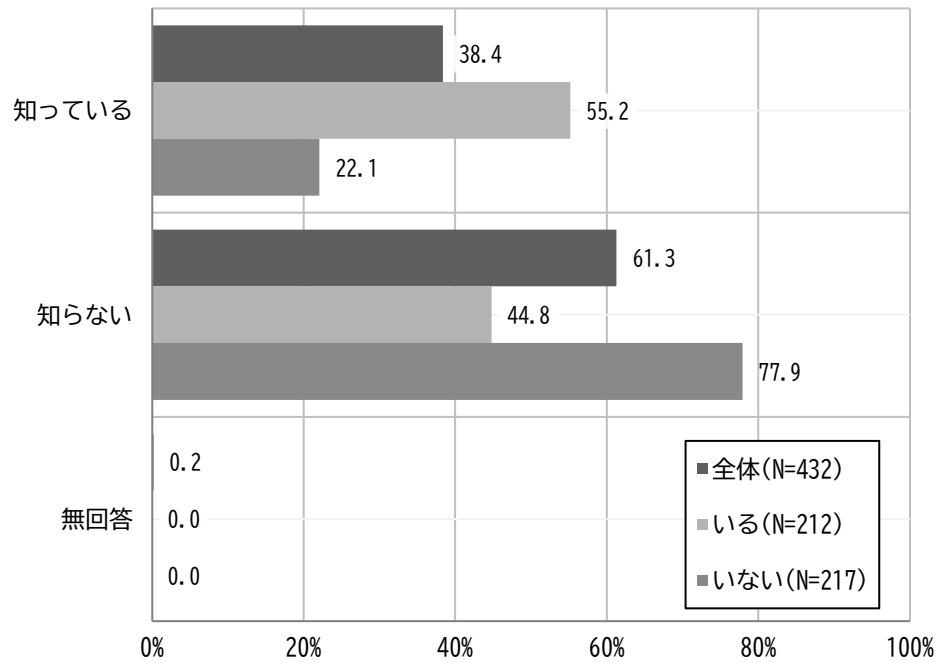
第2章 幼稚園・保育園等保護者調査結果



(2) 学校教育や幼保小連携における取組の認知や評価

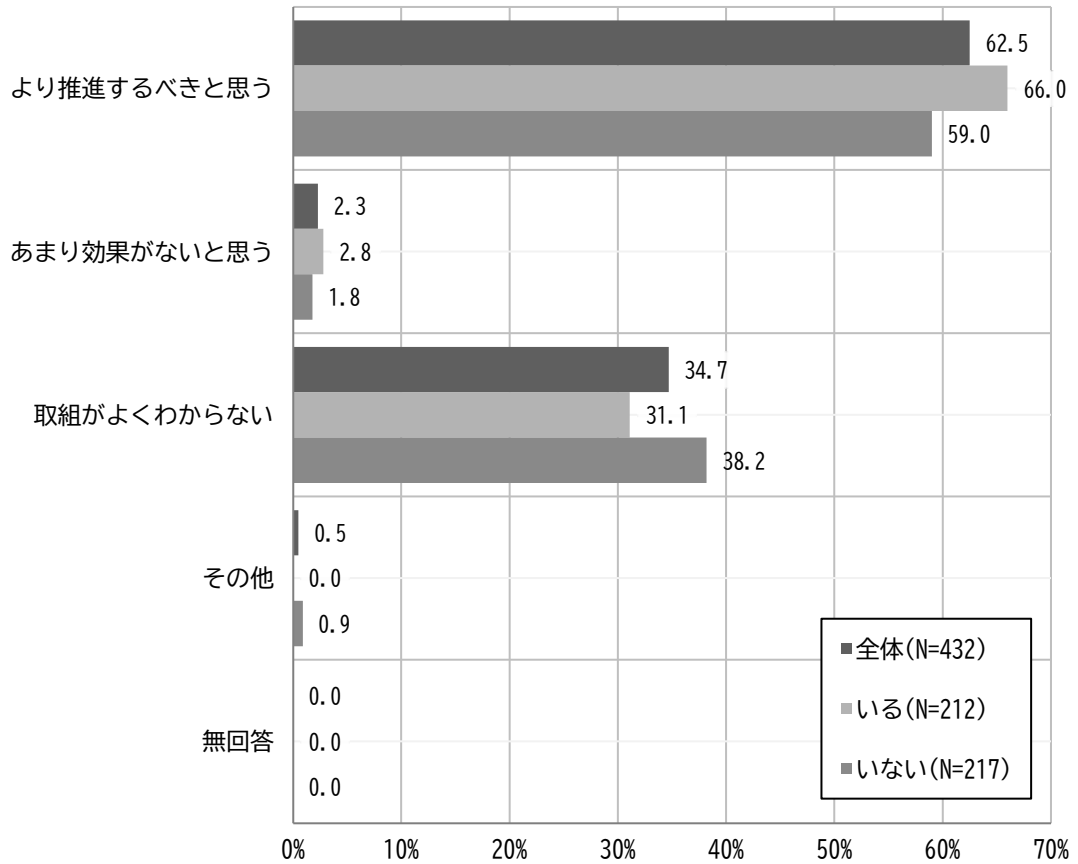
【かつしかっ子宣言の認知（問16）】

- かつしかっ子宣言の認知度は、「知っている」については、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合には55.2%、小学生以上の兄弟姉妹がいない場合には22.1%となっています。
- 小学生以上の兄弟姉妹がいない場合は、「知らない」が77.9%と多くなっています。



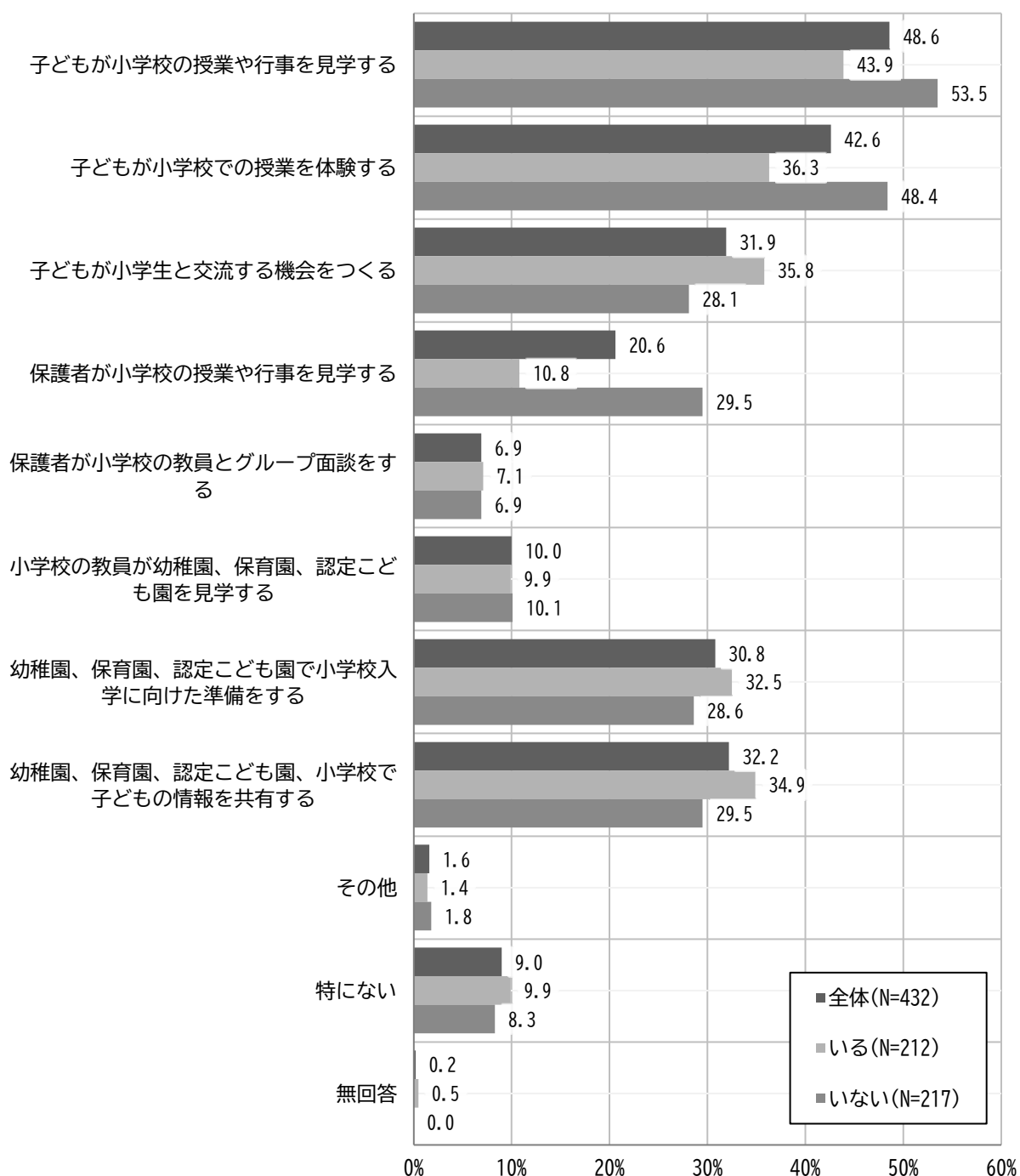
【幼保小連携の取組みに対する評価（問18）】

- 幼保小中連携教育の推進についての考えは、小学生以上の兄弟姉妹の有無に関わらず、「より推進するべきだ」が最も多く、「あまり効果がないと思う」を大きく上回っています。
- 小学生以上の兄弟姉妹の有無に関わらず、「取組がよくわからない」が一定の割合でいます。



【小学校入学に際して行ってほしい園での取組（問11）】

- お子さんの小学校入学に際して、幼稚園、保育園、認定こども園または小学校で特に行って欲しい取組は、小学校以上の兄弟姉妹の有無に関わらず、「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が最も多く、ついで「子どもが小学校での授業を体験する」が続きます。
- 兄弟姉妹の有無によって特に違いが見られる選択肢は、「保護者が小学校の授業や行事を見学する」、「子どもが小学校での授業を体験する」などです。
- 何らかの取組を期待している保護者は、小学生以上の兄弟姉妹がいる場合には 89.6%、小学生以上の兄弟姉妹がいない場合には 91.7%です。（全体から「特にない」と「無回答」を除いて算出しています。）

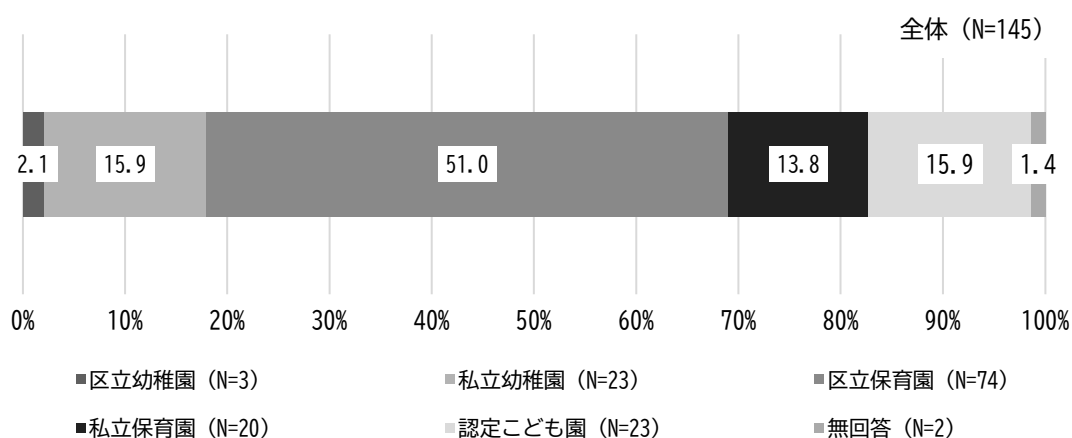


第3章 幼稚園・保育園等教職員調査結果

1 あなた自身のことについてお聞きします。

問1 勤務先を教えてください。（〇は1つ）

- 回答者の勤務先は、「区立幼稚園」が 2.1%、「私立幼稚園」が 15.9%、「区立保育園」が 51.0%、「私立保育園」が 13.8%、「認定こども園」が 15.9%となっています。
- 幼稚園（「区立幼稚園」と「私立幼稚園」の合計）は 18.0%、保育園（「区立保育園」と「私立保育園」の合計）は 64.8%です。



【前回調査との比較】

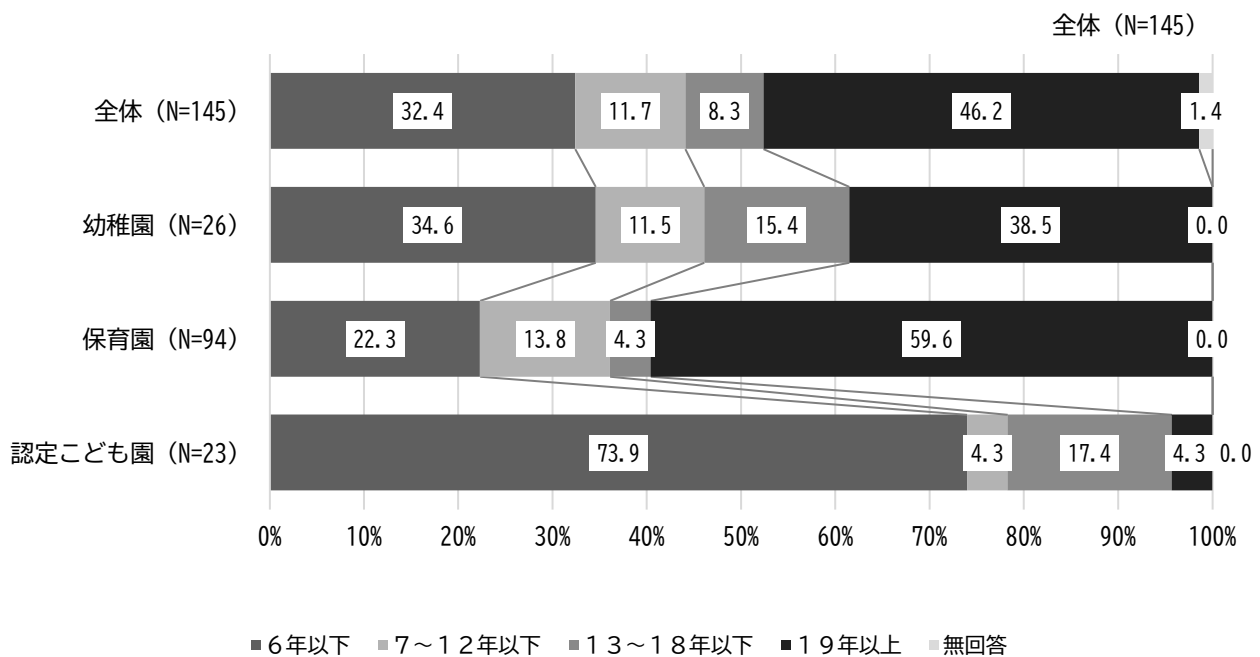
- 勤務先の園種別の割合をみると、本調査では、平成 29 年度調査と比べて、幼稚園（「区立幼稚園」と「私立幼稚園」の合計）は少なくなり、保育園（「区立保育園」と「私立保育園」の合計）と認定こども園は多くなっています。

■勤務先の園種別の割合（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
幼稚園	18.0	29.6
保育園	64.8	61.0
認定こども園	15.9	9.4

問2 幼稚園教諭または保育士としての経験年数を教えてください。(〇は1つ)

- 幼稚園教諭または保育士としての経験年数は、全体では、「19年以上」が46.2%と最も多く、ついで「6年以下」が32.4%、「7～12年以下」が11.7%で続きます。
- 幼稚園では、「19年以上」が38.5%と最も多く、ついで「6年以下」が34.6%、「13～18年以下」が15.4%で続きます。
- 保育園では、「19年以上」が59.6%と最も多く、ついで「6年以下」が22.3%、「7～12年以下」が13.8%で続きます。
- 認定こども園では、「6年以下」が73.9%と最も多く、ついで「13～18年以下」が17.4%、「7～12年以下」と「19年以上」が4.3%で続きます。



【前回調査との比較】

- 経験年数「6年以下」の割合をみると、本調査では、平成29年度調査と比べて、全ての園種で多くなっています。特に、認定こども園で多くなっています。

■経験年数「6年以下」の割合 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	32.4	20.1
幼稚園	34.6	31.9
保育園	22.3	12.4
認定こども園	73.9	33.3

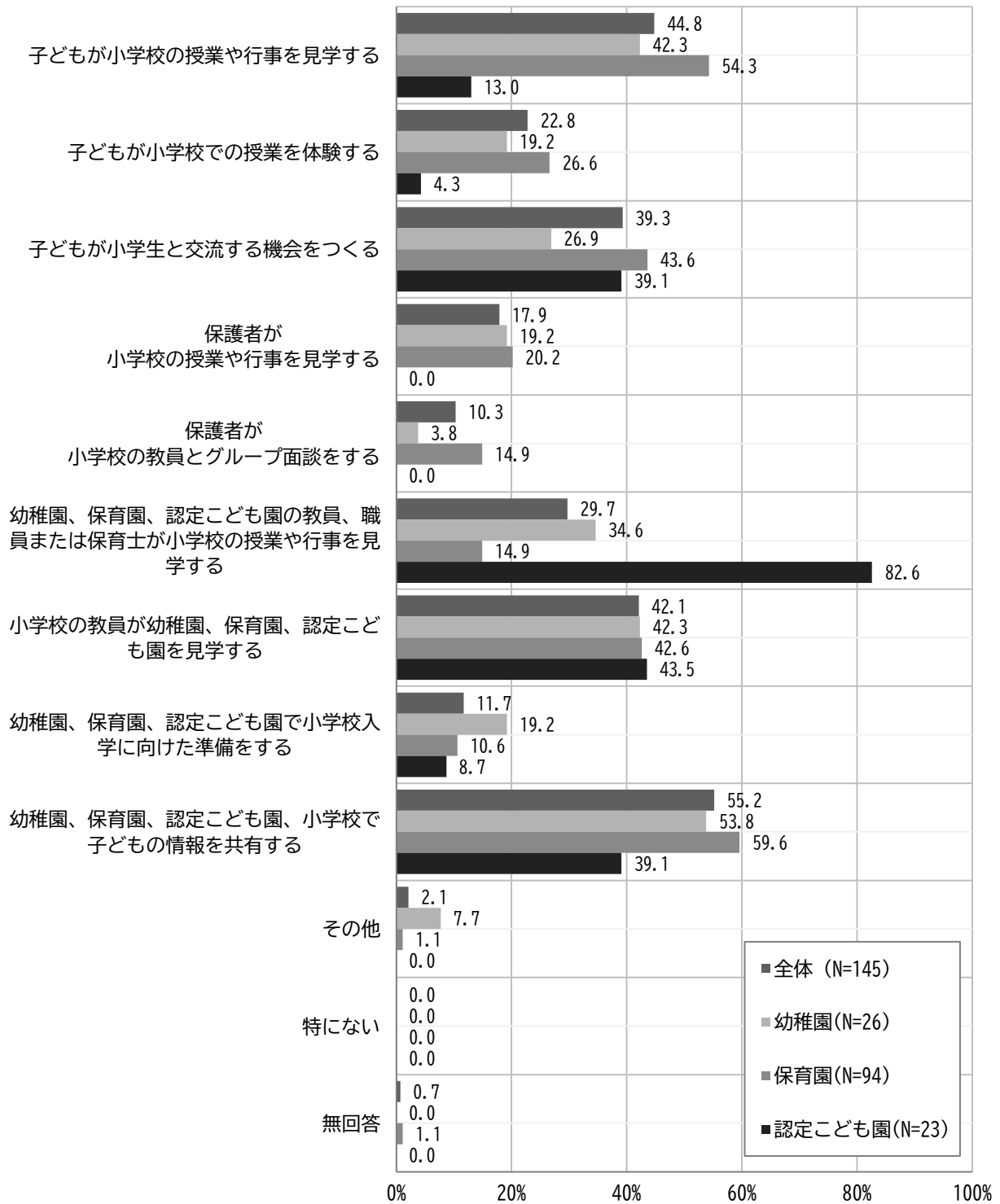
2 幼保小中連携や就学前教育の取組についてお聞きします。

問3 区では就学前から義務教育9年間終了までの学習等の連続性を意識して、区内全ての幼稚園、保育園、認定こども園、区立小・中学校の連携を進めています。以下の取組について、あなたが特に必要と考える取組はありますか。（○は3つまで）

- 区内全ての幼稚園、保育園、認定こども園、区立小・中学校の連携にあたって特に必要と考える取組は、全体では、「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が 55.2%と最も多く、ついで「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が 44.8%、「小学校の教員が幼稚園、保育園、認定こども園を見学する」が 42.1%で続きます。
- 幼稚園では、「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が 53.8%と最も多く、ついで「子どもが小学校の授業や行事を見学する」と「小学校の教員が幼稚園、保育園、認定こども園を見学する」が 42.3%、「幼稚園、保育園、認定こども園の教員、職員または保育士が小学校の授業や行事を見学する」が 34.6%で続きます。
- 保育園では、「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が 59.6%と最も多く、ついで「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が 54.3%、「子どもが小学生と交流する機会をつくる」が 43.6%で続きます。
- 認定こども園では、「幼稚園、保育園、認定こども園の教員、職員または保育士が小学校の授業や行事を見学する」が 82.6%と最も多く、ついで「小学校の教員が幼稚園、保育園、認定こども園を見学する」が 43.5%、「子どもが小学生と交流する機会をつくる」と「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が 39.1%で続きます。

（グラフは次ページ）

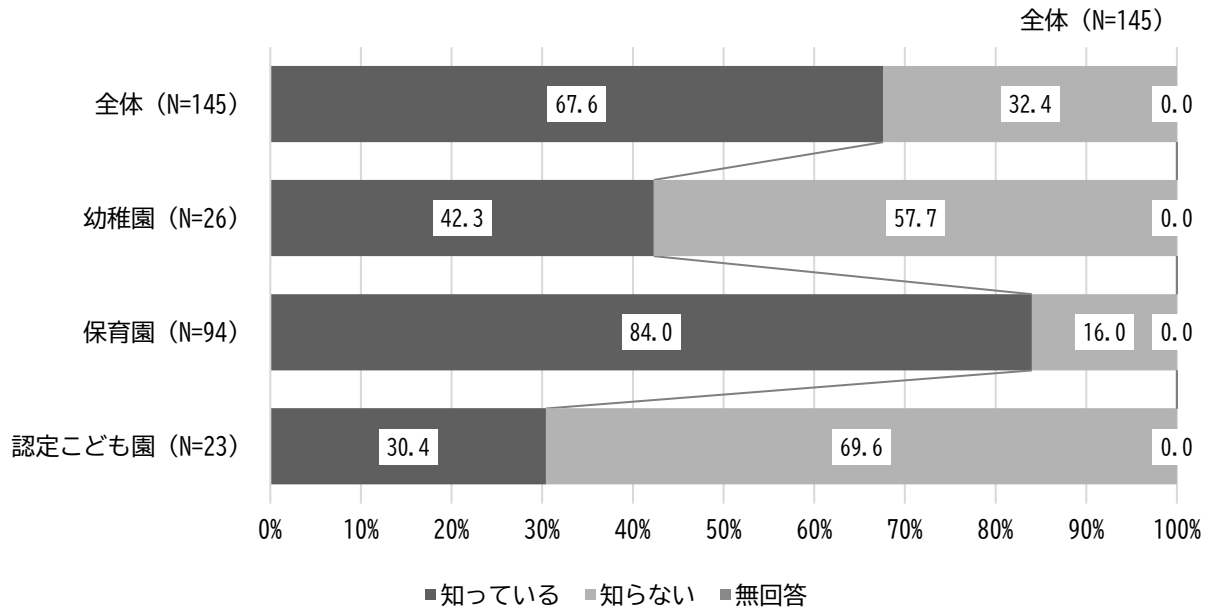
第3章 幼稚園・保育園等教職員調査結果



※【前回調査との比較】は、本調査と平成29年調査の選択肢が異なるため、記載していない。

問4 あなたは、「かつしかっ子」宣言を知っていますか。(〇は1つ)

- 「かつしかっ子」宣言の認知度は、全体では、「知っている」が67.6%、「知らない」が32.4%となっており、「知っている」の方が多くなっています。
- 園種でみると、「知っている」については、幼稚園では42.3%、保育園では84.0%、認定こども園では30.4%です。



【前回調査との比較】

- 「かつしかっ子」宣言を知っている幼保教員等の割合をみると、平成29年度調査と比べて、全体、保育園で10ポイント以上増えています。

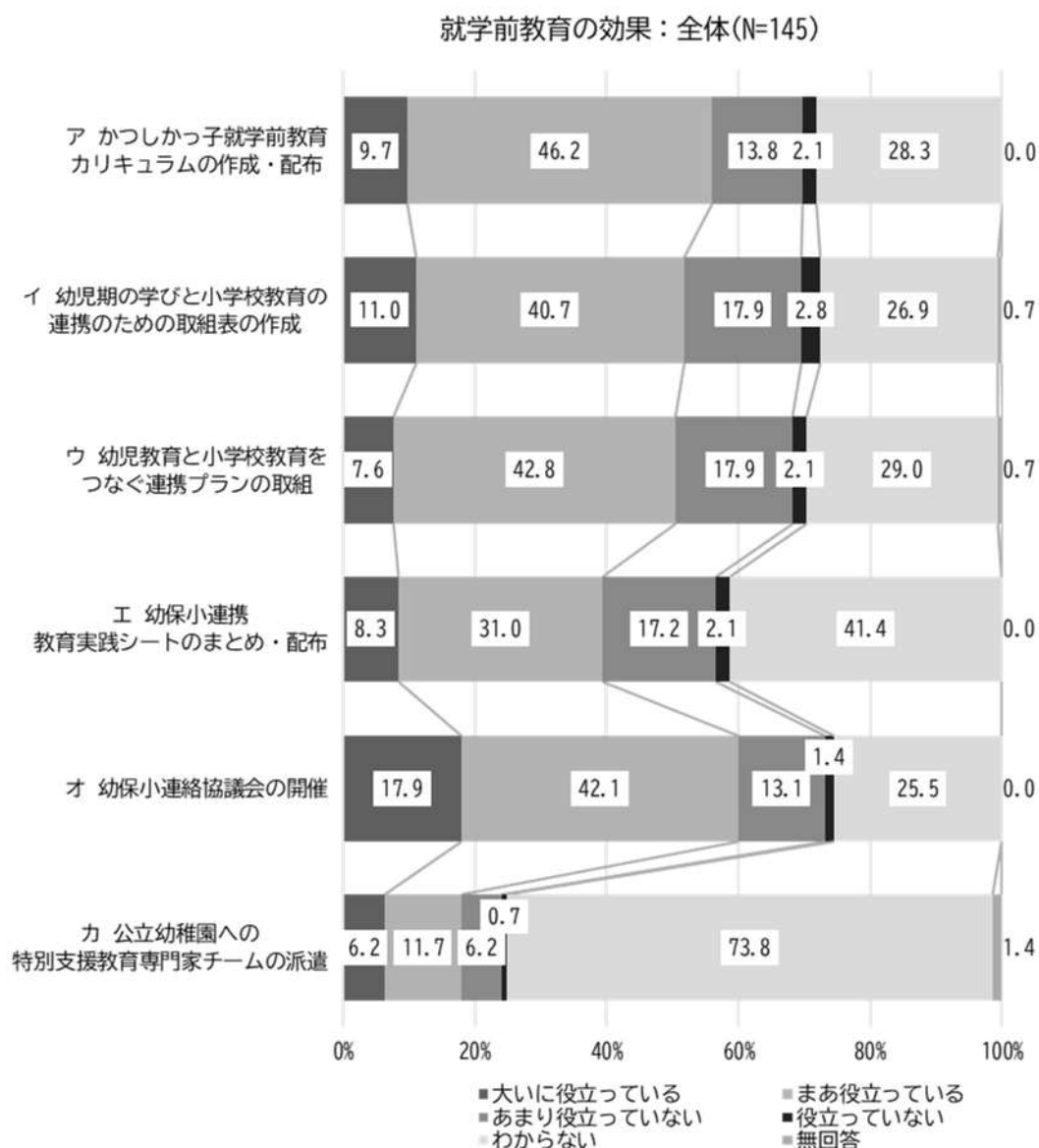
■ 「かつしかっ子」宣言を知っている幼保教員等の割合 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	67.6	54.7
幼稚園	42.3	42.6
保育園	84.0	64.9
認定こども園	30.4	26.7

問5 区では、就学前教育の充実を目指して様々な取組を進めています。以下の取組の効果について、あなたの考えをお聞かせください。（〇はそれぞれ1つつ）

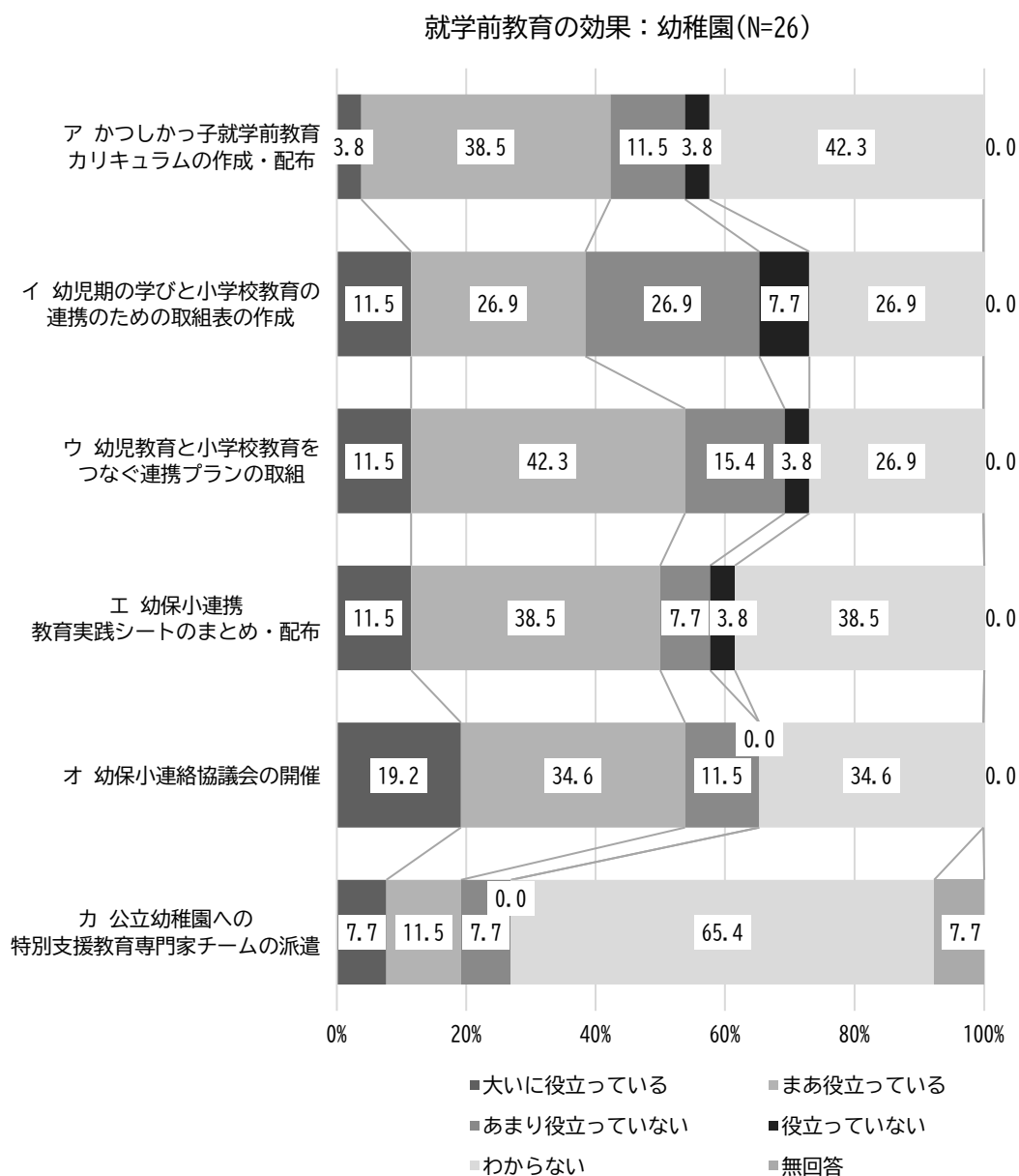
【全体】

○ 就学前教育の取組の効果について、全体では、役に立っている取組（「大いに役立っている」と「まあ役立っている」の合計）は、「オ 幼保小連絡協議会の開催」が60.0%と最も多く、ついで「ア かつしかっ子就学前教育カリキュラムの作成・配布」が55.9%、「イ 幼児期の学びと小学校教育の連携のための取組表の作成」が51.7%で続きます。



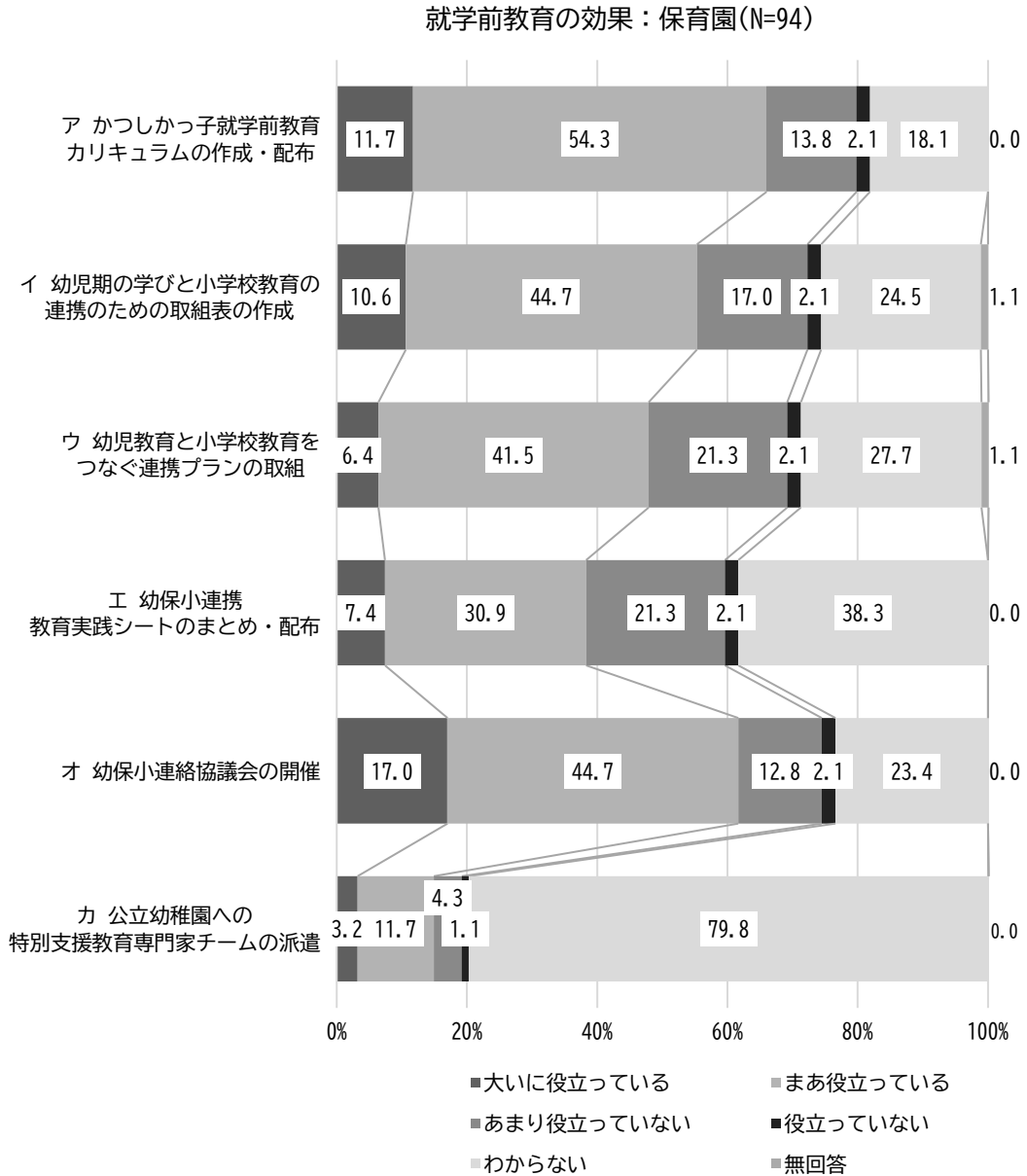
【幼稚園】

- 幼稚園では、役に立っている取組（「大いに役立っている」と「まあ役立っている」の合計）は、「ウ 幼児教育と小学校教育をつなぐ連携プランの取組」と「オ 幼保小連絡協議会の開催」が53.8%と最も多く、ついで「エ 幼保小連携教育実践シートのまとめ・配布」が50.0%で続きます。



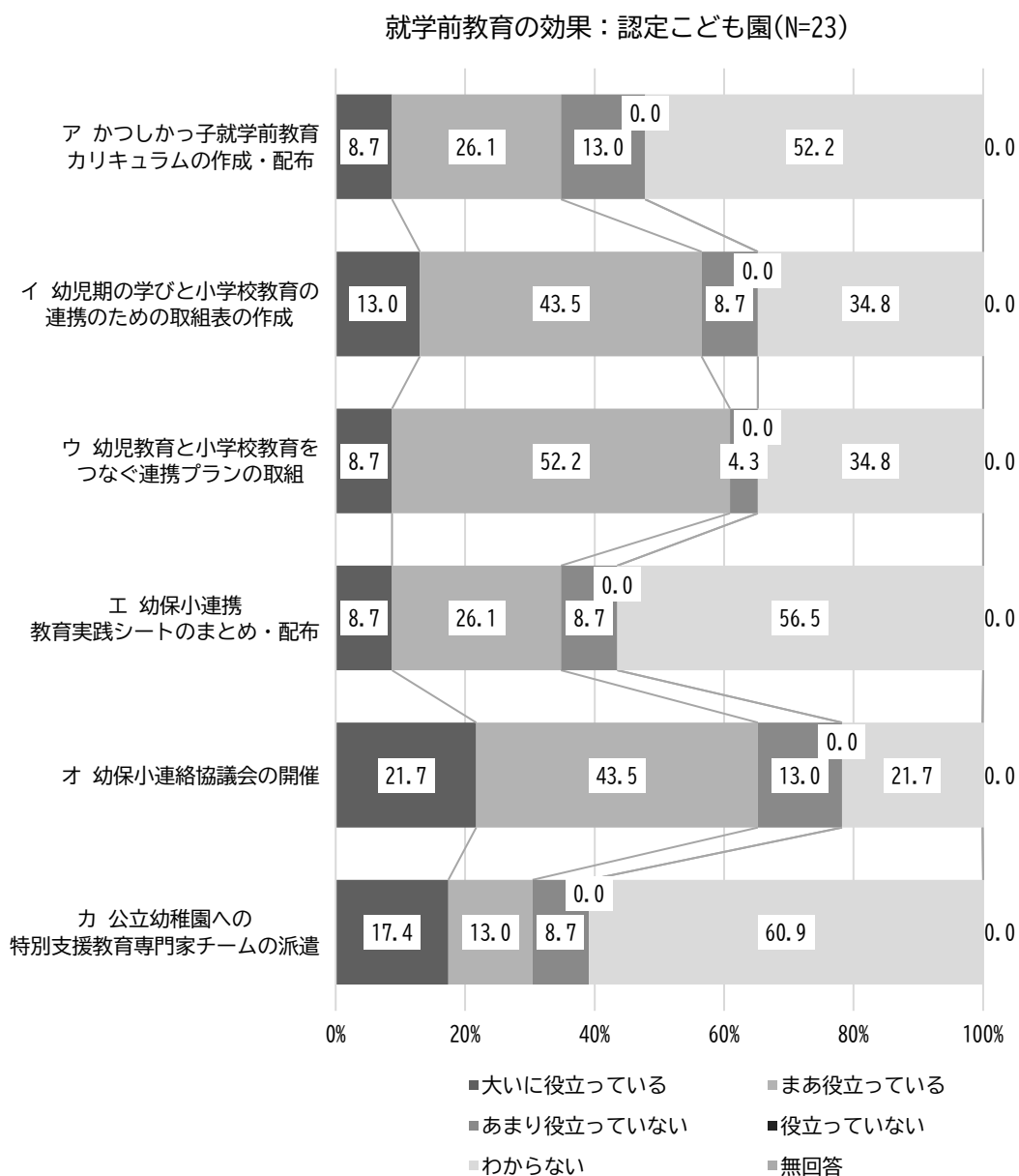
【保育園】

- 保育園では、役に立っている取組（「大いに役立っている」と「まあ役立っている」の合計）は、「ア かつしかっ子就学前教育カリキュラムの作成・配布」が66.0%と最も多く、ついで「オ 幼保小連絡協議会の開催」が61.7%、「イ 幼児期の学びと小学校教育の連携のための取組表の作成」が55.3%で続きます。



【認定こども園】

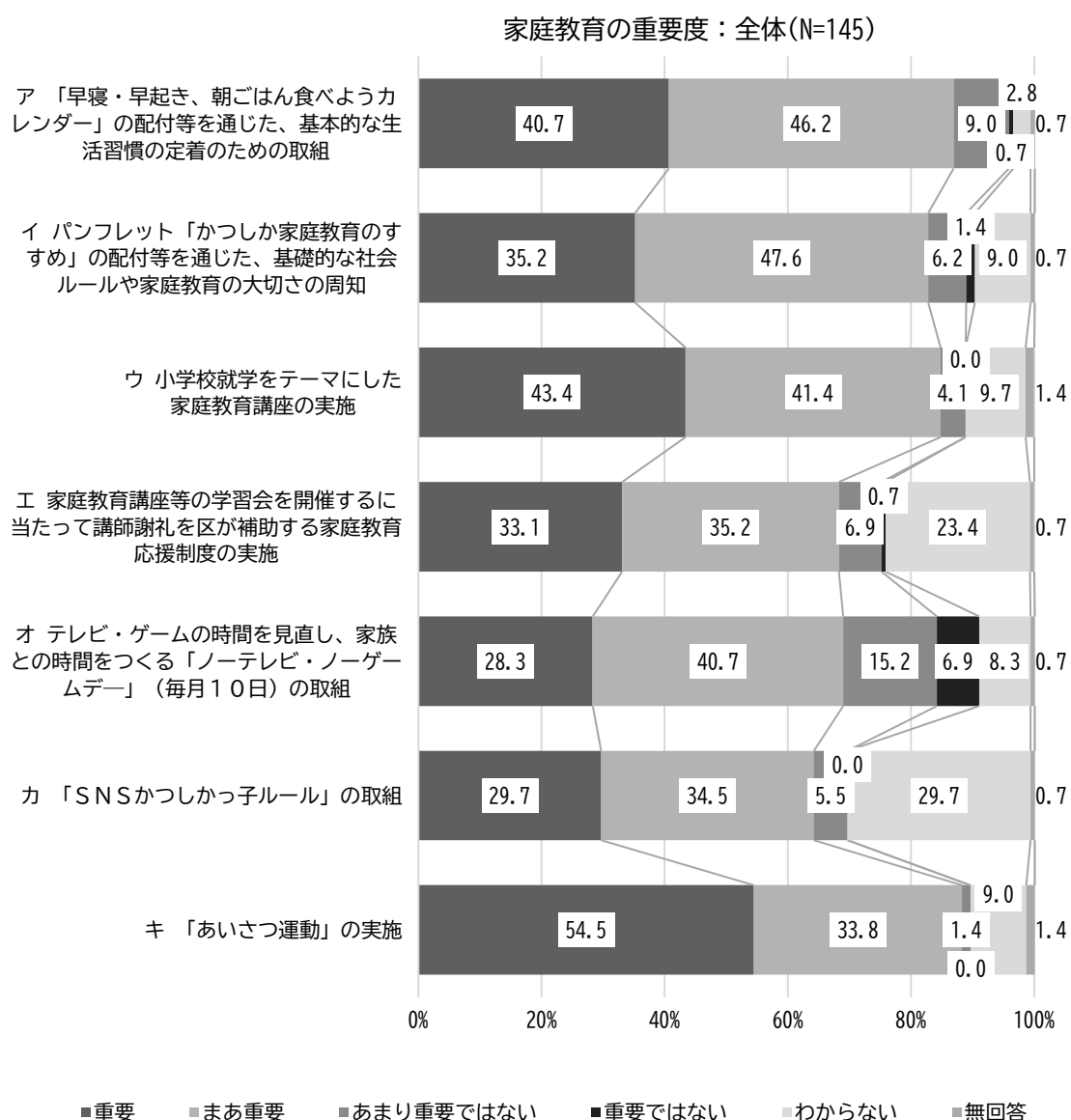
- 認定こども園では、役に立っている取組（「大いに役立っている」と「まあ役立っている」の合計）は、「オ 幼保小連絡協議会の開催」が65.2%と最も多く、ついで「ウ 幼児教育と小学校教育をつなぐ連携プランの取組」が60.9%、「イ 幼児期の学びと小学校教育の連携のための取組表の作成」が56.5%で続きます。



問6 区では、家庭教育の充実を目的として様々な取組を進めています。以下の取組について、重要度をお聞かせください。（〇はそれぞれ1つずつ）

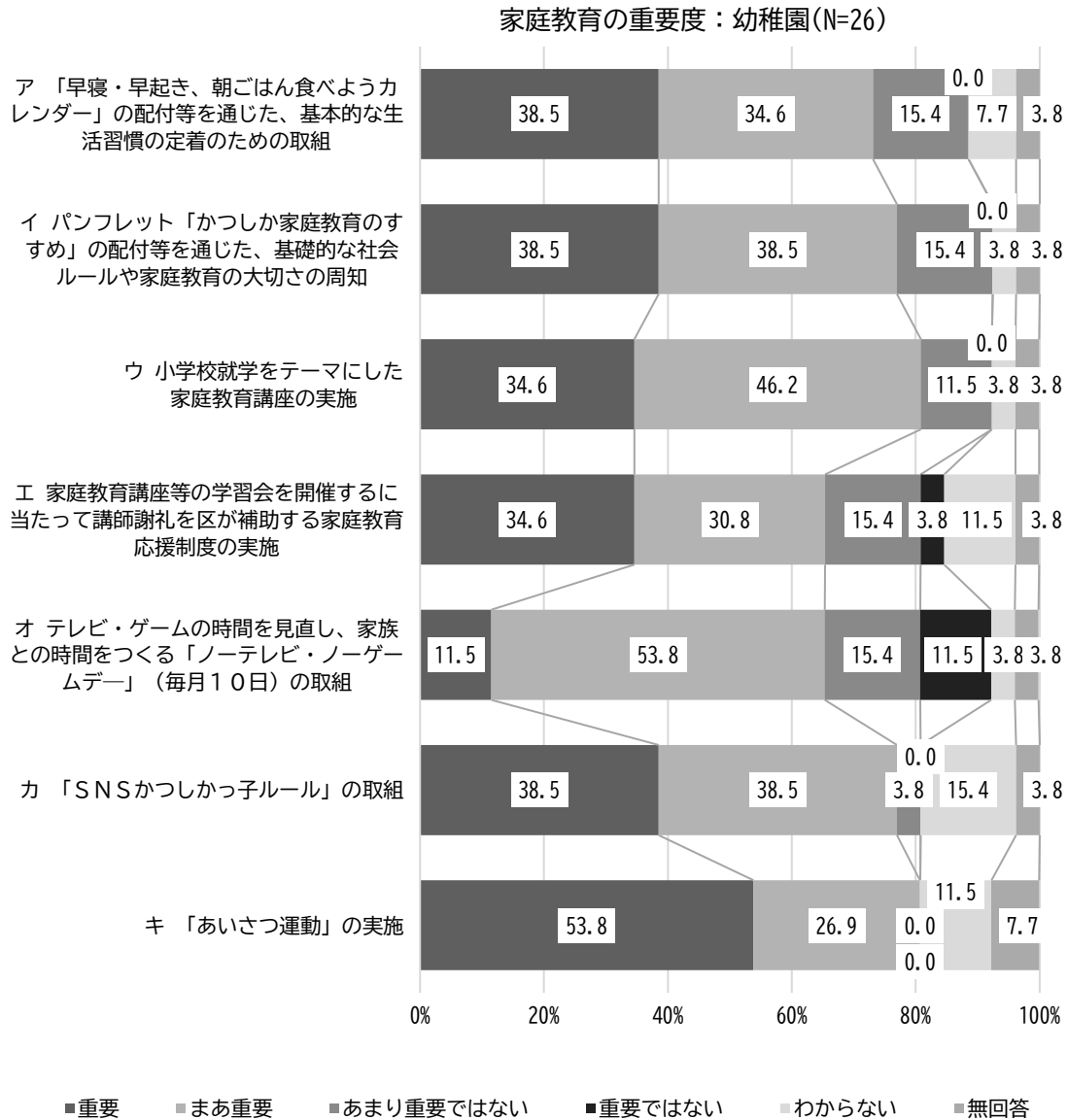
【全体】

- 家庭教育の取組の重要度は、全体では、重要だと考えている取組（「重要」と「まあ重要」の合計）は、「キ 「あいさつ運動」の実施」が88.3%と最も多く、ついで「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が86.9%、「ウ 小学校就学をテーマにした家庭教育講座の実施」が84.8%で続きます。



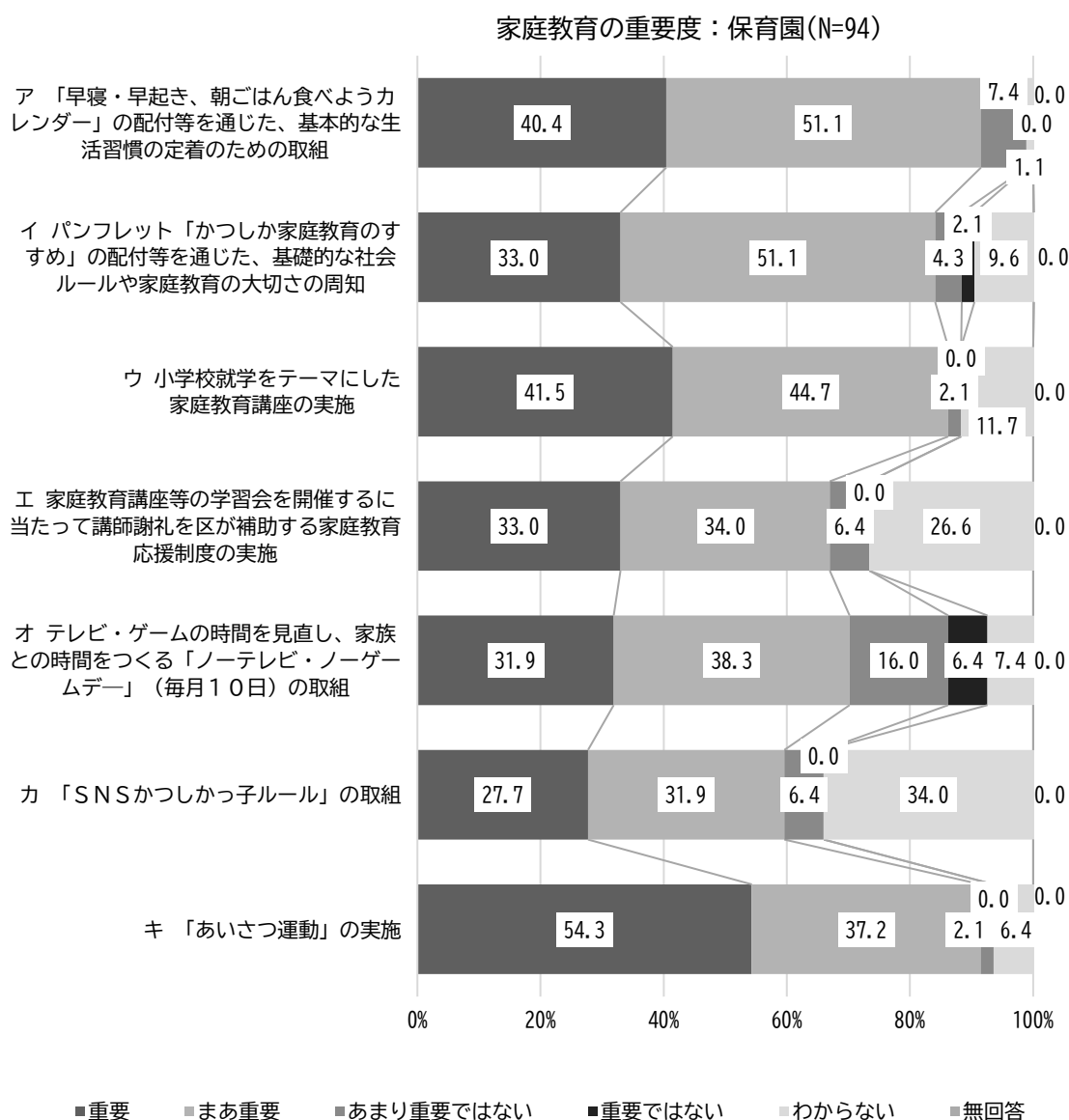
【幼稚園】

- 幼稚園では、重要だと考えている取組（「重要」と「まあ重要」の合計）は、「ウ 小学校就学をテーマにした家庭教育講座の実施」が80.8%と最も多く、ついで「キ 「あいさつ運動」の実施」が80.7%、「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」と「カ 「SNSかつしかっ子ルール」の取組」が77.0%で続きます。



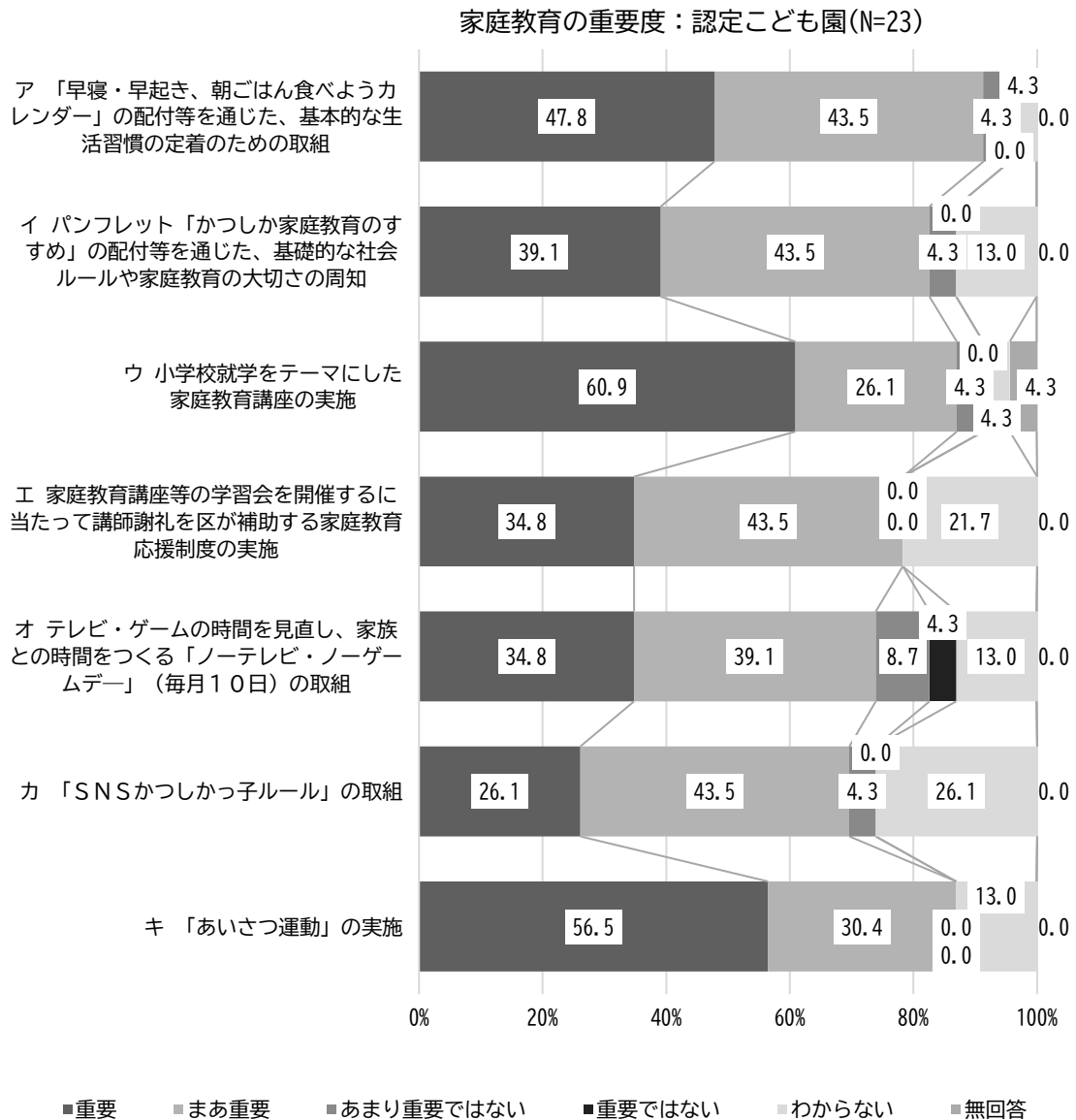
【保育園】

- 保育園では、重要だと考えている取組（「重要」と「まあ重要」の合計）は、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」と「キ 「あいさつ運動」の実施」が91.5%と最も多く、ついで「ウ 小学校就学をテーマにした家庭教育講座の実施」が86.2%で続きます。



【認定こども園】

- 認定こども園では、重要だと考えている取組（「重要」と「まあ重要」の合計）は、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が91.3%と最も多く、ついで「ウ 小学校就学をテーマにした家庭教育講座の実施」が87.0%、「キ 「あいさつ運動」の実施」が86.9%で続きます。



3 ICTの活用についてお聞きします。

問7 教職員の多忙感の解消や業務の効率化を進めるICT活用に関する以下の取組について、①導入の状況、②今後の必要性について、あなたの考えをお聞かせください。

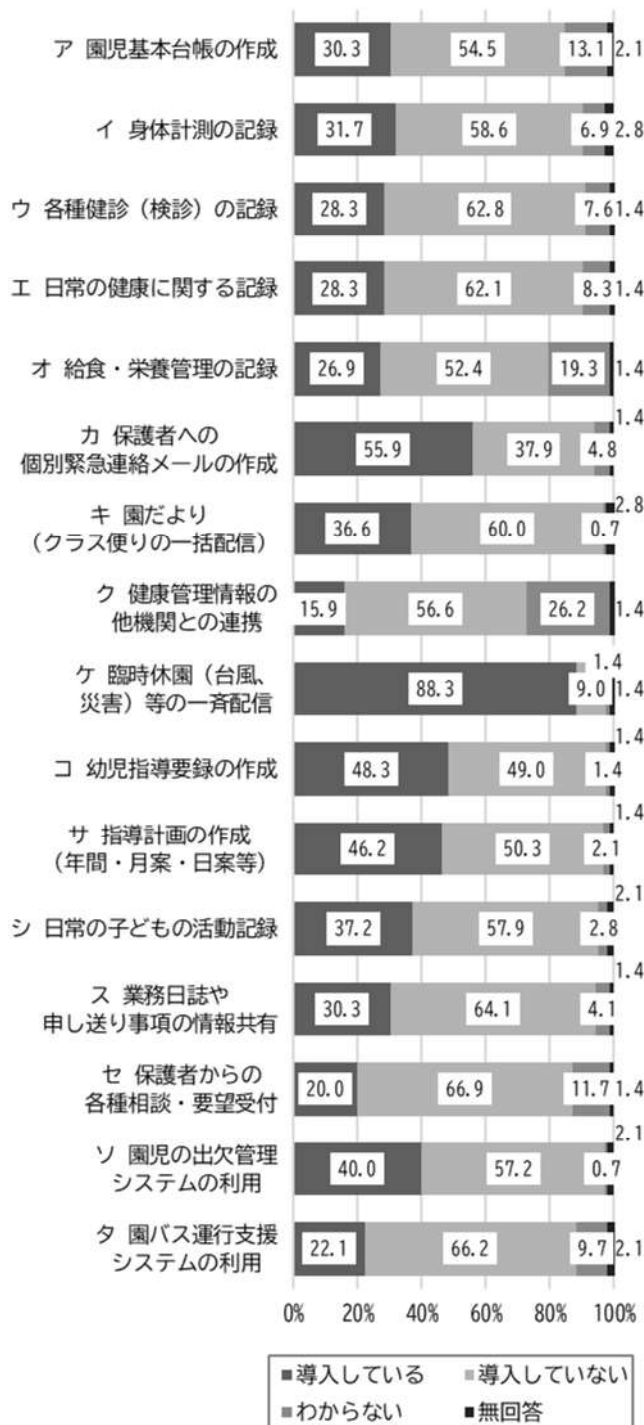
【全体】

- ICT活用に関する①導入している取組は、グラフの左側をみると、全体では、「ケ 臨時休園（台風、災害）等の一斉配信」が88.3%と最も多く、ついで「カ 保護者への個別緊急連絡メールの作成」が55.9%、「コ 幼児指導要録の作成」が48.3%で続きます。
- ②今後の必要性のある取組は、グラフの右側をみると、「大いに必要」が最も多い項目は「ケ 臨時休園（台風、災害）等の一斉配信」（87.6%）です。このほかに5割以上となっている項目は、「ア 園児基本台帳の作成」（50.3%）、「イ 身体計測の記録」（50.3%）、「カ 保護者への個別緊急連絡メールの作成」（65.5%）、「キ 園だより（クラス便りの一括配信）」（56.6%）、「コ 幼児指導要録の作成」（62.1%）、「サ 指導計画の作成（年間・月案・日案等）」（60.0%）、「シ 日常の子どもの活動記録」（51.0%）、「ス 業務日誌や申し送り事項の情報共有」（52.4%）、「ソ 園児の出欠管理システムの利用」（66.9%）です。

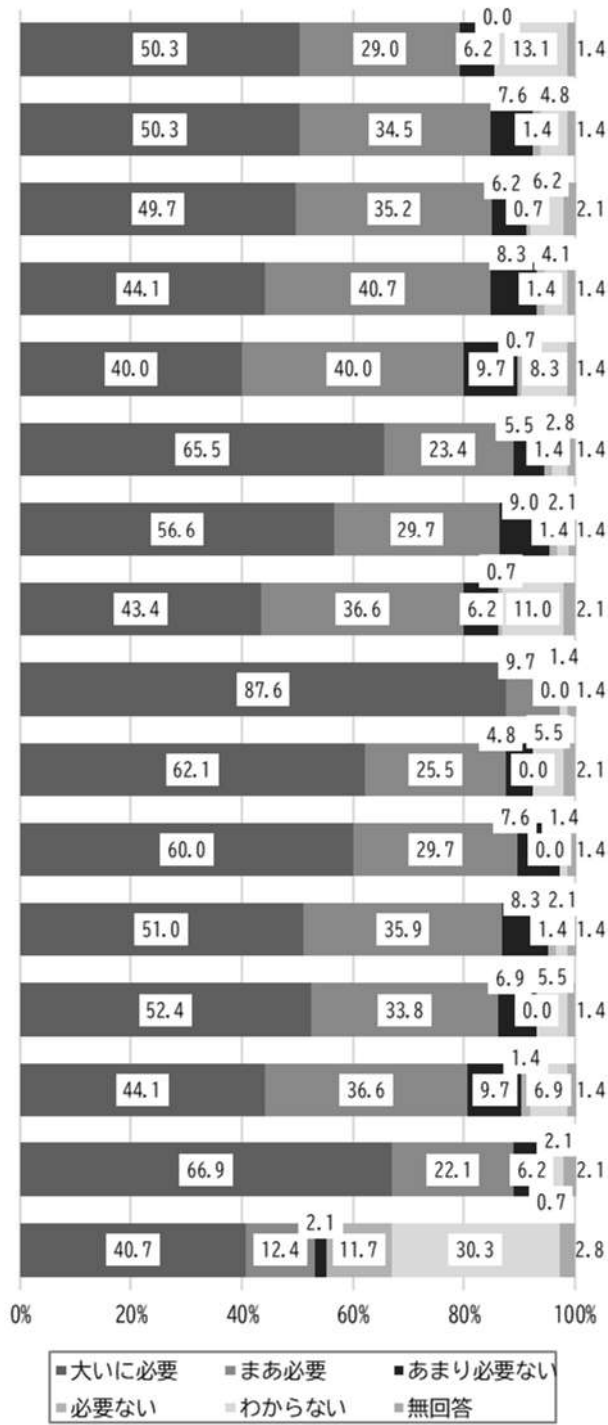
（グラフは次ページ）

第3章 幼稚園・保育園等教職員調査結果

①導入状況・全体(N=145)



②今後の必要性



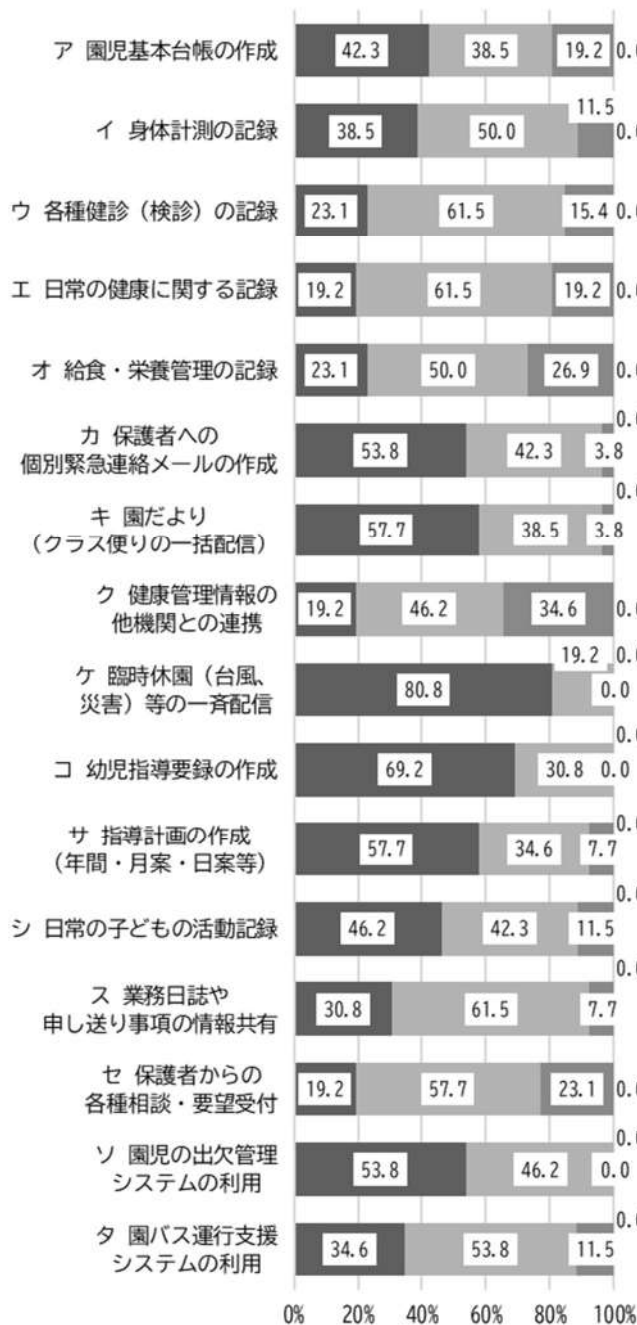
【幼稚園】

- ICT活用に関する①導入している取組は、グラフの左側をみると、幼稚園では、「ケ 臨時休園（台風、災害）等の一斉配信」が80.8%と最も多く、ついで「コ 幼児指導要録の作成」が69.2%、「キ 園だより（クラス便りの一括配信）」と「サ 指導計画の作成（年間・月案・日案等）」が57.7%で続きます。
- ②今後の必要性のある取組は、グラフの右側をみると、「大いに必要」が最も多い項目は「ケ 臨時休園（台風、災害）等の一斉配信」（76.9%）です。このほかに5割以上となっている項目は、「ア 園児基本台帳の作成」（50.0%）、「カ 保護者への個別緊急連絡メールの作成」（57.7%）、「キ 園だより（クラス便りの一括配信）」（50.0%）、「コ 幼児指導要録の作成」（61.5%）、「サ 指導計画の作成（年間・月案・日案等）」（50.0%）、「ソ 園児の出欠管理システムの利用」（53.8%）です。

（グラフは次ページ）

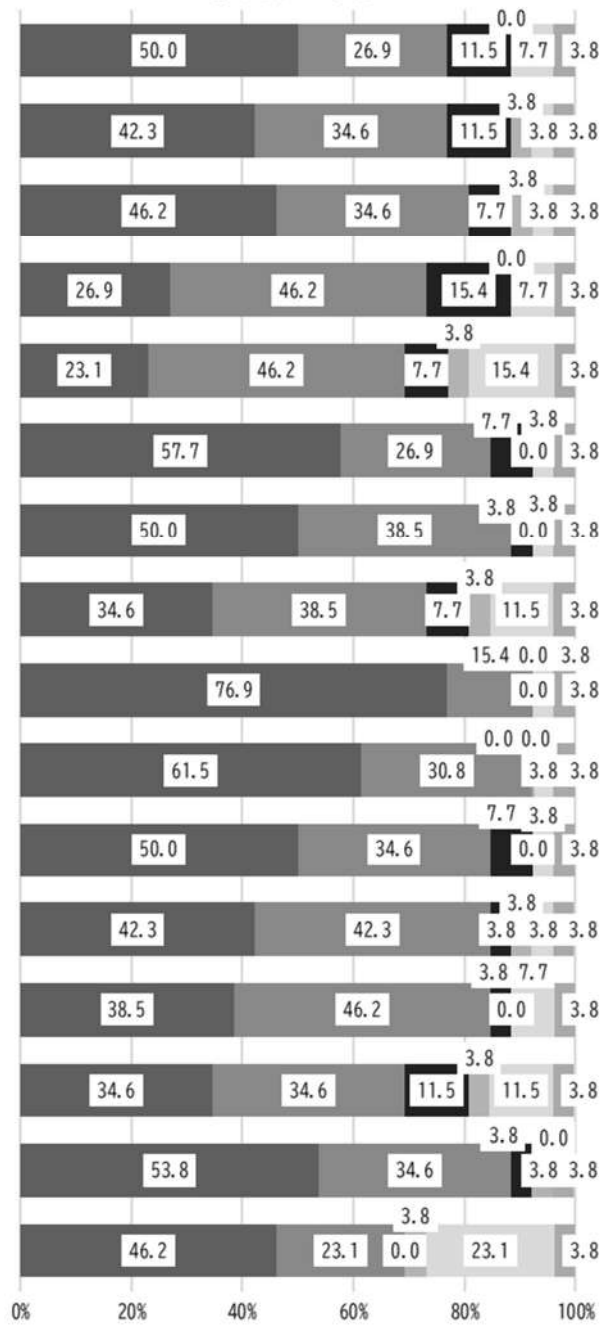
第3章 幼稚園・保育園等教職員調査結果

①導入状況・幼稚園(N=26)



■ 導入している ■ 導入していない
 ■ わからない ■ 無回答

②今後の必要性



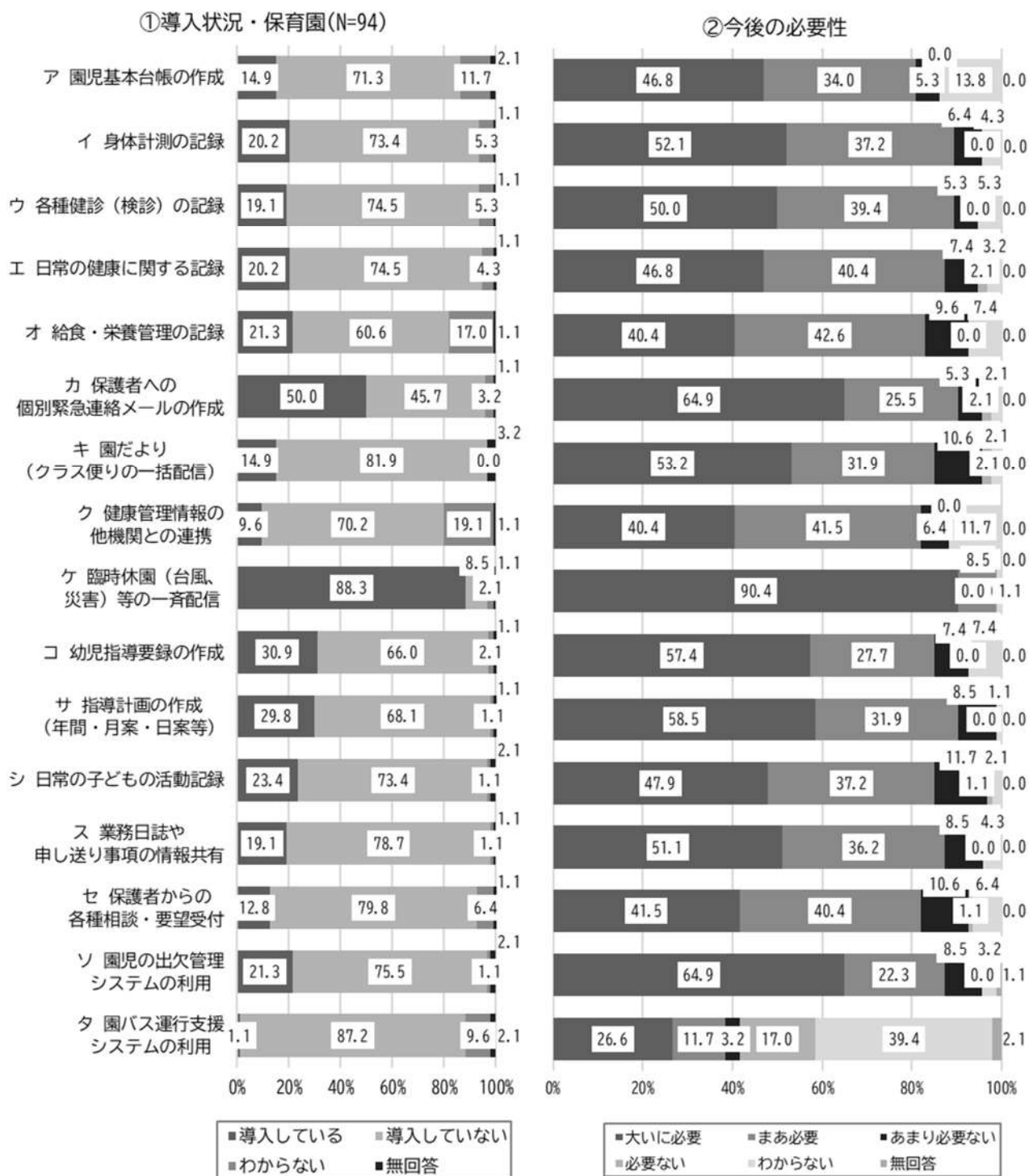
■ 大いに必要 ■ まあ必要 ■ あまり必要ない
 ■ 必要ない ■ わからない ■ 無回答

【保育園】

- ICT活用に関する①導入している取組は、グラフの左側をみると、保育園では、「ケ 臨時休園（台風、災害）等の一斉配信」が88.3%と最も多く、ついで「カ 保護者への個別緊急連絡メールの作成」が50.0%、「コ 幼児指導要録の作成」が30.9%で続きます。
- ②今後の必要性のある取組は、グラフの右側をみると、「大いに必要」が最も多い項目は「ケ 臨時休園（台風、災害）等の一斉配信」（90.4%）です。このほかに5割以上となっている項目は、「イ 身体計測の記録」（52.1%）、「ウ 各種健診（検診）の記録」（50.0%）、「カ 保護者への個別緊急連絡メールの作成」（64.9%）、「キ 園だより（クラス便りの一括配信）」（53.2%）、「コ 幼児指導要録の作成」（57.4%）、「サ 指導計画の作成（年間・月案・日案等）」（58.5%）、「ス 業務日誌や申し送り事項の情報共有」（51.1%）、「ソ 園児の出欠管理システムの利用」（64.9%）です。

（グラフは次ページ）

第3章 幼稚園・保育園等教職員調査結果



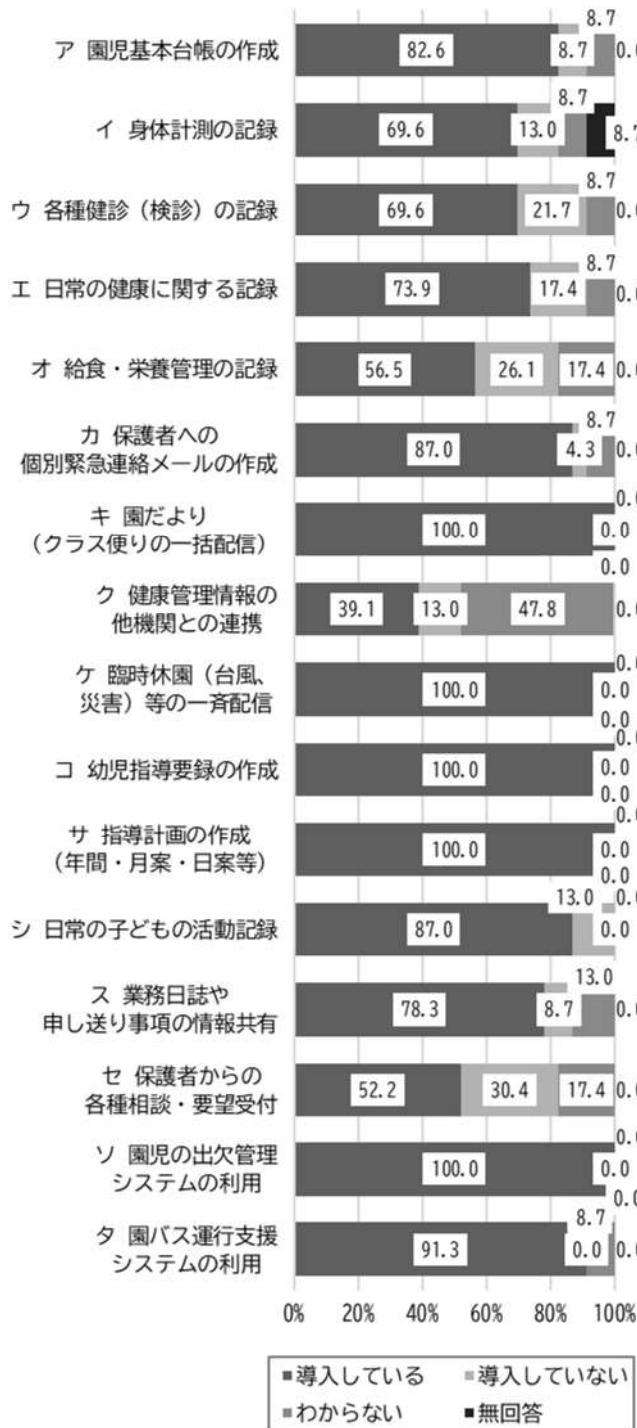
【認定こども園】

- ICT活用に関する①導入している取組は、グラフの左側をみると、認定こども園では、「キ 園だより（クラス便りの一括配信）」、「ケ 臨時休園（台風、災害）等の一斉配信」、「コ 幼児指導要録の作成」、「サ 指導計画の作成（年間・月案・日案等）」、「ソ 園児の出欠管理システムの利用」が100.0%と最も多く、ついで「タ 園バス運行支援システムの利用」が91.3%、「カ 保護者への個別緊急連絡メールの作成」、「シ 日常の子どもの活動記録」が87.0%で続きます。
- ②今後の必要性のある取組は、グラフの右側をみると、「大いに必要」が最も多い項目は「ケ 臨時休園（台風、災害）等の一斉配信」、「ソ 園児の出欠管理システムの利用」、「タ 園バス運行支援システムの利用」（91.3%）です。また、全ての項目で「大いに必要」が5割以上となっています。

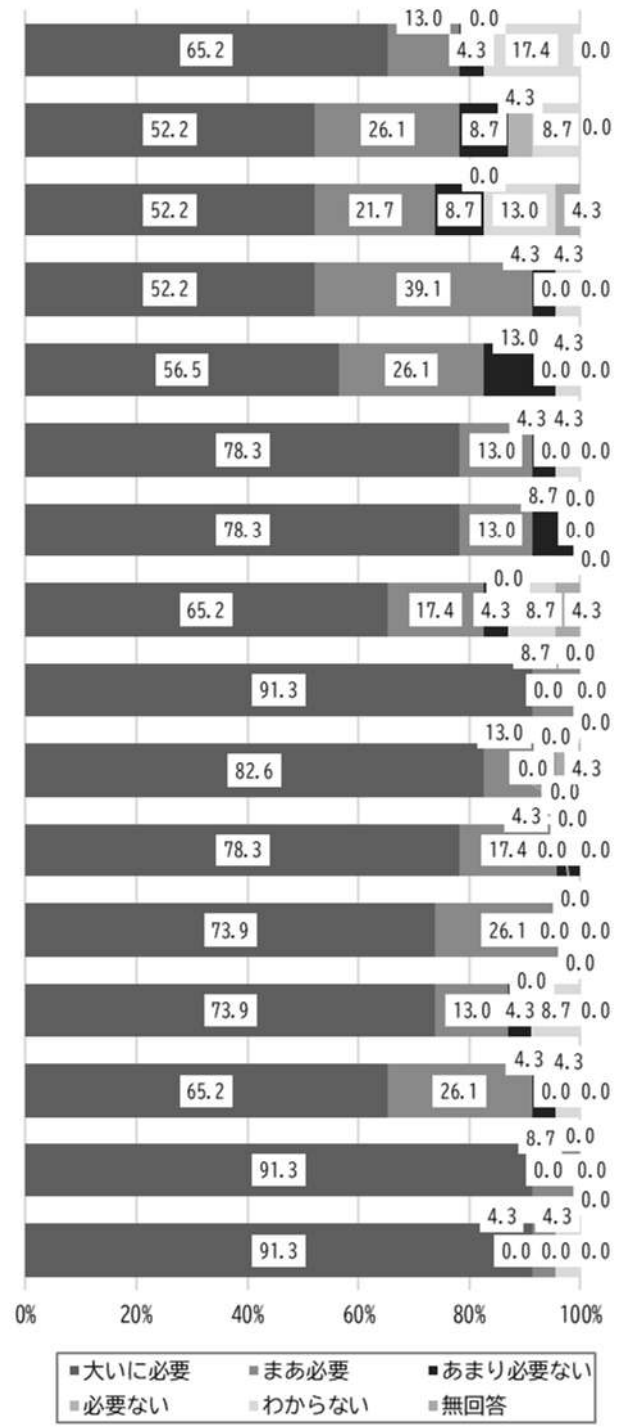
（グラフは次ページ）

第3章 幼稚園・保育園等教職員調査結果

①導入状況・認定こども園(N=23)



②今後の必要性



4 自由意見

問8 区の教育振興に関するご意見がございましたら、お書きください。（自由記述）

- 区の教育振興に関するご意見を自由記述形式でたずねたところ、28件の回答がありました。
以下に分類毎の件数を掲載します。

(件数)

区分	分類	全体	幼稚園	保育園	認定 こども 園	不明
1	幼稚園・保育園等教員及び保育士の資質の向上	2	1	1	0	0
2	幼保小中連携の推進、期待	11	3	7	1	0
3	保護者への支援	3	0	1	2	0
4	特別支援教育の充実	2	0	1	1	0
5	I C T化の推進	3	0	3	0	0
6	その他	7	0	6	0	1
合計		28	4	19	4	1

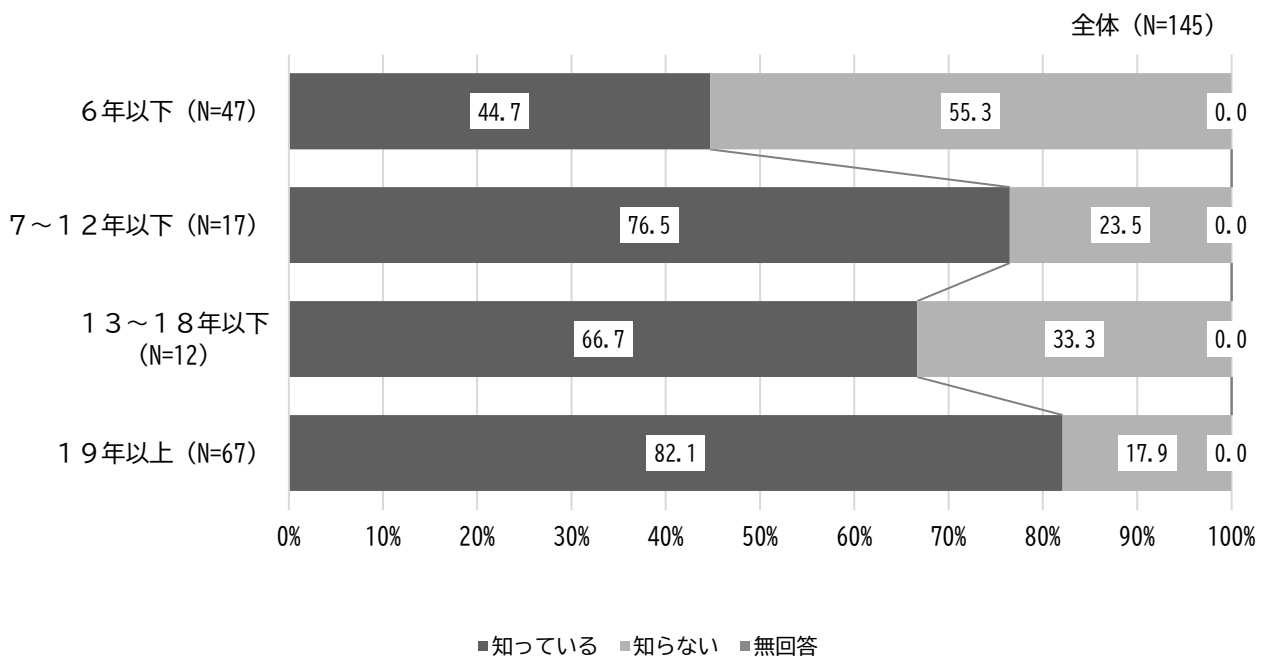
5 分析編：経験年数によるクロス集計

- 幼稚園・保育園等教職員調査では、教職員の経験年数（問2）を用いてクロス集計を行いました。
- 幼保小連携を考える際の基礎資料として利用するため、「かつしかっ子」宣言の認知度と幼保小中連携の取組に関する設問を対象としています。

(1) 「かつしかっ子」宣言の認知度

【「かつしかっ子」宣言の認知度（問4）】

- 「かつしかっ子」宣言の認知度は、経験年数が「7～12年以下」、「13～18年以下」、「19年以上」では「知っている」が多くなっています。
- 「6年以下」では「知らない」が55.3%であり、半数を超えています。



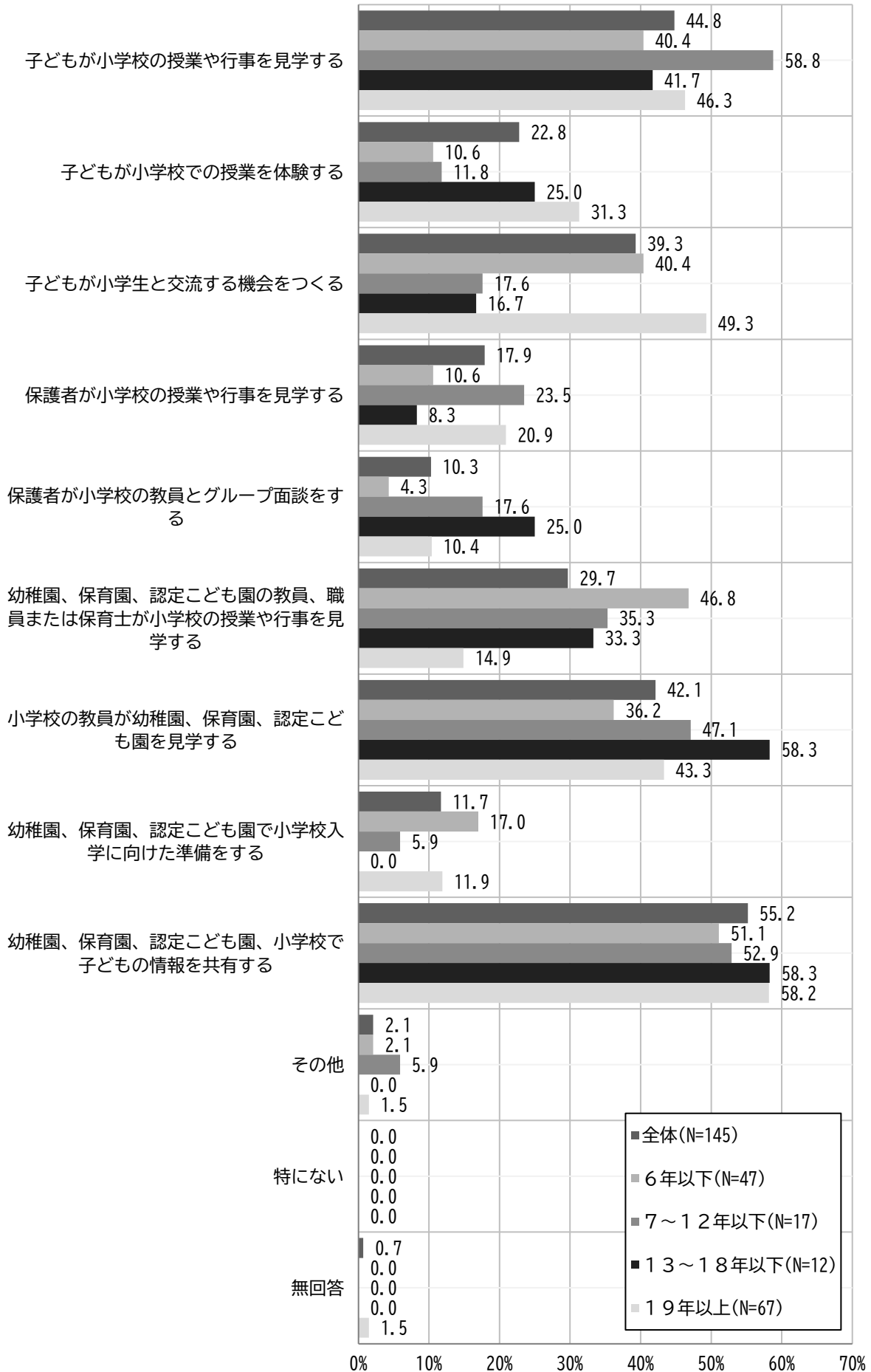
(2) 幼保小連携の取組に関する意向

【区立小・中学校との連携（問3）】

- 区立小・中学校との連携に特に必要と考える取組は、経験年数が「6年以下」では、「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が51.1%と最も多く、ついで「幼稚園、保育園、認定こども園の教員、職員または保育士が小学校の授業や行事を見学する」が46.8%、「子どもが小学校の授業や行事を見学する」と「子どもが小学生と交流する機会をつくる」が40.4%で続きます。
- 経験年数が「7～12年以下」では、「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が58.8%と最も多く、ついで「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が52.9%、「小学校の教員が幼稚園、保育園、認定こども園を見学する」が47.1%で続きます。
- 経験年数が「13～18年以下」では、「小学校の教員が幼稚園、保育園、認定こども園を見学する」と「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が58.3%と最も多く、ついで「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が41.7%で続きます。
- 経験年数が「19年以上」では、「幼稚園、保育園、認定こども園、小学校で子どもの情報を共有する」が58.2%と最も多く、ついで「子どもが小学生と交流する機会をつくる」が49.3%、「子どもが小学校の授業や行事を見学する」が46.3%で続きます。

（グラフは次ページ）

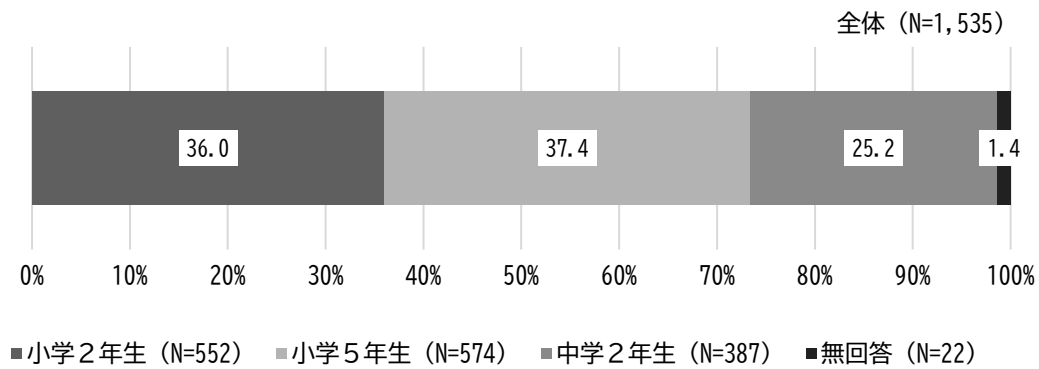
第3章 幼稚園・保育園等教職員調査結果



第4章 区立小・中学生保護者調査結果

問1 この調査票をご家庭にお持ち帰りいただいたお子さんの学年を教えてください。（〇は1つ）

- お子さんの学年は、「小学2年生」は36.0%、「小学5年生」は37.4%、「中学2年生」は25.2%となっています。



【前回調査との比較】

- 学年の割合をみると、本調査では、平成29年度調査と比べて、小学2年生と小学5年生は多くなり、中学2年生は少なくなっています。

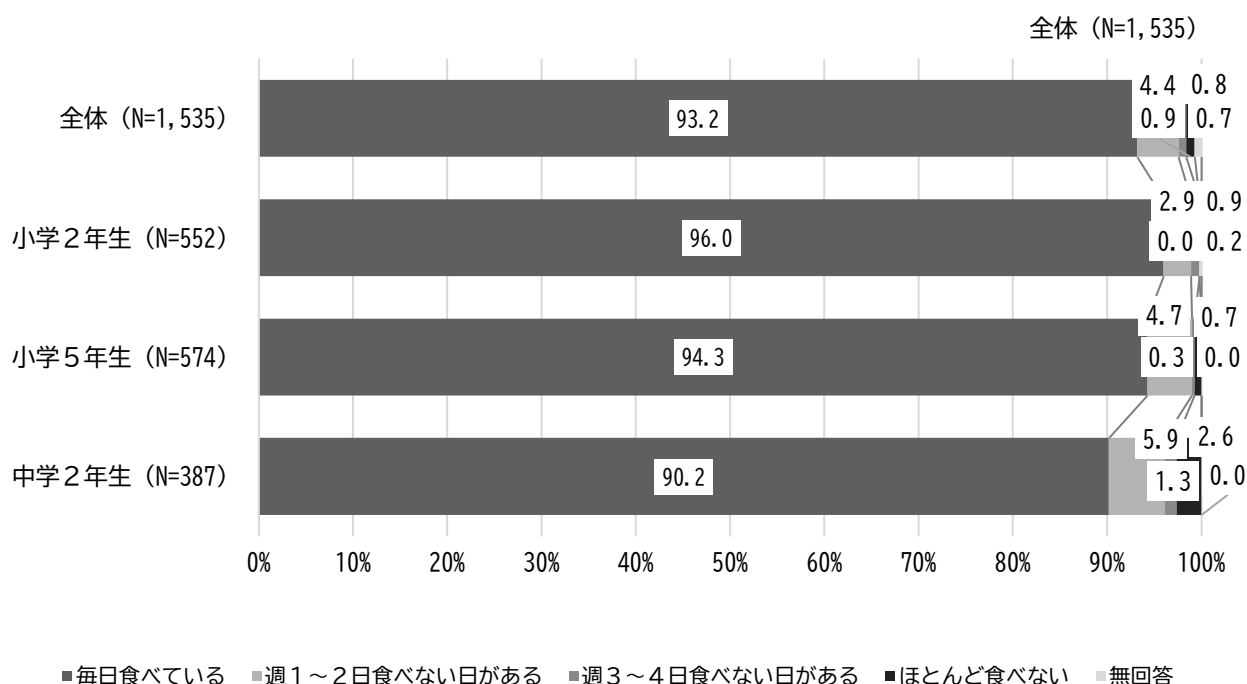
■学年の割合（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
小学2年生	36.0	32.3
小学5年生	37.4	31.8
中学2年生	25.2	35.9

1 家庭教育についてお聞きします。

問2 お子さんは朝食を食べていますか。(〇は1つ)

- お子さんは朝食を食べているかは、全体では、「毎日食べている」が93.2%で最も多くなっています。
- 朝食を毎日食べている子どもは、小学2年生で96.0%、小学5年生で94.3%、中学2年生で90.2%となっています。



【前回調査との比較】

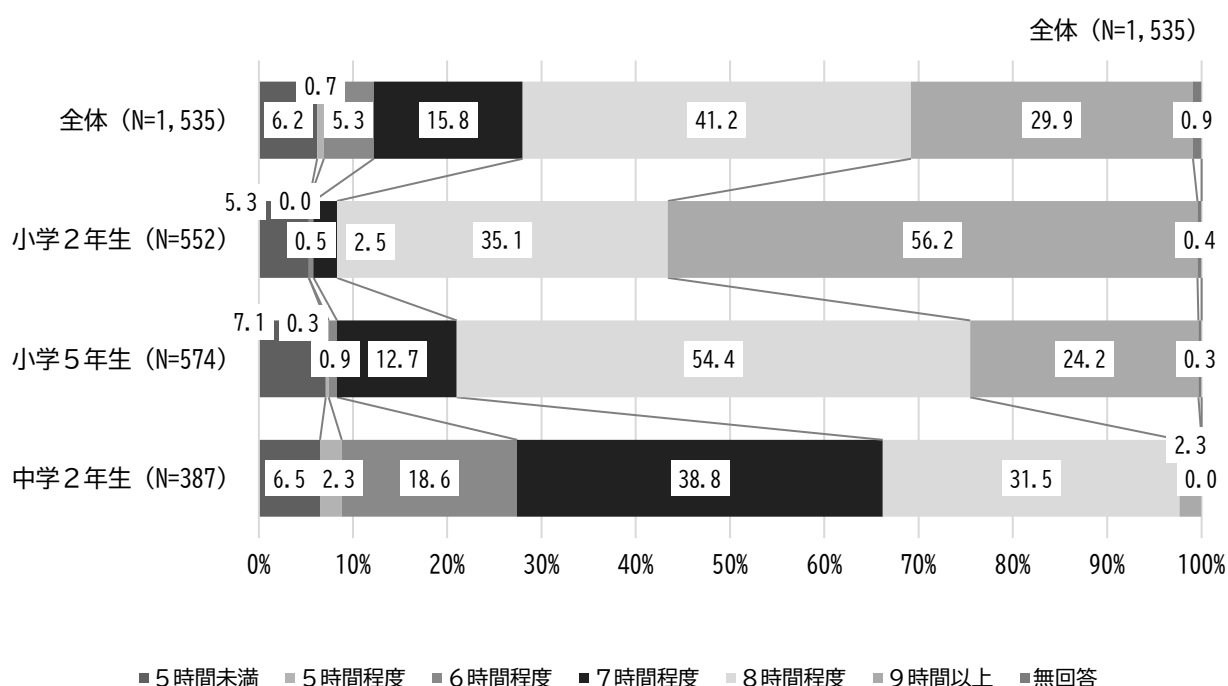
- 「毎日食べている」の割合をみると、中学2年生は平成29年度調査で8割台でしたが、本調査では9割台になっています。

■ 「毎日食べている」の割合 (単位: %)

属性	令和4年	平成29年
全体	93.2	90.6
小学2年生	96.0	94.2
小学5年生	94.3	91.6
中学2年生	90.2	86.7

問3 お子さんの1日の平均睡眠時間はどの程度ですか。(〇は1つ)

- お子さんの1日の平均睡眠時間は、全体では、「8時間程度」が41.2%と最も多く、ついで「9時間以上」が29.9%、「7時間程度」が15.8%で続きます。
- 小学2年生では、「9時間以上」が56.2%と最も多く、ついで「8時間程度」が35.1%、「5時間未満」が5.3%で続きます。
- 小学5年生では、「8時間程度」が54.4%と最も多く、ついで「9時間以上」が24.2%、「7時間程度」が12.7%で続きます。
- 中学2年生では、「7時間程度」が38.8%と最も多く、ついで「8時間程度」が31.5%、「6時間程度」が18.6%で続きます。



【前回調査との比較】

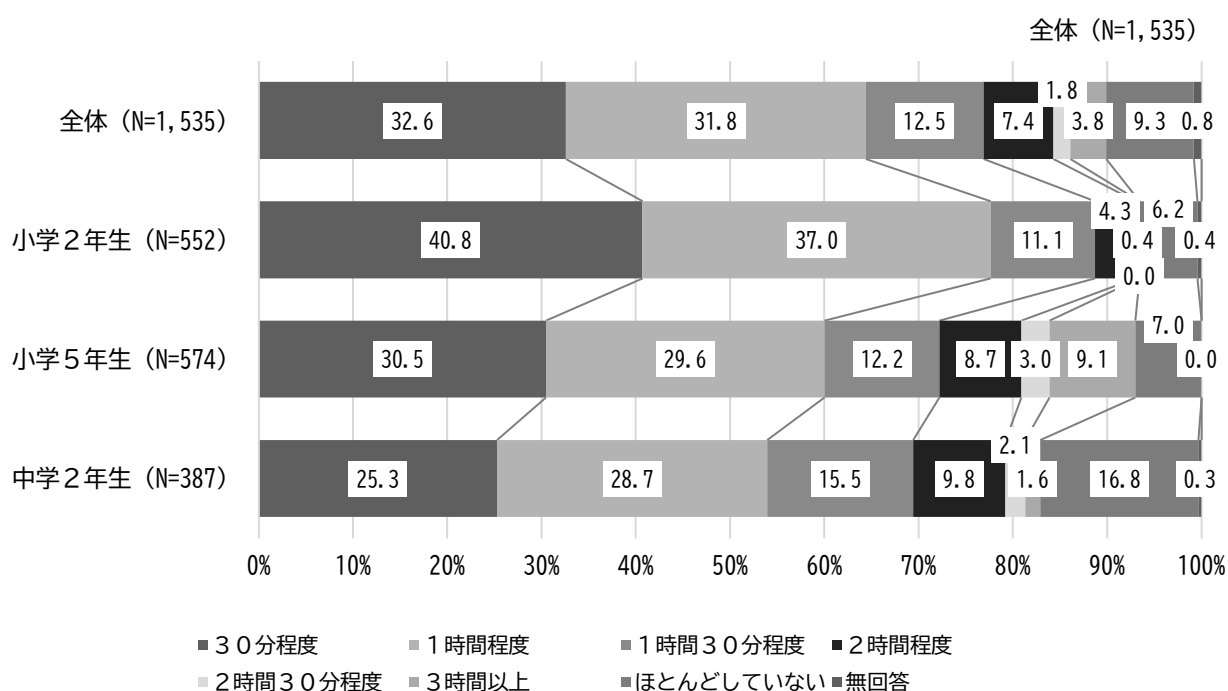
- 1日平均睡眠時間の割合の最上位をみると、本調査、平成29年度調査ともに、全ての属性で同じです。

■1日平均睡眠時間の割合の最上位 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	8時間程度 (41.2)	8時間程度 (44.8)
小学2年生	9時間以上 (56.2)	9時間以上 (56.2)
小学5年生	8時間程度 (54.4)	8時間程度 (59.5)
中学2年生	7時間程度 (38.8)	7時間程度 (40.6)

問4 お子さんは平日、学校の授業以外に1日平均どのくらい勉強していますか。（学校の宿題のほか、通信教育、塾や家庭教師等による学習時間を含めます。）（〇は1つ）

- お子さんの1日の平均勉強時間（学校の授業以外）は、全体では、「30分程度」が32.6%と最も多く、ついで「1時間程度」が31.8%、「1時間30分程度」が12.5%で続きます。
- 小学2年生では、「30分程度」が40.8%と最も多く、ついで「1時間程度」が37.0%、「1時間30分程度」が11.1%で続きます。
- 小学5年生では、「30分程度」が30.5%と最も多く、ついで「1時間程度」が29.6%、「1時間30分程度」が12.2%で続きます。
- 中学2年生では、「1時間程度」が28.7%と最も多く、ついで「30分程度」が25.3%、「ほとんどしていない」が16.8%で続きます。



【前回調査との比較】

- 1日の平均勉強時間の割合の最上位をみると、平成29年度調査では全体と小学5年生は「1時間程度」でしたが、本調査ではどちらも「30分程度」となっています。

■1日平均勉強時間の割合の最上位 (単位 %)

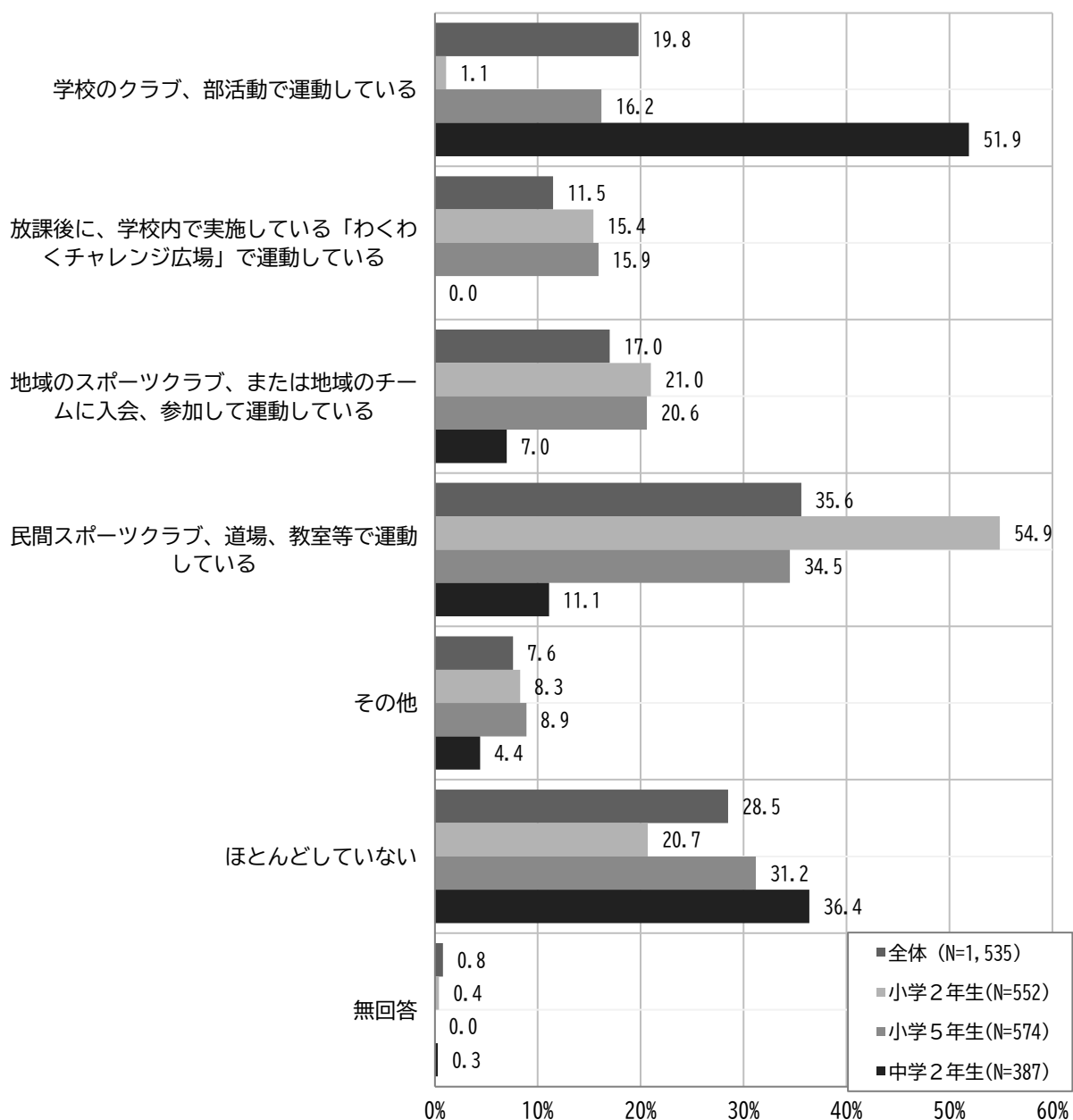
属性	令和4年	平成29年
全体	30分程度 (32.6)	1時間程度 (33.9)
小学2年生	30分程度 (40.8)	30分程度 (44.2)
小学5年生	30分程度 (30.5)	1時間程度 (37.2)
中学2年生	1時間程度 (28.7)	1時間程度 (31.2)

問 5 お子さんは普段、運動をしていますか。（学校の体育の時間を除きます。）（○はいくつでも）

- お子さんは普段、運動をしているか（学校の体育の時間を除く）は、全体では、「民間スポーツクラブ、道場、教室等で運動している」が 35.6%と最も多く、ついで「ほとんどしていない」が 28.5%、「学校のクラブ、部活動で運動している」が 19.8%で続きます。何らかの機会に運動をしている子どもは 70.7%です。（全体から「ほとんどしていない」と「無回答」を除いて算出しています。）
- 小学 2 年生では、「民間スポーツクラブ、道場、教室等で運動している」が 54.9%と最も多く、ついで「地域のスポーツクラブ、または地域のチームに入会、参加して運動している」が 21.0%、「ほとんどしていない」が 20.7%で続きます。
- 小学 5 年生では、「民間スポーツクラブ、道場、教室等で運動している」が 34.5%と最も多く、ついで「ほとんどしていない」が 31.2%、「地域のスポーツクラブ、または地域のチームに入会、参加して運動している」が 20.6%で続きます。
- 中学 2 年生では、「学校のクラブ、部活動で運動している」が 51.9%と最も多く、ついで「ほとんどしていない」が 36.4%、「民間スポーツクラブ、道場、教室等で運動している」が 11.1%で続きます。
- 「運動している子ども」は、小学 2 年生で 78.9%、小学 5 年生で 68.8%、中学 2 年生で 63.3%となっています。

（グラフは次ページ）

第4章 区立小・中学生保護者調査結果



【前回調査との比較】

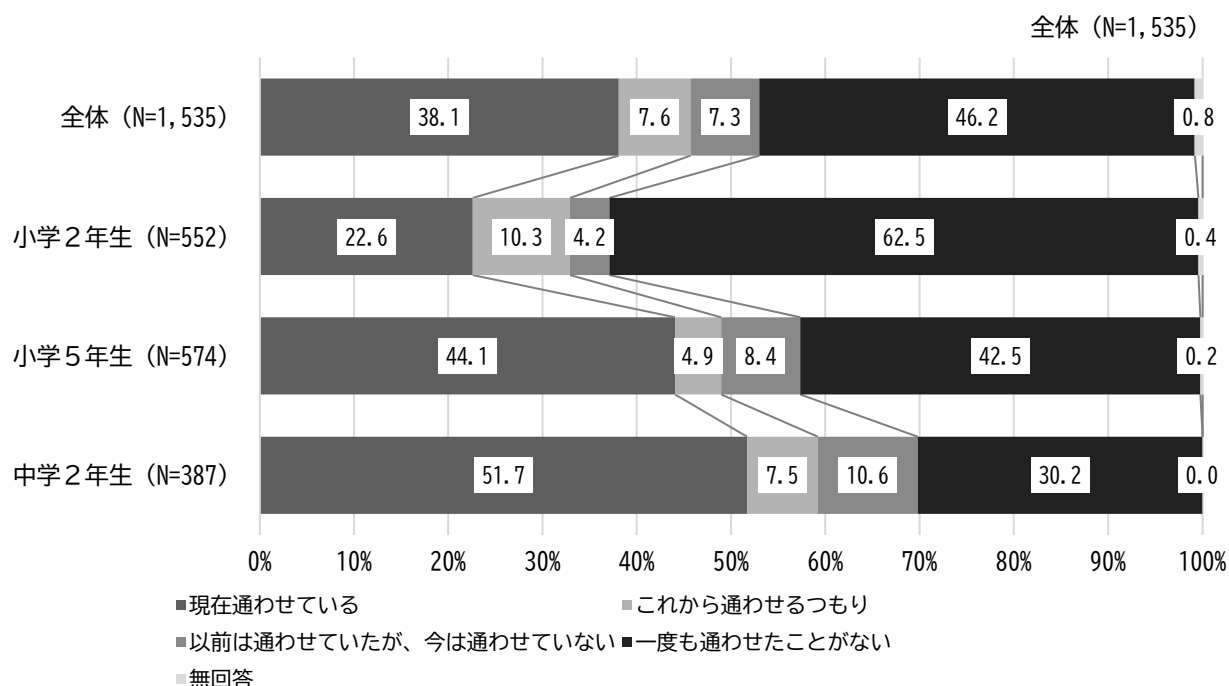
○ 何らかの機会に運動をしている子どもの割合は、本調査は平成29年度調査と比べて、小学2年生でほぼ横ばい、全体、小学5年生、中学2年生で少なくなっています。

■何らかの機会に運動をしている子どもの割合（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	70.7	77.2
小学2年生	78.9	79.8
小学5年生	68.8	77.8
中学2年生	63.3	74.3

問6 お子さんを学習塾（家庭教師を含む）に通わせていますか。（○は1つ）

- お子さんを学習塾（家庭教師を含む）に通わせているかは、全体では、「一度も通わせなかったことがない」が46.2%と最も多く、ついで「現在通わせている」が38.1%、「これから通わせるつもり」が7.6%で続きます。学習塾に通っている、または通う予定のある子ども（「現在通わせている」と「これから通わせるつもり」の合計）は45.7%です。
- 学習塾に通っている、または通う予定がある子どもは、小学2年生では32.9%、小学5年生で49.0%、中学2年生で59.2%となっています。



【前回調査との比較】

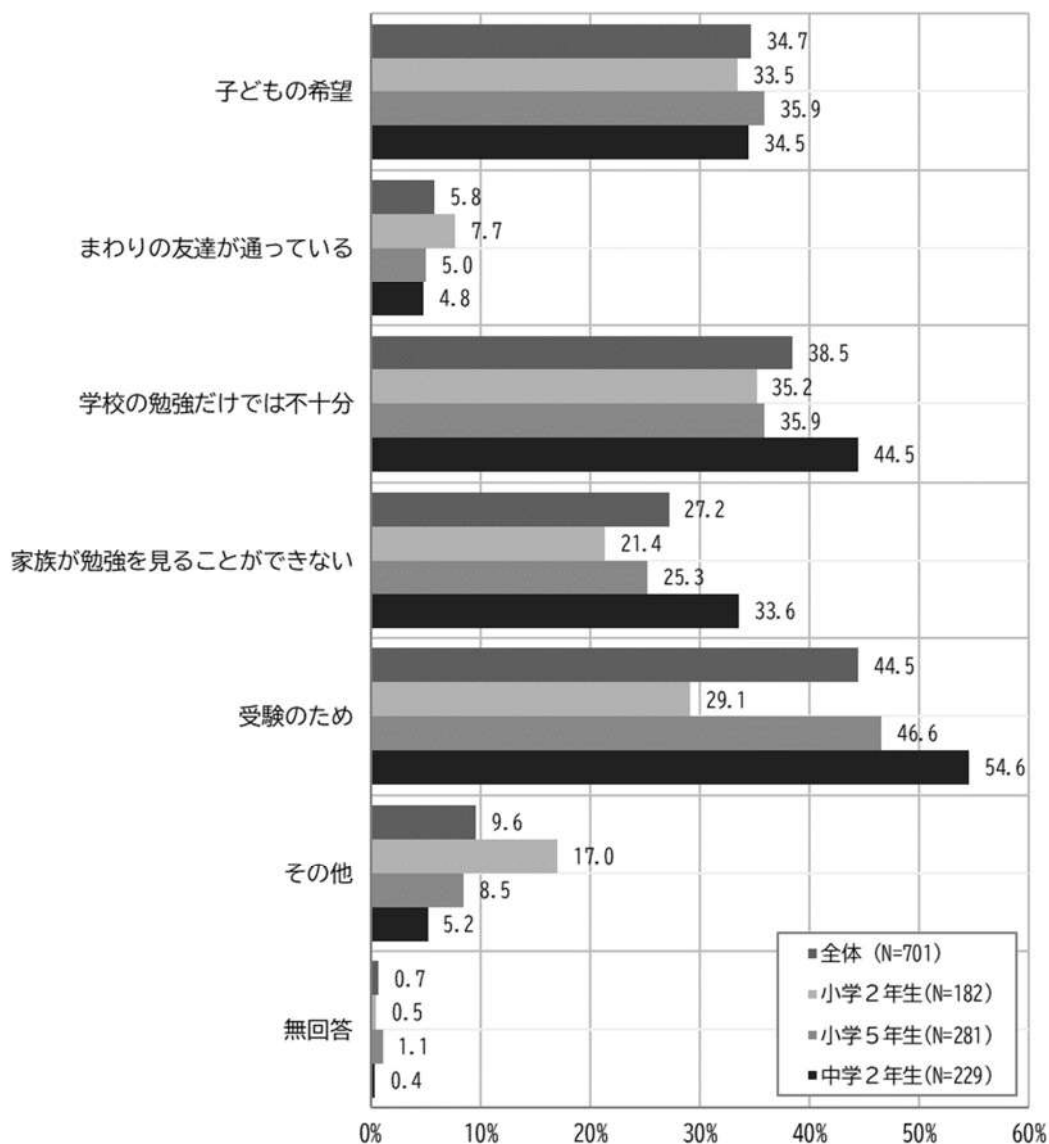
- 学習塾に通っている、または通う予定のある子どもの割合をみると、本調査は平成29年度調査と比べて、全体ではほぼ横ばい、小学2年生と小学5年生で多くなり、中学2年生で少なくなっています。

■学習塾に通っている、または通う予定のある子どもの割合 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	45.7	46.0
小学2年生	32.9	29.5
小学5年生	49.0	44.1
中学2年生	59.2	62.4

付問（問6で「1 現在通わせている」、または「2 これから通わせるつもり」とお答えの方にお聞きします。）学習塾に通わせている（通わせるつもり）の主な理由をお聞かせください。
（〇は3つまで）

- お子さんを学習塾（家庭教師を含む）に「現在通わせている」または「これから通わせるつもり」と回答した方に主な理由を聞いたところ、全体では、「受験のため」が44.5%と最も多く、ついで「学校の勉強だけでは不十分」が38.5%、「子どもの希望」が34.7%で続きます。
- 小学2年生では、「学校の勉強だけでは不十分」が35.2%と最も多く、ついで「子どもの希望」が33.5%、「受験のため」が29.1%で続きます。
- 小学5年生では、「受験のため」が46.6%と最も多く、ついで「子どもの希望」と「学校の勉強だけでは不十分」が35.9%で続きます。
- 中学2年生では、「受験のため」が54.6%と最も多く、ついで「学校の勉強だけでは不十分」が44.5%、「子どもの希望」が34.5%で続きます。



【前回調査との比較】

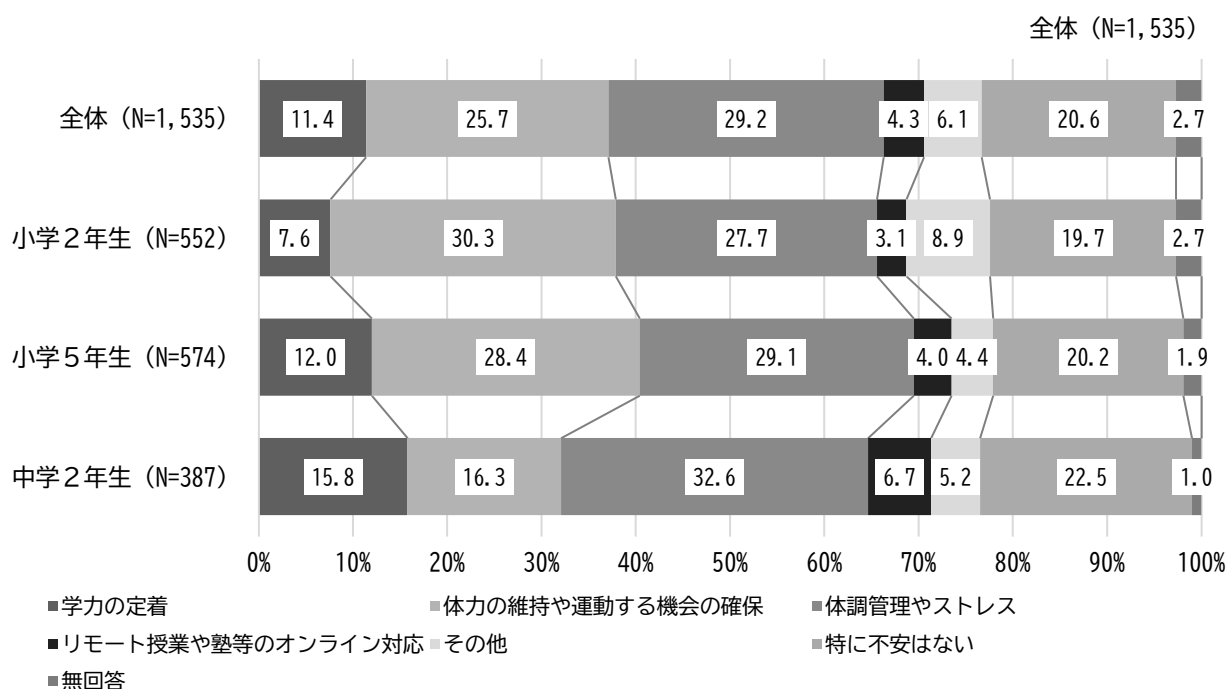
- 学習塾に通わせている（通わせるつもり）の主な理由の割合の最上位をみると、平成29年度調査では中学2年生のみ「受験のため」でしたが、本調査では全体、小学5年生、中学2年生で「受験のため」となっています。

■学習塾に通わせている（通わせるつもり）の主な理由の割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	受験のため（44.5）	学校の勉強だけでは不十分（43.5）
小学2年生	学校の勉強だけでは不十分（35.2）	学校の勉強だけでは不十分（45.5）
小学5年生	受験のため（46.6）	学校の勉強だけでは不十分（39.3）
中学2年生	受験のため（54.6）	受験のため（59.1）

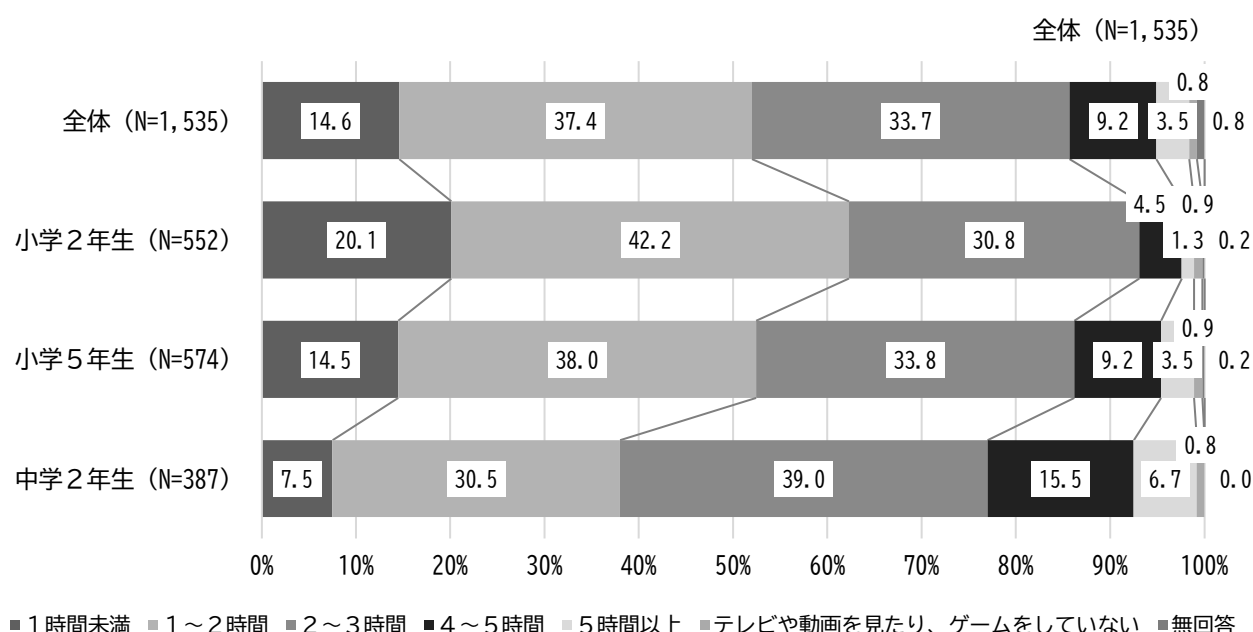
問7 コロナ禍の暮らしで、お子さんのことで特に不安なことはありますか。(〇は1つ)

- コロナ禍の暮らしで、お子さんのことで特に不安なことは、全体では、「体調管理やストレス」が29.2%と最も多く、ついで「体力の維持や運動する機会の確保」が25.7%、「特に不安はない」が20.6%で続きます。
- 小学2年生では、「体力の維持や運動する機会の確保」が30.3%と最も多く、ついで「体調管理やストレス」が27.7%、「特に不安はない」が19.7%で続きます。
- 小学5年生では、「体調管理やストレス」が29.1%と最も多く、ついで「体力の維持や運動する機会の確保」が28.4%、「特に不安はない」が20.2%で続きます。
- 中学2年生では、「体調管理やストレス」が32.6%と最も多く、ついで「特に不安はない」が22.5%、「体力の維持や運動する機会の確保」が16.3%で続きます。



問 8 一日のうち、お子さんはどのぐらいの時間、テレビや動画を見たり、ゲームをしたりしていますか。（スマートフォンやタブレット端末等の電子機器を含みます。）（○は1つ）

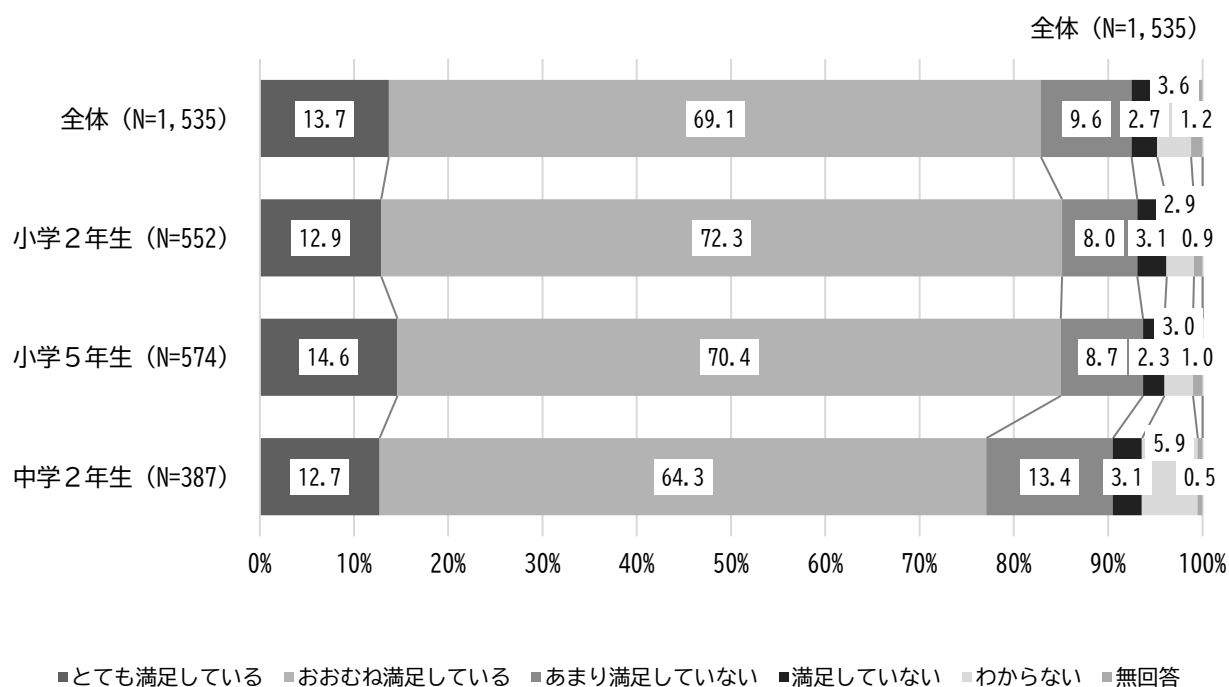
- お子さんの一日のテレビや動画を見たり、ゲームをしたりする時間は、全体では、「1～2 時間」が 37.4%と最も多く、ついで「2～3 時間」が 33.7%、「1 時間未満」が 14.6%で続きます。
- 小学2年生では、「1～2 時間」が 42.2%と最も多く、ついで「2～3 時間」が 30.8%、「1 時間未満」が 20.1%で続きます。
- 小学5年生では、「1～2 時間」が 38.0%と最も多く、ついで「2～3 時間」が 33.8%、「1 時間未満」が 14.5%で続きます。
- 中学2年生では、「2～3 時間」が 39.0%と最も多く、ついで「1～2 時間」が 30.5%、「4～5 時間」が 15.5%で続きます。



2 お子さんが通っている学校のことについてお聞きします。

問9 お子さんが通っている学校の教育活動に満足していますか。(〇は1つ)

- お子さんが通っている学校の教育活動の満足度は、全体では、満足している保護者（「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計）が82.8%となっています。
- 満足している保護者は、小学2年生で85.2%、小学5年生で85.0%、中学2年生では77.0%となっています。



【前回調査との比較】

- 満足している保護者（「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、全体、小学2年生、中学2年生で多くなり、小学5年生ではほぼ横ばいとなっています。

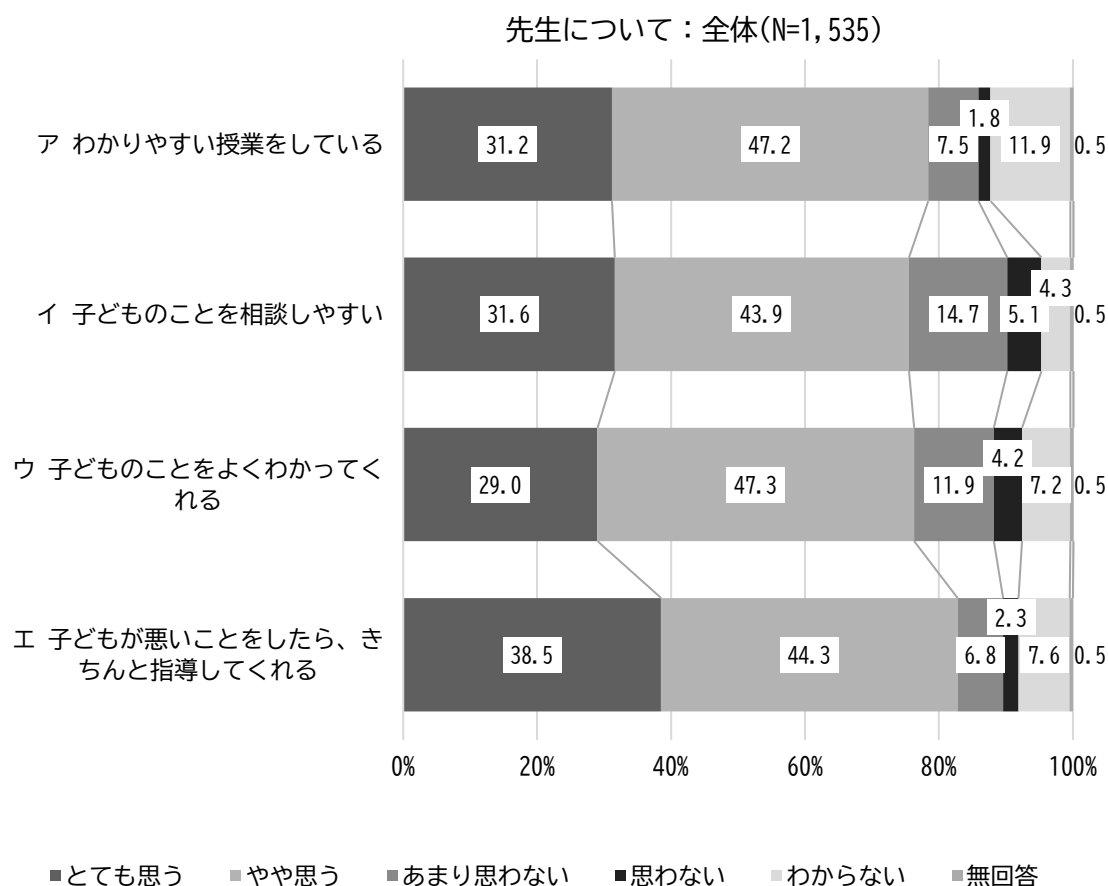
■満足している保護者（「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計）の割合（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	82.8	79.0
小学2年生	85.2	81.9
小学5年生	85.0	83.8
中学2年生	77.0	72.1

問10 お子さんが通っている学校の先生についてお聞かせください。(〇はそれぞれ1つつつ)

【全体】

- お子さんが通っている学校の先生について、全体では、全ての項目で肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の方が多くなっています。
- 特に、「エ 子どもが悪いことをしたら、きちんと指導してくれる」は肯定的に思う保護者が82.8%と多くなっています。



【前回調査との比較】

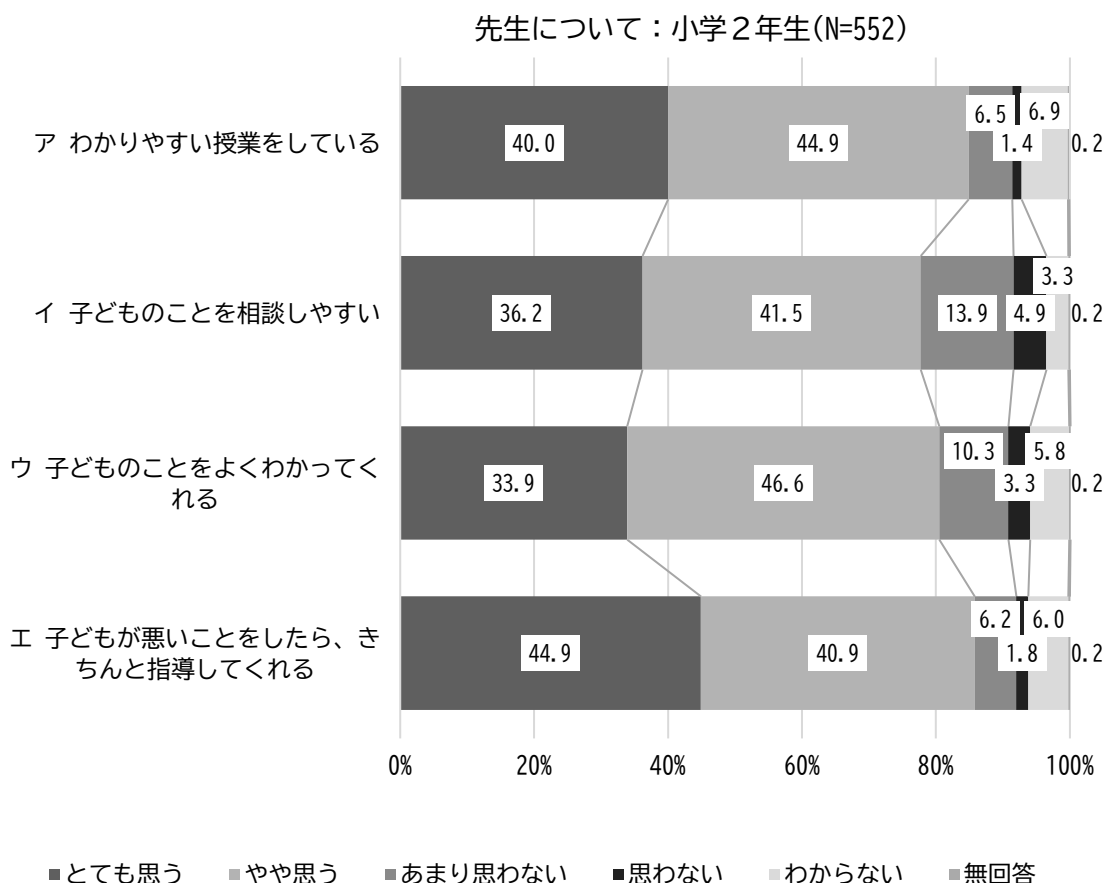
- 学校の先生を肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、「ア わかりやすい授業をしている」と「イ 子どものことを相談しやすい」で多くなり、その他の項目ではほぼ横ばいとなっています。

■学校の先生を肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合（単位：%）

項目	令和4年	平成29年
ア わかりやすい授業をしている	78.4	74.1
イ 子どものことを相談しやすい	75.5	73.2
ウ 子どものことをよくわかってくれる	76.3	75.8
エ 子どもが悪いことをしたら、きちんと指導してくれる	82.8	81.9

【小学2年生】

- 小学2年生では、全ての項目で肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の方が多くなっています。
- 「ア わかりやすい授業をしている」、「ウ 子どものことをよくわかってくれる」、「エ 子どもが悪いことをしたら、きちんと指導してくれる」で8割台と多くなっています。



【前回調査との比較】

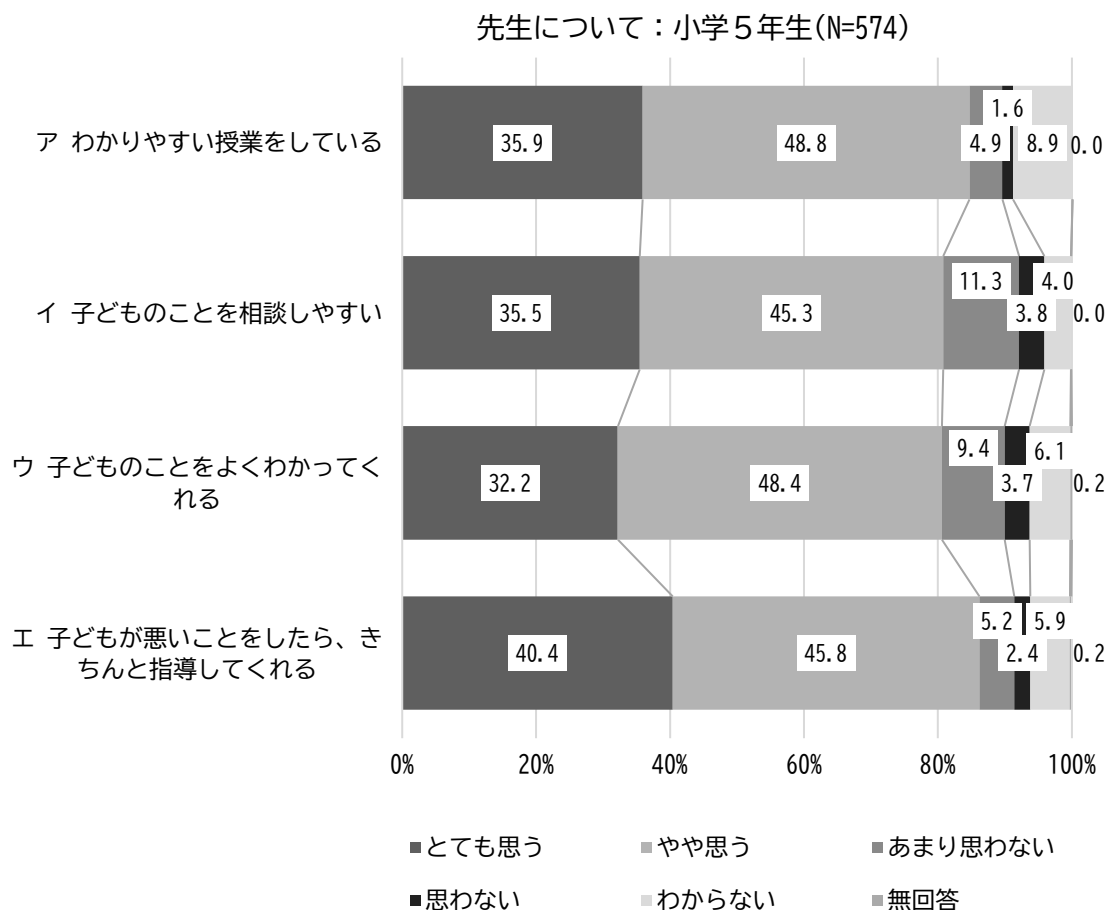
- 学校の先生を肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、全ての項目でほぼ横ばいとなっています。

■学校の先生を肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合（単位 %）

項目	令和4年	平成29年
ア わかりやすい授業をしている	84.9	84.9
イ 子どものことを相談しやすい	77.7	79.1
ウ 子どものことをよくわかってくれる	80.5	81.9
エ 子どもが悪いことをしたら、きちんと指導してくれる	85.8	87.1

【小学5年生】

- 小学5年生では、全ての項目で肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の方が多くなっています。
- 全ての項目で8割台と多くなっています。



【前回調査との比較】

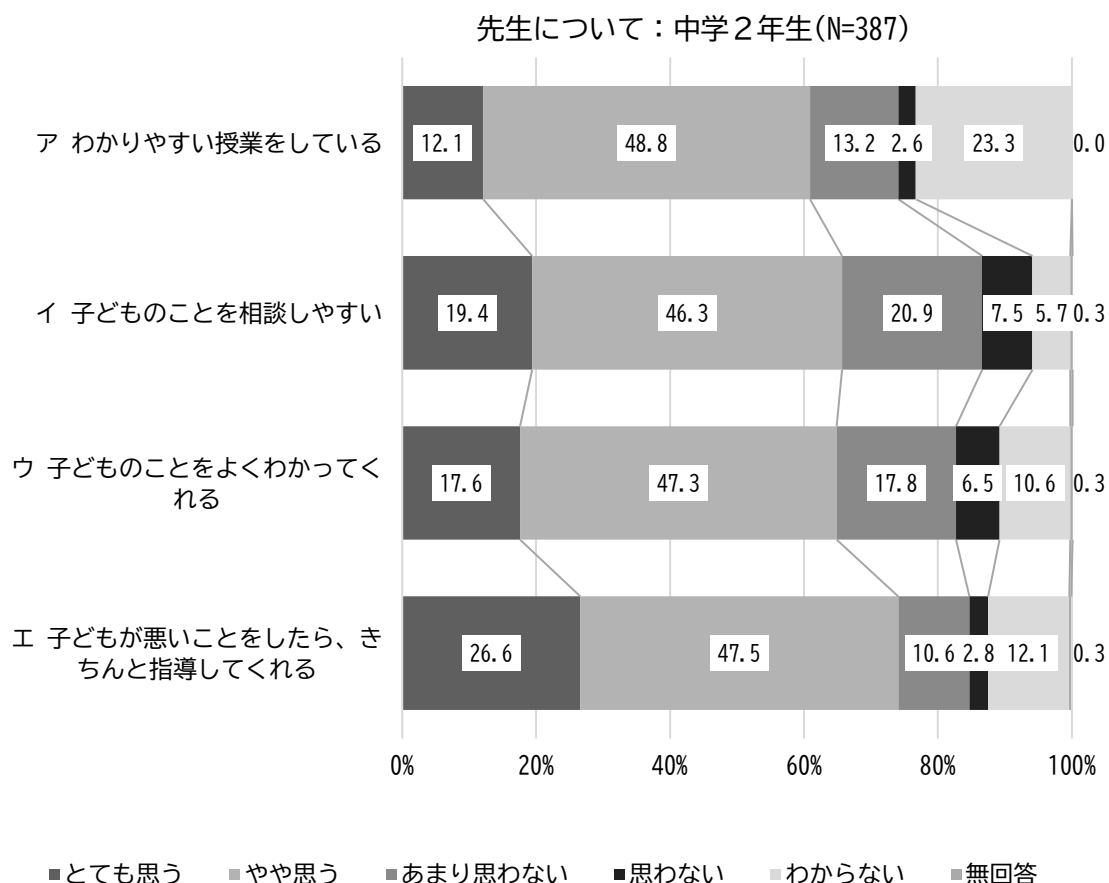
- 学校の先生を肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、全ての項目で多くなっています。

■学校の先生を肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合（単位 %）

項目	令和4年	平成29年
ア わかりやすい授業をしている	84.7	79.2
イ 子どものことを相談しやすい	80.8	76.9
ウ 子どものことをよくわかってくれる	80.6	78.6
エ 子どもが悪いことをしたら、きちんと指導してくれる	86.2	84.1

【中学2年生】

- 中学2年生では、全ての項目で肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の方が多くなっています。
- 特に、「エ 子どもが悪いことをしたら、きちんと指導してくれる」は肯定的に思う保護者が7割台と多くなっています。



【前回調査との比較】

- 学校の先生を肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、「ウ 子どもをよくわかってくれる」で少なくなり、その他の項目ではほぼ横ばいとなっています。

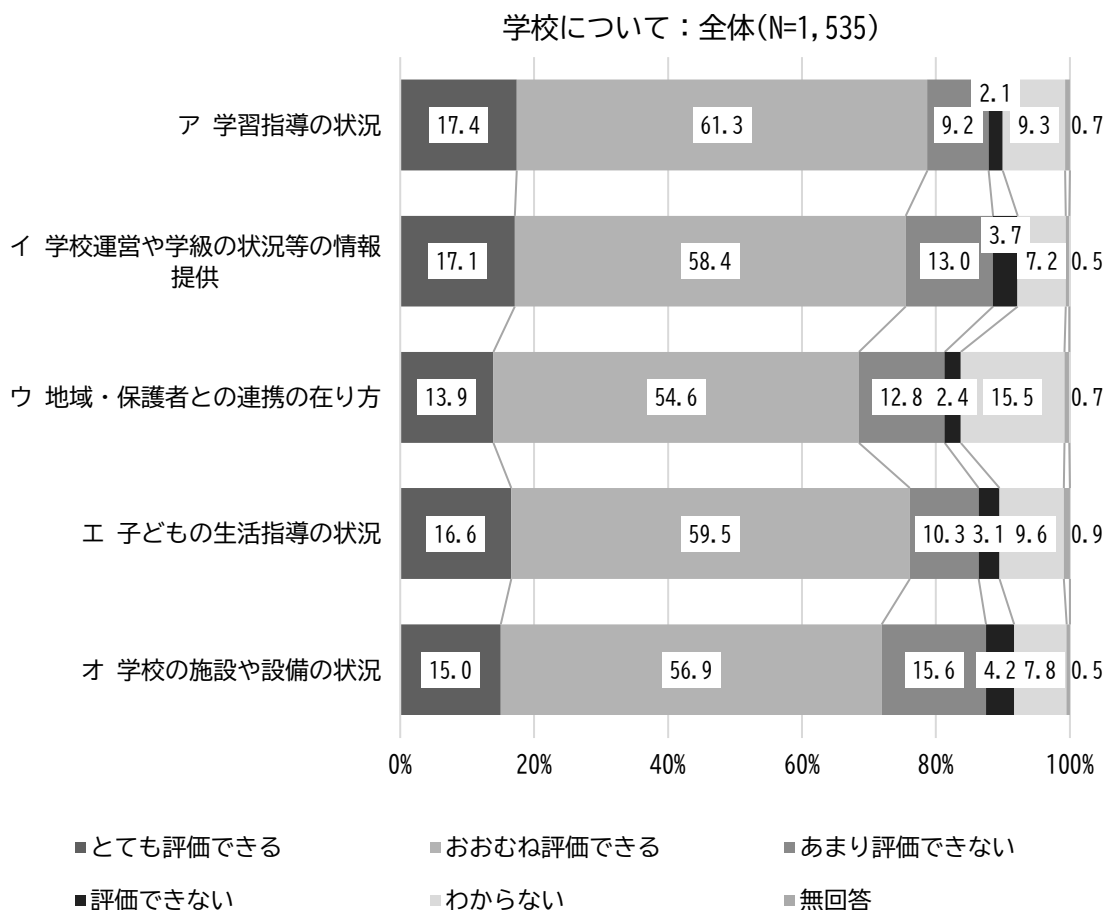
■学校の先生を肯定的に思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合（単位 %）

項目	令和4年	平成29年
ア わかりやすい授業をしている	60.9	59.7
イ 子どものことを相談しやすい	65.7	64.7
ウ 子どものことをよくわかってくれる	64.9	67.5
エ 子どもが悪いことをしたら、きちんと指導してくれる	74.1	75.1

問 11 お子さんが通っている学校についてお聞かせください。（〇はそれぞれ1つつ）

【全体】

- お子さんが通っている学校の評価は、全体では、全ての項目で評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の方が多くなっています。
- 特に、「ア 学習指導の状況」（78.7%）は、評価している保護者が多くなっています。



【前回調査との比較】

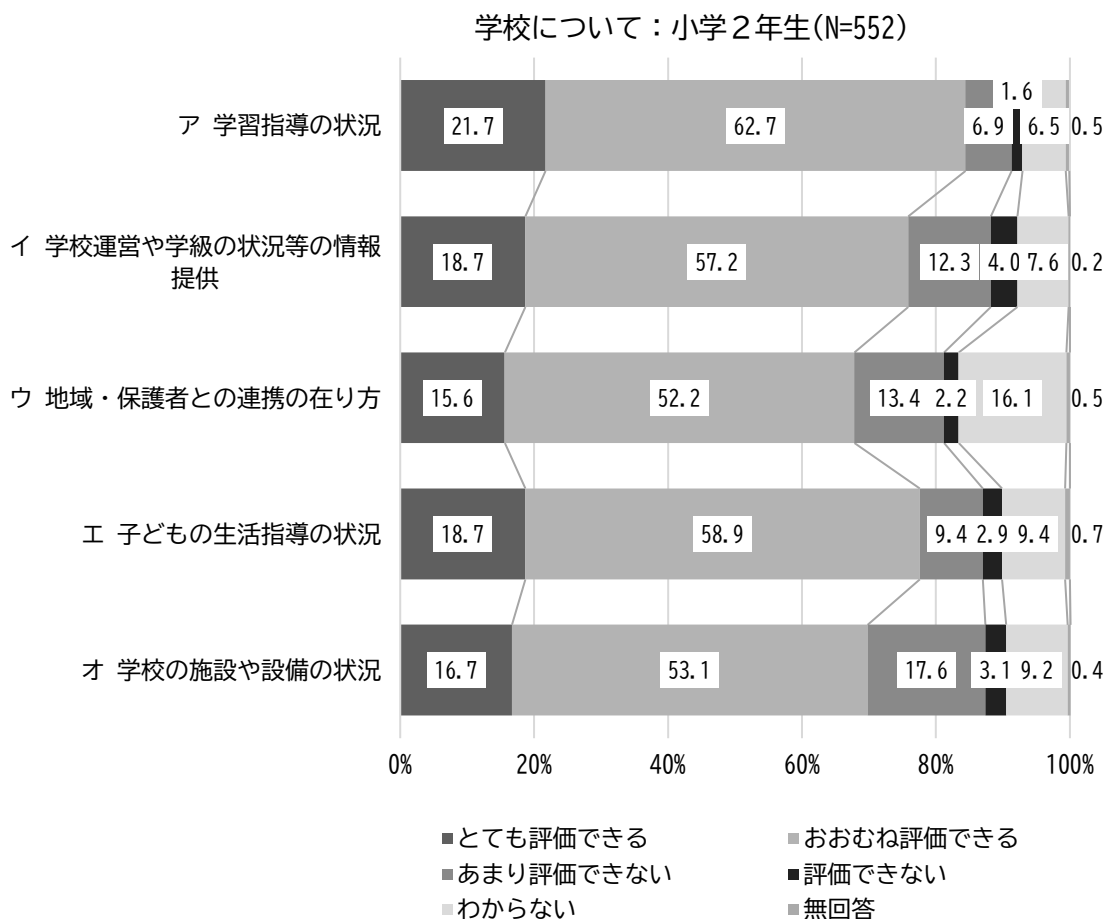
- 学校を評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、「ア 学習指導の状況」と「オ 学校の施設や設備の状況」はほぼ横ばい、その他の項目では少なくなっています。

■学校を評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の割合（単位：%）

項目	令和4年	平成29年
ア 学習指導の状況	78.7	80.4
イ 学校運営や学級の状況等の情報提供	75.5	78.2
ウ 地域・保護者との連携の在り方	68.5	76.9
エ 子どもの生活指導の状況	76.1	79.9
オ 学校の施設や設備の状況	71.9	72.6

【小学2年生】

- 小学2年生では、全ての項目で評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の方が多くなっています。
- 特に、「ア 学習指導の状況」（84.4%）は、評価している保護者が多くなっています。



【前回調査との比較】

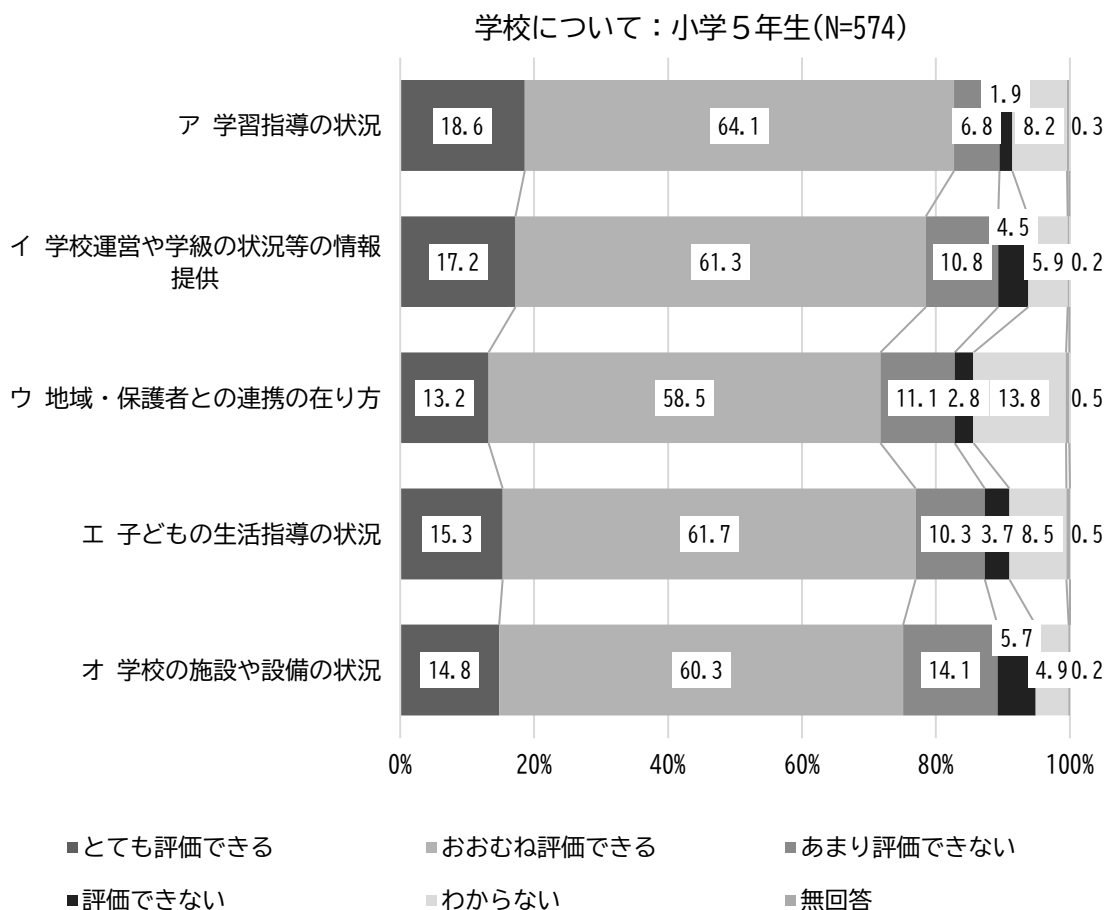
- 学校を評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、全ての項目で少なくなっています。

■学校を評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の割合（単位：%）

項目	令和4年	平成29年
ア 学習指導の状況	84.4	87.3
イ 学校運営や学級の状況等の情報提供	75.9	81.4
ウ 地域・保護者との連携の在り方	67.8	79.5
エ 子どもの生活指導の状況	77.6	83.2
オ 学校の施設や設備の状況	69.8	73.6

【小学5年生】

- 小学5年生では、全ての項目で評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の方が多くなっています。
- 特に、「ア 学習指導の状況」（82.7%）は、評価している保護者が多くなっています。



【前回調査との比較】

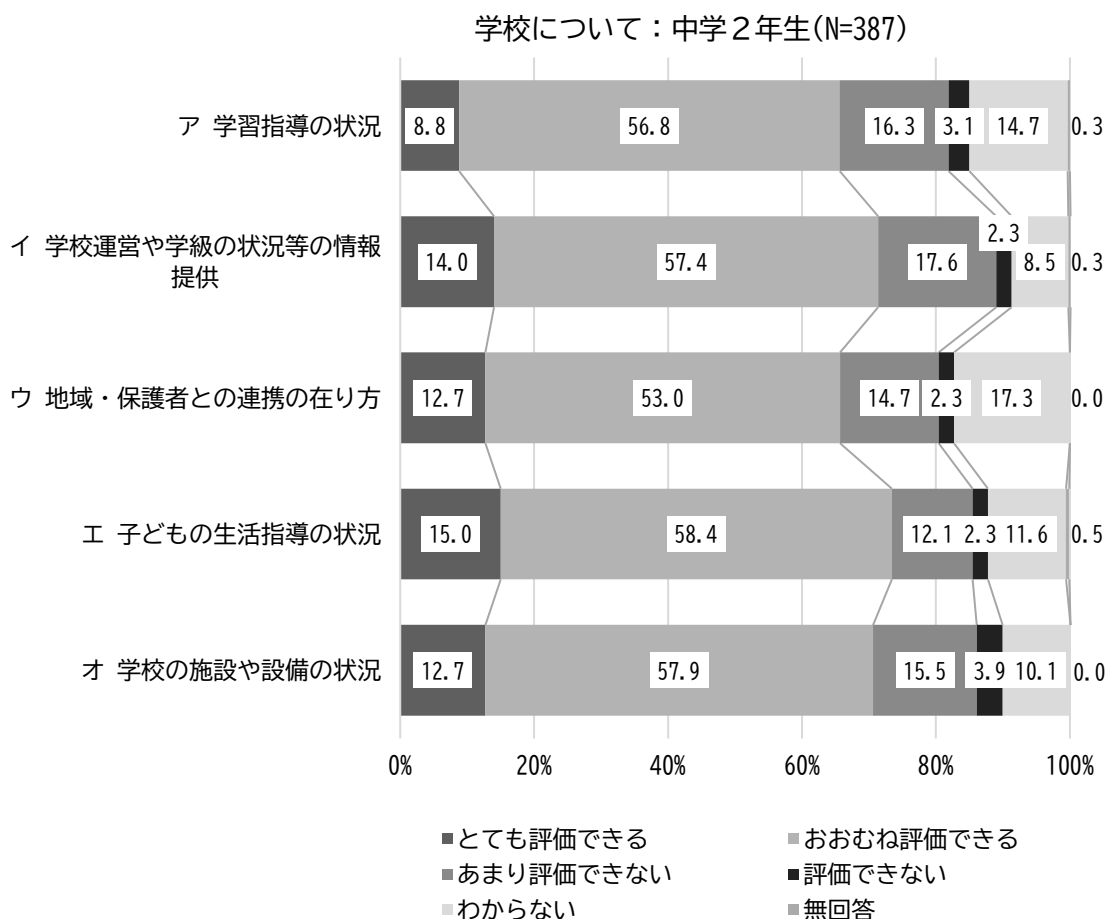
- 学校を評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、全ての項目で少なくなっています。

■学校を評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の割合（単位：%）

項目	令和4年	平成29年
ア 学習指導の状況	82.7	85.1
イ 学校運営や学級の状況等の情報提供	78.5	81.1
ウ 地域・保護者との連携の在り方	71.7	80.4
エ 子どもの生活指導の状況	77.0	80.6
オ 学校の施設や設備の状況	75.1	77.3

【中学2年生】

- 中学2年生では、全ての項目で評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の方が多くなっています。
- 特に「イ 学校運営や学級の状況等の情報提供」、「エ 子どもの生活指導の状況」、「オ 学校の施設や設備の状況」は7割以上となっています。



【前回調査との比較】

- 学校を評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、「ア 学習指導の状況」、「ウ 地域・保護者との連携の在り方」、「エ 子どもの生活指導の状況」は少なくなり、「イ 学校運営や学級の状況等の情報提供」はほぼ横ばい、「オ 学校の施設や設備の状況」は多くなっています。

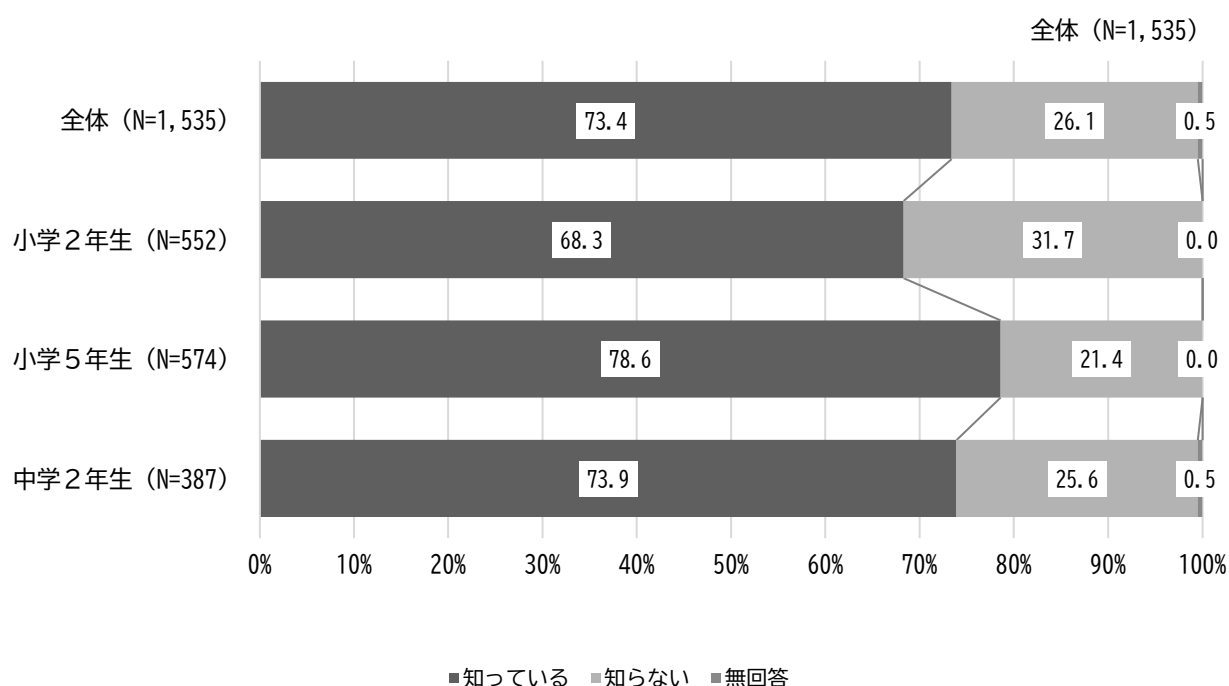
■学校を評価している保護者（「とても評価できる」と「おおむね評価できる」の合計）の割合（単位：%）

項目	令和4年	平成29年
ア 学習指導の状況	65.6	70.0
イ 学校運営や学級の状況等の情報提供	71.4	73.0
ウ 地域・保護者との連携の在り方	65.7	71.2
エ 子どもの生活指導の状況	73.4	76.2
オ 学校の施設や設備の状況	70.6	67.3

区では、子どもたちが自信と誇りをもてるように、各学校独自の「かつしかっ子」宣言に基づいた取組を推奨しています。「かつしかっ子」宣言では、「人にやさしくします」「あいさつで心をつなぎます」「約束を守ります」「自分で考え、行動します」「仲間と力を合わせます」の5項目の行動規範が掲げられています。

問12 あなたは、「かつしかっ子」宣言を知っていますか。(〇は1つ)

- 「かつしかっ子」宣言の認知度は、全体では、「知っている」が73.4%、「知らない」が26.1%となっています。
- 「知っている」は、小学2年生で68.3%、小学5年生で78.6%、中学2年生で73.9%となっています。



【前回調査との比較】

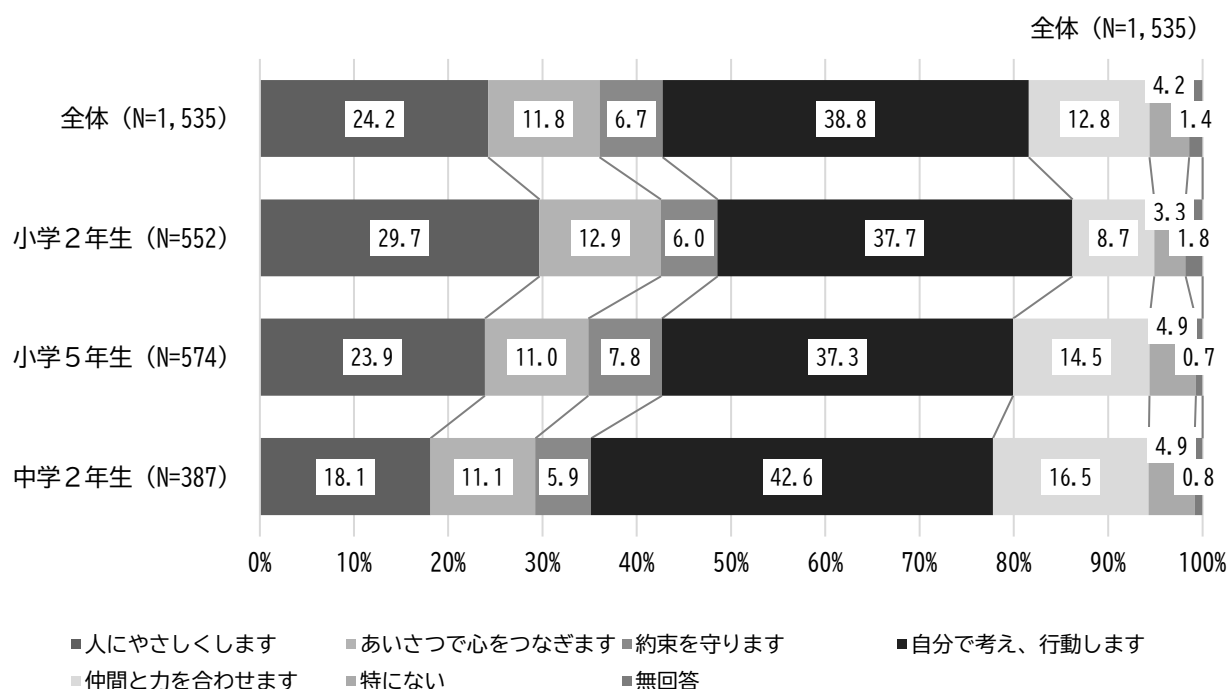
- 「かつしかっ子」宣言を「知っている」の割合をみると、本調査と平成29年度調査と比べて、全ての属性で10ポイント以上多くなっています。

■ 「知っている」の割合 (単位: %)

属性	令和4年	平成29年
全体	73.4	51.4
小学2年生	68.3	52.6
小学5年生	78.6	55.1
中学2年生	73.9	47.1

問13 「かつしかっ子」宣言の行動規範のうち、お子さんが通っている学校に特に取り組んでほしい項目をお聞かせください。(〇は1つ)

- 「かつしかっ子」宣言の行動規範のうち、お子さんが通っている学校に特に取り組んでほしい項目は、全体では、「自分で考え、行動します」が38.8%と最も多く、ついで「人にやさしくします」が24.2%、「仲間と力を合わせます」が12.8%で続きます。
- 小学2年生では、「自分で考え、行動します」が37.7%と最も多く、ついで「人にやさしくします」が29.7%、「あいさつで心をつなぎます」が12.9%で続きます。
- 小学5年生では、「自分で考え、行動します」が37.3%と最も多く、ついで「人にやさしくします」が23.9%、「仲間と力を合わせます」が14.5%で続きます。
- 中学2年生では、「自分で考え、行動します」が42.6%と最も多く、ついで「人にやさしくします」が18.1%、「仲間と力を合わせます」が16.5%で続きます。



【前回調査との比較】

- 「かつしかっ子」宣言の行動規範のうち、学校に特に取り組んでほしい項目の割合をみると、平成29年度調査では、中学2年生で「自分で考え、行動します」が最上位でしたが、本調査では、全ての属性で「自分で考え、行動します」が最上位となっています。

■特に取り組んでほしい項目の割合の最上位 (単位: %)

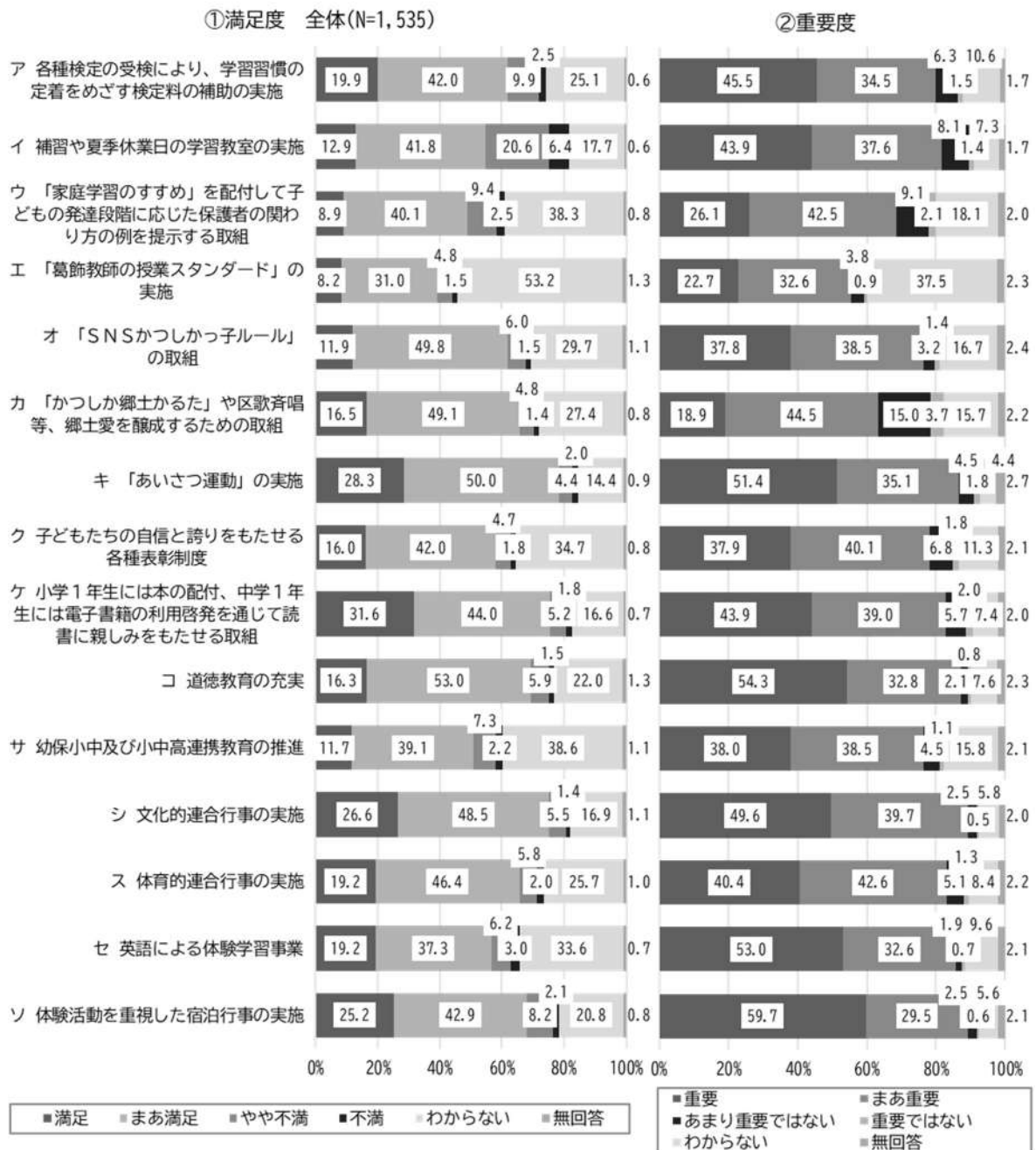
属性	令和4年	平成29年
全体	自分で考え、行動します (38.8)	人にやさしくします (28.8)
小学2年生	自分で考え、行動します (37.7)	人にやさしくします (33.6)
小学5年生	自分で考え、行動します (37.3)	人にやさしくします (29.4)
中学2年生	自分で考え、行動します (42.6)	自分で考え、行動します (33.7)

3 学校教育についてお聞きします。

問14 区では、子どもの学力向上や豊かな人間性を育むために様々な取組を進めています。以下の取組における①満足度、②重要度について、あなたの考えをお聞かせください。

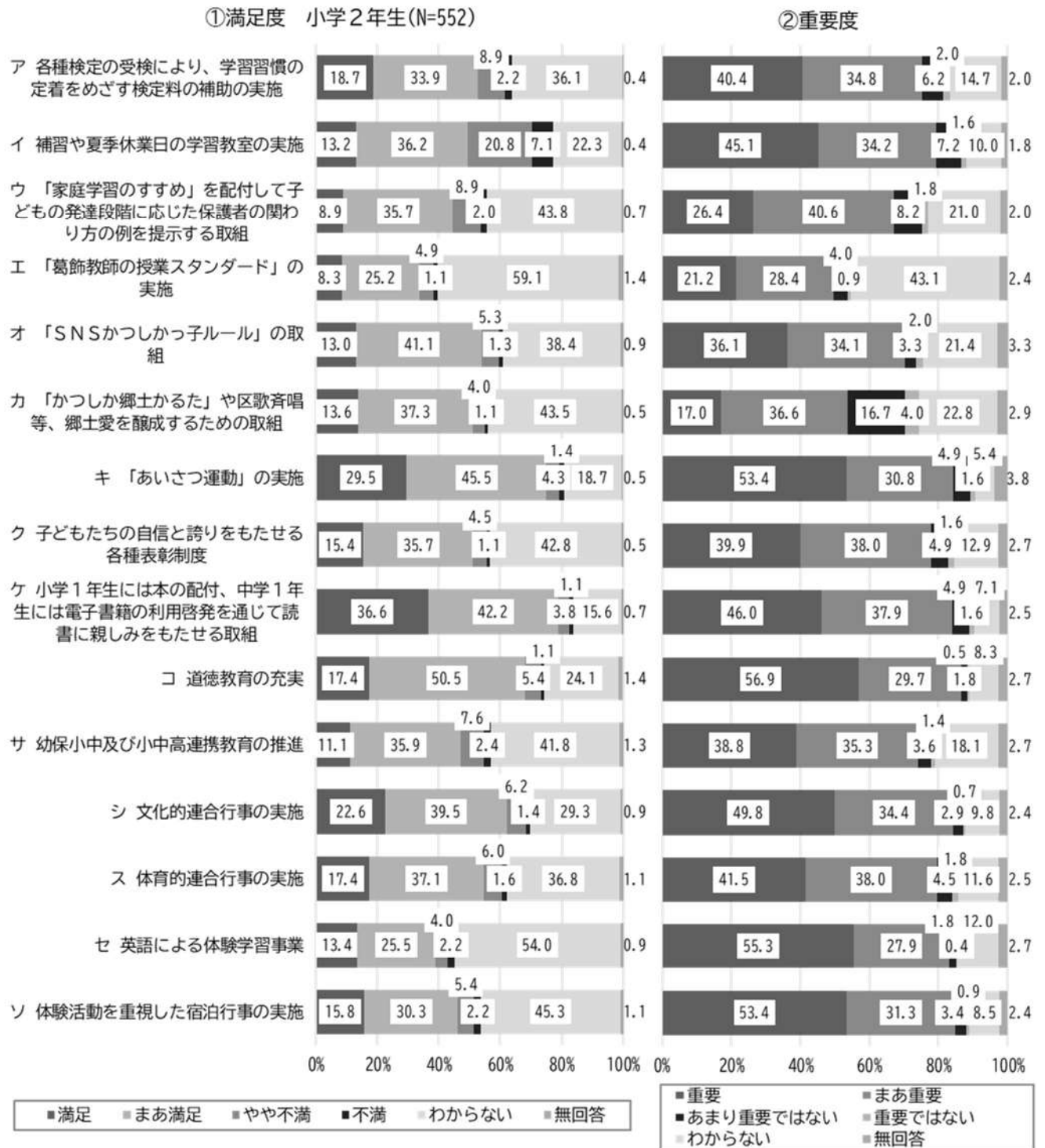
【全体】

- 子どもの学力向上や豊かな人間性を育む取組について、グラフの左側の①満足度をみると、全体では、全ての項目で、満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が、不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- ②重要度について、グラフの右側をみると、全体では、全ての項目で、重要だと思っている保護者（「重要」と「まあ重要」の合計）の方が、重要ではないと思っている保護者（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）より多くなっています。



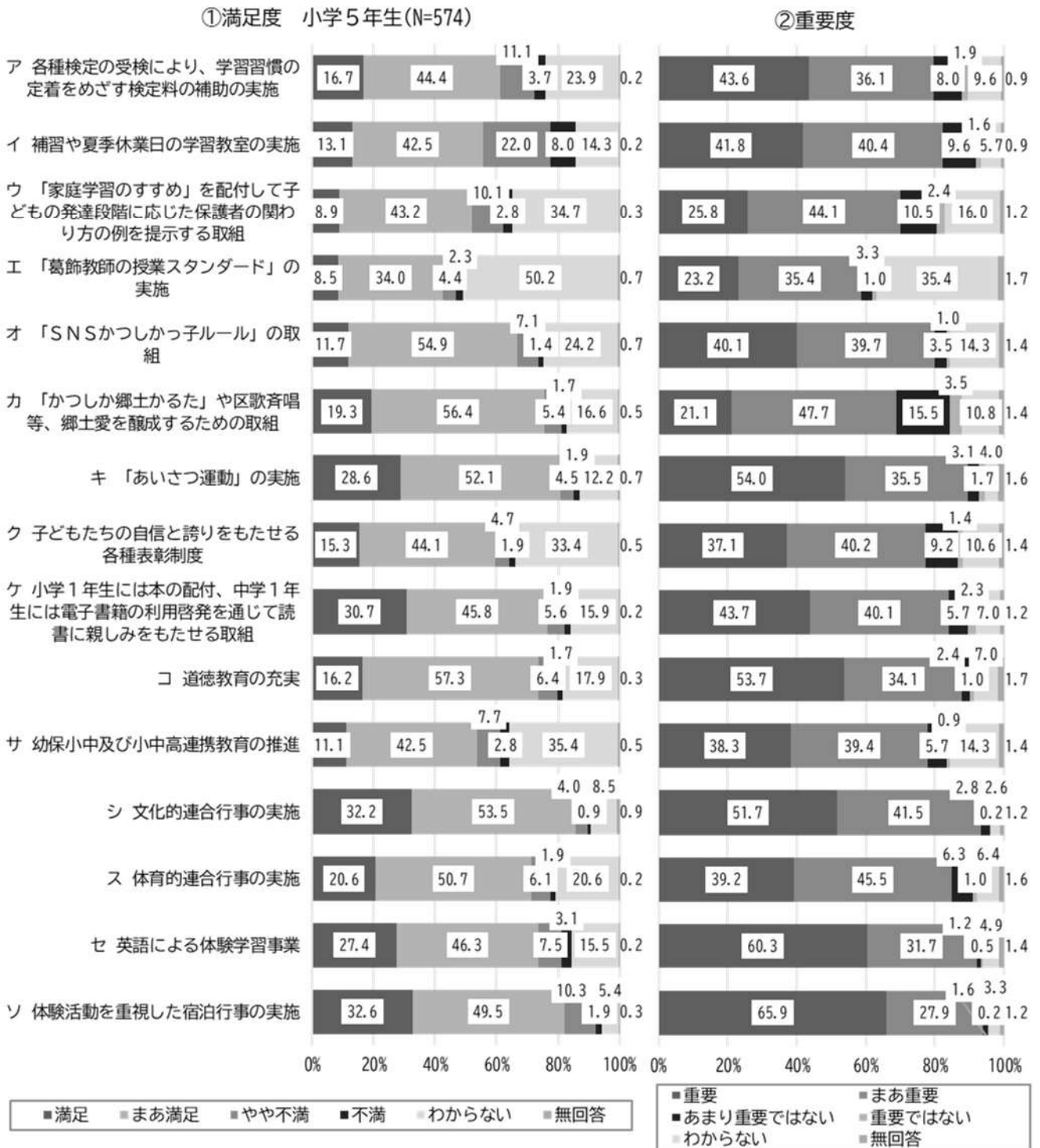
【小学2年生】

- 小学2年生では、グラフの左側の①満足度をみると、全ての項目で、満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が、不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- ②重要度について、グラフの右側をみると、全ての項目で、重要だと思っている保護者（「重要」と「まあ重要」の合計）の方が、重要ではないと思っている保護者（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）より多くなっています。



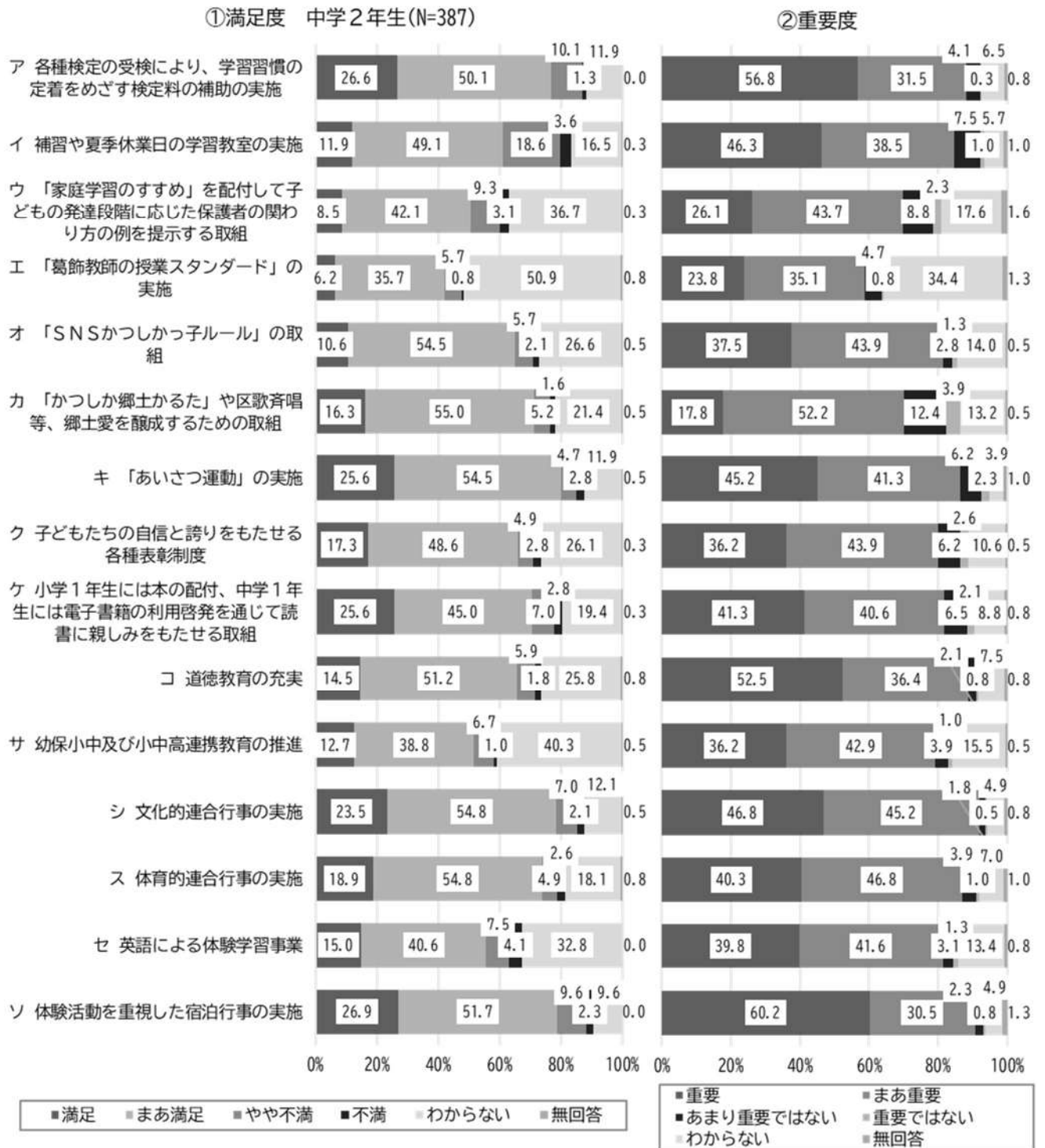
【小学5年生】

- 小学5年生では、グラフの左側の①満足度をみると、全ての項目で、満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が、不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- ②重要度について、グラフの右側をみると、全ての項目で、重要だと思っている保護者（「重要」と「まあ重要」の合計）の方が、重要ではないと思っている保護者（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）より多くなっています。



【中学2年生】

- 中学2年生では、グラフの左側の①満足度をみると、全ての項目で、満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が、不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。
- ②重要度について、グラフの右側をみると、全ての項目で、重要だと思っている保護者（「重要」と「まあ重要」の合計）の方が、重要ではないと思っている保護者（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）より多くなっています。



【全体及び各学年で満足している項目 上位5位】

- 全体及び各学年で満足している項目の上位5位（「満足」と「まあ満足」の合計が多い5つの項目）は以下のとおりです。
- 全体では、項目キが78.3%と最も多く、ついで項目ケが75.6%、項目シが75.1%、項目コが69.3%、項目ソが68.1%で続きます。
- 小学2年生では、項目ケが78.8%と最も多く、ついで項目キが75.0%、項目コが67.9%、項目シが62.1%、項目スが54.5%で続きます。
- 小学5年生では、項目シが85.7%と最も多く、ついで項目ソが82.1%、項目キが80.7%、項目ケが76.5%、項目カが75.7%で続きます。
- 中学2年生では、項目キが80.1%と最も多く、ついで項目ソが78.6%、項目シが78.3%、項目アが76.7%、項目スが73.7%で続きます。

順位	全体	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1	キ 「あいさつ運動」の実施	ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組	シ 文化的連合行事の実施	キ 「あいさつ運動」の実施
	78.3%	78.8%	85.7%	80.1%
2	ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組	キ 「あいさつ運動」の実施	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施
	75.6%	75.0%	82.1%	78.6%
3	シ 文化的連合行事の実施	コ 道徳教育の充実	キ 「あいさつ運動」の実施	シ 文化的連合行事の実施
	75.1%	67.9%	80.7%	78.3%
4	コ 道徳教育の充実	シ 文化的連合行事の実施	ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組	ア 各種検定の受検により、学習習慣の定着をめざす検定料の補助の実施
	69.3%	62.1%	76.5%	76.7%
5	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施	ス 体育的連合行事の実施	カ 「かつしか郷土かるた」や区歌斉唱等、郷土愛を醸成するための取組	ス 体育的連合行事の実施
	68.1%	54.5%	75.7%	73.7%

※【前回調査との比較】は、本調査と平成29年調査の選択肢が異なるため、記載していない。

【全体及び各学年で重要だと思っている項目 上位5位】

- 全体及び各学年で重要だと思っている項目の上位5位（「重要」と「まあ重要」の合計が多い5つの項目）は以下のとおりです。
- 全体では、項目シが89.3%と最も多く、ついで項目ソが89.2%、項目コが87.1%、項目キが86.5%、項目セが85.6%で続きます。
- 小学2年生では、項目コが86.6%と最も多く、ついで項目ソが84.7%、項目キと項目シが84.2%、項目ケが83.9%で続きます。
- 小学5年生では、項目ソが93.8%と最も多く、ついで項目シが93.2%、項目セが92.0%、項目キが89.5%、項目コが87.8%で続きます。
- 中学2年生では、項目シが92.0%と最も多く、ついで項目ソが90.7%、項目コが88.9%、項目アが88.3%、項目スが87.1%で続きます。

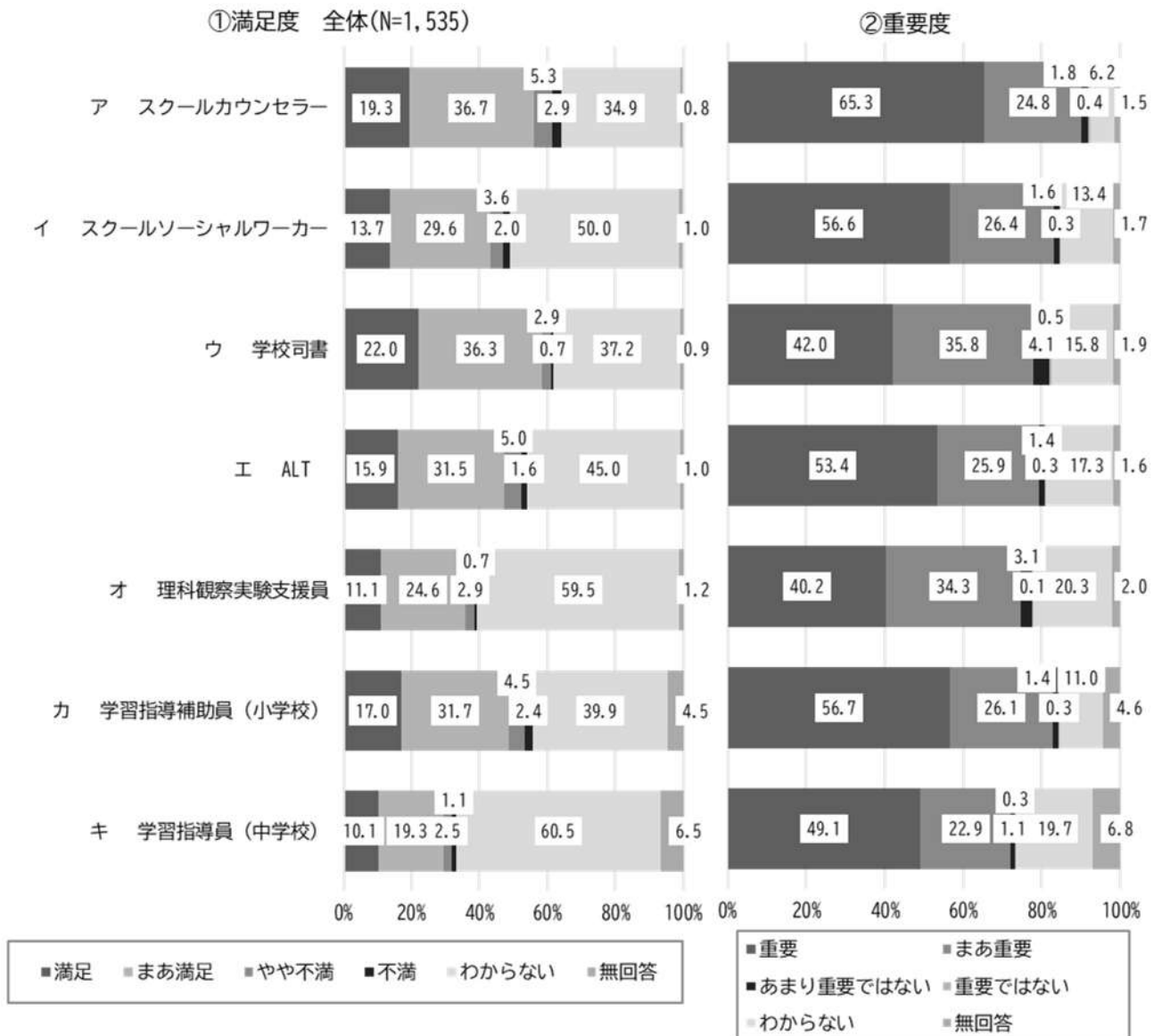
順位	全体	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1	シ 文化的連合行事の実施	コ 道德教育の充実	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施	シ 文化的連合行事の実施
	89.3%	86.6%	93.8%	92.0%
2	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施	シ 文化的連合行事の実施	ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施
	89.2%	84.7%	93.2%	90.7%
3	コ 道德教育の充実	キ 「あいさつ運動」の実施	セ 英語による体験学習事業	コ 道德教育の充実
	87.1%	84.2%	92.0%	88.9%
4	キ 「あいさつ運動」の実施	シ 文化的連合行事の実施(3位)	キ 「あいさつ運動」の実施	ア 各種検定の受検により、学習習慣の定着をめざす検定料の補助の実施
	86.5%	84.2%	89.5%	88.3%
5	セ 英語による体験学習事業	ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組	コ 道德教育の充実	ス 体育的連合行事の実施
	85.6%	83.9%	87.8%	87.1%

※【前回調査との比較】は、本調査と平成29年調査の選択肢が異なるため、記載していない。

問15 区では、子どもの学力向上や豊かな人間性を育むために様々な人材の配置を進めています。以下の取組における①満足度、②重要度について、あなたの考えをお聞かせください。

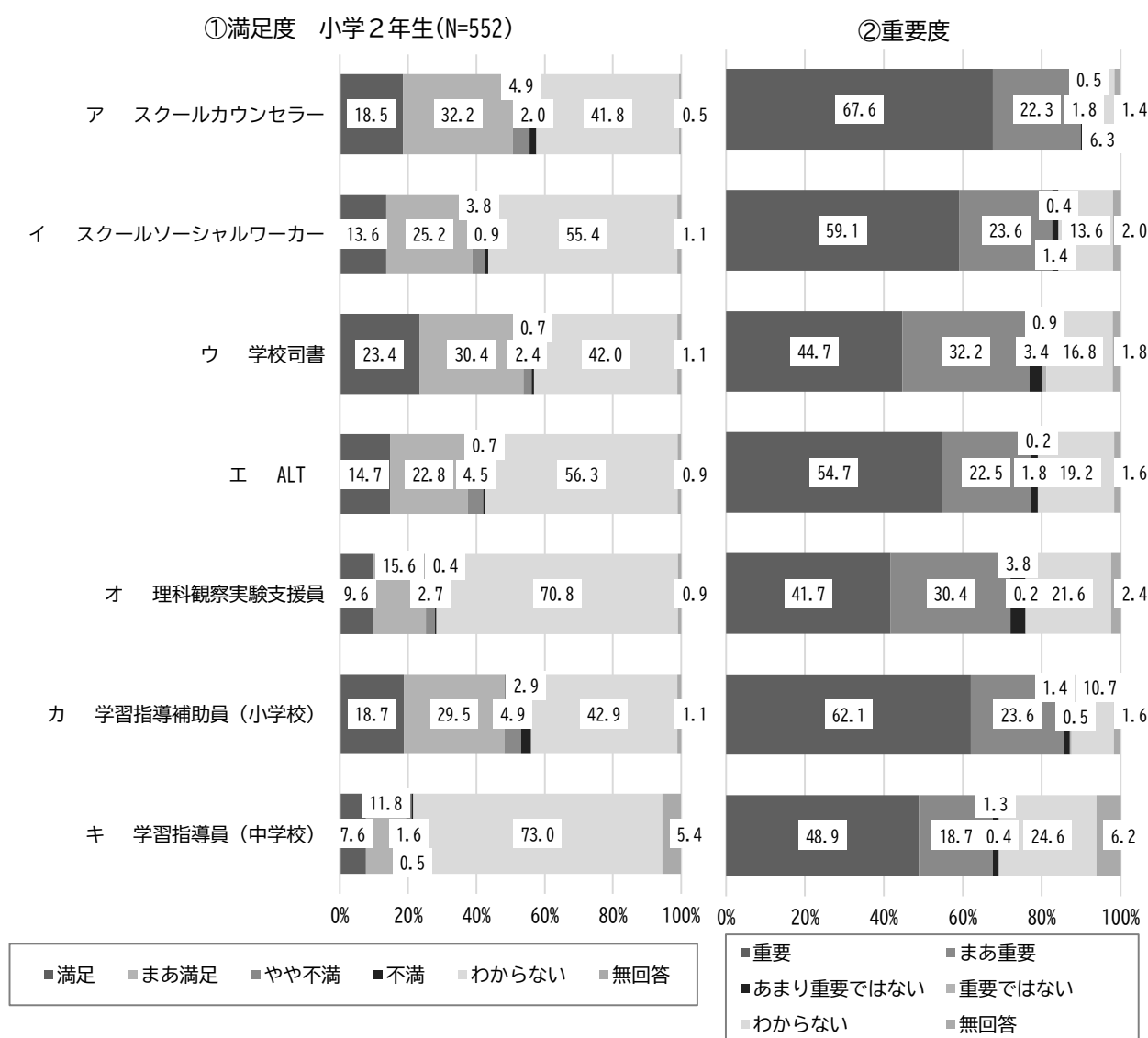
【全体】

- 子どもの学力向上や豊かな人間性を育むための人材配置について、グラフの左側の①満足度をみると、全体では、全ての項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が、不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。特に、「満足」についてみると、「ウ 学校司書」が22.0%と最も多く、ついで「ア スクールカウンセラー」が19.3%、「カ 学習指導補助員（小学校）」が17.0%で続きます。
- ②重要度について、グラフの右側をみると、全体では、全ての項目で、重要だと思っている保護者（「重要」と「まあ重要」の合計）の方が、重要ではないと思っている保護者（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）より多くなっています。



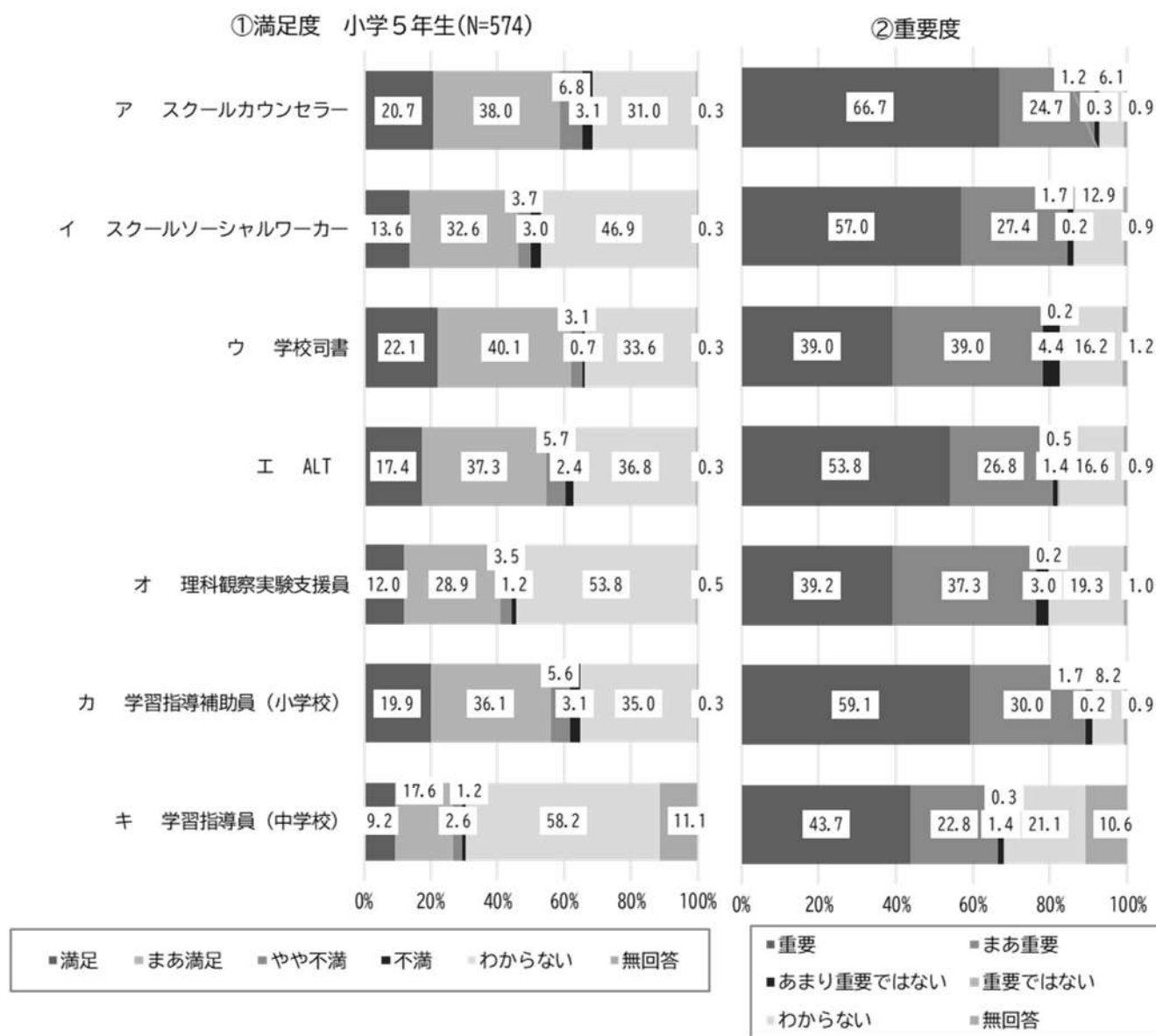
【小学2年生】

- 小学2年生では、グラフの左側の①満足度をみると、全ての項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が、不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。特に、「満足」についてみると、「ウ 学校司書」が23.4%と最も多く、ついで「カ 学習指導補助員（小学校）」が18.7%、「ア スクールカウンセラー」が18.5%で続きます。
- ②重要度について、グラフの右側をみると、全ての項目で、重要だと思っている保護者（「重要」と「まあ重要」の合計）の方が、重要ではないと思っている保護者（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）より多くなっています。



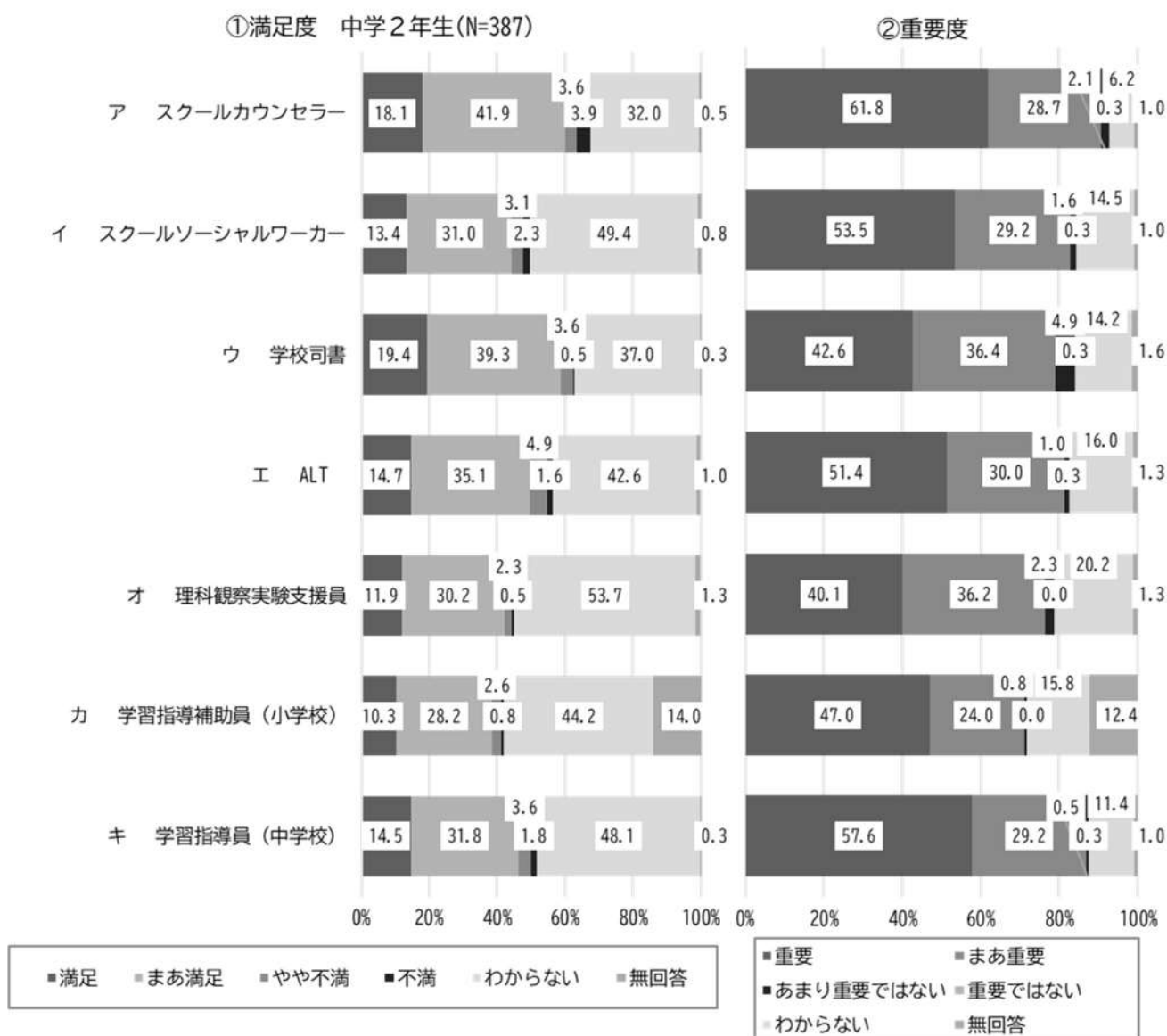
【小学5年生】

- 小学5年生では、グラフの左側の①満足度をみると、全ての項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が、不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。特に、「満足」についてみると、「ウ 学校司書」が22.1%と最も多く、ついで「ア スクールカウンセラー」が20.7%、「カ 学習指導補助員（小学校）」が19.9%で続きます。
- ②重要度について、グラフの右側をみると、全ての項目で、重要だと思っている保護者（「重要」と「まあ重要」の合計）の方が、重要ではないと思っている保護者（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）より多くなっています。



【中学2年生】

- 中学2年生では、グラフの左側の①満足度をみると、全ての項目で満足している保護者（「満足」と「まあ満足」の合計）の方が、不満を感じている保護者（「やや不満」と「不満」の合計）より多くなっています。特に、「満足」についてみると、「ウ 学校司書」が19.4%と最も多く、ついで「ア スクールカウンセラー」が18.1%、「エ ALT」が14.7%で続きます。
- ②重要度について、グラフの右側をみると、全ての項目で、重要だと思っている保護者（「重要」と「まあ重要」の合計）の方が、重要ではないと思っている保護者（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）より多くなっています。



【全体及び各学年で満足している項目 上位5位】

- 全体及び各学年で満足している項目の上位5位（「満足」と「まあ満足」の合計が多い5つの項目）は以下のとおりです。
- 全体では、項目ウが58.3%と最も多く、ついで項目アが56.0%、項目カが48.7%、項目エが47.4%、項目イが43.3%で続きます。
- 小学2年生では、項目ウが53.8%と最も多く、ついで項目アが50.7%、項目カが48.2%、項目イが38.8%、項目エが37.5%で続きます。
- 小学5年生では、項目ウが62.2%と最も多く、ついで項目アが58.7%、項目カが56.0%、項目エが54.7%、項目イが46.2%で続きます。
- 中学2年生では、項目アが60.0%と最も多く、ついで項目ウが58.7%、項目エが49.8%、項目キが46.3%、項目イが44.4%で続きます。

順位	全体	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1	ウ 学校司書 58.3%	ウ 学校司書 53.8%	ウ 学校司書 62.2%	ア スクールカウンセラー 60.0%
2	ア スクールカウンセラー 56.0%	ア スクールカウンセラー 50.7%	ア スクールカウンセラー 58.7%	ウ 学校司書 58.7%
3	カ 学習指導補助員（小学校） 48.7%	カ 学習指導補助員（小学校） 48.2%	カ 学習指導補助員（小学校） 56.0%	エ ALT 49.8%
4	エ ALT 47.4%	イ スクールソーシャルワーカー 38.8%	エ ALT 54.7%	キ 学習指導員（中学校） 46.3%
5	イ スクールソーシャルワーカー 43.3%	エ ALT 37.5%	イ スクールソーシャルワーカー 46.2%	イ スクールソーシャルワーカー 44.4%

※【前回調査との比較】は、本調査と平成29年調査の選択肢が異なるため、記載していない。

【全体及び各学年で重要だと思っている項目 上位5位】

- 全体及び各学年で重要だと思っている項目の上位5位（「重要」と「まあ重要」の合計が多い5つの項目）は以下のとおりです。
- 全体では、項目アが90.1%と最も多く、ついで項目イが83.0%、項目カが82.8%、項目エが79.3%、項目ウが77.8%で続きます。
- 小学2年生では、項目アが89.9%と最も多く、ついで項目カが85.7%、項目イが82.7%、項目エが77.2%、項目ウが76.9%で続きます。
- 小学5年生では、項目アが91.4%と最も多く、ついで項目カが89.1%、項目イが84.4%、項目エが80.6%、項目ウが78.0%で続きます。
- 中学2年生では、項目アが90.5%と最も多く、ついで項目キが86.8%、項目イが82.7%、項目エが81.4%、項目ウが79.0%で続きます。

順位	全体	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1	ア スクールカウンセラー 90.1%	ア スクールカウンセラー 89.9%	ア スクールカウンセラー 91.4%	ア スクールカウンセラー 90.5%
2	イ スクールソーシャルワーカー 83.0%	カ 学習指導補助員（小学校） 85.7%	カ 学習指導補助員（小学校） 89.1%	キ 学習指導員（中学校） 86.8%
3	カ 学習指導補助員（小学校） 82.8%	イ スクールソーシャルワーカー 82.7%	イ スクールソーシャルワーカー 84.4%	イ スクールソーシャルワーカー 82.7%
4	エ ALT 79.3%	エ ALT 77.2%	エ ALT 80.6%	エ ALT 81.4%
5	ウ 学校司書 77.8%	ウ 学校司書 76.9%	ウ 学校司書 78.0%	ウ 学校司書 79.0%

※【前回調査との比較】は、本調査と平成29年調査の選択肢が異なるため、記載していない。

問16 今後、子どもたちの体力向上に特に必要なことは何だと考えますか。（〇は3つまで）

- 今後、子どもたちの体力向上に特に必要なことは、全体では、「外で遊ぶ時間や場所の確保」が47.3%と最も多く、ついで「子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備」が46.4%、「小・中学校でのクラブ活動、部活動の充実」が42.0%で続きます。
- 小学2年生では、「外で遊ぶ時間や場所の確保」が54.7%と最も多く、ついで「子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備」が49.6%、「小・中学校でのクラブ活動、部活動の充実」が40.4%で続きます。
- 小学5年生では、「外で遊ぶ時間や場所の確保」が50.0%と最も多く、ついで「小・中学校でのクラブ活動、部活動の充実」と「子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備」が45.3%で続きます。
- 中学2年生では、「子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備」が44.2%と最も多く、ついで「小・中学校でのクラブ活動、部活動の充実」が41.1%、「目的をもった体力向上への取組（かつしかっ子体力アッププログラム）」が34.4%で続きます。

（グラフは次ページ）

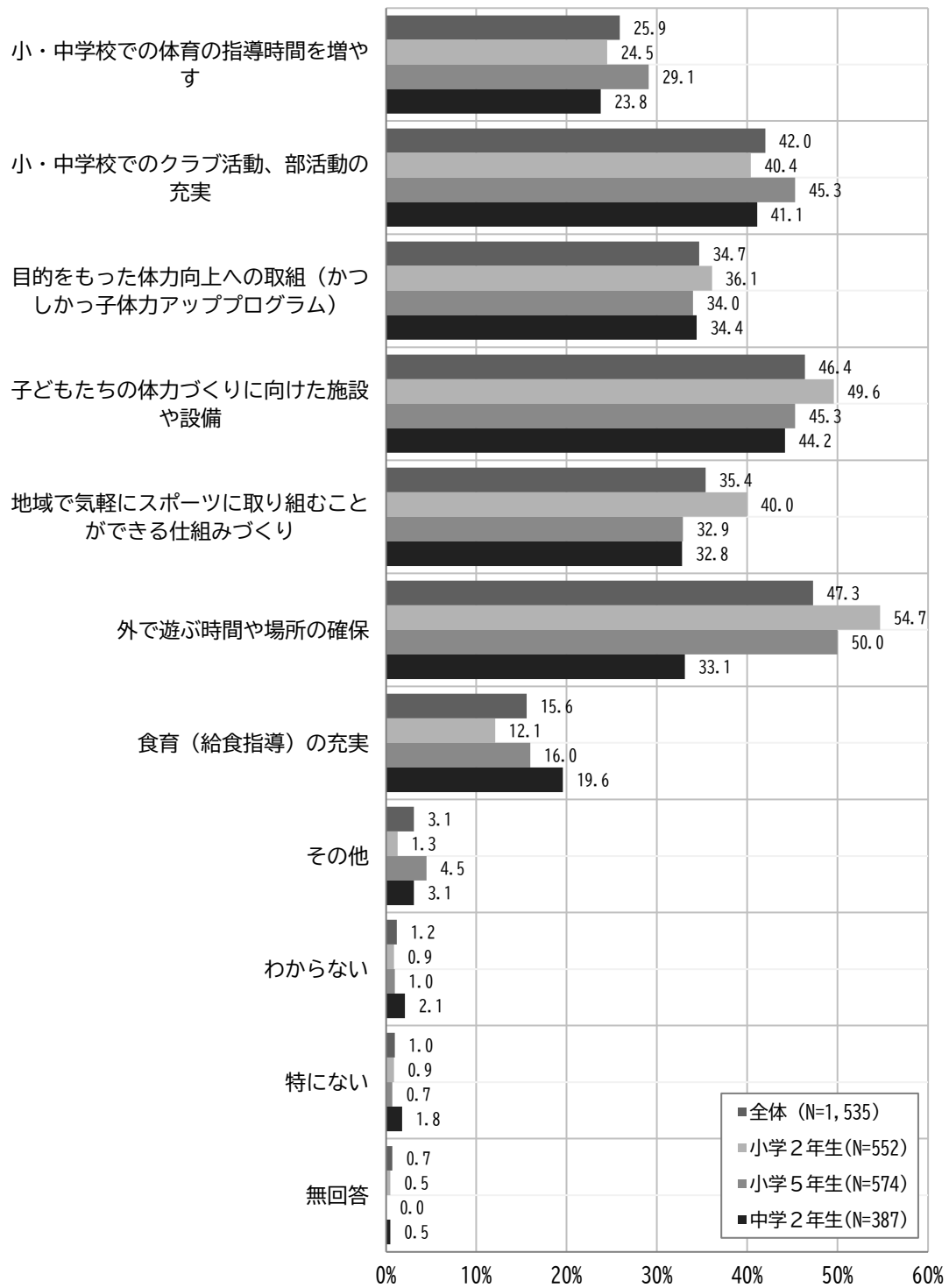
【前回調査との比較】

- 今後、子どもたちの体力向上に特に必要なことの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、全体、小学2年生、小学5年生で「外で遊ぶ時間や場所の確保」が最上位となっています。

■今後、子どもたちの体力向上に特に必要なことの割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	外で遊ぶ時間や場所の確保（47.3）	外で遊ぶ時間や場所の確保（55.4）
小学2年生	外で遊ぶ時間や場所の確保（54.7）	外で遊ぶ時間や場所の確保（63.6）
小学5年生	外で遊ぶ時間や場所の確保（50.0）	外で遊ぶ時間や場所の確保（57.8）
中学2年生	子どもたちの体力づくりに向けた施設や設備 （44.2）	地域で気軽にスポーツに取り組むことができる 仕組みづくり（48.3）

第4章 区立小・中学生保護者調査結果



問17 今後、区が特に充実する必要がある施策・取組は何だと考えますか。（〇は3つまで）

- 今後、区が特に充実する必要がある施策・取組は、全体では、「少人数指導・習熟度別による授業」が49.1%と最も多く、ついで「将来の自立に向けた教育（キャリア教育）」が28.2%、「先生の資質・指導力の向上」が26.1%で続きます。
- 小学2年生では、「少人数指導・習熟度別による授業」が44.6%と最も多く、ついで「将来の自立に向けた教育（キャリア教育）」が28.3%、「先生の資質・指導力の向上」が28.1%で続きます。
- 小学5年生では、「少人数指導・習熟度別による授業」が49.8%と最も多く、ついで「将来の自立に向けた教育（キャリア教育）」が26.3%、「先生の資質・指導力の向上」と「外国語教育によるグローバル人材の育成」が25.8%で続きます。
- 中学2年生では、「少人数指導・習熟度別による授業」が55.6%と最も多く、ついで「将来の自立に向けた教育（キャリア教育）」が31.3%、「先生の資質・指導力の向上」が24.8%で続きます。

（グラフは次ページ）

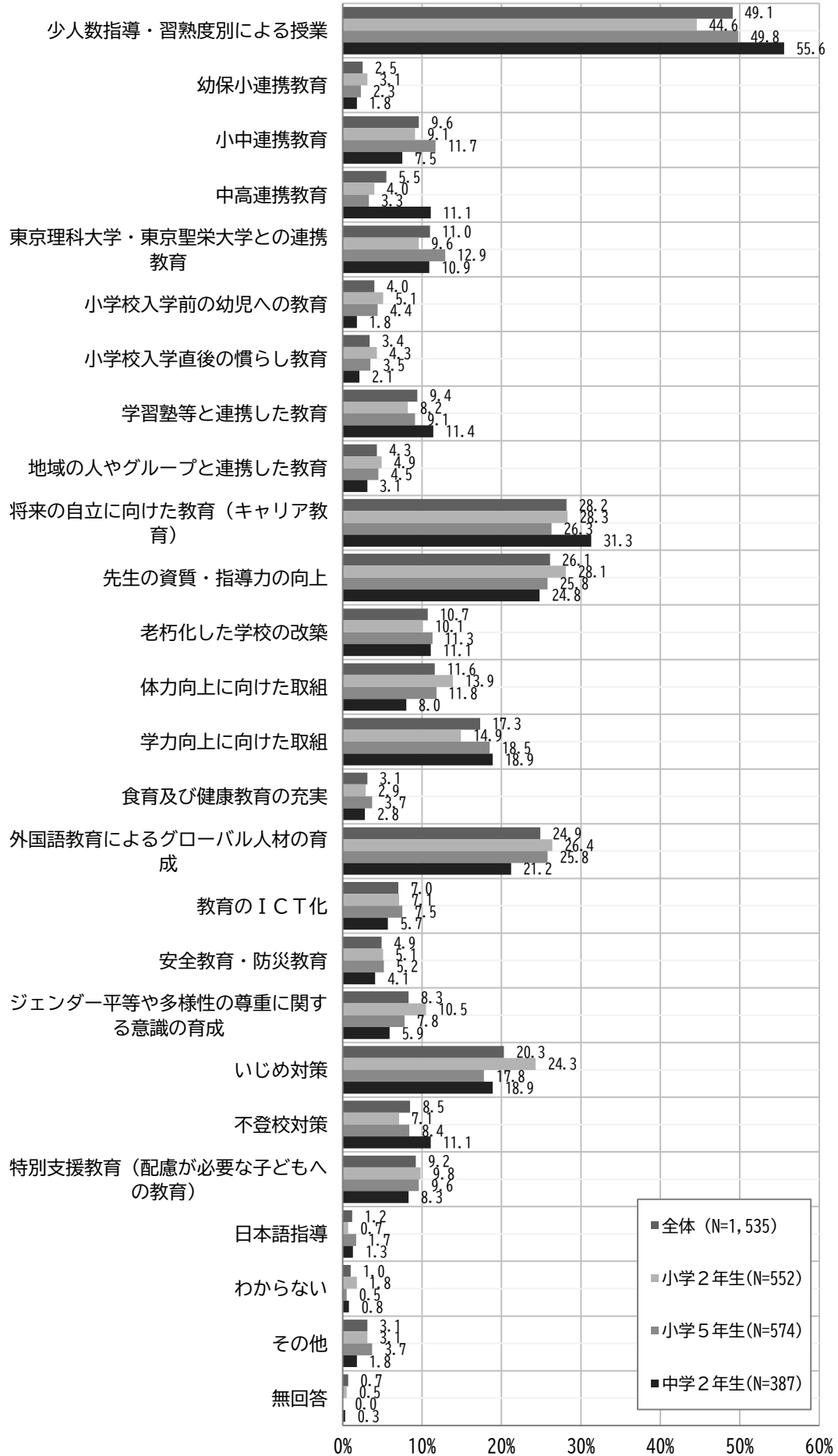
【前回調査との比較】

- 今後、区が特に充実する必要がある施策・取組の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、全ての属性で「少人数指導・習熟度別による授業」が最上位となっています。

■今後、区が特に充実する必要がある施策・取組の割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	少人数指導・習熟度別による授業（49.1）	少人数指導・習熟度別による授業（38.2）
小学2年生	少人数指導・習熟度別による授業（44.6）	少人数指導・習熟度別による授業（36.1）
小学5年生	少人数指導・習熟度別による授業（49.8）	少人数指導・習熟度別による授業（36.5）
中学2年生	少人数指導・習熟度別による授業（55.6）	少人数指導・習熟度別による授業（41.5）

第4章 区立小・中学生保護者調査結果



4 学校と地域の連携についてお聞きします。

問 18 あなたは、学校支援の活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

- 参加している学校支援の活動は、全体では、「特に参加していない」が 37.5%と最も多く、ついで「家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が 33.9%、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 26.4%で続きます。
- 小学 2 年生では、「特に参加していない」が 41.1%と最も多く、ついで「家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が 31.3%、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 25.4%で続きます。
- 小学 5 年生では、「特に参加していない」が 36.6%と最も多く、ついで「家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が 35.4%、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 30.1%で続きます。
- 中学 2 年生では、「家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が 35.4%と最も多く、ついで「特に参加していない」が 34.4%、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 22.5%で続きます。

(グラフは次ページ)

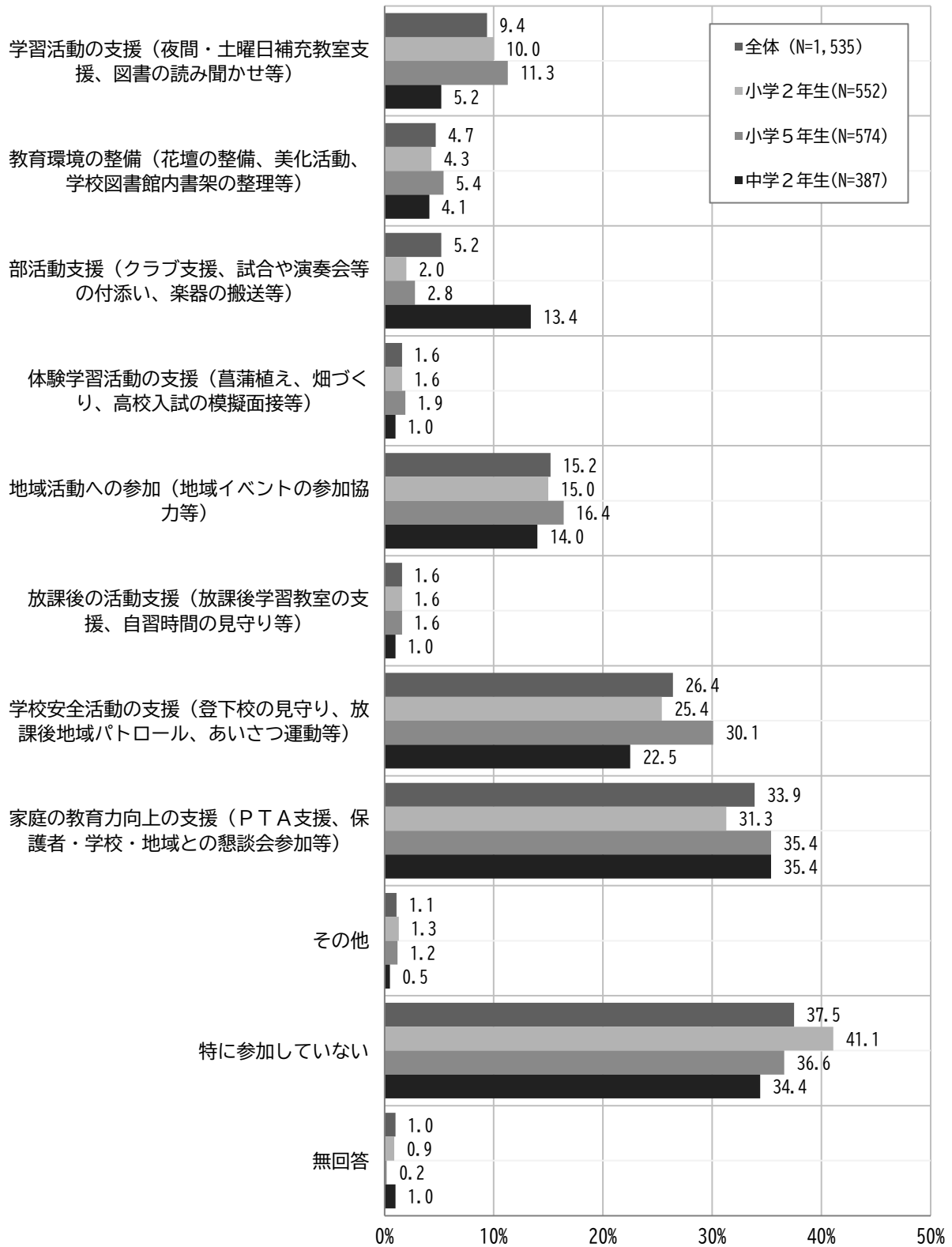
【前回調査との比較】

- 参加している学校支援の活動の割合をみると、平成 29 年度調査では、全ての属性で「家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が最上位でしたが、本調査では、全体、小学 2 年生、小学 5 年生で「特に参加していない」が最上位となっています。

■参加している学校支援の活動の割合の最上位（単位 %）

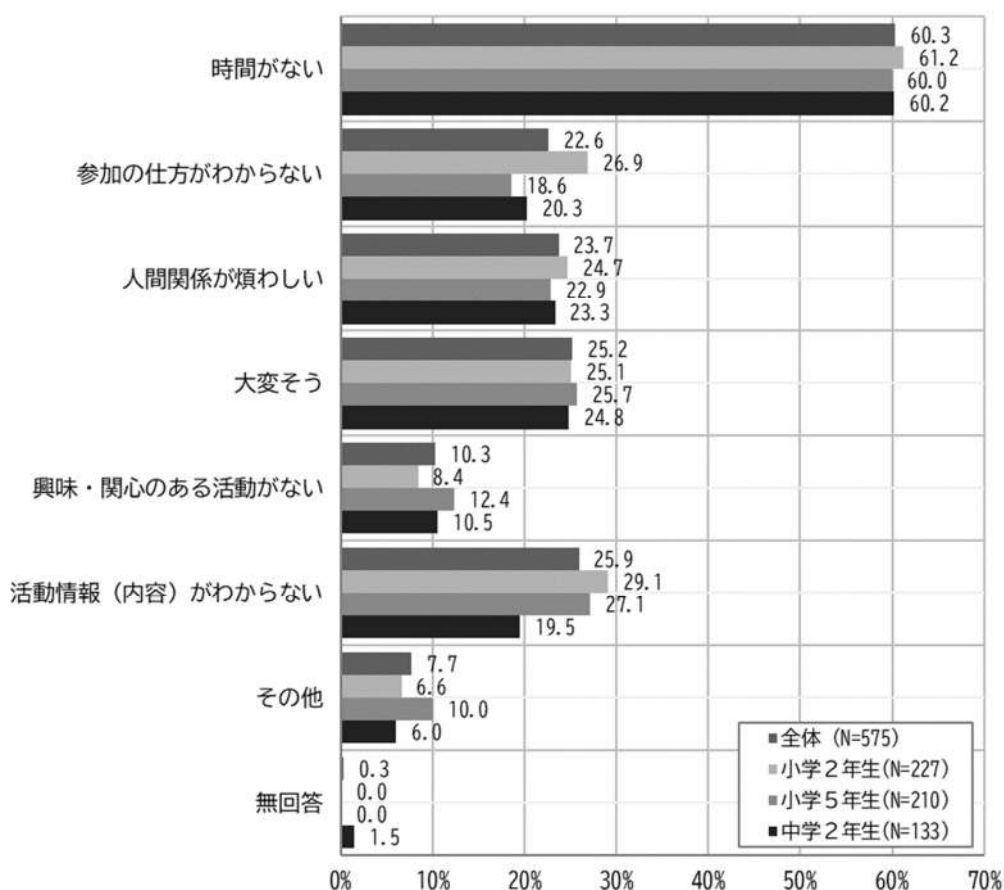
属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	特に参加していない (37.5)	家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等） (42.9)
小学 2 年生	特に参加していない (41.1)	家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等） (39.0)
小学 5 年生	特に参加していない (36.6)	家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等） (45.6)
中学 2 年生	家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等） (35.4)	家庭の教育力向上の支援（P T A支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等） (43.9)

第4章 区立小・中学生保護者調査結果



付問（問18で「10 特に参加していない」とお答えの方にお聞きします。）学校支援の活動に参加していない理由をお聞かせください。（〇はいくつでも）

- 学校支援の活動に「特に参加していない」と回答した方の参加していない理由は、全体では、「時間がない」が60.3%と最も多く、ついで「活動情報（内容）がわからない」が25.9%、「大変そう」が25.2%で続きます。
- 小学2年生では、「時間がない」が61.2%と最も多く、ついで「活動情報（内容）がわからない」が29.1%、「参加の仕方がわからない」が26.9%で続きます。
- 小学5年生では、「時間がない」が60.0%と最も多く、ついで「活動情報（内容）がわからない」が27.1%、「大変そう」が25.7%で続きます。
- 中学2年生では、「時間がない」が60.2%と最も多く、ついで「大変そう」が24.8%、「人間関係が煩わしい」が23.3%で続きます。



【前回調査との比較】

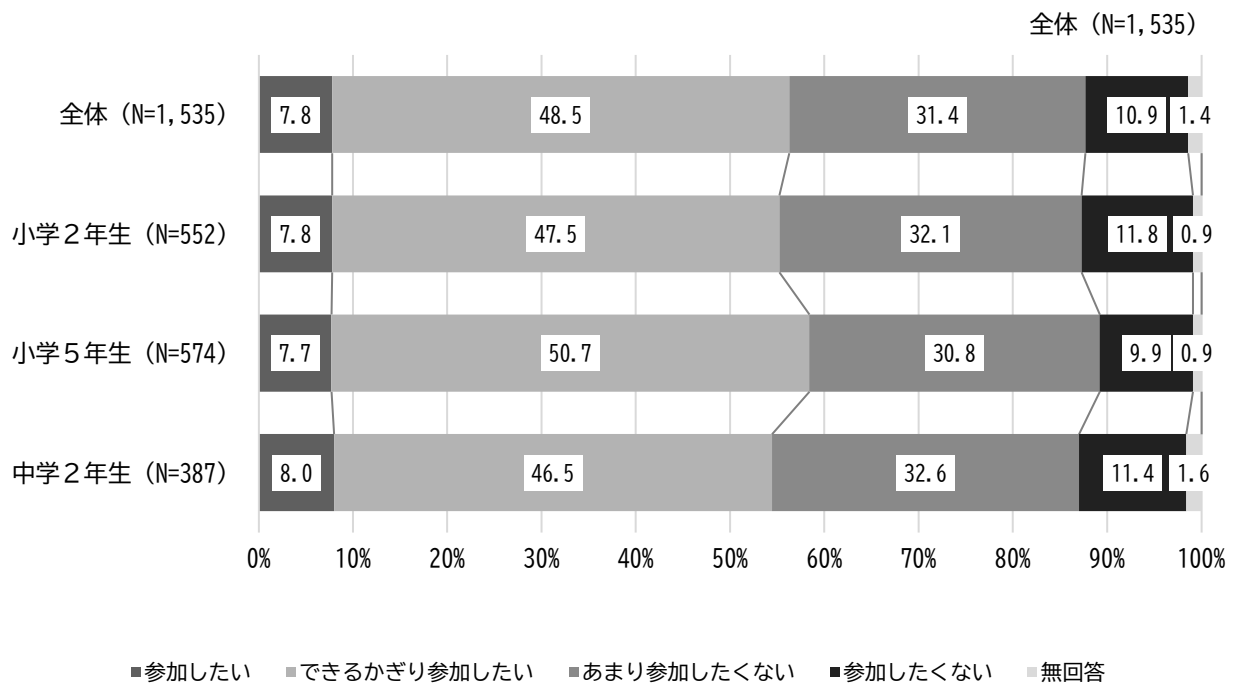
- 学校支援の活動に参加していない理由の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、全ての属性で「時間がない」が最上位となっています。

■学校支援の活動に参加していない理由の割合の最上位（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	時間がない（60.3）	時間がない（67.0）
小学2年生	時間がない（61.2）	時間がない（67.6）
小学5年生	時間がない（60.0）	時間がない（66.7）
中学2年生	時間がない（60.2）	時間がない（66.6）

問19 あなたは今後、学校支援の活動に参加したいお気持ちはありますか。(〇は1つ)

- 今後、学校支援の活動に参加する意向は、全体では、学校支援の活動への参加に前向きな気持ちの保護者（「参加したい」と「できるかぎり参加したい」の合計）が 56.3%となっています。
- 小学2年生では、学校支援の活動への参加に前向きな気持ちの保護者が 55.3%となっています。
- 小学5年生では、学校支援の活動への参加に前向きな気持ちの保護者が 58.4%となっています。
- 中学2年生では、学校支援の活動への参加に前向きな気持ちの保護者が 54.5%となっています。



問 20 今後、あなたはどのような活動に参加したいですか。（〇はいくつでも）

- 今後、参加したい学校支援の活動は、全体では、「特にない」が 32.2%と最も多く、ついで「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 24.1%、「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」が 21.0%で続きます。
- 小学 2 年生では、「特にない」が 32.8%と最も多く、ついで「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 25.0%、「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」が 22.3%で続きます。
- 小学 5 年生では、「特にない」が 31.5%と最も多く、ついで「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 27.7%、「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」が 22.8%で続きます。
- 中学 2 年生では、「特にない」が 33.6%と最も多く、ついで「部活動支援（クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等）」が 22.2%、「家庭の教育力向上の支援（PTA 支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が 20.2%で続きます。

（グラフは次ページ）

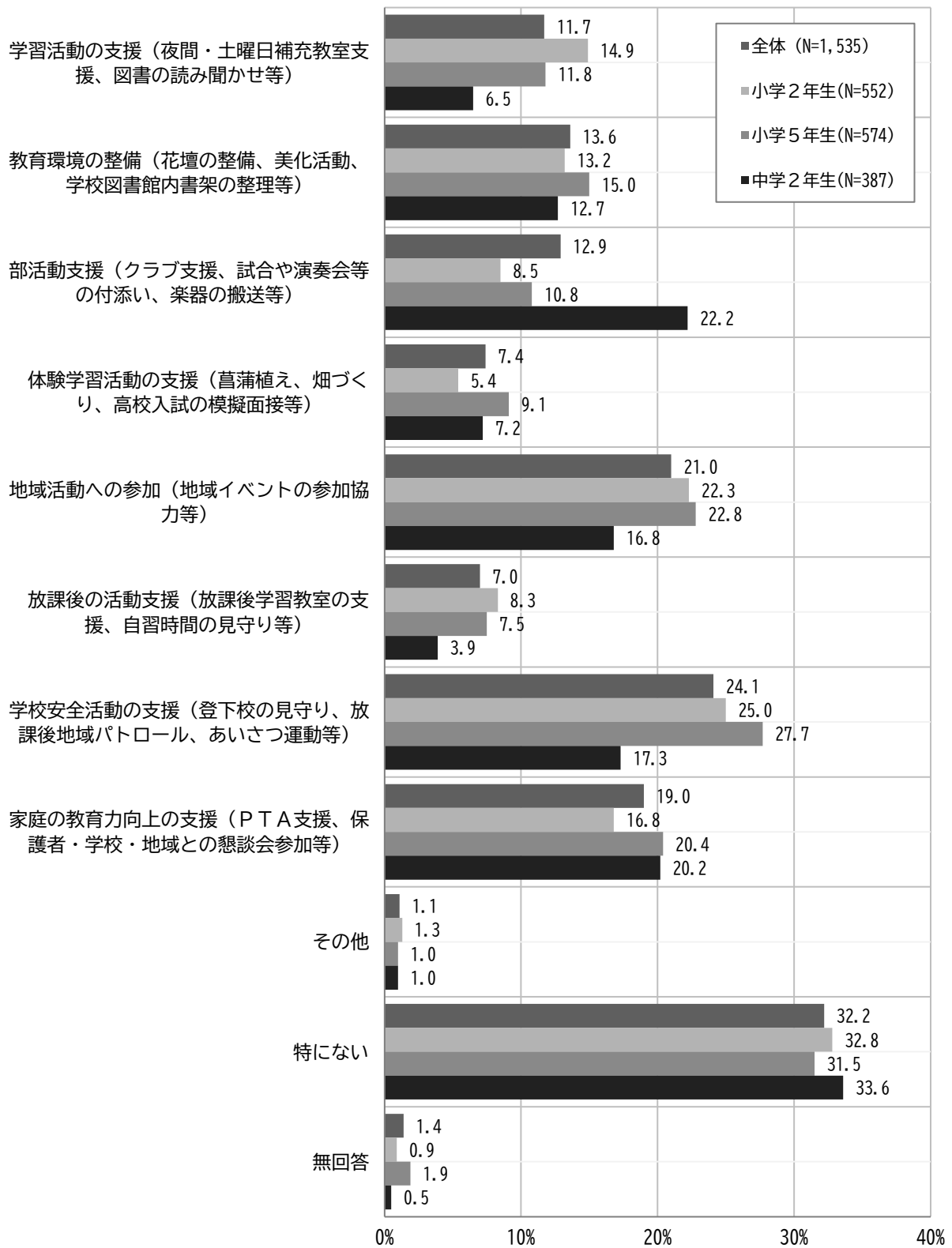
【前回調査との比較】

- 今後、参加したい活動の割合の最上位をみると、平成 29 年度調査では、全ての属性で「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」となっていました。本調査では、全ての属性で「特にない」となっています。

■今後、参加したい活動の割合の最上位（単位 %）

属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	特にない (32.2)	学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等） (36.2)
小学 2 年生	特にない (32.8)	学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等） (35.6)
小学 5 年生	特にない (31.5)	学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等） (37.6)
中学 2 年生	特にない (33.6)	学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等） (35.6)

第4章 区立小・中学生保護者調査結果

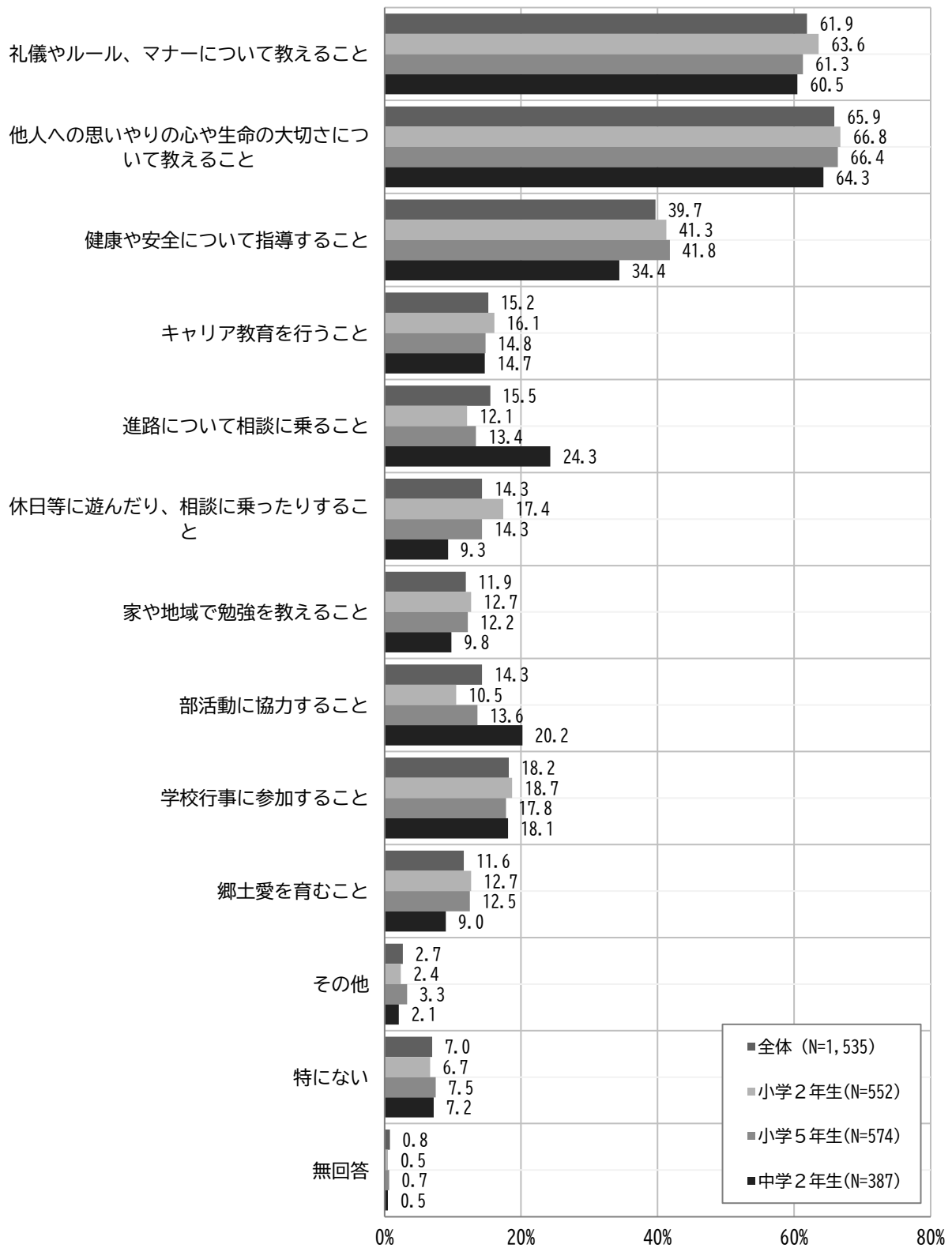


問 21 子どもの健やかな成長に向けて、地域に期待することはありますか。（〇はいくつでも）

- 子どもの健やかな成長に向けて、地域に期待することは、全体では、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が 65.9%と最も多く、ついで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が 61.9%、「健康や安全について指導すること」が 39.7%で続きます。
- 小学 2 年生では、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が 66.8%と最も多く、ついで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が 63.6%、「健康や安全について指導すること」が 41.3%で続きます。
- 小学 5 年生では、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が 66.4%と最も多く、ついで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が 61.3%、「健康や安全について指導すること」が 41.8%で続きます。
- 中学 2 年生では、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が 64.3%と最も多く、ついで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が 60.5%、「健康や安全について指導すること」が 34.4%で続きます。

（グラフは次ページ）

第4章 区立小・中学生保護者調査結果

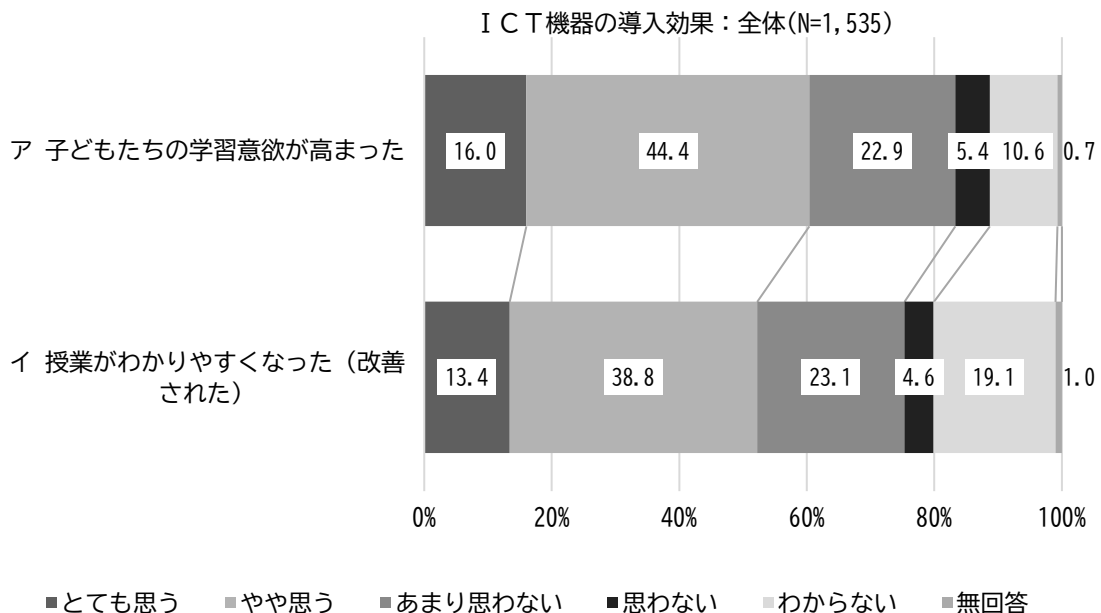


5 ICTの活用についてお聞きします。

問22 区で進めているICT機器の導入効果について、あなたの考えをお聞かせください。(〇はそれぞれ1つずつ)

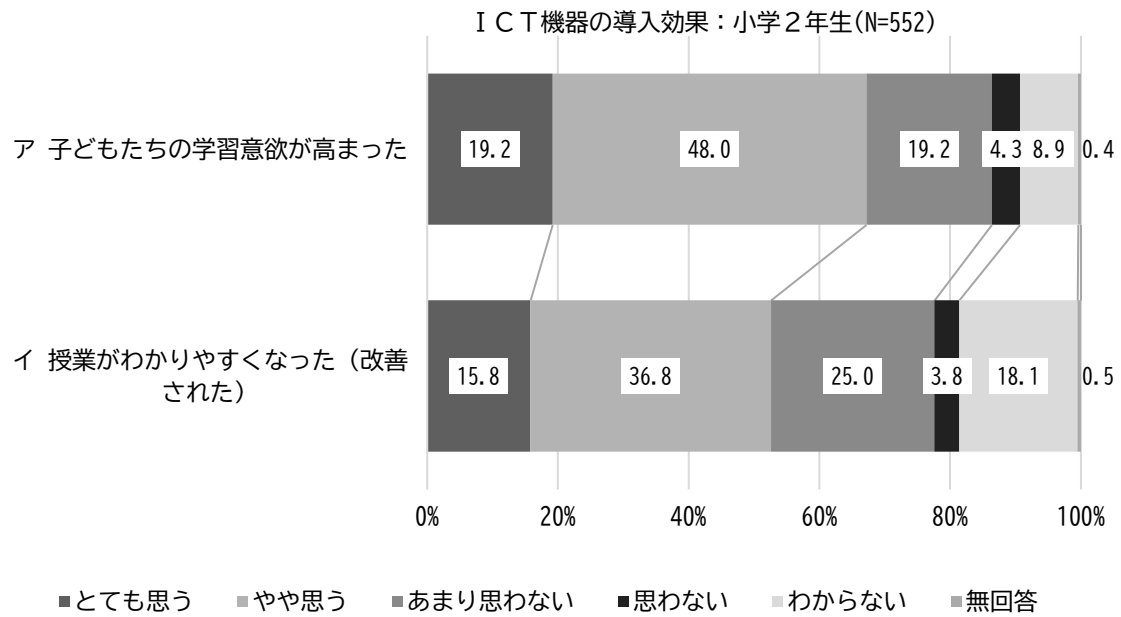
【全体】

- 学校教育へのICT機器の導入効果について、全体では、子どもたちの学習意欲が高まったと思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）が60.4%であり、高まったと思わない保護者（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 授業がわかりやすくなった（改善された）かについて、わかりやすくなった（改善された）と思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）が52.2%であり、わかりやすくなった（改善された）と思わない保護者（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。



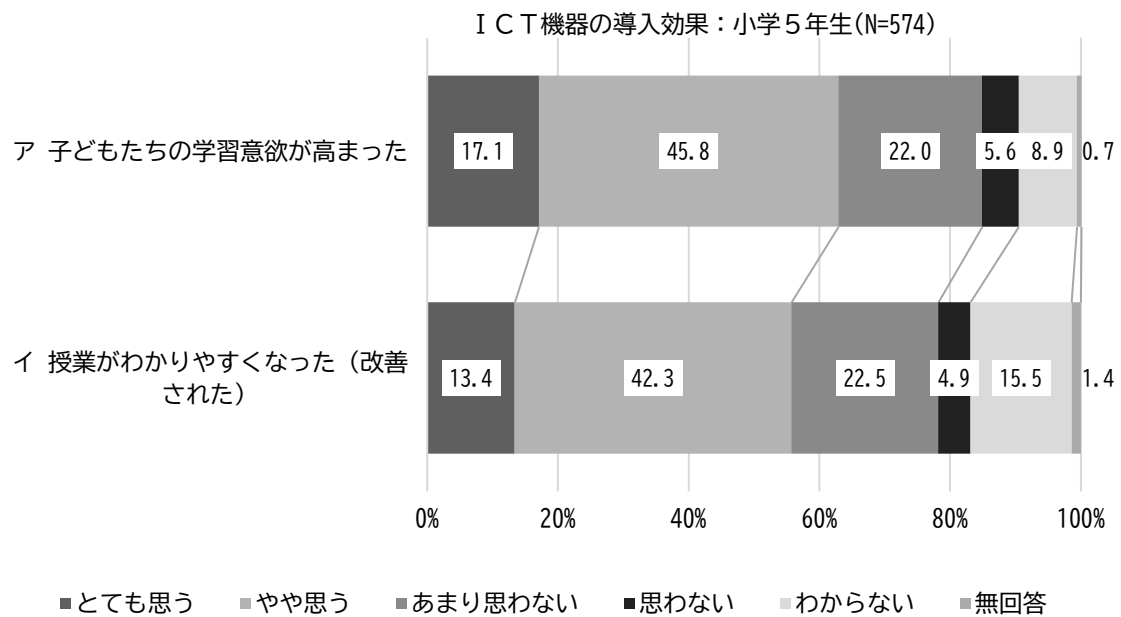
【小学2年生】

- 小学2年生では、子どもたちの学習意欲が高まったと思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）が67.2%であり、高まったと思わない保護者（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 小学2年生では、授業がわかりやすくなった（改善された）と思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）が52.6%であり、わかりやすくなった（改善された）と思わない保護者（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。



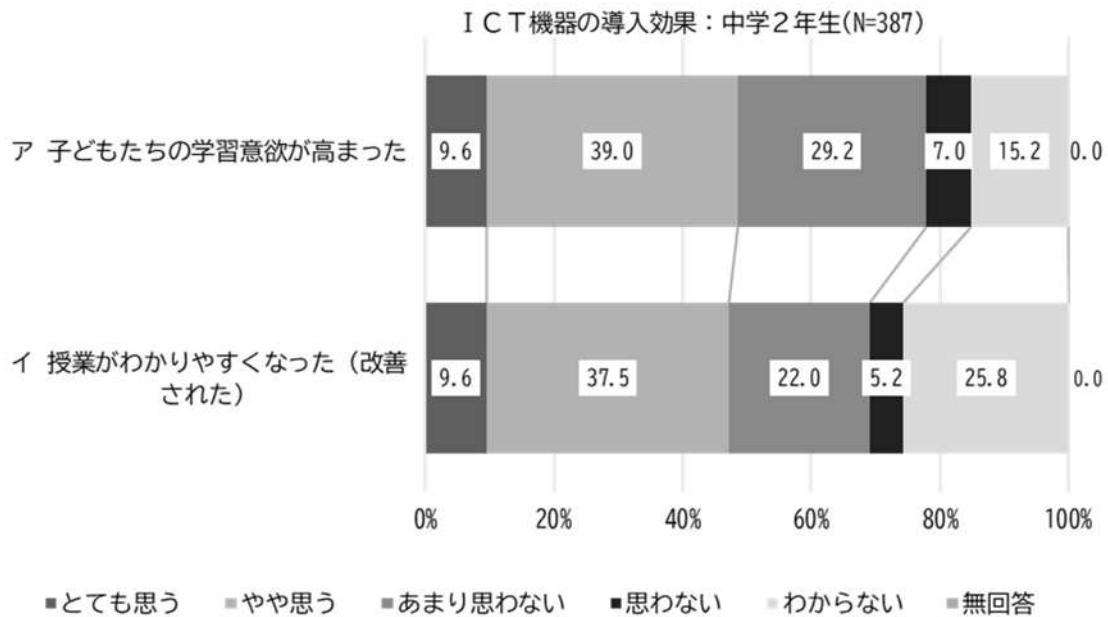
【小学5年生】

- 小学5年生では、子どもたちの学習意欲が高まったと思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）が62.9%であり、高まったと思わない保護者（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 小学5年生では、授業がわかりやすくなった（改善された）と思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）が55.7%であり、わかりやすくなった（改善された）と思わない保護者（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。



【中学2年生】

- 中学2年生では、子どもたちの学習意欲が高まったと思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）が48.6%であり、高まったと思わない保護者（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 中学2年生では、授業がわかりやすくなった（改善された）と思う保護者（「とても思う」と「やや思う」の合計）が47.1%であり、わかりやすくなった（改善された）と思わない保護者（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。

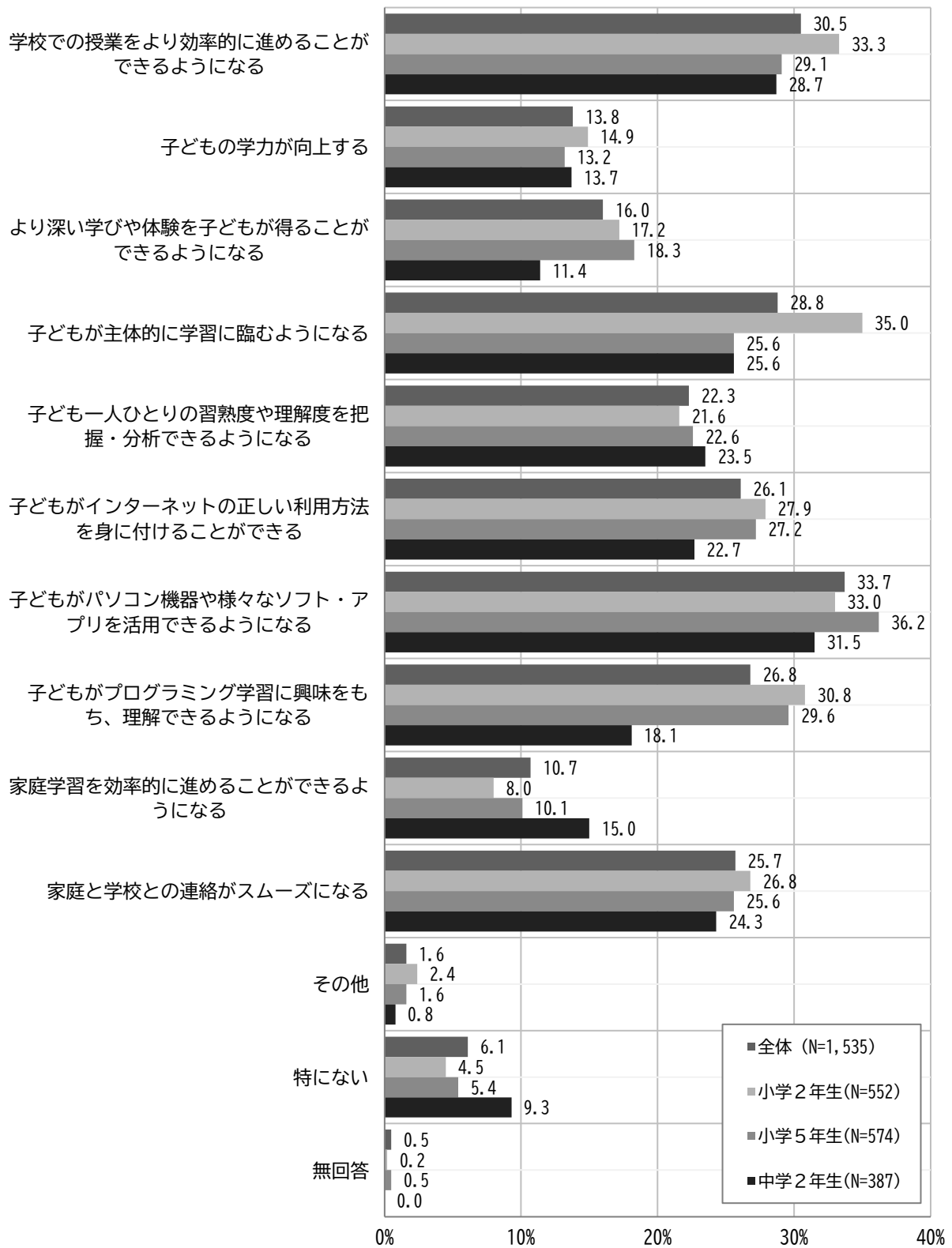


問23 学校教育におけるICTの活用（デジタル教科書・教材の採用、タブレット端末を活用した授業の導入等）について、特に期待する効果はありますか。（〇は3つまで）

- 学校教育におけるICTの活用で特に期待する効果は、全体では、「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」が33.7%と最も多く、ついで「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が30.5%、「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が28.8%で続きます。
- 小学2年生では、「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が35.0%と最も多く、ついで「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が33.3%、「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」が33.0%で続きます。
- 小学5年生では、「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」が36.2%と最も多く、ついで「子どもがプログラミング学習に興味をもち、理解できるようになる」が29.6%、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が29.1%で続きます。
- 中学2年生では、「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」が31.5%と最も多く、ついで「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が28.7%、「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が25.6%で続きます。

（グラフは次ページ）

第4章 区立小・中学生保護者調査結果



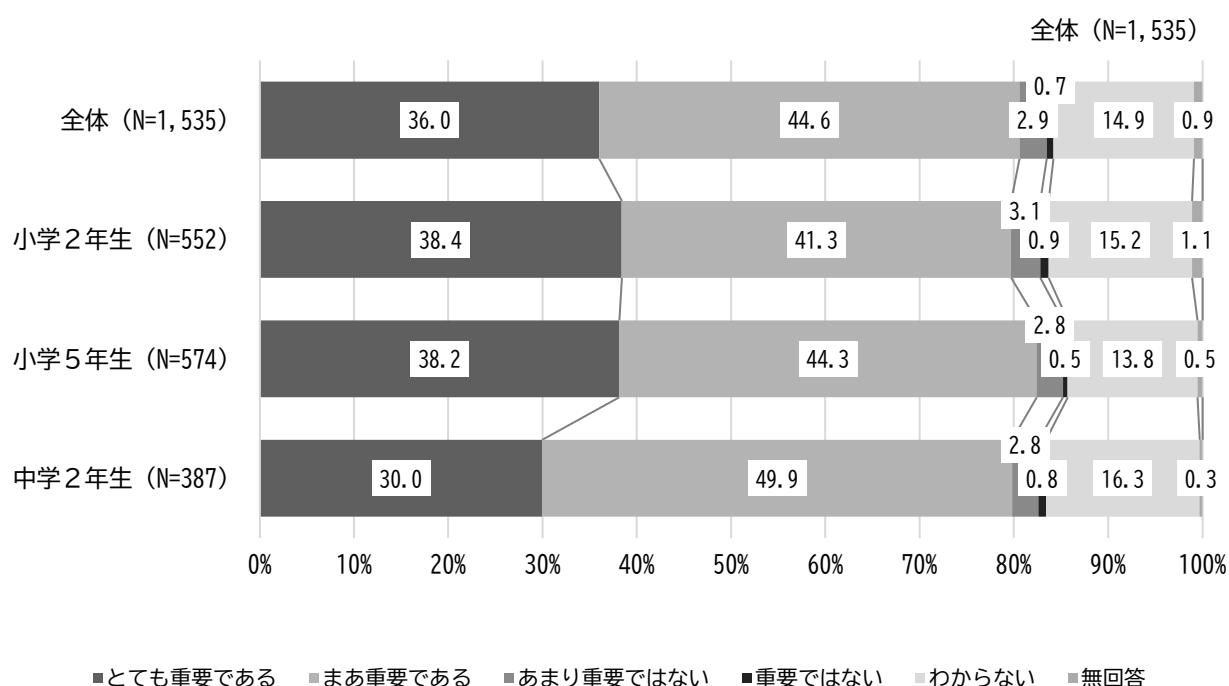
6 生涯学習、スポーツについてお聞きします。

「学びの循環」として、区民が学んだことが地域活動やボランティア活動に結び付き、それらの活動を通してさらに学びが深まる学びのサイクルを推進しています。

問 24 区が学びの循環に力を入れることについて、あなたの考えをお聞かせください。

(○は1つ)

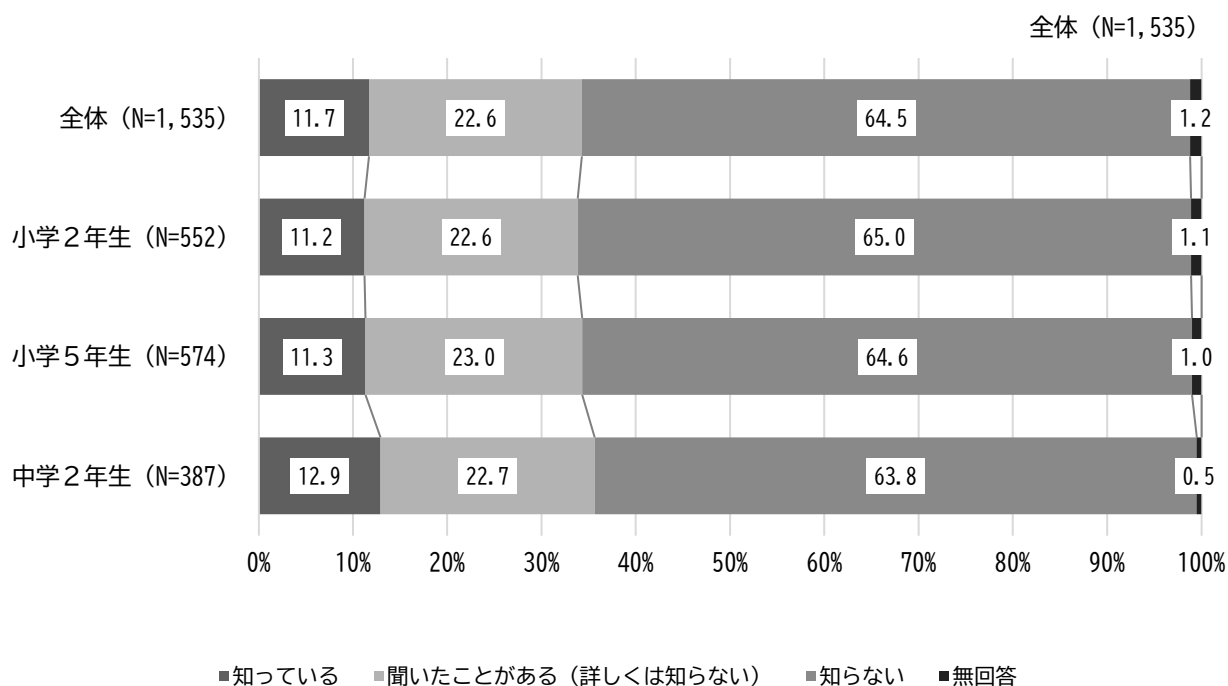
- 区が学びの循環に力を入れることに対する考えは、全体では、区が学びの循環に力を入れることを重要と考える保護者（「とても重要である」と「まあ重要である」の合計）が 80.6% となっています。
- 小学 2 年生では、区が学びの循環に力を入れることを重要と考える保護者が 79.7% となっています。
- 小学 5 年生では、区が学びの循環に力を入れることを重要と考える保護者が 82.5% となっています。
- 中学 2 年生では、区が学びの循環に力を入れることを重要と考える保護者が 79.9% となっています。



区では、区民の皆さまの生涯学習を支援するための「学びのしくみ」として、平成22年4月より、「かつしか区民大学」を開学しています。「かつしか区民大学」の講座を受講すると、受講回数に応じて学習単位を認定します。

問25 あなたは、「かつしか区民大学」を知っていますか。(〇は1つ)

- 「かつしか区民大学」の認知度は、全体では、「知らない」が64.5%と最も多く、ついで「聞いたことがある(詳しくは知らない)」が22.6%、「知っている」が11.7%で続きます。
- 小学2年生では、「知らない」が65.0%と最も多く、ついで「聞いたことがある(詳しくは知らない)」が22.6%、「知っている」が11.2%で続きます。
- 小学5年生では、「知らない」が64.6%と最も多く、ついで「聞いたことがある(詳しくは知らない)」が23.0%、「知っている」が11.3%で続きます。
- 中学2年生では、「知らない」が63.8%と最も多く、ついで「聞いたことがある(詳しくは知らない)」が22.7%、「知っている」が12.9%で続きます。



問 26 あなたは、どのような生涯学習活動に興味や関心がありますか。（〇はいくつでも）

- 興味や関心がある生涯学習活動は、全体では、「図書館の利用」が 43.3%と最も多く、ついで「スポーツ活動」が 33.2%、「講座や学習会」が 29.9%で続きます。
- 小学 2 年生では、「図書館の利用」が 48.2%と最も多く、ついで「スポーツ活動」が 33.9%、「講座や学習会」が 29.2%で続きます。
- 小学 5 年生では、「図書館の利用」が 42.0%と最も多く、ついで「スポーツ活動」が 34.1%、「文化・芸術活動」が 28.9%で続きます。
- 中学 2 年生では、「図書館の利用」が 38.8%と最も多く、ついで「講座や学習会」が 34.9%、「スポーツ活動」が 31.5%で続きます。

（グラフは次ページ）

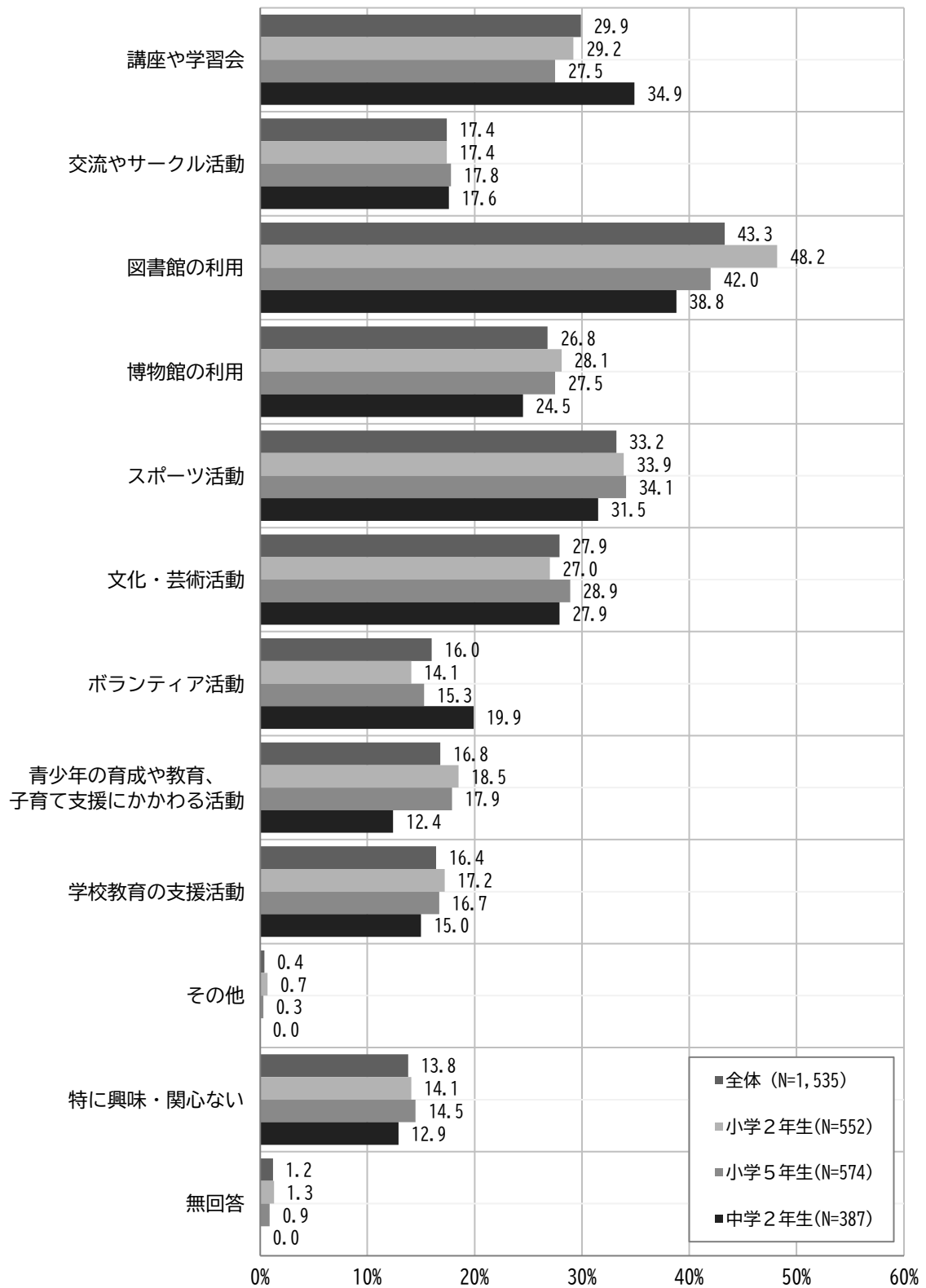
【前回調査との比較】

- 興味や関心がある生涯学習活動の割合をみると、本調査、平成 29 年度調査ともに、全ての属性で「図書館の利用」が最上位となっています。

■興味や関心がある生涯学習の割合の最上位（単位 %）

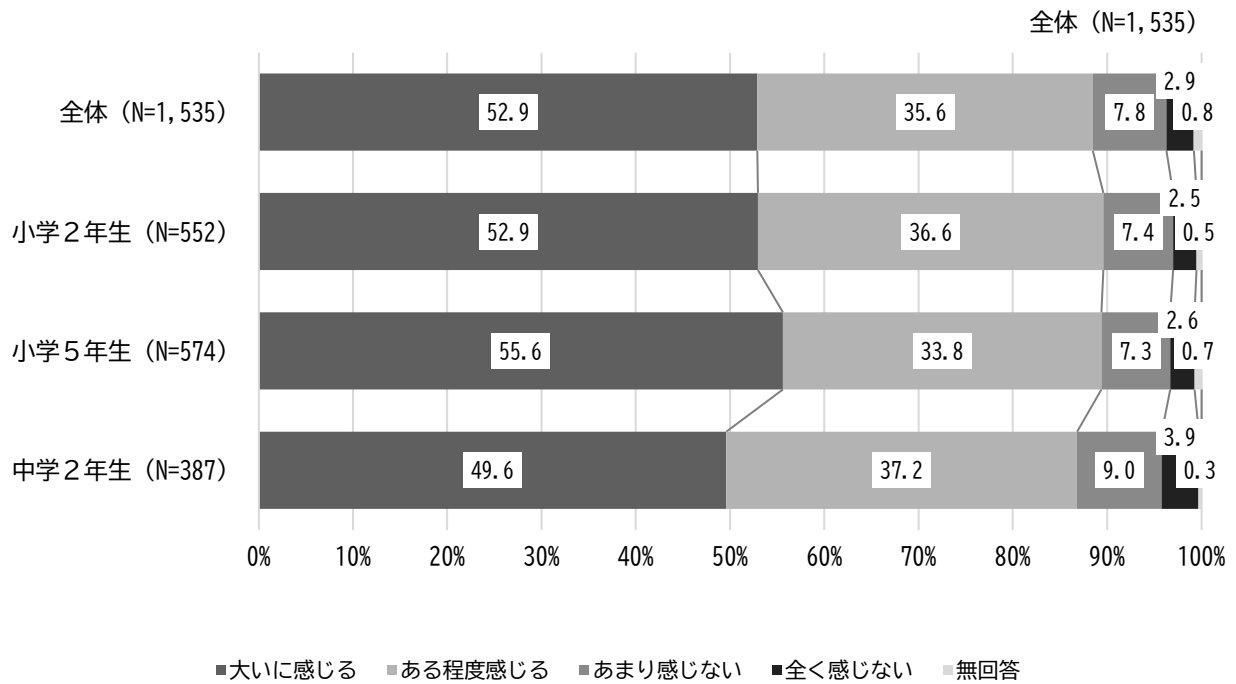
属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	図書館の利用 (43.3)	図書館の利用 (35.0)
小学 2 年生	図書館の利用 (48.2)	図書館の利用 (41.2)
小学 5 年生	図書館の利用 (42.0)	図書館の利用 (33.8)
中学 2 年生	図書館の利用 (38.8)	図書館の利用 (30.5)

第4章 区立小・中学生保護者調査結果



問 27 あなたは普段、運動不足を感じていますか。（○は1つ）

- 普段、運動不足を感じているかについて、全体では、運動不足を感じる保護者（「大いに感じる」と「ある程度感じる」の合計）が88.5%となっています。
- 小学2年生では、運動不足を感じる保護者が89.5%となっています。
- 小学5年生では、運動不足を感じる保護者が89.4%となっています。
- 中学2年生では、運動不足を感じる保護者が86.8%となっています。

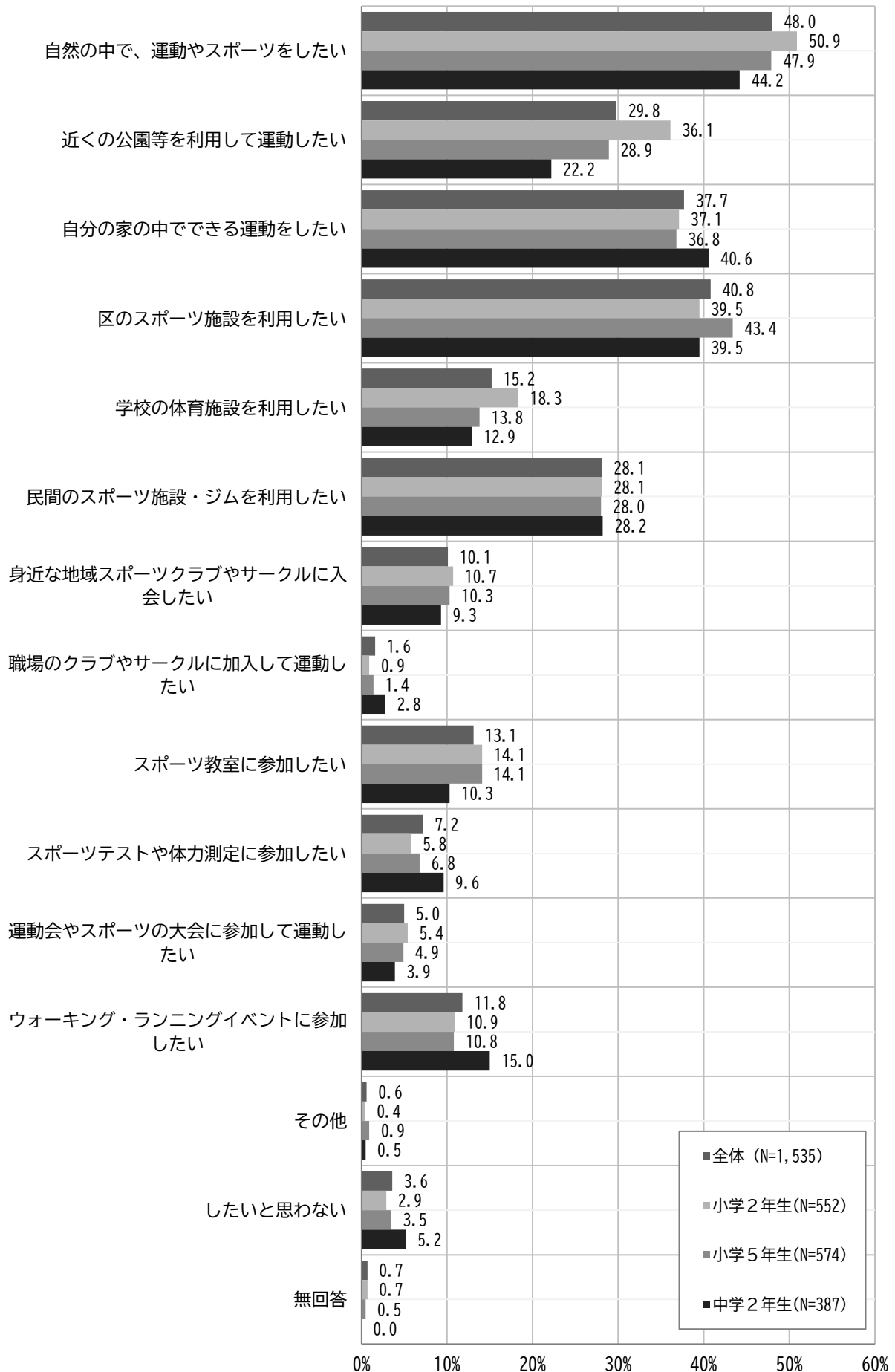


問28 あなたは、どのような機会や場所でスポーツや運動をしたいですか。（〇はいくつでも）

- スポーツや運動をしたい機会や場所は、全体では、「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が48.0%と最も多く、ついで「区のスポーツ施設を利用したい」が40.8%、「自分の家の中でできる運動をしたい」が37.7%で続きます。
- 小学2年生では、「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が50.9%と最も多く、ついで「区のスポーツ施設を利用したい」が39.5%、「自分の家の中でできる運動をしたい」が37.1%で続きます。
- 小学5年生では、「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が47.9%と最も多く、ついで「区のスポーツ施設を利用したい」が43.4%、「自分の家の中でできる運動をしたい」が36.8%で続きます。
- 中学2年生では、「自然の中で、運動やスポーツをしたい」が44.2%と最も多く、ついで「自分の家の中でできる運動をしたい」が40.6%、「区のスポーツ施設を利用したい」が39.5%で続きます。

（グラフは次ページ）

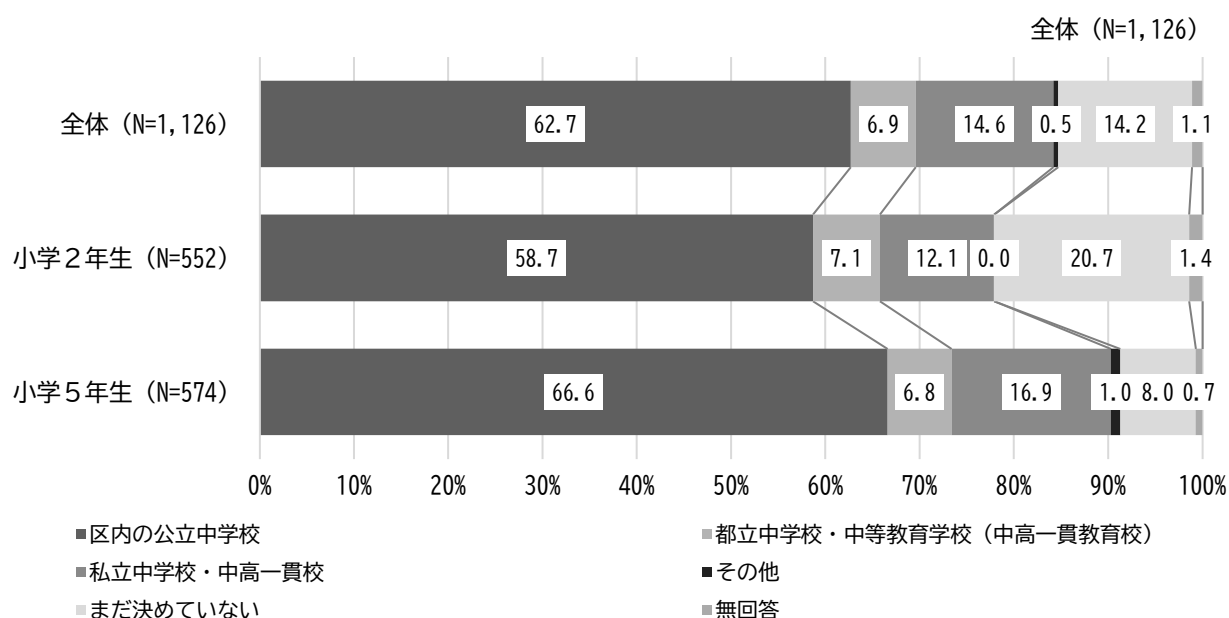
第4章 区立小・中学生保護者調査結果



7 ここから、小学生の保護者の方のみにお聞きします。

問 29 小学校卒業後に予定している進学先をお聞かせください。（〇は1つ）

- 小学校卒業後に予定している進学先は、全体では、「区内の公立中学校」が 62.7%と最も多く、ついで「私立中学校・中高一貫校」が 14.6%、「まだ決めていない」が 14.2%で続きます。都立または私立の中学校を予定している保護者（「都立中学校・中等教育学校（中高一貫教育校）」と「私立中学校・中高一貫校」の合計）は 21.5%となっています。
- 小学 2 年生では、「区内の公立中学校」が 58.7%と最も多く、ついで「まだ決めていない」が 20.7%、「私立中学校・中高一貫校」が 12.1%で続きます。都立または私立の中学校を予定している保護者は 19.2%となっています。
- 小学 5 年生では、「区内の公立中学校」が 66.6%と最も多く、ついで「私立中学校・中高一貫校」が 16.9%、「まだ決めていない」が 8.0%で続きます。都立または私立の中学校を予定している保護者は 23.7%となっています。



【前回調査との比較】

- 進学先に都立または私立の中学校を予定している保護者（「都立中学校・中等教育学校（中高一貫教育校）」と「私立中学校・中高一貫校」の合計）の割合をみると、いずれの属性も、平成 29 年度調査と比べて本調査が多くなっています。

■ 都立または私立の中学校を予定している保護者（「都立中学校・中等教育学校（中高一貫教育校）」と「私立中学校・中高一貫校」の合計）の割合（単位：%）

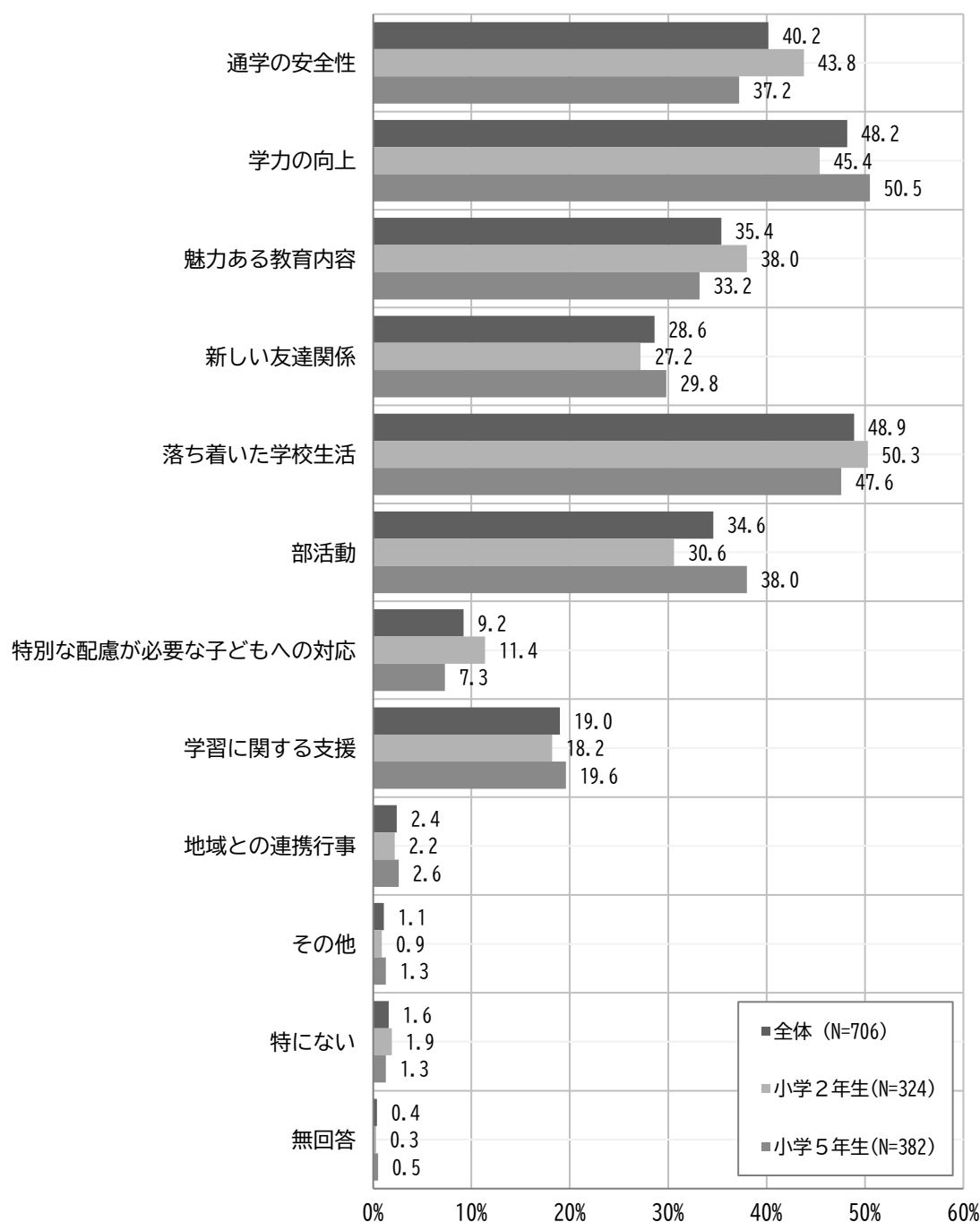
属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	21.5	14.5
小学 2 年生	19.2	12.9
小学 5 年生	23.7	16.0

付問① 「区内の公立中学校」とお答えの方にお聞きします。区内の公立中学校に対して、特に期待することをお聞かせください。（〇は3つまで）

- 進学先を「区内の公立中学校」と回答した方に、区内の公立中学校に特に期待することを聞いたところ、全体では、「落ち着いた学校生活」が48.9%と最も多く、ついで「学力の向上」が48.2%、「通学の安全性」が40.2%で続きます。
- 小学2年生では、「落ち着いた学校生活」が50.3%と最も多く、ついで「学力の向上」が45.4%、「通学の安全性」が43.8%で続きます。
- 小学5年生では、「学力の向上」が50.5%と最も多く、ついで「落ち着いた学校生活」が47.6%、「部活動」が38.0%で続きます。

（グラフは次ページ）

第4章 区立小・中学生保護者調査結果



【前回調査との比較】

- 区内の公立中学校に対して、特に期待することの割合をみると、平成29年度調査では、全ての属性で「落ち着いた学校生活」が最上位となっていました。本調査では、小学5年生で「学力の向上」が最上位となっています。

■区内の公立中学校に対して、特に期待することの割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	落ち着いた学校生活 (48.9)	落ち着いた学校生活 (54.7)
小学2年生	落ち着いた学校生活 (50.3)	落ち着いた学校生活 (52.7)
小学5年生	学力の向上 (50.5)	落ち着いた学校生活 (56.5)

付問② 「都立中学校～」、「私立中学校～」、「その他」とお答えの方にお聞きします。区内の公立中学校以外に進学を希望する主な理由をお聞かせください。（〇は3つまで）

- 進学先を「都立中学校・中等教育学校（中高一貫教育校）」、「私立中学校・中高一貫校」、「その他」のいずれかに回答した方に、区内の公立中学校以外に進学を希望する主な理由を聞いたところ、全体では、「教育内容に魅力がある」が48.4%と最も多く、ついで「子どもの希望」が39.5%、「中高一貫の方針で教育が行われている」が35.1%で続きます。
- 小学2年生では、「教育内容に魅力がある」が50.0%と最も多く、ついで「学力の高い学校」が34.9%、「中高一貫の方針で教育が行われている」が30.2%で続きます。
- 小学5年生では、「子どもの希望」が48.6%と最も多く、ついで「教育内容に魅力がある」が47.2%、「中高一貫の方針で教育が行われている」が38.7%で続きます。

（グラフは次ページ）

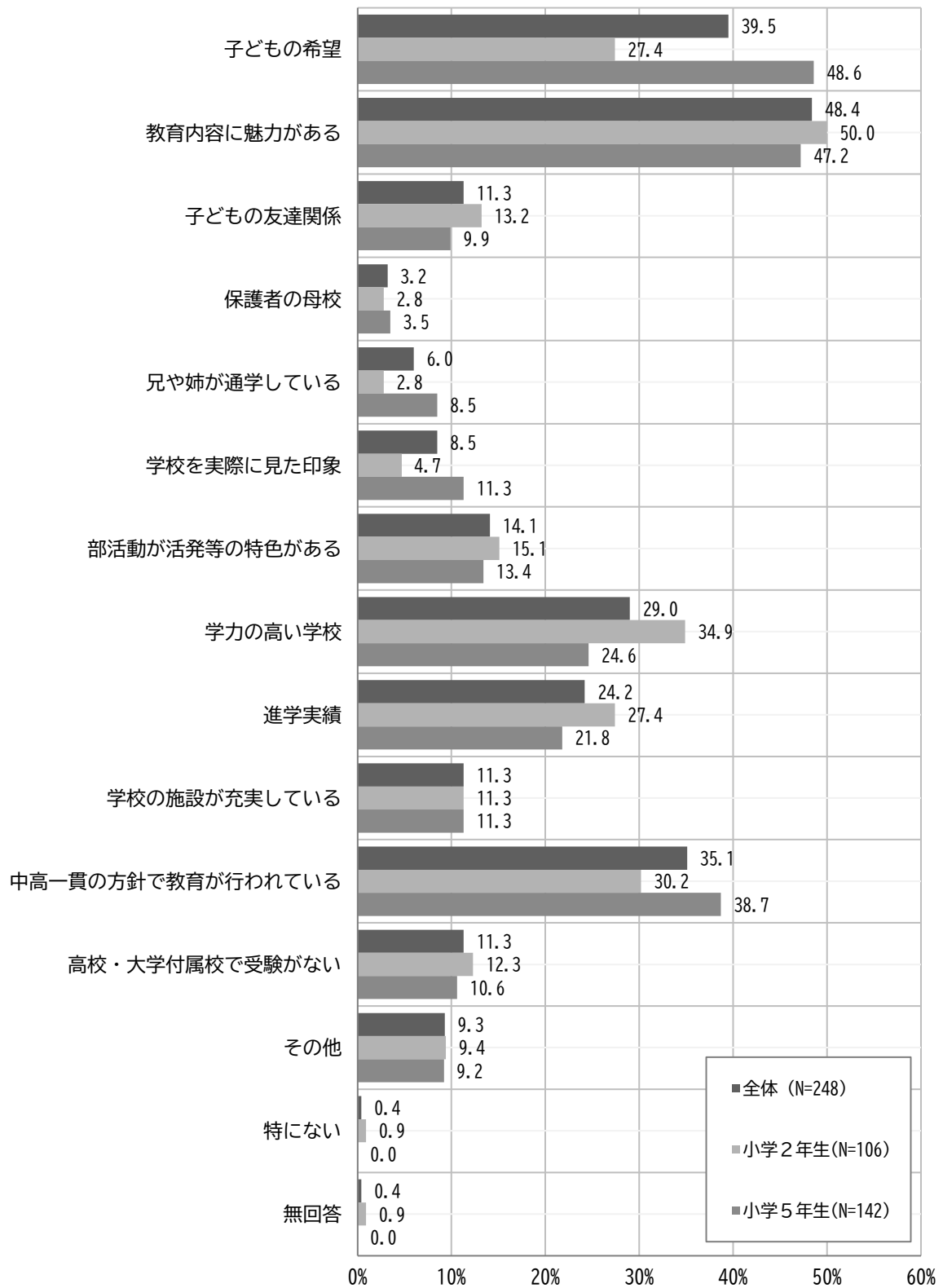
【前回調査との比較】

- 区内の公立中学校以外に進学を希望する主な理由の割合をみると、平成29年度調査では、小学2年生で「中高一貫の方針で教育が行われている」、小学5年生で「教育内容に魅力がある」が最上位でしたが、本調査では、小学2年生で「教育内容に魅力がある」、小学5年生で「子どもの希望」が最上位となっています。

■区内の公立中学校以外に進学を希望する主な理由の割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	教育内容に魅力がある（48.4）	教育内容に魅力がある（43.4）
小学2年生	教育内容に魅力がある（50.0）	中高一貫の方針で教育が行われている（43.7）
小学5年生	子どもの希望（48.6）	教育内容に魅力がある（45.6）

第4章 区立小・中学生保護者調査結果



8 自由意見

問 30 区の教育振興に関するご意見がございましたら、お書きください。（自由記述）

- 区の教育振興に関するご意見を自由記述形式でたずねたところ、285 件の回答がありました。
以下に分類毎の件数を掲載します。

(件数)

区分	分類	全体	小学2年生	小学5年生	中学2年生	不明
1	教育環境の充実	89	36	35	17	1
2	学力の向上	15	4	6	4	1
3	I C T教育、タブレットの活用	34	14	14	5	1
4	学校・地域・家庭等の連携、協力、交流	27	10	11	6	0
5	教員の負担軽減、配置	22	7	9	5	1
6	コロナの影響等	17	10	5	2	0
7	特別支援教育の充実	9	4	5	0	0
8	その他	72	28	29	15	0
合計		285	113	114	54	4

9 分析編：区の施策・取組に対する満足度・重要度

- 区の施策・取組（問 14、問 15）について、満足度と重要度を組み合わせた分析を行いました。
- 満足度を横軸、重要度を縦軸に設定して座標軸の図をつくり、その中に該当項目をプロットします。横軸である満足度と、縦軸である重要度の関係により、下図のように、中央に十字を配置した4エリア（象限）に分けることができます（十字の線は、満足度・重要度の各平均値）。
- この分析方法を用いて、区の施策に対する保護者の満足度・重要度の関係を明らかにします。

■分析図の説明

<p>第2象限 満足度は低いが重要度は高い</p>	<p>第1象限 満足度も重要度も高い</p>
<p>第3象限 満足度も重要度も低い</p>	<p>第4象限 満足度は高いが重要度は低い</p>

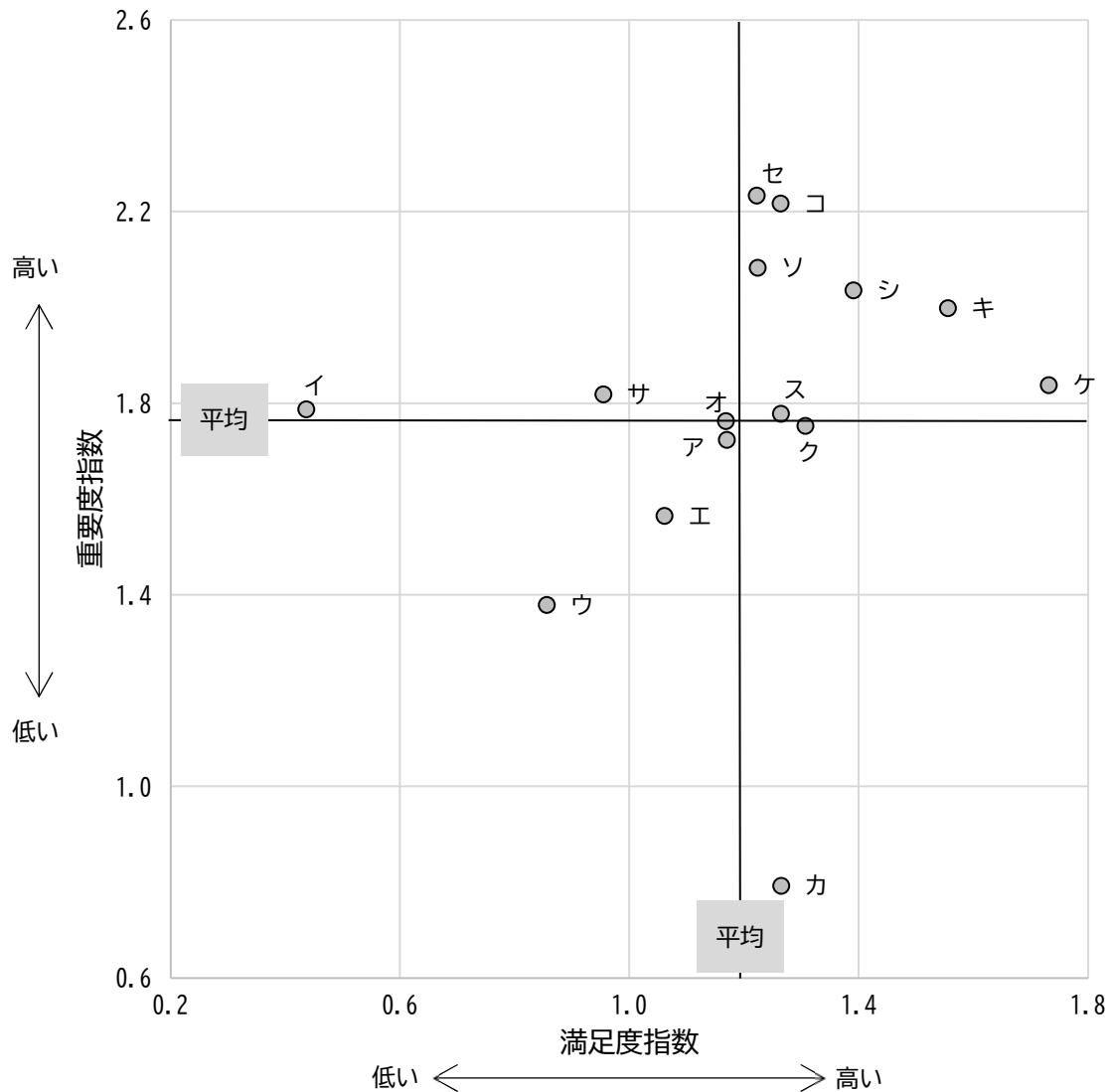
（指数化の方法）

満足度指数・重要度指数は、無回答者を除いた割合を改めて算出し、満足（重要）が3点、まあ満足（まあ重要）が1点、わからないが0点、やや不満（あまり重要ではない）が-1点、不満（重要ではない）が-3点をそれぞれの割合に掛けて合計した後、100で除して求めています。

(1) 区の施策・取組に対する満足度・重要度（問14）

【小学2年生】

- 第1象限（右上）に位置付く、「キ 「あいさつ運動」の実施」、「ケ 小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組」、「コ 道徳教育の充実」、「シ 文化的連合行事の実施」、「ス 体育的連合行事の実施」、「セ 英語による体験学習事業」、「ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施」は重要度、満足度とも高くなっており、保護者のニーズに応えられています。
- 一方、第2象限（左上）に位置付く、「イ 補習や夏季休業日の学習教室の実施」、「オ 「SNSかつしかっ子ルール」の取組」、「サ 幼保小中及び小中高連携教育の推進」は重要度が高いながらも満足度が低くなっており、ニーズに応える必要がある項目と考えられます。



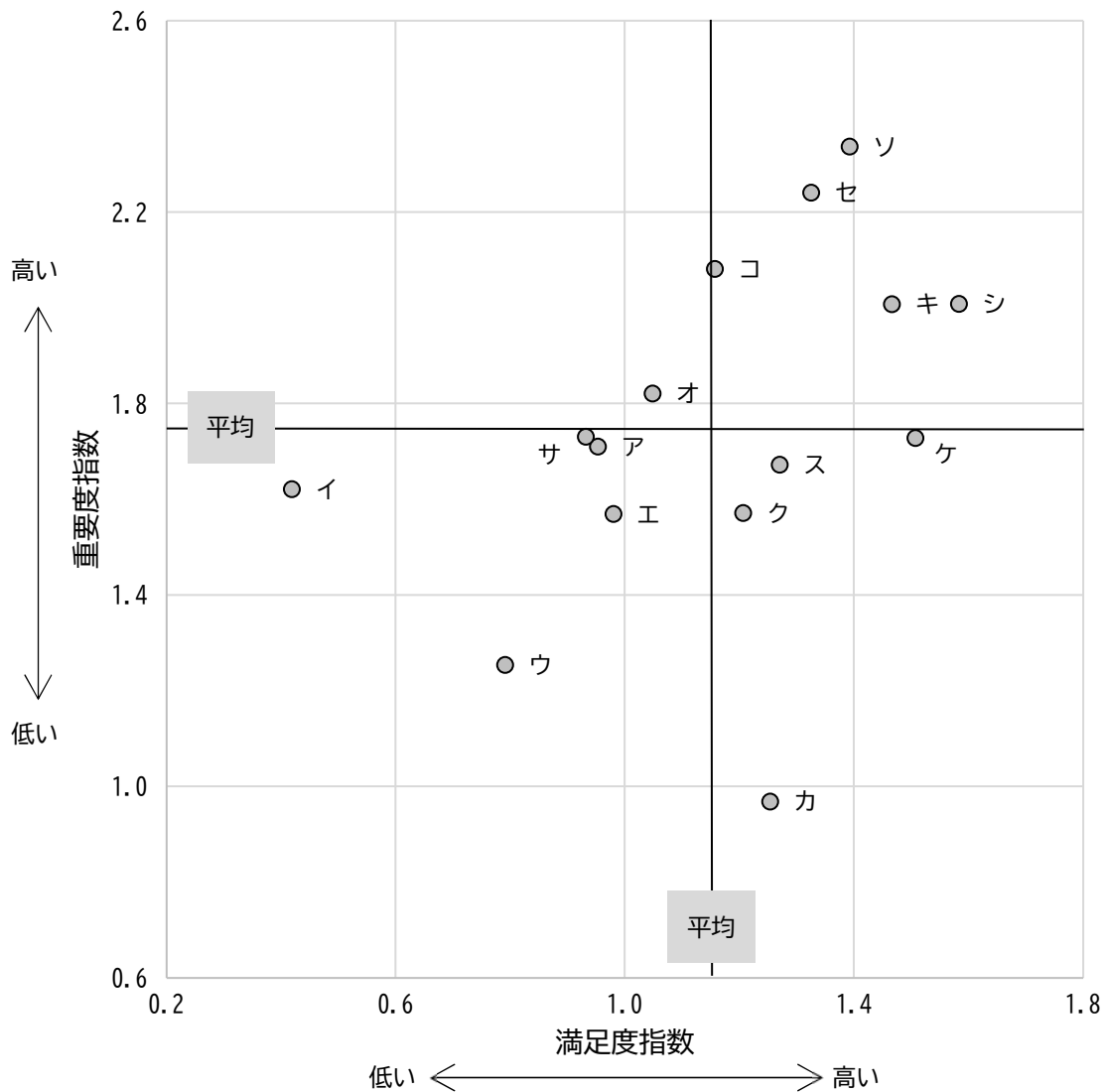
(ア～ソの項目は次ページ)

第4章 区立小・中学生保護者調査結果

ア	各種検定の受検により、学習習慣の定着をめざす検定料の補助の実施
イ	補習や夏季休業日の学習教室の実施
ウ	「家庭学習のすすめ」を配付して子どもの発達段階に応じた保護者の関わり方の例を提示する取組
エ	「葛飾教師の授業スタンダード」の実施
オ	「SNSかつしかっ子ルール」の取組
カ	「かつしか郷土かるた」や区歌斉唱等、郷土愛を醸成するための取組
キ	「あいさつ運動」の実施
ク	子どもたちの自信と誇りをもたせる各種表彰制度
ケ	小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組
コ	道徳教育の充実
サ	幼保小中及び小中高連携教育の推進
シ	文化的連合行事の実施
ス	体育的連合行事の実施
セ	英語による体験学習事業
ソ	体験活動を重視した宿泊行事の実施

【小学5年生】

- 第1象限（右上）に位置付く、「キ 「あいさつ運動」の実施」、「コ 道徳教育の充実」、「シ 文化的連合行事の実施」、「セ 英語による体験学習事業」、「ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施」は重要度、満足度も高くなっており、保護者のニーズに応えられています。
- 一方、第2象限（左上）に位置付く、「オ 「SNSかつしかっ子ルール」の取組」は重要度が高いながらも満足度が低くなっており、ニーズに応える必要がある項目と考えられます。



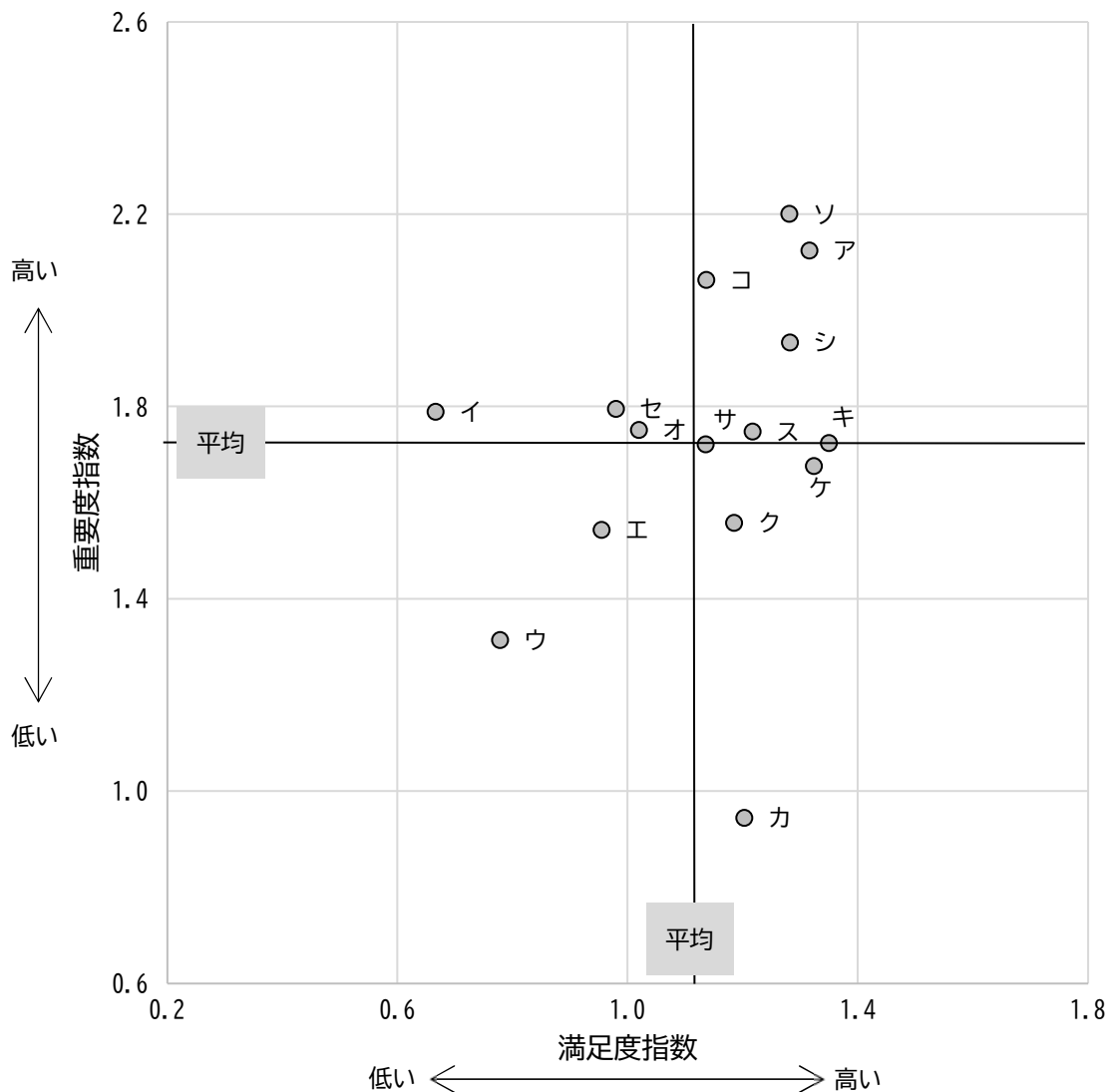
(ア～ソの項目は次ページ)

第4章 区立小・中学生保護者調査結果

ア	各種検定の受検により、学習習慣の定着をめざす検定料の補助の実施
イ	補習や夏季休業日の学習教室の実施
ウ	「家庭学習のすすめ」を配付して子どもの発達段階に応じた保護者の関わり方の例を提示する取組
エ	「葛飾教師の授業スタンダード」の実施
オ	「SNSかつしかっ子ルール」の取組
カ	「かつしか郷土かるた」や区歌斉唱等、郷土愛を醸成するための取組
キ	「あいさつ運動」の実施
ク	子どもたちの自信と誇りをもたせる各種表彰制度
ケ	小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組
コ	道徳教育の充実
サ	幼保小中及び小中高連携教育の推進
シ	文化的連合行事の実施
ス	体育的連合行事の実施
セ	英語による体験学習事業
ソ	体験活動を重視した宿泊行事の実施

【中学2年生】

- 第1象限（右上）に位置付く、「ア 各種検定の受検により、学習習慣の定着をめざす検定料の補助の実施」、「キ 「あいさつ運動」の実施」、「コ 道徳教育の充実」、「サ 幼保小中及び小中高連携教育の推進」、「シ 文化的連合行事の実施」、「ス 体育的連合行事の実施」、「ソ 体験活動を重視した宿泊行事の実施」は重要度、満足度とも高くなっており、保護者のニーズに応えられています。
- 一方、第2象限（左上）に位置付く、「イ 補習や夏季休業日の学習教室の実施」、「オ 「SNSかつしかっ子ルール」の取組」、「セ 英語による体験学習事業」は重要度が高いながらも満足度が低くなっており、ニーズに応える必要がある項目と考えられます。



(ア～ソの項目は次ページ)

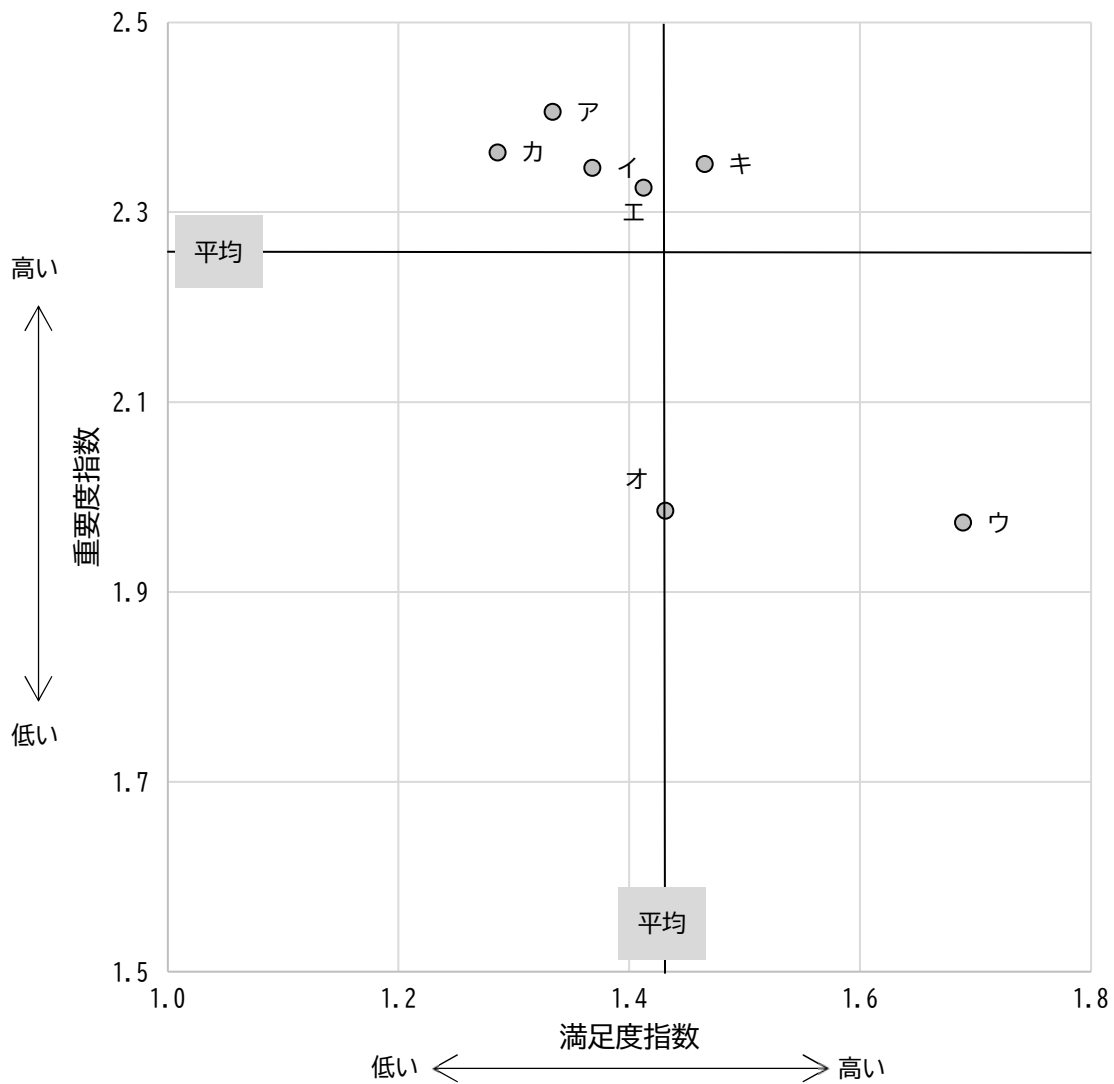
第4章 区立小・中学生保護者調査結果

ア	各種検定の受検により、学習習慣の定着をめざす検定料の補助の実施
イ	補習や夏季休業日の学習教室の実施
ウ	「家庭学習のすすめ」を配付して子どもの発達段階に応じた保護者の関わり方の例を提示する取組
エ	「葛飾教師の授業スタンダード」の実施
オ	「SNSかつしかっ子ルール」の取組
カ	「かつしか郷土かるた」や区歌斉唱等、郷土愛を醸成するための取組
キ	「あいさつ運動」の実施
ク	子どもたちの自信と誇りをもたせる各種表彰制度
ケ	小学1年生には本の配付、中学1年生には電子書籍の利用啓発を通じて読書に親しみをもたせる取組
コ	道徳教育の充実
サ	幼保小中及び小中高連携教育の推進
シ	文化的連合行事の実施
ス	体育的連合行事の実施
セ	英語による体験学習事業
ソ	体験活動を重視した宿泊行事の実施

(2) 学校の人材配置に対する満足度・重要度（問15）

【小学2年生】

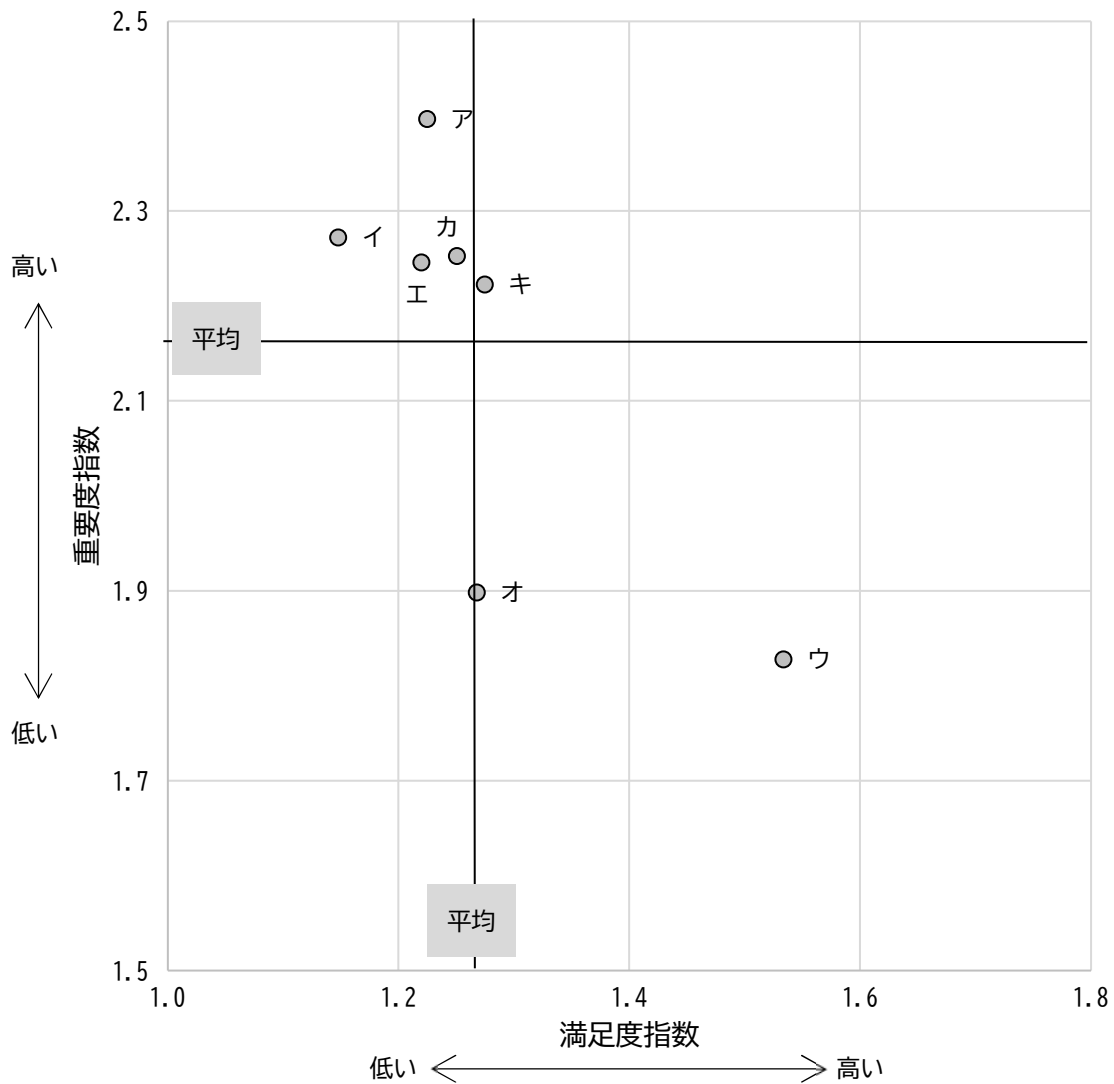
- 第1象限（右上）に位置付く、「キ 学習指導員（中学校）」は重要度、満足度とも高くなっており、保護者のニーズに応えられています。
- 一方、第2象限（左上）に位置付く、「ア スクールカウンセラー」、「イ スクールソーシャルワーカー」、「エ ALT」、「カ 学習指導補助員（小学校）」は重要度が高いながらも満足度が低くなっており、ニーズに応える必要がある項目と言えます。



ア	スクールカウンセラー
イ	スクールソーシャルワーカー
ウ	学校司書
エ	ALT
オ	理科観察実験支援員
カ	学習指導補助員（小学校）
キ	学習指導員（中学校）

【小学5年生】

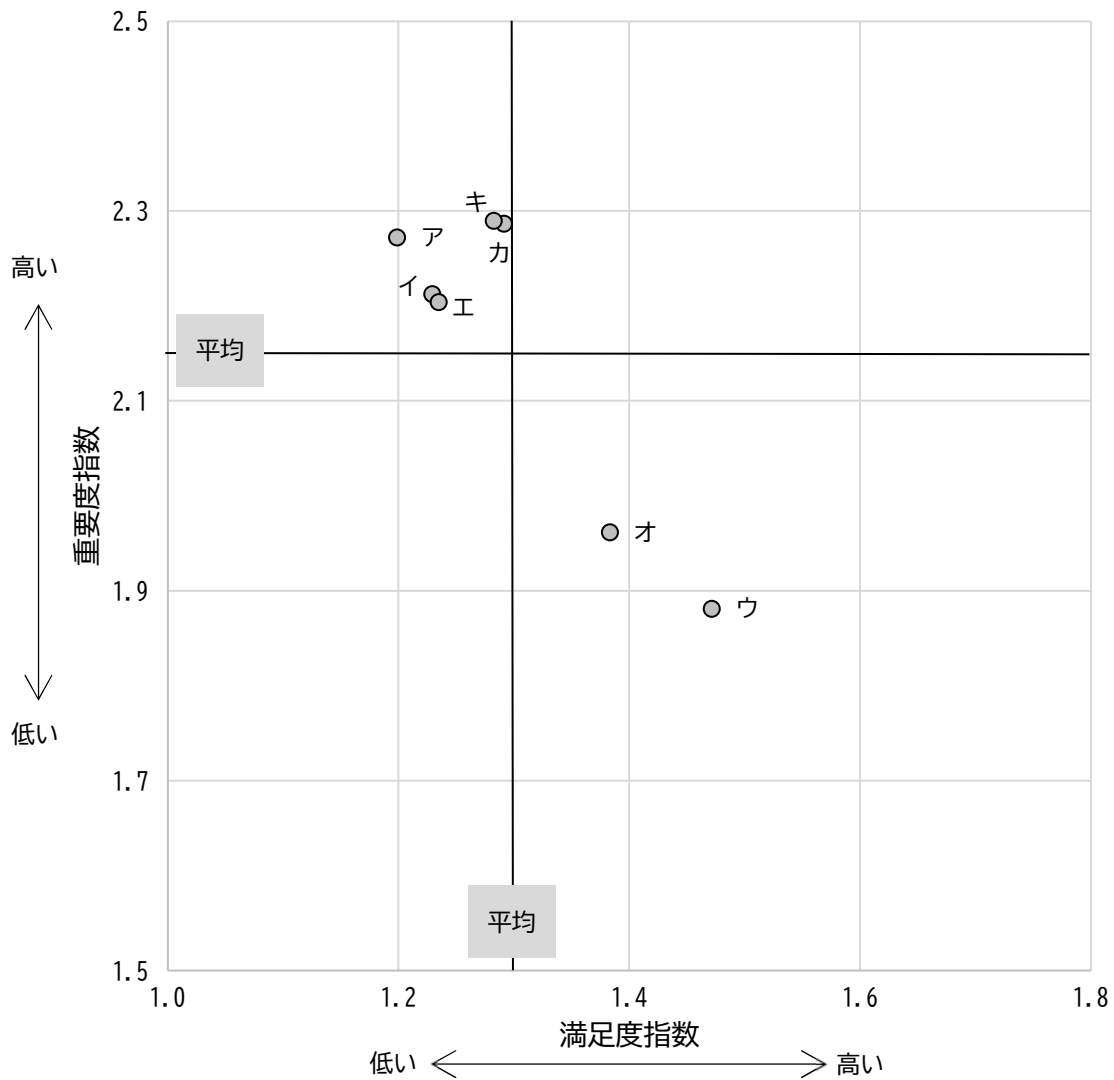
- 第1象限（右上）に位置付く、「キ 学習指導員（中学校）」は重要度、満足度とも高くなっており、保護者のニーズに応えられています。
- 一方、第2象限（左上）に位置付く、「ア スクールカウンセラー」、「イ スクールソーシャルワーカー」、「エ ALT」、「カ 学習指導補助員（小学校）」は重要度が高いながらも満足度が低くなっており、ニーズに応える必要がある項目と言えます。



ア	スクールカウンセラー
イ	スクールソーシャルワーカー
ウ	学校司書
エ	ALT
オ	理科観察実験支援員
カ	学習指導補助員（小学校）
キ	学習指導員（中学校）

【中学2年生】

- 第1象限（右上）に位置付く項目はありません。
- 第2象限（左上）に位置付く、「ア スクールカウンセラー」、「イ スクールソーシャルワーカー」、「エ ALT」、「カ 学習指導補助員（小学校）」、「キ 学習指導員（中学校）」は重要度が高いながらも満足度が低くなっており、ニーズに応える必要がある項目と言えます。



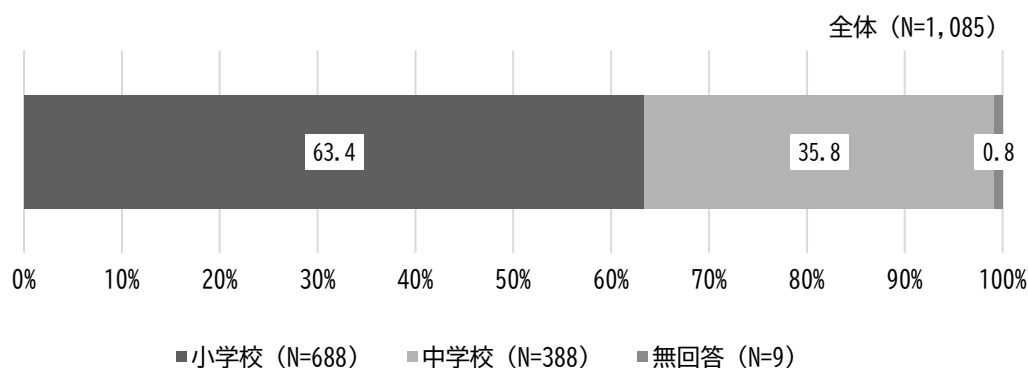
ア	スクールカウンセラー
イ	スクールソーシャルワーカー
ウ	学校司書
エ	ALT
オ	理科観察実験支援員
カ	学習指導補助員（小学校）
キ	学習指導員（中学校）

第5章 区立小・中学校教員調査結果

1 あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの勤務先はどちらですか。（○は1つ）

○ 勤務先は、「小学校」は63.4%、「中学校」は35.8%となっています。



【前回調査との比較】

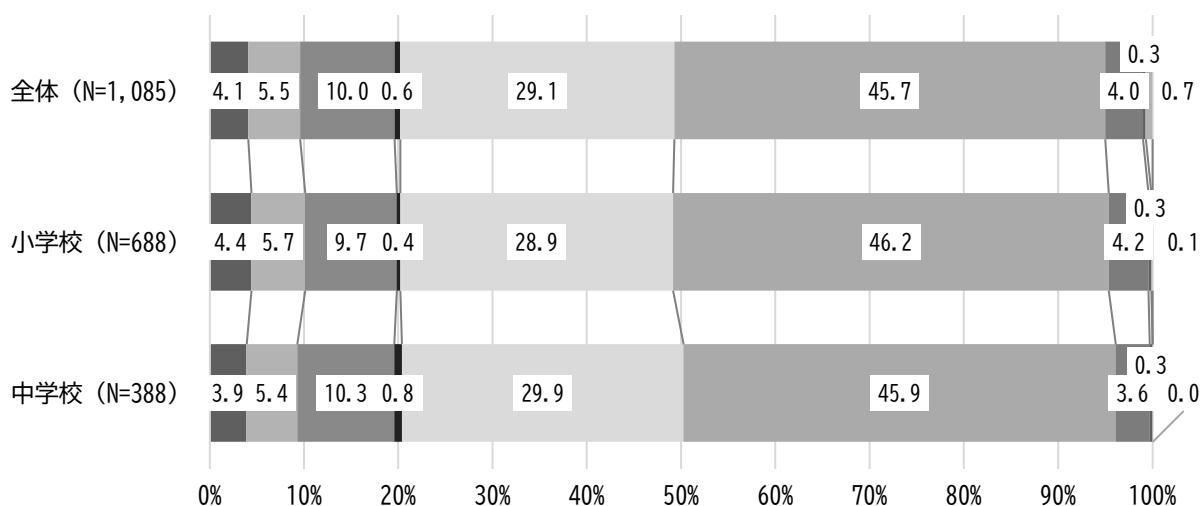
○ 勤務先の割合をみると、本調査と平成29年度調査では、小学校、中学校ともにほぼ横ばいです。

■勤務先の割合（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
小学校	63.4	65.4
中学校	35.8	34.6

問2 あなたの職名は何ですか。(〇は1つ)

- 職名は、全体では、「校長」は4.1%、「副校長」は5.5%、「主幹教諭」は10.0%、「指導教諭」は0.6%、「主任教諭」は29.1%、「教諭」は45.7%、「主任養護教諭・養護教諭」は4.0%、「主任栄養教諭・栄養教諭」は0.3%となっています。
- 小学校では、「校長」は4.4%、「副校長」は5.7%、「主幹教諭」は9.7%、「指導教諭」は0.4%、「主任教諭」は28.9%、「教諭」は46.2%、「主任養護教諭・養護教諭」は4.2%、「主任栄養教諭・栄養教諭」は0.3%となっています。
- 中学校では、「校長」は3.9%、「副校長」は5.4%、「主幹教諭」は10.3%、「指導教諭」は0.8%、「主任教諭」は29.9%、「教諭」は45.9%、「主任養護教諭・養護教諭」は3.6%、「主任栄養教諭・栄養教諭」は0.3%となっています。



■校長 ■副校長 ■主幹教諭 ■指導教諭 ■主任教諭 ■教諭 ■主任養護教諭・養護教諭 ■主任栄養教諭・栄養教諭 ■無回答

【前回調査との比較】

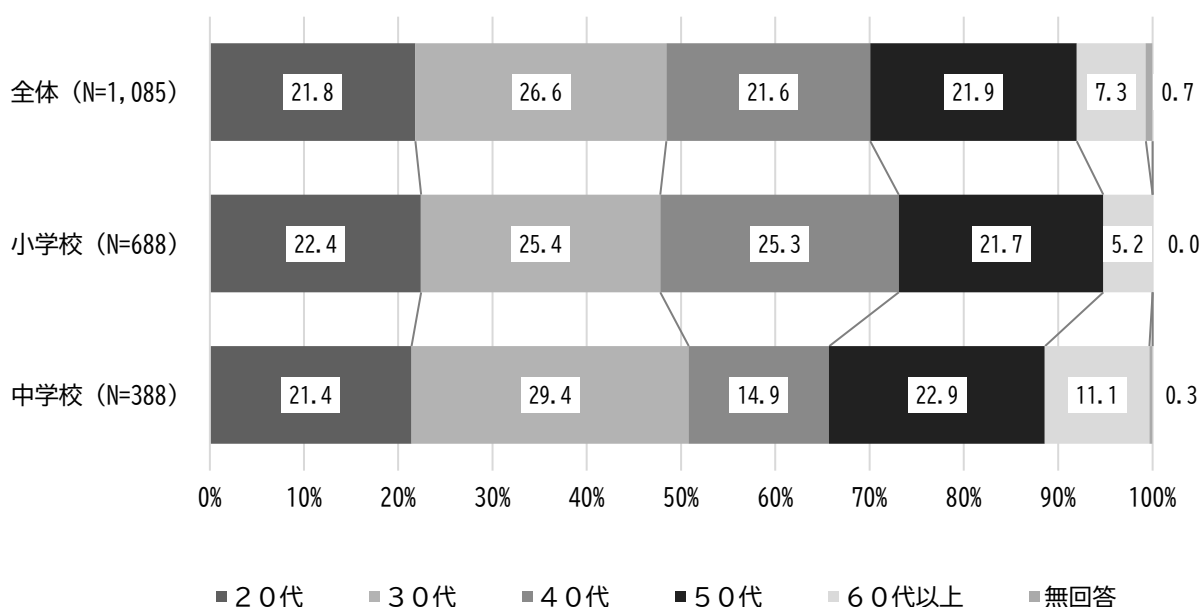
- 「管理職」（「校長」と「副校長」）と「管理職以外」（「主幹教諭」、「指導教諭」、「主任教諭」、「教諭」、「主任養護教諭・養護教諭」、「主任栄養教諭・栄養教諭」）に区分して、「管理職以外」の割合をみると、本調査と平成29年度調査では、全体、小学校、中学校ともにほぼ横ばいです。

■「管理職以外」の割合（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	89.7	90.7
小学校	89.7	90.8
中学校	90.8	90.7

問3 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ) ※令和4年10月1日現在

- 年齢は、全体では、「30代」が26.6%と最も多く、ついで「50代」が21.9%、「20代」が21.8%で続きます。
- 小学校では、「30代」が25.4%と最も多く、ついで「40代」が25.3%、「20代」が22.4%で続きます。
- 中学校では、「30代」が29.4%と最も多く、ついで「50代」が22.9%、「20代」が21.4%で続きます。



【前回調査との比較】

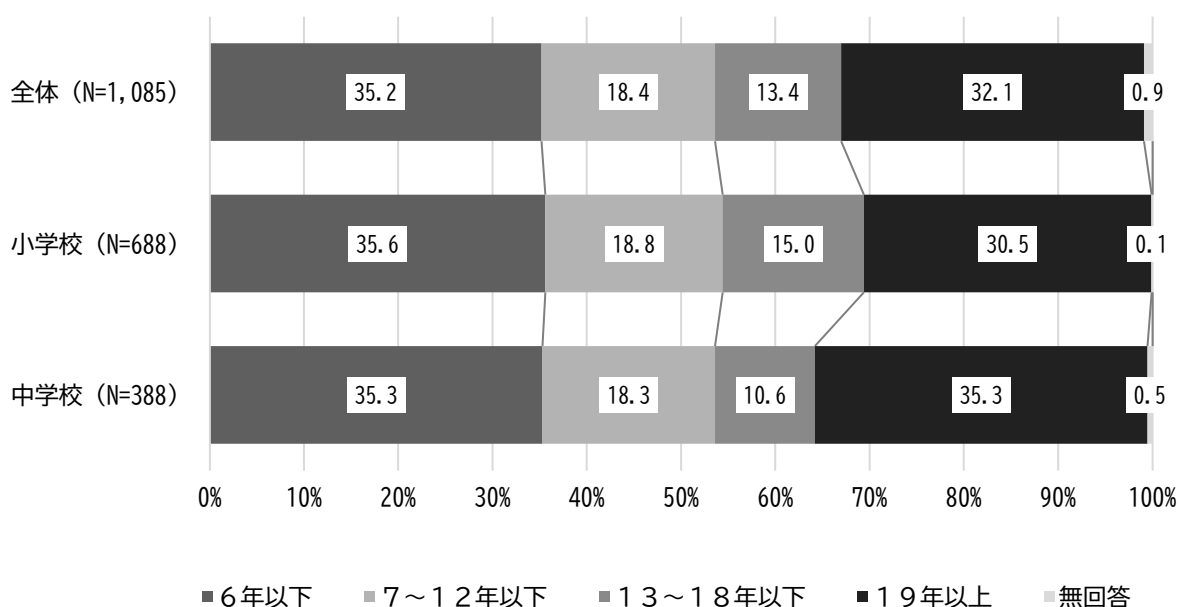
- 20代～30代（「20代」と「30代」の合計）の割合をみると、本調査は平成29年度調査と比べて、全体と小学校で少なくなり、中学校で多くなっています。

■20代～30代（「20代」と「30代」の合計）の割合（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	48.4	51.2
小学校	47.8	54.4
中学校	50.8	45.2

問4 あなたの教員経験年数は何年ですか。(○は1つ) ※令和4年10月1日現在

- 教員経験年数は、全体では、「6年以下」が35.2%と最も多く、ついで「19年以上」が32.1%、「7～12年以下」が18.4%で続きます。
- 小学校では、「6年以下」が35.6%と最も多く、ついで「19年以上」が30.5%、「7～12年以下」が18.8%で続きます。
- 中学校では、「6年以下」と「19年以上」が各35.3%と最も多く、ついで「7～12年以下」が18.3%で続きます。



【前回調査との比較】

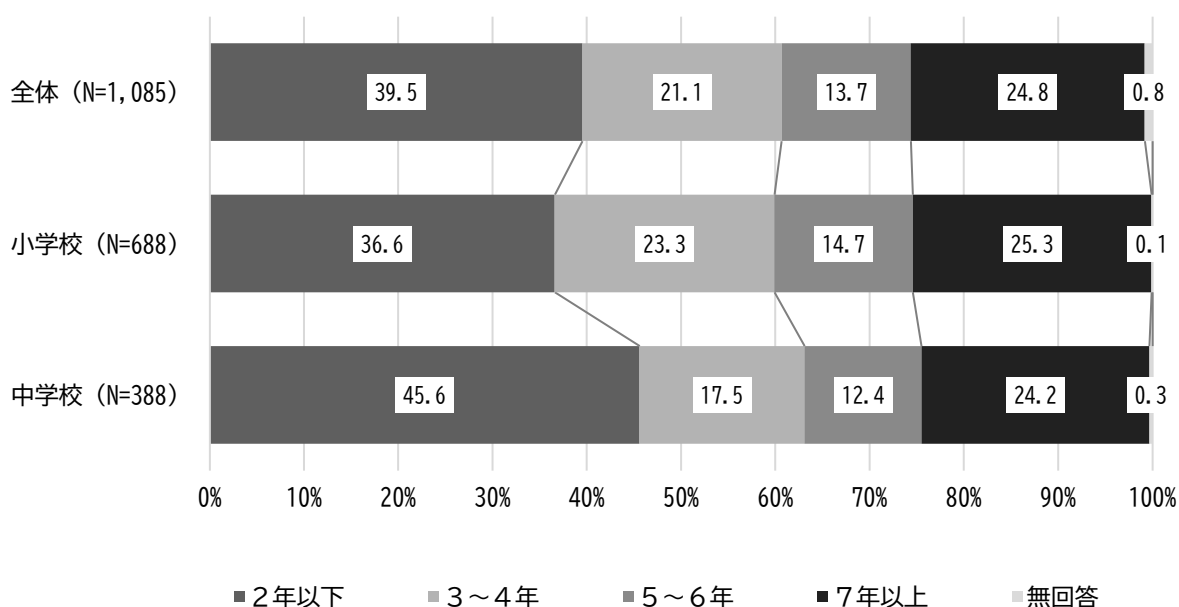
- 「6年以下」の割合をみると、平成29年度調査と比べて、全ての属性で本調査が多く、経験年数の浅い教員の割合が多くなっています。

■ 「6年以下」の割合 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	35.2	31.0
小学校	35.6	31.0
中学校	35.3	31.1

問5 区での在職年数を教えてください。(〇は1つ)

- 区での在職年数は、全体では、「2年以下」が39.5%と最も多く、ついで「7年以上」が24.8%、「3～4年」が21.1%で続きます。
- 小学校では、「2年以下」が36.6%と最も多く、ついで「7年以上」が25.3%、「3～4年」が23.3%で続きます。
- 中学校では、「2年以下」が45.6%と最も多く、ついで「7年以上」が24.2%、「3～4年」が17.5%で続きます。



【前回調査との比較】

- 在職年数4年以下（「2年以下」と「3～4年」の合計）の割合をみると、平成29年度調査と比べて、全ての属性で本調査が多く、区の在職年数の短い教員の割合が多くなっています。

■ 在職年数4年以下（「2年以下」と「3～4年」の合計）の割合（単位：%）

項目	令和4年	平成29年
全体	60.6	55.0
小学校	59.9	55.8
中学校	63.1	53.4

2 現在の取組の効果と方向性についてお聞きします。

問 6 区では、学校教育の充実を目指して様々な取組を進めています。以下の取組について、①効果の程度、②今後の方向性について、あなたの考えをお聞かせください。（○は①、②についてそれぞれ1つずつ）

学校教育の充実を目指す 65 の取組について、①効果の程度、②今後の方向性に対する考えは次のとおりです。

【全体】

〈学力向上〉 取組 1～3

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「1 総合的な学力向上事業」で 61.7%、「2 漢字等検定料助成」で 67.3%、「3 授業改善推進プランによる授業改善」で 55.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「1 総合的な学力向上事業」で 74.3%、「2 漢字等検定料助成」で 64.0%、「3 授業改善推進プランによる授業改善」で 58.1%となっています。

〈体力向上〉 取組 4～5

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「4 かつしかっ子体力アッププログラム等」で 46.9%、「5 体を使った遊びの奨励」で 53.0%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「4 かつしかっ子体力アッププログラム等」で 60.3%、「5 体を使った遊びの奨励」で 68.2%となっています。

〈主体性・協働性を育む教育〉 取組 6～8

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「6 ICTを活用した授業」で 87.9%、「7 葛飾スタンダード」で 69.0%、「8 葛飾教師の授業スタンダード」で 67.8%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「6 ICTを活用した授業」で 91.0%、「7 葛飾スタンダード」で 66.0%、「8 葛飾教師の授業スタンダード」で 64.4%となっています。

〈人権感覚・社会性や道徳性の育成〉 取組 9～11

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「9 道徳授業地区公開講座」で56.2%、「10 人権教育」で70.1%、「11 「かつしかっ子」宣言の定着」で54.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「9 道徳授業地区公開講座」で55.2%、「10 人権教育」で79.3%、「11 「かつしかっ子」宣言の定着」で58.1%となっています。

〈豊かな感性と創造性の育成〉 取組 12～14

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「12 宿泊行事」で86.3%、「13 文化的行事」で88.9%、「14 体育的行事」で87.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「12 宿泊行事」で71.5%、「13 文化的行事」で76.6%、「14 体育的行事」で73.0%となっています。

〈自信と誇りをもてる子どもの育成〉 取組 15～17

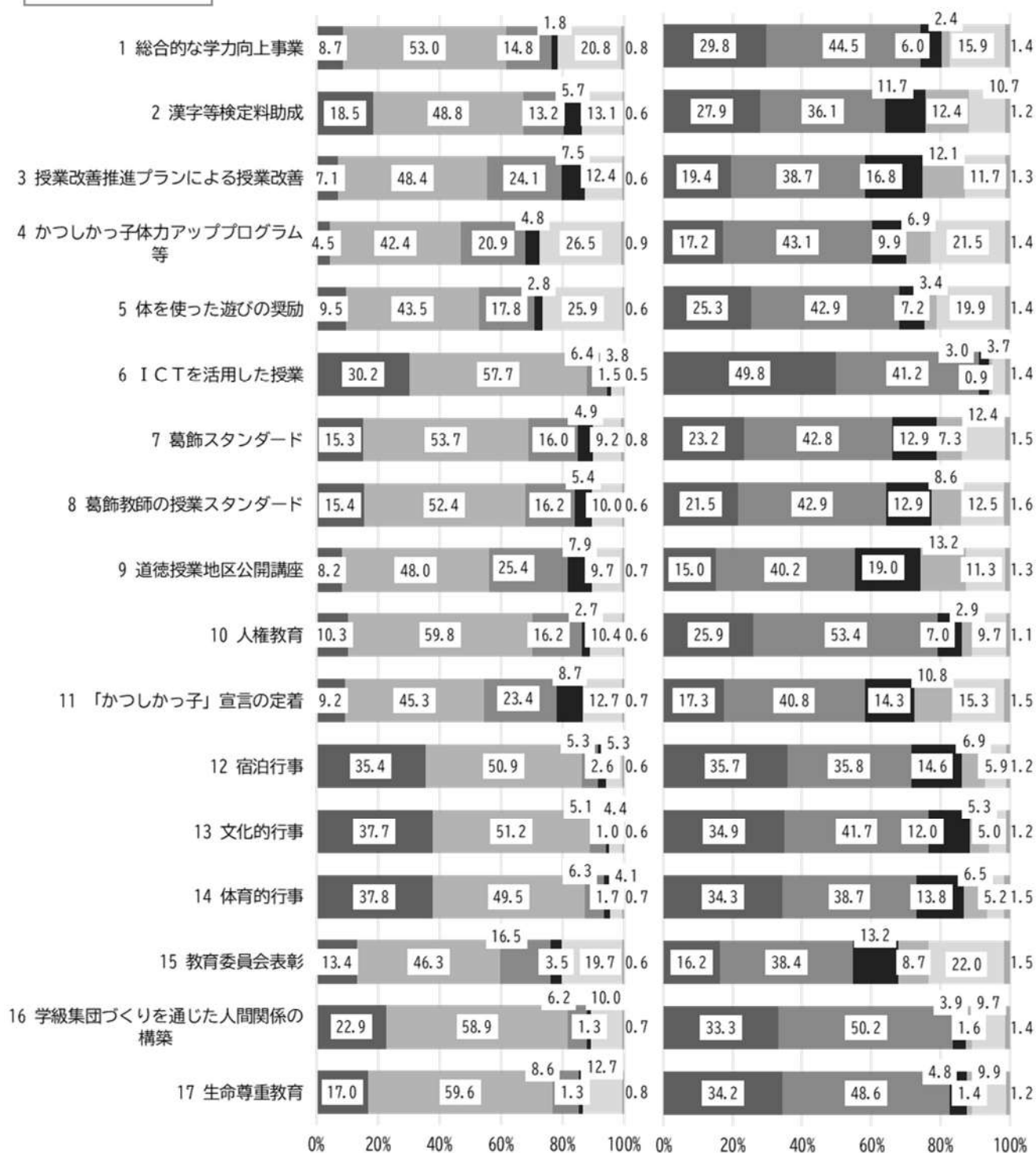
- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「15 教育委員会表彰」で59.7%、「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」で81.8%、「17 生命尊重教育」で76.6%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「15 教育委員会表彰」で54.6%、「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」で83.5%、「17 生命尊重教育」で82.8%となっています。

（グラフは次ページ）

全体 その1

①効果の程度 全体(N=1,085)

②今後の方向性



■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる
■どちらかといえば縮小させる ■縮小させる
■わからない ■無回答

〈連携・協働する学校づくり〉 取組 18～19

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「18 チーム学校」で71.4%、「19 OJTによる教員の育成」で73.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「18 チーム学校」で77.5%、「19 OJTによる教員の育成」で78.8%となっています。

〈互いに高め合う教員集団の育成〉 取組 20～24

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「20 校内研究、校内研修」で81.0%、「21 葛飾区立小・中学校教育研究会」で71.0%、「22 教育研究奨励事業」で56.0%、「23 葛飾教育の日」で31.3%、「24 学校評価」で65.9%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「20 校内研究、校内研修」で75.4%、「21 葛飾区立小・中学校教育研究会」で63.6%、「22 教育研究奨励事業」で55.1%、「23 葛飾教育の日」で27.8%、「24 学校評価」で65.5%となっています。

〈学校を支援する体制〉 取組 25～27

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「25 学校地域応援団活動支援」で69.5%、「26 課外活動指導員」で67.6%、「27 スクールロイヤー」で49.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「25 学校地域応援団活動支援」で72.2%、「26 課外活動指導員」で74.9%、「27 スクールロイヤー」で69.6%となっています。

〈健康教育〉 取組 28～31

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「28 食育リーダー研修会」で45.9%、「29 喫煙防止教室」で62.6%、「30 薬物乱用防止教室」で76.2%、「31 がん教育」で60.7%、となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「28 食育リーダー研修会」で55.8%、「29 喫煙防止教室」で69.5%、「30 薬物乱用防止教室」で78.4%、「31 がん教育」で69.5%となっています。

〈安全教育〉 取組 32～34

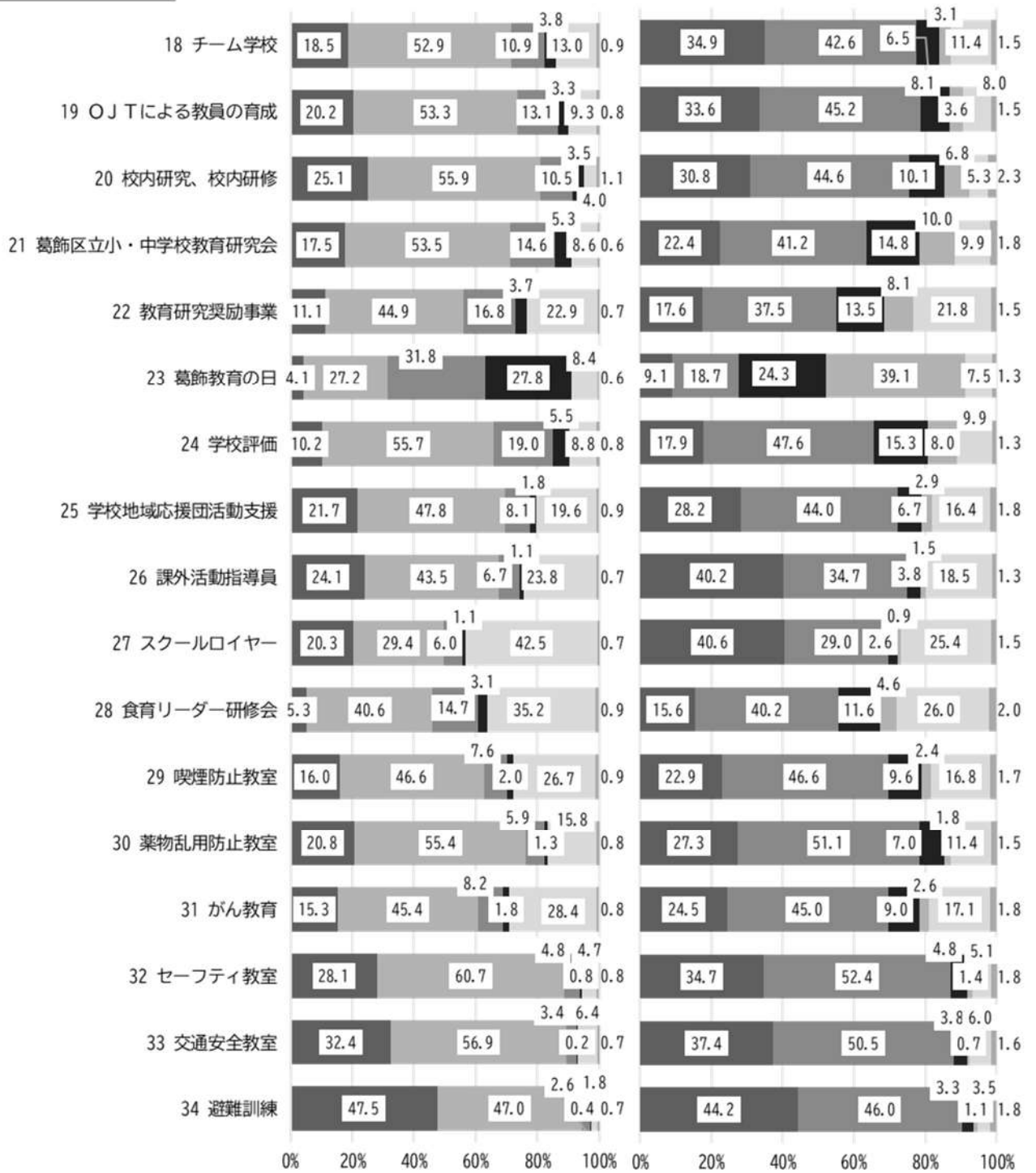
- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「32 セーフティ教室」で 88.8%、「33 交通安全教室」で 89.3%、「34 避難訓練」で 94.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「32 セーフティ教室」で 87.1%、「33 交通安全教室」で 87.9%、「34 避難訓練」で 90.2%となっています。

（グラフは次ページ）

全体 その2

①効果の程度 全体(N=1,085)

②今後の方向性



■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
 ■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる
 ■どちらかといえば縮小させる ■縮小させる
 ■わからない ■無回答

〈キャリア教育〉 取組 35～36

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「35 進路指導主任研修会」で40.6%、「36 中学生職場体験事業」で58.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「35 進路指導主任研修会」で49.1%、「36 中学生職場体験事業」で57.9%となっています。

〈教員の資質・能力の向上〉 取組 37～39

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「37 葛飾教師塾」で40.6%、「38 優秀な教員表彰」で41.0%、「39 キャリアステージに合わせた教員研修」で61.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「37 葛飾教師塾」で45.8%、「38 優秀な教員表彰」で41.6%、「39 キャリアステージに合わせた教員研修」で61.8%となっています。

〈連続する学びの場〉 取組 40～42

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「40 幼保小連携教育」で56.7%、「41 小中連携教育」で67.6%、「42 中高連携教育」で33.4%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「40 幼保小連携教育」で57.9%、「41 小中連携教育」で66.6%、「42 中高連携教育」で42.7%となっています。

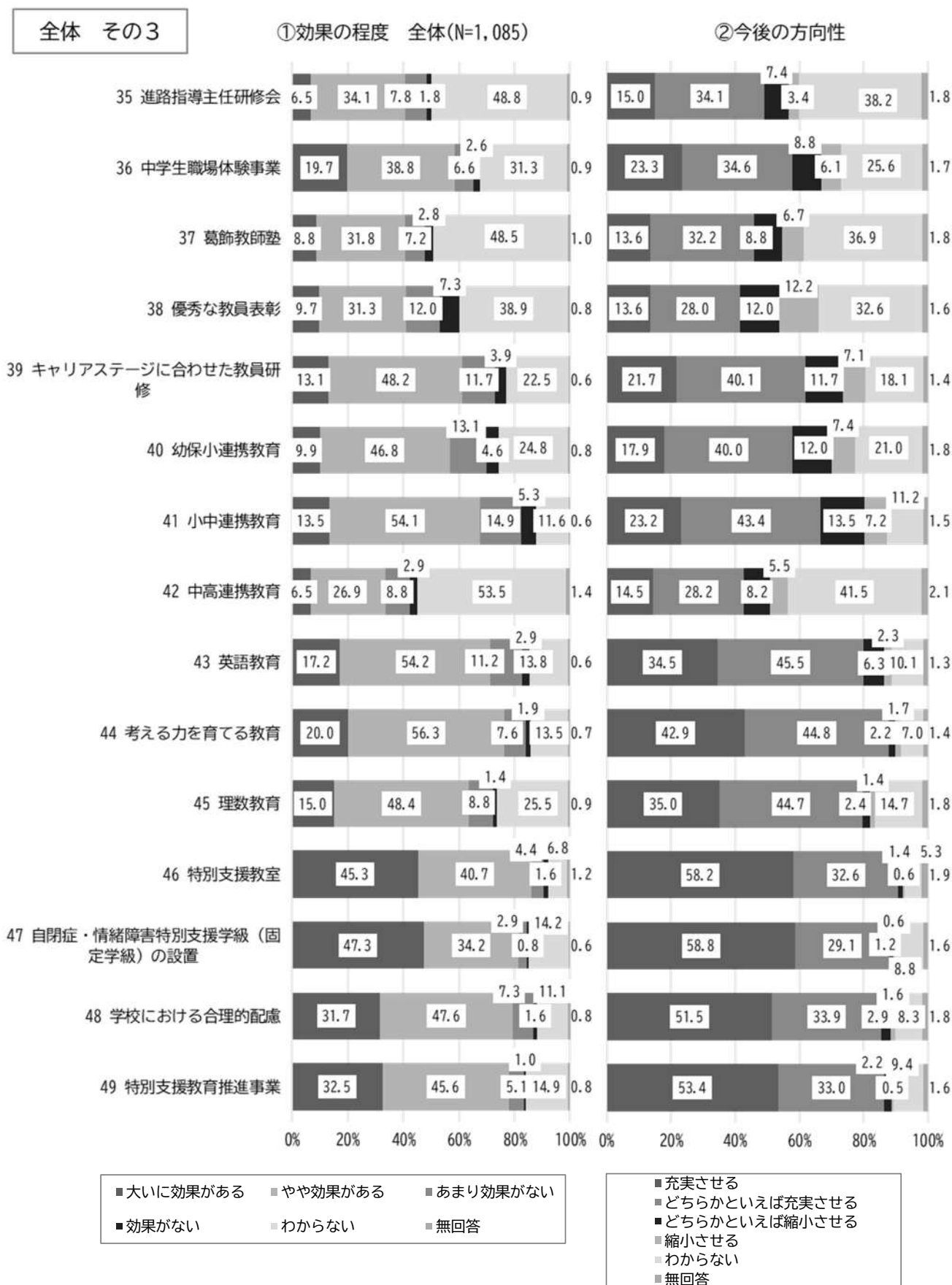
〈新しい時代に対応する教育〉 取組 43～45

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「43 英語教育」で71.4%、「44 考える力を育てる教育」で76.3%、「45 理数教育」で63.4%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「43 英語教育」で80.0%、「44 考える力を育てる教育」で87.7%、「45 理数教育」で79.7%となっています。

〈特別支援教育〉 取組 46～49

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「46 特別支援教室」で 86.0%、「47 自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の設置」で 81.5%、「48 学校における合理的配慮」で 79.3%、「49 特別支援教育推進事業」で 78.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「46 特別支援教室」で 90.8%、「47 自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の設置」で 87.9%、「48 学校における合理的配慮」で 85.4%、「49 特別支援教育推進事業」で 86.4%となっています。

（グラフは次ページ）



〈いじめや不登校対応〉 取組 50～54

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「50 いじめ防止対策プロジェクト」で77.6%、「51 不登校対策プロジェクト」で68.3%、「52 スクールカウンセラーの設置」で92.0%、「53 スクールソーシャルワーカー派遣事業」で78.5%、「54 自殺予防教育」で69.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「50 いじめ防止対策プロジェクト」で86.7%、「51 不登校対策プロジェクト」で85.3%、「52 スクールカウンセラーの設置」で94.0%、「53 スクールソーシャルワーカー派遣事業」で88.8%、「54 自殺予防教育」で84.2%となっています。

〈日本語指導〉 取組 55～57

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「55 にほんごステップアップ教室」で72.1%、「56 日本語学級」で68.4%、「57 日本語通訳派遣」で71.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「55 にほんごステップアップ教室」で81.1%、「56 日本語学級」で78.3%、「57 日本語通訳派遣」で80.8%となっています。

〈学校環境〉 取組 58

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「58 学校施設の改築」で78.4%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「58 学校施設の改築」で92.0%となっています。

〈ICT環境〉 取組 59～62

- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「59 かつしか教育情報化推進プラン」で74.9%、「60 ICT環境の整備」で90.6%、「61 ICT実技研修」で84.0%、「62 ICT支援員の活用」で95.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「59 かつしか教育情報化推進プラン」で81.5%、「60 ICT環境の整備」で93.9%、「61 ICT実技研修」で89.4%、「62 ICT支援員の活用」で96.0%となっています。

〈学びの機会〉 取組 63～65

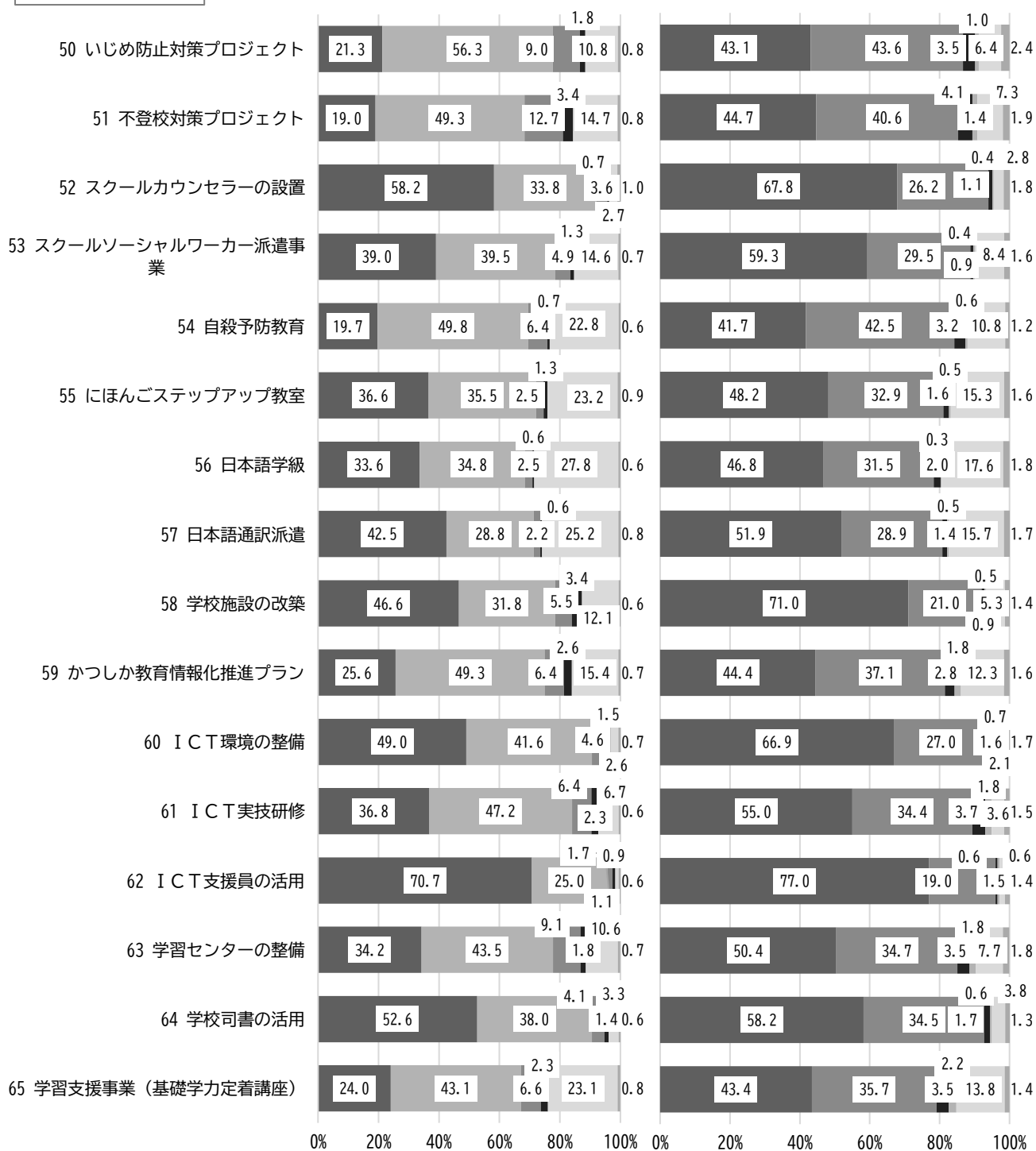
- グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「63 学習センターの整備」で 77.7%、「64 学校司書の活用」で 90.6%、「65 学習支援事業（基礎学力定着講座）」で 67.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、全体では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「63 学習センターの整備」で 85.1%、「64 学校司書の活用」で 92.7%、「65 学習支援事業（基礎学力定着講座）」で 79.1%となっています。

（グラフは次ページ）

全体 その4

①効果の程度 全体(N=1,085)

②今後の方向性



■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる ■どちらかといえば縮小させる
■縮小させる ■わからない ■無回答

【小学校】

〈学力向上〉 取組 1～3

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「1 総合的な学力向上事業」で 63.3%、「2 漢字等検定料助成」で 68.9%、「3 授業改善推進プランによる授業改善」で 56.2%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「1 総合的な学力向上事業」で 74.7%、「2 漢字等検定料助成」で 63.3%、「3 授業改善推進プランによる授業改善」で 57.6%となっています。

〈体力向上〉 取組 4～5

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「4 かつしかっ子体力アッププログラム等」で 51.6%、「5 体を使った遊びの奨励」で 62.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「4 かつしかっ子体力アッププログラム等」で 63.8%、「5 体を使った遊びの奨励」で 76.6%となっています。

〈主体性・協働性を育む教育〉 取組 6～8

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「6 ICTを活用した授業」で 89.3%、「7 葛飾スタンダード」で 72.6%、「8 葛飾教師の授業スタンダード」で 71.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「6 ICTを活用した授業」で 91.6%、「7 葛飾スタンダード」で 68.2%、「8 葛飾教師の授業スタンダード」で 66.5%となっています。

〈人権感覚・社会性や道徳性の育成〉 取組 9～11

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「9 道徳授業地区公開講座」で 58.8%、「10 人権教育」で 69.3%、「11 「かつしかっ子」宣言の定着」で 58.8%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「9 道徳授業地区公開講座」で 58.6%、「10 人権教育」で 79.9%、「11 「かつしかっ子」宣言の定着」で 62.2%となっています。

〈豊かな感性と創造性の育成〉 取組 12～14

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「12 宿泊行事」で 86.3%、「13 文化的行事」で 88.3%、「14 体育的行事」で 85.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「12 宿泊行事」で 71.1%、「13 文化的行事」で 75.0%、「14 体育的行事」で 70.5%となっています。

〈自信と誇りをもてる子どもの育成〉 取組 15～17

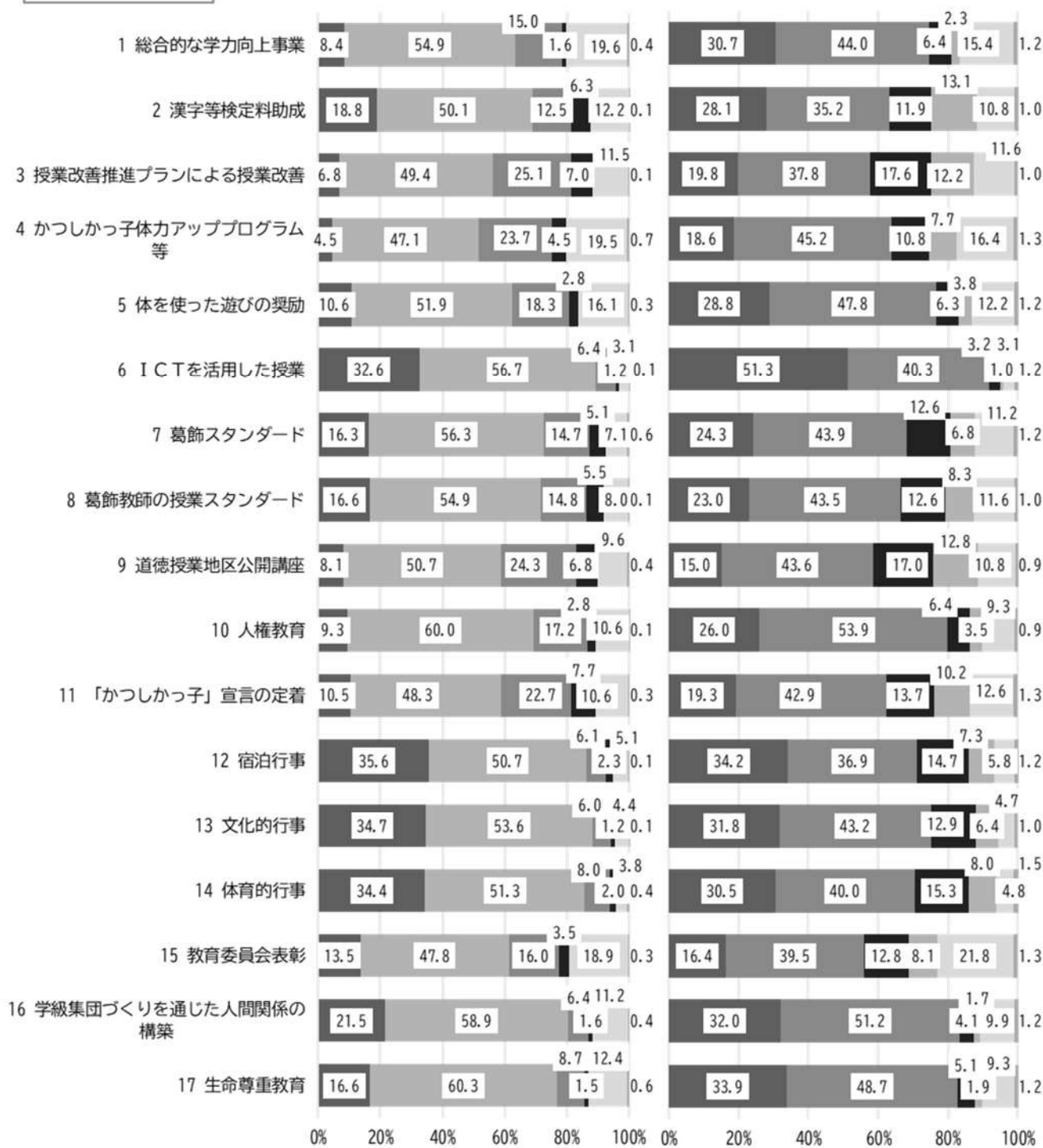
- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「15 教育委員会表彰」で 61.3%、「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」で 80.4%、「17 生命尊重教育」で 76.9%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「15 教育委員会表彰」で 55.9%、「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」で 83.2%、「17 生命尊重教育」で 82.6%となっています。

（グラフは次ページ）

小学校 その1

①効果の程度 全体(N=688)

②今後の方向性



■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる
■どちらかといえば縮小させる ■縮小させる
■わからない ■無回答

〈連携・協働する学校づくり〉 取組 18～19

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「18 チーム学校」で73.1%、「19 OJTによる教員の育成」で77.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「18 チーム学校」で77.4%、「19 OJTによる教員の育成」で78.8%となっています。

〈互いに高め合う教員集団の育成〉 取組 20～24

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「20 校内研究、校内研修」で85.6%、「21 葛飾区立小・中学校教育研究会」で76.8%、「22 教育研究奨励事業」で60.5%、「23 葛飾教育の日」で30.4%、「24 学校評価」で67.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「20 校内研究、校内研修」で76.6%、「21 葛飾区立小・中学校教育研究会」で66.1%、「22 教育研究奨励事業」で55.5%、「23 葛飾教育の日」で25.4%、「24 学校評価」で67.6%となっています。

〈学校を支援する体制〉 取組 25～27

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「25 学校地域応援団活動支援」で74.1%、「26 課外活動指導員」で64.7%、「27 スクールロイヤー」で48.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「25 学校地域応援団活動支援」で74.6%、「26 課外活動指導員」で70.9%、「27 スクールロイヤー」で67.7%となっています。

〈健康教育〉 取組 28～31

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「28 食育リーダー研修会」で46.5%、「29 喫煙防止教室」で63.8%、「30 薬物乱用防止教室」で74.1%、「31 がん教育」で59.0%、となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「28 食育リーダー研修会」で55.3%、「29 喫煙防止教室」で70.4%、「30 薬物乱用防止教室」で76.9%、「31 がん教育」で69.5%となっています。

〈安全教育〉 取組 32～34

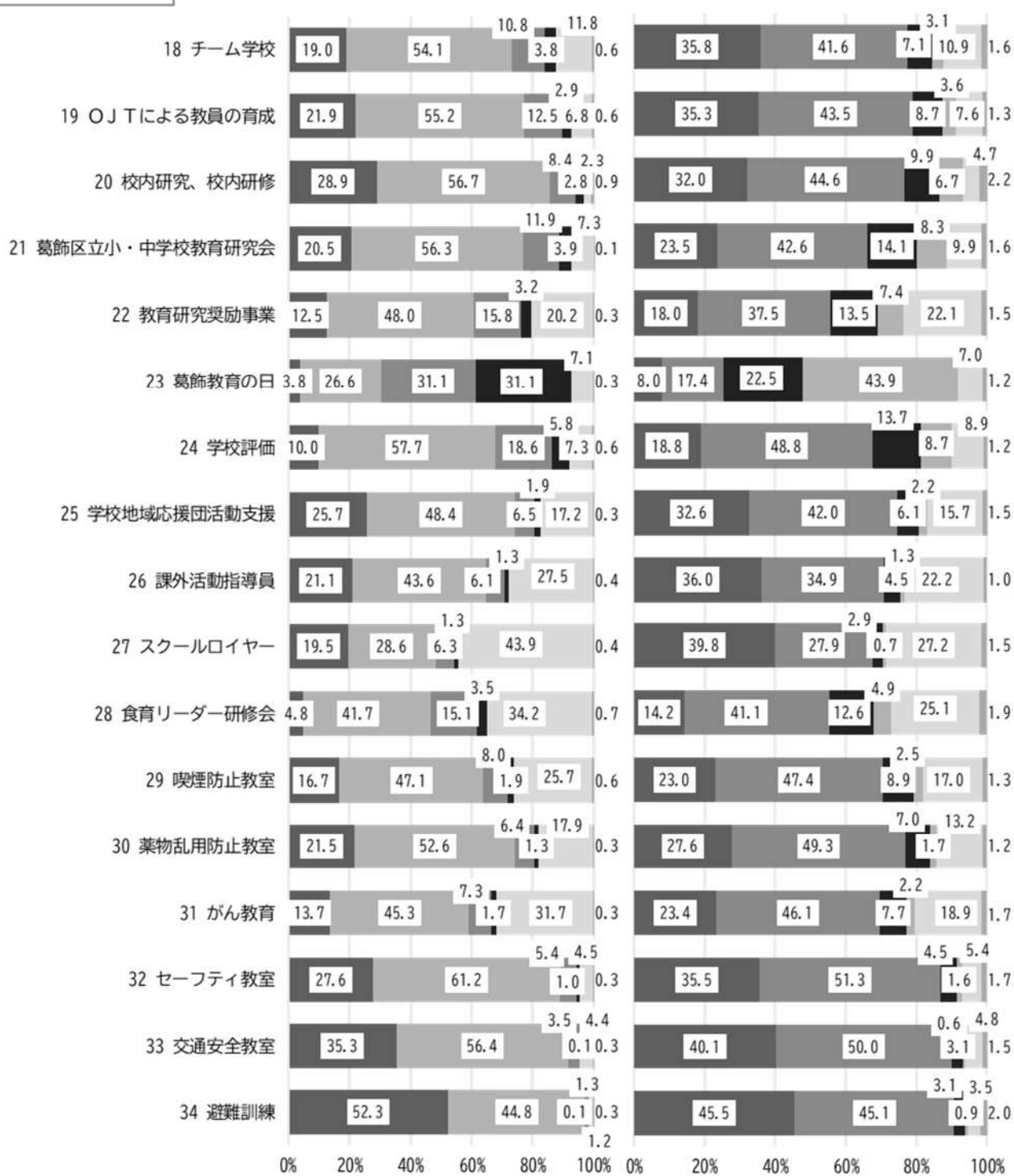
- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「32 セーフティ教室」で 88.8%、「33 交通安全教室」で 91.7%、「34 避難訓練」で 97.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「32 セーフティ教室」で 86.8%、「33 交通安全教室」で 90.1%、「34 避難訓練」で 90.6%となっています。

（グラフは次ページ）

小学校 その2

①効果の程度 全体(N=688)

②今後の方向性



■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる
■どちらかといえば縮小させる ■縮小させる
■わからない ■無回答

〈キャリア教育〉 取組 35～36

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「35 進路指導主任研修会」で 34.9%、「36 中学生職場体験事業」で 50.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「35 進路指導主任研修会」で 43.3%、「36 中学生職場体験事業」で 53.8%となっています。

〈教員の資質・能力の向上〉 取組 37～39

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「37 葛飾教師塾」で 41.4%、「38 優秀な教員表彰」で 41.9%、「39 キャリアステージに合わせた教員研修」で 62.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「37 葛飾教師塾」で 45.6%、「38 優秀な教員表彰」で 41.3%、「39 キャリアステージに合わせた教員研修」で 61.9%となっています。

〈連続する学びの場〉 取組 40～42

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「40 幼保小連携教育」で 67.6%、「41 小中連携教育」で 71.5%、「42 中高連携教育」で 27.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「40 幼保小連携教育」で 67.2%、「41 小中連携教育」で 67.8%、「42 中高連携教育」で 35.7%となっています。

〈新しい時代に対応する教育〉 取組 43～45

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「43 英語教育」で 77.4%、「44 考える力を育てる教育」で 78.7%、「45 理数教育」で 63.8%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「43 英語教育」で 83.0%、「44 考える力を育てる教育」で 89.1%、「45 理数教育」で 80.3%となっています。

〈特別支援教育〉 取組 46～49

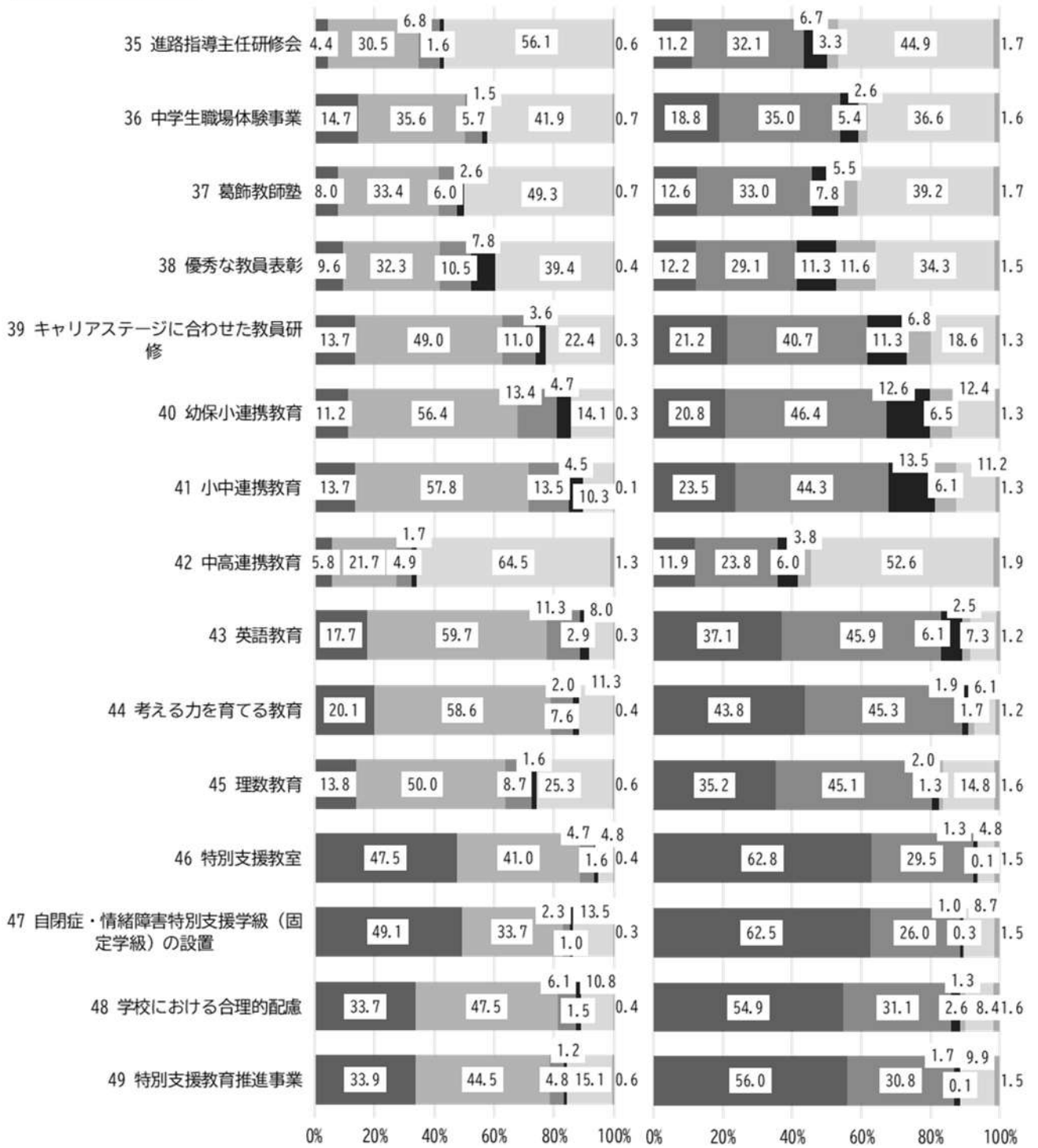
- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「46 特別支援教室」で 88.5%、「47 自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の設置」で 82.8%、「48 学校における合理的配慮」で 81.2%、「49 特別支援教育推進事業」で 78.4%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「46 特別支援教室」で 92.3%、「47 自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の設置」で 88.5%、「48 学校における合理的配慮」で 86.0%、「49 特別支援教育推進事業」で 86.8%となっています。

（グラフは次ページ）

小学校 その3

①効果の程度 全体(N=688)

②今後の方向性



■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
 ■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる
 ■どちらかといえば縮小させる ■縮小させる
 ■わからない ■無回答

〈いじめや不登校対応〉 取組 50～54

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「50 いじめ防止対策プロジェクト」で80.5%、「51 不登校対策プロジェクト」で69.6%、「52 スクールカウンセラーの設置」で92.0%、「53 スクールソーシャルワーカー派遣事業」で76.7%、「54 自殺予防教育」で69.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「50 いじめ防止対策プロジェクト」で86.8%、「51 不登校対策プロジェクト」で85.1%、「52 スクールカウンセラーの設置」で94.4%、「53 スクールソーシャルワーカー派遣事業」で88.0%、「54 自殺予防教育」で83.7%となっています。

〈日本語指導〉 取組 55～57

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「55 にほんごステップアップ教室」で69.4%、「56 日本語学級」で64.0%、「57 日本語通訳派遣」で70.9%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「55 にほんごステップアップ教室」で80.2%、「56 日本語学級」で77.3%、「57 日本語通訳派遣」で81.0%となっています。

〈学校環境〉 取組 58

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「58 学校施設の改築」で79.6%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「58 学校施設の改築」で91.0%となっています。

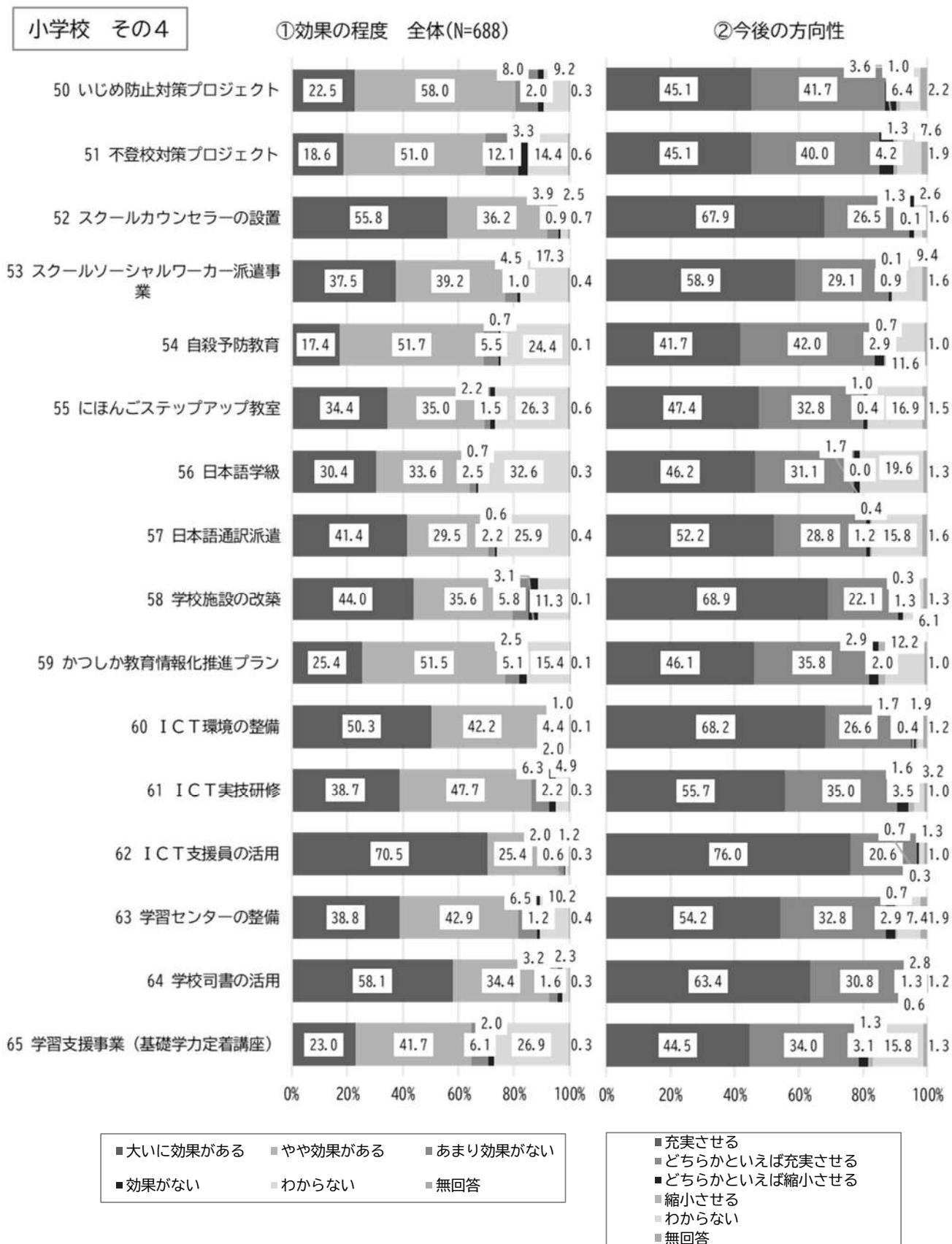
〈ICT環境〉 取組 59～62

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「59 かつしか教育情報化推進プラン」で76.9%、「60 ICT環境の整備」で92.5%、「61 ICT実技研修」で86.4%、「62 ICT支援員の活用」で95.9%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「59 かつしか教育情報化推進プラン」で81.9%、「60 ICT環境の整備」で94.8%、「61 ICT実技研修」で90.7%、「62 ICT支援員の活用」で96.6%となっています。

〈学びの機会〉 取組 63～65

- グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「63 学習センターの整備」で 81.7%、「64 学校司書の活用」で 92.5%、「65 学習支援事業（基礎学力定着講座）」で 64.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、小学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「63 学習センターの整備」で 87.0%、「64 学校司書の活用」で 94.2%、「65 学習支援事業（基礎学力定着講座）」で 78.5%となっています。

（グラフは次ページ）



【中学校】

〈学力向上〉 取組 1～3

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「1 総合的な学力向上事業」で 59.3%、「2 漢字等検定料助成」で 65.5%、「3 授業改善推進プランによる授業改善」で 54.4%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「1 総合的な学力向上事業」で 73.9%、「2 漢字等検定料助成」で 65.7%、「3 授業改善推進プランによる授業改善」で 59.3%となっています。

〈体力向上〉 取組 4～5

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「4 かつしかっ子体力アッププログラム等」で 38.4%、「5 体を使った遊びの奨励」で 36.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「4 かつしかっ子体力アッププログラム等」で 54.4%、「5 体を使った遊びの奨励」で 53.4%となっています。

〈主体性・協働性を育む教育〉 取組 6～8

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「6 ICTを活用した授業」で 86.4%、「7 葛飾スタンダード」で 63.1%、「8 葛飾教師の授業スタンダード」で 61.4%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「6 ICTを活用した授業」で 90.7%、「7 葛飾スタンダード」で 62.3%、「8 葛飾教師の授業スタンダード」で 61.1%となっています。

〈人権感覚・社会性や道徳性の育成〉 取組 9～11

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「9 道徳授業地区公開講座」で 51.5%、「10 人権教育」で 71.9%、「11 「かつしかっ子」宣言の定着」で 46.9%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「9 道徳授業地区公開講座」で 49.2%、「10 人権教育」で 78.6%、「11 「かつしかっ子」宣言の定着」で 51.0%となっています。

〈豊かな感性と創造性の育成〉 取組 12～14

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「12 宿泊行事」で 86.9%、「13 文化的行事」で 90.7%、「14 体育的行事」で 90.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「12 宿泊行事」で 72.7%、「13 文化的行事」で 80.1%、「14 体育的行事」で 78.1%となっています。

〈自信と誇りをもてる子どもの育成〉 取組 15～17

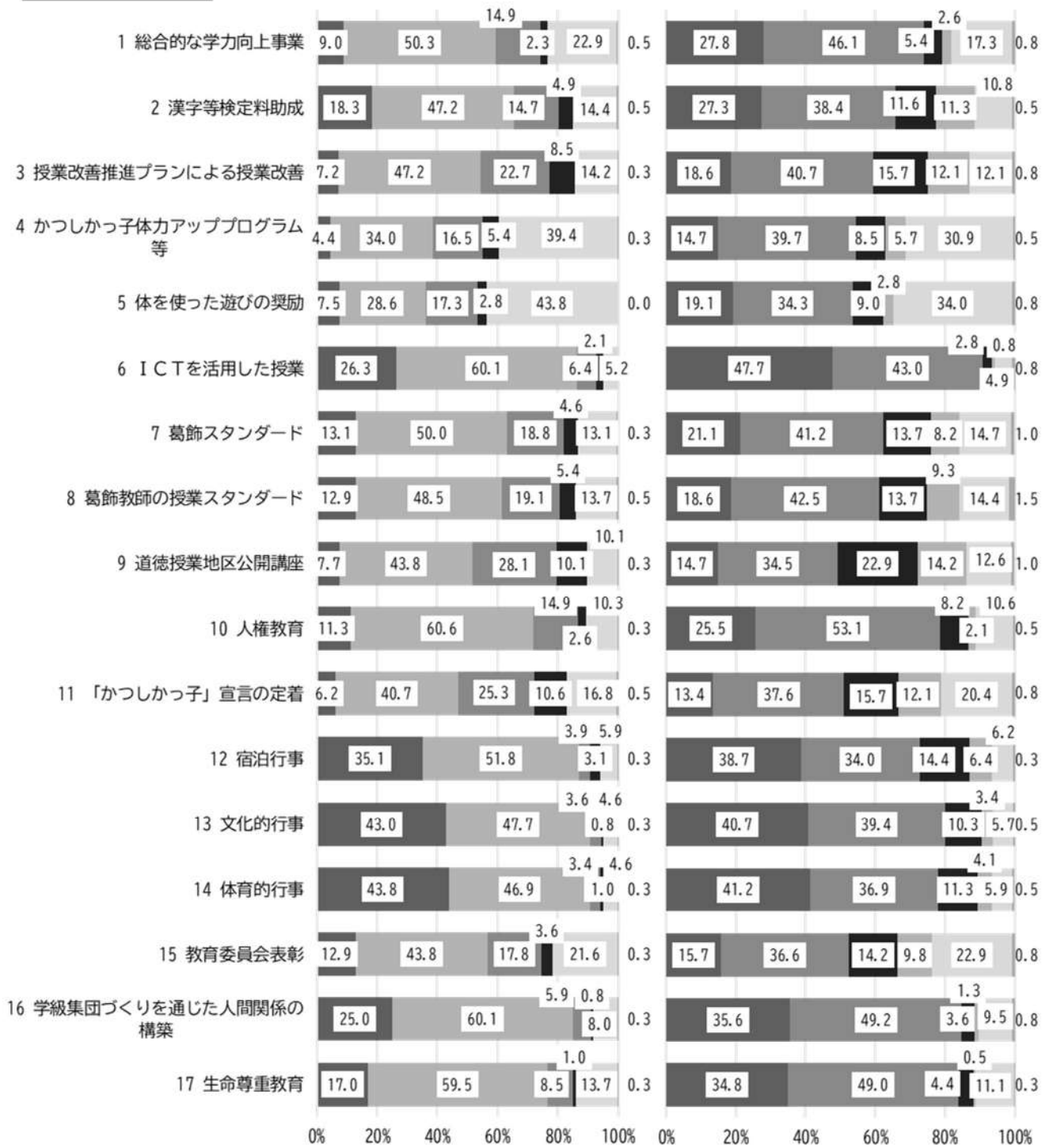
- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「15 教育委員会表彰」で 56.7%、「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」で 85.1%、「17 生命尊重教育」で 76.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「15 教育委員会表彰」で 52.3%、「16 学級集団づくりを通じた人間関係の構築」で 84.8%、「17 生命尊重教育」で 83.8%となっています。

（グラフは次ページ）

中学校 その1

①効果の程度 全体(N=388)

②今後の方向性



■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
 ■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる ■どちらかといえば縮小させる
 ■縮小させる ■わからない ■無回答

〈連携・協働する学校づくり〉 取組 18～19

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「18 チーム学校」で 68.8%、「19 OJTによる教員の育成」で 67.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「18 チーム学校」で 78.1%、「19 OJTによる教員の育成」で 79.2%となっています。

〈互いに高め合う教員集団の育成〉 取組 20～24

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「20 校内研究、校内研修」で 73.2%、「21 葛飾区立小・中学校教育研究会」で 61.1%、「22 教育研究奨励事業」で 47.9%、「23 葛飾教育の日」で 32.5%、「24 学校評価」で 62.6%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「20 校内研究、校内研修」で 73.4%、「21 葛飾区立小・中学校教育研究会」で 59.0%、「22 教育研究奨励事業」で 54.1%、「23 葛飾教育の日」で 31.2%、「24 学校評価」で 61.8%となっています。

〈学校を支援する体制〉 取組 25～27

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「25 学校地域応援団活動支援」で 61.3%、「26 課外活動指導員」で 72.9%、「27 スクールロイヤー」で 52.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「25 学校地域応援団活動支援」で 68.0%、「26 課外活動指導員」で 82.2%、「27 スクールロイヤー」で 72.9%となっています。

〈健康教育〉 取組 28～31

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「28 食育リーダー研修会」で 44.8%、「29 喫煙防止教室」で 61.0%、「30 薬物乱用防止教室」で 80.2%、「31 がん教育」で 63.6%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「28 食育リーダー研修会」で 56.2%、「29 喫煙防止教室」で 68.3%、「30 薬物乱用防止教室」で 81.1%、「31 がん教育」で 69.6%となっています。

〈安全教育〉 取組 32～34

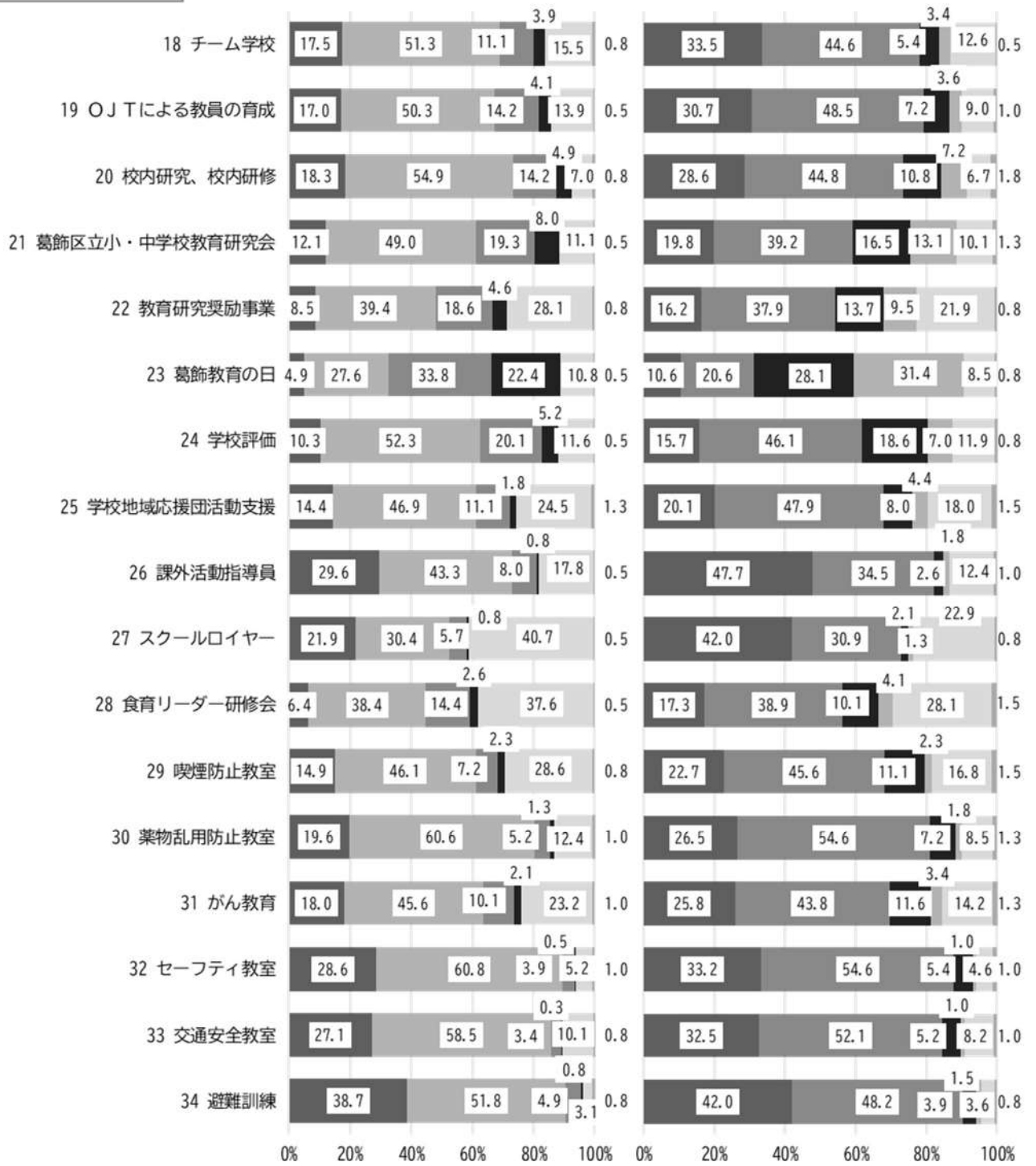
- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「32 セーフティ教室」で 89.4%、「33 交通安全教室」で 85.6%、「34 避難訓練」で 90.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「32 セーフティ教室」で 87.8%、「33 交通安全教室」で 84.6%、「34 避難訓練」で 90.2%となっています。

（グラフは次ページ）

中学校 その2

①効果の程度 全体(N=388)

②今後の方向性



■ 大いに効果がある ■ やや効果がある ■ あまり効果がない
 ■ 効果がない ■ わからない ■ 無回答

■ 充実させる ■ どちらかといえば充実させる
 ■ どちらかといえば縮小させる ■ 縮小させる
 ■ わからない ■ 無回答

〈キャリア教育〉 取組 35～36

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「35 進路指導主任研修会」で 50.3%、「36 中学生職場体験事業」で 72.9%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）の上位は、「35 進路指導主任研修会」で 59.0%、「36 中学生職場体験事業」で 64.9%となっています。

〈教員の資質・能力の向上〉 取組 37～39

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「37 葛飾教師塾」で 38.4%、「38 優秀な教員表彰」で 38.9%、「39 キャリアステージに合わせた教員研修」で 58.8%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「37 葛飾教師塾」で 45.6%、「38 優秀な教員表彰」で 41.7%、「39 キャリアステージに合わせた教員研修」で 61.3%となっています。

〈連続する学びの場〉 取組 40～42

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「40 幼保小連携教育」で 37.6%、「41 小中連携教育」で 61.1%、「42 中高連携教育」で 43.5%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「40 幼保小連携教育」で 41.5%、「41 小中連携教育」で 64.7%、「42 中高連携教育」で 54.7%となっています。

〈新しい時代に対応する教育〉 取組 43～45

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「43 英語教育」で 60.8%、「44 考える力を育てる教育」で 72.4%、「45 理数教育」で 62.6%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「43 英語教育」で 75.0%、「44 考える力を育てる教育」で 85.9%、「45 理数教育」で 79.1%となっています。

〈特別支援教育〉 取組 46～49

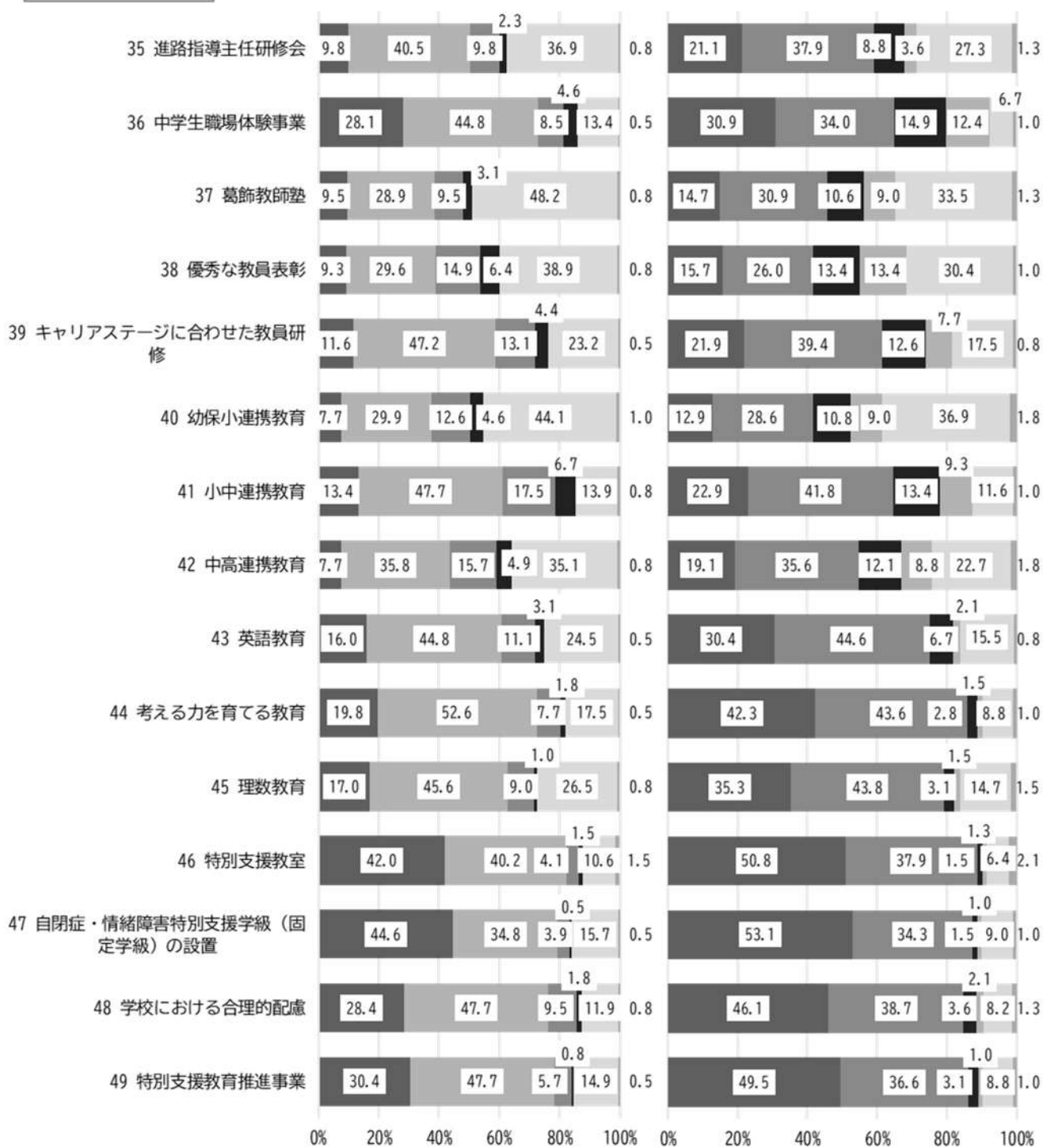
- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「46 特別支援教室」で 82.2%、「47 自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の設置」で 79.4%、「48 学校における合理的配慮」で 76.1%、「49 特別支援教育推進事業」で 78.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「46 特別支援教室」で 88.7%、「47 自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の設置」で 87.4%、「48 学校における合理的配慮」で 84.8%、「49 特別支援教育推進事業」で 86.1%となっています。

（グラフは次ページ）

中学校 その3

①効果の程度 全体(N=388)

②今後の方向性



■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
 ■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる
 ■どちらかといえば縮小させる ■縮小させる
 ■わからない ■無回答

〈いじめや不登校対応〉 取組 50～54

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「50 いじめ防止対策プロジェクト」で72.7%、「51 不登校対策プロジェクト」で66.2%、「52 スクールカウンセラーの設置」で92.5%、「53 スクールソーシャルワーカー派遣事業」で81.9%、「54 自殺予防教育」で70.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「50 いじめ防止対策プロジェクト」で87.1%、「51 不登校対策プロジェクト」で86.3%、「52 スクールカウンセラーの設置」で94.1%、「53 スクールソーシャルワーカー派遣事業」で90.8%、「54 自殺予防教育」で85.4%となっています。

〈日本語指導〉 取組 55～57

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「55 にほんごステップアップ教室」で77.0%、「56 日本語学級」で76.8%、「57 日本語通訳派遣」で72.2%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「55 にほんごステップアップ教室」で83.0%、「56 日本語学級」で80.4%、「57 日本語通訳派遣」で80.9%となっています。

〈学校環境〉 取組 58

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「58 学校施設の改築」で76.8%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「58 学校施設の改築」で94.3%となっています。

〈ICT環境〉 取組 59～62

- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「59 かつしか教育情報化推進プラン」で71.9%、「60 ICT環境の整備」で88.2%、「61 ICT実技研修」で80.4%、「62 ICT支援員の活用」で96.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「59 かつしか教育情報化推進プラン」で81.7%、「60 ICT環境の整備」で93.0%、「61 ICT実技研修」で87.9%、「62 ICT支援員の活用」で95.4%となっています。

〈学びの機会〉 取組 63～65

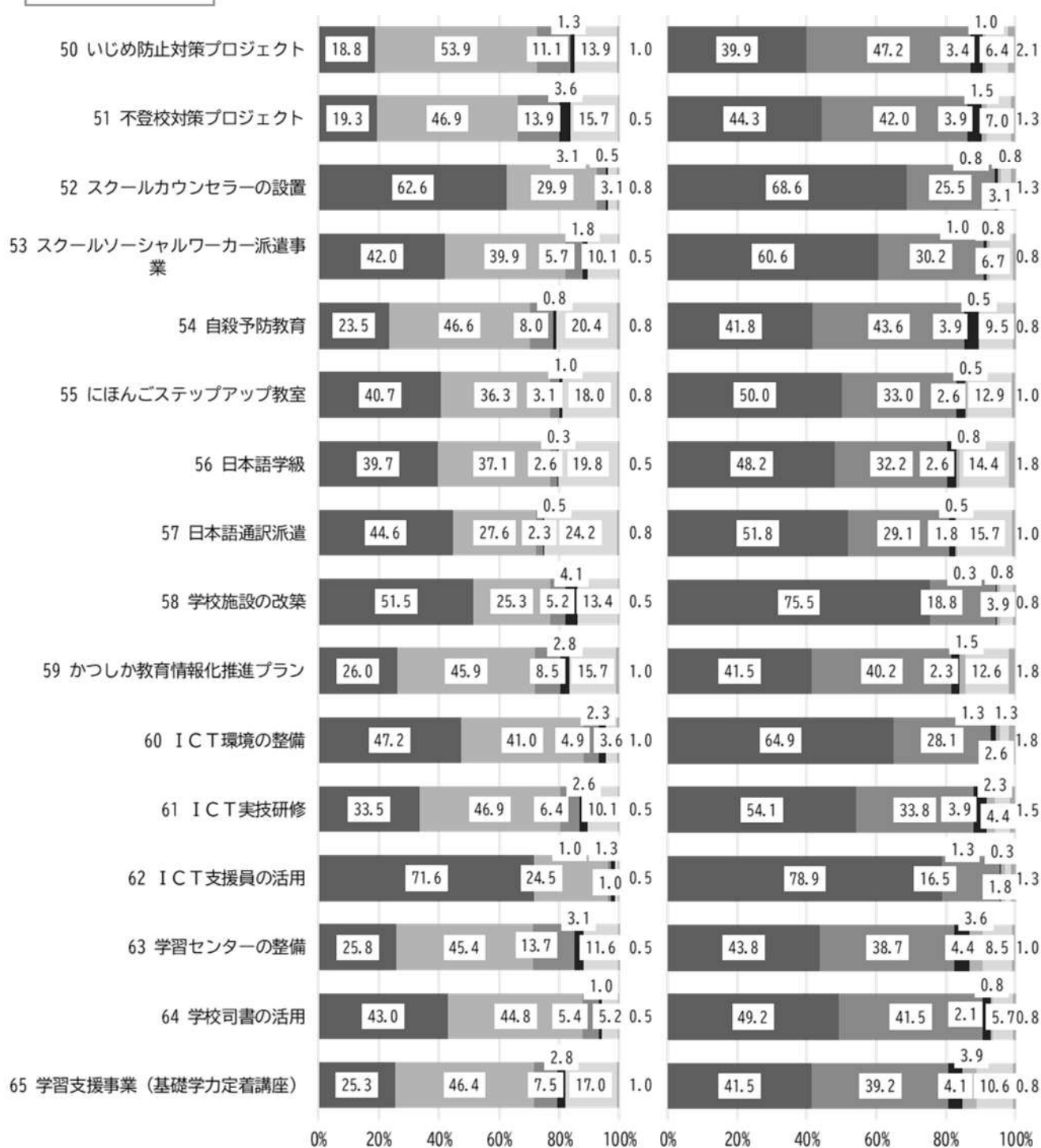
- グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、効果があると思う割合（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「63 学習センターの整備」で 71.2%、「64 学校司書の活用」で 87.8%、「65 学習支援事業（基礎学力定着講座）」で 71.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、中学校では、必要性があると思う割合（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「63 学習センターの整備」で 82.5%、「64 学校司書の活用」で 90.7%、「65 学習支援事業（基礎学力定着講座）」で 80.7%となっています。

（グラフは次ページ）

中学校 その4

①効果の程度 全体(N=388)

②今後の方向性



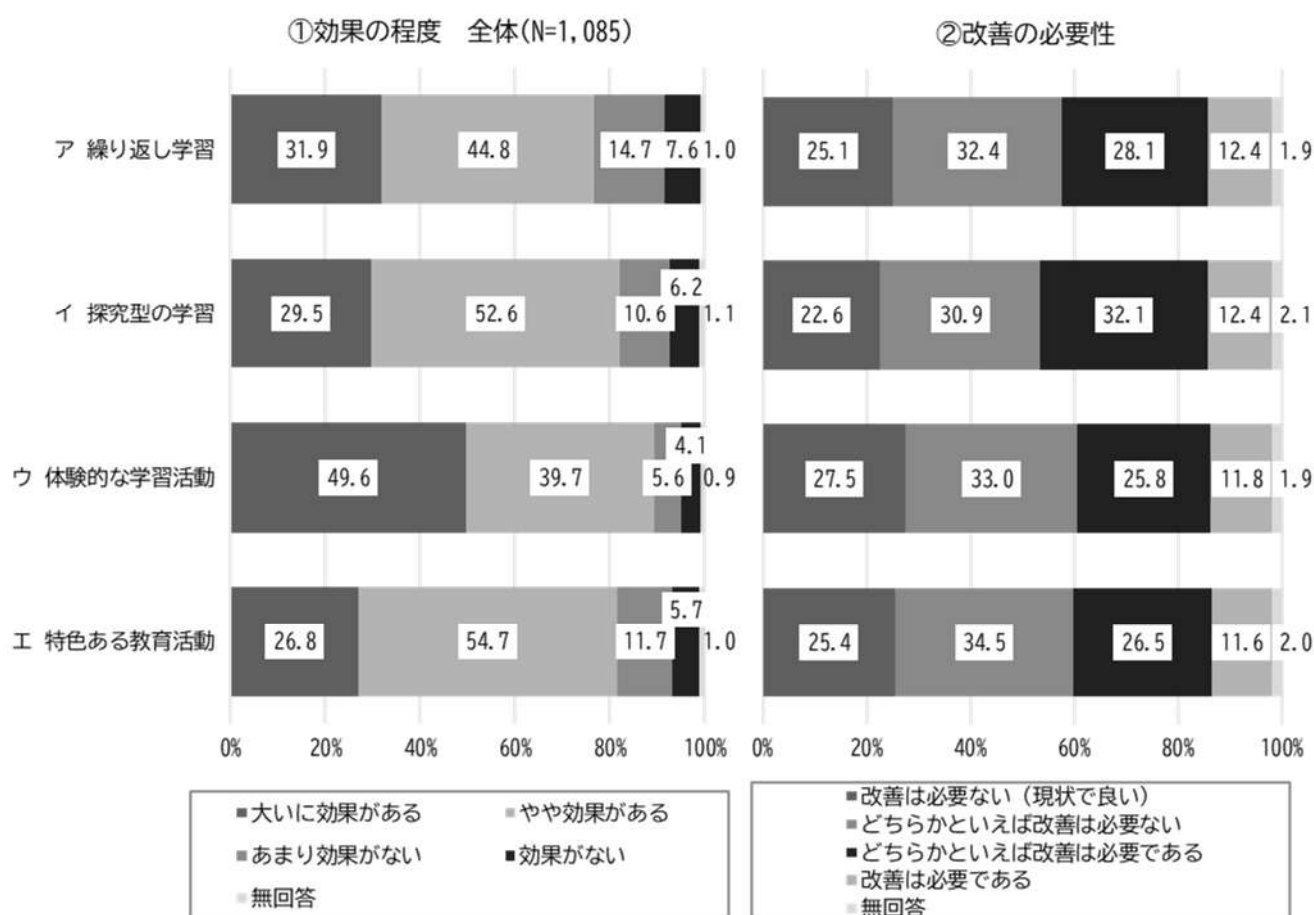
■大いに効果がある ■やや効果がある ■あまり効果がない
■効果がない ■わからない ■無回答

■充実させる ■どちらかといえば充実させる
■どちらかといえば縮小させる ■縮小させる
■わからない ■無回答

問7 区では、「葛飾教育の日」の取組により、授業時数を確保し、年間のカリキュラムや行事の日程を組みやすい環境づくりに努めています。以下の取組について、①効果の程度、②改善の必要性について、あなたの考えをお聞かせください。（〇は①、②についてそれぞれ1つずつ）

【全体】

- 「葛飾教育の日」の取組について、グラフの左側の①効果の程度をみると、全体では、全ての取組で、効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は7割～8割台であり、効果がないと思う教員（「あまり効果がない」と「効果がない」の合計）より多くなっています。特に、「ウ 体験的な学習活動」（89.3%）は、効果があると思う教員が多くなっています。
- ②改善の必要性について、グラフの右側をみると、全体では、全ての取組で、改善の必要性がないと思う教員（「改善は必要ない（現状で良い）」と「どちらかといえば改善は必要ない」の合計）が5割以上であり、改善の必要性があると思う教員（「どちらかといえば改善は必要である」と「改善は必要である」の合計）より多くなっています。
- 改善の必要性があると思う教員（「どちらかといえば改善は必要である」と「改善は必要である」の合計）が最も多い項目は「イ 探究型の学習」（44.5%）です。



【前回調査との比較】

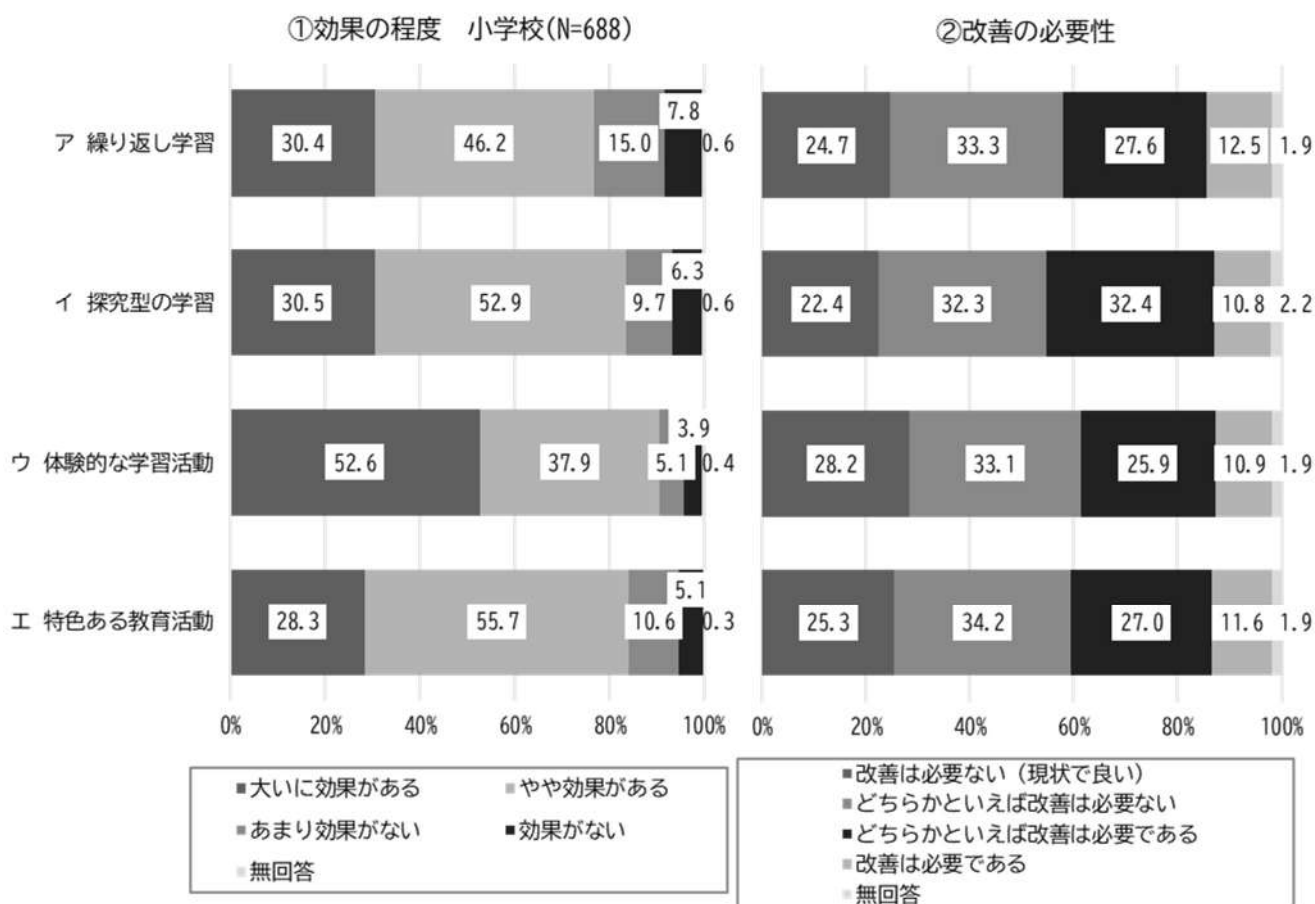
- 「葛飾教育の日」の取組に効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、全ての項目で多くなっています。
- 特に、「イ 探究型の学習」は、平成29年度の59.2%に対して今回は82.1%と、最も大きな差がみられました。

■効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）の割合（単位 %）

項目	令和4年	平成29年
ア 繰り返し学習	76.7	61.6
イ 探究型の学習	82.1	59.2
ウ 体験的な学習活動	89.3	78.2
エ 特色ある教育活動	81.5	68.9

【小学校】

- 「葛飾教育の日」の取組について、グラフの左側の①効果の程度をみると、小学校では、全ての取組で、効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は7割～9割台であり、効果がないと思う教員（「あまり効果がない」と「効果がない」の合計）より多くなっています。特に、「ウ 体験的な学習活動」（90.5%）は、効果があると思う教員が多くなっています。
- ②改善の必要性について、グラフの右側をみると、全体では、全ての取組で、改善の必要性がないと思う教員（「改善は必要ない（現状で良い）」と「どちらかといえば改善は必要ない」の合計）が5割以上であり、改善の必要性があると思う教員（「どちらかといえば改善は必要である」と「改善は必要である」の合計）より多くなっています。
- 改善の必要性があると思う教員（「どちらかといえば改善は必要である」と「改善は必要である」の合計）が最も多い項目は「イ 探究型の学習」（43.2%）です。



【前回調査との比較】

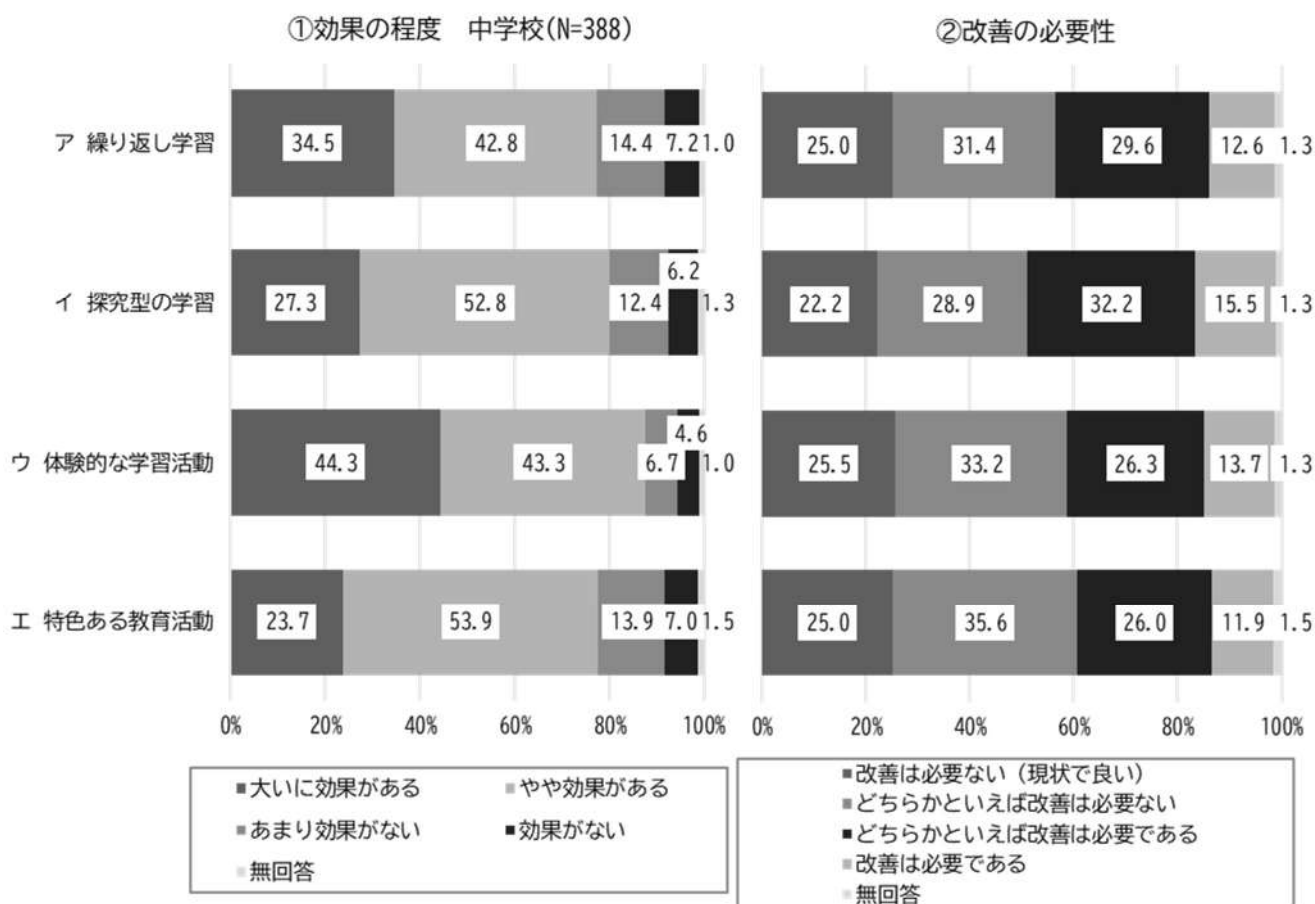
- 「葛飾教育の日」の取組に効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、全ての項目で多くなっています。
- 特に、「イ 探究型の学習」は、平成29年度の61.8%に対して今回は83.4%と、最も大きな差がみられました。

■効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）の割合（単位 %）

項目	令和4年	平成29年
ア 繰り返し学習	76.6	61.7
イ 探究型の学習	83.4	61.8
ウ 体験的な学習活動	90.5	82.8
エ 特色ある教育活動	84.0	72.6

【中学校】

- 「葛飾教育の日」の取組について、グラフの左側の①効果の程度をみると、中学校では、全ての取組で、効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は7割～8割台であり、効果がないと思う教員（「あまり効果がない」と「効果がない」の合計）より多くなっています。特に、「ウ 体験的な学習活動」（87.6%）は、効果があると思う教員が多くなっています。
- ②改善の必要性について、グラフの右側をみると、全体では、全ての取組で、改善の必要性がないと思う教員（「改善は必要ない（現状で良い）」と「どちらかといえば改善は必要ない」の合計）が5割以上であり、改善の必要性があると思う教員（「どちらかといえば改善は必要である」と「改善は必要である」の合計）より多くなっています。
- 改善の必要性があると思う教員（「どちらかといえば改善は必要である」と「改善は必要である」の合計）が最も多い項目は「イ 探究型の学習」（47.7%）です。



【前回調査との比較】

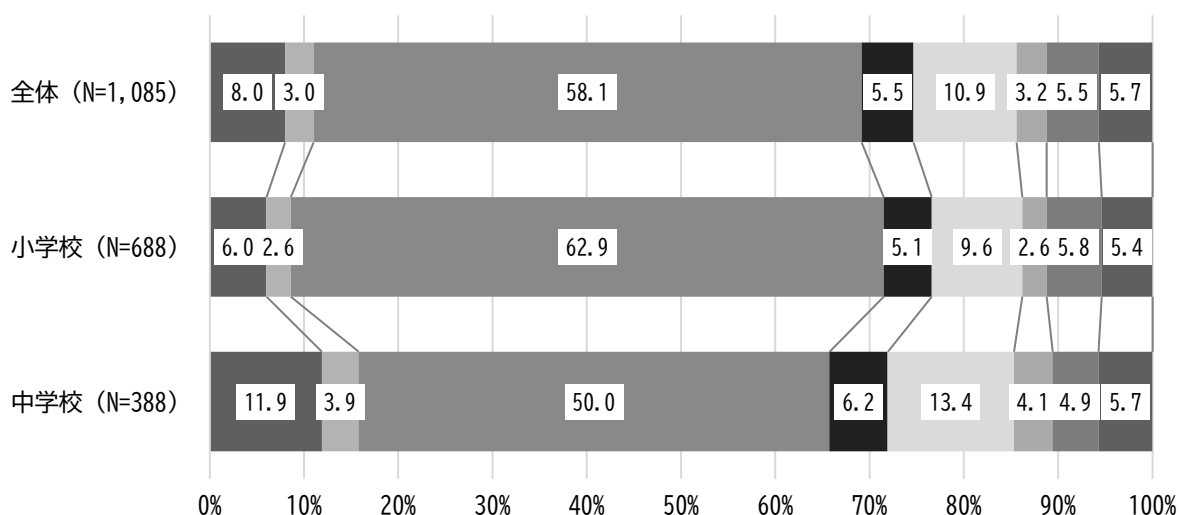
- 「葛飾教育の日」の取組に効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）の割合をみると、本調査と平成29年度調査を比べて、全ての項目で多くなっています。
- 特に、「イ 探究型の学習」は、平成29年度の54.1%に対して今回は80.1%と、最も大きな差がみられました。

■効果があると思う教員（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）の割合（単位 %）

項目	令和4年	平成29年
ア 繰り返し学習	77.3	61.6
イ 探究型の学習	80.1	54.1
ウ 体験的な学習活動	87.6	69.6
エ 特色ある教育活動	77.6	62.0

問8 授業の充実に向けて、あなたが特に困っていることはありますか。(〇は1つ)

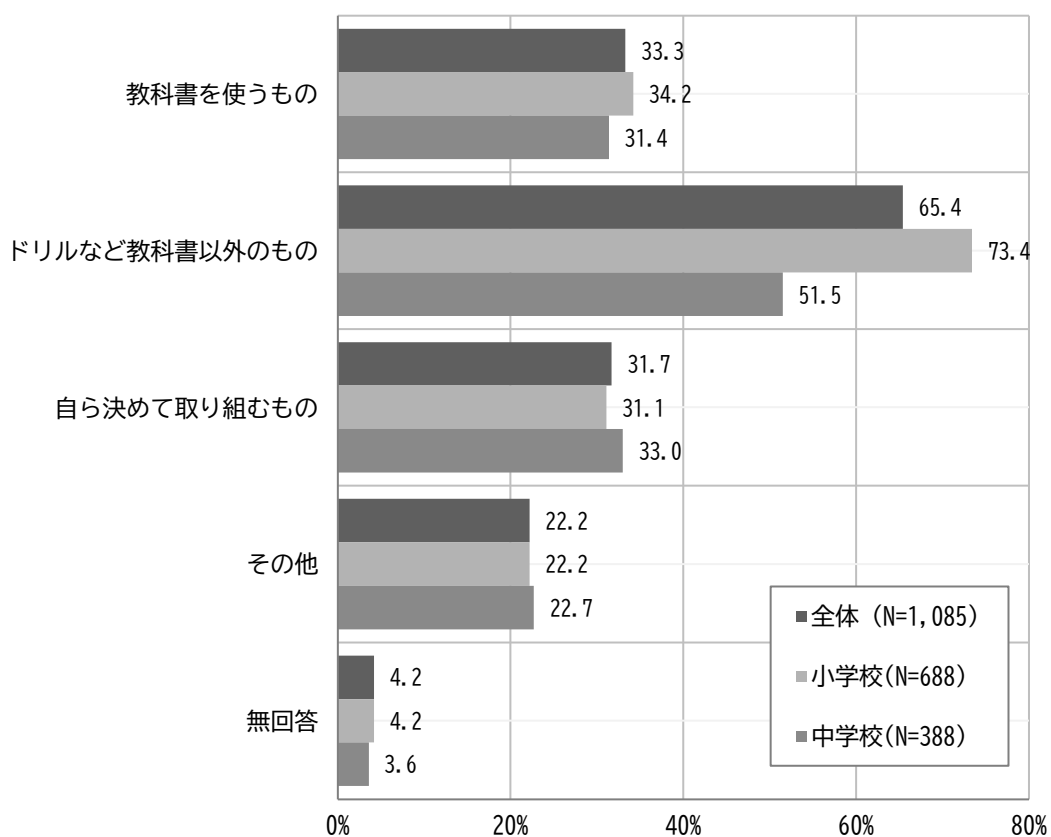
- 授業の充実に向けて特に困っていることは、全体では、「教材研究を行う時間的余裕がない」が58.1%と最も多く、ついで「主体的・対話的で深い学びに関する理解が不十分」が10.9%、「児童・生徒とともに充実した授業ができている(困っていることは特にない)」が8.0%で続きます。
- 小学校では、「教材研究を行う時間的余裕がない」が62.9%と最も多く、ついで「主体的・対話的で深い学びに関する理解が不十分」が9.6%、「児童・生徒とともに充実した授業ができている(困っていることは特にない)」が6.0%で続きます。
- 中学校では、「教材研究を行う時間的余裕がない」が50.0%と最も多く、ついで「主体的・対話的で深い学びに関する理解が不十分」が13.4%、「児童・生徒とともに充実した授業ができている(困っていることは特にない)」が11.9%で続きます。



- 児童・生徒とともに充実した授業ができている(困っていることは特にない)
- 何から取り組めばよいか分からず後回しになっている
- 教材研究を行う時間的余裕がない
- 教材開発のための予算がない
- 主体的・対話的で深い学びに関する理解が不十分
- 学習指導要領の趣旨に沿っているのか確信が持てない
- その他
- 無回答

**問9 あなたは、日頃、子どもたちの家庭学習を進めるためにどのような課題を出していますか。
(〇はいくつでも)**

- 子どもたちの家庭学習を進めるために日頃から出している課題は、全体では、「ドリルなど教科書以外のもの」が65.4%と最も多く、ついで「教科書を使うもの」が33.3%、「自ら決めて取り組むもの」が31.7%で続きます。
- 小学校では、「ドリルなど教科書以外のもの」が73.4%と最も多く、ついで「教科書を使うもの」が34.2%、「自ら決めて取り組むもの」が31.1%で続きます。
- 中学校では、「ドリルなど教科書以外のもの」が51.5%と最も多く、ついで「自ら決めて取り組むもの」が33.0%、「教科書を使うもの」が31.4%で続きます。

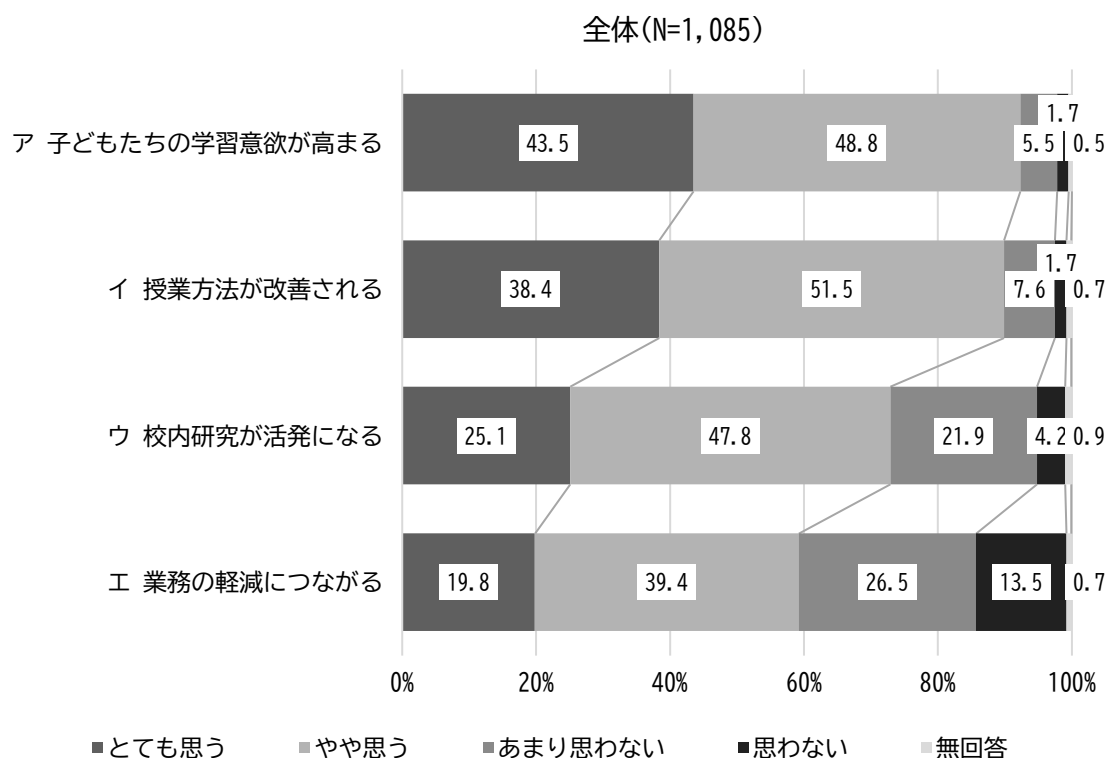


3 ICTの活用についてお聞きします。

問 10 区で進めているICT機器の導入効果について、あなたの考えをお聞かせください。(〇はそれぞれ1つずつ)

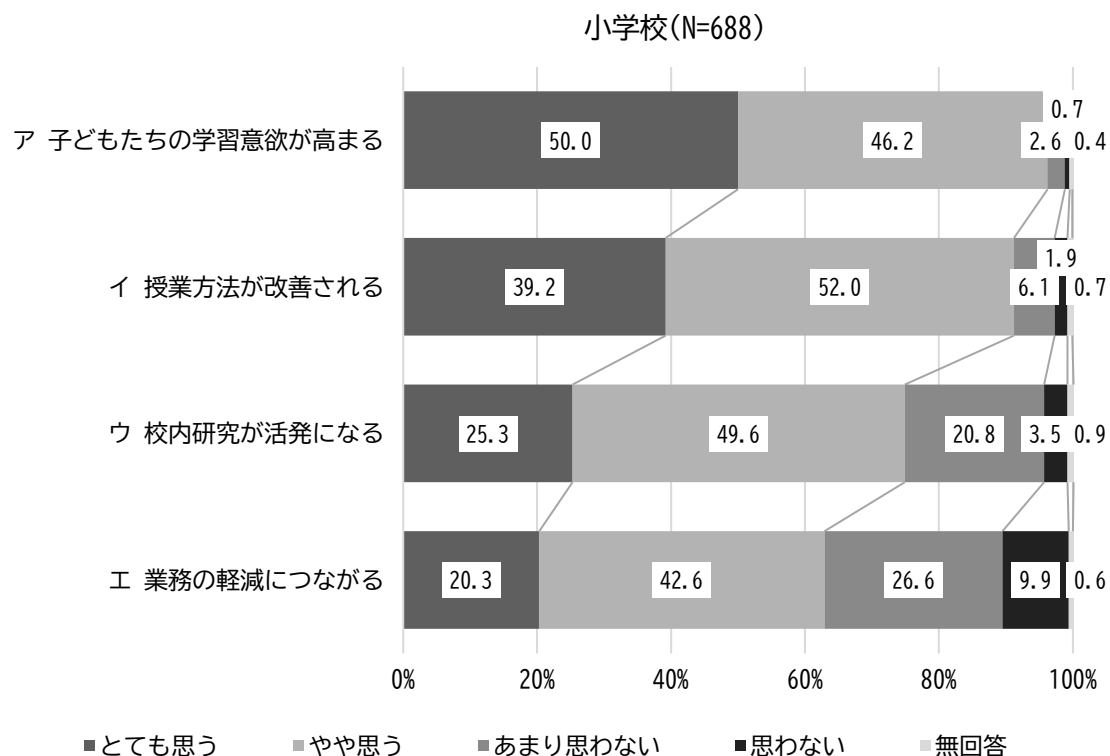
【全体】

- 学校教育へのICT機器の導入効果について、全体では、全ての項目で、肯定的に思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が5割台～9割台であり、肯定的に思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 特に、「ア 子どもたちの学習意欲が高まる」は肯定的に思う教員（92.3%）が多くなっています。
- 一方、「エ 業務の軽減につながる」は、ほかの効果に比べて、肯定的に思う教員（59.2%）が少なくなっています。



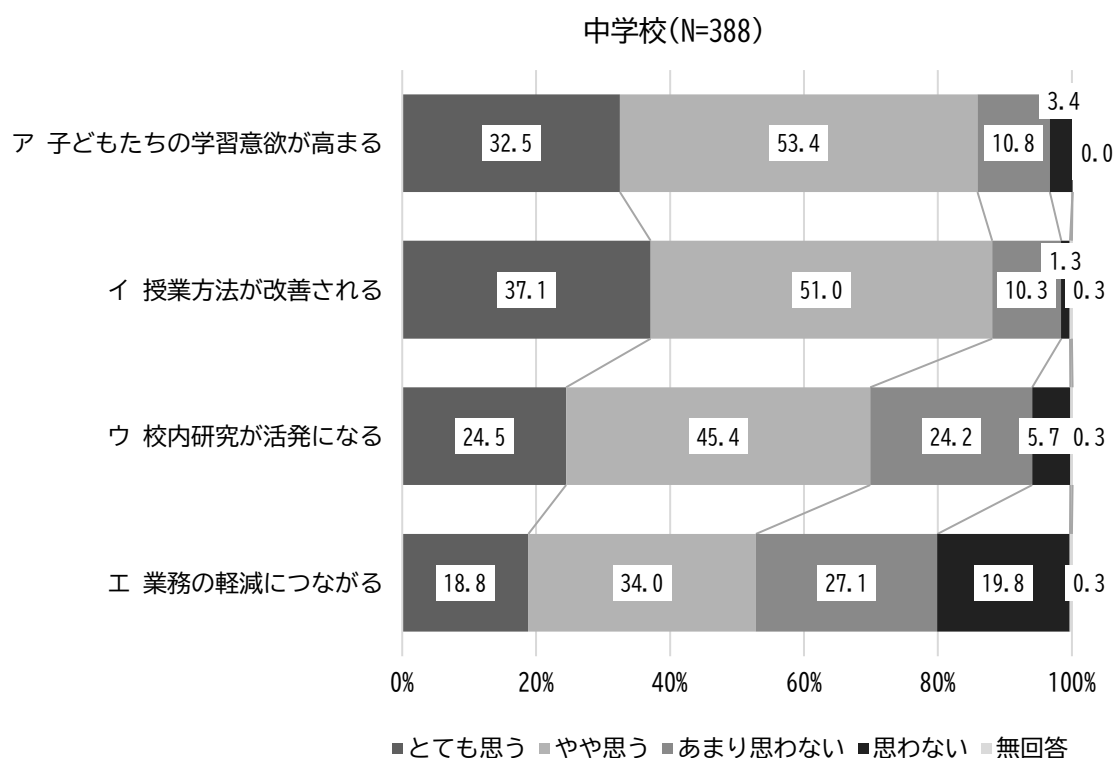
【小学校】

- 学校教育へのICT機器の導入効果について、小学校では、全ての項目で、肯定的に思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が6割台～9割台であり、肯定的に思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 特に、「ア 子どもたちの学習意欲が高まる」は肯定的に思う教員（96.2%）が多くなっています。
- 一方、「エ 業務の軽減につながる」は、ほかの効果に比べて、肯定的に思う教員（62.9%）が少なくなっています。



【中学校】

- 学校教育へのICT機器の導入効果について、中学校では、全ての項目で、肯定的に思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が5割台～8割台であり、肯定的に思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 特に、「イ 授業方法が改善される」は肯定的に思う教員（88.1%）が多くなっています。
- 一方、「エ 業務の軽減につながる」は、ほかの効果に比べて、肯定的に思う教員（52.8%）が少なくなっています。

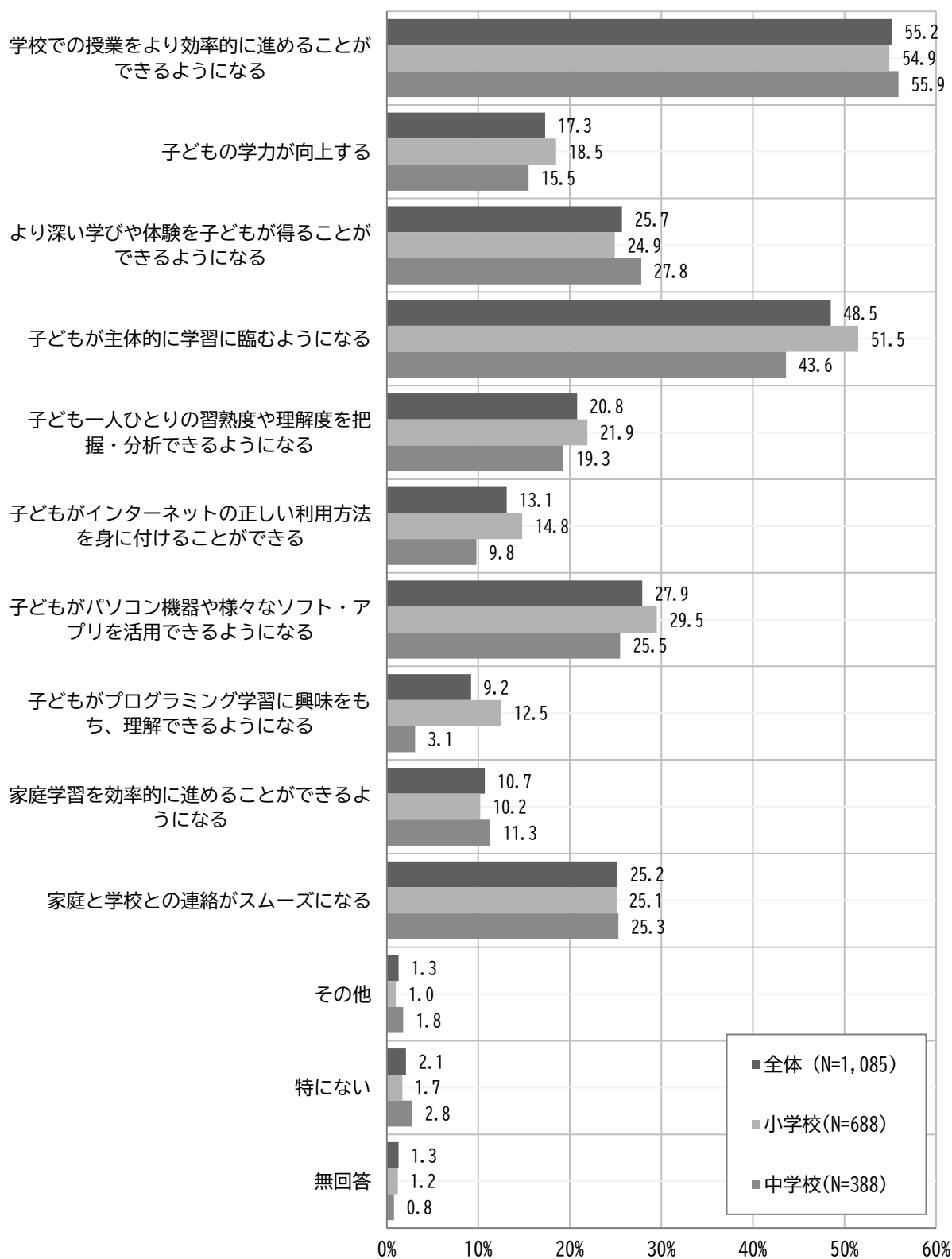


問11 学校教育におけるICTの活用（デジタル教科書・教材の採用、タブレット端末を活用した授業の導入等）について、特に期待する効果はありますか。（○は3つまで）

- 学校教育におけるICTの活用で特に期待する効果は、全体では、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が55.2%と最も多く、ついで「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が48.5%、「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」が27.9%で続きます。
- 小学校では、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が54.9%と最も多く、ついで「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が51.5%、「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」が29.5%で続きます。
- 中学校では、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が55.9%と最も多く、ついで「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が43.6%、「より深い学びや体験を子どもが得ることができるようになる」が27.8%で続きます。

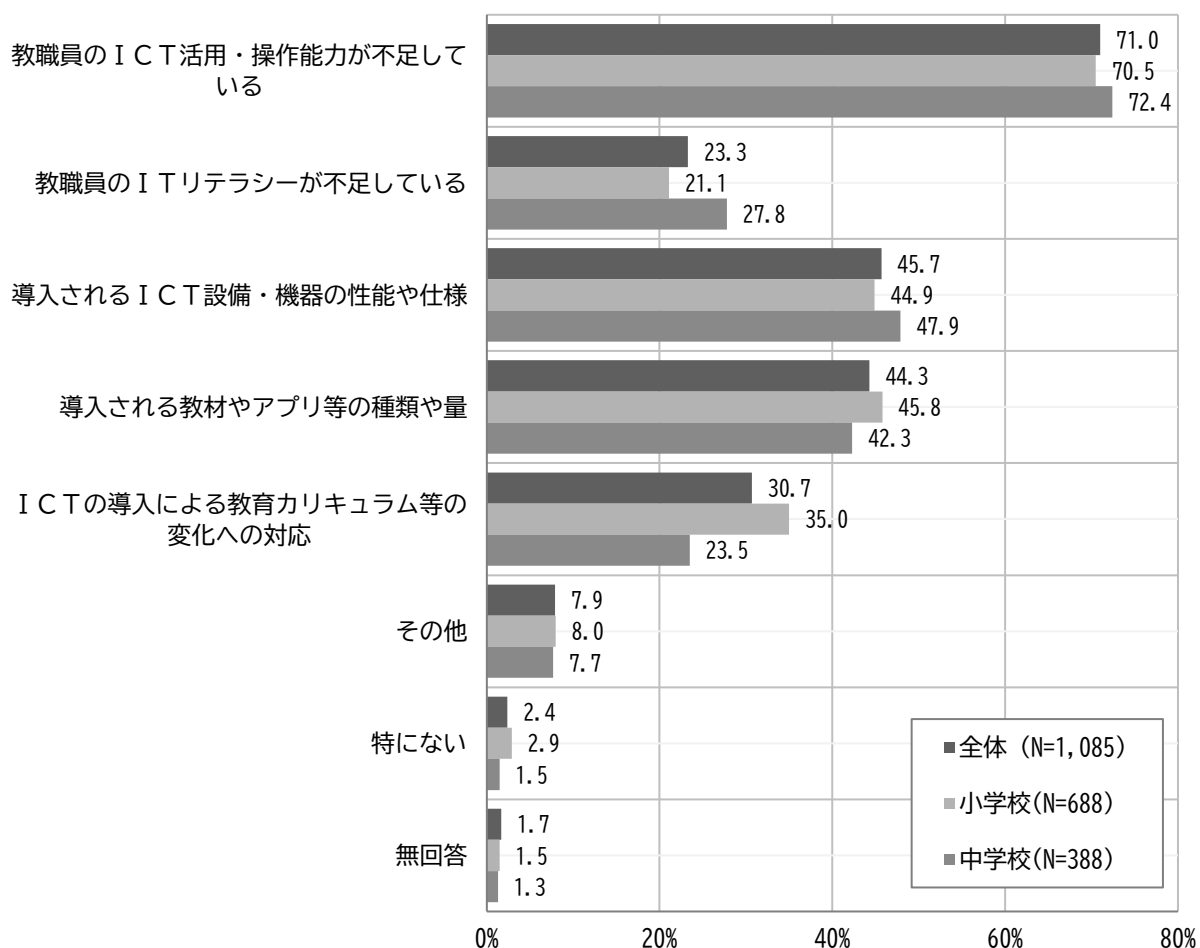
（グラフは次ページ）

第5章 区立小・中学校教員調査結果



問 12 学校でICTをさらに活用していくに当たって不安なことはありますか。（〇は3つまで）

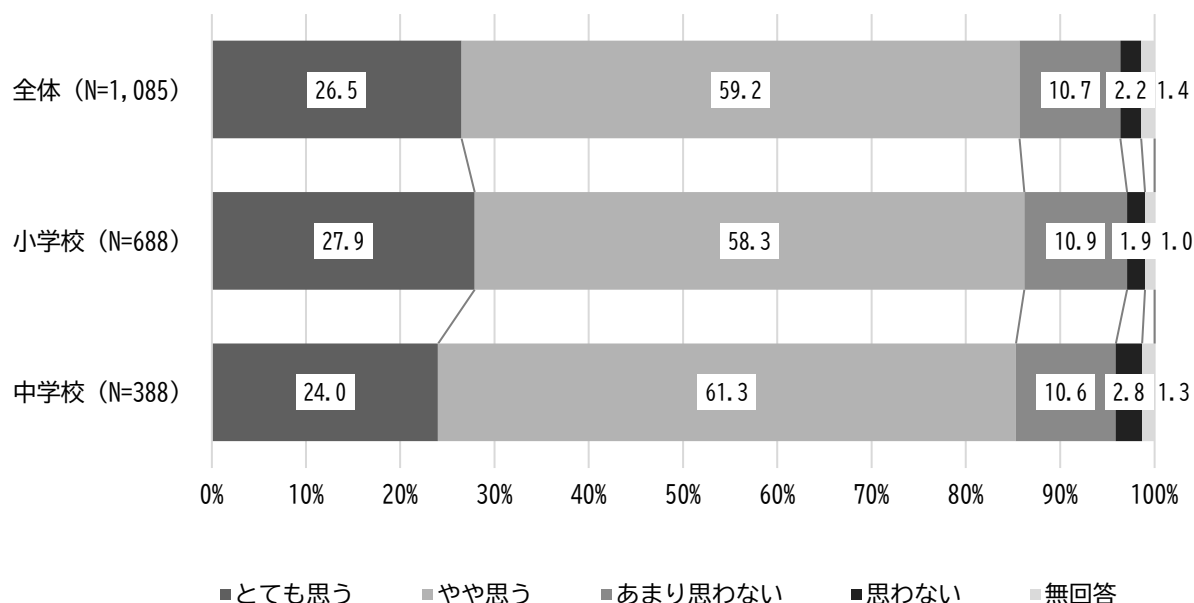
- 学校でICTをさらに活用していくに当たって不安なことは、全体では、「教職員のICT活用・操作能力が不足している」が71.0%と最も多く、ついで「導入されるICT設備・機器の性能や仕様」が45.7%、「導入される教材やアプリ等の種類や量」が44.3%で続きます。
- 小学校では、「教職員のICT活用・操作能力が不足している」が70.5%と最も多く、ついで「導入される教材やアプリ等の種類や量」が45.8%、「導入されるICT設備・機器の性能や仕様」が44.9%で続きます。
- 中学校では、「教職員のICT活用・操作能力が不足している」が72.4%と最も多く、ついで「導入されるICT設備・機器の性能や仕様」が47.9%、「導入される教材やアプリ等の種類や量」が42.3%で続きます。



4 学校と地域の連携についてお聞きします。

問13 地域・保護者は学校支援に協力的ですか。（〇は1つ）

- 学校支援に関する地域・保護者の協力について、全体では、地域・保護者が学校支援について協力的だと思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）は85.7%となっています。
- 地域・保護者が学校支援について協力的だと思う教員は、小学校で86.2%、中学校で85.3%となっています。



【前回調査との比較】

- 地域・保護者が学校支援について協力的だと思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合をみると、平成29年度調査と比べて、全ての属性で本調査が多くなっています。
- 地域・保護者が学校支援について協力的だと思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	85.7	82.1
小学校	86.2	82.7
中学校	85.3	81.2

付問 その理由を教えてください。(自由記述)

- 地域・保護者が学校支援に協力的だと思ふ理由を自由記述形式でたずねたところ、388件の回答がありました。以下に分類毎の件数を掲載します。

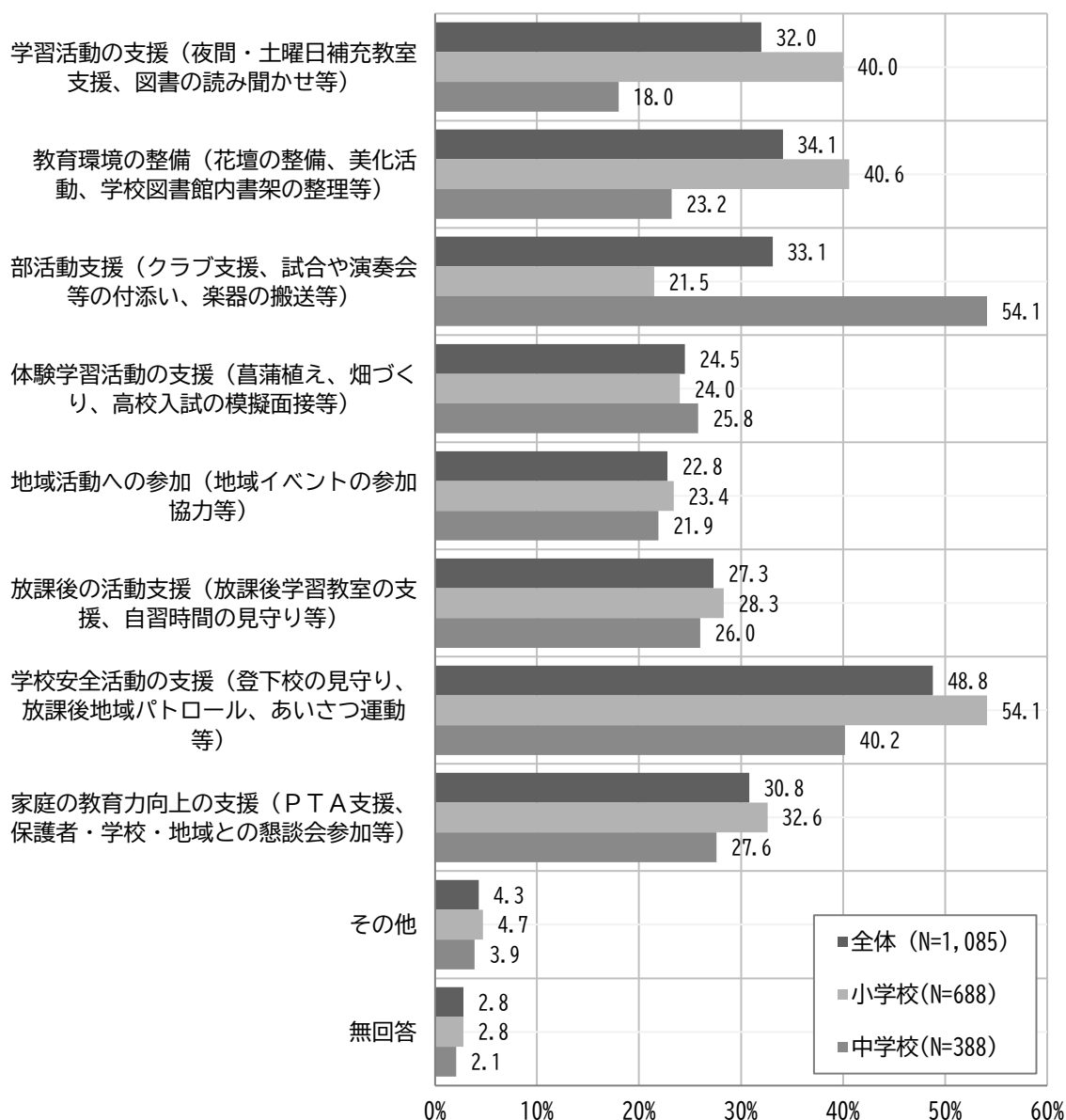
(件数)

区分	分類	全体	小学校	中学校	不明
1	行事の手助け等学校に協力的	176	125	49	2
2	行事等の参加者数	27	14	13	0
3	行事等での保護者の様子	27	16	11	0
4	役員等協力的ではない	7	6	1	0
5	家庭教育を学校にやってもらおうとしている	14	9	5	0
6	保護者の要求が多い	40	30	10	0
7	その他	97	64	33	0
合計		388	264	122	2

問14 学校と地域との連携を進めるため、地域・保護者に期待する活動はありますか。（〇はいくつでも）

- 学校と地域との連携を進めるため、地域・保護者に期待する活動は、全体では、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が48.8%と最も多く、ついで「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」が34.1%、「部活動支援（クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等）」が33.1%で続きます。
- 小学校では、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が54.1%と最も多く、ついで「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」が40.6%、「学習活動の支援（夜間・土曜日補充教室支援、図書の読み聞かせ等）」が40.0%で続きます。
- 中学校では、「部活動支援（クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等）」が54.1%と最も多く、ついで「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が40.2%、「家庭の教育力向上の支援（PTA支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が27.6%で続きます。

（グラフは次ページ）



【前回調査との比較】

- 地域・保護者に期待する活動の割合についてみると、平成 29 年度調査では、全ての属性で「学校安全活動の支援 (登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等)」が最上位でしたが、本調査では、中学校で「部活動支援 (クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等)」が最上位となっています。

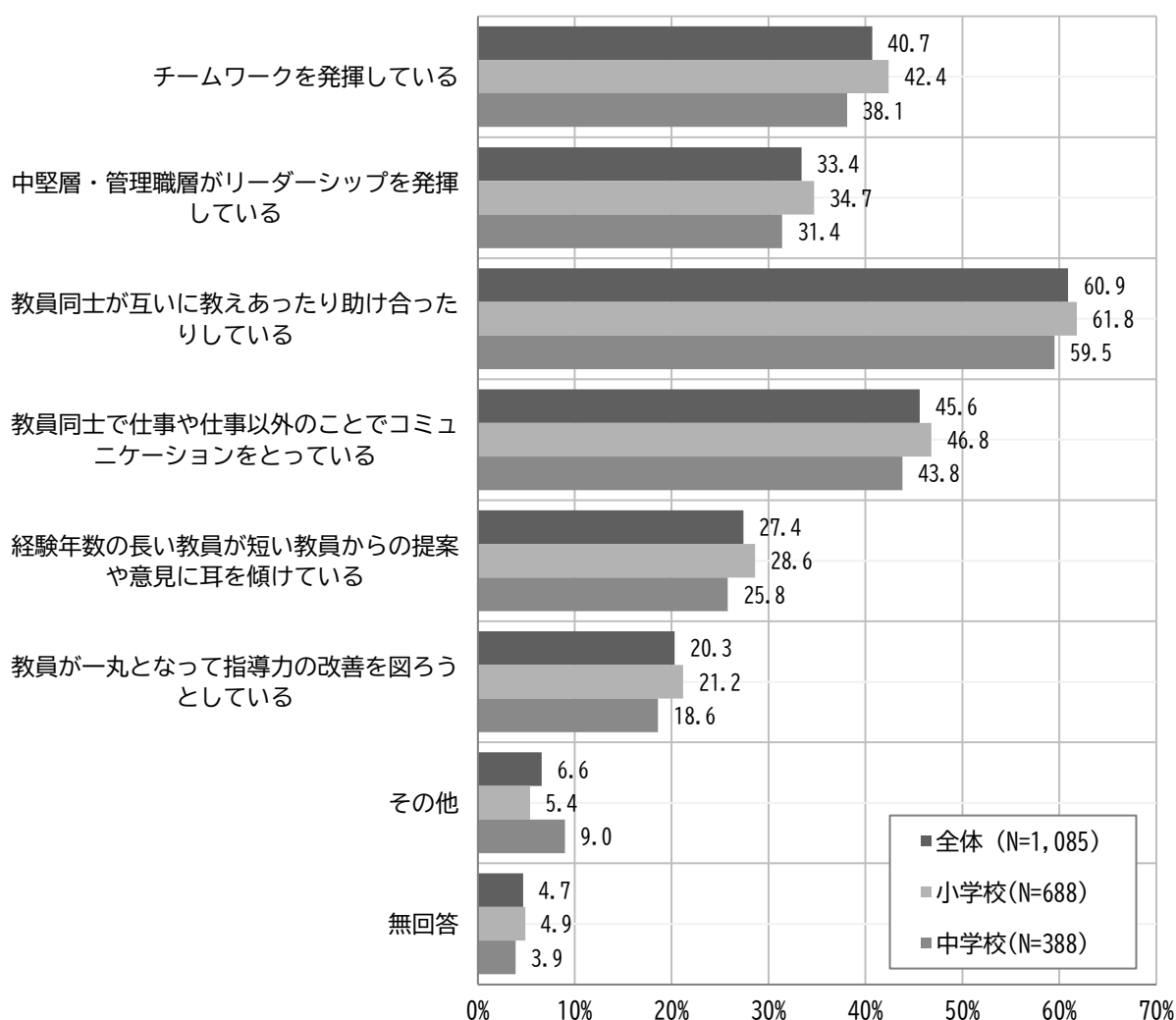
■地域・保護者に期待する活動の割合の最上位 (単位 %)

属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	学校安全活動の支援 (登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等) (48.8)	学校安全活動の支援 (登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等) (57.6)
小学校	学校安全活動の支援 (登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等) (54.1)	学校安全活動の支援 (登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等) (61.8)
中学校	部活動支援 (クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等) (54.1)	学校安全活動の支援 (登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等) (49.7) 家庭の教育力向上の支援 (PTA支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等) (49.7)

5 職場環境についてお聞きします。

問 15 在職している学校（=職場）について感じていることは何ですか。（〇はいくつでも）

- 在職している学校（職場）について感じていることは、全体では、「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている」が 60.9%と最も多く、ついで「教員同士で仕事や仕事以外のことでコミュニケーションをとっている」が 45.6%、「チームワークを発揮している」が 40.7%で続きます。
- 小学校では、「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている」が 61.8%と最も多く、ついで「教員同士で仕事や仕事以外のことでコミュニケーションをとっている」が 46.8%、「チームワークを発揮している」が 42.4%で続きます。
- 中学校では、「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている」が 59.5%と最も多く、ついで「教員同士で仕事や仕事以外のことでコミュニケーションをとっている」が 43.8%、「チームワークを発揮している」が 38.1%で続きます。



【前回調査との比較】

- 在職している学校（職場）について感じていることの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、全ての属性で「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている（助け合っている）」が最上位となっています。

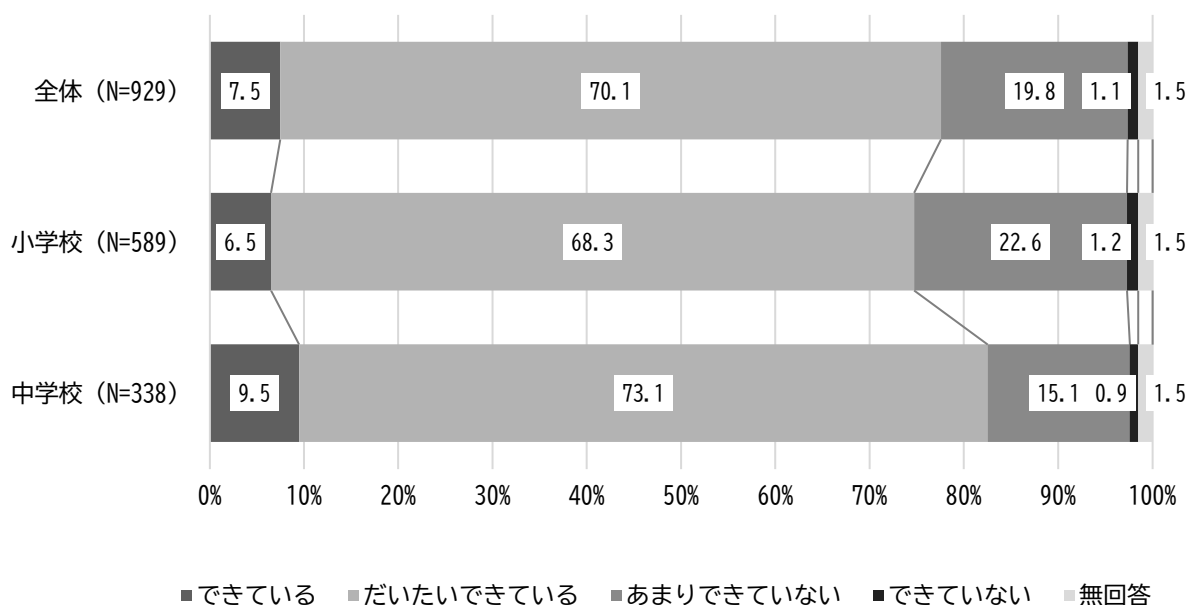
■在職している学校（＝職場）について感じていることの割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている（60.9）	教員同士が互いに教えあったり助け合っている（69.6）
小学校	教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている（61.8）	教員同士が互いに教えあったり助け合っている（73.0）
中学校	教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている（59.5）	教員同士が互いに教えあったり助け合っている（63.1）

6 教員の方（校長、副校長、養護教諭以外）にお聞きします。

問16 あなたは「わかる授業」ができていると感じていますか。（〇は1つ）

- ご自身は「わかる授業」ができていると思うかについて、全体では、「わかる授業」ができていると感じている教員（「できている」と「だいたいできている」の合計）が77.6%、できていないと感じている教員（「できていない」と「あまりできていない」の合計）が20.9%となっており、「わかる授業」ができていると感じている教員の方が多くなっています。
- 学校種別にみると、「わかる授業」ができていると感じている教員は、小学校で74.8%、中学校で82.6%です。



【前回調査との比較】

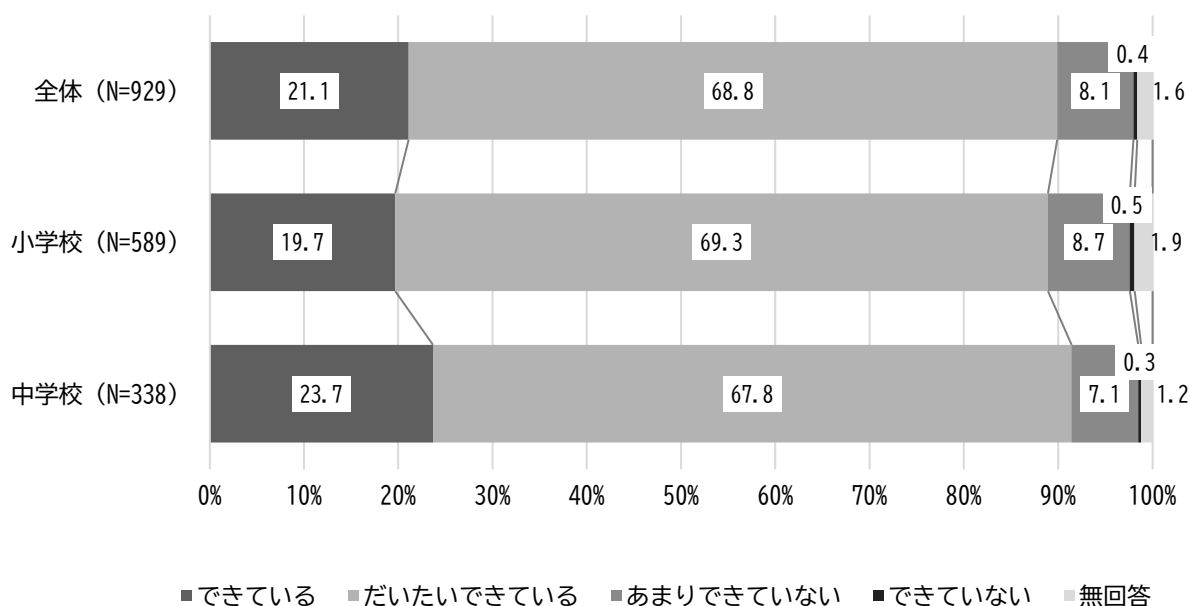
- 「わかる授業」ができていると感じている教員（「できている」と「だいたいできている」の合計）の割合をみると、平成29年度調査と比べて、全ての属性で10ポイント以上増えています。

■「わかる授業」ができていると感じている教員（「できている」と「だいたいできている」の合計）の割合（単位：%）

属性	令和4年	平成29年
全体	77.6	63.4
小学校	74.8	59.9
中学校	82.6	70.0

問 17 あなたは子どもからの話について傾聴できていると思いますか。(○は1つ)

- ご自身は子どもからの話について傾聴できていると思うかについて、全体では、傾聴できていると思う教員（「できている」と「だいたいできている」の合計）が 89.9%、できていないと思う教員（「できていない」と「あまりできていない」の合計）が 8.5%となっており、傾聴できていると思う教員の方が多くなっています。
- 学校種別にみると、傾聴できていると思う教員は、小学校で 89.0%、中学校で 91.5%です。



【前回調査との比較】

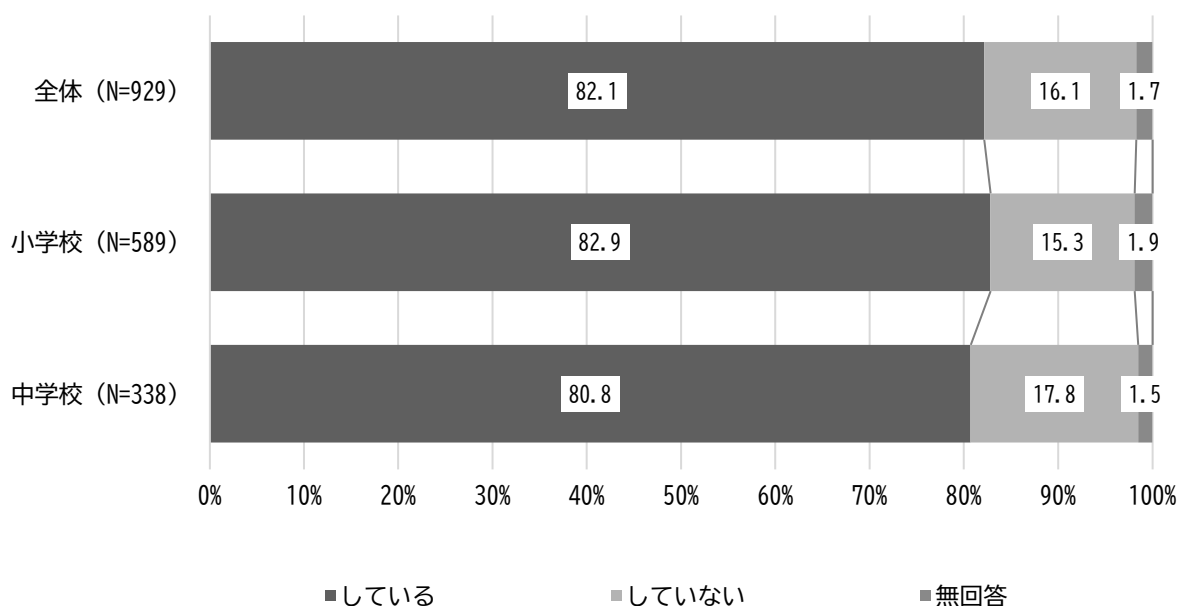
- 傾聴できていると思う教員（「できている」と「だいたいできている」の合計）の割合をみると、平成 29 年度調査と比べて、全ての属性で本調査が多くなっています。

■ 傾聴できていると思う教員（「できている」と「だいたいできている」の合計）の割合（単位 %）

属性	令和 4 年	平成 29 年
全体	89.9	82.7
小学校	89.0	82.4
中学校	91.5	83.3

問 18 あなたは、教科指導に必要な知識・技術の習得等、専門性を高めるための自己啓発を何かしていますか。(〇は1つ)

- 教科指導に必要な知識・技術の習得等、専門性を高める自己啓発の取組について、全体では、「している」が82.1%、「していない」が16.1%となっており、「している」教員の方が多くなっています。
- 学校種別にみると、「している」は、小学校で82.9%、中学校で80.8%です。



【前回調査との比較】

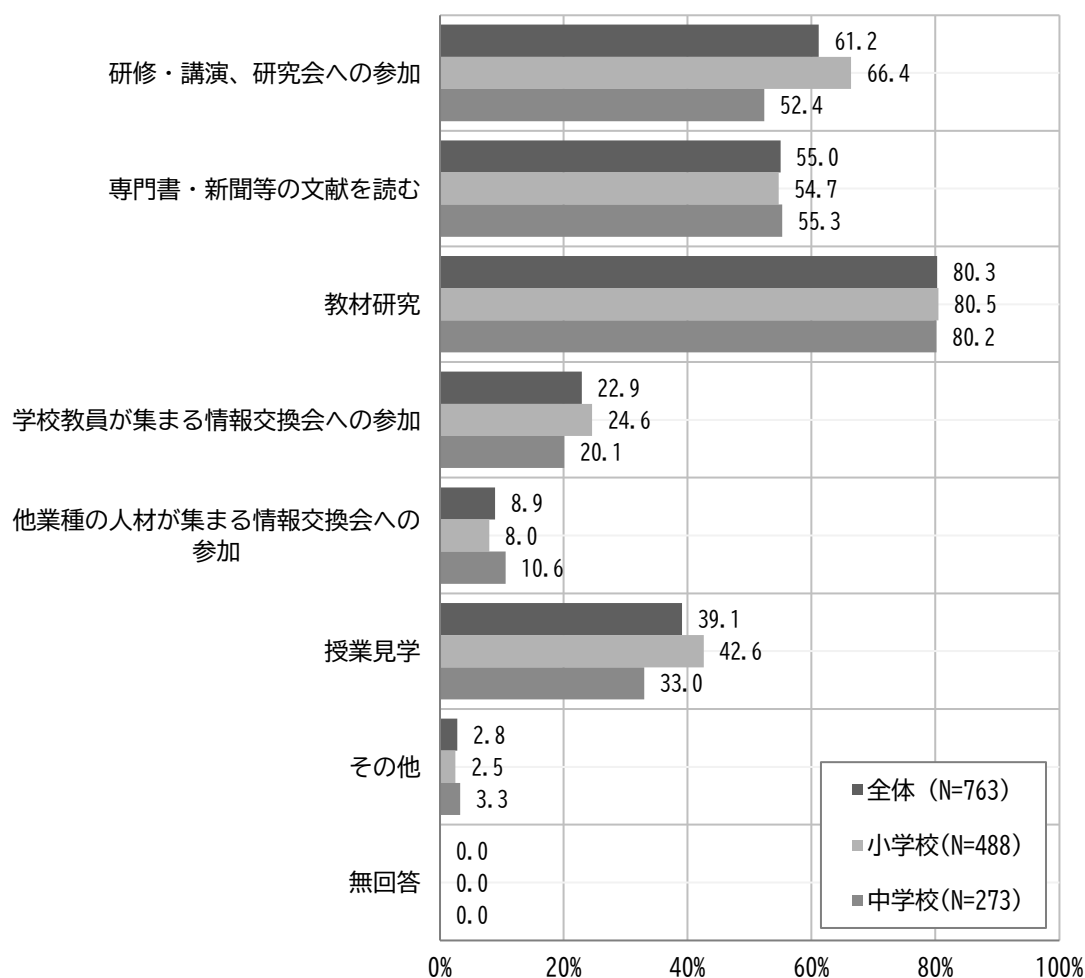
- 教科指導に必要な知識・技術の習得等、専門性を高めるための自己啓発をしている教員の割合をみると、平成29年度調査と比べて、全ての属性で本調査が少なくなっています。

■教科指導に必要な知識・技術の習得等、専門性を高めるための自己啓発をしている教員の割合(単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	82.1	85.3
小学校	82.9	85.9
中学校	80.8	84.3

付問 (問18で「1 している」とお答えの方にお聞きします。) それほどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- 教科指導に必要な自己啓発を「している」と回答した方の取組内容は、全体では、「教材研究」が80.3%と最も多く、ついで「研修・講演、研究会への参加」が61.2%、「専門書・新聞等の文献を読む」が55.0%で続きます。
- 小学校では、「教材研究」が80.5%と最も多く、ついで「研修・講演、研究会への参加」が66.4%、「専門書・新聞等の文献を読む」が54.7%で続きます。
- 中学校では、「教材研究」が80.2%と最も多く、ついで「専門書・新聞等の文献を読む」が55.3%、「研修・講演、研究会への参加」が52.4%で続きます。



【前回調査との比較】

- 自己啓発をしていることの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「教材研究」が最上位となっています。

■自己啓発をしていることの割合の最上位 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	教材研究 (80.3)	教材研究 (80.2)
小学校	教材研究 (80.5)	教材研究 (79.4)
中学校	教材研究 (80.2)	教材研究 (81.8)

問19 今後、校内でどのような研修を受講したいですか。(○はそれぞれ1つずつ)

【全体】

- 今後の校内研修の受講希望について、全体では、全ての項目で、今後、校内で受講したいと思う（「とても思う」と「やや思う」の合計）が5割～8割であり、校内で受講したいと思わない（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 「とても思う」の割合をみると、「ア 教科の指導を高める研修」が53.9%と最も多く、ついで「セ ICTを活用した授業研修」が45.9%、「サ 特別支援教育研修」が43.6%で続きます。

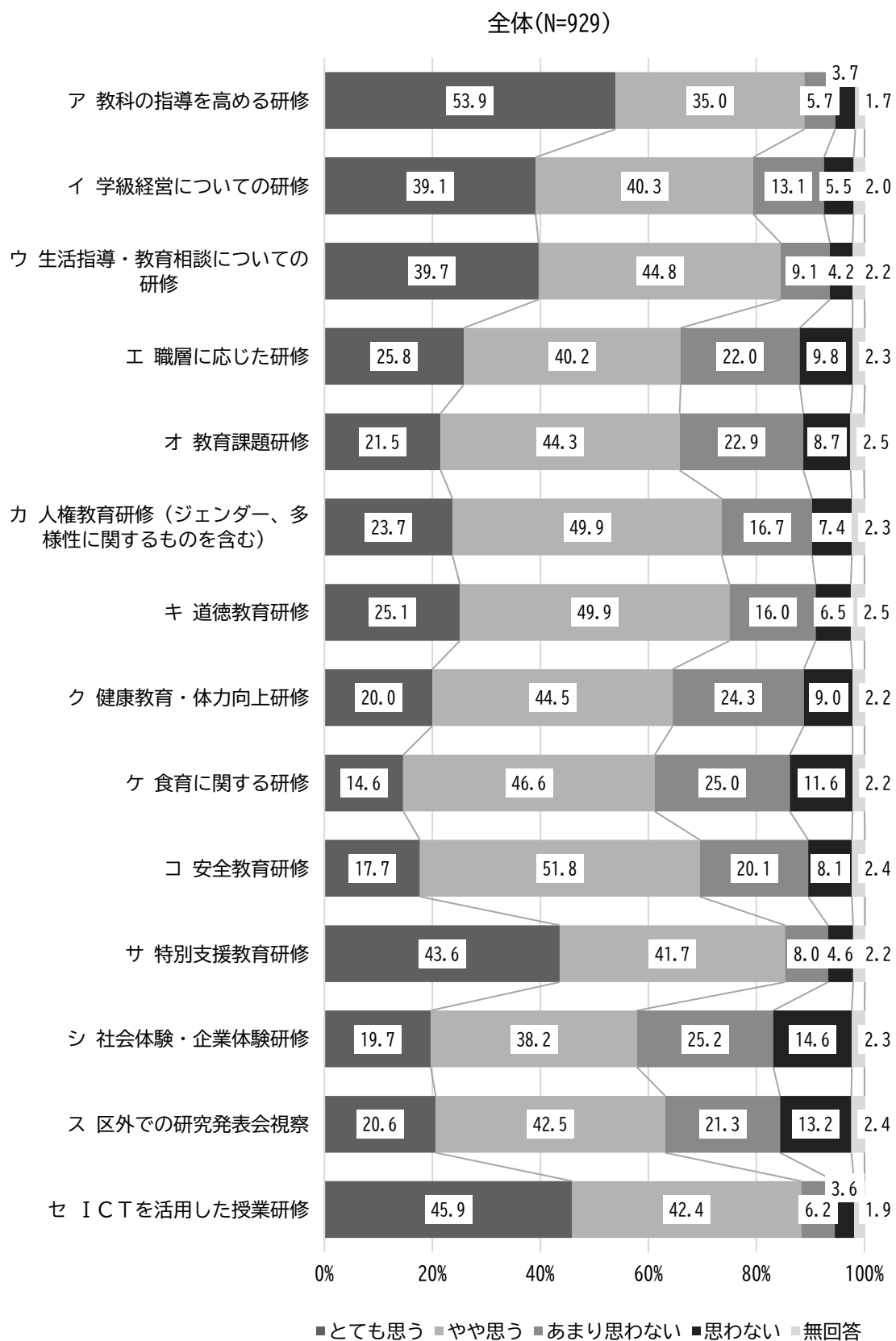
(グラフは次ページ)

【前回調査との比較】

- 今後の校内で受講したい研修（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「ア 教科の指導を高める研修」が最上位となっています。

■今後、校内で受講したい研修（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
全体	ア 教科の指導を高める研修 (88.9)	ア 教科の指導を高める研修 (86.7)



【小学校】

- 今後の校内研修の受講希望について、小学校では、全ての項目で、今後、校内で受講したいと思う（「とても思う」と「やや思う」の合計）が5割台～9割台であり、校内で受講したいと思わない（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 「とても思う」の割合をみると、「ア 教科の指導を高める研修」が55.0%と最も多く、ついで「セ ICTを活用した授業研修」が47.7%、「サ 特別支援教育研修」が46.0%で続きます。

（グラフは次ページ）

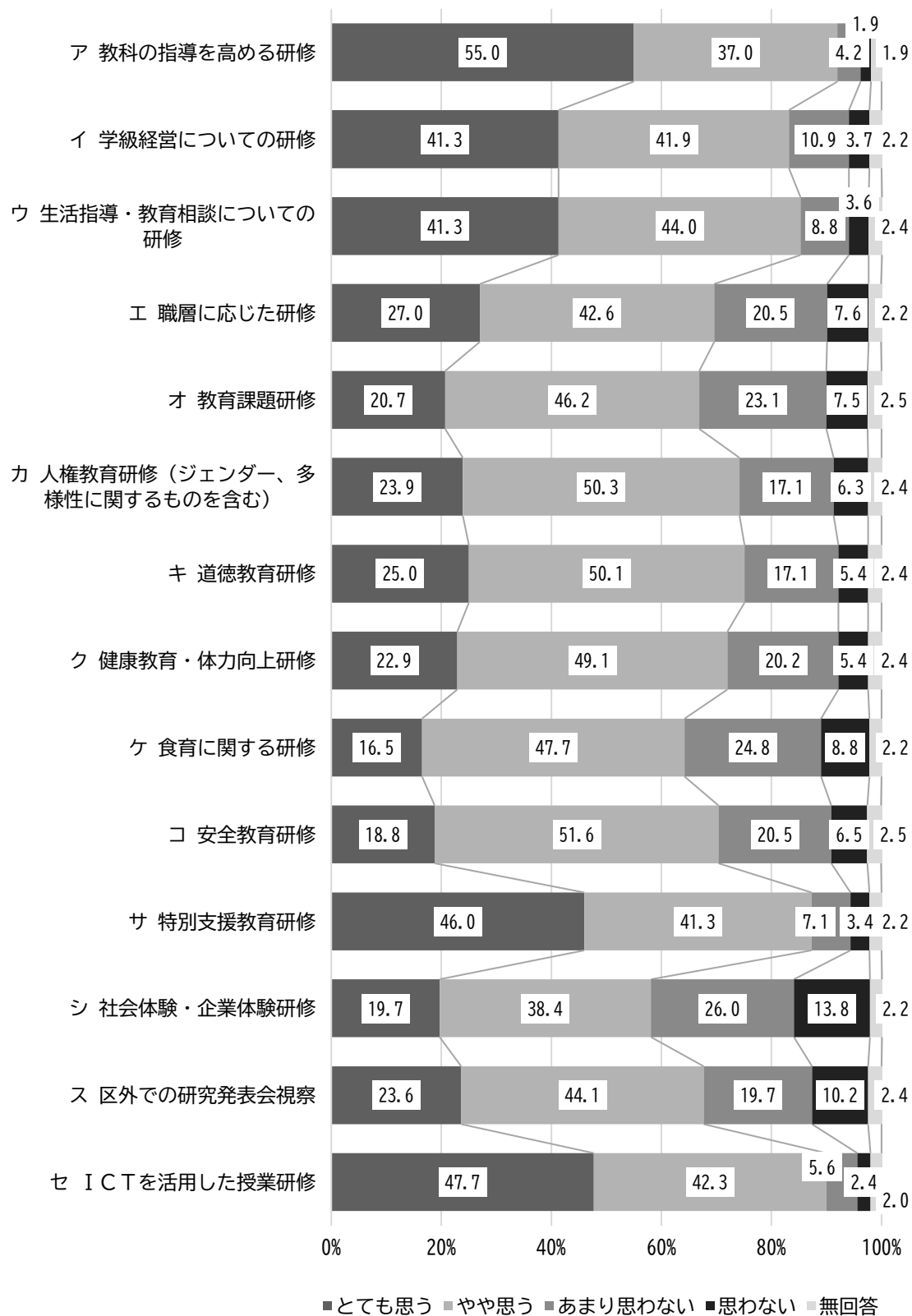
【前回調査との比較】

- 今後の校内で受講したい研修（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「ア 教科の指導を高める研修」が最上位となっています。

■今後、校内で受講したい研修（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
小学校	ア 教科の指導を高める研修 (92.0)	ア 教科の指導を高める研修 (87.6)

小学校(N=589)



【中学校】

- 今後の校内研修の受講希望について、中学校では、全ての項目で、今後、校内で受講したいと思う（「とても思う」と「やや思う」の合計）が5割台～8割台であり、校内で受講したいと思わない（「あまり思わない」と「思わない」の合計）より多くなっています。
- 「とても思う」の割合をみると、「ア 教科の指導を高める研修」が51.8%と最も多く、ついで「セ ICTを活用した授業研修」が42.9%、「サ 特別支援教育研修」が39.6%で続きます。

（グラフは次ページ）

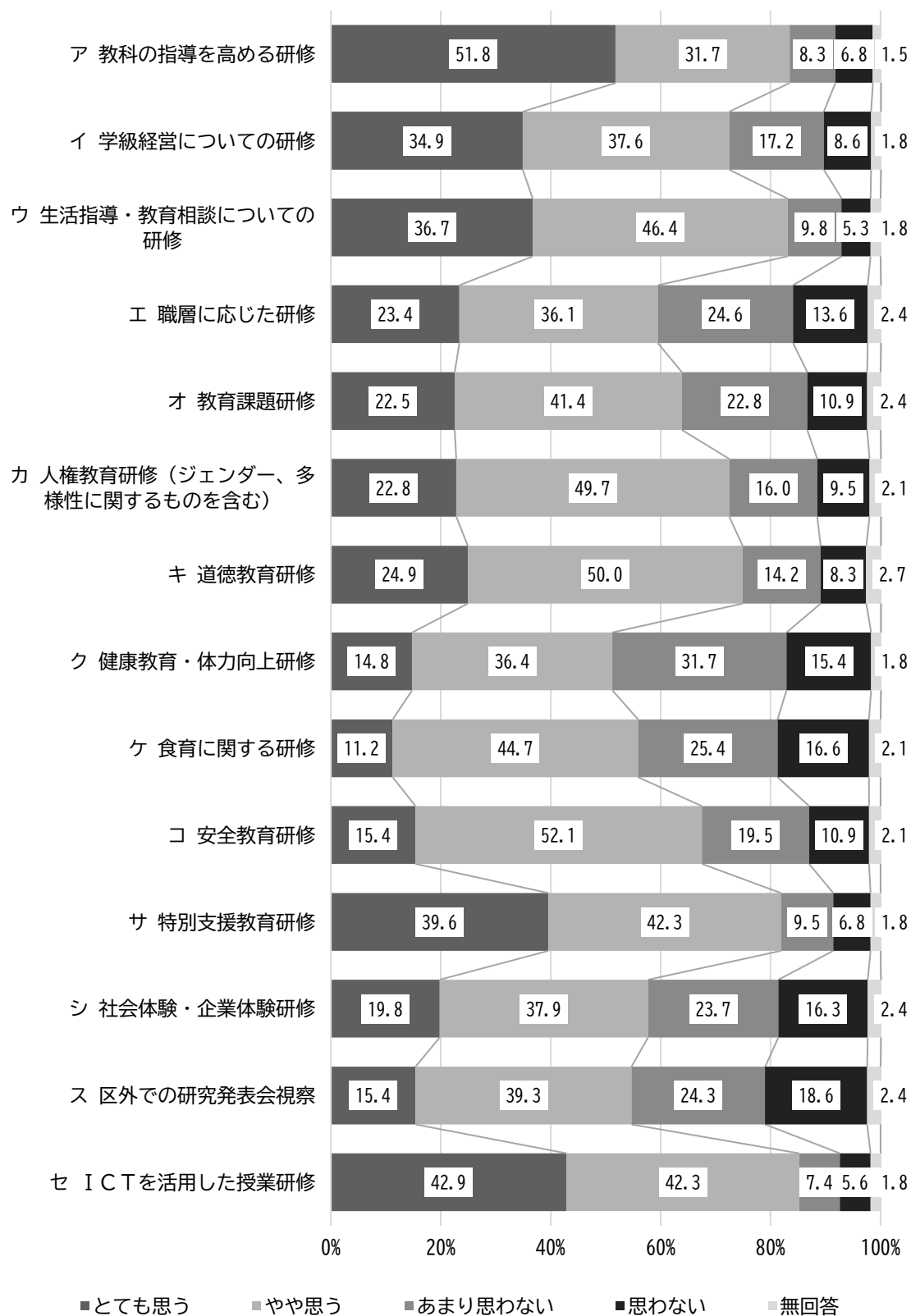
【前回調査との比較】

- 今後、校内で受講したい研修（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合をみると、平成29年度調査では「ア 教科の指導を高める研修」が最上位でしたが、本調査では「セ ICTを活用した授業研修」が最上位となっています。

■今後、校内で受講したい研修（「とても思う」と「やや思う」の合計）の割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
中学校	セ ICTを活用した授業研修 (85.2)	ア 教科の指導を高める研修 (84.7)

中学校(N=338)



【今後、校内で受講したい研修 上位5位】

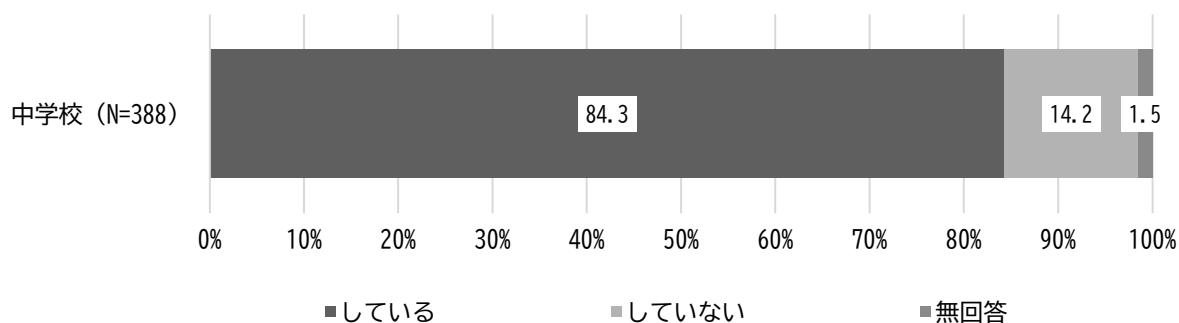
- 今後、校内で受講したい研修の上位5位（「とても思う」と「やや思う」の合計が多い5つの項目）は以下のとおりです。
- 全体では、項目アが88.9%と最も多く、ついで項目セが88.3%、項目サが85.3%、項目ウが84.5%、項目イが79.4%で続きます。
- 小学校では、項目アが92.0%と最も多く、ついで項目セが90.0%、項目サが87.3%、項目ウが85.3%、項目イが83.2%で続きます。
- 中学校では、項目セが85.2%と最も多く、ついで項目アが83.5%、項目ウが83.1%、項目サが81.9%、項目キが74.9%で続きます。

順位	全体	小学校	中学校
1	ア 教科の指導を高める研修 88.9%	ア 教科の指導を高める研修 92.0%	セ ICTを活用した授業研修 85.2%
2	セ ICTを活用した授業研修 88.3%	セ ICTを活用した授業研修 90.0%	ア 教科の指導を高める研修 83.5%
3	サ 特別支援教育研修 85.3%	サ 特別支援教育研修 87.3%	ウ 生活指導・教育相談についての研修 83.1%
4	ウ 生活指導・教育相談についての研修 84.5%	ウ 生活指導・教育相談についての研修 85.3%	サ 特別支援教育研修 81.9%
5	イ 学級経営についての研修 79.4%	イ 学級経営についての研修 83.2%	キ 道徳教育研修 74.9%

7 ここから、中学校に所属されている方のみにお聞きします。

問 20 あなたは、部活動の顧問をしていますか。（〇は1つ）

- 中学校教員が部活動の顧問をしているかは、「している」が 84.3%、「していない」が 14.2%となっており、「している」教員の方が多くなっています。



【前回調査との比較】

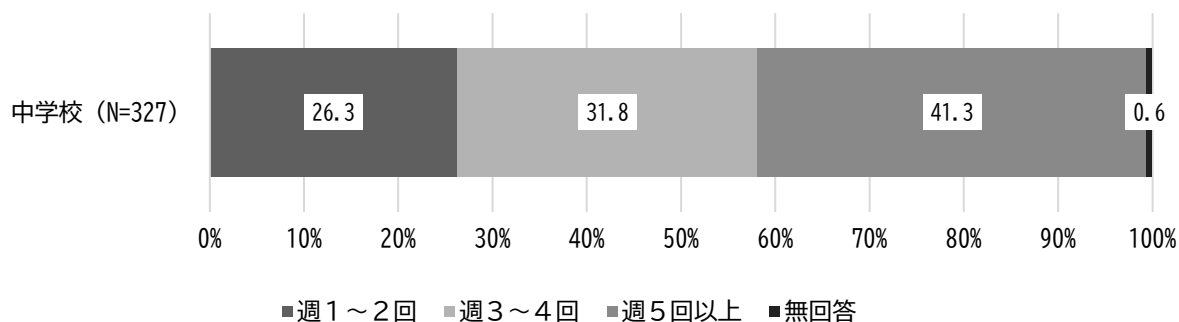
- 部活動の顧問を「している」中学校の教員の割合をみると、本調査と平成 29 年度調査はおおむね同様です。

■部活動の顧問を「している」教員の割合（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
中学校	84.3	84.6

付問①（問20で「1している」とお答えの方にお聞きします。）週何回程度、部活動の指導をしていますか。（○は1つ）

- 中学校で部活動の顧問を「している」と回答した方の指導頻度は、「週5回以上」が41.3%と最も多く、ついで「週3～4回」が31.8%、「週1～2回」が26.3%で続きます。



【前回調査との比較】

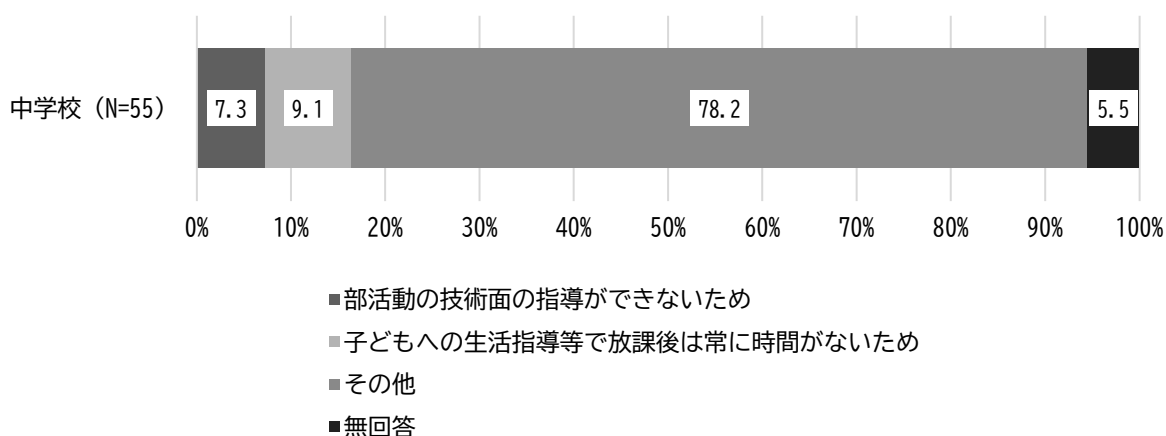
- 「週5回以上」指導している中学校教員の割合をみると、平成29年度調査と比べて、本調査は少なくなっています。

■ 「週5回以上」指導している教員の割合（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
中学校	41.3	48.6

付問②（問20で「2 していない」とお答えの方にお聞きします。）部活動の顧問をしていない（できていない）理由は何ですか。（〇は1つ）

- 中学校で部活動の顧問を「していない」と回答した方の顧問をしていない理由は、「その他」が78.2%と最も多く、ついで「子どもへの生活指導等で放課後は常に時間がないため」が9.1%、「部活動の技術面の指導ができないため」が7.3%で続きます。
- 「その他」の回答は、「管理職のため」、「家庭の事情」などが挙げられています。



【前回調査との比較】

- 部活動の顧問をしていない（できていない）理由の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「その他」が最上位となっています。

■部活動の顧問をしていない（できていない）理由の割合の最上位（単位 %）

属性	令和4年	平成29年
中学校	その他 (78.2)	その他 (67.6)

8 自由意見

問 21 区の教育振興に関するご意見がございましたら、お書きください。（自由記述）

- 区の教育振興に関するご意見を自由記述形式でたずねたところ、284 件の回答がありました。
以下に分類毎の件数を掲載します。

(件数)

区分	分類	全体	小学校	中学校
1	教員の負担軽減、配置	55	30	25
2	支援を必要とする児童・生徒、家庭へのサポート	11	8	3
3	葛飾教育の日等、行事についての改善	67	58	9
4	学校施設の整備	11	5	6
5	教員の連携、指導体制、職場環境の改善	21	12	9
6	I C T 支援員等学習支援の充実	25	17	8
7	アンケートについて	12	9	3
8	その他	82	46	36
合計		284	185	99

9 分析編：経験年数等によるクロス集計

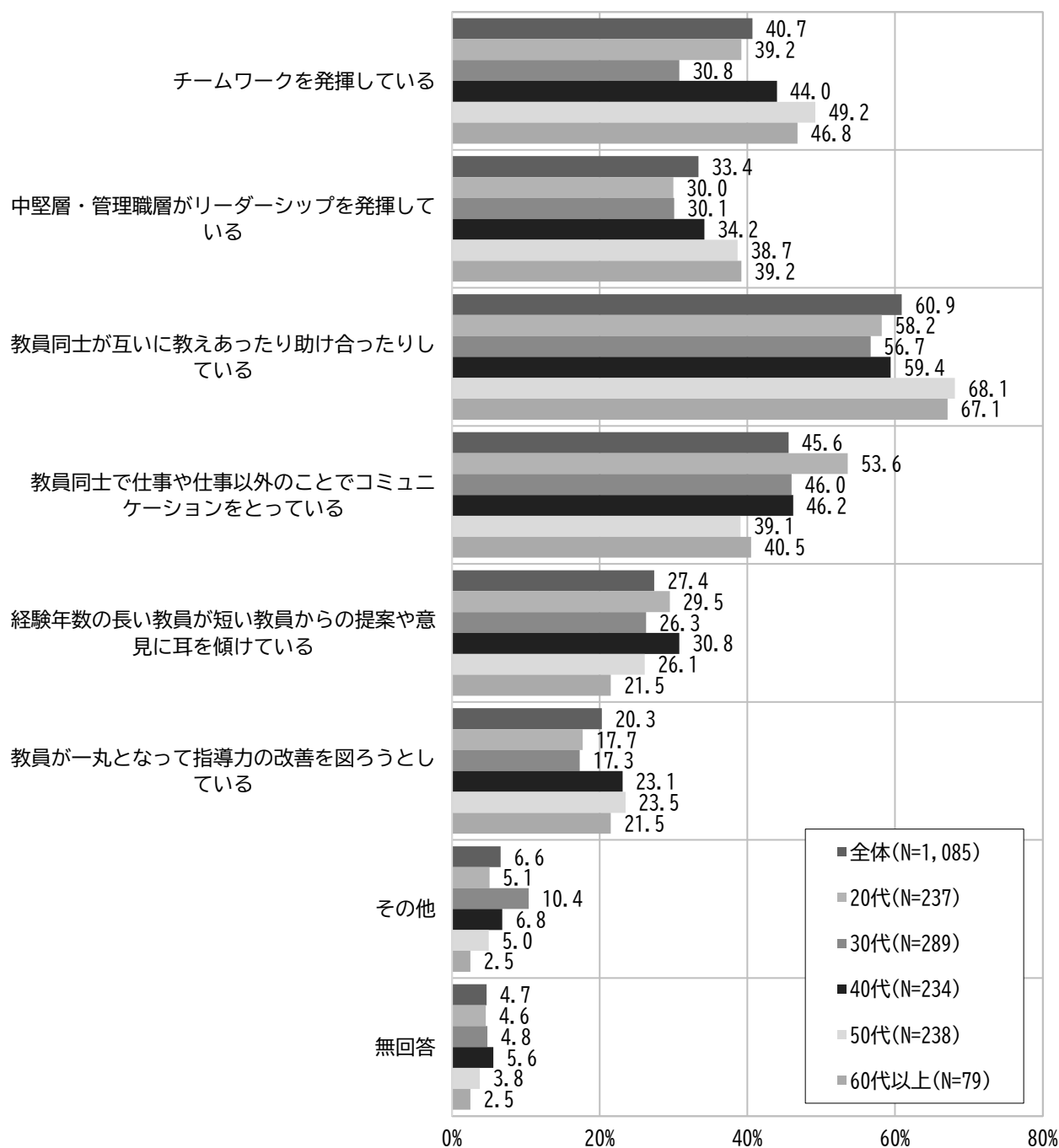
- 区立小・中学校教員調査では、職場や地域、保護者に対して感じていることや、ICT機器の導入、ICTの活用に対して感じていることについて、より詳細に把握するために、年代（問3）、教員経験年数（問4）、管理職・管理職以外（問2）の3つの視点でクロス集計を行いました。
- なお、管理職・管理職以外の分類については、「管理職」（「校長」と「副校長」）、「管理職以外」（「主幹教諭」、「指導教諭」、「主任教諭」、「教諭」、「主任養護教諭・養護教諭」、「主任栄養教諭・栄養教諭」）としました。

(1) 職場や地域、保護者について

【職場について感じる事（問15）】

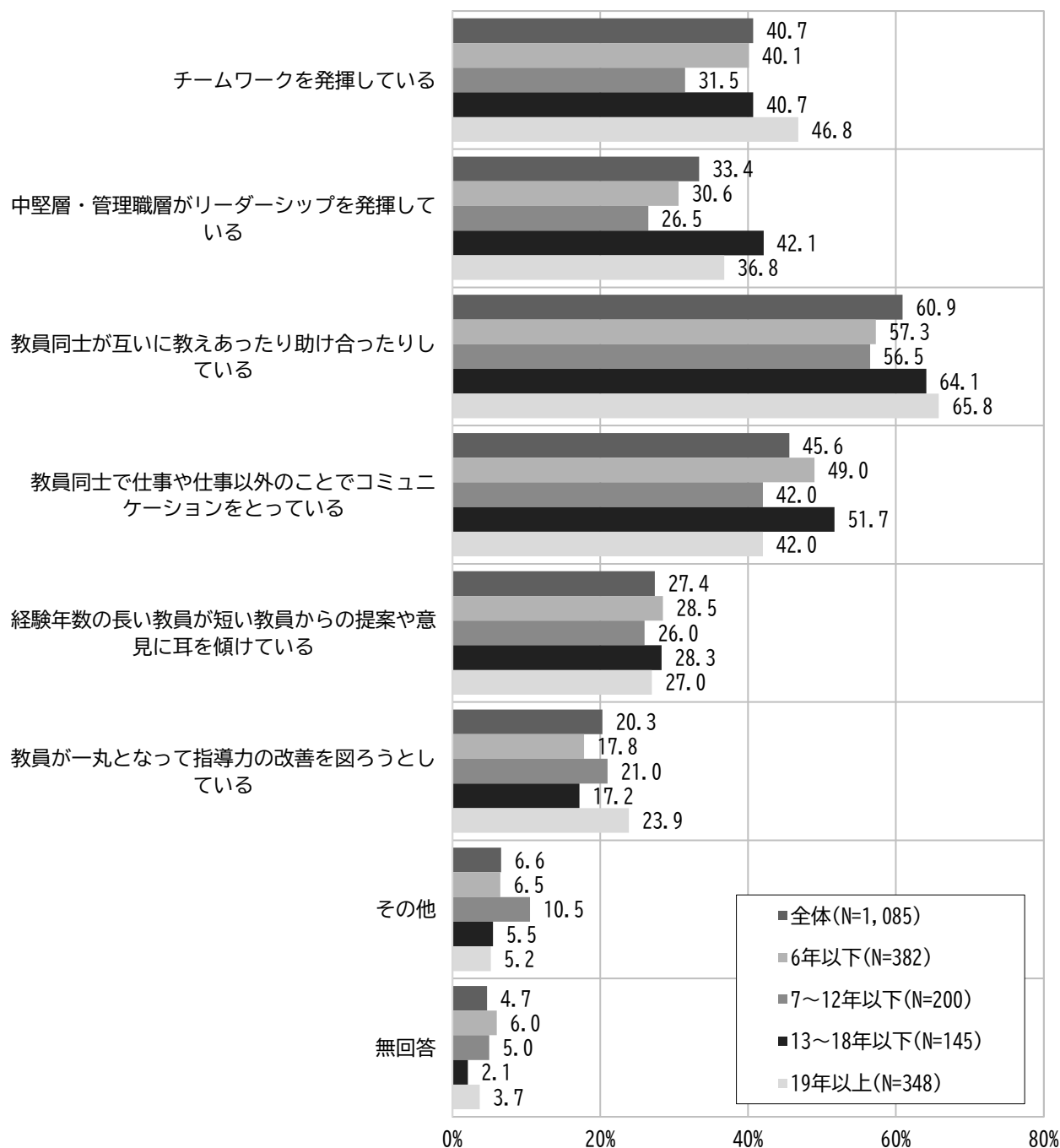
- 職場について感じていることを年齢別でみると、年代にかかわらず、「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている」が最も多くなっています。

職場について感じていること_年齢別



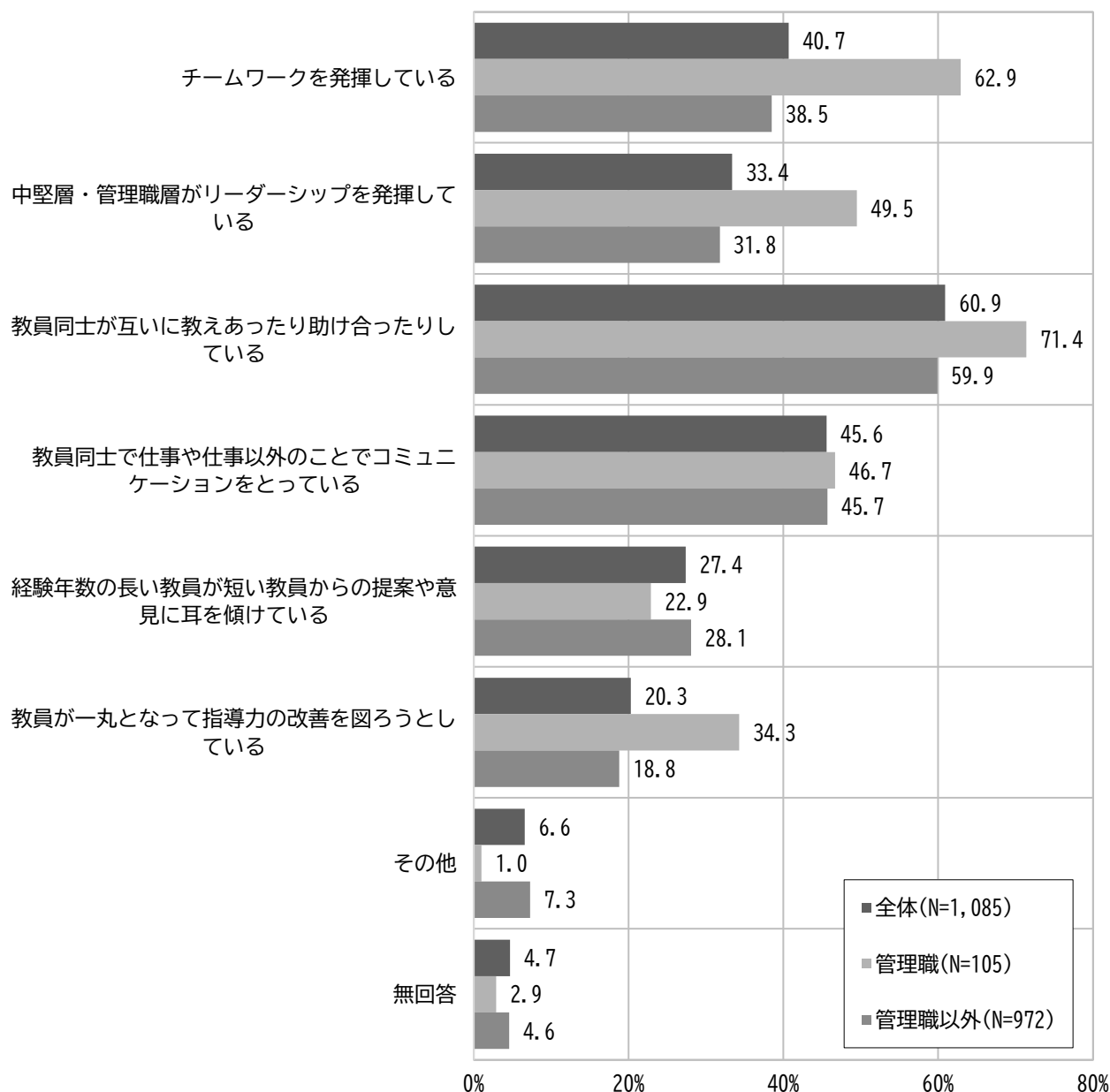
- 職場について感じていることを経験年数別でみると、経験年数にかかわらず、「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている」が最も多くなっています。
- 13年以上の教員（「13～18年以下」と「19年以上」）は、12年以下の教員（「6年以下」と「7～12年以下」）よりも「チームワークを発揮している」が多くなっています。

職場について感じていること_経験年数別



- 職場について感じていることを管理職と管理職以外別でみると、管理職、管理職以外ともに「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている」が最も多くなっています。
- 管理職は管理職以外よりも、「チームワークを発揮している」、「中堅層・管理職層がリーダーシップを発揮している」、「教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている」、「教員が一丸となって指導力の改善を図ろうとしている」が多くなっています。

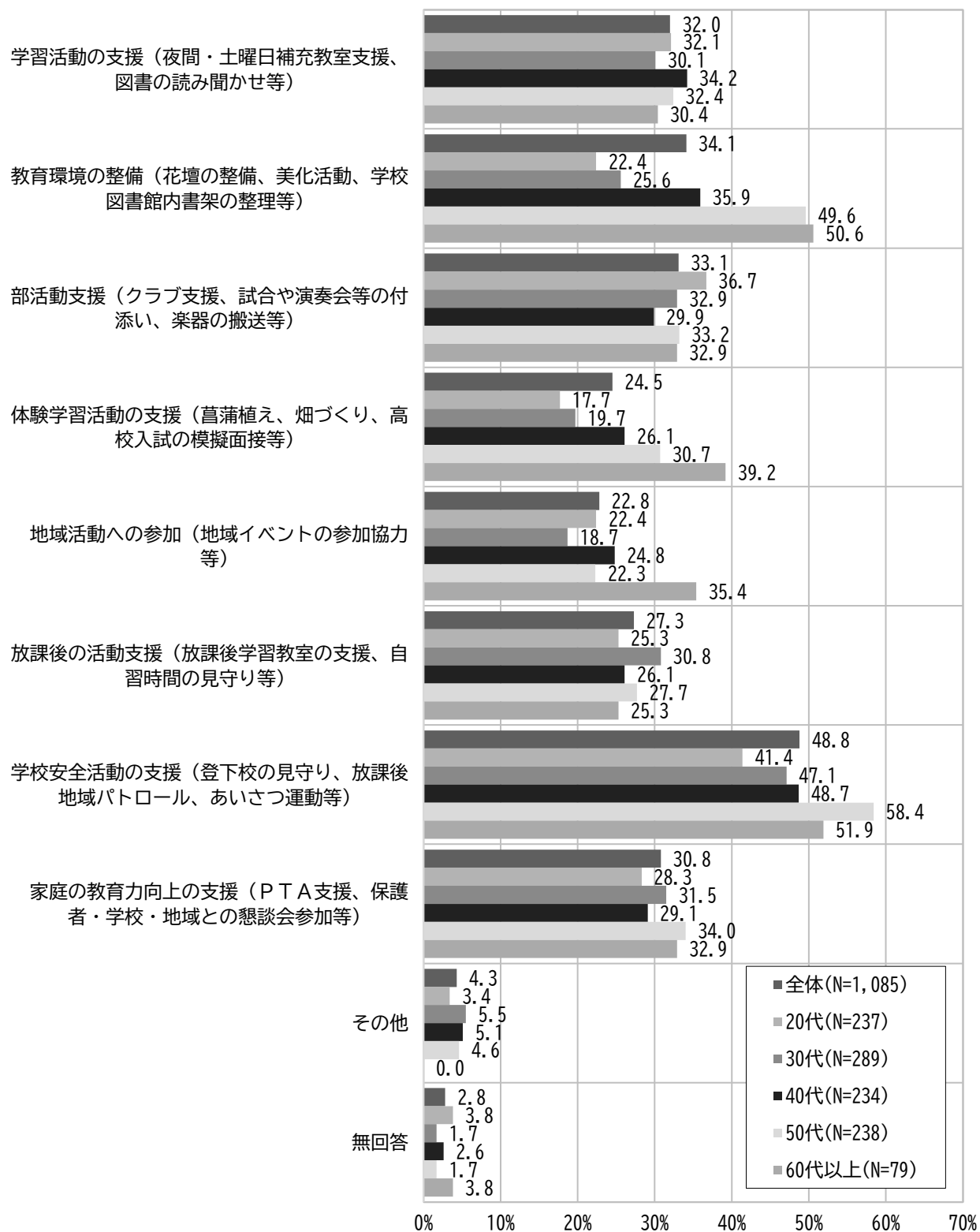
職場について感じていること_管理職/管理職以外別



【地域・保護者に求める支援内容（問14）】

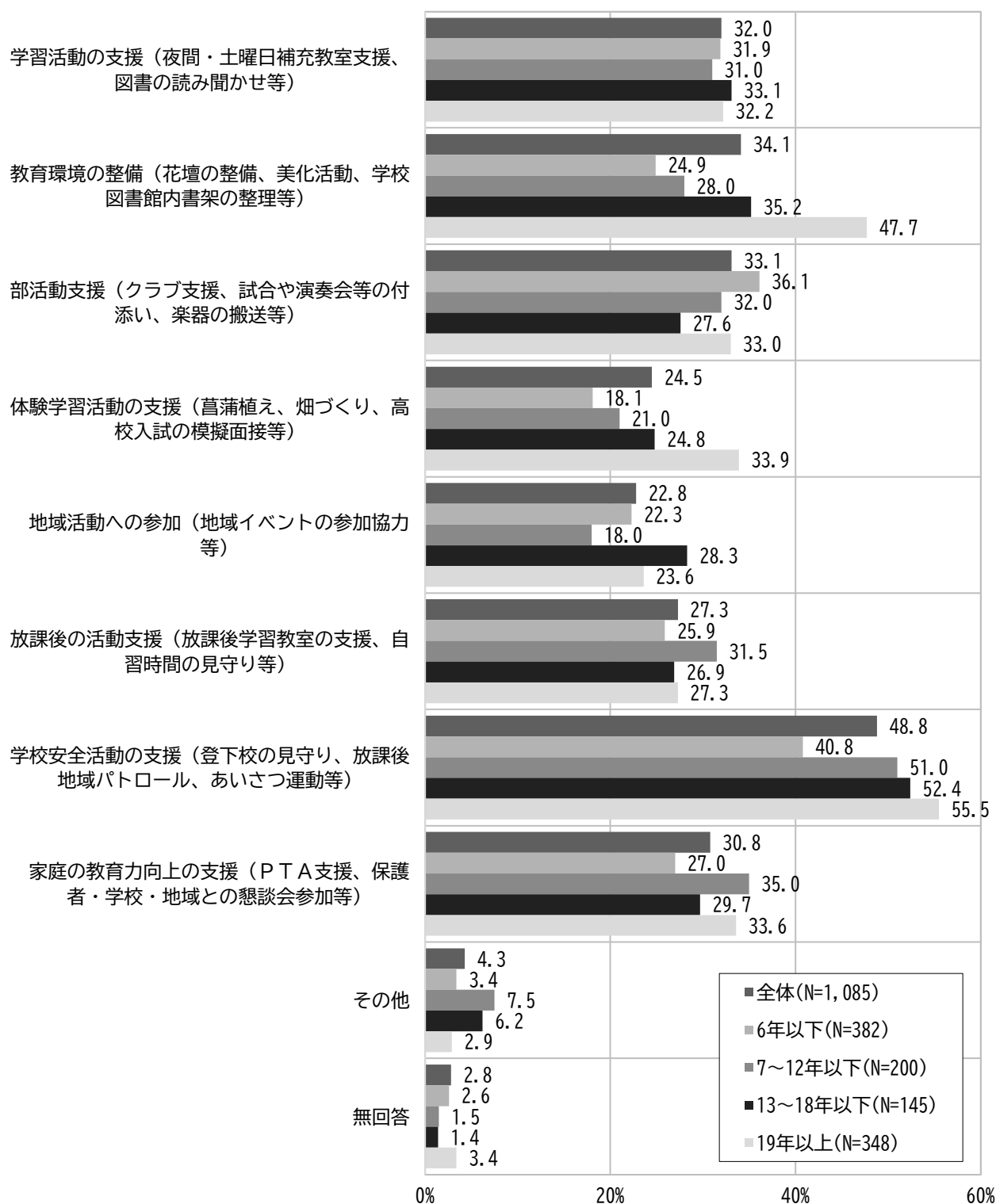
- 地域や保護者に期待することを年齢別でみると、年代にかかわらず、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が最も多くなっています。
- 50代と60代以上では、「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」が他の年代と比べて多くなっています。

地域や保護者に期待すること_年齢別



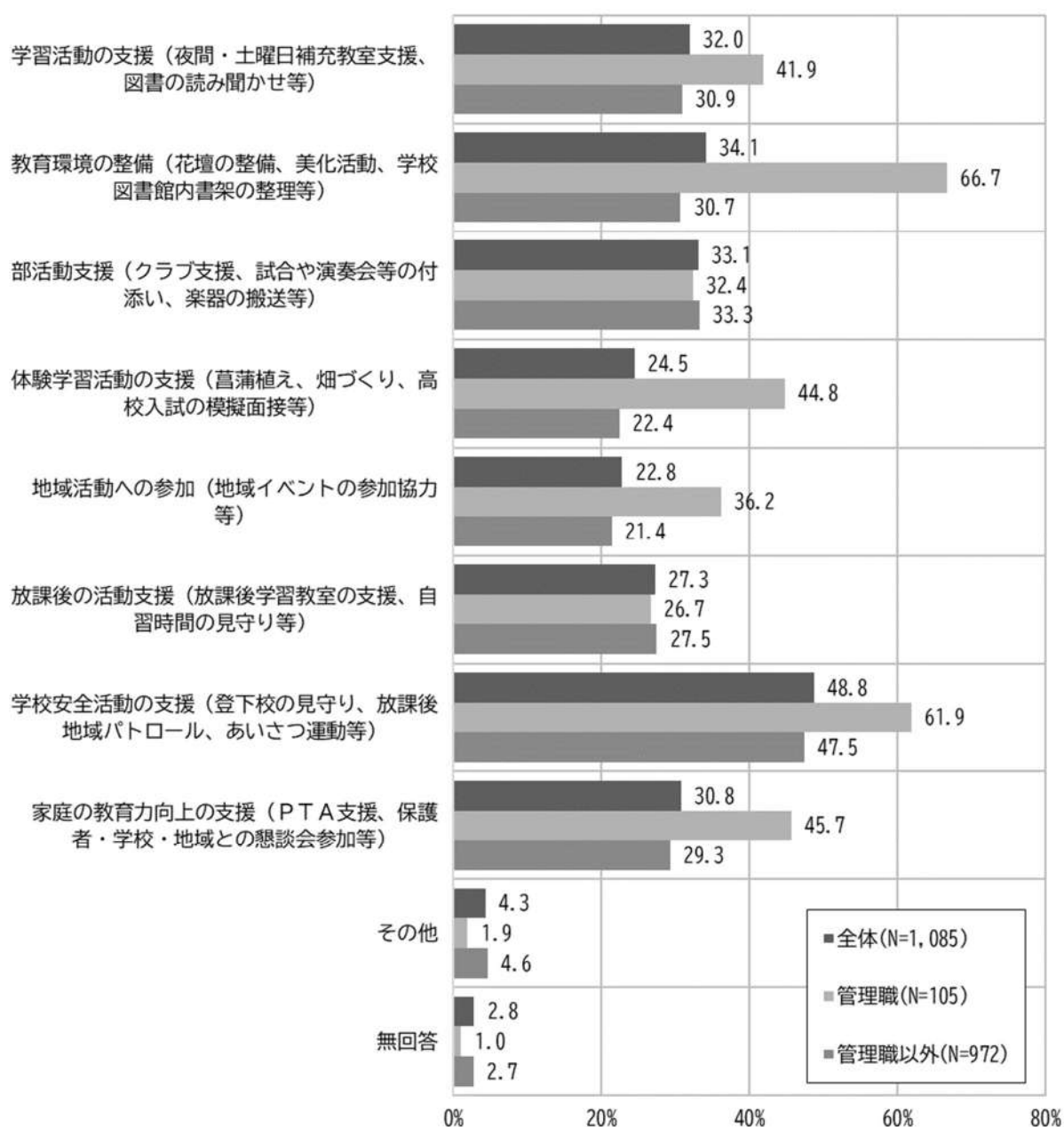
- 地域や保護者に期待することを経験年数別でみると、経験年数にかかわらず、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が最も多くなっています。
- 13年以上の教員（「13～18年以下」と「19年以上」）は、12年以下の教員（「6年以下」と「7～12年以下」）よりも「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」が多くなっています。

地域や保護者に期待すること_経験年数別



- 地域や保護者に期待することを管理職と管理職以外別でみると、管理職は「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」、管理職以外は「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が最も多くなっています。
- 管理職は管理職以外よりも、「学習活動の支援（夜間・土曜日補充教室支援、図書の読み聞かせ等）」、「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」、「体験学習活動の支援（菖蒲植え、畑づくり、高校入試の模擬面接等）」、「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」、「家庭の教育力向上の支援（PTA支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が多くなっています。

地域や保護者に期待すること_管理職/管理職以外別



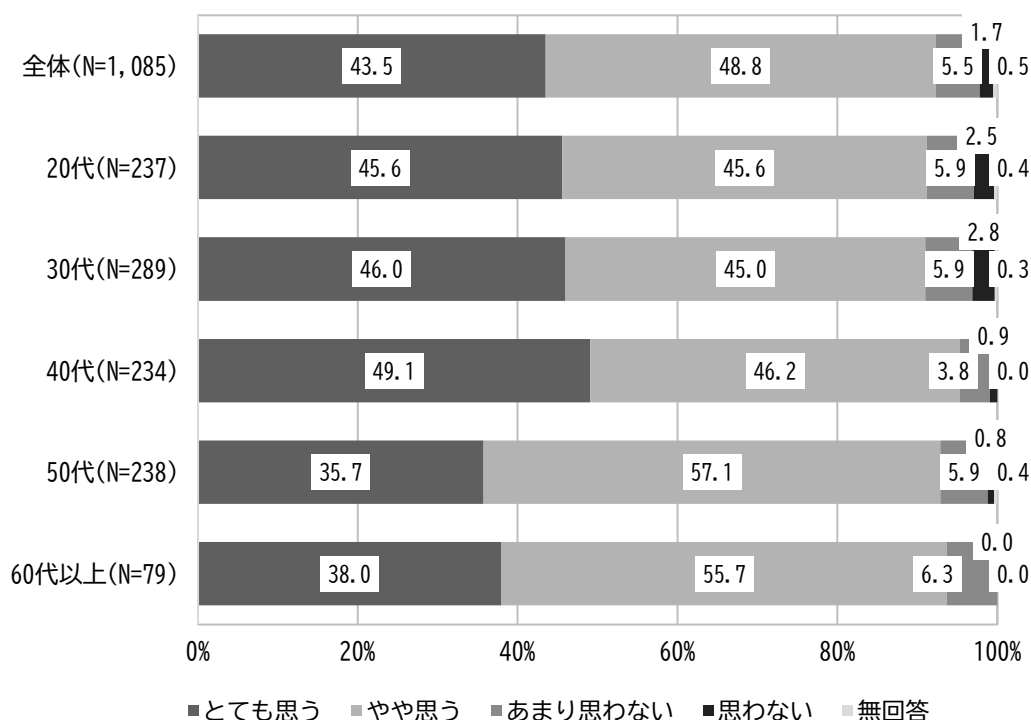
(2) ICT機器の導入、ICTの活用に対して感じていることについて

【ICT機器の導入効果に対する考え（問10）】

「ア 子どもたちの学習意欲が高まる」

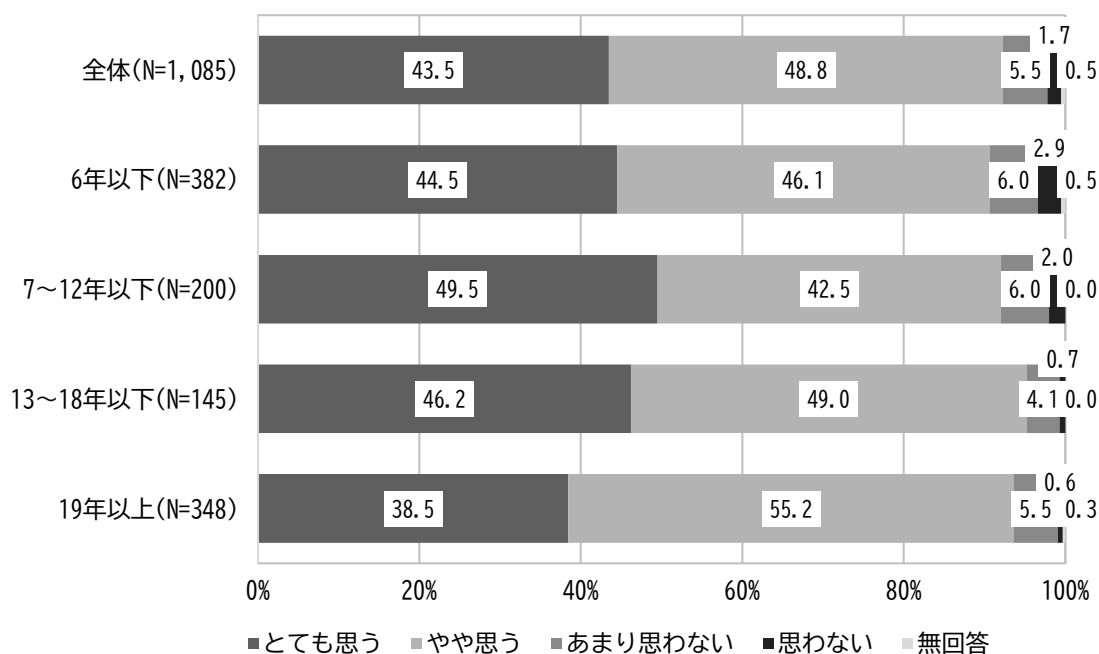
- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「ア 子どもたちの学習意欲が高まる」を年齢別でみると、年代にかかわらず、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が9割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

ア 子どもたちの学習意欲が高まる_年齢別



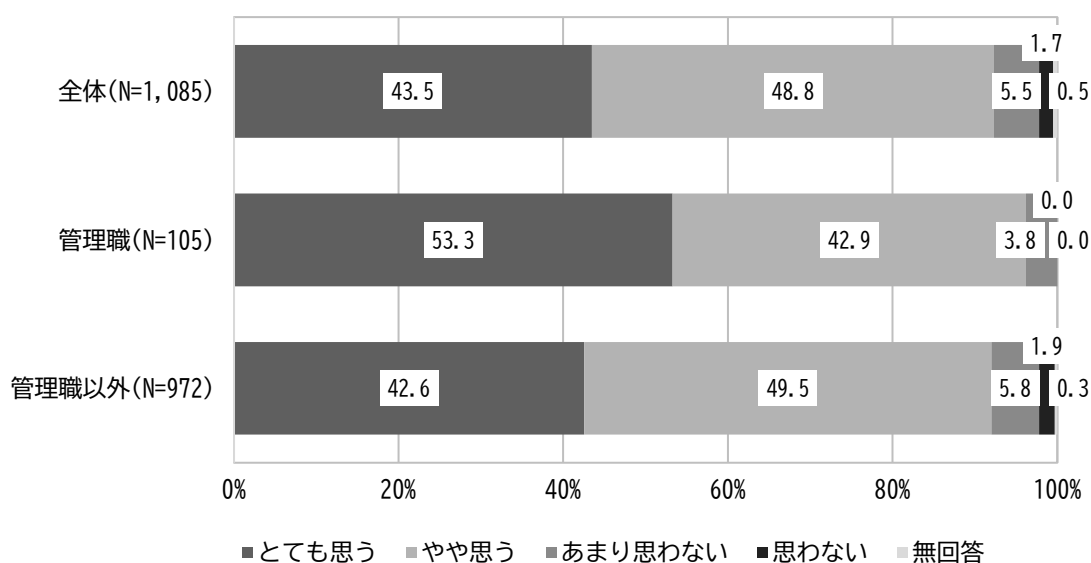
- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「ア 子どもたちの学習意欲が高まる」を経験年数別でみると、経験年数にかかわらず、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が9割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

ア 子どもたちの学習意欲が高まる_経験年数別



- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「ア 子どもたちの学習意欲が高まる」を管理職と管理職以外別でみると、管理職、管理職以外ともに効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が9割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

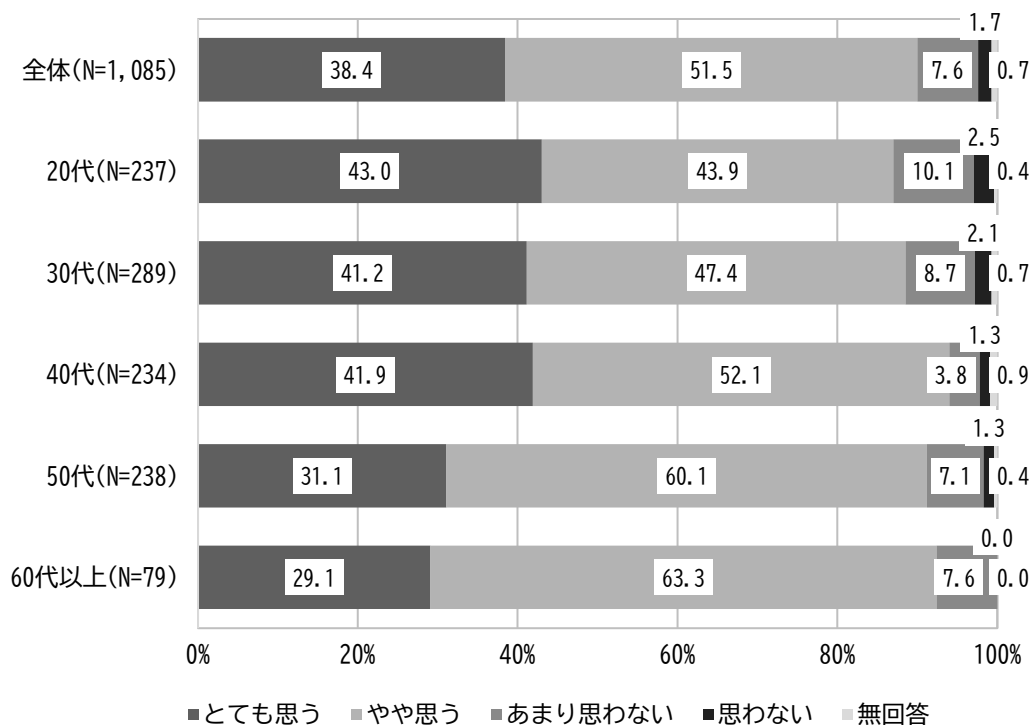
ア 子どもたちの学習意欲が高まる_管理職/管理職以外別



「イ 授業方法が改善される」

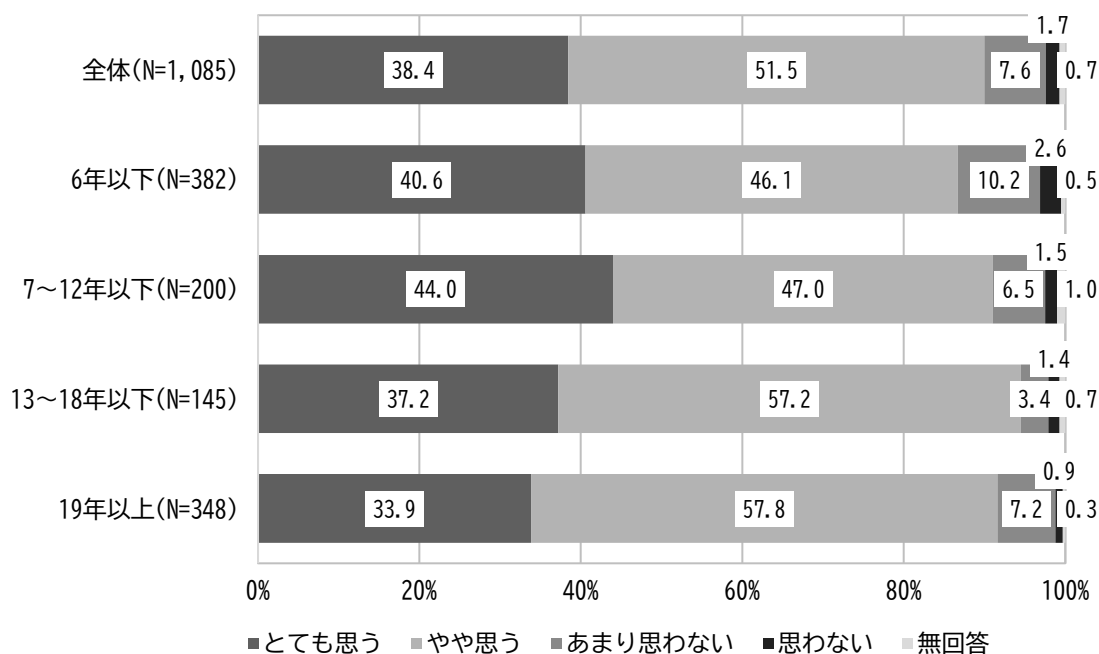
- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「イ 授業方法が改善される」を年齢別でみると、年代にかかわらず、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が8割台から9割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

イ 授業方法が改善される_年齢別



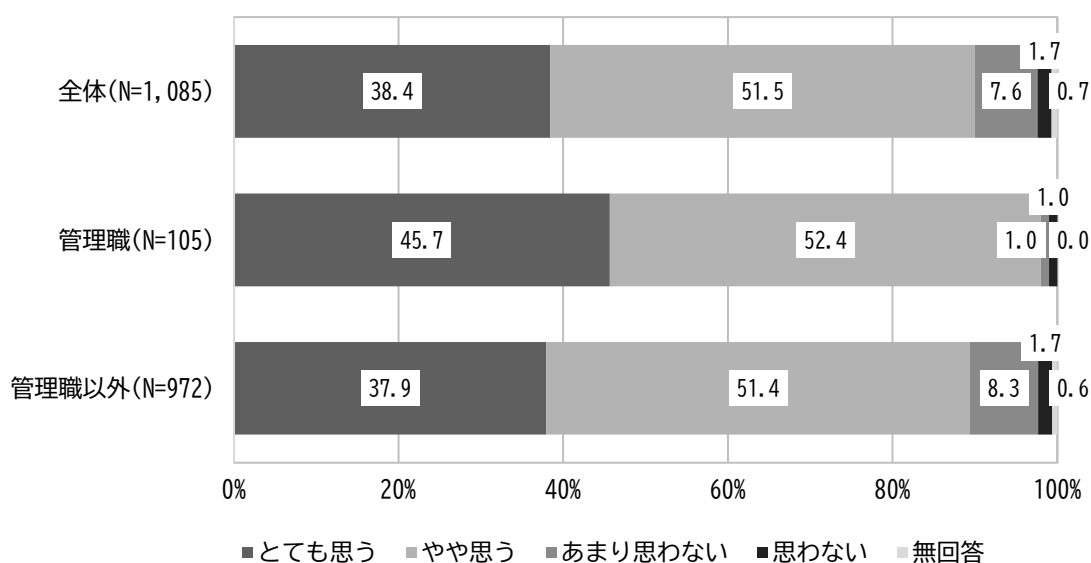
- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「イ 授業方法が改善される」を経験年数別でみると、経験年数にかかわらず、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が8割台から9割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

イ 授業方法が改善される_経験年数別



- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「イ 授業方法が改善される」を管理職と管理職以外別でみると、管理職、管理職以外ともに効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が8割台から9割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

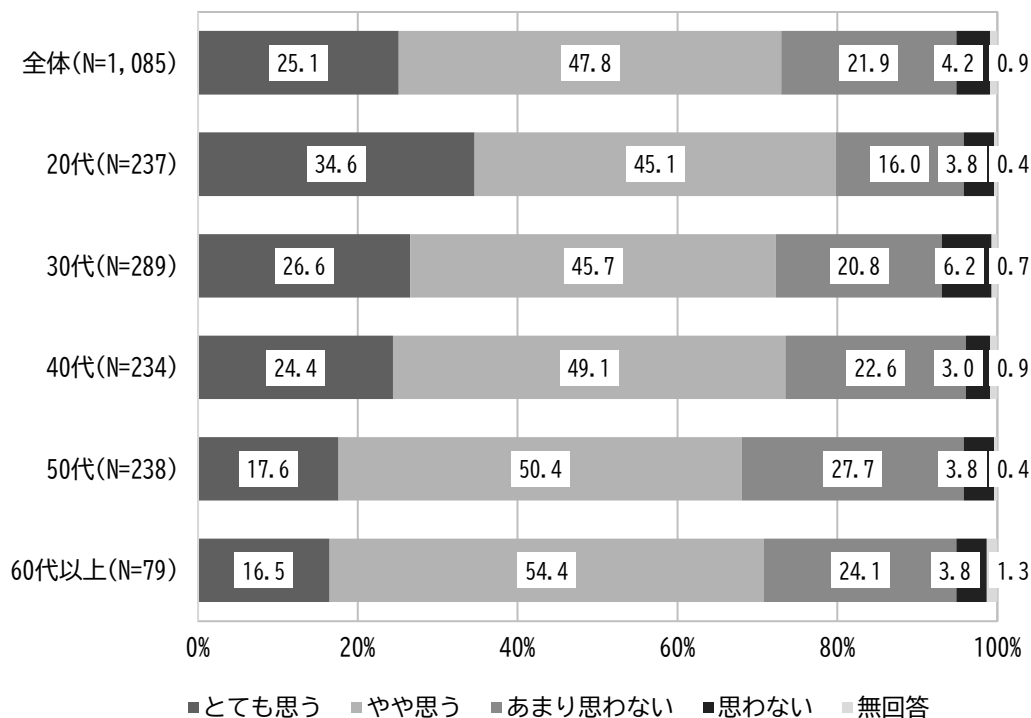
イ 授業方法が改善される_管理職/管理職以外別



「ウ 校内研究が活発になる」

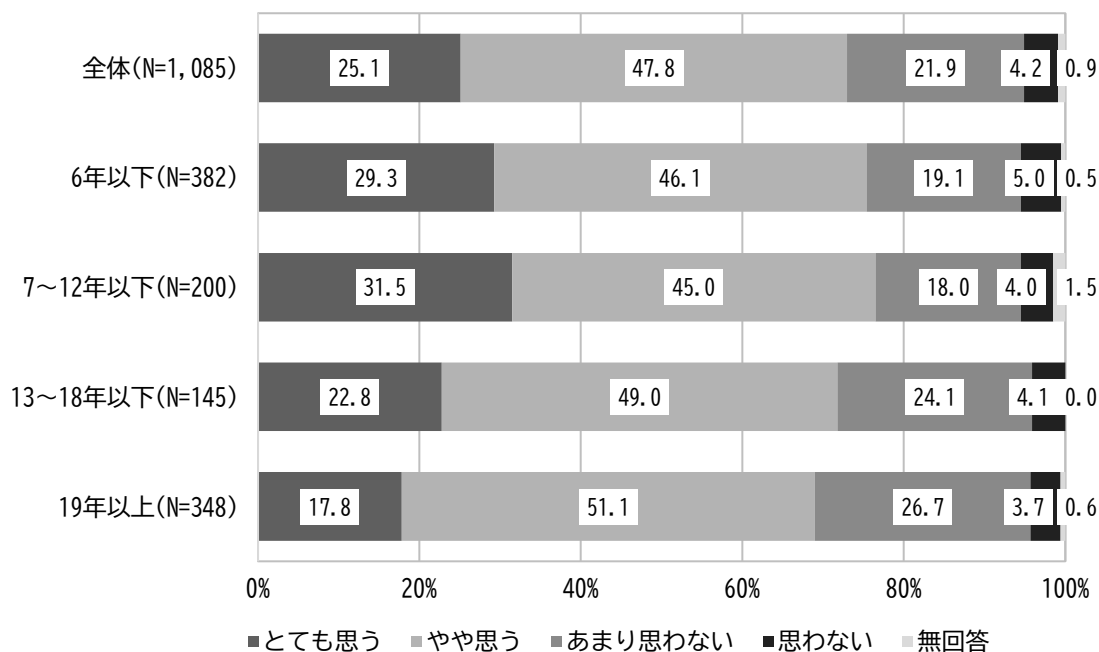
- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「ウ 校内研究が活発になる」を年齢別で見ると、年代にかかわらず、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が6割台から7割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

ウ 校内研究が活発になる_年齢別



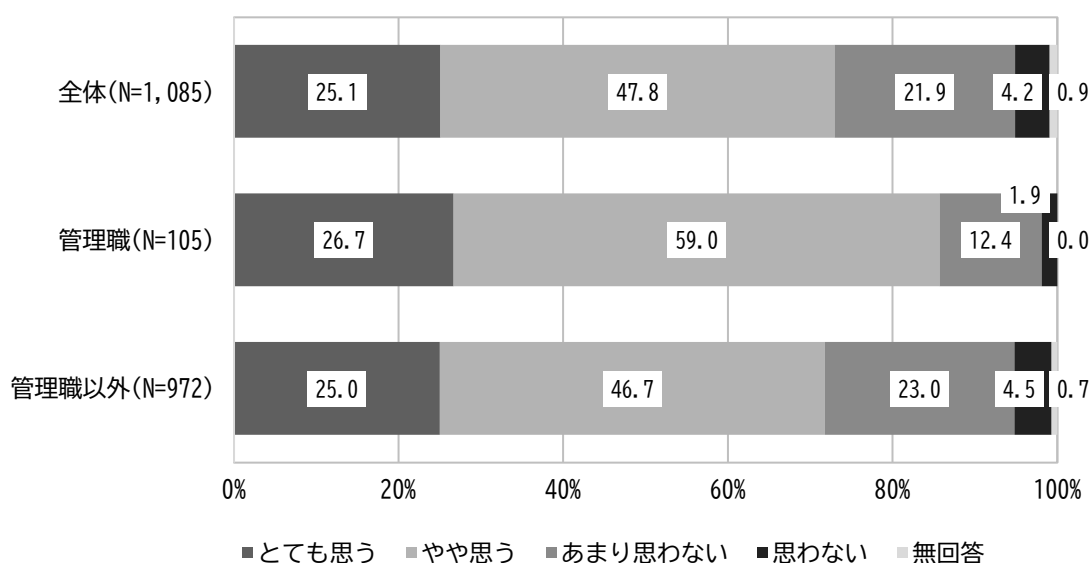
- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「ウ 校内研究が活発になる」を経験年数別で見ると、経験年数にかかわらず、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が6割台から7割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

ウ 校内研究が活発になる_経験年数別



- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「ウ 校内研究が活発になる」を管理職と管理職以外別で見ると、管理職、管理職以外ともに効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が7割台から8割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。
- 効果があると思う教員の割合をみると、管理職の方が効果をより感じています。

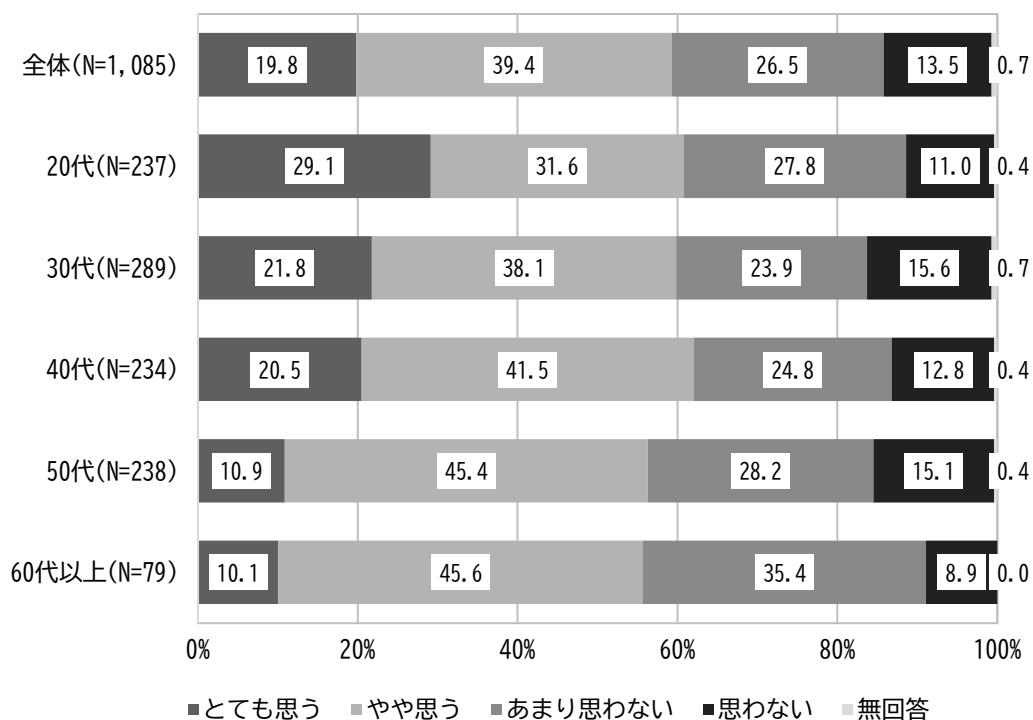
ウ 校内研究が活発になる_管理職/管理職以外別



「エ 業務の軽減につながる」

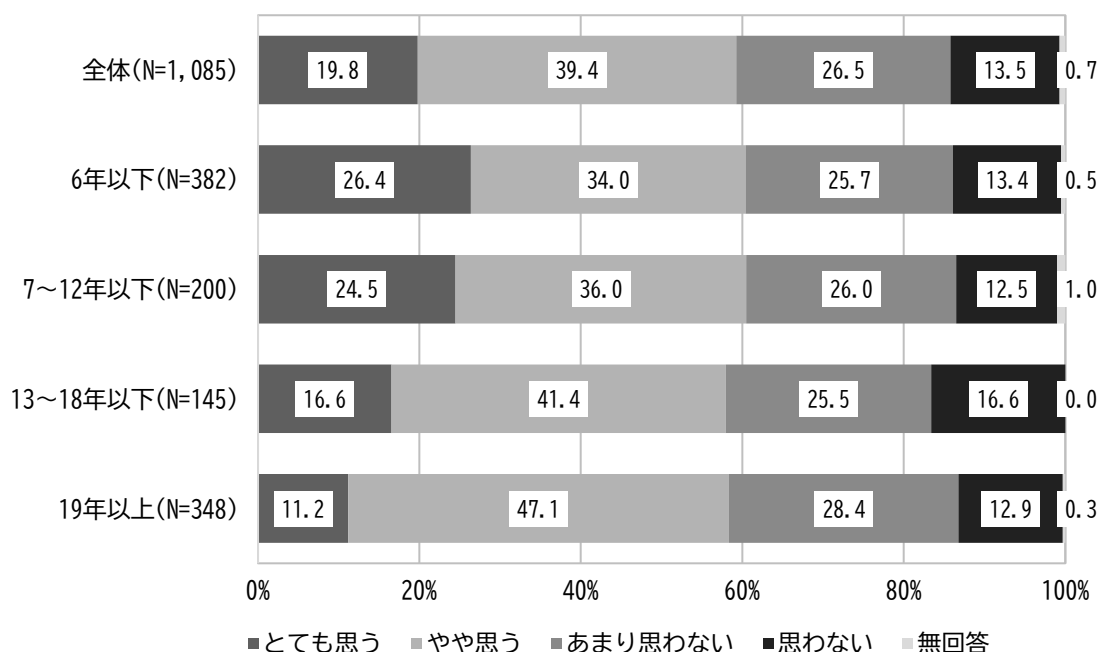
- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「エ 業務の軽減につながる」を年齢別で見ると、年代にかかわらず、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が5割台から6割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

エ 業務の軽減につながる_年齢別



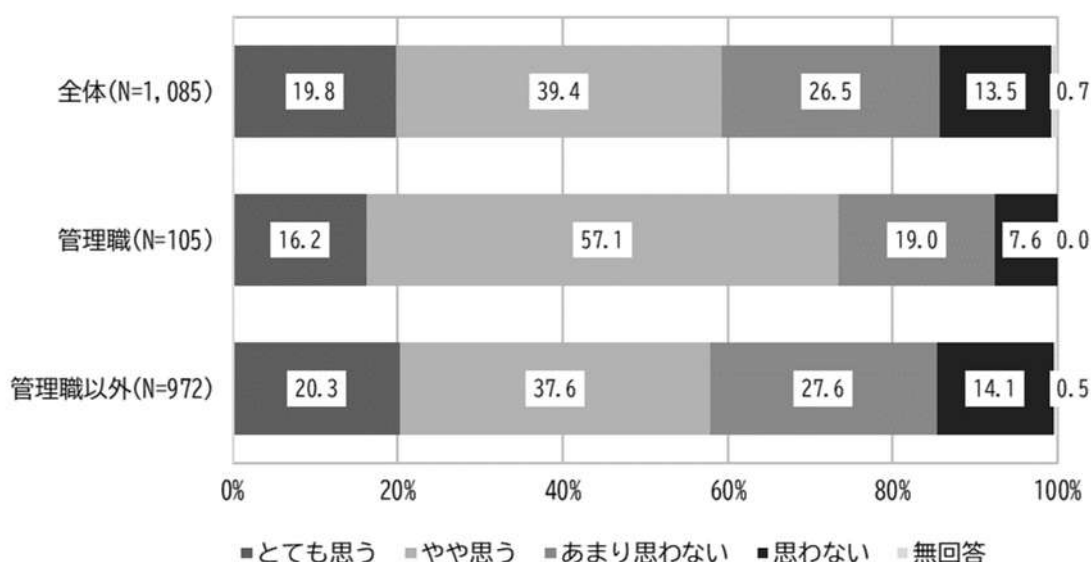
- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「エ 業務の軽減につながる」を経験年数別で見ると、経験年数にかかわらず、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）が5割台から6割台であり、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。

エ 業務の軽減につながる_経験年数別



- ICT機器の導入効果に対する考えについて、「エ 業務の軽減につながる」を管理職と管理職以外別で見ると、管理職、管理職以外ともに、効果があると思う教員（「とても思う」と「やや思う」の合計）の方が、効果があると思わない教員（「あまり思わない」と「思わない」の合計）よりも多くなっています。
- 効果があると思う教員の割合をみると、管理職は 73.3%、管理職以外は 57.9%であり、効果の感じ方に差がみられます。

エ 業務の軽減につながる_管理職/管理職以外別

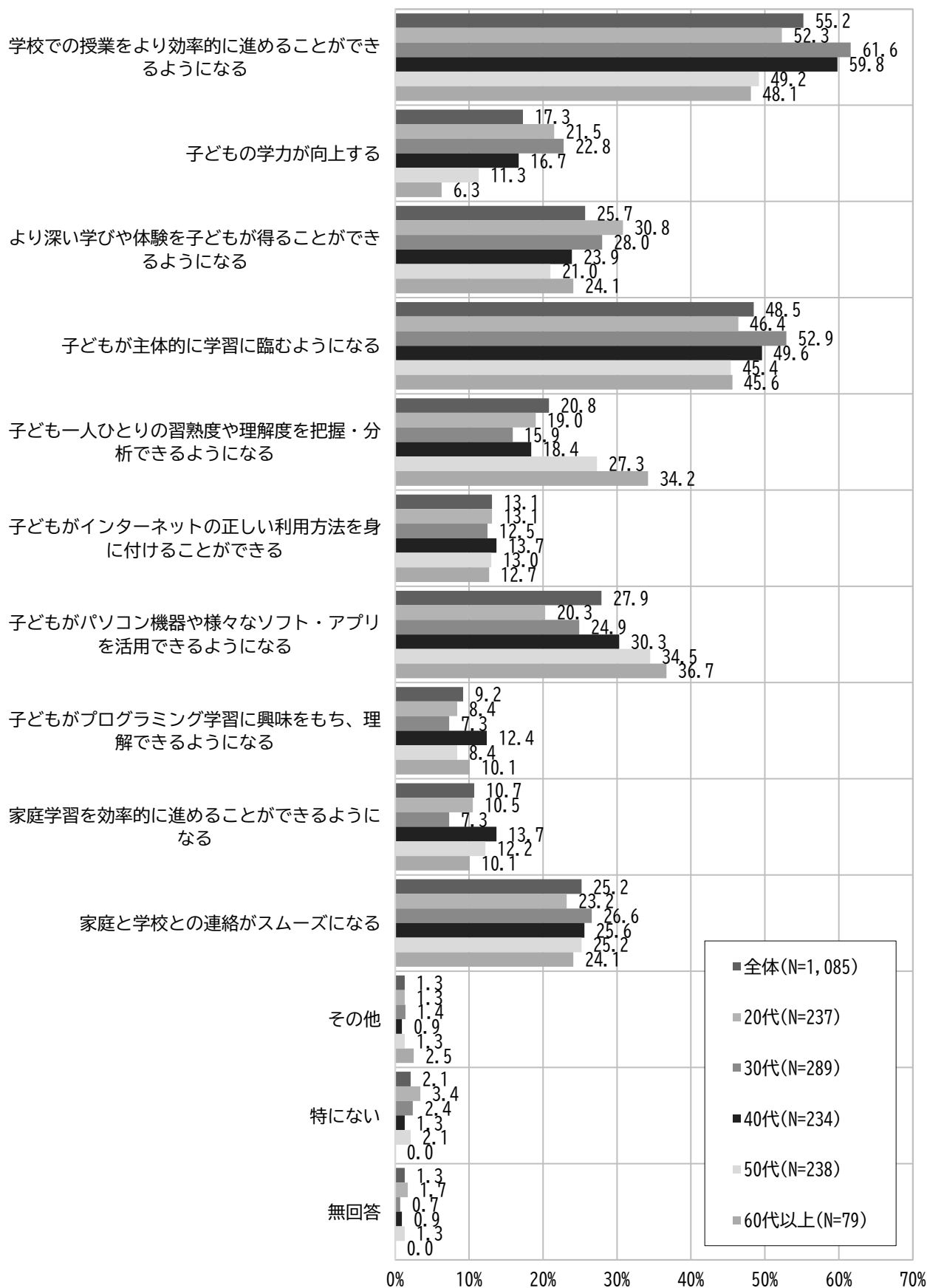


【学校教育におけるICTの活用（デジタル教科書・教材の採用、タブレット端末を活用した授業の導入等）について、期待する効果（問11）】

- 学校教育におけるICTの活用（デジタル教科書・教材の採用、タブレット端末を活用した授業の導入等）に期待する効果を年齢別でみると、年代にかかわらず、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が最も多く、ついで「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が続きます。

（グラフは次ページ）

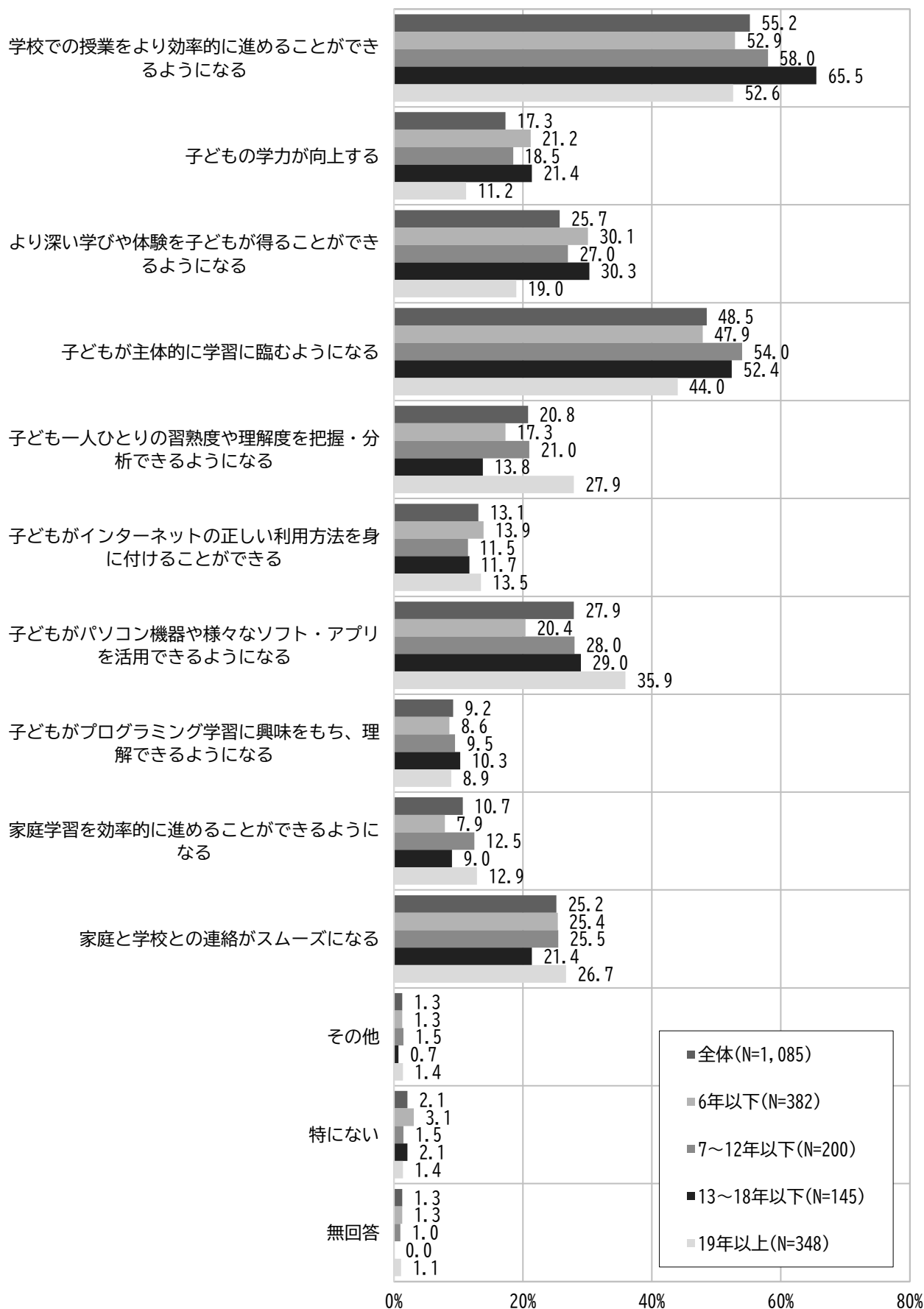
期待する効果_年齢別



- 学校教育におけるICTの活用（デジタル教科書・教材の採用、タブレット端末を活用した授業の導入等）に期待する効果を経験年数別で見ると、経験年数にかかわらず、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が最も多く、ついで「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が続きます。

（グラフは次ページ）

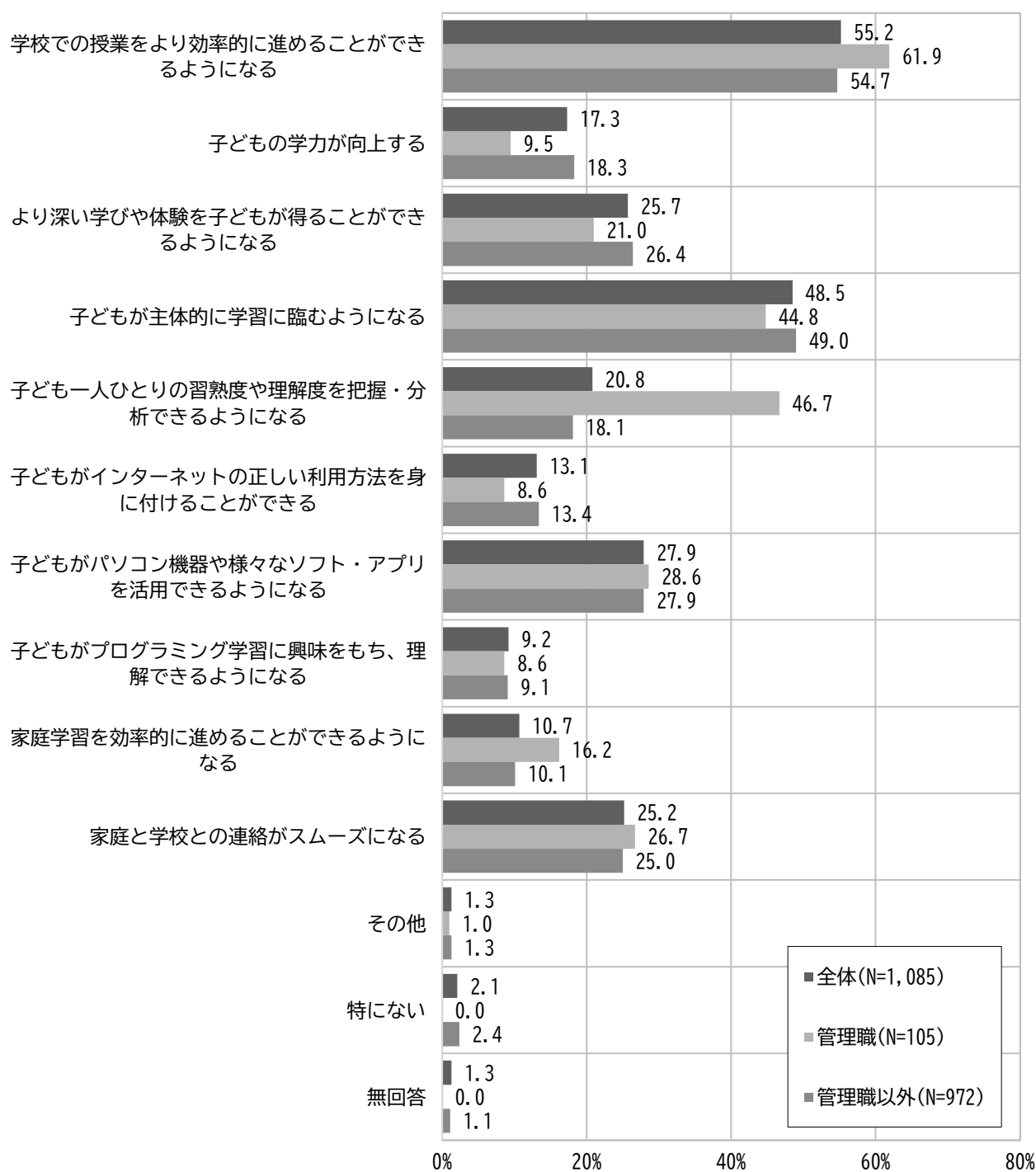
期待する効果_経験年数別



- 学校教育におけるICTの活用（デジタル教科書・教材の採用、タブレット端末を活用した授業の導入等）に期待する効果を管理職と管理職以外別で見ると、管理職、管理職以外ともに「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が最も多くなっています。ついで、管理職は「子ども一人ひとりの習熟度や理解度を把握・分析できるようになる」、管理職以外は「子どもが主体的に学習に臨むようになる」が続きます。
- 管理職と管理職以外で「子ども一人ひとりの習熟度や理解度を把握・分析できるようになる」について、意識の差がみられます。

（グラフは次ページ）

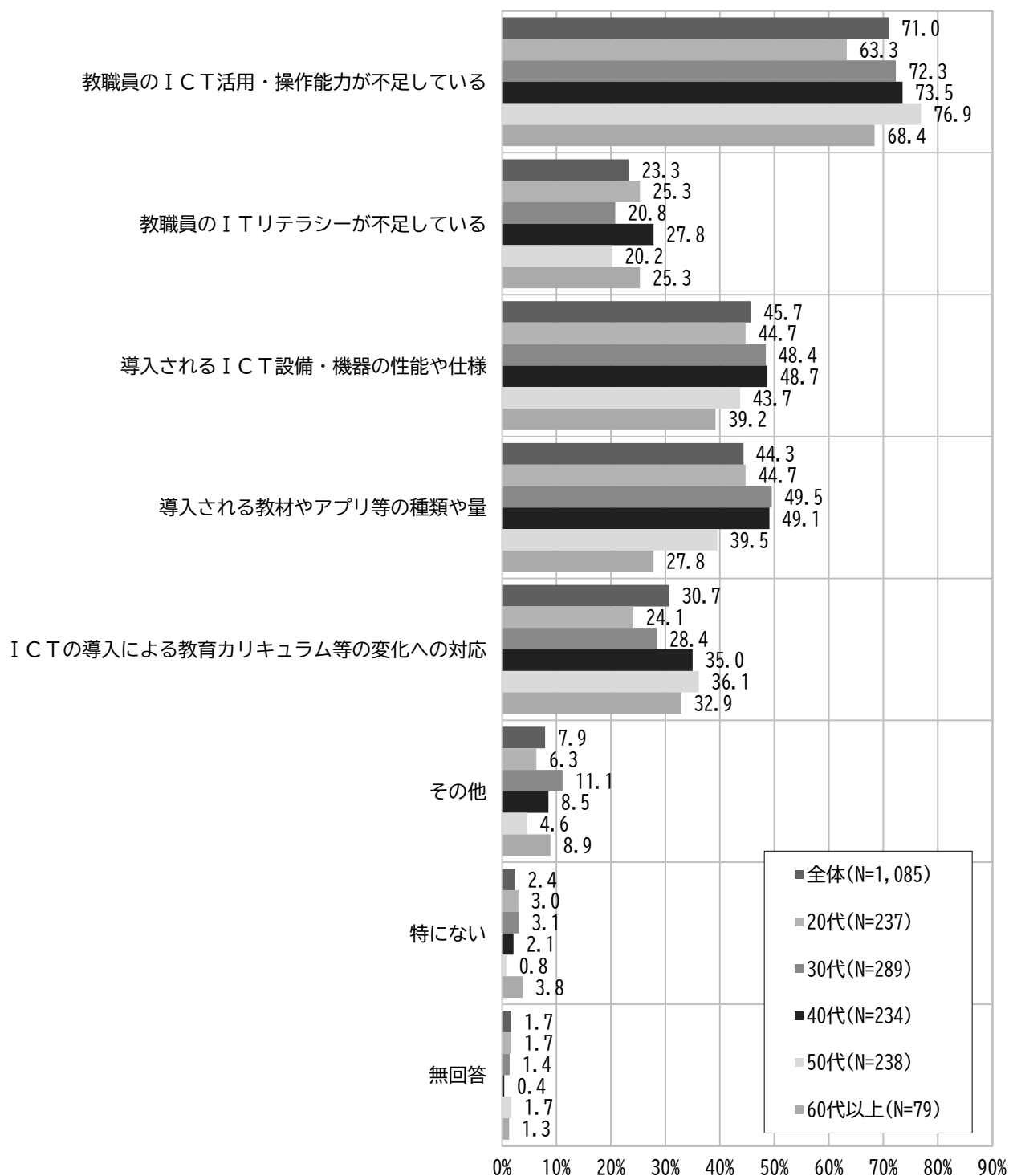
期待する効果_管理職/管理職以外別



【学校でICTをさらに活用していくに当たって不安なこと（問12）】

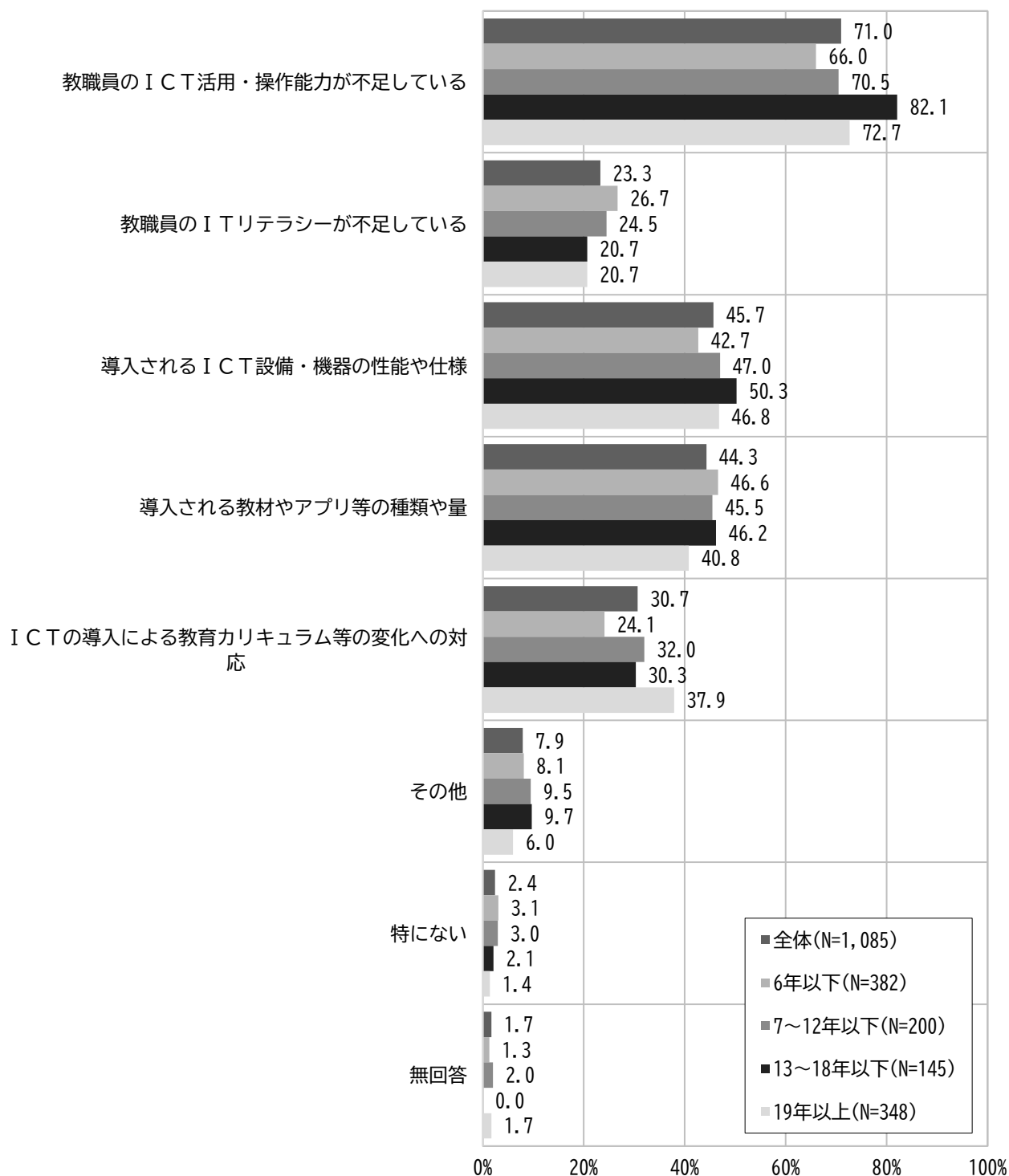
- 学校でICTをさらに活用していくに当たって不安なことについて、年齢別でみると、年代にかかわらず、「教職員のICT活用・操作能力が不足している」が最も多くなっています。

ICT活用で不安なこと_年齢別



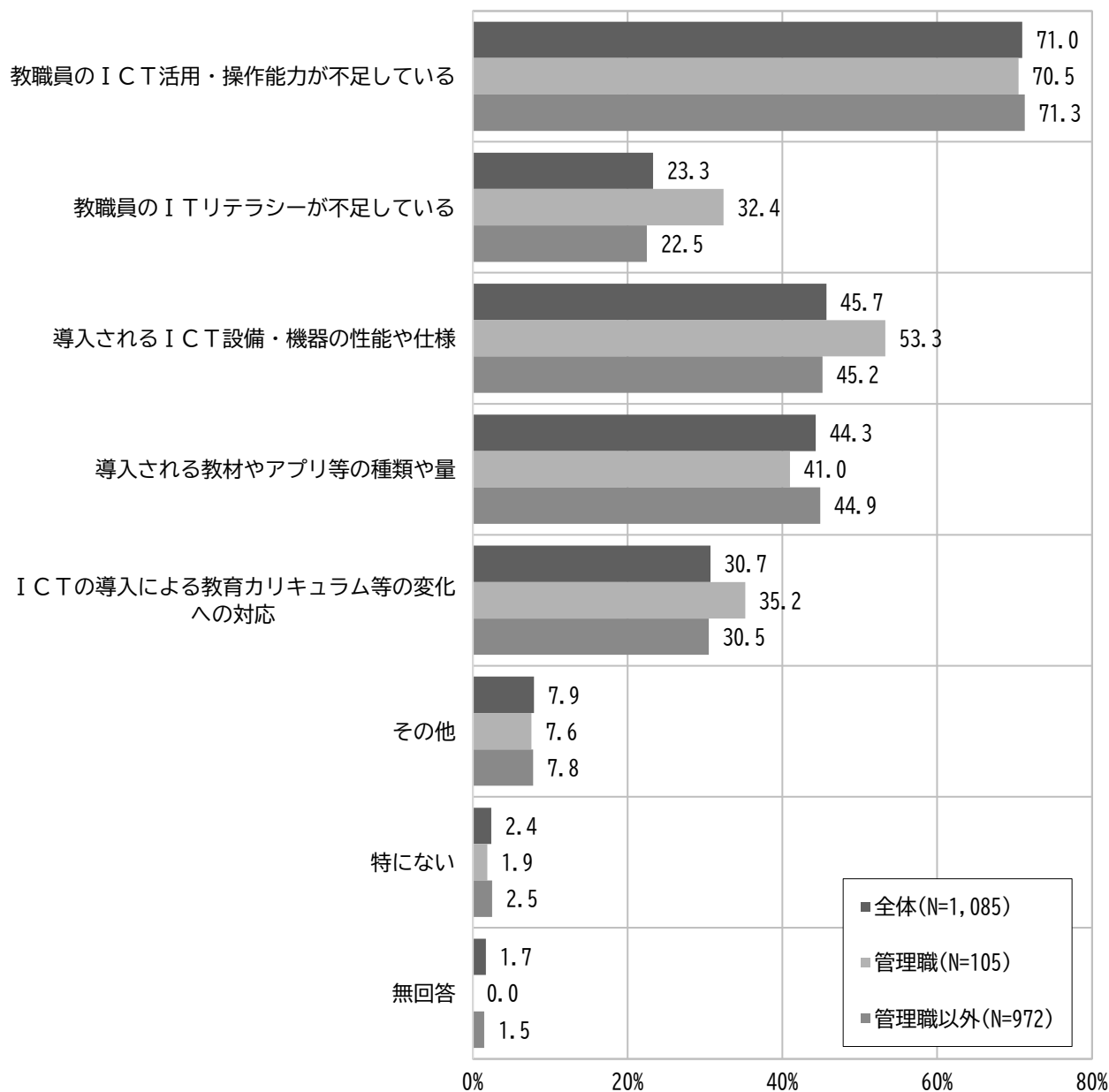
- 学校でICTをさらに活用していくに当たって不安なことについて、経験年数別でみると、経験年数にかかわらず、「教職員のICT活用・操作能力が不足している」が最も多くなっています。

ICT活用で不安なこと_経験年数別



- 学校でICTをさらに活用していくに当たって不安なことについて、管理職と管理職以外別でみると、管理職、管理職以外ともに「教職員のICT活用・操作能力が不足している」が最も多くなっています。

ICT活用で不安なこと_管理職/管理職以外別

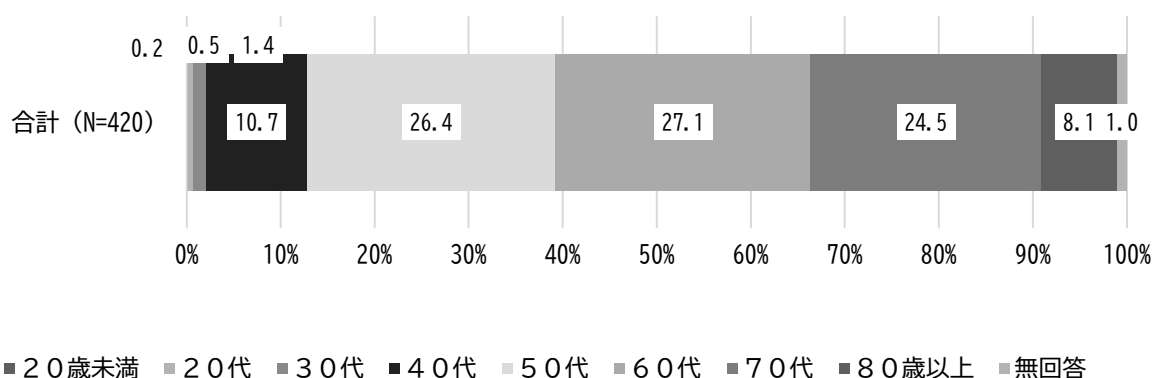


第6章 社会教育関係者調査結果

1 あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ) ※令和4年10月1日現在

○ 年齢は、「60代」が27.1%と最も多く、ついで「50代」が26.4%、「70代」が24.5%で続きます。



【前回調査との比較】

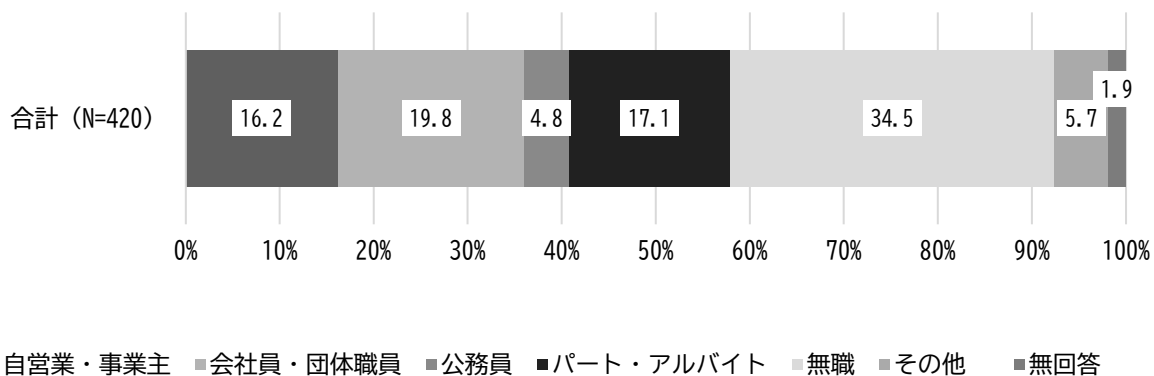
○ 50代以上の割合をみると、本調査と平成29年度調査はほぼ横ばいです。

■ 50代以上の割合 (単位 %)

属性	令和4年	平成29年
全体	86.1	86.9

問2 あなたの職業を教えてください。(〇は1つ)

○ 職業は、「無職」が34.5%と最も多く、ついで「会社員・団体職員」が19.8%、「パート・アルバイト」が17.1%で続きます。



【前回調査との比較】

○ 職業の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「無職」が最上位となっています。

■ 職業の割合の最上位 (単位 %)

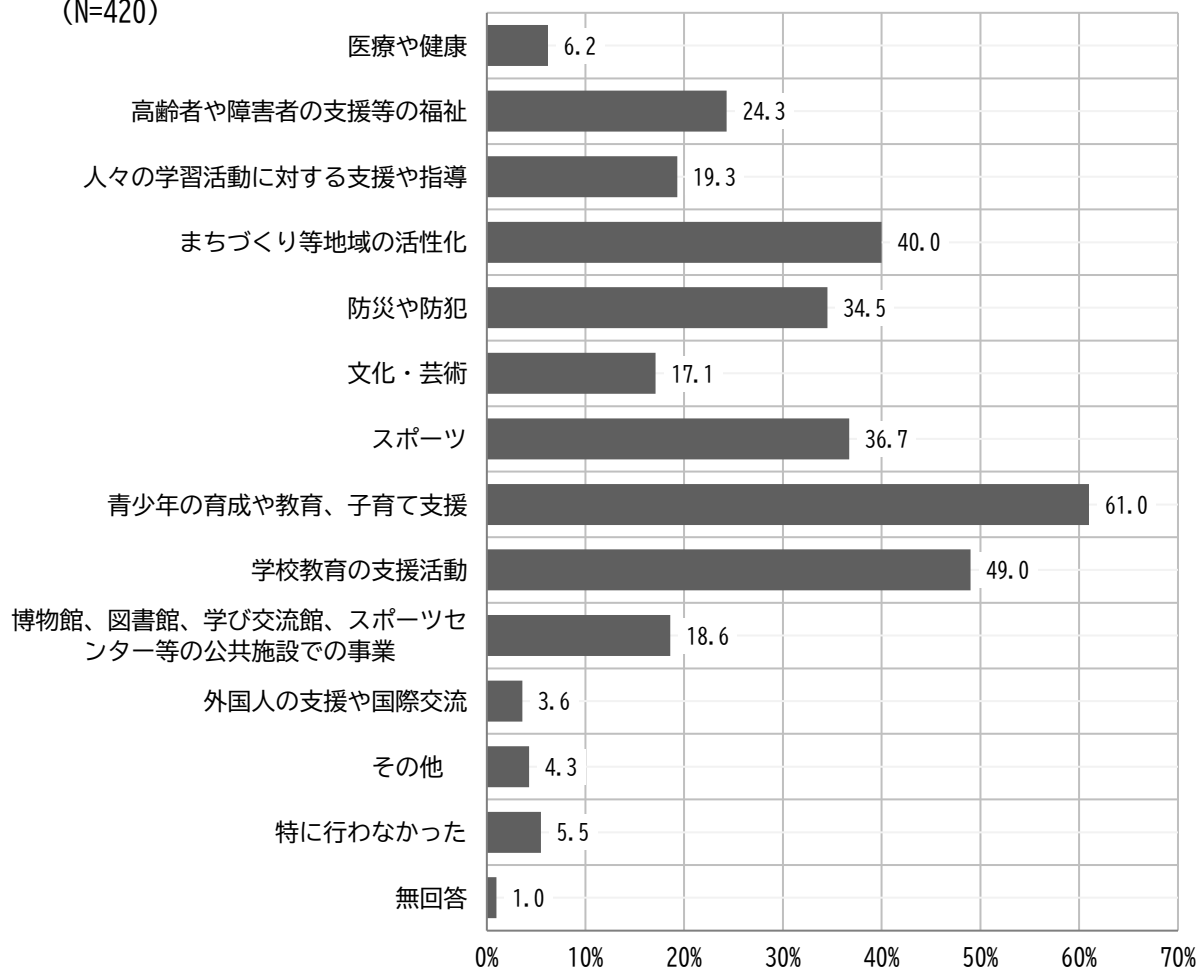
属性	令和4年	平成29年
全体	無職 (34.5)	無職 (31.6)

2 生涯学習についてお聞きします。

問3 あなたは、これまでにどのような地域活動やボランティア活動に参加しましたか。(〇はいくつでも)

- 参加した地域活動やボランティア活動は、「青少年の育成や教育、子育て支援」が 61.0%と最も多く、ついで「学校教育の支援活動」が 49.0%、「まちづくり等地域の活性化」が 40.0%で続きます。
- この1年間に何らかの地域活動やボランティア活動に参加したことがある人は 93.5%です。(全体から「特に行わなかった」と「無回答」を除いて算出しました。)

(N=420)



【前回調査との比較】

- 地域活動やボランティア活動への参加の割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、「青少年の育成や教育、子育て支援」、「学校教育の支援活動」、「まちづくり等地域の活性化」が上位3位となっています。

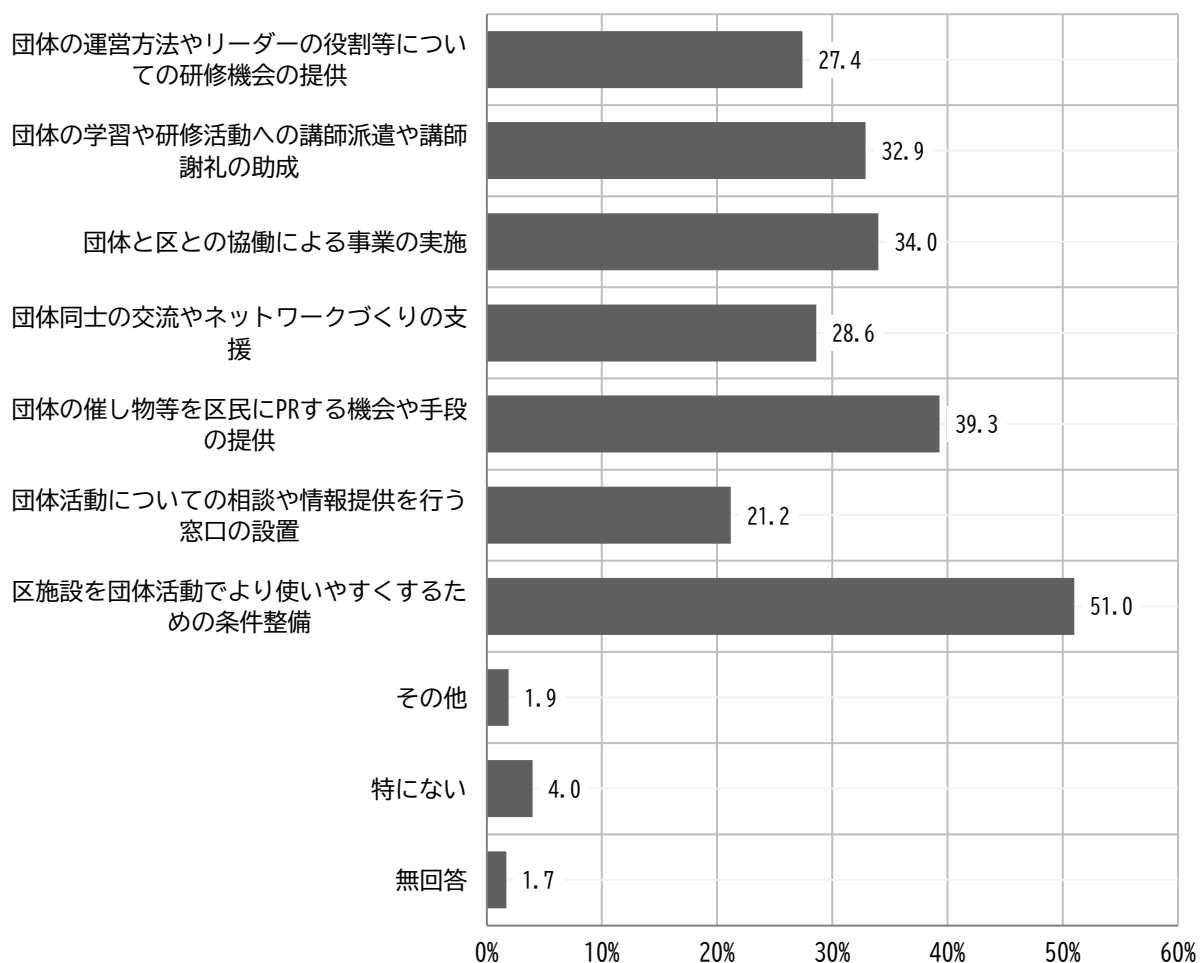
■ 地域活動やボランティア活動への参加の割合の上位3位 (単位 %)

順位	令和4年	平成29年
1	青少年の育成や教育、子育て支援 (61.0)	青少年の育成や教育、子育て支援 (51.1)
2	学校教育の支援活動 (49.0)	学校教育の支援活動 (46.1)
3	まちづくり等地域の活性化 (40.0)	まちづくり等地域の活性化 (33.4)

問 4 ボランティアグループや地域団体等による様々な自主的活動を盛んにするために、どのような区の支援が有効（必要）とお考えですか。（〇は3つまで）

○ ボランティアグループや地域団体等の自主的活動を盛んにするために有効（必要）な区の支援は、「区施設を団体活動でより使いやすくするための条件整備」が 51.0%と最も多く、ついで「団体の催し物等を区民に PR する機会や手段の提供」が 39.3%、「団体と区との協働による事業の実施」が 34.0%で続きます。

(N=420)



【前回調査との比較】

- ボランティアグループや地域団体等の自主的活動を盛んにするために有効（必要）な区の支援の割合をみると、平成 29 年度調査では、「団体の学習や研修活動への講師派遣や講師謝礼の助成」、「区施設を団体活動でより使いやすくするための条件整備」、「団体の催し物等を区民に PR する機会や手段の提供」が上位 3 位となっていました。
- 本調査では、「団体と区との協働による事業の実施」が上位 3 位に入っています（前回調査では 4 位）。

■ ボランティアグループや地域団体等の自主的活動を盛んにするために有効（必要）な区の支援の割合の上位 3 位

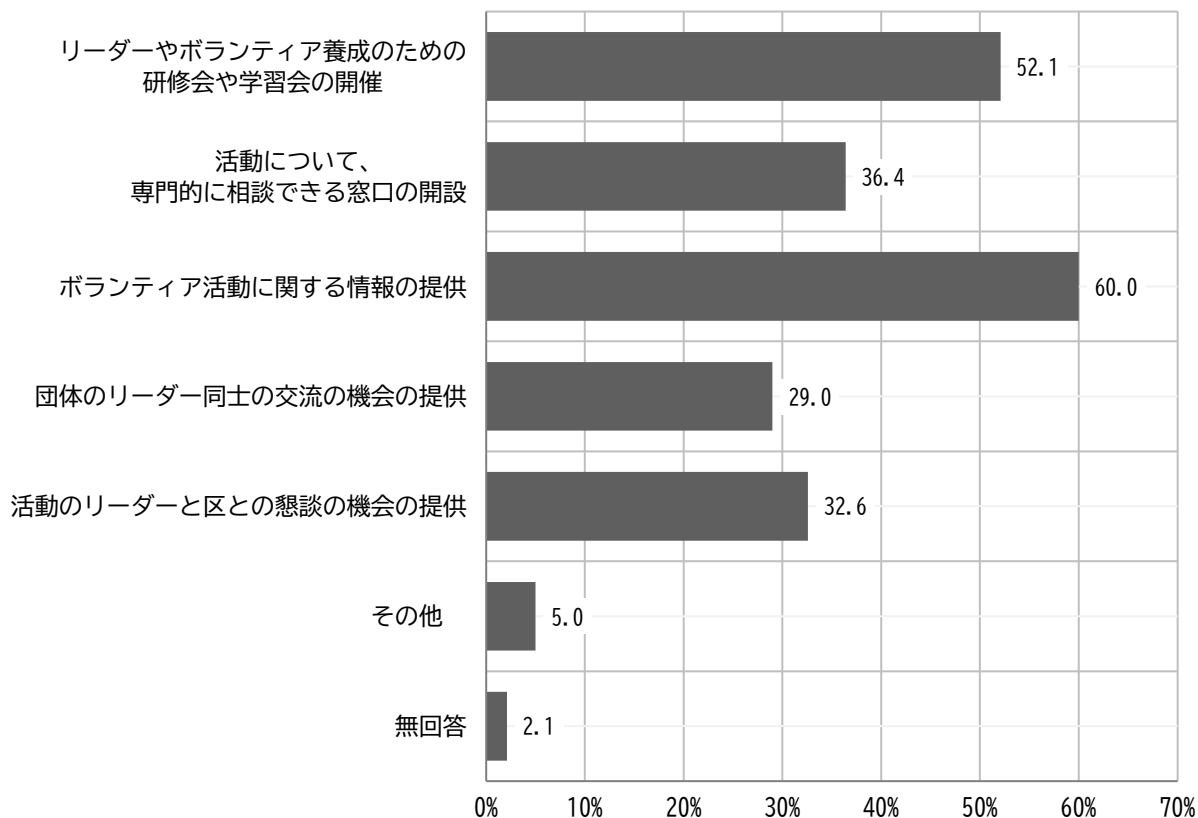
（単位 %）

順位	令和 4 年	平成 29 年
1	区施設を団体活動でより使いやすくするための条件整備 (51.0)	団体の学習や研修活動への講師派遣や講師謝礼の助成 (51.6)
2	団体の催し物等を区民に PR する機会や手段の提供 (39.3)	区施設を団体活動でより使いやすくするための条件整備 (51.3)
3	団体と区との協働による事業の実施 (34.0)	団体の催し物等を区民に PR する機会や手段の提供 (40.0)

問5 地域活動・学習活動のリーダーやボランティアを増やすために、どのような区の支援が有効（必要）とお考えですか。（〇は3つまで）

- 地域活動・学習活動のリーダーやボランティアを増やすために有効（必要）な区の支援は、「ボランティア活動に関する情報の提供」が60.0%と最も多く、ついで「リーダーやボランティア養成のための研修会や学習会の開催」が52.1%、「活動について、専門的に相談できる窓口の開設」が36.4%で続きます。

(N=420)



【前回調査との比較】

- 地域活動・学習活動のリーダーやボランティアを増やす有効（必要）な区の支援の割合の上位3位をみると、平成29年度調査では、「リーダーやボランティア養成のための研修会や学習会の開催」、「ボランティア活動に関する情報の提供」、「活動のリーダーと区との懇談の機会の提供」が上位3位となっていました。
- 本調査では、「活動について、専門的に相談できる窓口の開設」が上位3位に入っています（前回調査では4位）。

■地域活動・学習活動のリーダーやボランティアを増やす有効（必要）な区の支援の割合の上位3位（単位 %）

順位	令和4年	平成29年
1	ボランティア活動に関する情報の提供 (60.0)	リーダーやボランティア養成のための研修会や学習会の開催 (56.5)
2	リーダーやボランティア養成のための研修会や学習会の開催 (52.1)	ボランティア活動に関する情報の提供 (52.8)
3	活動について、専門的に相談できる窓口の開設 (36.4)	活動のリーダーと区との懇談の機会の提供 (35.5)

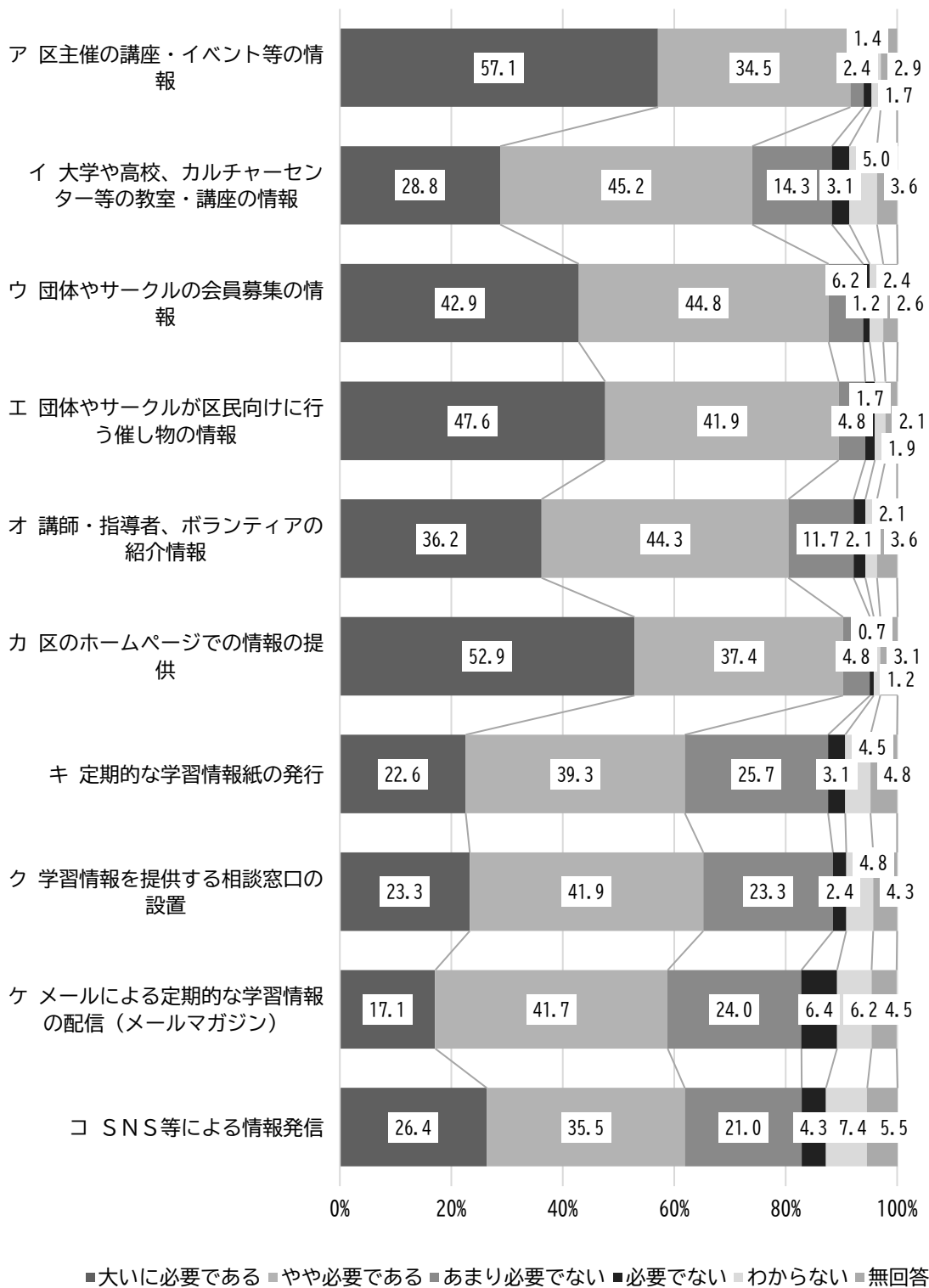
問6 区では「葛飾区講座・イベント情報」等で学習情報の提供を行っています。生涯学習を推進していくために、どのような学習情報や提供方法が必要と考えますか。（○はそれぞれ1つずつ）

- 生涯学習を推進していくために有効（必要）な学習情報や提供方法は、全ての項目で、必要だと感じている人（「大いに必要である」と「やや必要である」の合計）が5割台～9割台となっています。
- 特に「大いに必要である」については、「ア 区主催の講座・イベント等の情報」が57.1%と最も多く、ついで「カ 区のホームページでの情報の提供」が52.9%、「エ 団体やサークルが区民向けに行う催し物の情報」が47.6%で続きます。

（グラフは次ページ）

第6章 社会教育関係者調査結果

(N=420)



※【前回調査との比較】は、本調査と平成29年調査の選択肢が異なるため、記載していない。

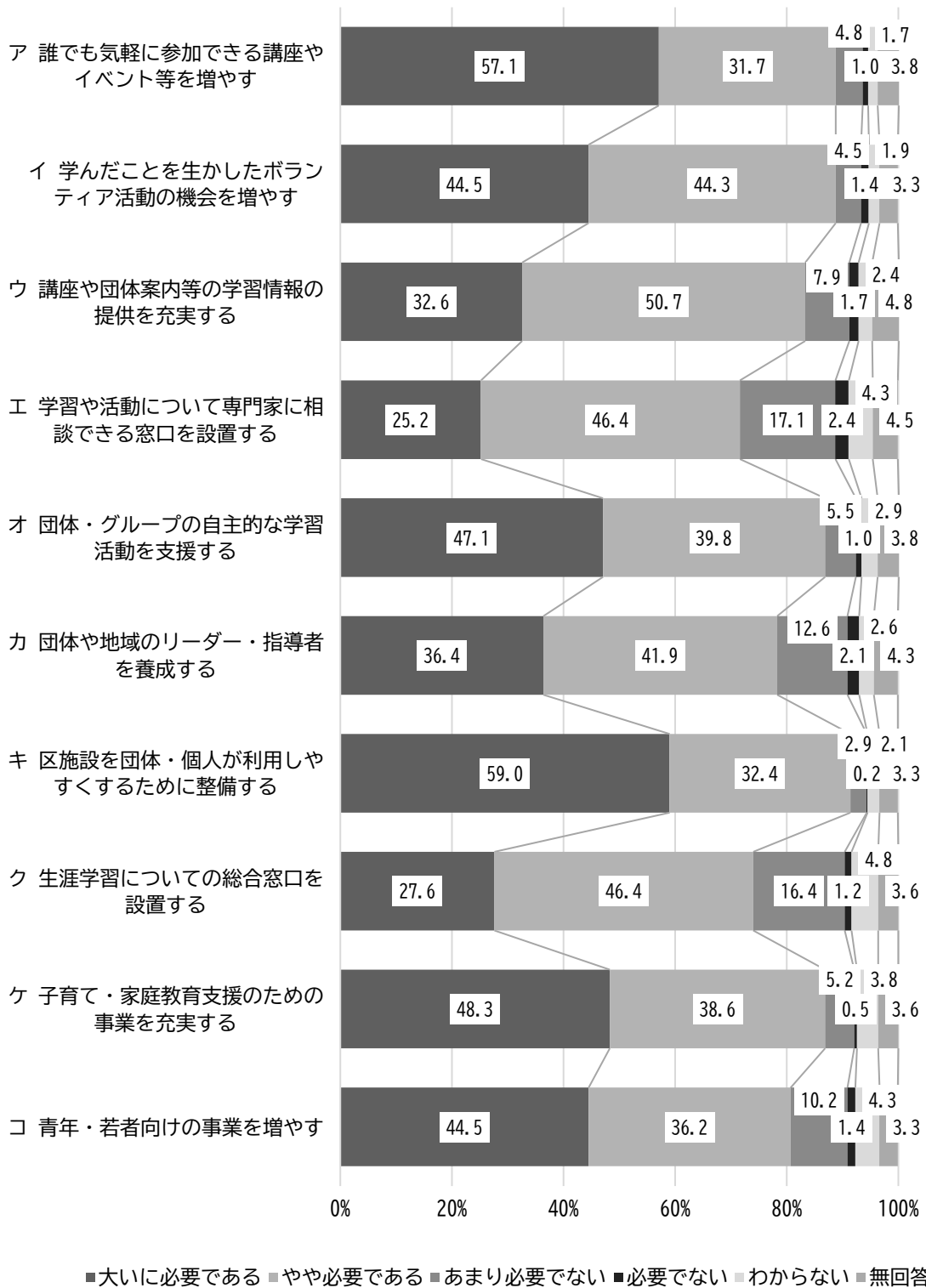
問7 今後、区民の生涯学習が活発になるために、区としてどのような取組が必要とお考えですか。（〇はそれぞれ1つつ）

- 区民の生涯学習が活発になるために必要な区の実施は、全ての項目で、必要だと感じている人（「大いに必要である」と「やや必要である」の合計）は7割台～9割台となっています。
- 「大いに必要である」が5割以上となっている項目は、「ア 誰でも気軽に参加できる講座やイベント等を増やす」（57.1%）と「キ 区施設を団体・個人が利用しやすくするために整備する」（59.0%）です。

（グラフは次ページ）

第6章 社会教育関係者調査結果

(N=420)

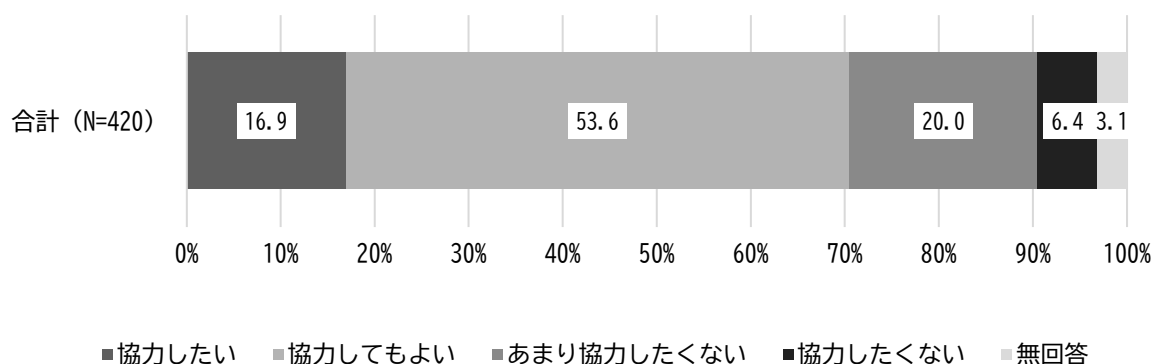


※【前回調査との比較】は、本調査と平成29年調査の選択肢が異なるため、記載していない。

3 スポーツについてお聞きします。

問8 地域住民が主体となって運営する「かつしか地域スポーツクラブ」は、子どもから高齢の方まで色々な形でスポーツを楽しむことができるクラブです。あなたは「かつしか地域スポーツクラブ」の活動に協力してみたいとお考えですか。（〇は1つ）

- 「かつしか地域スポーツクラブ」の活動への協力意向は、「協力してもよい」が53.6%と最も多く、ついで「あまり協力したくない」が20.0%、「協力したい」が16.9%で続きます。
- 「かつしか地域スポーツクラブ」に協力してみたいと思う人（「協力したい」と「協力してもよい」の合計）は70.5%となっています。



【前回調査との比較】

- 「かつしか地域スポーツクラブ」に協力してみたいと思う人（「協力したい」と「協力してもよい」の合計）の割合をみると、平成29年度調査の67.3%に対し、本調査は70.5%と多くなっています。

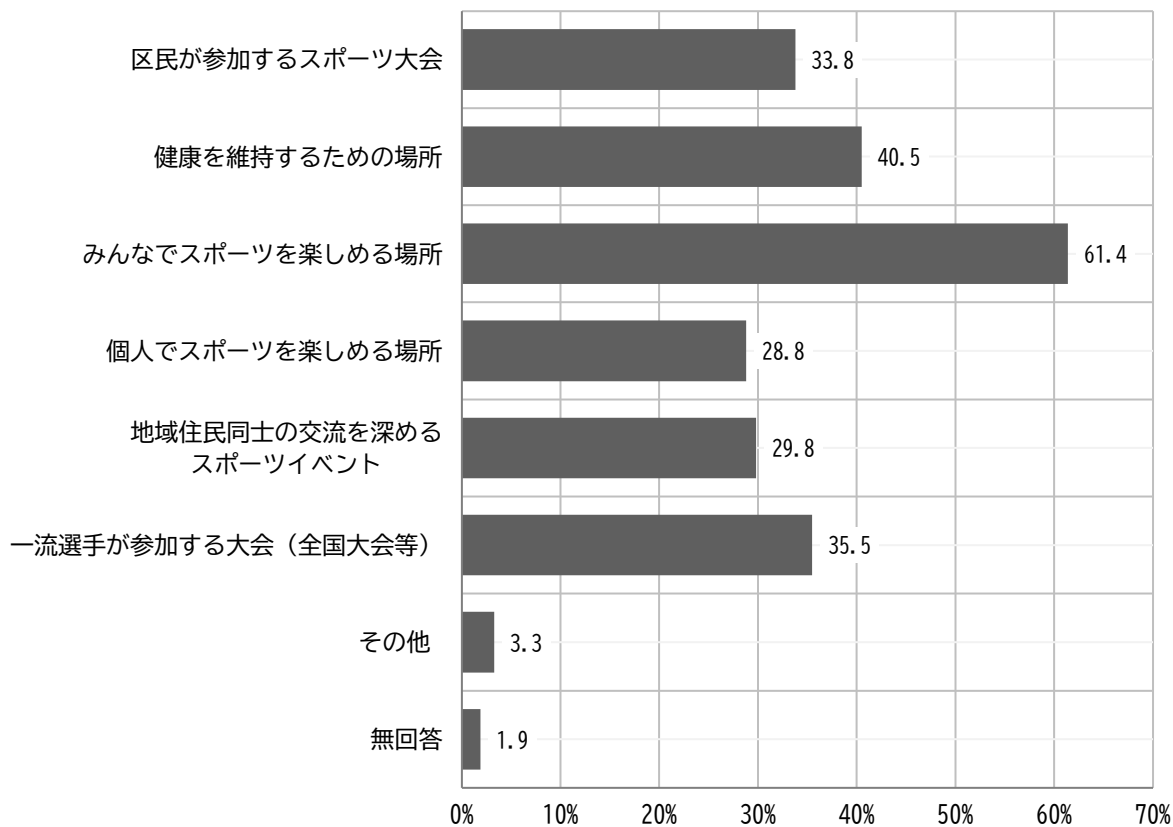
■ 「かつしか地域スポーツクラブ」に協力してみたいと思う人（「協力したい」と「協力してもよい」の合計）の割合
（単位 %）

令和4年	平成29年
70.5	67.3

問9 令和2年に水元公園内の東金町運動場内にスポーツライミングセンターを新設しました。あなたがこの施設に特に期待することは何ですか。（〇は3つまで）

- 東金町運動場内のスポーツライミングセンターに特に期待することは、「みんなでスポーツを楽しめる場所」が61.4%と最も多く、ついで「健康を維持するための場所」が40.5%、「一流選手が参加する大会（全国大会等）」が35.5%で続きます。

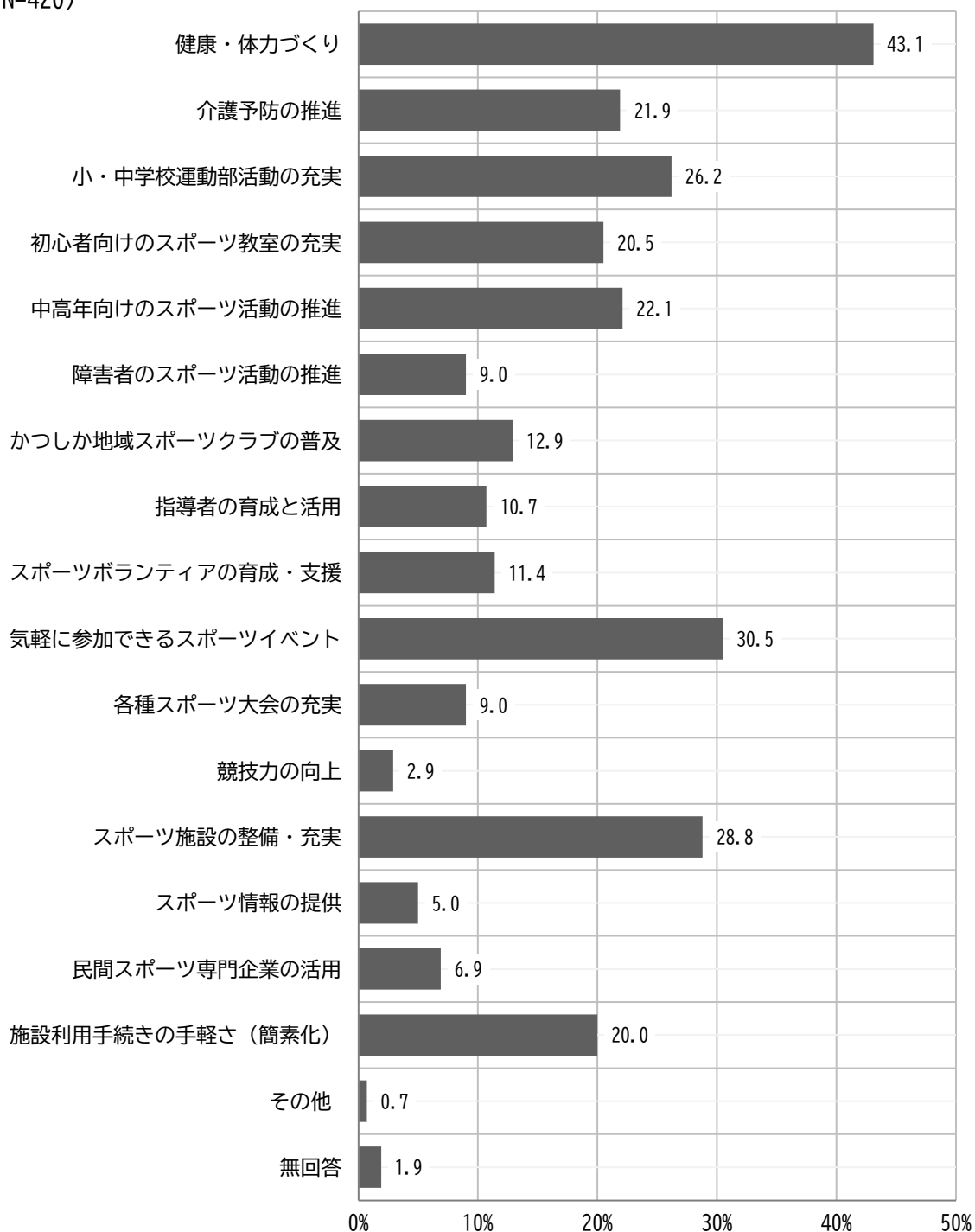
(N=420)



問10 今後、区民の運動やスポーツ活動を推進するため、区はどのようなことに力を入れるべきとお考えですか。（〇は3つまで）

○ 区民の運動やスポーツ活動を推進するために力を入れるべき区の実組は、「健康・体力づくり」が43.1%と最も多く、ついで「気軽に参加できるスポーツイベント」が30.5%、「スポーツ施設の整備・充実」が28.8%で続きます。

(N=420)



【前回調査との比較】

○ 区民の運動やスポーツ活動を推進するために力を入れるべき区の実施の割合をみると、平成29年度調査では、「健康・体力づくり」、「中高年向けのスポーツ活動の推進」、「気軽に参加できるスポーツイベント」が上位3位となっていました。

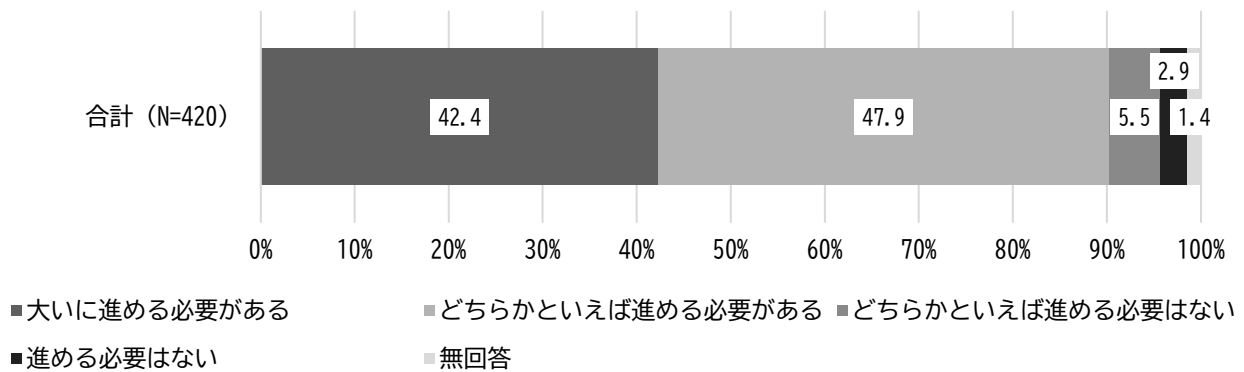
○ 本調査では、「スポーツ施設の整備・充実」が上位3位に入っています（前回調査では4位）。

■区民の運動やスポーツ活動を推進するために区が力を入れるべきことの割合の上位3位（単位 %）

順位	令和4年	平成29年
1	健康・体力づくり (43.1)	健康・体力づくり (45.9)
2	気軽に参加できるスポーツイベント (30.5)	中高年向けのスポーツ活動の推進 (29.9)
3	スポーツ施設の整備・充実 (28.8)	気軽に参加できるスポーツイベント (25.7)

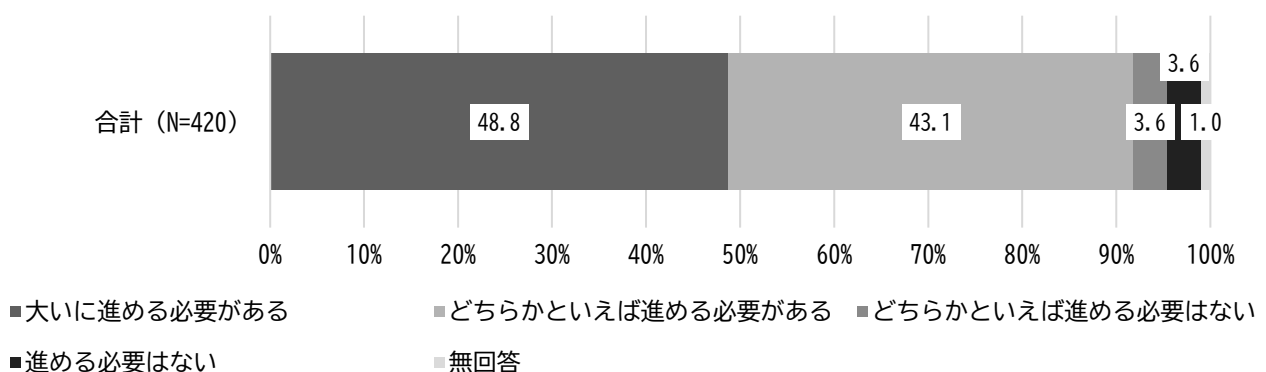
問11 オリンピック・パラリンピックの開催を通じて、自らが行う「する」スポーツ以外にも、スポーツを「みる」「応援する」等をきっかけとして、自らもスポーツをしたり、見たことを家族や友人と話したりする機会が創出されました。こうした「みる」スポーツの創出に向けた取組を区が進めることについて、あなたはどのようにお考えですか。（○は1つ）

○ 「みる」スポーツの創出に向けた取組を区が進めることに対する考えは、「どちらかといえば進める必要がある」が47.9%と最も多く、ついで「大いに進める必要がある」が42.4%で続きます。推進意向（「大いに進める必要がある」と「どちらかといえば進める必要がある」の合計）は90.3%です。



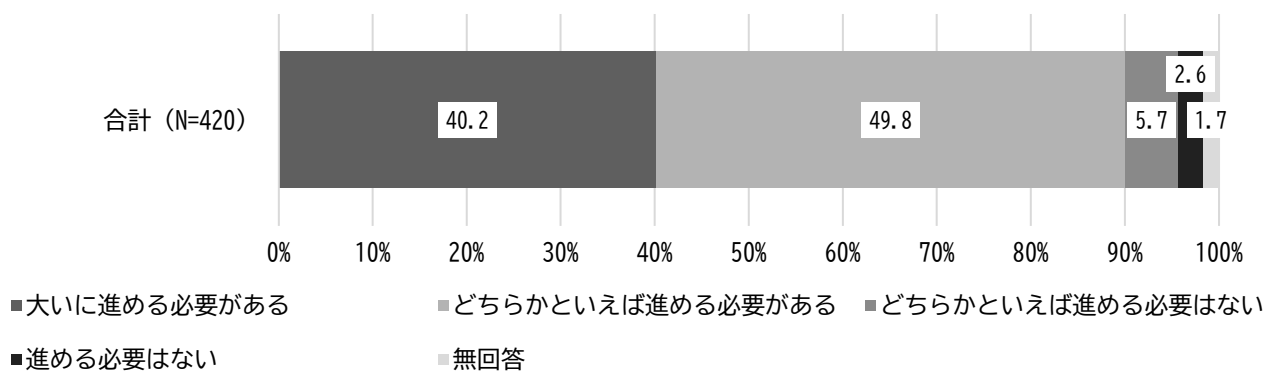
問12 オリンピック・パラリンピックは、多くのボランティアに支えられ開催されました。スポーツボランティアの存在は、区民の多様な交流を促進し、スポーツを通じた生きがいづくりや地域活動全体の活性化にもつながり、今後のスポーツ推進活動に欠くことのできない存在になることが想像されます。こうした「支える」スポーツ活動の創出に向けた取組を区が進めることについて、あなたはどのようにお考えですか。（○は1つ）

○ 「支える」スポーツの創出に向けた取組を区が進めることに対する考えは、「大いに進める必要がある」が48.8%と最も多く、ついで「どちらかといえば進める必要がある」が43.1%で続きます。推進意向（「大いに進める必要がある」と「どちらかといえば進める必要がある」の合計）は91.9%です。



問13 スポーツはデジタル技術の進歩によってあらゆる場面で変わりつつあります。例えば、SNS等による情報発信や取得は当たり前のようになり、動画配信では、自宅で動画を見ながら体を動かしたり、子どもの遠征試合や好きなスポーツチームを応援したり等、ポストコロナ社会において大きな変化を遂げています。今後のデジタル技術の進歩を見据えて、スポーツ分野でデジタル技術を活用した取組を区が進めることについて、あなたはどのようにお考えですか。（〇は1つ）

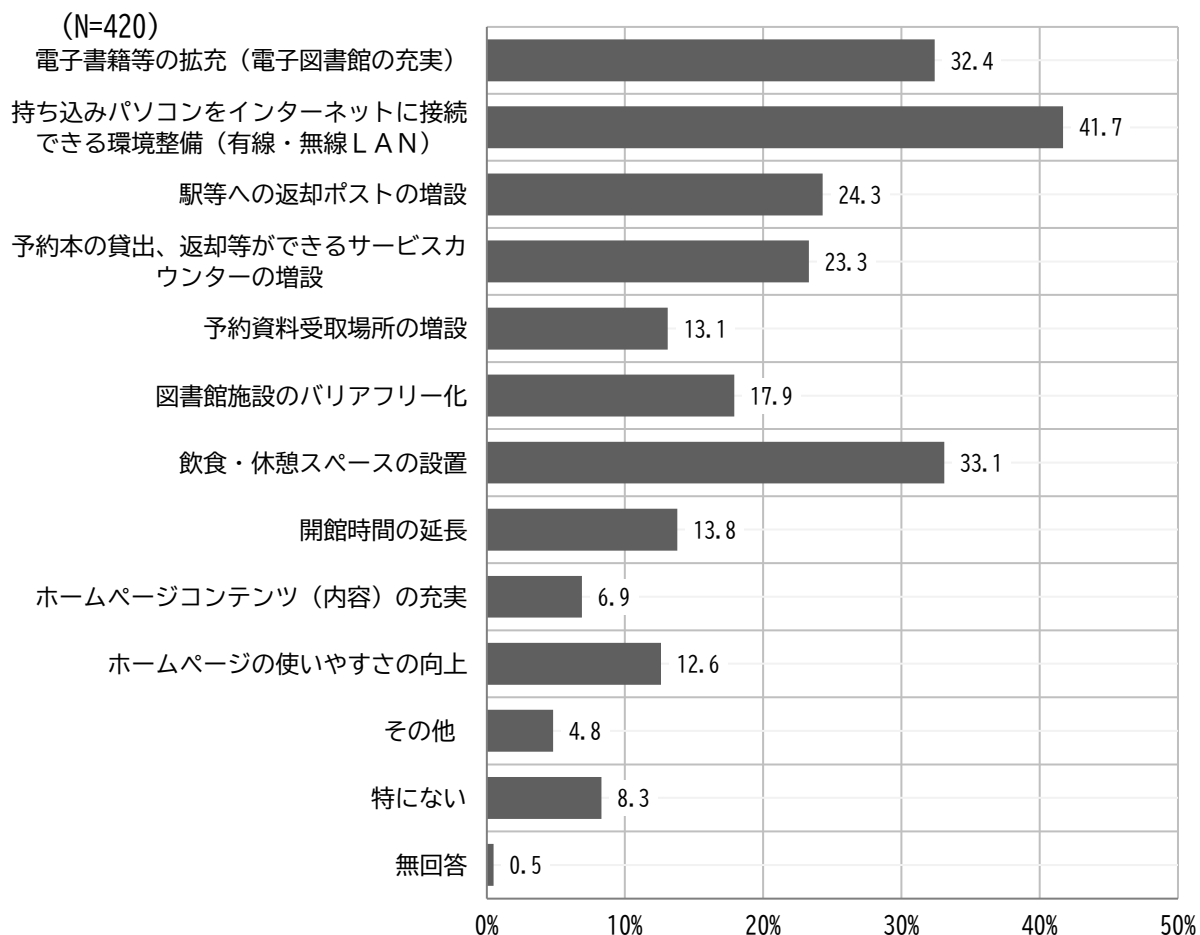
○ スポーツ分野でデジタル技術を活用した取組を区が進めることに対する考えは、「どちらかといえば進める必要がある」が49.8%と最も多く、ついで「大いに進める必要がある」が40.2%で続きます。推進意向（「大いに進める必要がある」と「どちらかといえば進める必要がある」の合計）は90.0%です。



4 区の取組についてお聞きします。

問 14 これからの図書館の在り方に特に期待することはありますか。(〇は3つまで)

- これからの図書館の在り方に特に期待することは、「持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備(有線・無線LAN)」が41.7%と最も多く、ついで「飲食・休憩スペースの設置」が33.1%、「電子書籍等の拡充(電子図書館の充実)」が32.4%で続きます。



【前回調査との比較】

- これからの図書館の在り方に特に期待することの割合をみると、平成29年度調査では、「飲食・休憩スペースの設置」、「駅等への返却ポストの設置」、「持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備(有線・無線LAN)」が上位3位となっていました。
- 本調査では、「電子書籍等の拡充(電子図書館の充実)」が上位3位に入っています。

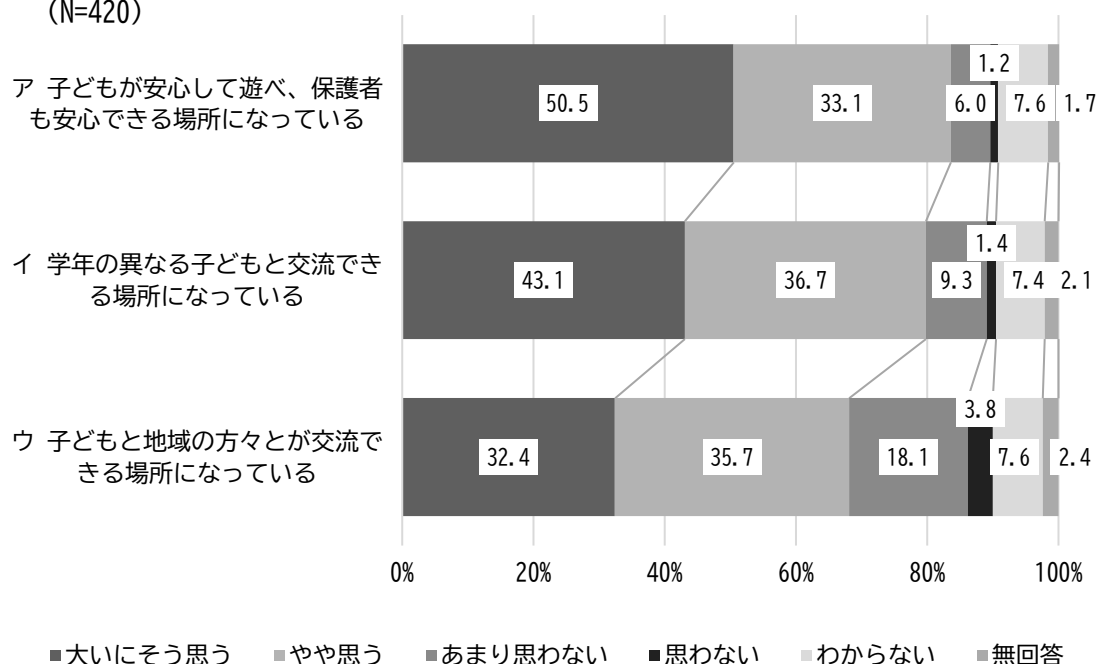
■ これからの図書館の在り方に特に期待することの割合の上位3位(単位 %)

順位	令和4年	平成29年
1	持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備(有線・無線LAN) (41.7)	飲食・休憩スペースの設置 (31.1)
2	飲食・休憩スペースの設置 (33.1)	駅等への返却ポストの設置 (24.4)
3	電子書籍等の拡充(電子図書館の充実) (32.4)	持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備(有線・無線LAN) (19.2)

問15 区では、子どもたちの安全な居場所づくりとして地域の皆さまと連携して「わくわくチャレンジ広場」事業を実施しています。この事業について、あなたはどのようにお考えですか。（〇はそれぞれ1つずつ）

- 地域と連携して行う「わくわくチャレンジ広場」事業に対する考えは、全ての項目で、肯定的に思っている人（「大いにそう思う」と「やや思う」の合計）が6割台～8割台となっています。
- 「大いにそう思う」については、「ア 子どもが安心して遊べ、保護者も安心できる場所になっている」が50.5%と最も多く、ついで「イ 学年の異なる子どもと交流できる場所になっている」が43.1%、「ウ 子どもと地域の方々とは交流できる場所になっている」が32.4%で続きます。

(N=420)



【前回調査との比較】

- 「わくわくチャレンジ広場」事業について、各項目の「大いにそう思う」の割合をみると、平成29年度調査に比べて、全ての項目で本調査が多くなっています。

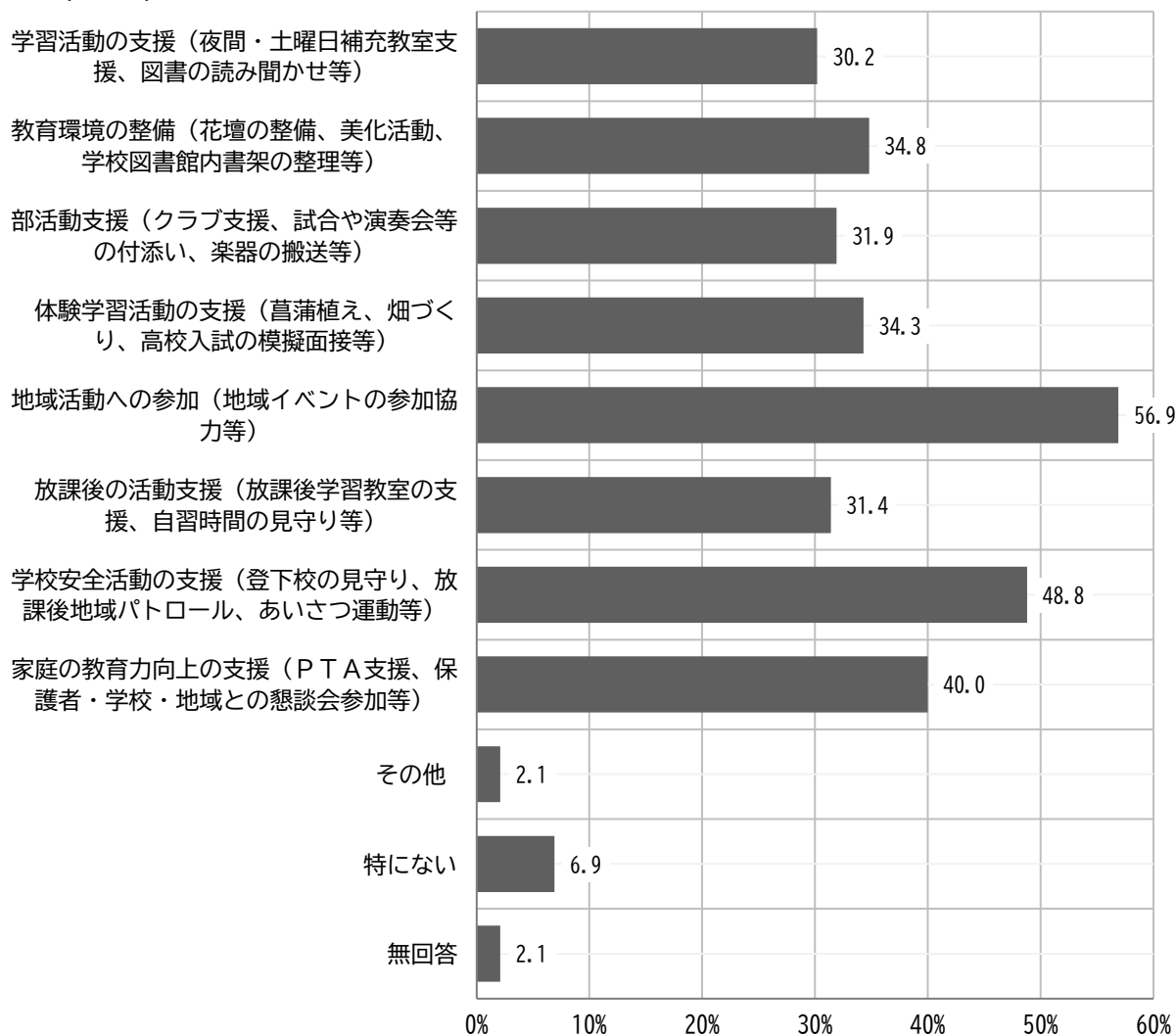
■ 「わくわくチャレンジ広場」事業について、各項目の「大いにそう思う」の割合（単位：%）

項目	令和4年	平成29年
ア 子どもが安心して遊べ、保護者も安心できる場所になっている	50.5	43.0
イ 学年の異なる子どもと交流できる場所になっている	43.1	32.6
ウ 子どもと地域の方々とは交流できる場所になっている	32.4	24.9

問 16 学校と地域との連携を進めるため、社会教育関係者として取り組みたいことはありますか。
(〇はいくつでも)

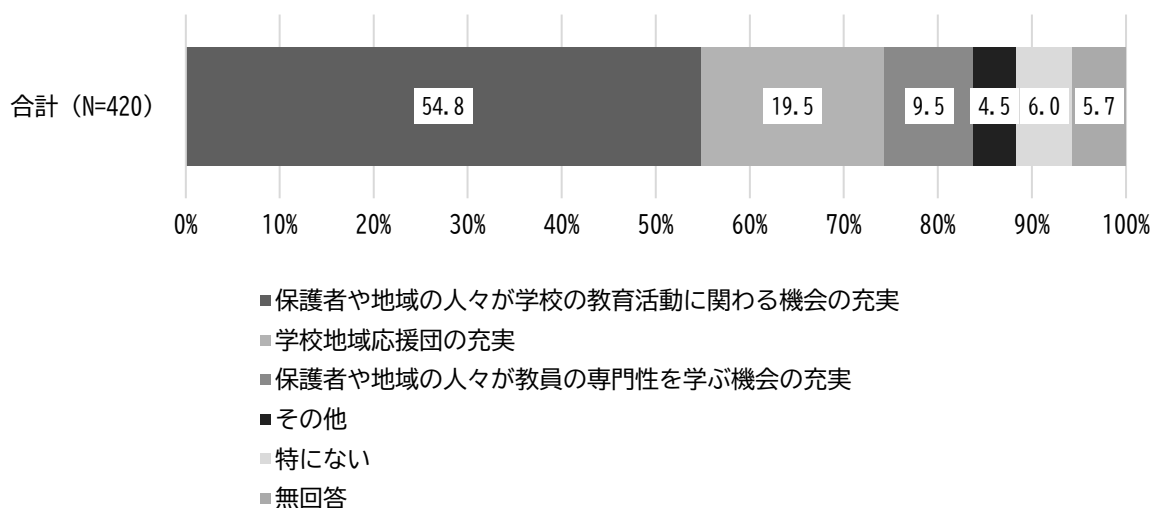
○ 学校と地域との連携を進めるため、社会教育関係者として取り組みたいことは、「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」が 56.9%と最も多く、ついで「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が 48.8%、「家庭の教育力向上の支援（PTA支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」が 40.0%で続きます。

(N=420)



問17 学校と地域との連携を進めるため、特に重要な取組は何だとお考えですか。(〇は1つ)

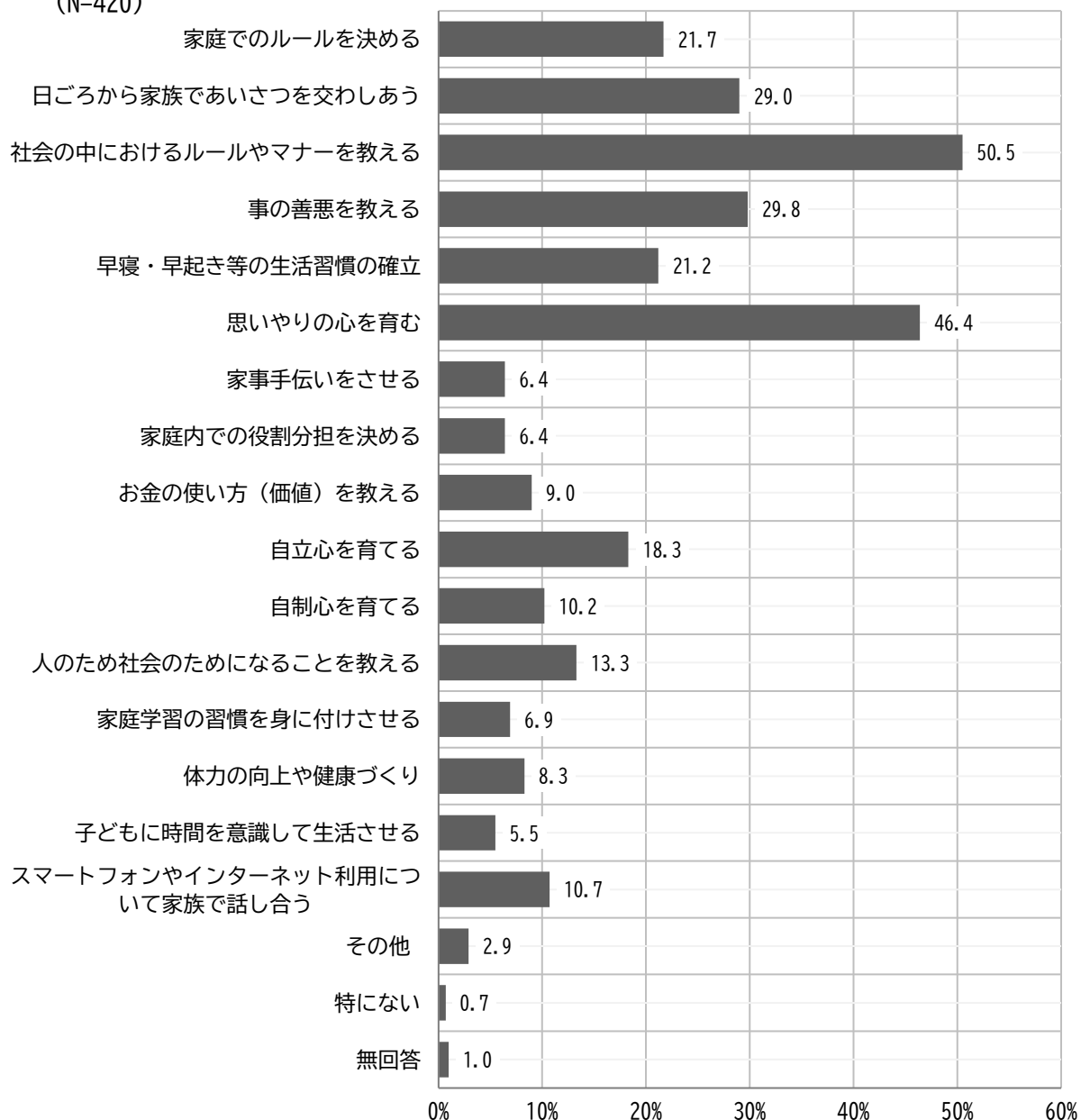
○ 学校と地域との連携を進めるために特に重要な取組は、「保護者や地域の人々が学校の教育活動に関わる機会の充実」が54.8%と最も多く、ついで「学校地域応援団の充実」が19.5%、「保護者や地域の人々が教員の専門性を学ぶ機会の充実」が9.5%で続きます。



問 18 「家庭教育」の中で、特に大切なことは何だとお考えですか。(〇は3つまで)

○ 「家庭教育」の中で特に大切なことは、「社会の中におけるルールやマナーを教える」が50.5%と最も多く、ついで「思いやりの心を育む」が46.4%、「事の善悪を教える」が29.8%で続きます。

(N=420)



【前回調査との比較】

○ 「家庭教育」の中で特に大切なことの割合をみると、本調査、平成29年度調査ともに、上位3位は同様です。

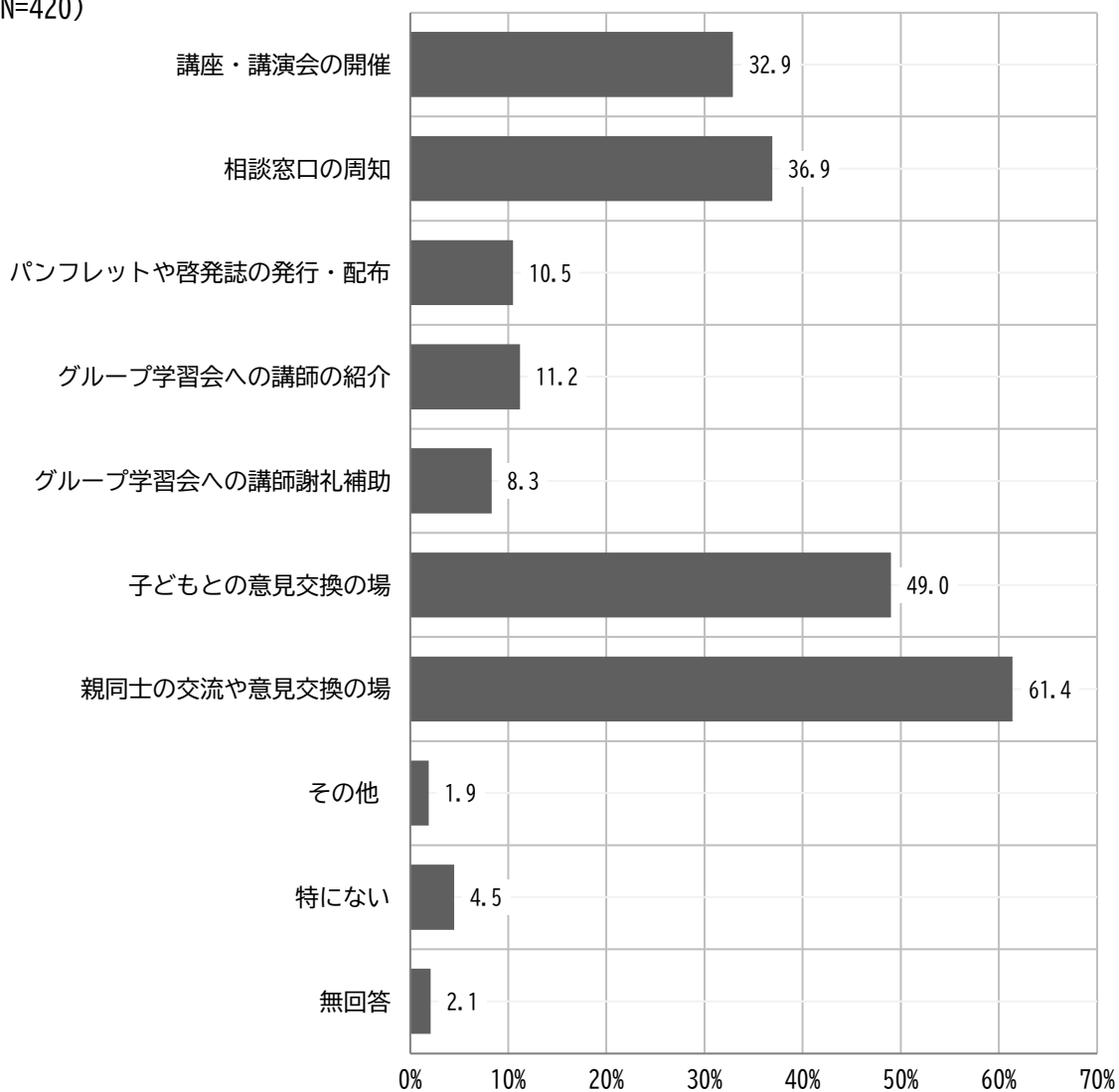
■ 「家庭教育」の中で特に大切なことの割合の上位3位 (単位 %)

順位	令和4年	平成29年
1	社会の中におけるルールやマナーを教える (50.5)	社会の中におけるルールやマナーを教える (46.2)
2	思いやりの心を育む (46.4)	思いやりの心を育む (35.0)
3	事の善悪を教える (29.8)	事の善悪を教える (28.2)

問19 「家庭教育」について学ぶ場合、特に必要な取組は何だとお考えですか。（〇は3つまで）

○ 「家庭教育」について学ぶ場合に特に必要な取組は、「親同士の交流や意見交換の場」が61.4%と最も多く、ついで「子どもとの意見交換の場」が49.0%、「相談窓口の周知」が36.9%で続きます。

(N=420)



【前回調査との比較】

○ 「家庭教育」について学ぶ場合に特に必要な取組の割合をみると、平成29年度調査では、「親同士の交流や意見交換の場」、「子どもとの意見交換の場」、「講座・講演会の開催」が上位3位となっていました。

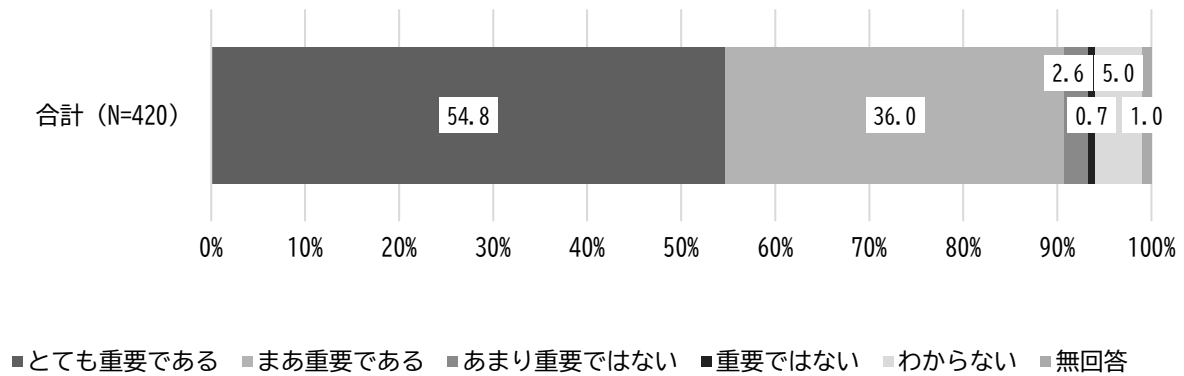
○ 本調査では「相談窓口の周知」が上位3位に入っています。

■ 「家庭教育」について学ぶ場合に特に必要な取組の割合の上位3位（単位：%）

順位	令和4年	平成29年
1	親同士の交流や意見交換の場 (61.4)	親同士の交流や意見交換の場 (56.8)
2	子どもとの意見交換の場 (49.0)	子どもとの意見交換の場 (37.6)
3	相談窓口の周知 (36.9)	講座・講演会の開催 (36.6)

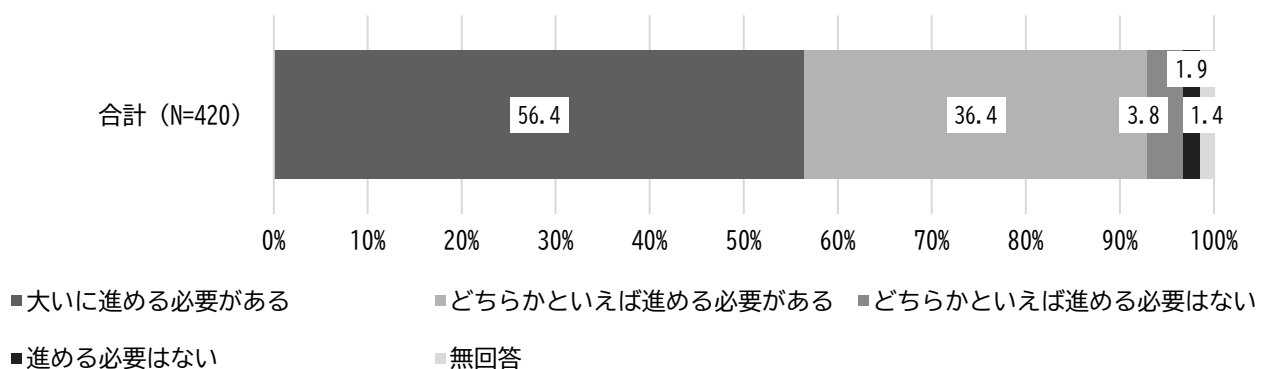
問 20 区が学びの循環に力を入れることについて、あなたの考えをお聞かせください。（〇は1つ）

○ 区が学びの循環に力を入れることについて、重要と考える人（「とても重要である」と「まあ重要である」の合計）が90.8%となっています。



問 21 国は、生涯を通じて誰もがいつでもどこでも学ぶことができるよう、ICTを活用して生涯学習・社会教育の学びの機会等のデジタル化を推進しています。今後のICT等のデジタル技術の進歩を見据えて、生涯学習・社会教育分野でICT等のデジタル技術の活用を研究する取組を区が進めることについて、どのようにお考えですか。（〇は1つ）

○ 生涯学習・社会教育分野でICT活用を研究する取組を区が進めることについて、必要があると考えている人（「大いに進める必要がある」と「どちらかといえば進める必要がある」の合計）が92.8%となっています。



問 22 生涯学習・社会教育分野でICT等のデジタル技術を活用する良いアイデアがございましたら、お聞かせください。（自由記述）

- 生涯学習・社会教育分野でICT等のデジタル技術を活用するアイデアを自由記述形式でたずねたところ、59件の回答がありました。以下に分類毎の件数を掲載します。

(件数)

区分	分類	全体
1	誰でも利用できるシステムの構築	7
2	デジタル技術活用のための教育の充実	6
3	年齢的にアイデアがない	6
4	デジタル技術活用の方向性	23
5	デジタル技術活用の具体案	12
6	その他	5
合計		59

5 現在の取組の効果と方向性についてお聞きします。

問23 区では、生涯学習・社会教育の充実を目指して様々な取組を進めています。以下の取組について、①効果の程度、②今後の方向性について、あなたの考えをお聞かせください。（〇は①、②についてそれぞれ1つずつ）

生涯学習・社会教育の充実を目指す47の取組について、①効果の程度、②今後の方向性に対する考えは次のとおりです。

〈家庭教育〉 取組1～5

- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「1 早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダーの作成及び配付」で54.7%、「2 かつしか家庭教育のすすめの作成及び配付」で47.1%、「3 家庭教育講座」で48.4%、「4 家庭教育応援制度」で51.2%、「5 スクールカウンセラーの設置」で73.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「1 早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダーの作成及び配付」で58.3%、「2 かつしか家庭教育のすすめの作成及び配付」で54.1%、「3 家庭教育講座」で57.1%、「4 家庭教育応援制度」で57.4%、「5 スクールカウンセラーの設置」で75.0%となっています。

〈青少年育成支援〉 取組6～8

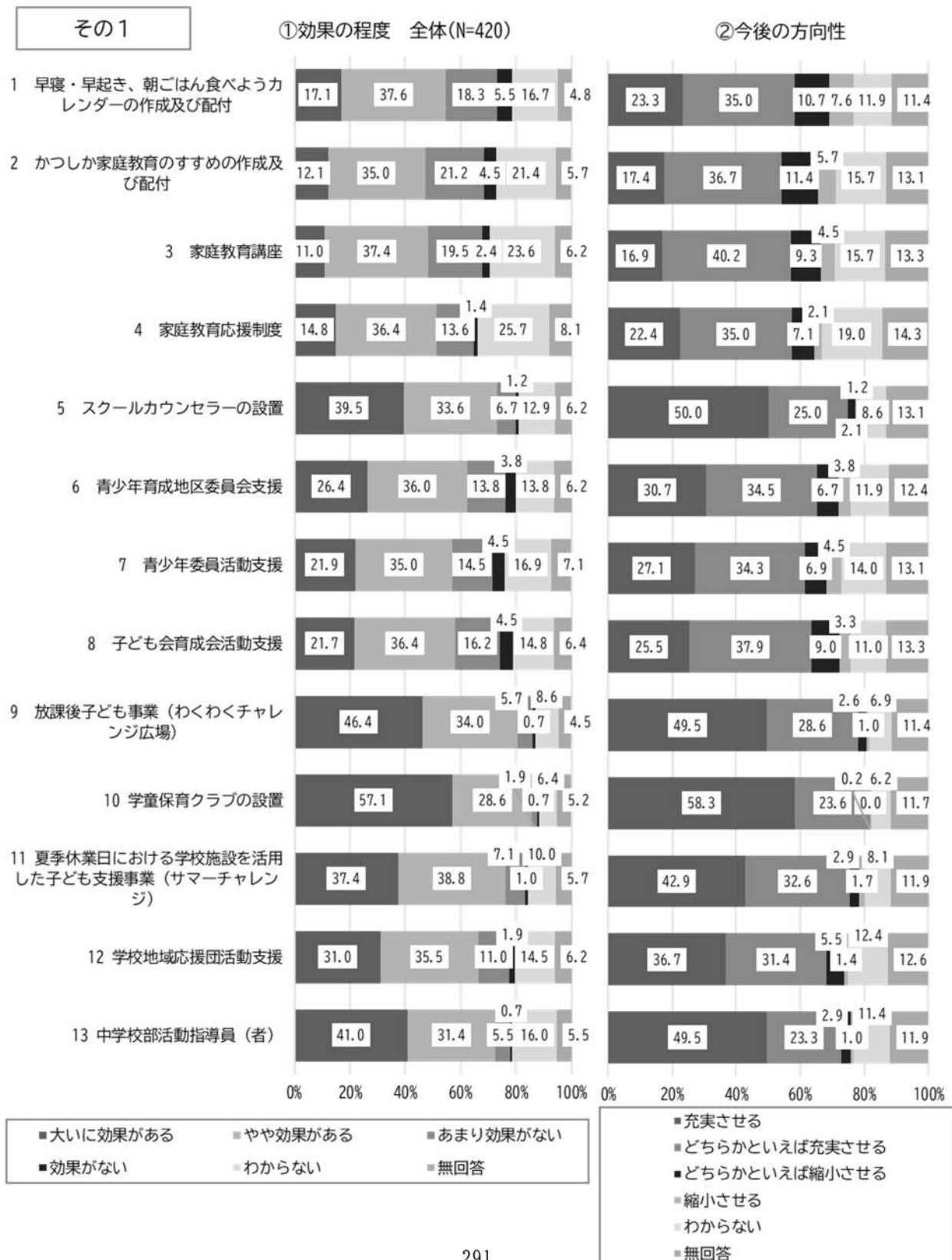
- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「6 青少年育成地区委員会支援」で62.4%、「7 青少年委員活動支援」で56.9%、「8 子ども会育成会活動支援」で58.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「6 青少年育成地区委員会支援」で65.2%、「7 青少年委員活動支援」で61.4%、「8 子ども会育成会活動支援」で63.4%となっています。

〈放課後支援〉 取組9～11

- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「9 放課後子ども事業（わくわくチャレンジ広場）」で80.4%、「10 学童保育クラブの設置」で85.7%、「11 夏季休業日における学校施設を活用した子ども支援事業（サマーチャレンジ）」で76.2%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「9 放課後子ども事業（わくわくチャレンジ広場）」で78.1%、「10 学童保育クラブの設置」で81.9%、「11 夏季休業日における学校施設を活用した子ども支援事業（サマーチャレンジ）」で75.5%となっています。

〈学校支援〉 取組 12～13

- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「12 学校地域応援団活動支援」で66.5%、「13 中学校部活動指導員（者）」で72.4%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「12 学校地域応援団活動支援」で68.1%、「13 中学校部活動指導員（者）」で72.8%となっています。



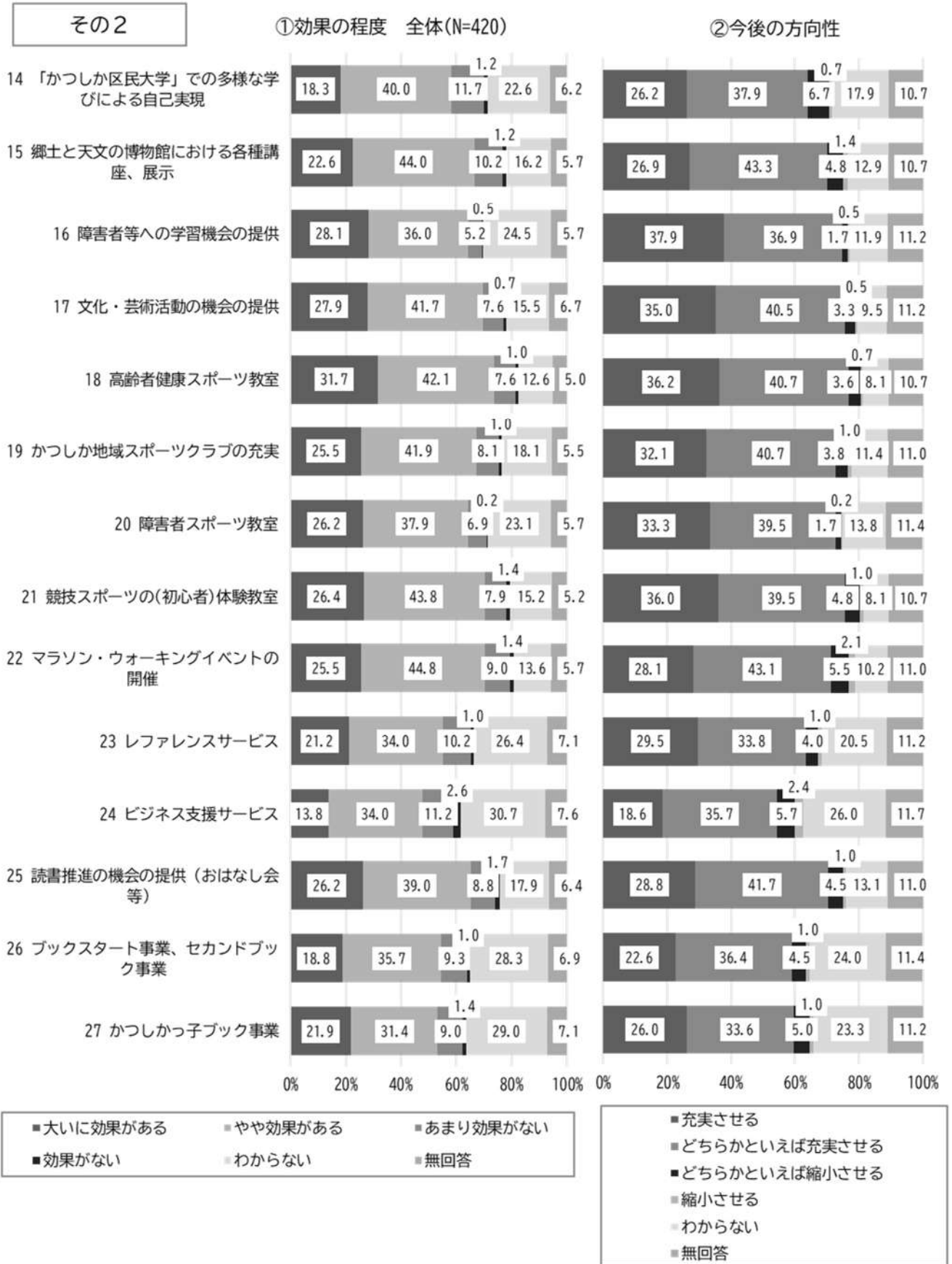
〈学習機会〉 取組 14～22

- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「14「かつしか区民大学」での多様な学びによる自己実現」で58.3%、「15 郷土と天文の博物館における各種講座、展示」で66.6%、「16 障害者等への学習機会の提供」で64.1%、「17 文化・芸術活動の機会の提供」で69.6%、「18 高齢者健康スポーツ教室」で73.8%、「19 かつしか地域スポーツクラブの充実」で67.4%、「20 障害者スポーツ教室」で64.1%、「21 競技スポーツの(初心者)体験教室」で70.2%、「22 マラソン・ウォーキングイベントの開催」で70.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「14「かつしか区民大学」での多様な学びによる自己実現」で64.1%、「15 郷土と天文の博物館における各種講座、展示」で70.2%、「16 障害者等への学習機会の提供」で74.8%、「17 文化・芸術活動の機会の提供」で75.5%、「18 高齢者健康スポーツ教室」で76.9%、「19 かつしか地域スポーツクラブの充実」で72.8%、「20 障害者スポーツ教室」で72.8%、「21 競技スポーツの(初心者)体験教室」で75.5%、「22 マラソン・ウォーキングイベントの開催」で71.2%となっています。

〈図書館〉 取組 23～27

- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「23 レファレンスサービス」で55.2%、「24 ビジネス支援サービス」で47.8%、「25 読書推進の機会の提供（おはなし会等）」で65.2%、「26 ブックスタート事業、セカンドブック事業」で54.5%、「27 かつしかっ子ブック事業」で53.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「23 レファレンスサービス」で63.3%、「24 ビジネス支援サービス」で54.3%、「25 読書推進の機会の提供（おはなし会等）」で70.5%、「26 ブックスタート事業、セカンドブック事業」で59.0%、「27 かつしかっ子ブック事業」で59.6%となっています。

（グラフは次ページ）



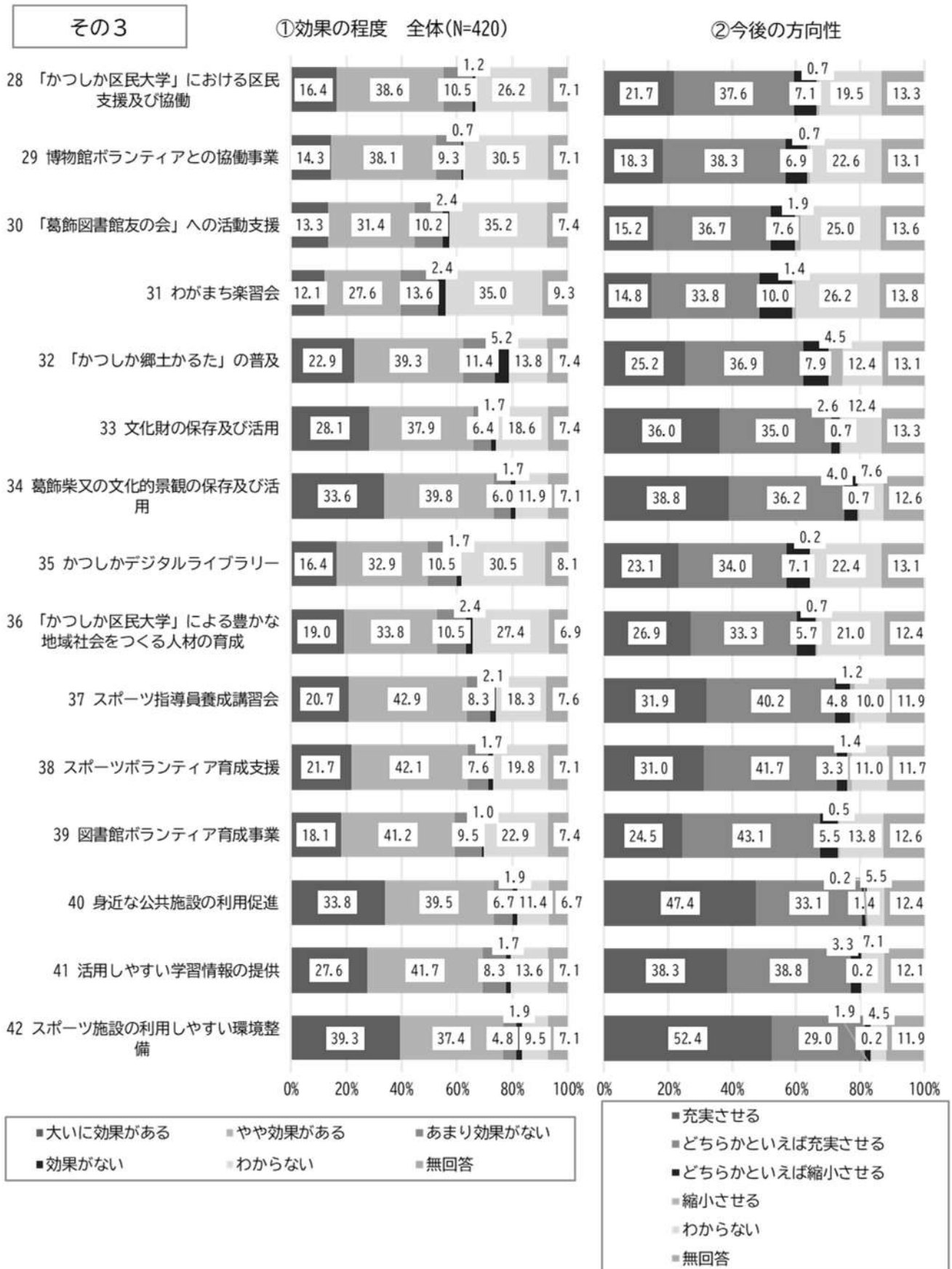
〈区民協働〉 取組 28～39

- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「28「かつしか区民大学」における区民支援及び協働」で55.0%、「29 博物館ボランティアとの協働事業」で52.4%、「30「葛飾図書館友の会」への活動支援」で44.7%、「31 わがまち楽習会」で39.7%、「32「かつしか郷土かるた」の普及」で62.2%、「33 文化財の保存及び活用」で66.0%、「34 葛飾柴又の文化的景観の保存及び活用」で73.4%、「35 かつしかデジタルライブラリー」で49.3%、「36「かつしか区民大学」による豊かな地域社会をつくる人材の育成」で52.8%、「37 スポーツ指導員養成講習会」で63.6%、「38 スポーツボランティア育成支援」で63.8%、「39 図書館ボランティア育成事業」で59.3%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「28「かつしか区民大学」における区民支援及び協働」で59.3%、「29 博物館ボランティアとの協働事業」で56.6%、「30「葛飾図書館友の会」への活動支援」で51.9%、「31 わがまち楽習会」で48.6%、「32「かつしか郷土かるた」の普及」で62.1%、「33 文化財の保存及び活用」で71.0%、「34 葛飾柴又の文化的景観の保存及び活用」で75.0%、「35 かつしかデジタルライブラリー」で57.1%、「36「かつしか区民大学」による豊かな地域社会をつくる人材の育成」で60.2%、「37 スポーツ指導員養成講習会」で72.1%、「38 スポーツボランティア育成支援」で72.7%、「39 図書館ボランティア育成事業」で67.6%となっています。

〈環境整備〉 取組 40～42

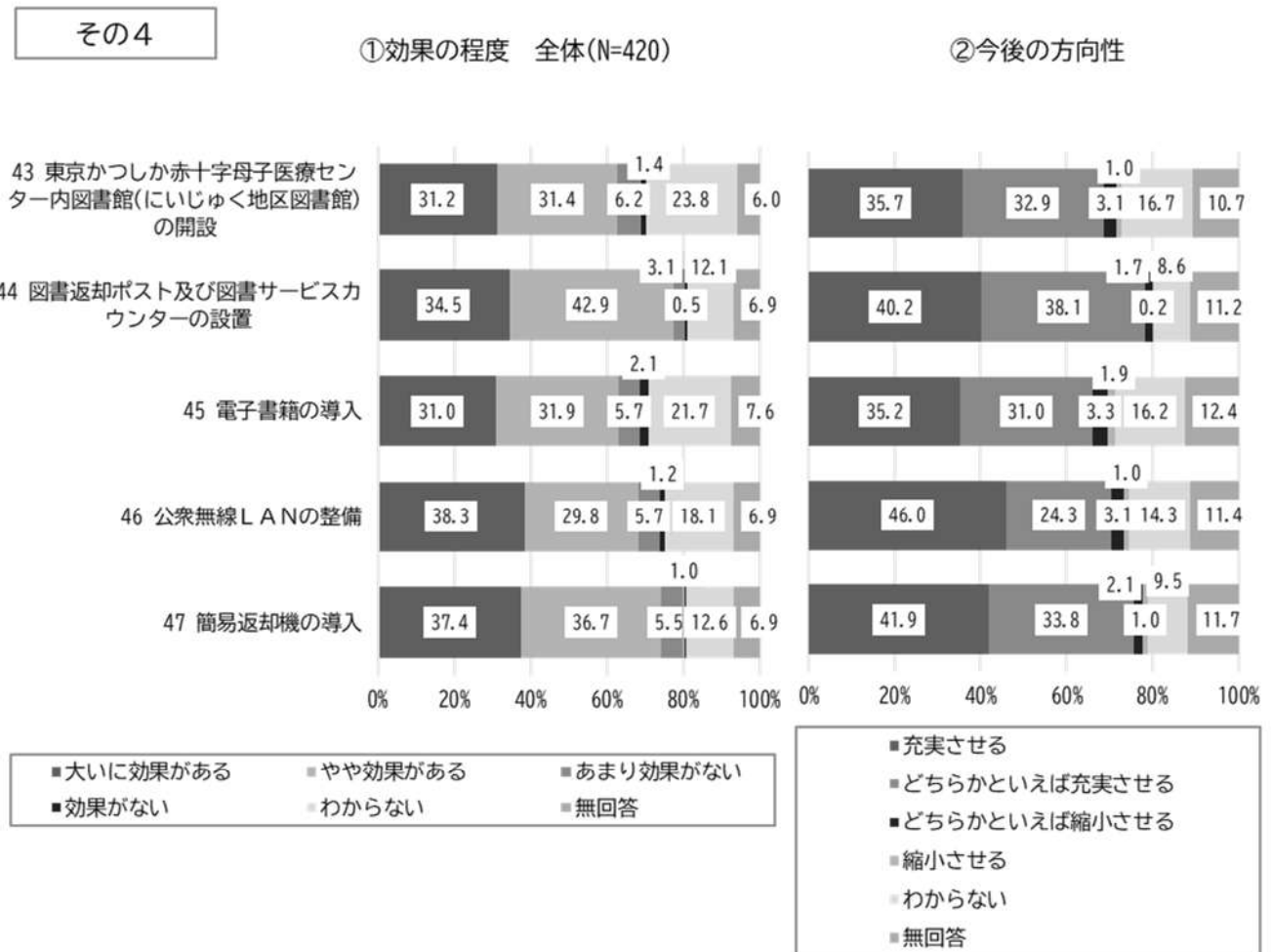
- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「40 身近な公共施設の利用促進」で73.3%、「41 活用しやすい学習情報の提供」で69.3%、「42 スポーツ施設の利用しやすい環境整備」で76.7%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「40 身近な公共施設の利用促進」で80.5%、「41 活用しやすい学習情報の提供」で77.1%、「42 スポーツ施設の利用しやすい環境整備」で81.4%となっています。

（グラフは次ページ）



〈図書館の利便性〉 取組 43～47

- グラフの左側の①効果の程度をみると、効果があると思う人（「大いに効果がある」と「やや効果がある」の合計）は、「43 東京かつしか赤十字母子医療センター内図書館(にいじゅく地区図書館)の開設」で62.6%、「44 図書返却ポスト及び図書サービスカウンターの設置」で77.4%、「45 電子書籍の導入」で62.9%、「46 公衆無線LANの整備」で68.1%、「47 簡易返却機の導入」で74.1%となっています。
- ②今後の方向性について、グラフの右側をみると、充実させたいと思う人（「充実させる」と「どちらかといえば充実させる」の合計）は、「43 東京かつしか赤十字母子医療センター内図書館(にいじゅく地区図書館)の開設」で68.6%、「44 図書返却ポスト及び図書サービスカウンターの設置」で78.3%、「45 電子書籍の導入」で66.2%、「46 公衆無線LANの整備」で70.3%、「47 簡易返却機の導入」で75.7%となっています。



6 自由意見

問 24 区の教育振興に関するご意見等がございましたら、お聞かせください。（自由記述）

- 区の教育振興に関するご意見を自由記述形式でたずねたところ、97件の回答がありました。
以下に分類毎の件数を掲載します。

(件数)

区分	分類	全体
1	取組の効果を評価し、効率的に実施	9
2	子ども中心の行事、政策の推進	12
3	学校教育の充実	19
4	ボランティア等の人材の確保	6
5	高齢者の活用	2
6	学校・地域・家庭等との連携、協力、交流	8
7	アンケートについて	8
8	その他	33
合計		97

7 分析編：年齢及び就業状況によるクロス集計

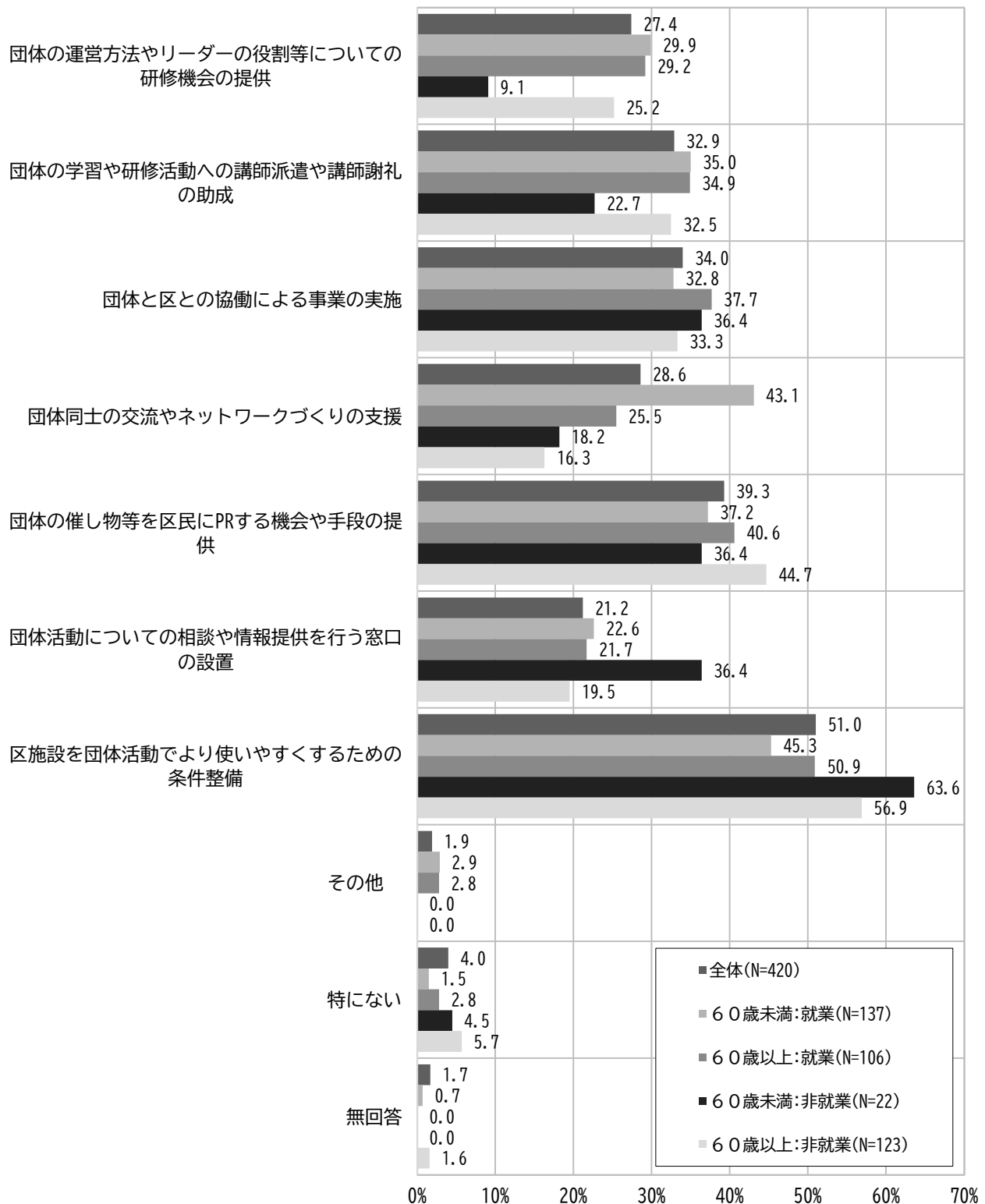
- 社会教育関係者調査では、年齢（問1）と職業（問2）を組み合わせ、回答者を次の4つのカテゴリーに分けて、クロス集計を行いました。
 - ① 60歳未満の就業者
 - ② 60歳以上の就業者
 - ③ 60歳未満の非就業者
 - ④ 60歳以上の非就業者
- 上記の4つのカテゴリーによるクロス集計は、年齢及び就業状況の違いによる地域活動やボランティア活動への意識を把握しようとするものです。そのため、クロス集計の対象となる設問は活動に関するものとしています。

(1) 区の支援について

【自主的活動を盛んにする区の支援（問4）】

- 自主的活動を盛んにする区の支援について、全ての属性で「区施設を団体活動でより使いやすくするための条件整備」が最も多くなっています。

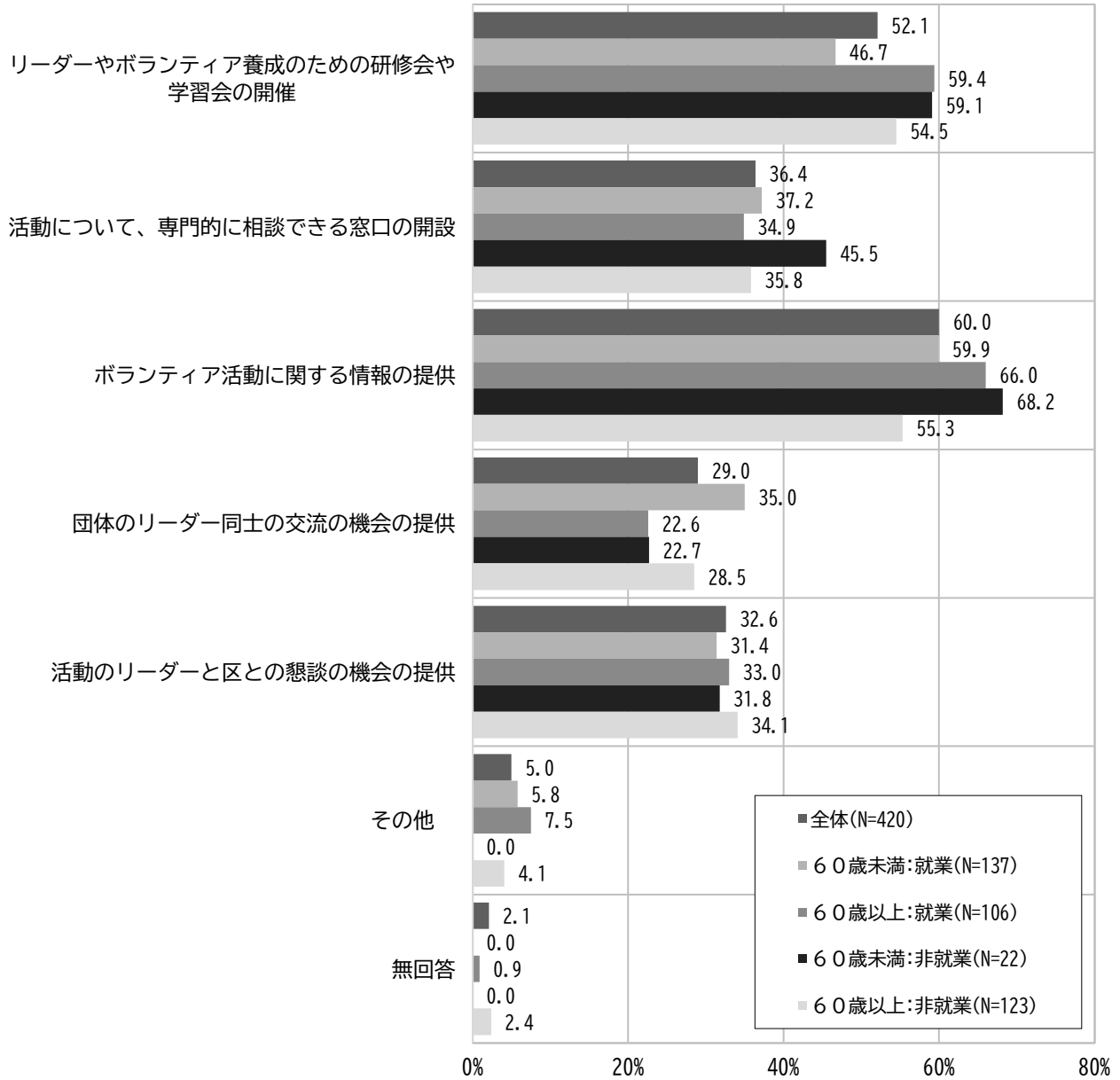
自主的活動を盛んにする区の支援



【リーダーやボランティアを増やす区の支援（問5）】

- リーダーやボランティアを増やす区の支援について、全ての属性で「ボランティア活動に関する情報の提供」が最も多くなっています。

リーダーやボランティアを増やす区の支援

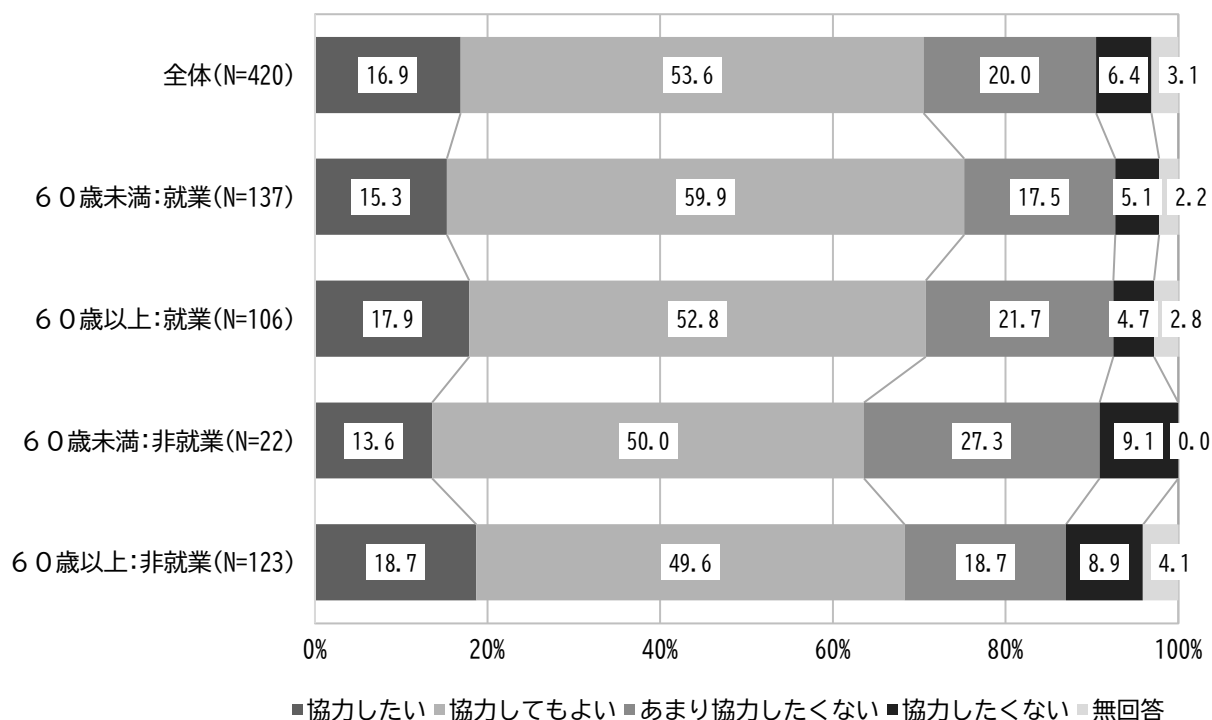


(2) スポーツについて

【「かつしか地域スポーツクラブ」活動への協力（問8）】

- 全ての属性で「かつしか地域スポーツクラブ」に協力してみたいと思う人（「協力したい」と「協力してもよい」の合計）の方が、協力したくないと思う人（「あまり協力したくない」と「協力したくない」の合計）よりも多くなっています。

「かつしか地域スポーツクラブ」活動への協力

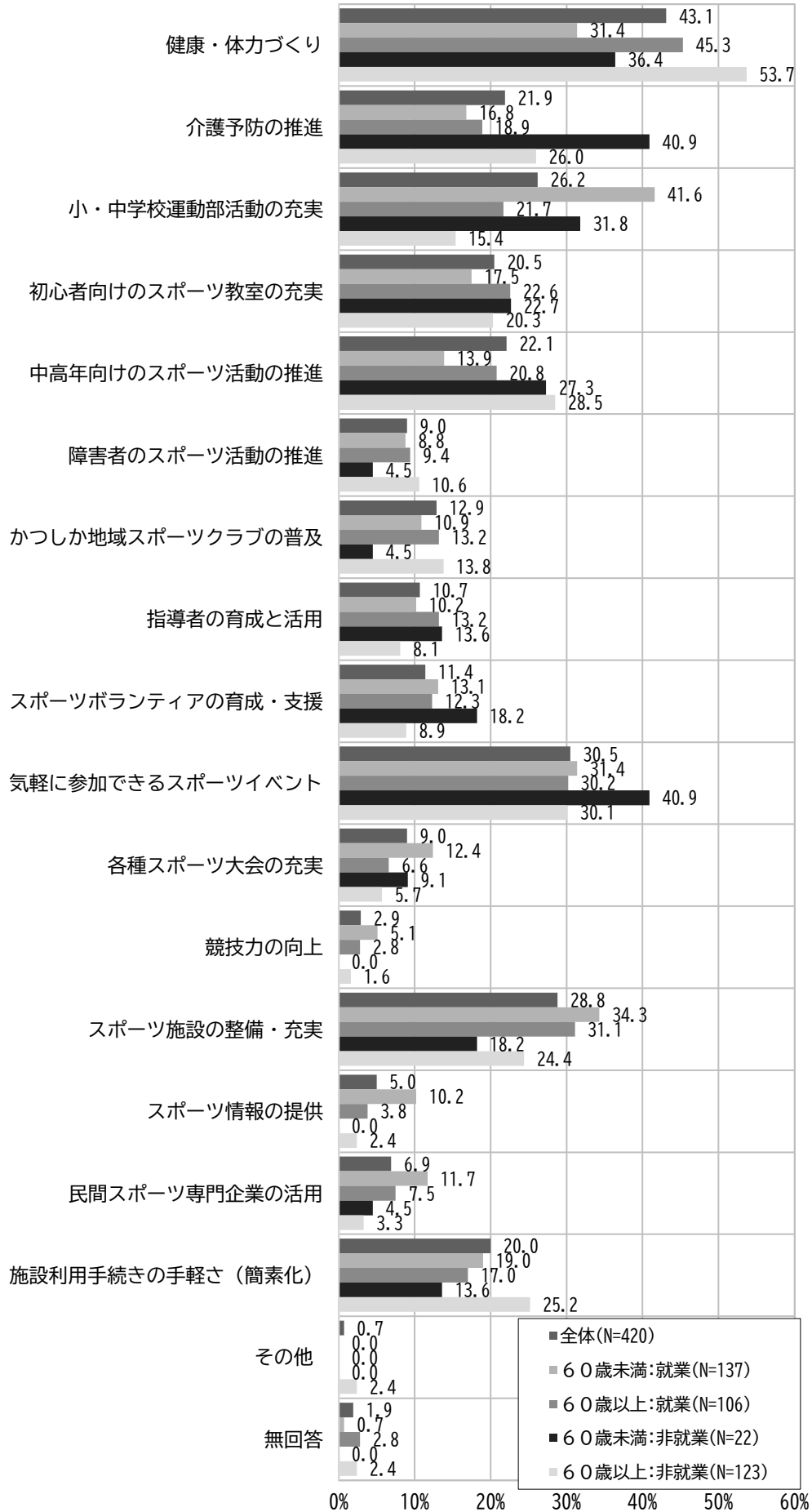


【区民の運動やスポーツ活動を推進する区の実施（問10）】

- 60歳未満の就業者では「小・中学校運動部活動の充実」、60歳以上の就業者と60歳以上の非就業者では「健康・体力づくり」、60歳未満の非就業者では「介護予防の推進」と「気軽に参加できるスポーツイベント」が最も多くなっています。

（グラフは次ページ）

区民の運動やスポーツ活動を推進する区の実施



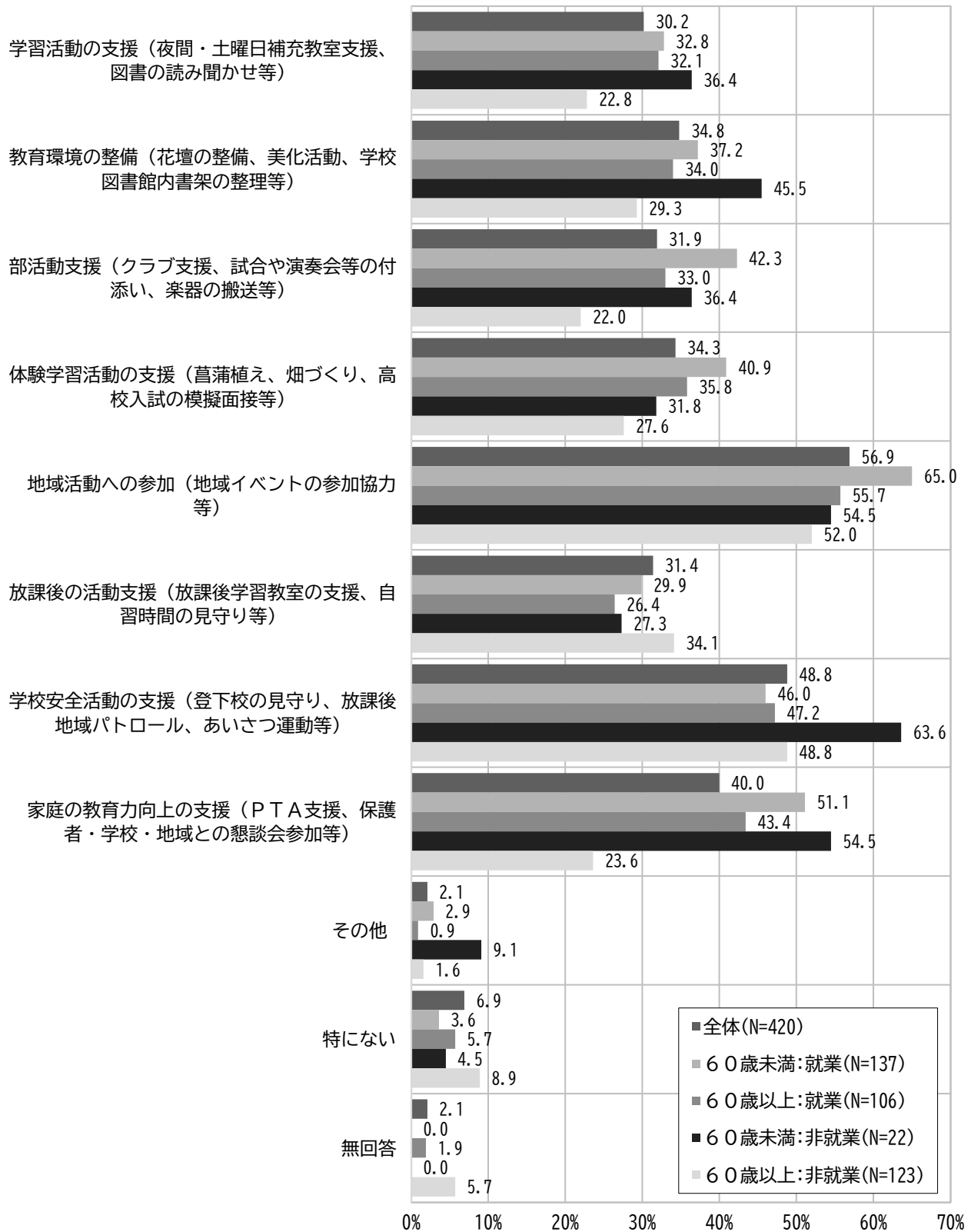
(3) 学びの環境について

【学校と地域との連携を進めるために取り組みたいこと（問16）】

- 学校と地域との連携を進めるために取り組みたいことについて、60歳未満の就業者、60歳以上の就業者、60歳以上の非就業者では「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」、60歳未満の非就業者では「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」が最も多くなっています。

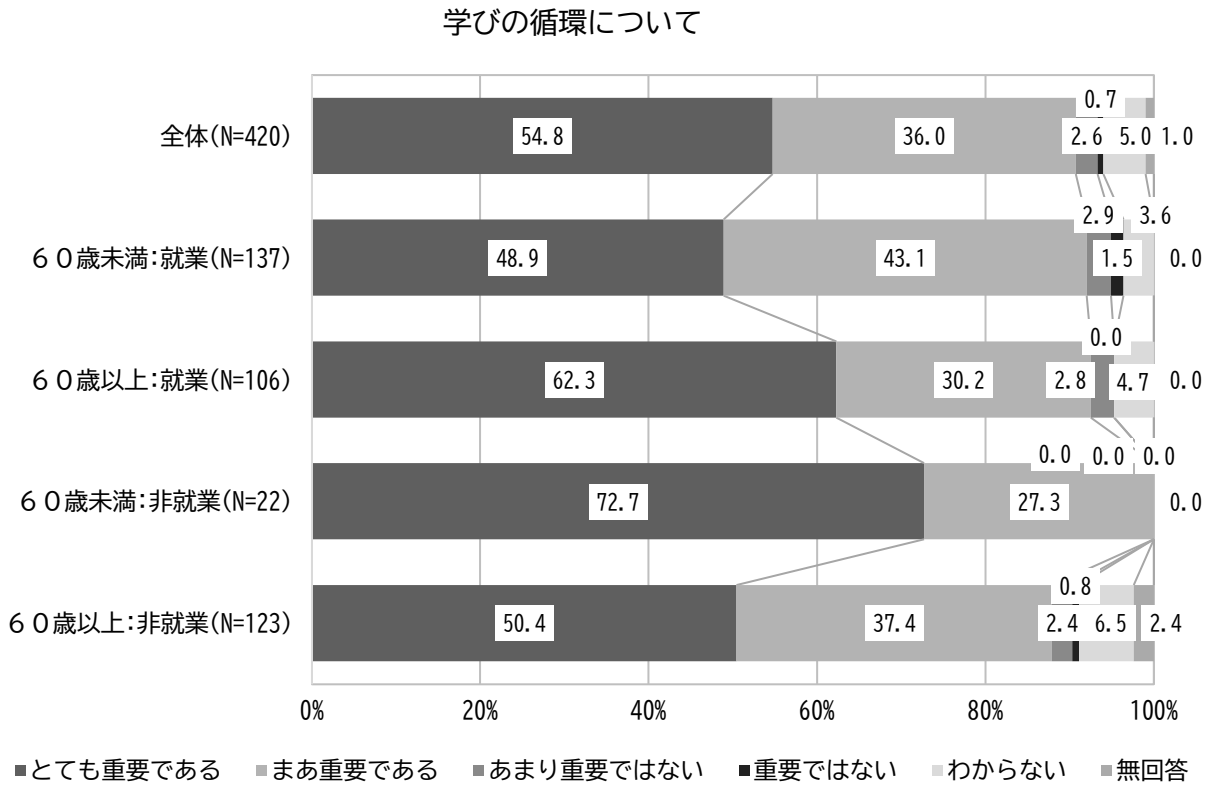
（グラフは次ページ）

学校と地域との連携を進めるために取り組みたいこと



【学びの循環について（問20）】

- 学びの循環について、全ての属性で、重要であると考えている人（「とても重要である」と「まあ重要である」の合計）の方が、重要ではないと考えている人（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）よりも多くなっています。

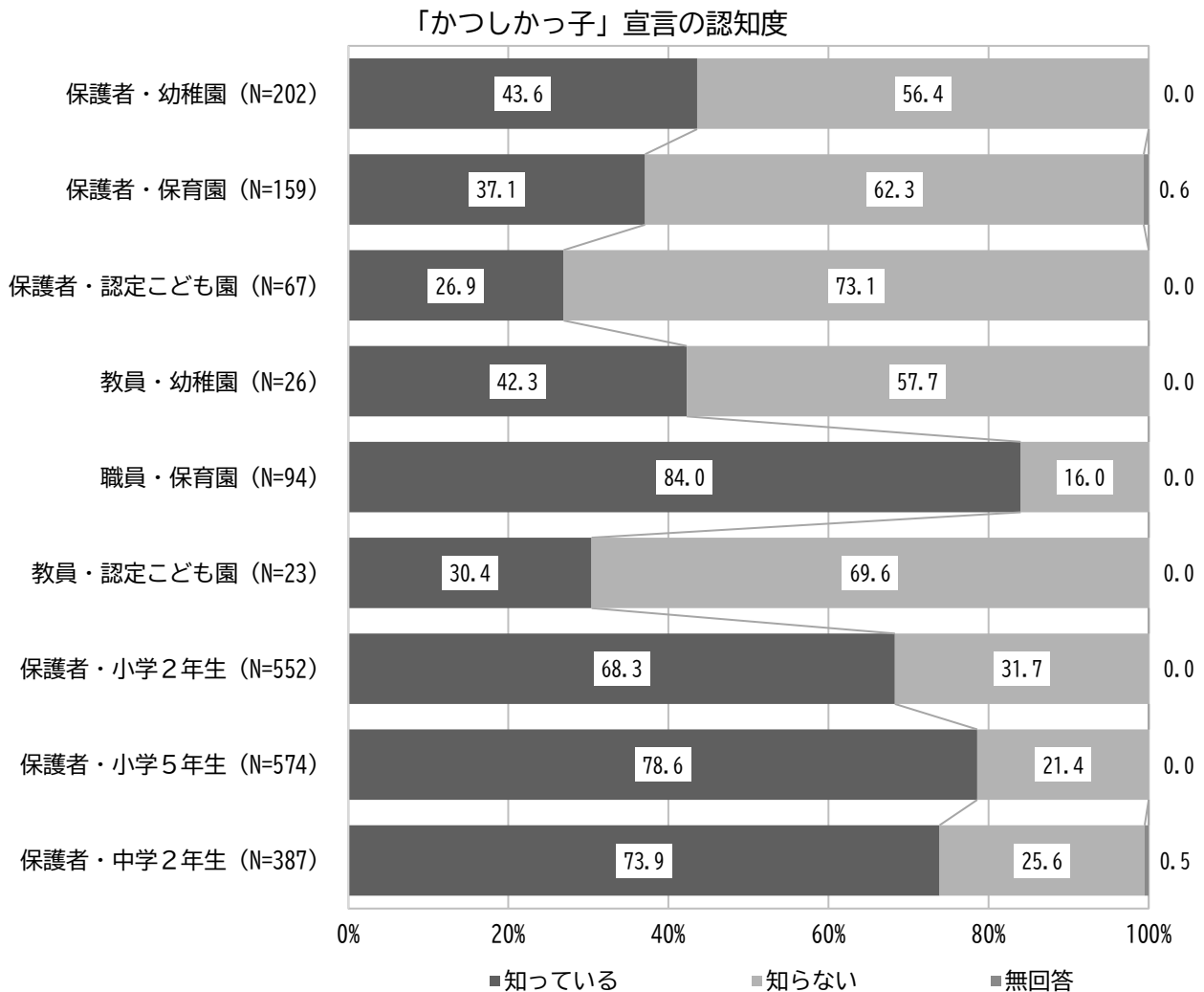


第7章 分析編

- 区の実施を効果的に推進するため、保護者と教職員等の調査結果を比較し、両方の視点から結果を分析します。対象とする設問は、教育政策の基本となる取組である「かつしかっ子」宣言の認知度、家庭教育の取組、ICTの活用、学校と地域連携に関するものとしています。

1 「かつしかっ子」宣言の認知度

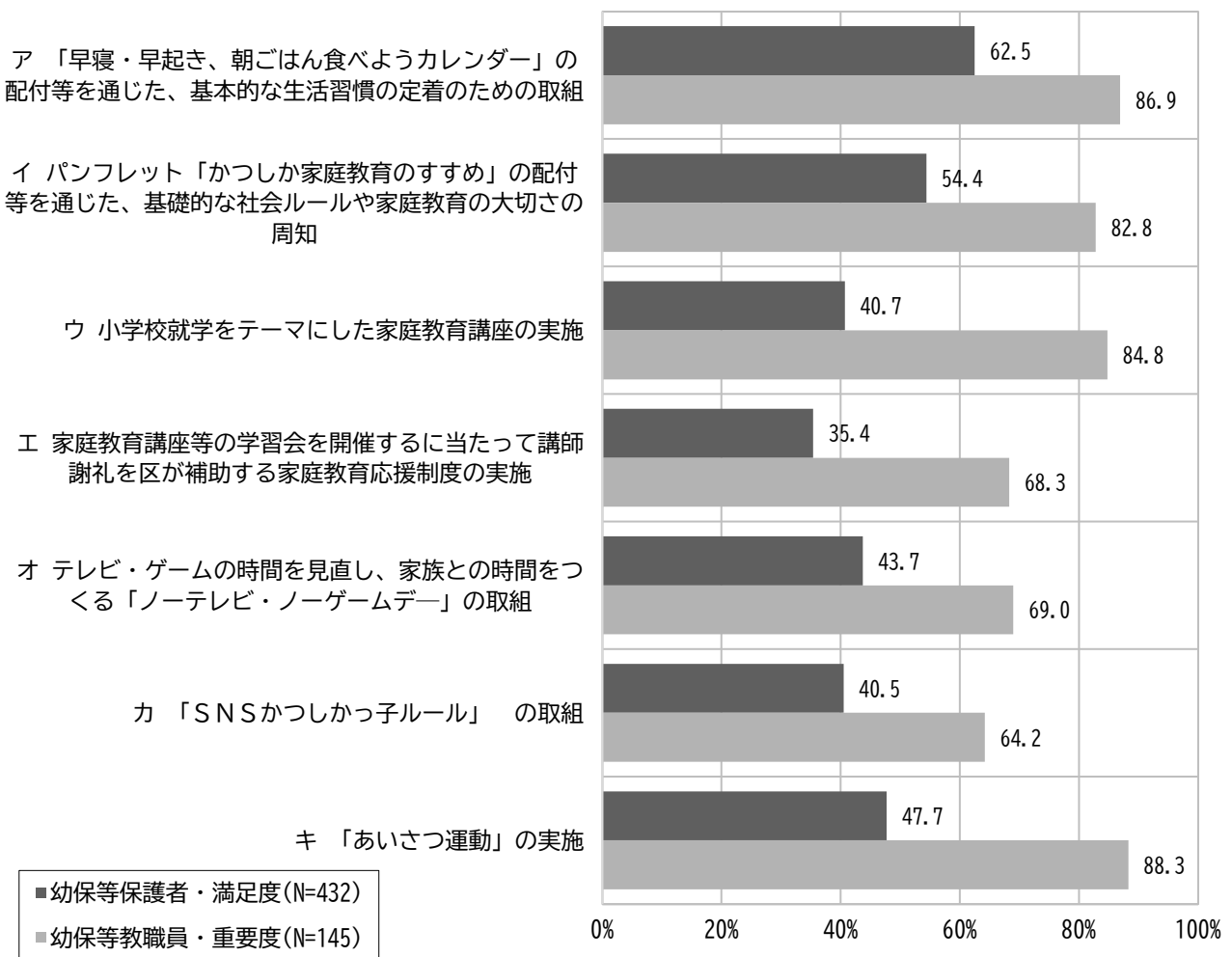
- 「かつしかっ子」宣言の認知度について、「幼稚園・保育園等保護者調査（問16）」、「幼稚園・保育園等教職員調査（問4）」、「区立小・中学生保護者調査（問12）」を比較しました。
- 保育園の職員、小学2年生・小学5年生・中学2年生の保護者では、「かつしかっ子」宣言を知っている人の割合が多くなっています。一方、幼稚園・保育園・認定こども園の保護者、幼稚園・認定こども園の教員では、「かつしかっ子」宣言を知らない人の割合が多くなっています。



2 家庭教育の充実に関する満足度（保護者）と重要度（教職員等）

- 家庭教育の充実に関して、「幼稚園・保育園等保護者調査（問 8）」で満足度（「満足」と「まあ満足」の合計）を、「幼稚園・保育園等教職員調査（問 6）」で重要度（「重要」と「まあ重要」の合計）の調査結果を項目ごとに比較しました。
- 保護者の満足度では、「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が62.5%と最も多く、ついで「イ パンフレット「かつしか家庭教育のすすめ」の配付等を通じた、基礎的な社会ルールや家庭教育の大切さの周知」が54.4%で続きます。
- 教職員の重要度では、「キ 「あいさつ運動」の実施」が88.3%と最も多く、ついで「ア 「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の配付等を通じた、基本的な生活習慣の定着のための取組」が86.9%で続きます。
- 保護者の満足度と教職員の重要度との差が大きい「ウ 小学校就学をテーマにした家庭教育講座の実施」や「キ 「あいさつ運動」の実施」などにさらに力を入れることが考えられます。

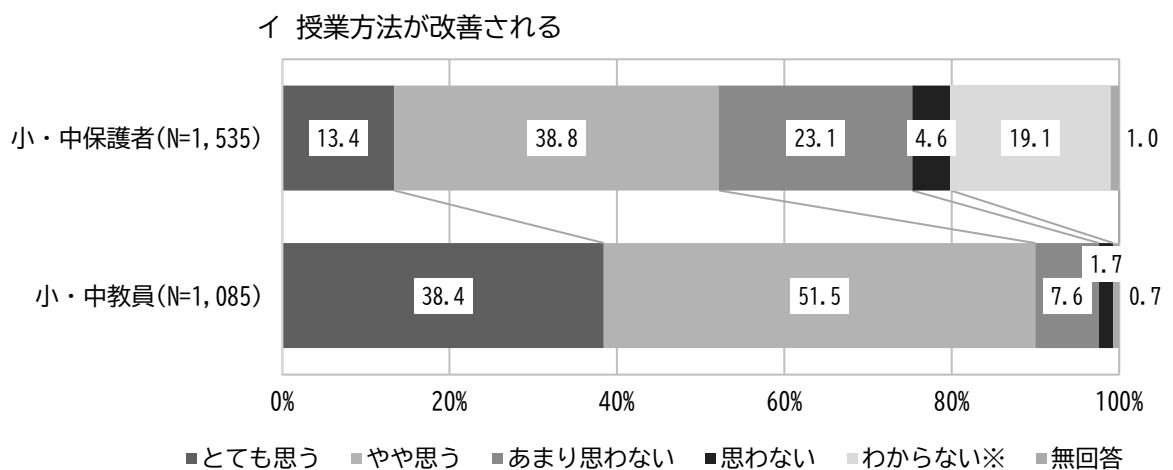
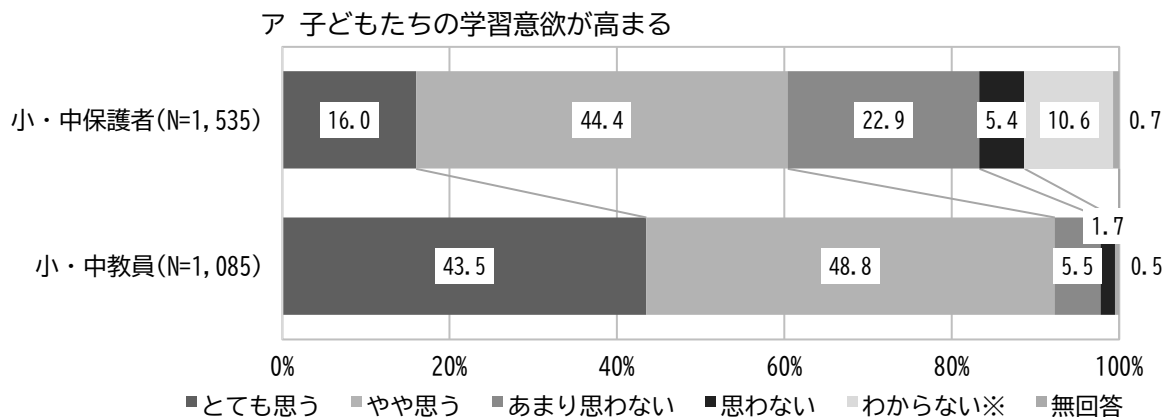
家庭教育の充実に関する満足度（保護者）と重要度（教職員等）



3 ICT機器の導入効果（小・中学校）

- ICT機器の導入効果について、「区立小・中学生保護者調査（問 22）」と「区立小・中学校教員調査（問 10）」の調査結果を項目ごとに比較しました。なお、教員調査に「わからない」の選択肢はありません。
- ICT機器の導入によって子どもたちの学習意欲が高まると感じているか、授業方法が改善されると感じているかをみると、両設問に共通の傾向として、保護者、教員ともに「やや思う」が最も多くなっています。ついで、保護者は「あまり思わない」が多く、教員は「とても思う」が多くなっています。
- 保護者、教員ともに全体ではICT機器の導入効果を実感していますが、その効果の程度の捉え方に違いもみられます。

ICT機器の導入効果 小・中保護者と小・中教員の比較

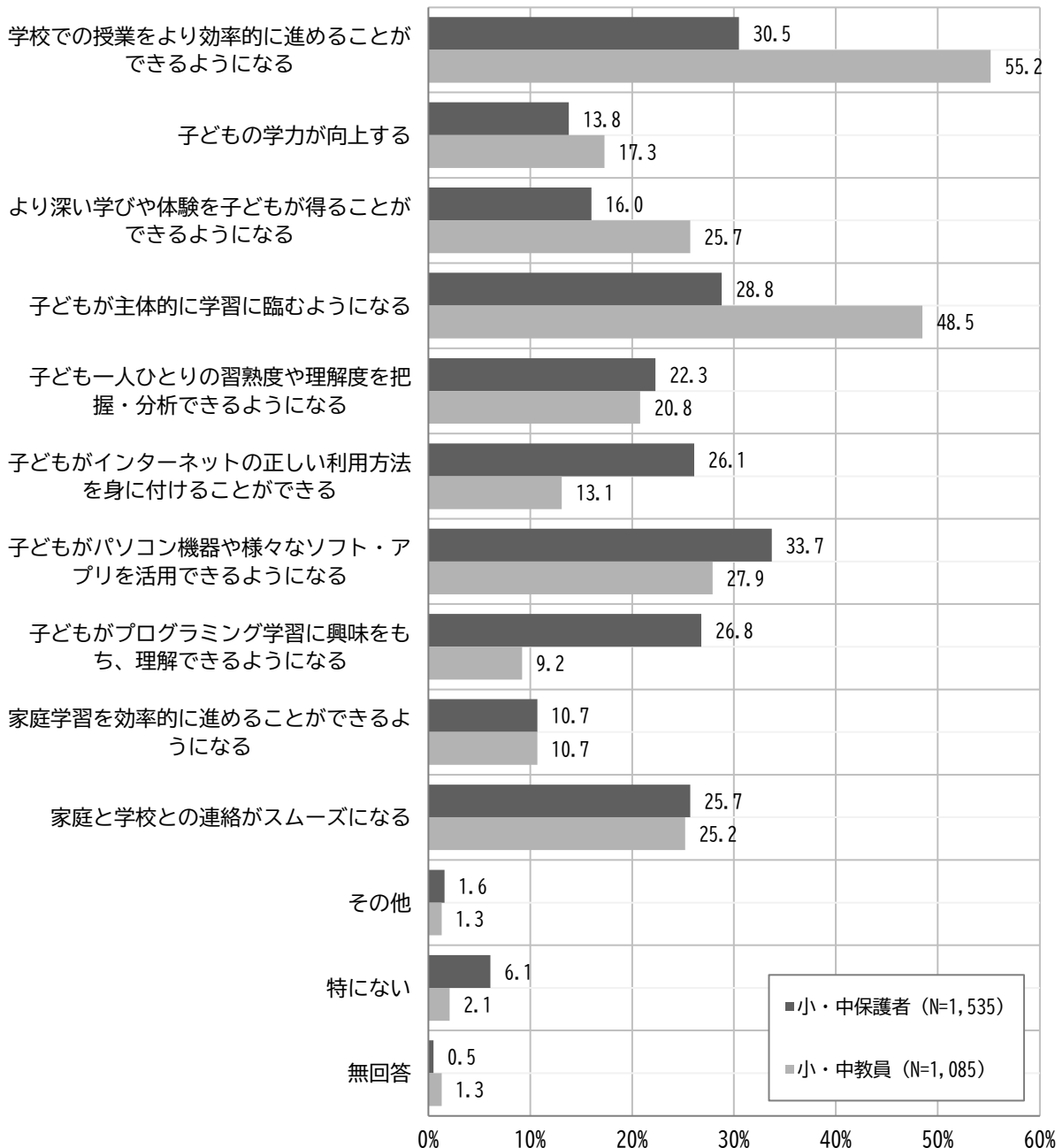


※小・中教員アンケートのア、イの選択肢に「わからない」はない

4 ICT活用に期待する効果（小・中学校）

- ICT活用に期待する効果について、「区立小・中学生保護者調査（問 23）」と「区立小・中学校教員調査（問 11）」の調査結果を項目ごとに比較しました。
- 保護者は「子どもがパソコン機器や様々なソフト・アプリを活用できるようになる」、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」、「子どもが主体的に学習に臨むようになる」を上位に挙げています。
- 教員は「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」と「子どもが主体的に学習に臨むようになる」の2つを特に期待しています。
- 保護者、教員ともに期待する効果は共通しています。ただし、今後のICT活用を進めるにあたっては、期待する割合に大きな差がある点に留意する必要があります。

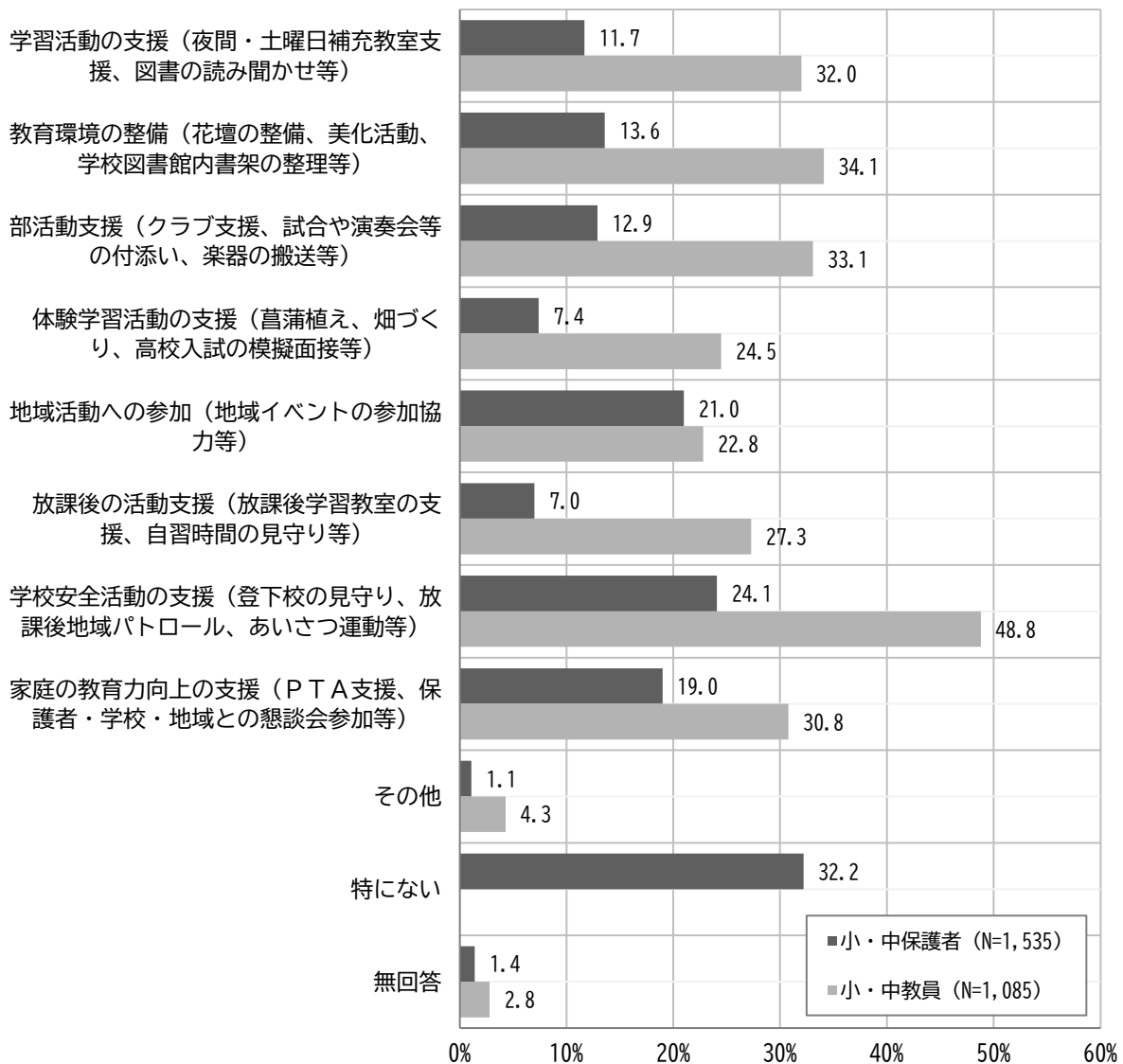
ICT活用に期待する効果 小・中保護者と小・中教員の比較



5 学校と地域との連携に関する小・中保護者の意欲と小・中教員の期待

- 学校と地域との連携について、「区立小・中学生保護者調査（問 20）」と「区立小・中学校教員調査（問 14）」の調査結果を項目ごとに比較しました。なお、教員調査に「特にない」の選択肢はありません。
- 小・中学生の保護者の意欲と教員からみた期待を比較すると、割合に差はあるものの、「学校安全活動の支援（登下校の見守り、放課後地域パトロール、あいさつ運動等）」に対する意欲と期待が最も多く、両者の意識は一致しています。
- その他の項目をみると、保護者は「地域活動への参加（地域イベントの参加協力等）」や「家庭の教育力向上の支援（PTA支援、保護者・学校・地域との懇談会参加等）」等への意欲が高い一方、教員は「学習活動の支援（夜間・土曜日補充教室支援、図書の読み聞かせ等）」、「教育環境の整備（花壇の整備、美化活動、学校図書館内書架の整理等）」、「部活動支援（クラブ支援、試合や演奏会等の付添い、楽器の搬送等）」などへの参加を期待しており、保護者の参加意欲と教員の期待する活動に違いもみられます。

学校と地域との連携に関する小・中保護者の意欲と小・中教員の期待



※小・中教員アンケートの選択肢に「特にない」はない

「葛飾区教育振興基本計画」の策定に向けた
区の教育振興に関するアンケート調査報告書

令和5年3月

発行：葛飾区教育委員会事務局 教育総務課 教育企画係
東京都葛飾区立石5-13-1
電話 03-5654-8449

この冊子は、印刷用の紙へリサイクルできます。

葛飾区

